EPSON
EXCEED YOUR VISION

LP-M8180シリーズ
ユーザーズガイド

印刷

コピー

スキャン

ファクス（LP-M8180Fのみ）

プリンターのお手入れ

困ったときは

NPD6472-03 JA

目次

マニュアルのご案内 7

マニュアルの種類と内容 8
情報の探し方 8
ページを指定して印刷する方法 9
マニュアルの見方 9
記号の意味 9
画面とイラストの前提 10
OS表記の仕方 10
商標 11
マニュアルのご注意 12

製品のご注意 13

本製品の不具合に起因する付随的損害 14
電波に関するご注意 14
無線LAN（Wi-Fi）機能に関するご注意 14
セキュリティーに関するご注意 15
本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意 15
本製品の使用限定 16
本製品の譲渡と廃棄 16

各部の名称と働き 17

前面 18
内部 20
背面 22

操作パネルの見方と使い方 24

操作パネル 25
タッチパネル使用上のご注意 26
ホーム画面の見方 26
ネットワークアイコンの見方 27
メニュー画面の見方 28
ジョブ/状態メニュー画面の見方 29
ジョブ予約 29
文字入力の仕方 30
操作手順を動画で見る 30

用紙のセット 32

用紙取り扱い上のご注意 33
用紙サイズと用紙種類の登録 34
用紙のセット 34
封筒のセット 35
ハガキのセット方法 37
排紙の設定 37
排紙方向を指定する 37
1部ずつ縦横交互に排紙する 38

原稿のセット 39

原稿のセット 40
自動検知できる原稿サイズ 41
ADFにセットできない原稿 42

外部メモリーのセットと取り外し ... 43

USB接続機器をセットする 44
USB接続機器を取り外す 44
外部メモリーのデータを共有する 45

印刷 46

文書を印刷する 47
コンピューターから文書を印刷する（Windows） 47
コンピューターから文書を印刷する（Mac OS） .73
コンピューターから文書を印刷する（PostScriptプリンタードライバー） 92
外部メモリー内のPDFデータを印刷する 92
スマートデバイスから文書を印刷する（iOS） 93
スマートデバイスから文書を印刷する（Android） 94
ハガキ、年賀状、封筒に印刷する 96
コンピューターからハガキや封筒に印刷する 96
写真を印刷する 98
外部メモリー内のJPEGデータを印刷する 98
外部メモリー内のTIFFデータを印刷する 100
ウェブページを印刷する 101
スマートデバイスからウェブページを印刷する .. 101

クラウドサービスで印刷する 102
操作パネルからEpson Connectサービスを登録する 103

コピー 104

このプリンターでできるコピー 105
コピーする 105
両面にコピーする 106
拡大または縮小してコピーする 106
割り付けてコピーする 107
ページ順でコピーする 108
きれいにコピーする 108
カードをコピーする 109
冊子をコピーする 109
封筒やハガキをコピーする 110
コピー時の基本設定メニュー 110
カラーモード： 110
濃度: 111
用紙設定： 111
倍率： 111
原稿種類： 111
両面設定： 111
コピー時の応用設定メニュー 112
ページ集約： 112
原稿サイズ： 112
仕上げ： 112
原稿サイズ混載： 113
原稿セット方向： 113
見開き→2ページ： 113
連続読込： 113
詳細画質調整： 113
とじしろ： 113
小さめフィット： 113
影消し： 113
パンチ穴消し： 114
IDカードコピー： 114

スキャン 115

このプリンターでできるスキャン 116
原稿をスキャンしてネットワークフォルダーに保存する 116
フォルダー保存の宛先設定項目 117
フォルダー保存のスキャン設定項目 118
原稿をスキャンしてメールに添付する 120
メール添付の宛先設定項目 121
メール添付のスキャン設定項目 121
原稿をスキャンしてコンピューターに保存する 123
原稿をスキャンして外部メモリーに保存する . 125
外部メモリー保存の基本設定項目 126
外部メモリー保存の応用設定項目 126
原稿をスキャンしてクラウドに転送する 127
クラウド保存の基本設定項目 128
クラウド保存の応用設定項目 129
スマートデバイスからスキャンする 130

ファクス（LP-M8180Fのみ） ...131

ファクスを使う前に 132
ファクス機能の紹介 132
機能：ファクス送信 132
機能：ファクス受信 133
機能：コンピューターからの送受信（Windows/Mac OS） 135
機能：いろいろなファクスレポート 136
機能：ファクスのジョブやログの確認 136
機能：ファクスボックス 136
機能：安全なファクス送受信（セキュリティー） 137
機能：その他の役立つファクス機能 137
プリンターからファクスを送信する 138
宛先を選択する 138
便利な送信方法 139
プリンターでファクスを受信する 146
相手先から送られてきたファクスを受信する 146
相手先にダイヤルしてファクスを受信する 149
受信ファクスの保存と転送 150
受信したファクスをプリンターの画面で確認する 152
ファクスメニューの説明 153
宛先 153
ファクス設定 154
応用 157
ファクスボックスメニューの説明 158
受信/親展 158
待機文書送信： 160
ポーリング送信/掲示板 161
ファクスのジョブ状態や履歴を確認する 165
受信ファクスが未処理（未読／未印刷／未保存／未転送）の表示 165
実行中のファクスジョブを確認する 166
ファクス送受信履歴を確認する 166
印刷した受信文書を再印刷する 167
コンピューターからファクスを送信する 167
アプリケーションで作成した文書を送信する（Windows） 168
アプリケーションで作成した文書を送信する（Mac OS） 170

コンピューターでファクスを受信する 172
新着ファクスを確認する（Windows） 172
新着ファクスを確認する（Mac OS） 173
コンピューターでのファクス受信をやめる 174

プリンターのお手入れ 175

消耗品の状態を確認する 176
給紙不良を改善する 176
手差しトレイの給紙ローラーの紙粉を取る 176
用紙カセットの給紙ローラーの紙粉を取る 177
プリンター内部の汚れを拭き取る 177
プリンターの表面の汚れを拭き取る 180
原稿台の汚れを拭き取る 180
ADFをクリーニングする 182
ソフトウェアを個別にインストールまたはアンインストールする 185
ソフトウェアを個別にインストールする 185
プリンターを追加する（Mac OSのみ） 188
ソフトウェアをアンインストール（削除）する .. 188
ソフトウェアやファームウェアを更新する 190
プリンターの持ち運びや輸送 192
近くへの移動 193
輸送 194

困ったときは 195

うまく動かない 196
正常に起動しない 196
電源が入らない、切れない 197
給紙や排紙が正しくできない 197
印刷できない 202
スキャンできない 221
ファクスの送信も受信もできない 236
ジョブ確認メニューにエラーコードが表示された 255
思い通りに操作できない 261
プリンター画面にメッセージが表示された 266
用紙が詰まった 268
紙詰まりを防ぐには 268
消耗品の交換が必要になった 269
消耗品取り扱い上のご注意 269
トナーカートリッジと廃トナーボックスの交換が必要になった 269
感光体ユニットの交換が必要になった 271
きれいに印刷、コピー、スキャン、ファクスできない 274
きれいに印刷できない 274
きれいにコピーできない 280
きれいにスキャンできない 284
ファクスをきれいに送信できない 286
ファクスをきれいに受信できない 289
解決できないときは 289

コンピューターや機器の追加や交換をしたときは 290

ネットワーク接続済みのプリンターに接続する方法 291
2台目のコンピューターからネットワークプリンターを使う 291
スマートデバイスからネットワークプリンターを使う 292
ネットワークを再設定する方法 292
無線LANルーターを交換したとき 292
コンピューターを買い替えたとき 293
コンピューターとの接続形態を変更する 294
操作パネルから無線LAN（Wi-Fi）接続する 295
スマートデバイスとプリンターを直接接続する方法（Wi-Fi Direct） 297
Wi-Fi Direct（シンプルAP）とは 298
iPhone、iPad、iPod touchでWi-Fi Direct接続する 298
AndroidデバイスでWi-Fi Direct接続する 301
iOS、Android以外のデバイスとWi-Fi Direct接続する 303
Wi-Fi Direct（シンプルAP）接続を切断する 305
Wi-Fi Direct（シンプルAP）のSSIDなどを変更する 305
ネットワーク接続状態の確認 306
操作パネルでのネットワーク接続状態の確認 306
ネットワーク接続診断レポートを印刷する 307
ネットワークステータスシートを印刷する 313
コンピューターのネットワークを確認する(Windowsのみ) 314

オプションの使い方 316

オプション一覧 317
オプションを取り付けるときのご注意 318
オプションの取り付け状態を確認する 319
増設カセットユニット 319
増設カセットユニットをプリンターに取り付ける 319
プリンタードライバーで増設カセットユニットを設定する 319

増設カセットユニット使用時のトラブル 320
増設カセットユニットの仕様 321
PS3対応ROM 321
PS3対応ROMを取り付ける 321
PostScriptプリンタードライバーをインストールする 321
PostScriptプリンタードライバーを使って文書を印刷する（Windows） 322
Mac OSからPostScriptプリンタードライバーを使って印刷する 331
PostScriptフォントなどが印刷できるソフトウェア（Windows PostScript プリンタードライバー） 338
PostScriptフォントなどが印刷できるソフトウェア（Mac OS PostScript プリンタードライバー） 339
PostScriptプリンタードライバー使用時のトラブル 340
設定メニュー一覧（PS3対応ROM装着時） 341
PostScript Level 3との互換性 342
対応フォント（PostScript 3対応） 342
増設G3ファクスボード 343
増設G3ファクスボードを取り付ける 344
増設G3ファクスのポート 344
ファクス設定メニュー（増設G3ファクスボード装着時） 345
アドレス帳を登録する （増設G3ファクスボード装着時 ） 347
プリンターからファクスを送信する （増設G3ファクスボード装着時） 347
コンピューターからファクスを送信する（増設G3ファクスボード装着時） 348
回線の状態を確認する（増設G3ファクスボード装着時） 349
困ったときは 349
増設G3ファクスボードの仕様 349
増設ネットワークインターフェイスボード 350
ネットワーク増設時の機能一覧 350
増設ネットワークインターフェイスボードを取り付ける 351
ネットワーク増設時の設定 352
ネットワーク増設時のトラブル 357
ネットワーク設定メニューの説明（ネットワーク増設時） 357

製品情報 359

用紙情報 360
印刷できる用紙とセット枚数 360
印刷できない用紙 363
消耗品/定期交換部品の一覧 364
トナーカートリッジ 364
共通消耗品 366
定期交換部品 366
ソフトウェア情報 367
印刷用ソフトウェア 367
スキャン用ソフトウェア 370
ファクスのソフトウェア 372
パッケージ作成用ソフトウェア 374
更新用ソフトウェア 374
設定メニュー一覧 375
［本体設定］メニュー 375
［印刷ページ数の確認］メニュー 401
［交換品情報］メニュー 402
［言語選択/Language］メニュー 402
［情報確認/印刷］メニュー 402
［アドレス帳管理］メニュー 403
［ユーザー設定］メニュー 403
［認証装置ステータス］メニュー 403
［Epson Open Platform情報］メニュー 404
製品仕様 404
コピー機能 404
ADF機能 405
プリント機能 406
スキャン機能 407
インターフェイスの仕様 407
プリンターが使用するポート 407
ファクス機能（LP-M8180Fのみ） 409
ネットワークの仕様 410
対応している他社サービス 412
対応外部メモリーの仕様 412
印刷できるファイルの仕様 412
外形寸法と質量の仕様 413
電気的仕様 413
動作時と保管時の環境仕様 413
設置場所と設置スペース 414
対応OS 416
プリンター調整機能 416
フォントの仕様 419
Epsonバーコードフォント 419
Epson TrueType フォント 428
OCR-B TrueType フォント 428
規格と規制 429
電源高調波 429
電波障害自主規制 429
著作権 429
複製が禁止されている印刷物 429
オゾン 429
揮発性物質の放散 430
レーザー製品の表示 430
内部のレーザー放射ユニット 430

管理者向け情報 431

管理者向けソフトウェア情報 432

ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config） 432
ネットワーク上のデバイスを設定するソフトウェア（EpsonNet Config） 433
ネットワーク上のデバイスを管理するソフトウェア（Epson Device Admin） 434
プリンターをネットワークに接続する 434
ネットワーク接続の前に 434
操作パネルでネットワークに接続する 436
プリンターを使うための設定 439
印刷できるようにする 439
AirPrintを使えるようにする 446
メールサーバーを設定する 447
共有フォルダーを設定する 451
アドレス帳を使えるようにする 470
スキャンの前に必要な準備 482
ファクスを使えるようにする（LP-M8180Fのみ） 484
プリンターの基本動作を設定する 503
設定時のトラブルを解決する 507
プリンターの管理 508
本体のセキュリティー機能の紹介 508
管理者設定 510
利用できる機能を制限する 518
外部インターフェイスを無効にする 520
保存データの処理設定 521
遠隔地にあるプリンターを監視する 522
設定のバックアップ 524
高度なセキュリティー設定 526
セキュリティー設定と防止できる脅威 526
パスワード暗号化の設定 527
利用するプロトコルを制御する 529
電子証明書を使う 534
プリンターとのSSL/TLS通信 541
IPsec/IPフィルタリングで暗号化通信する 542
IEEE802.1X環境にプリンターを接続する 554
S/MIMEの設定 557
トラブルを解決する 560
Epson Open Platformを利用する 566

サービスとサポートのご案内 567

エプソンサービスパック 568
保守サービスのご案内 568
保証書について 568
補修用性能部品および消耗品の保有期間 568
保守サービスの受付窓口 569
保守サービスの種類 569
アフターサポート・サービスのご案内 570

マニュアルのご案内

マニュアルの種類と内容 8

情報の探し方 8

ページを指定して印刷する方法 9

マニュアルの見方 9

商標 11

マニュアルのご注意 12

マニュアルの種類と内容

プリンターには以下のマニュアルが用意されています。マニュアル以外にも、いろいろなヘルプがプリンター本体やソフトウェアに組み込まれているのでご活用ください。

- セットアップガイド（紙マニュアル）
  プリンターの開梱から、本体のセットアップ、オプションの取り付けやコンピューターとの接続までの手順を説明しています。
- 使い方ガイド（紙マニュアル）
  基本的な使い方や困ったときの解決方法などを説明しています。
- 掲示用マニュアル（電子マニュアル）
  よく使われる機能の操作手順を1シートにまとめて説明しています。ポスターのように印刷できるので、プリンターの近くの壁などに貼って活用できます。
- ユーザーズガイド（電子マニュアル）
  本書です。WebマニュアルとPDFマニュアルがあります。 プリンターの使い方全般、お手入れの仕方、プリンターをネットワークで使用するときの設定方法やトラブルへの対処方法を説明しています。
  本書はLP-M8180FとLP-M8180Aの共通マニュアルです。ファクス機能はLP-M8180Fのみ使用できます。

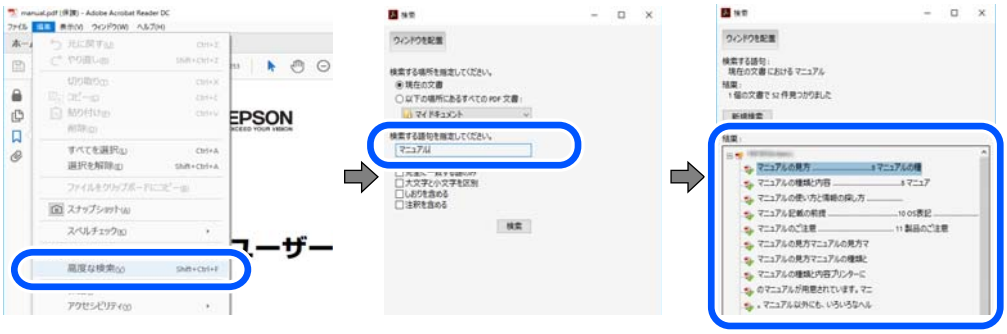
最新のマニュアルを閲覧するには、以下のウェブサイトにアクセスし、製品名を入力して［サポート］をクリックしてください。
http://epson.sn

情報の探し方

PDFマニュアルでは、探したい情報のキーワードから該当箇所を検索したり、しおりから直接ジャンプしたりすることができます。ここでは、PDFマニュアルをコンピューターのAdobe Acrobat Reader DCで開いた場合の使い方を説明します。

キーワードで検索する

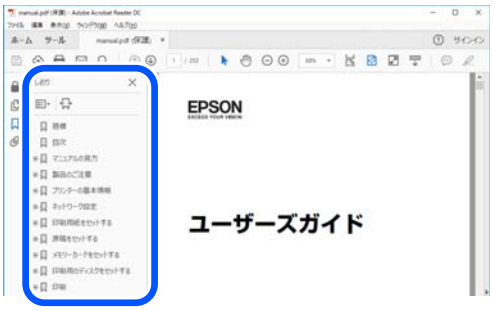
［編集］メニューの［高度な検索］をクリックします。検索ボックスに探したい情報のキーワード（語句）を入力して、［検索］をクリックします。キーワードの該当箇所が一覧で表示されます。表示された文字列をクリックすると、該当ページにジャンプします。



しおりから直接ジャンプする

タイトルをクリックするとそのページにジャンプします。［+］または［>］をクリックすると下の階層のタイトルが表示されます。ジャンプ前のページに戻りたいときは、キーボードで以下の操作をします。

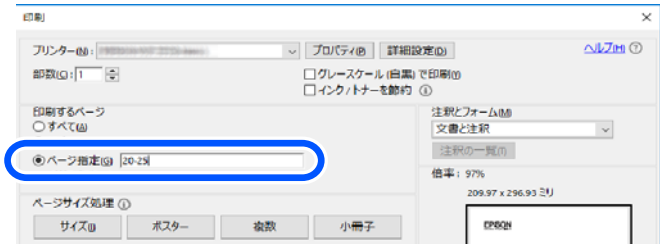
- Windows：［Alt］キーを押したまま←キーを押します。
- Mac OS：commandキーを押したまま←キーを押します。



ページを指定して印刷する方法

紙で読みたいページだけを抜き出して印刷できます。［ファイル］メニューの［印刷］または［プリント］をクリックし、［印刷するページ］の［ページ指定］で、印刷したいページを指定します。

- 連続したページの指定は、開始ページと終了ページの間にハイフンを入れます。
  例：20-25
- 連続していない複数ページの指定は、ページをカンマで区切ります。
  例：5,10,15



マニュアルの見方

マニュアルに記載されている記号の意味やマニュアル記載の前提、OS表記について説明します。

記号の意味

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

!重要 必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。

参考 補足情報や参考情報を記載しています。

関連情報

➡ 関連したページにジャンプします。

画面とイラストの前提

- プリンタードライバーの画面は、Windows 10またはmacOS High Sierraでの表示画面を使用しています。表示内容は機種や状況によって異なります。
- イラストは一例です。機種によって多少異なりますが操作方法は同じです。
- プリンター画面の設定項目は機種や設定状況によって異なります。
- QRコードは専用アプリで読み取れます。

OS表記の仕方

Windows

本書では、以下のOS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows 10」「Windows 8.1」「Windows 8」「Windows 7」「Windows Vista」「Windows XP」「Windows Server 2019」「Windows Server 2016」「Windows Server 2012 R2」「Windows Server 2012」「Windows Server 2008 R2」「Windows Server 2008」「Windows Server 2003 R2」「Windows Server 2003」と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

- Microsoft® Windows® 10 operating system日本語版
- Microsoft® Windows® 8.1 operating system日本語版
- Microsoft® Windows® 8 operating system日本語版
- Microsoft® Windows® 7 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Vista® operating system日本語版
- Microsoft® Windows® XP operating system日本語版
- Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2019 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2016 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2012 R2 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2012 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2008 R2 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2008 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2003 R2 operating system日本語版

- Microsoft® Windows Server® 2003 operating system日本語版

Mac OS

本書では、「Mac OS X v10.6.8」以降の総称として「Mac OS」を使用しています。

商標

- EPSONおよびEXCEED YOUR VISIONはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- EPSON　ESC/PageおよびESC/Pはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- EPSON ステータスモニタはセイコーエプソン株式会社の商標です。
- Epson Scan 2 software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- libtiff
  Copyright © 1988-1997 Sam Leffler
  Copyright © 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.
  Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that (i) the above copyright notices and this permission notice appear in all copies of the software and related documentation, and (ii) the names of Sam Leffler and Silicon Graphics may not be used in any advertising or publicity relating to the software without the specific, prior written permission of Sam Leffler and Silicon Graphics.
  THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS-IS" AND WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR OTHERWISE, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.
  IN NO EVENT SHALL SAM LEFFLER OR SILICON GRAPHICS BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INCIDENTAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER OR NOT ADVISED OF THE POSSIBILITY OF DAMAGE, AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.
- Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Apple、Mac、macOS、OS X、Bonjour、ColorSync、Safari、AirPrint、iPad、iPhone、iPod touch、iTunes、TrueType、iBeaconは米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。“iPhone”の商標は日本国内においてアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- Use of the Works with Apple badge means that an accessory has been designed to work specifically with the technology identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.
- Chrome、Google Play、AndroidはGoogle LLCの商標です。
- CG Omega, CG Times, Garamond Antiqua, Garamond Halbfett, Garamond Kursiv, Garamond Halbfett Kursiv are trademarks of Monotype Imaging, Inc. and may be registered in certain jurisdictions.
- Albertus, Arial, Coronet, Gill Sans, Joanna and Times New Roman are trademarks of The Monotype Corporation registered in the United States Patent and Trademark Office and may be registered in certain jurisdictions.
- Helvetica, Optima, Palatino, Times and Univers are trademarks of Linotype Corp. registered in the U.S. Patent and Trademark Office and may be registered in certain other jurisdictions in the name of Linotype Corp. or its licensee Linotype GmbH.
- Antique Olive is a trademark of M. Olive.

- Marigold and Oxford are trademarks of AlphaOmega Typography.
- ITC Avant Garde Gothic, ITC Bookman, Lubalin Graph, Mona Lisa, ITC Symbol, Zapf Chancery and Zapf Dingbats are trademarks of International Typeface Corporation registered in the U.S. Patent and Trademark Office and may be registered in certain other jurisdictions.
- Clarendon, Eurostile and New Century Schoolbook are trademarks of Linotype GmbH registered in the U.S. Patent and Trademark Office and may be registered in certain other jurisdictions.
- Wingdings is a registered trademark of Microsoft Corporation in the United States and other countries.
- ITC Avant Garde Gothic, Bookman, Zapf Chancery and Zapf Dingbats are trademarks of International Typeface Corporation registered in the United States Patent and Trademark Office and may be registered in certain jurisdictions.
- QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。
- Adobe、AdobeロゴPostScriptおよびAdobe AcrobatはAdobe（アドビ）の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。
- AOSS™は株式会社バッファローの商標です。
- SuperSpeed USB Tridentロゴは、USB Implementers Forum, Inc.の登録商標です。
- Firefox is a trademark of the Mozilla Foundation in the U.S. and other countries.
- Mopria®、Mopria®ロゴは、Mopria Alliance, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標かつサービスマークです。許可無く使用することは固く禁じられております。
- その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

マニュアルのご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

© 2020 Seiko Epson Corporation

製品のご注意

本製品の不具合に起因する付随的損害 14

電波に関するご注意 14

無線LAN（Wi-Fi）機能に関するご注意 14

セキュリティーに関するご注意 15

本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意 15

本製品の使用限定 16

本製品の譲渡と廃棄 16

本製品の不具合に起因する付随的損害

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含む。以下同じ。）の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償いたしかねます。

電波に関するご注意

機器認定

本製品には電波法に基づく小電力データ通信システムとして認証を受けている無線設備が内蔵されています。

- 設備名：J26H005
- 認証番号：003-170261

周波数

本製品は2.4GHz帯の2.400GHzから2.4835GHzを使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、以下の事項に注意して使用してください。

本製品の使用上の注意

この機器の使用周波数帯では 、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、電波の発射を停止した上、販売店にご連絡いただき、混信回避のための処置など（たとえば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局、またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、エプソンのインフォメーションセンター までお問い合わせください。

参考

- 本製品はWi-Fi Allianceの承認を受けた無線機器です。他メーカーのWi-Fi承認済みの無線機器と通信が可能です。Wi-Fi対応製品の詳細はWi-Fi Allianceのホームページ（http://www.wi-fi.org）をご参照ください。
- この無線機器は2.4GHz帯を使用します。採用している変調方式はDS-SS変調方式(与干渉距離40m)、OFDM変調方式(与干渉距離40m)、FHSS変調方式(与干渉距離20m)です。全帯域を使用し周波数変更が可能です。

2.4 DS4/OF4/FH2

無線LAN（Wi-Fi）機能に関するご注意

- 本製品からの電波は、医療用機器に影響を及ぼすおそれがあります。医療機関の中や、医療用機器の近くで本製品を使用する場合は、医療機関の管理者、医療用機器側の指示や注意に従ってご使用ください。

- 本製品からの電波は、自動ドアや火災報知機などの自動制御機器に影響を及ぼすおそれがあります。自動制御機器の近くで本製品を使用する場合は、自動制御機器側の指示や注意に従ってご使用ください。

セキュリティーに関するご注意

お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です。
本製品などの無線LAN製品では、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してコンピューターなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN 接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えて全ての場所に届くため、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、IDやパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、以下のような行為をされてしまう可能性があります。

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティーの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティーに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティーの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティーに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。
セキュリティー対策を施さず、あるいは、無線LANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティーの問題が発生してしまった場合は、弊社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理、保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、弊社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品の使用限定

本製品を航空機、列車、船舶、自動車などの運行に直接関わる装置、防災防犯装置、各種安全装置など機能、精度などにおいて高い信頼性、安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で弊社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性、安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

本製品の譲渡と廃棄

本製品を譲渡もしくは廃棄する際は、本製品のメモリーに保存されているお客様固有の情報の流出による、不測の事態を回避するために、 保存した情報（ネットワーク設定、電話番号、宛先名称など）を消去してください。
操作パネルで以下のメニューを選択して情報を消去します。

- ［設定］ - ［本体設定］ - ［管理者用設定］ - ［初期設定に戻す］ - ［全て初期化］
- ［設定］ - ［本体設定］ - ［管理者用設定］ - ［内部メモリーデータ削除］ - ［本体メモリー内のジョブの全削除］

HDD内のデータも消去してください。 消去の手順や詳細は以下の関連情報をご覧ください。
一般家庭でお使いの場合は、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

関連情報

➡ 「内蔵ハードディスクをフォーマットする」522ページ

各部の名称と働き

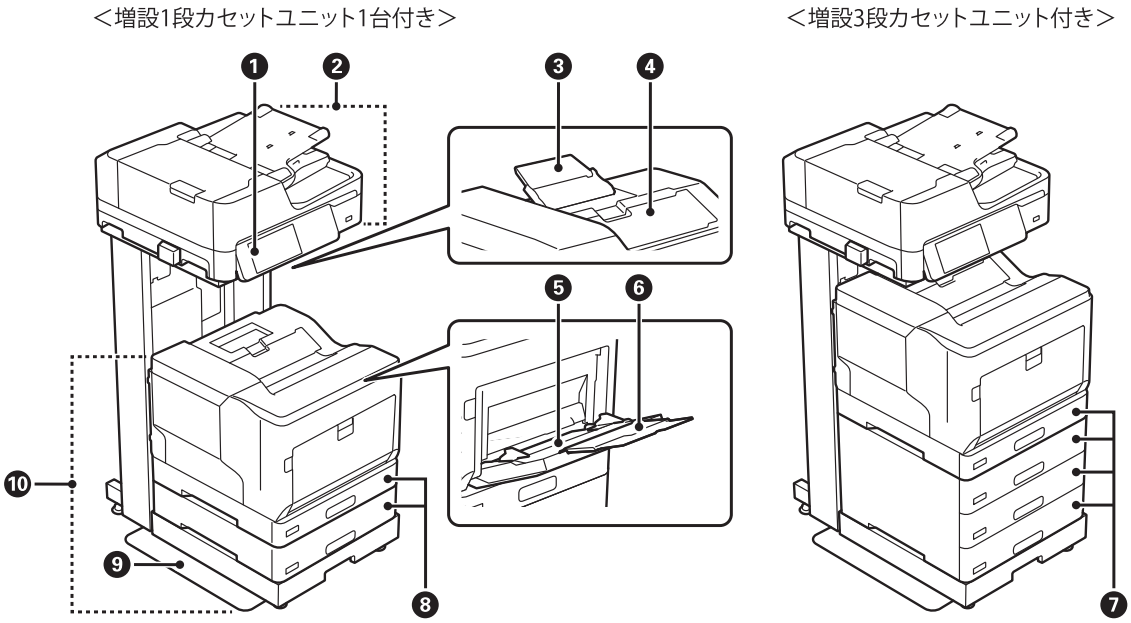
前面 18

内部 20

背面 22

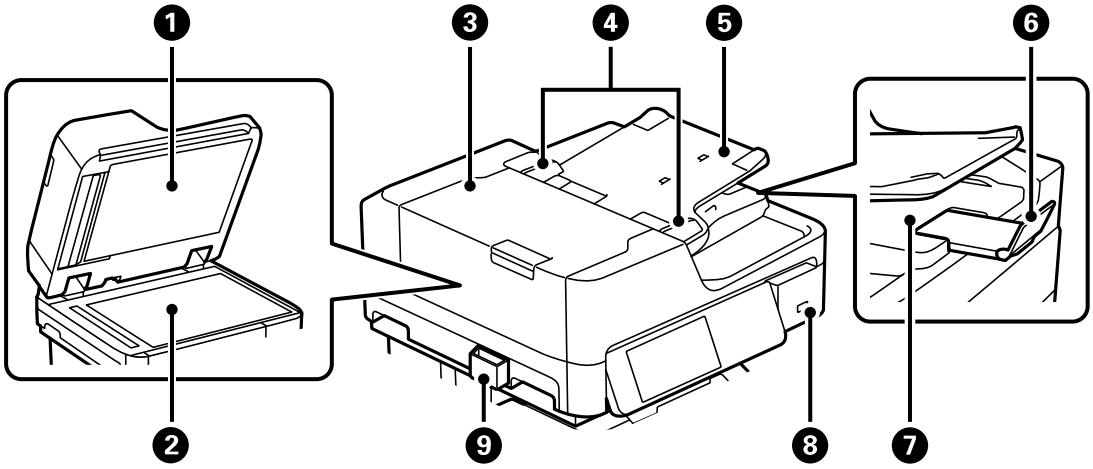
前面

プリンター部



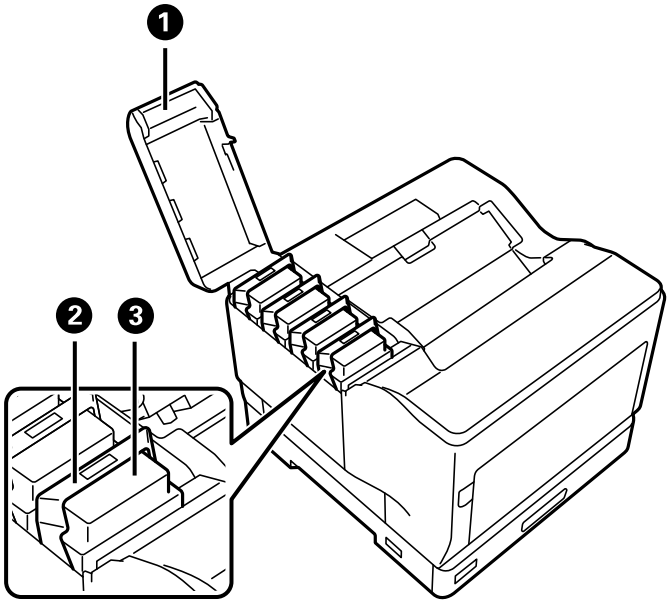
❶	操作パネル	プリンターの操作や設定をします。また、プリンターの状態を表示します。
❷	スキャナー部	各部の名称と働きはスキャナー部の表を参照してください。
❸	用紙サポート	印刷されたA4よりも大きい用紙を支えます。
❹	排紙トレイ	印刷された用紙を保持します。
❺	手差しトレイ(MP)	対応している全ての用紙をセットします。
❻	用紙サポート	セットした用紙を支えます。
❼	用紙カセット1、2、3、4 (C1、C2、C3、C4)	用紙をセットします。 用紙カセット2、3、4は増設3段カセットユニットです。
❽	用紙カセット1、 2(C1、C2)	用紙をセットします。 用紙カセット2は増設1段カセットユニットです。
❾	転倒防止脚	プリンターが倒れないように支えます。
❿	プリンター部	各部の名称と働きはこの表を参照してください。

スキャナー部

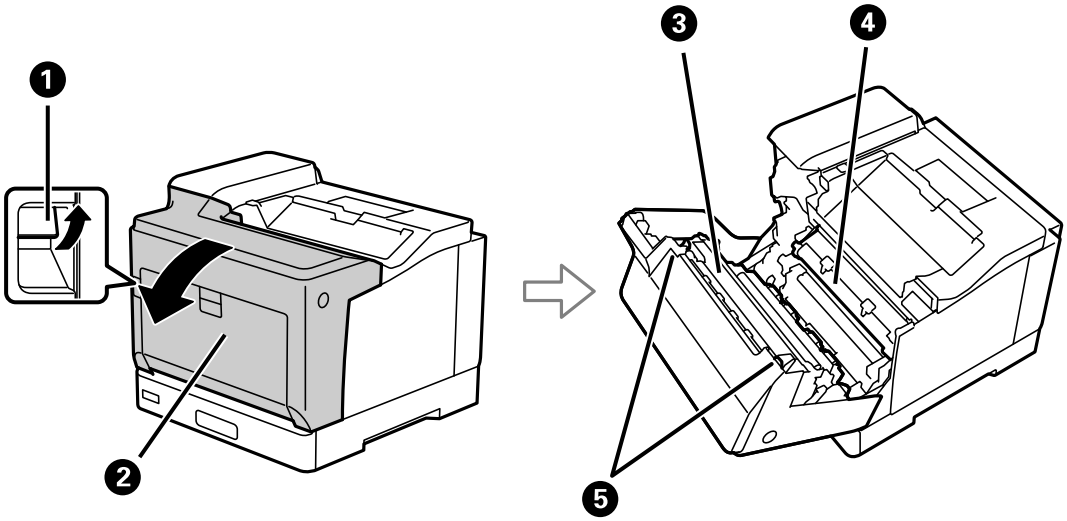


❶	原稿カバー	原稿の読み取り時に外部の光を遮ります。
❷	原稿台	原稿をセットします。ADFで給紙できない封筒や本など、厚みのある原稿もセットできます。
❸	ADF(オートドキュメントフィーダー)カバー(F)	ADFに詰まった原稿を取り除くときに開けます。
❹	ADF原稿ガイド	原稿をまっすぐ送るためのガイドです。原稿の側面に合わせてください。
❺	ADFトレイ	原稿を自動で送ります。
❻	ストッパー	ADF排紙トレイから排出された原稿が落下するのを防ぎます。
❼	ADF排紙トレイ	ADFから排出された原稿を保持します。
❽	外部機器接続用USBポート	外部メモリーを挿入します。
❾	クリーニングクロス入れ	クリーニングクロスを入れます。

内部

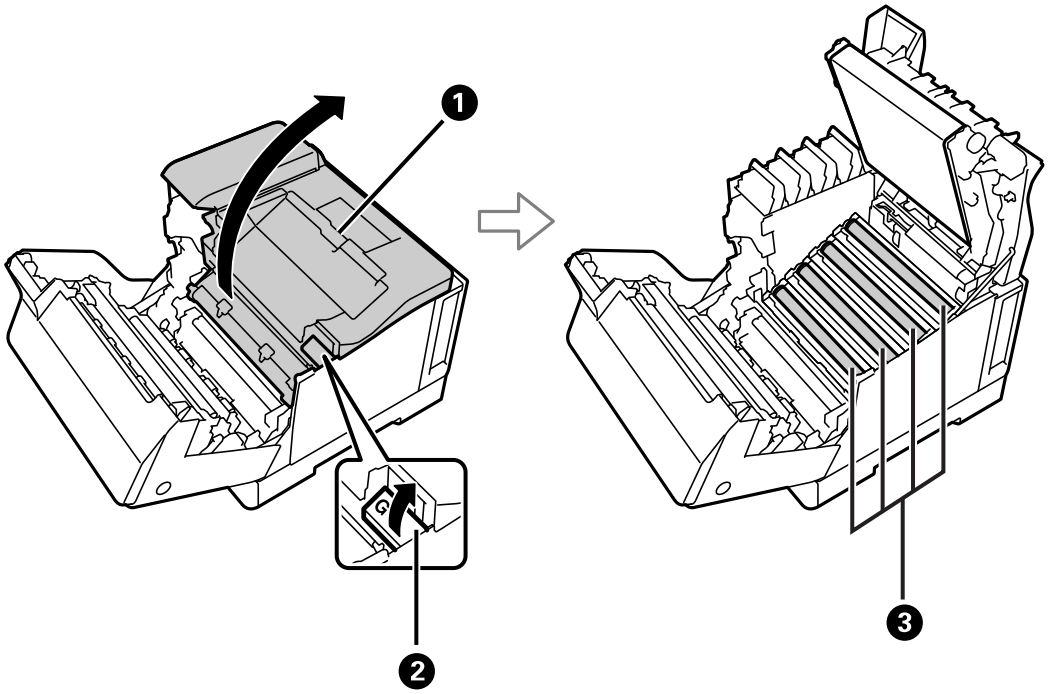


❶	トナーカートリッジカバー(D)	トナーカートリッジを交換するときに開けます。
❷	ロックレバー	トナーカートリッジを固定するために引き上げます。
❸	トナーカートリッジ	印刷用のトナーが含まれています。

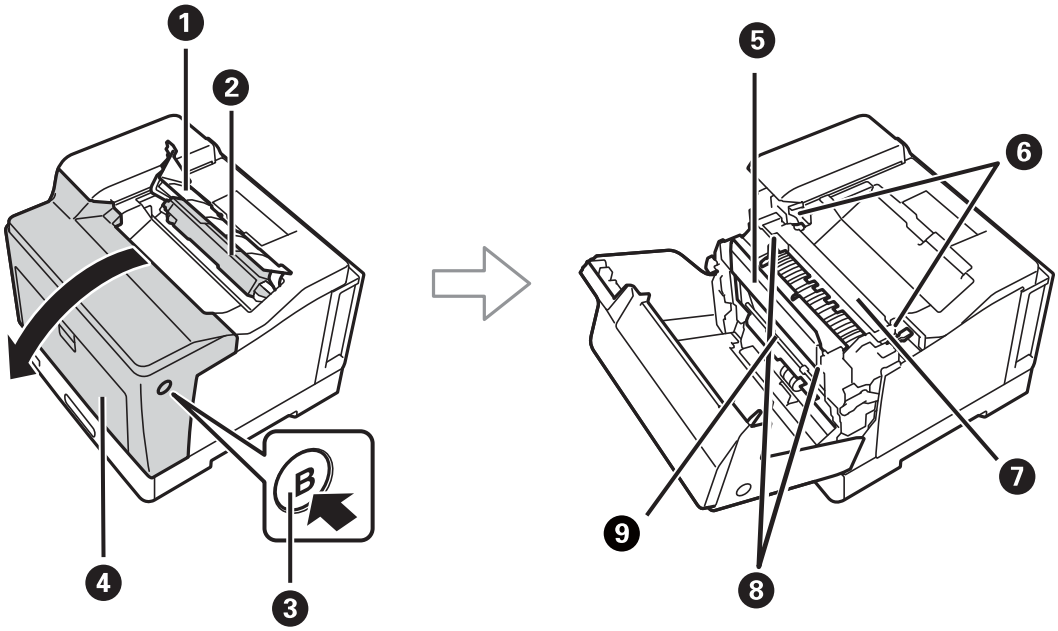


❶	Aレバー	前面カバーを開けて、詰まった用紙を取り除くときや感光体ユニットを交換するときに引き上げます。
❷	前面カバー（A）	消耗品を交換するときや、内部に詰まった用紙を取り除くときに開けます。
❸	定着ユニット	トナーを紙に定着させます。
❹	転写ユニット	感光体に載ったトナーを紙に転写します。

❺	リリースレバー	詰まった用紙を取り除くときに引き下げます。



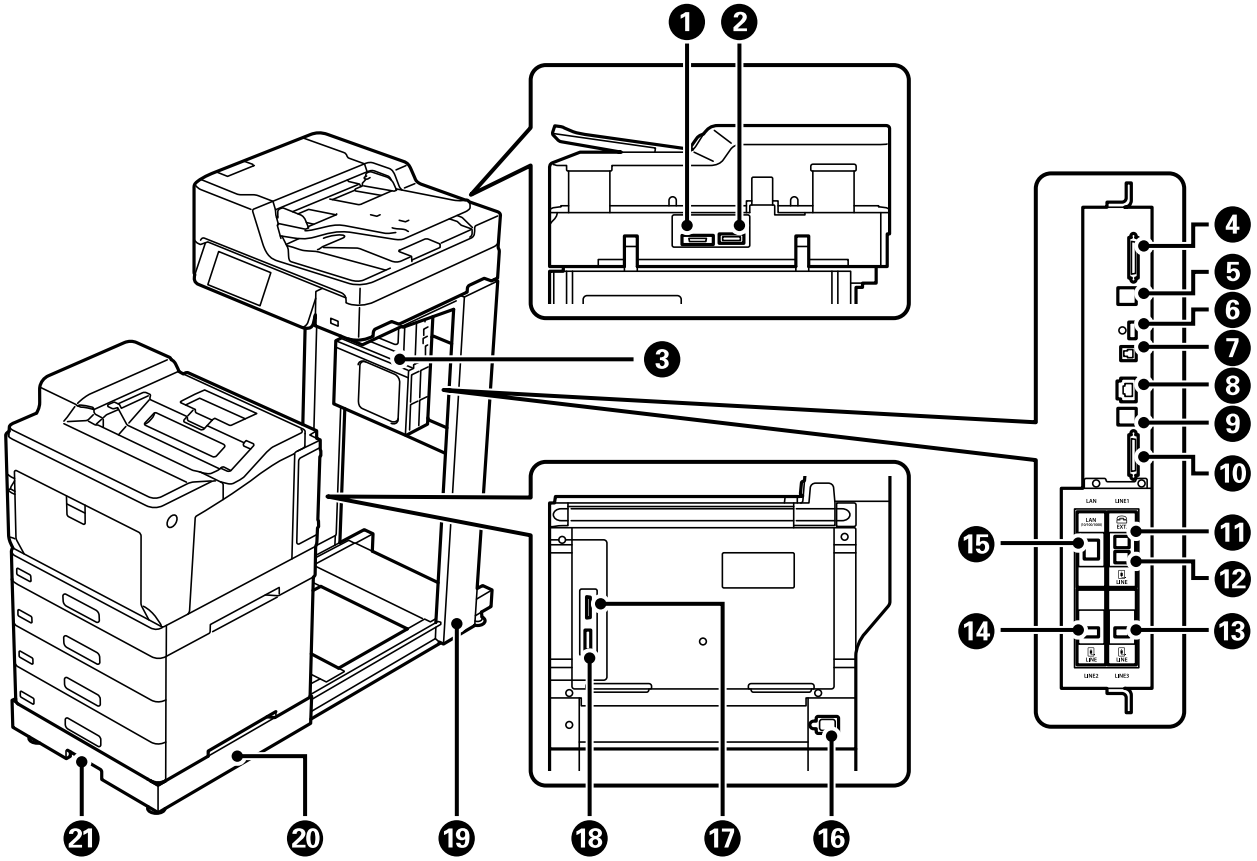
❶	上カバー(G)	露光窓を清掃するときや感光体ユニットを交換するときに開けます。
❷	Gレバー	上カバーを開けるときに引き上げます。
❸	感光体ユニット	印刷される画像を形成します。



❶	廃トナーボックスカバー(H)	廃トナーボックスを交換するときに開けます。
❷	廃トナーボックス	印刷中に排出される廃トナーを溜めます。

❸	Bボタン	前面カバーを開けるときに押します。
❹	前面カバー（A）	消耗品を交換するときや、内部に詰まった用紙を取り除くときに開けます。
❺	両面印刷ユニットカバー（E）	内部に詰まった用紙を取り除くときに開けます。
❻	リリースレバー	詰まった用紙を取り除くときに引き上げます。
❼	定着ユニット	トナーを紙に定着させます。
❽	リリースレバー(E)	両面印刷ユニットカバーを開けて、詰まった用紙を取り除くときに引き上げます。
❾	両面印刷ユニット	用紙の両面を自動で印刷します。

背面



❶	コントローラー接続ポート(A)	スキャナー部の背面にあります。専用スキャナーケーブルを接続します。
❷	コントローラー接続ポート(B)	
❸	コントローラーボックス	システム全体を制御する装置です。

❹	スキャナーポート(A)	専用スキャナーケーブルを接続します。
❺	スキャナーポート(B)	
❻	サービス用ポート	通常は使用しません。キャップを取らないでください。
❼	USBポート	コンピューターと接続するためのUSBケーブルを接続します。
❽	LANポート	LANケーブルを接続します。
❾	プリンターポート(A)	専用プリンターケーブルを接続します。
❿	プリンターポート(B)	
⓫	EXT.ポート*	外付け電話機を接続します。
⓬	LINEポート*	電話回線を接続します。
⓭	増設用スロット(LINE3) *	オプションの増設G3ファクスボードを挿し込みます。 イラストはオプション装着時の状態を示しています。
⓮	増設用スロット(LINE2) *	
⓯	増設用スロット(LAN)	オプションの増設ネットワークインターフェイスボードを挿し込みます。 イラストはオプション装着時の状態を示しています。
⓰	電源コネクター	電源コードを接続します。
⓱	コントローラー接続ポート(B)	プリンター部の背面にあります。専用プリンターケーブルを接続します。
⓲	コントローラー接続ポート(A)	
⓳	専用ラック	プリンターとスキャナー、コントローラーボックスをセットして、複合機として使用できるようにします。
⓴	プリンター台	レバーをつかんでプリンターを前面に引き出します。
㉑	レバー	

*　LP-M8180Fのみ対応

操作パネルの見方と使い方

操作パネル 25

ホーム画面の見方 26

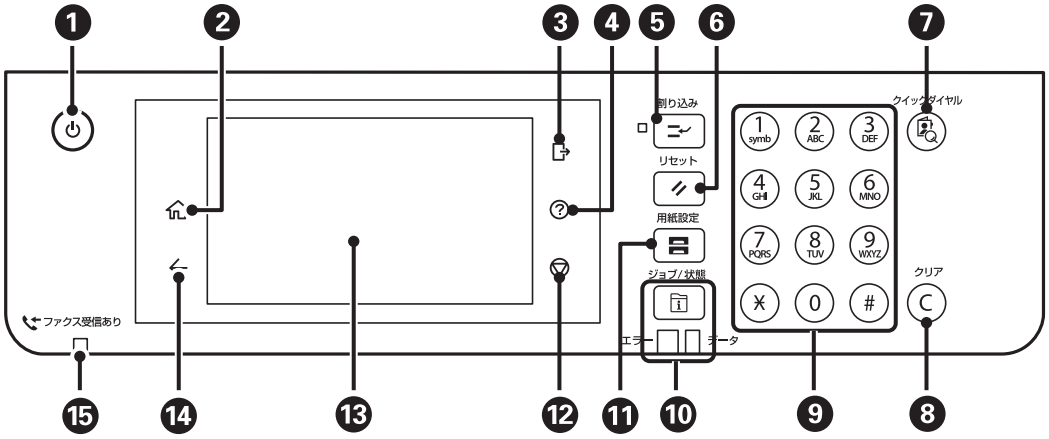
メニュー画面の見方 28

ジョブ/状態メニュー画面の見方 29

文字入力の仕方 30

操作手順を動画で見る 30

操作パネル



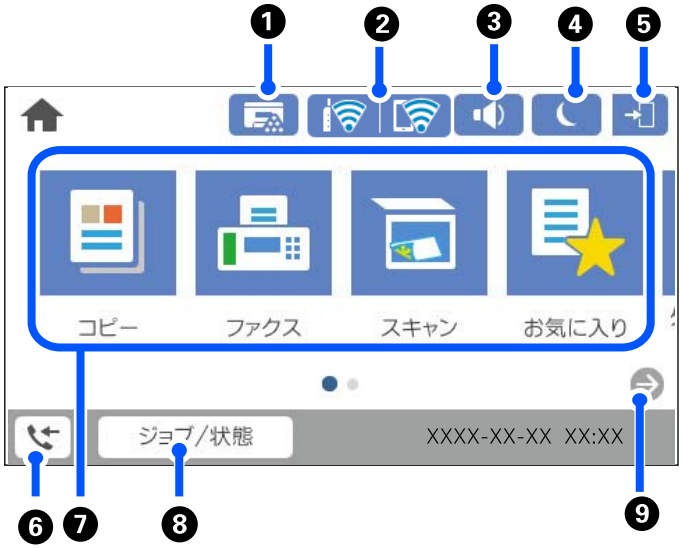
❶	電源を入/切します。 電源コードを抜くときは、電源ランプが消灯していることを確認してから抜いてください。
❷	ホーム画面を表示します。
❸	［利用者制限］が有効なときは、プリンターからログオフします。 ［利用者制限］が無効のときは、このアイコンも無効になっています。
❹	［ヘルプ］画面を表示します。困ったときの対処方法やプリンターの基本操作手順が確認できます。
❺	実行中のジョブを中断して、他のジョブを割り込んで実行します。割り込み動作終了後に押すと、中断した動作を再開します。
❻	操作中の設定を変更前の状態に戻します。ユーザーデフォルト設定がされてないときは、購入時の設定に戻します。
❼	［アドレス帳］検索画面を表示します。アドレスを登録、編集、および削除できます。
❽	コピー部数などの数値設定をクリアします。
❾	数字やアルファベット、記号を入力します。
❿	［ジョブ/状態］メニューを表示します。プリンターの状態やジョブ履歴が確認できます。 エラーランプ（左）はエラー発生時に点滅または点灯します。 データランプ（右）はデータ処理中に点滅します。待機中のジョブがあると点灯します。
⓫	［用紙設定］画面を表示します。給紙装置ごとに用紙のサイズと用紙の種類が設定できます。
⓬	現在実行中の動作を中止します。
⓭	項目やメッセージを表示します。 操作パネルの角度は変更できます。一定の時間以上操作しないとスリープモードになり、表示が消えます。タッチパネルをタップすると復帰します。設定によっては、操作パネルのボタンを押すことにより、スリープモードから元の明るさに復帰します。
⓮	前の画面に戻ります。
⓯*	未処理（未読や印刷してない、未保存など）の受信文書があるときに点灯します。

*　LP-M8180Fのみ対応

タッチパネル使用上のご注意

- パネルは指でタッチしてください。
- ボールペンやシャープペンシルなどの先のとがったもので操作しないでください。パネルを傷付けるおそれがあります。
- パネルが汚れたら柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた溶液に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、その後乾いた柔らかい布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどの揮発性薬品は使わないでください。パネルの表面を傷めることがあります。
- 急激に温度、湿度が変化する環境で使用しないでください。パネル内部に結露が発生し、性能が劣化する原因になります。
- 画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。
- パネルを強く押さえつけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。パネルが割れるおそれがあります。割れてしまったときは、破片に触れたりパネルを取り外そうとしたりせず、エプソンの修理窓口にご連絡ください。

ホーム画面の見方



1		プリンター状態画面を表示します。 プリンターの状態や消耗品、定期交換部品の情報が確認できます。	
2		ネットワークの接続状態を表示します。詳しくは以下を参照してください。 「ネットワークアイコンの見方」27ページ	
3		音の設定画面を表示します。 ［ミュート］ と［通常時］を設定できます。 ［設定］ メニューからも同じ設定ができます。 ［設定］ - ［本体設定］ - ［基本設定］ - ［音の設定］	
			［ミュート］になっていることを示しています。

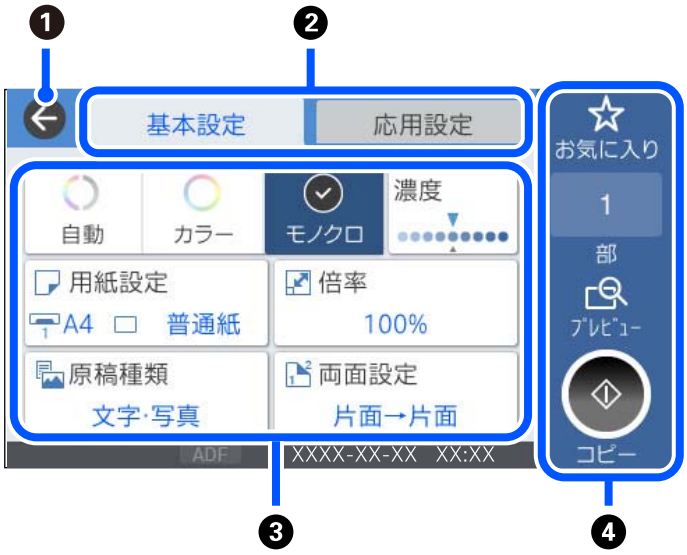
❹		アイコンを選択すると、スリープモードに移行します。
❺		利用者が制限されていることを示します。アイコンを選択するとログオン画面が表示されます。ユーザー名を選択して、パスワードを入力してください。ログオン情報は、プリンターの管理者に確認してください。 が表示されているときは、利用を許されているユーザーがログオン中です。アイコンを選択してログオフします。
❻		ファクスデータ情報画面を表示します。 表示される件数は、受信してから未処理(未読や未出力)となっているファクスの件数になります。
❼	各メニューが表示されます。 • コピー 文書をコピーできます。 • ファクス ファクスを送信できます。 • スキャン 文書をスキャンして外部メモリーやコンピューターに保存できます。 • お気に入り コピーやファクス、スキャンでよく使う設定値をお気に入りとして登録できます。 • 外部メモリーから印刷 プリンターにセットしたUSBメモリーなどの外部メモリー内のJPEGやTIFF、PDFデータを印刷します。 • ファクスボックス 受信した文書の保存や送信する文書の蓄積、受信側の操作で送信（ポーリング送信）する文書の蓄積ができます。 • 本体メモリーからの印刷 プリンタードライバーから送信したジョブを一旦プリンター本体に保存してから印刷します。パスワード印刷や複数部印刷するときの試し印刷ができます。 • 本体情報を送信 プリンター情報（個人情報は除く）を送信します。コールセンターに電話をかけたときに、オペレーターの指示に従って選択してください。 • 設定 プリンターのお手入れやいろいろな機能、動作に関する設定ができます。		
❽	ジョブ/状態	実行中や実行待ちのジョブ数を表示します。タップするとジョブの内容や受付時間、ユーザー名などの一覧が表示されます。表示される件数は、現在溜まっているジョブ件数になります。
❾		画面を右にスクロールします。

ネットワークアイコンの見方

	有線LAN非接続、ネットワーク未設定
	有線LAN接続中
	無線LAN（Wi-Fi）無効
	SSID検索中、IPアドレス未設定、電波強度が0または弱い

	無線LAN（Wi-Fi）接続中 線の数は電波の状態を示します。線の数が多いほど、電波の状態は良好です。
	Wi-Fi Direct（シンプルAP）接続無効
	Wi-Fi Direct（シンプルAP）接続有効

メニュー画面の見方



❶	前の画面に戻ります。	
❷	設定項目の一覧をタブで切り替えます。［基本設定］タブでは、よく使われる設定項目が表示されます。［応用設定］タブでは、必要に応じて設定する項目が表示されます。	
❸	設定項目の一覧が表示されます。 が表示されているときは、 を選択すると補足情報を確認できます。設定値を選択するか、チェックを付けて設定します。ユーザーデフォルト設定や出荷時の設定から変更した項目には、 が表示されます。 グレー表示の項目は設定できません。選択すると、設定できない理由が確認できます。 項目に問題がある場合は、 が表示されます。 を選択すると、対処方法を確認できます。	
❹	現在の設定で操作を実行します。表示される項目はメニューによって異なります。	
	お気に入り	お気に入りリストを表示します。現在の設定をお気に入りとして登録したり、登録したお気に入りの読み込みができます。
	部	数字をタップするとキーパッド画面が表示されて、部数を入力できます。
	プレビュー	印刷やコピー、スキャン、ファクス送信、などの前にイメージを確認できます。
	◇	印刷やコピー、スキャン、ファクス送信を開始します。

ジョブ/状態メニュー画面の見方

ボタンを押してジョブ/状態メニューを表示します。プリンターの状態やジョブの確認ができます。

❶	表示するリストを切り替えます。
❷	機能別にジョブを絞ります。
❸	［実行中］のリストでは、実行中または予約中のジョブを表示します。 ［履歴］のリストでは、ジョブ履歴を表示します。 ジョブのキャンセルや、失敗したジョブのエラーコードを履歴で確認できます。
❹	交換品情報画面を表示します。 消耗品の状態が確認できます。
❺	増設用スロットを使用しているときは、タブを切り替えるとオプションの状態が表示されます。詳しくは関連情報をご覧ください。 プリンターに発生したエラーを表示します。エラーメッセージを表示させるには、リストからエラーを選択してください。

関連情報

➡ 「オプション一覧」317ページ
➡ 「ジョブ確認メニューにエラーコードが表示された」255ページ

ジョブ予約

コピーや印刷中でも、ADFや原稿台を使っていないときには、ジョブを予約できます。

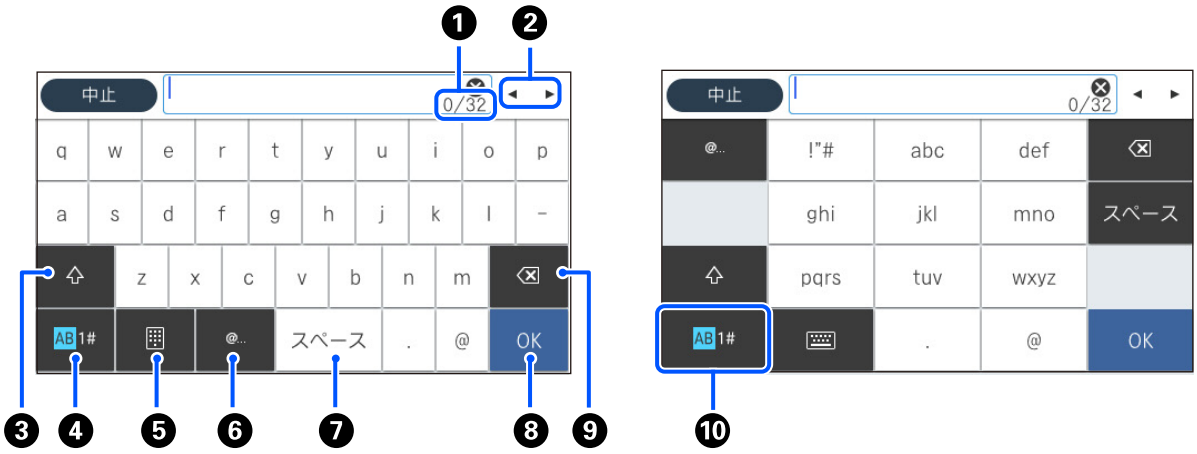
予約には特別な操作は不要です。通常の操作で◇を選択すると、実行中のジョブが終わり次第印刷されます。

予約できるジョブの種類は以下の通りです。実行中のジョブを含めて100件まで予約できます。

- 印刷
- コピー
- ファクス送信

文字入力の仕方

ネットワーク設定のパスワード入力などでは、キーボード画面で文字を入力します。



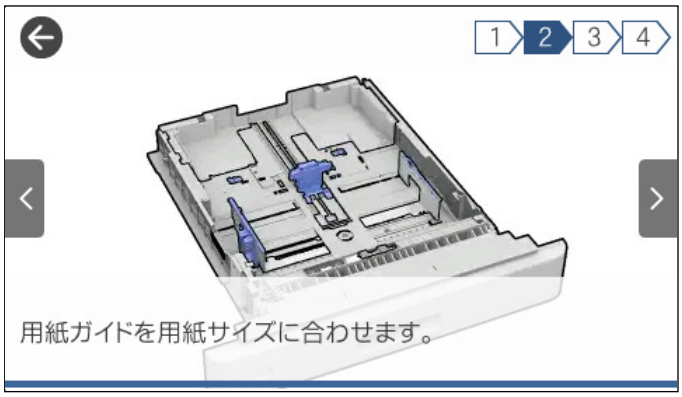
❶	入力済みの文字数/入力可能な最大文字数
❷	カーソル（入力位置を示す縦棒）を移動します。
❸	アルファベットの大文字と小文字を切り替えます。
❹	文字種を切り替えます。 AB: アルファベット 1#: 数字と記号
❺	キーボードの種類を切り替えます。
❻	メールアドレスやURLでよく使われるドメイン名（@やwww.の後）を表示します。ドメイン名を選択するだけで簡単に入力できます。
❼	スペースを入力します。
❽	入力した文字を確定します。
❾	カーソル（入力位置を示す縦棒）の左側の1文字を削除します。カーソルが先頭にある場合（左側に文字がない場合）は、右側の1文字を削除します。
❿	文字種を切り替えます。 AB: アルファベット 1#: 数字と記号

操作手順を動画で見る

印刷用紙のセットや詰まった用紙の取り除き方は、操作パネルの画面で表示される動画で確認できます。

- ⓘを選択する: ヘルプ画面が表示されます。［操作方法が知りたい］を選択して、見たい項目を選択します。

- 操作中の画面下部に表示される［操作方法を見る］を選択する：状況に応じた動画が表示されます。



用紙のセット

用紙取り扱い上のご注意 33

用紙サイズと用紙種類の登録 34

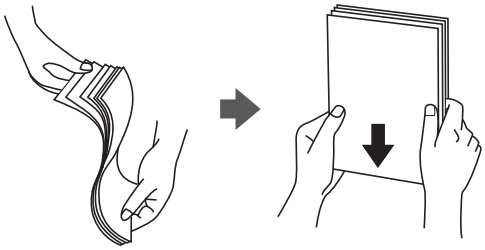
用紙のセット 34

排紙の設定 37

用紙取り扱い上のご注意

用紙

- 印刷できる用紙とセット枚数を確認してください。
- 用紙を複数枚セットするときは、よくさばいて紙粉を落とし、側面を整えてください。



- 用紙が反っているときは、反りと反対に丸めるなどして平らにしてください。

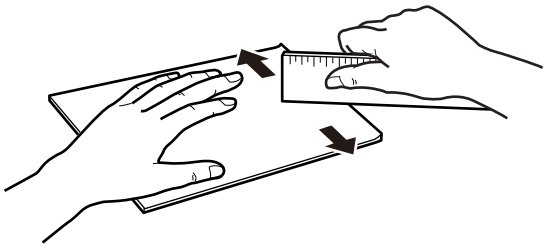
封筒

- 封筒の紙種、保管および印刷環境、印刷方法によっては、しわが目立つことがありますので、事前に試し印刷することをお勧めします。
- 封筒が正しく給紙されない場合は、セット枚数を減らすと正しく給紙されることがあります。
- 封筒の先端を手差しトレイの奥までしっかりセットしても給紙されないときは、封筒の先端が下向きに反っていないか確認してください。反っているときは、反りを直してからセットしてください。

ハガキ

- 大きく反っているハガキは、反りを修正してからお使いください。
- 絵入りハガキを給紙すると、絵柄裏移り防止用の粉が給紙ローラーに付着して給紙できなくなることがあります。
- 両面に印刷するときは、良好な印刷結果を得るために、きれいに印刷したい面を先に印刷してください。
- 設定した位置に印刷されなかったり、用紙が二重送りされてしまうときは、用紙を1枚ずつセットして印刷してください。
- ハガキの先端を手差しトレイの奥までしっかりセットしても給紙されないときは、先端を数ミリ上に反らせてセットしてください。

- ハガキの断面に、裁断時にできた「バリ」があるときは、除去してください。ハガキを水平な場所に置き、定規などを「バリ」がある部分に垂直に当てて矢印方向に1～2回こすると除去できます。また、バリを除去した後は、紙粉をよく払ってから給紙してください。紙粉は給紙不良の原因となります。

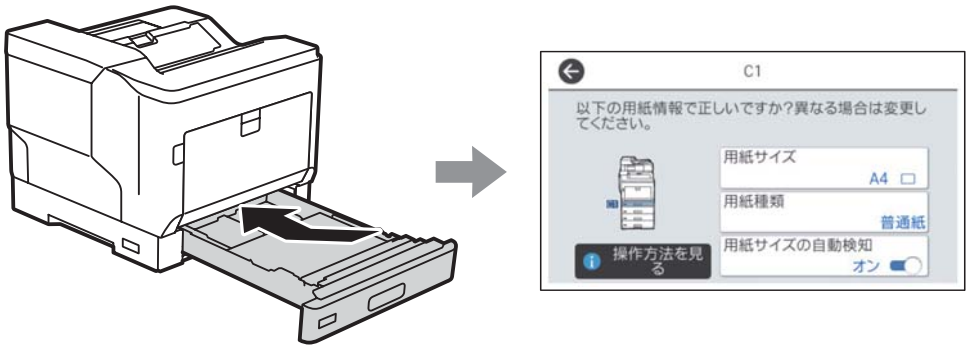


関連情報

➡ 「印刷できない用紙」363ページ

用紙サイズと用紙種類の登録

用紙セット時にプリンターに表示される画面で、用紙サイズ・種類を登録します。登録情報と印刷設定が異なるときにプリンターがお知らせします。サイズを間違って印刷してしまったり、用紙種類に合った印刷ができず定着不良や給紙不良が起きたりすることを防ぎ、用紙やトナーを無駄にせずに済みます。

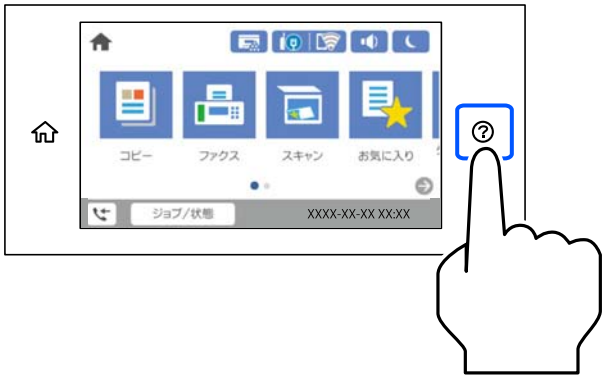


参考　用紙サイズと用紙種類の設定画面は、操作パネルの▬ボタンを押しても表示できます。

用紙のセット

プリンターの画面に表示される動画を見ながら、用紙をセットできます。

を選択して、 操作方法が知りたい-［印刷用紙のセット］を選択します。使用したい用紙の種類や給紙装置を選択して、動画を表示します。



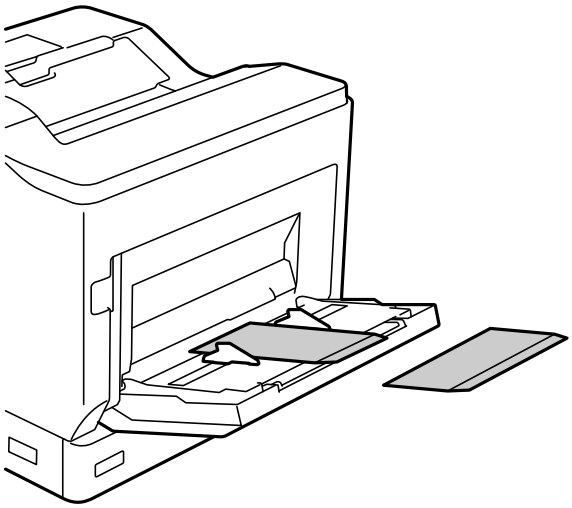
！重要

- 用紙カセットは、2段以上同時に引き出さないでください。不安定な状態になって本体が倒れるなどの可能性があります。
- 印刷中は、用紙カセットを引き出さないでください。
- 用紙カセットを勢いよく押し込まないでください。用紙がずれて、斜め送りや紙詰まりになるおそれがあります。
- 最大セット容量を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できないことがあります。
- コート紙は手差しトレイに1枚ずつセットして印刷してください。
- 用紙ガイドは、セットする用紙サイズに必ず合わせてください。用紙サイズが合っていないと、給紙不良や紙詰まり、エラーの原因となります。
- 用紙種類が正しく設定されていないと、印刷不良の原因になります。
- 定形紙以外の用紙に印刷するときは、必ずプリンタードライバーの ユーザー定義サイズ (Windows) / ［管理(Mac OS)］で用紙サイズを指定してください。サイズの異なる用紙を選択し続けると、プリンター内部の定着器が損傷することがあります。

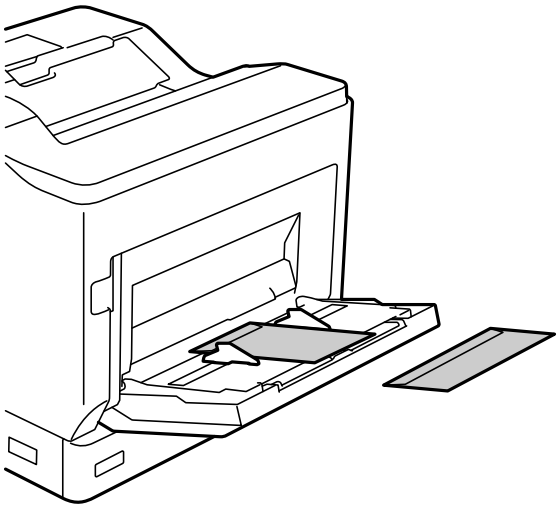
封筒のセット

印刷する面を下にして封筒をセットします。

- 封筒のふたを開いた場合
  プリンターに向かって、ふた部が手前側になるようにセットします。このセット方法を推奨します。
  封筒のふたを開いた状態で後端をセットする場合、プリンタードライバーの［応用設定］タブで［180度回転］を選択します。(Windows)

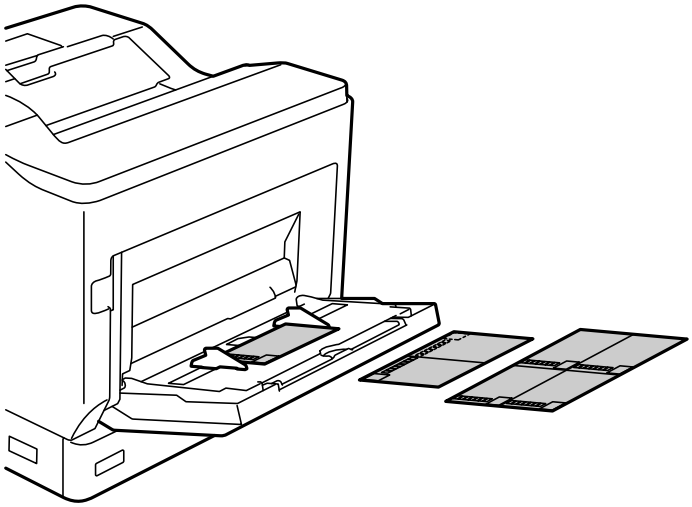


- 封筒のふたを閉じた場合
  プリンターに向かって、ふた部が奥側になるようにセットします。



ハガキのセット方法

印刷する面を下にして手差しトレイの中央にセットし、用紙ガイドをハガキに合わせてください。



参考　両面に印刷するときは、良好な印刷結果を得るために、きれいに印刷したい面を先に印刷してください。

排紙の設定

印刷済みの面を下（フェイスダウン）にして排紙します。A4サイズ普通紙で250枚まで排出できます。縦置きと横置きができる用紙（A4/Letter）は、排紙方向が変えられます。また、部単位印刷時には1部ずつ縦横交互に排紙することもでき、束ねる作業が楽になります。

排紙方向を指定する

1. 手差しトレイに用紙をセットした場合は、操作パネルで用紙のサイズ（向き）を設定します。

   設定項目：用紙サイズ

   設定値：A4 ▯, A4 ▭, Letter ▯, Letter ▭

2. プリンタードライバーで排紙方向を指定します。

   Windows：［基本設定］ - ［排紙設定］

   Mac OS: ［印刷設定］ - 排紙方向

   ［方向を変えて排紙］を選択すると、標準（A4 横／Letter 横）とは異なる向きでセットしてある給紙装置の用紙に印刷して排紙します。

1部ずつ縦横交互に排紙する

1. A4（またはLetter）サイズの用紙を、給紙方法紙装置の1つに横置き、もう1つの装置に縦置きでセットします。

2. 手差しトレイに用紙をセットした場合は、操作パネルで用紙のサイズ（向き）を設定します。
   設定項目：用紙サイズ
   設定値：A4 ▯, A4 ▭, Letter ▯, Letter ▭

3. プリンタードライバーの［部単位で印刷］をチェックし、給紙方法を［自動選択］に設定します。
   Windows：［基本設定］ - ［給紙方法］
   Mac OS: ［印刷設定］ - ［給紙方法］

4. 排紙設定で［1部ずつ縦横交互に排紙］を選択します。
   Windows：［基本設定］ - ［排紙設定］
   Mac OS: ［印刷設定］ - ［排紙方向］

5. 部数を指定して印刷します。

原稿のセット

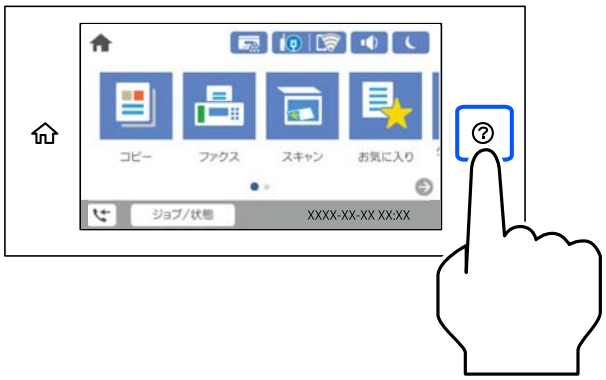
原稿のセット 40

自動検知できる原稿サイズ 41

ADFにセットできない原稿 42

原稿のセット

原稿は原稿台またはADFにセットします。
複数の原稿はADFにセットできます。自動両面読取対応の場合、両面の原稿を一度の操作でスキャンできます。自動両面読取が対応かどうかは、以下のADFの仕様を参照してください。
「ADF機能」405ページ
セット方法は、以下の手順で動画をご覧ください。
?を選択して、［操作方法が知りたい］ > ［原稿のセット］を選択します。知りたい原稿セット方法を選択します。

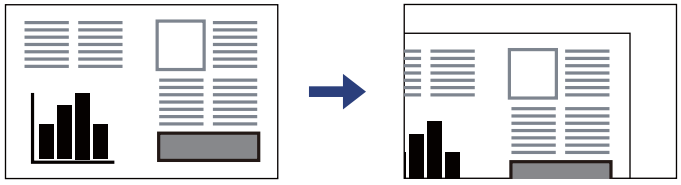


原稿台を使用するとき

⚠注意　原稿カバーを開閉するときは、手や指を挟まないように注意してください。けがをするおそれがあります。

!重要

- 厚みのある原稿（本など）を読み取るときは、原稿台に照明などの光が直接入らないようにしてください。
  原稿サイズが自動で検出できないことや、光が強いとコピーやスキャンした結果が白くなることがあります。
- 原稿台に強い力をかけないでください。破損するおそれがあります。
- 原稿を強く押さえつけないでください。強く押さえつけると、読み取った画像にシミやムラ、斑点が出ることがあります。
- 折り跡やしわがある原稿は、折り跡やしわを伸ばし、原稿台に密着するようにセットしてください。
  原稿台に原稿が密着していない部分の画質がぼやける場合があります。
- 原稿台にゴミや汚れがあると、それを含めた範囲がスキャンされるため、位置が大きくずれたり画像が小さくなったりします。読み取り前に、ゴミや汚れを取り除いてください。



- スキャンが終了したら、原稿を取り除いてください。原稿台に貼り付くことがあります。

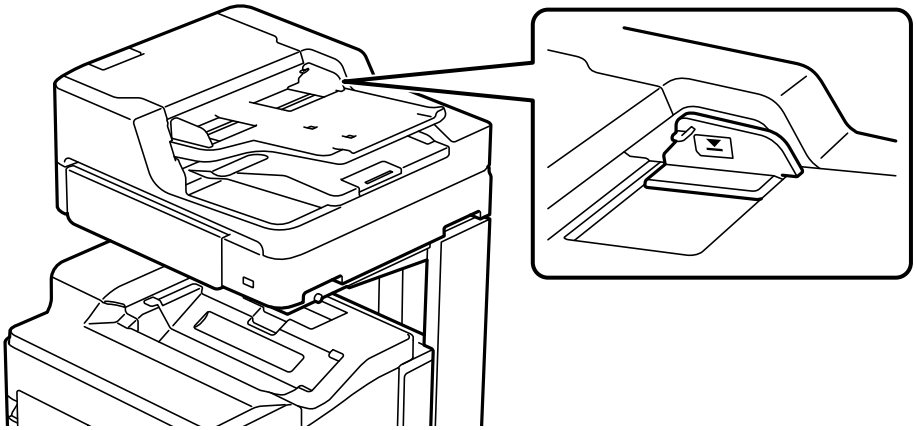
参考

- 原稿台の隅から約1.5mmの範囲はスキャンできません。
- ADFと原稿台の両方に原稿がセットされているときは、ADFのスキャンが優先されます。
- 自動検知されない原稿サイズがあります。その場合は手動で原稿サイズを選択してください。

ADFを使用するとき

!重要

- ADF原稿ガイドの三角マーク下の線を越えてセットしないでください。



- スキャン中に原稿を追加しないでください。

参考

- A4より小さい原稿は、ADFの給紙口に長辺が差し込まれる向きでもセットできます。
- 自動検知されない原稿サイズがあります。その場合は手動で原稿サイズを選択してください。

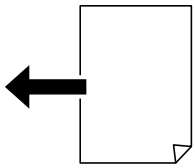
関連情報

➡ 「ADFにセットできない原稿」42ページ
➡ 「自動検知できる原稿サイズ」41ページ
➡ 「スキャン機能」407ページ

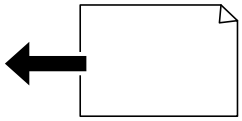
自動検知できる原稿サイズ

原稿サイズの設定を［自動検知］にすると、以下のサイズが自動で検知されます。

- 縦置き：A4、B5、A5
  原稿の長辺を、ADFの給紙口または原稿台の左側に向けてセットします。



- 横置き：A3、B4、A4、B5、A5（原稿台のみ）
  原稿の短辺を、ADFの給紙口または原稿台の左側に向けてセットします。



参考 以下の原稿はサイズが正しく検知されないことがあります。原稿サイズが自動検知されないときは、操作パネルで原稿サイズを設定してください。

- 折り目、反り（カール）、しわ、破れのある用紙（原稿が反っている場合は、反りを直してセットしてください）
- ルーズリーフの多穴原稿
- 透明紙（OHP シートなど）、半透明紙、光沢紙

ADFにセットできない原稿

！重要 写真や、貴重な原稿はADFにセットしないでください。給紙エラーによって、原稿にしわが入ったり損傷したりすることがあります。原稿台を使ってスキャンしてください。

以下のような原稿は原稿台にセットしてください。ADFにセットすると紙詰まりの原因になります。

- 折り跡やしわがある、破れている、劣化している、反っている原稿
- ルーズリーフや穴の開いた原稿
- のりやホチキスの針、クリップなどが付いている原稿
- シールやラベルなどが貼られている原稿
- 形が不規則、裁断角度が直角でない原稿
- とじられて（製本されて）いる原稿
- 透明や半透明な原稿（OHPシートなど）、感熱紙やノーカーボン紙、裏カーボンのある原稿
- 印刷直後の原稿（乾燥していない、熱を持っている、など）
- クリアファイル

外部メモリーのセットと取り外し

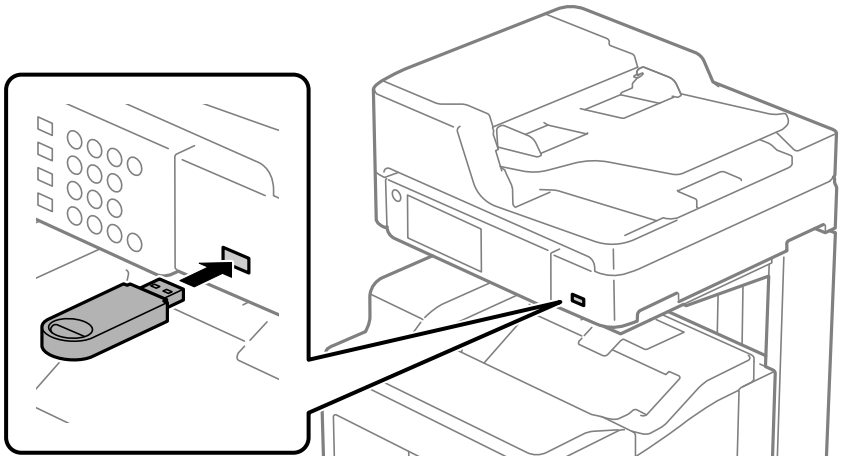
USB接続機器をセットする 44

USB接続機器を取り外す 44

外部メモリーのデータを共有する 45

USB接続機器をセットする

外部機器接続用USBポートにUSB接続機器をセットします。

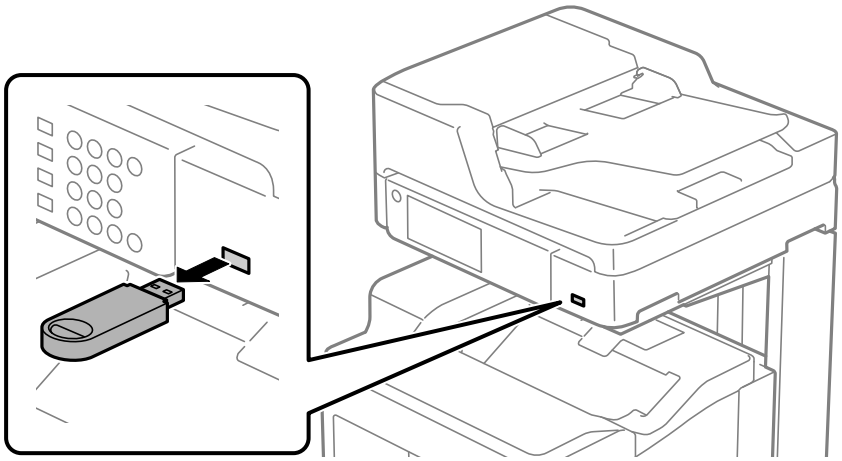


関連情報

➡ 「対応外部メモリーの仕様」412ページ

USB接続機器を取り外す

USB接続機器を取り外します。



!重要 動作中にUSB接続機器を取り外すと、保存されているデータが壊れることがあります。

外部メモリーのデータを共有する

プリンターにセットされたUSB接続機器などの外部メモリーに、コンピューターからアクセスしてデータを書き込んだり読み込んだりできます。

！重要 USB接続とネットワーク接続されたコンピューターでプリンターにセットした外部メモリーを共有する場合、優先設定された接続方法のコンピューターからのみデータの書き込みができます。外部メモリーに書き込むときは、プリンターの操作パネルで［設定］-［本体設定］-［プリンター設定］-［外部メモリー設定］-［ファイル共有］を選択し、優先する接続方法を選択してください。

参考 HDDが接続可能な機種で、2TBのHDDなど大容量の外部メモリーをファイル共有すると、コンピューターから認識するのに時間がかかることがあります。

Windows

［コンピューター］（または［マイコンピューター］）で対象の外部メモリーを選択します。外部メモリーのデータが表示されます。

参考 付属のソフトウェアディスクやWeb Installerを使わずにプリンターをネットワーク接続した場合は、プリンターの外部機器接続用USBポートをネットワークドライブとして割り当てます。［ファイル名を指定して実行］を起動し、［名前］に\\XXXXX（プリンター名）または\\XXX.XXX.XXX.XXX（プリンターのIPアドレス）を入力します。表示されたデバイスアイコンを右クリックしてネットワークドライブの割り当てをしてください。割り当てたネットワークドライブは、［コンピューター］（または［マイコンピューター］）内に表示されます。

Mac OS

対象のデバイスアイコンを選択します。外部メモリーのデータが表示されます。

参考
- 外部メモリーを取り出すときは、デバイスアイコンをゴミ箱にドラッグ＆ドロップします。これをせずに取り出すと、別の外部メモリーをセットしたときに、共有ドライブの内容が正常に表示されないことがあります。
- 外部メモリーにネットワーク経由で接続するときは、デスクトップのメニューから［移動］-［サーバへ接続］の順に選択します。サーバアドレス欄にcifs://XXXXXXまたはsmb://XXXXX（「XXXXX」はプリンター名）を入力して［接続］をクリックします。

関連情報

➡ 「対応外部メモリーの仕様」412ページ

印刷

文書を印刷する 47

ハガキ、年賀状、封筒に印刷する 96

写真を印刷する 98

ウェブページを印刷する 101

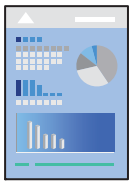
クラウドサービスで印刷する 102

文書を印刷する

コンピューターから文書を印刷する（Windows）

プリンタードライバーの設定が変更できないときは、管理者によって使用できる機能が制限されている可能性があります。管理者に問い合わせてください。

簡単な設定で印刷する



参考　アプリケーションソフトによって操作が異なります。詳しくはアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

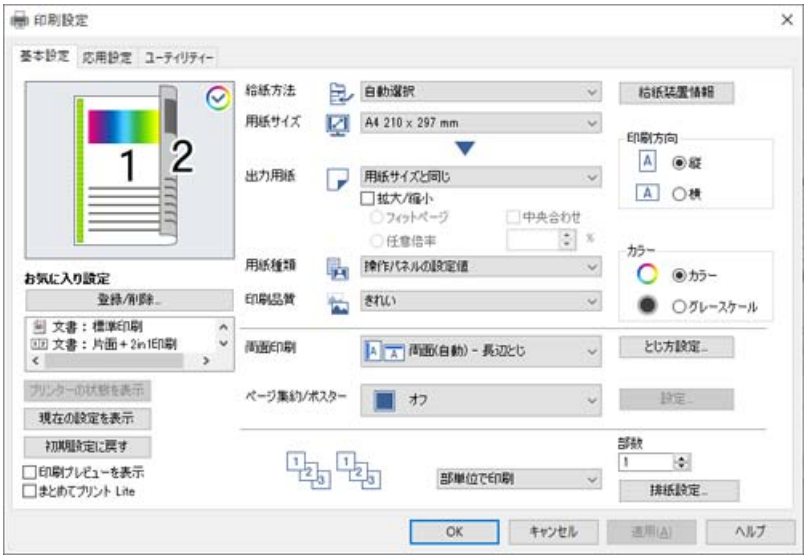
1. プリンターに用紙をセットします。
「用紙のセット」34ページ

2. 印刷するファイルを開きます。

3. ［ファイル］メニューの［印刷］（または［プリント］など）を選択します。

4. プリンターを選択します。

5. ［プロパティ］（または［詳細設定］など）をクリックして、プリンタードライバー（詳細な印刷設定）の画面を表示させます。



6. 必要に応じて設定を変更します。

各項目の詳細は、プリンタードライバーのメニュー説明をご覧ください。

参考
- 各項目の説明は、プリンタードライバーのヘルプでも確認できます。項目上で右クリックすると［ヘルプ］が表示されます。
- 自動で両面印刷できない用紙の裏面印刷は手動で行います（ラベル紙への裏面印刷は不可）。裏面印刷時は、［用紙種類］で（裏面）を選択してください。
- 片面印刷する場合は［両面印刷］の項目を［オフ］にします。
- ［印刷プレビューを表示］にチェックすると、印刷を開始する前に印刷イメージを確認できます。

7. ［OK］をクリックしてプリンタードライバーの画面を閉じます。

8. ［印刷］をクリックします。

参考 コンピューターから印刷を中止したい場合は、［デバイスとプリンター］（または［プリンタ］、［プリンタとファクス］）で、お使いのプリンターを右クリックします。［印刷ジョブの表示］をクリックし、中止するジョブ上で右クリックして、［キャンセル］を選択します。ただし、送信終了した印刷ジョブはコンピューターからは中止できません。プリンターの操作パネルから中止してください。

関連情報

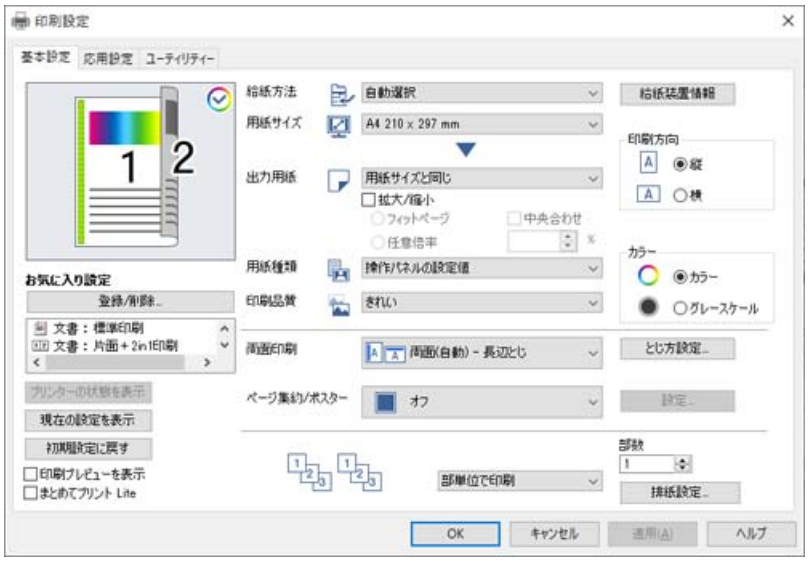
➡ 「印刷できる用紙とセット枚数」360ページ
➡ 「プリンタードライバーのメニュー説明」48ページ

プリンタードライバーのメニュー説明

アプリケーションソフトの印刷画面を開き、プリンターを選択して印刷設定画面を表示します。

参考 項目は選択した内容によって異なります。

基本設定タブ



お気に入り設定:

登録/削除:
多用する設定の登録や削除ができます。登録した設定は、リストから選択することで使用できます。

プリンターの状態を表示：

EPSON ステータスモニタが起動して、プリンターの状態を表示します。この機能を有効にするにはEPSON ステータスモニタをインストールする必要があります。エプソンのウェブサイトからダウンロードできます。
www.epson.jp/support/

現在の設定を表示/現在の設定を非表示:

［基本設定］タブや［応用設定］ タブで設定されている項目を一覧で表示します。現在の設定一覧画面を表示、または非表示にすることができます。

初期設定に戻す:

設定を初期状態に戻します。初期化は、［応用設定］タブにも適用されます。

印刷プレビューを表示:

印刷を開始する前に印刷イメージを表示します。

まとめてプリント Lite：

異なるアプリケーションソフトで作成した複数の文書を1つの印刷ジョブにまとめて印刷します。

給紙方法:

どの給紙装置から給紙するかを選択します。［自動選択］にしておくと、プリンターの用紙設定と一致する給紙装置を自動で選択します。

用紙サイズ：

出力する用紙サイズを選択します。［ユーザー定義サイズ］は、用紙の幅と長さを入力し、任意のサイズを登録することができます。

出力用紙:

出力する用紙サイズを選択します。［用紙サイズ］と［出力用紙］のサイズが異なるときは、［拡大/縮小］が自動で選択されます。拡大、縮小印刷をしないときは、選択する必要はありません。

拡大/縮小:

拡大、縮小印刷を有効にします。

フィットページ:

［出力用紙］のサイズに合わせて自動で拡大、縮小印刷します。

任意倍率:

任意の倍率で拡大、縮小印刷します。

中央合わせ:

用紙の中央にデータを印刷します。

用紙種類：

印刷する用紙の種類を選択します。［操作パネルの設定値］を選択すると、プリンターの給紙装置設定で用紙種類を以下に設定した給紙装置から印刷されます。
普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき、プレプリント、上質紙、厚紙1(106～163g/m²)、厚紙2(164～216g/m²)、ラベル、ユーザー専用紙
ただし、プリンターの［給紙口自動選択］で給紙装置がオフになっている給紙装置からは給紙されません。

印刷品質：

印刷したい品質を選択します。用紙の種類によって選択肢が異なります。［詳細設定］は、任意で品質を設定できます。

給紙装置情報：

プリンターの各給紙装置に設定された用紙情報を表示します。

印刷方向：

印刷の向きを選択します。

カラー:

カラー印刷かモノクロ印刷かを選択します。

両面印刷：

両面印刷を有効にします。

とじ方設定：

出力紙をとじるときの位置や、とじしろの幅を設定します。複数ページを印刷するときは、1ページ目を裏面（片面）から印刷するかを選択できます。

ページ集約/ポスター:

割り付け印刷やポスター印刷を有効にします。［設定］では、ページの配置順などが設定できます。

部単位で印刷/ページ単位で印刷：

複数ページの文書を部単位で印刷するには［部単位で印刷］を選択します。

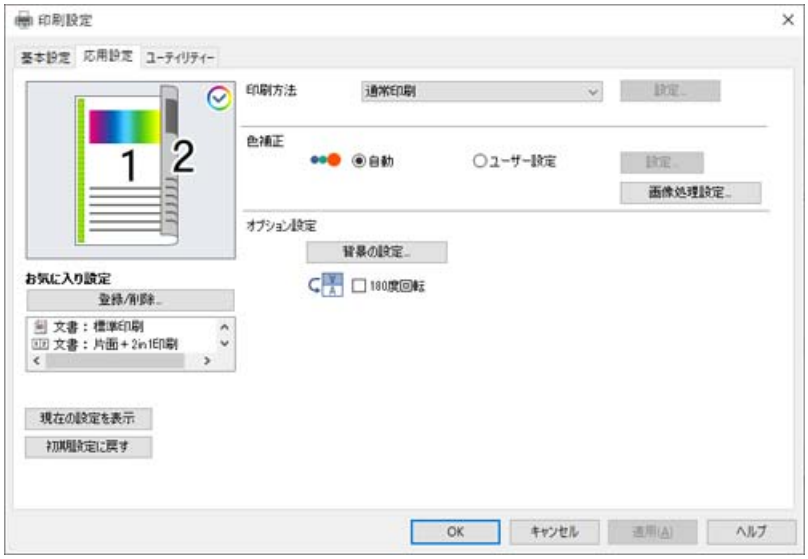
部数：

印刷する部数を設定します。

排紙設定：

横置きと縦置きができる用紙の排紙方向が指定できます。

応用設定タブ



お気に入り設定:

登録/削除:
多用する設定の登録や削除ができます。登録した設定は、リストから選択することで使用できます。

現在の設定を表示/現在の設定を非表示:

［基本設定］タブや［応用設定］ タブで設定されている項目を一覧で表示します。現在の設定一覧画面を表示、または非表示にすることができます。

初期設定に戻す:

設定を初期状態に戻します。初期化は、［基本設定］タブにも適用されます。

印刷方法：

［パスワード印刷］を選択してパスワードを設定すると、プリンターでパスワードを入力するまで印刷されません。［パスワード設定］で、入力した内容の変更ができます。

色補正：

自動：

画像などの色を自動で補正して印刷します。

ユーザー設定：

画像などの色を手動で補正して印刷します。［設定］をクリックすると色補正画面が開き、色補正の詳細な方法が選択できます。［画像処理設定］をクリックするとカラーユニバーサルプリント、Webスムージング、細い線を鮮明に印刷する設定を有効にできます。

オプション設定：

背景の設定：

透かし印刷やスタンプマーク、ヘッダー/フッターの設定をします。

追加/削除：

任意の透かし印刷やスタンプマークを追加または削除できます。

設定：

透かしやスタンプマークのサイズ、濃度、位置などを設定します。

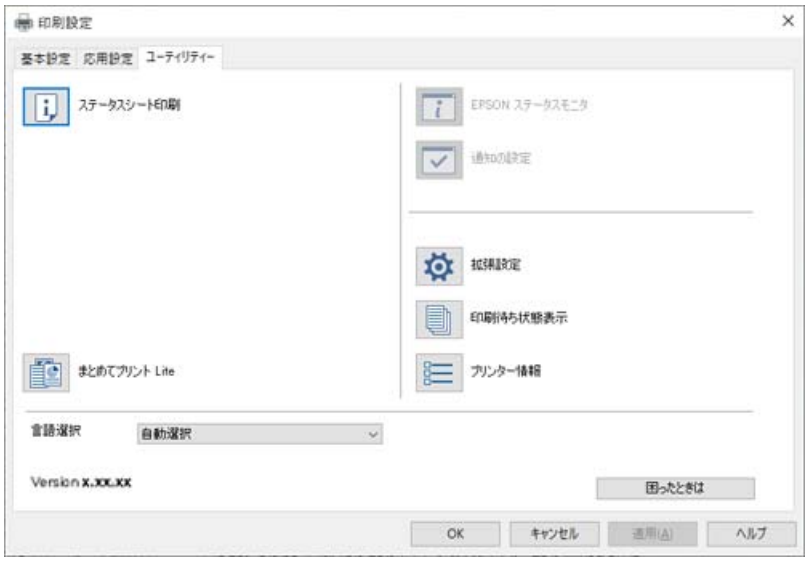
ヘッダー/フッター：

ヘッダーやフッターにユーザー名や日付などを入れて印刷できます。

180度回転：

データを180度回転して印刷します。用紙の向きを変えられないハガキや封筒に印刷するときに有効です。

ユーティリティータブ



ステータスシート印刷：

プリンター情報、消耗品情報、使用履歴のステータスシートを印刷します。

まとめてプリント Lite：

まとめてプリント Liteの画面を表示します。作業中のデータの保存や編集ができます。

EPSON ステータスモニタ：

EPSON ステータスモニタの画面を表示します。プリンターや消耗品の状態が確認できます。この機能を有効にするにはEPSON ステータスモニタをインストールする必要があります。エプソンのウェブサイトからダウンロードできます。
www.epson.jp/support/

通知の設定：

EPSON ステータスモニタの監視条件などを設定します。この機能を有効にするにはEPSON ステータスモニタをインストールする必要があります。エプソンのウェブサイトからダウンロードできます。

www.epson.jp/support/

拡張設定:

より詳細な印刷設定ができます。設定項目の詳細は、項目上で右クリックしてヘルプをご覧ください。

印刷待ち状態表示:

印刷を待っているジョブを表示します。ジョブの状況の確認や一時停止、再開などが操作できます。

プリンター情報：

プリンターやオプションの設定を確認できます。

言語選択:

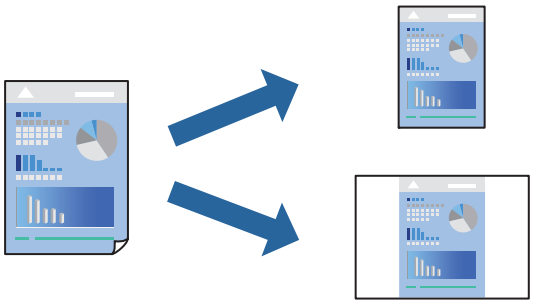
プリンタードライバーの言語を変更します。画面を開き直すと言語が変更されます。

困ったときは：

お使いのコンピューターにマニュアルがインストールされている場合は、マニュアルを表示します。インストールされていない場合は、エプソンのウェブサイトに接続してマニュアルやサポート内容が確認できます。

よく使う設定を登録して簡単に印刷する

よく使う印刷設定をプリンタードライバーに登録しておくと、リストから選択するだけで印刷できます。



1. プリンタードライバーの［基本設定］または［応用設定］タブの各項目（［用紙サイズ］や［用紙種類］など）を設定します。

2. ［お気に入り設定］の［登録/削除］をクリックします。

3. ［設定名］を入力し、必要に応じてコメントを入力します。

4. ［登録］をクリックします。

   参考　登録した印刷設定を削除するには、［登録/削除］をクリックし、リストから削除する設定名を選択して削除します。

   「基本設定タブ」48ページ
   「応用設定タブ」51ページ

5. ［印刷］をクリックします。

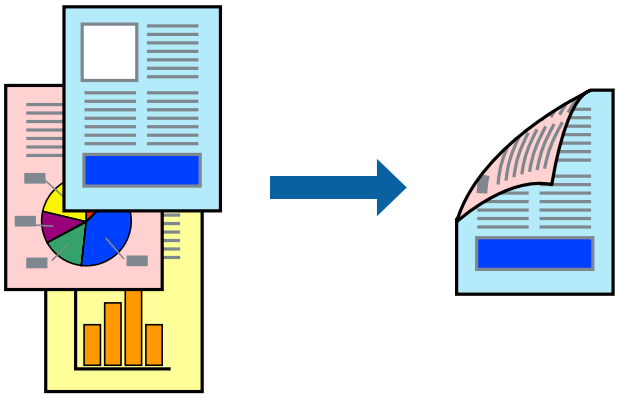
次回同じ設定で印刷するときは、［お気に入り設定］から登録した設定名を選択して、［OK］をクリックします。

関連情報

➡ 「用紙のセット」34ページ
➡ 「簡単な設定で印刷する」47ページ

両面に印刷する

用紙の両面に印刷できます。



参考
- 両面印刷に対応していない用紙は、印刷品質の低下や紙詰まりの原因になります。
  「自動両面印刷ができる用紙」363ページ
- EPSON ステータスモニタで印刷状況を確認する場合は、EPSON ステータスモニタをインストールする必要があります。エプソンのウェブサイトからダウンロードできます。
  www.epson.jp/support/

1. プリンタードライバーの［基本設定］タブの両面印刷でとじ方を選択します。

2. ［とじ方設定］をクリックし、文書タイプを設定して［OK］をクリックします。

   参考 自動で両面印刷できない用紙の裏面印刷は手動で行います（ラベル紙への裏面印刷は不可）。裏面印刷時は、［用紙種類］で（裏面）を選択してください。

3. ［基本設定］タブと［応用設定］タブの各項目を設定して［OK］をクリックします。
   「基本設定タブ」48ページ
   「応用設定タブ」51ページ

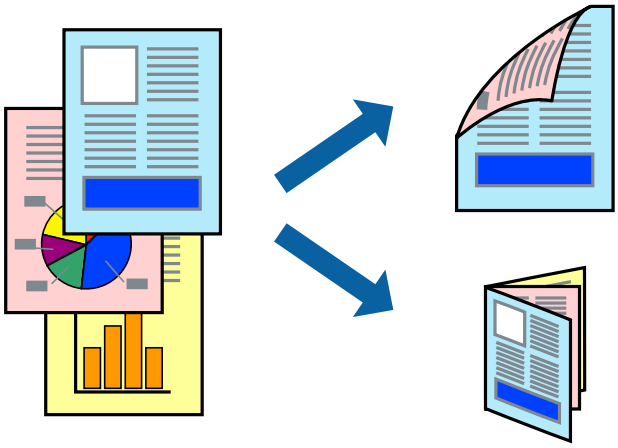
4. ［印刷］をクリックします。

関連情報

➡ 「印刷できる用紙とセット枚数」360ページ
➡ 「用紙のセット」34ページ
➡ 「簡単な設定で印刷する」47ページ

冊子になるように印刷する

用紙を折ったときに冊子になるように、ページを並べ替えて両面印刷できます。



参考

- 両面印刷に対応していない用紙を使用すると、印刷品質の低下や紙詰まりの原因になります。
  「自動両面印刷ができる用紙」363ページ
- EPSON ステータスモニタで印刷状況を確認する場合は、EPSON ステータスモニタをインストールする必要があります。エプソンのウェブサイトからダウンロードできます。
  www.epson.jp/support/

1. プリンタードライバーの［基本設定］タブの［両面印刷］で長辺とじを選択します。

2. ［とじ方設定］をクリックし、［製本］にチェックして［全ページ］または［分割する］を選択します。
   - 全ページ：ページ数が少なく、全ページを重ねて二つ折りできるときの方法です。
   - 分割する：1枚（4ページ）分ずつ印刷し、それぞれを二つ折りしてから1冊にまとめる方法です。

3. ［OK］をクリックします。

4. ［基本設定］タブと［応用設定］タブの各項目を設定して［OK］をクリックします。
   「基本設定タブ」48ページ
   「応用設定タブ」51ページ

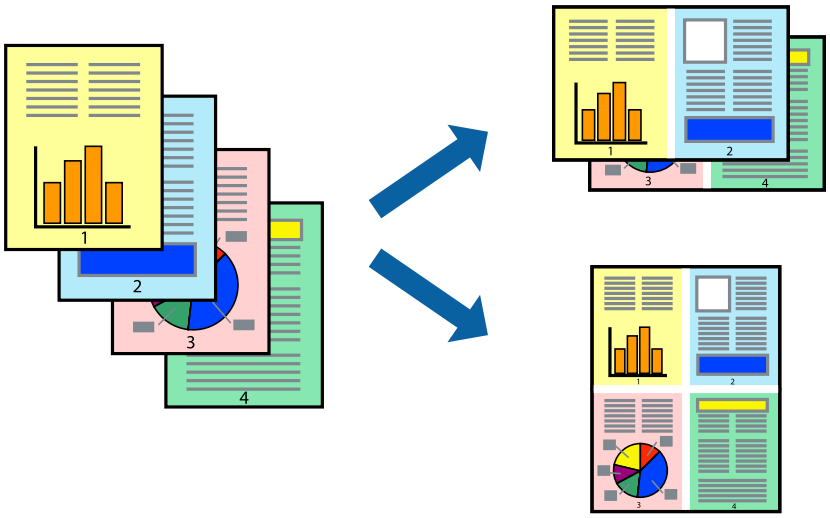
5. ［印刷］をクリックします。

関連情報

➡ 「印刷できる用紙とセット枚数」360ページ
➡ 「用紙のセット」34ページ
➡ 「簡単な設定で印刷する」47ページ

複数ページを1枚の用紙に印刷する

1枚の用紙に複数ページのデータを割り付けて印刷できます。



1. プリンタードライバーの［基本設定］タブの［ページ集約/ポスター］で［2in1］、［4in1］、［6in1］、［8in1］、［9in1］、［16in1］から割り付け方法を選択します。

2. ［設定］をクリックし、各項目を設定して［OK］をクリックします。

3. ［基本設定］タブと［応用設定］タブの各項目を設定して［OK］をクリックします。
「基本設定タブ」48ページ
「応用設定タブ」51ページ

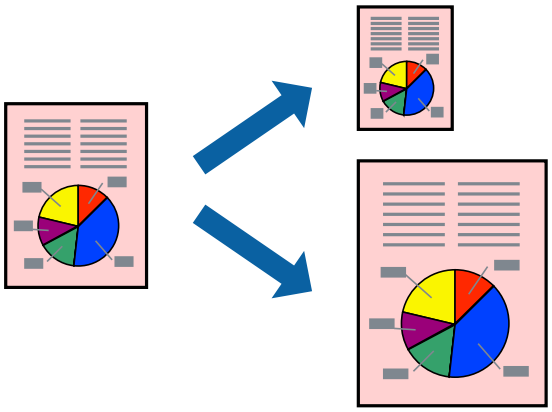
4. ［印刷］をクリックします。

関連情報

➡ 「用紙のセット」34ページ
➡ 「簡単な設定で印刷する」47ページ

用紙サイズに合わせて印刷する

プリンターにセットした用紙のサイズに合わせて印刷できます。



1. プリンタードライバーの［基本設定］タブで以下の設定をします。
   - 用紙サイズ：アプリケーションソフトで設定した用紙サイズを選択
   - 出力用紙：プリンターにセットした印刷用紙のサイズを選択
     ［フィットページ］が自動的に選択されます。

   参考　縮小した画像を用紙の真ん中に印刷するときは、［中央合わせ］をチェックします。

2. ［基本設定］タブと［応用設定］タブの各項目を設定して［OK］をクリックします。
   「基本設定タブ」48ページ
   「応用設定タブ」51ページ

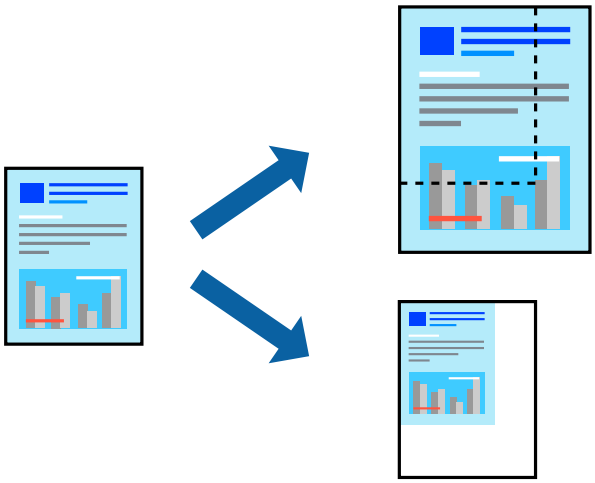
3. ［印刷］をクリックします。

関連情報

➡ 「用紙のセット」34ページ
➡ 「簡単な設定で印刷する」47ページ

任意の倍率で拡大または縮小して印刷する

任意の倍率で、拡大または縮小して印刷できます。



1. ［基本設定］タブの［用紙サイズ］から、印刷データのサイズを選択します。

2. ［出力用紙］で印刷したい用紙サイズを選択します。

3. ［任意倍率］を選択して、倍率を入力します。［出力用紙］が［用紙サイズと同じ］場合は、先に［拡大/縮小］をチェックします。

4. ［基本設定］タブと［応用設定］タブの各項目を設定して［OK］をクリックします。
   「基本設定タブ」48ページ
   「応用設定タブ」51ページ

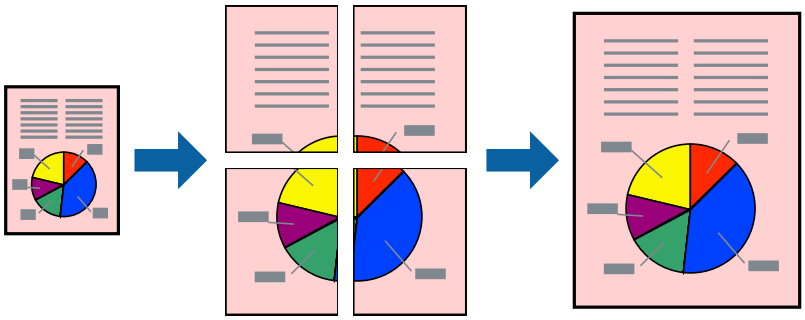
5. ［印刷］をクリックします。

関連情報

➡ 「用紙のセット」34ページ
➡ 「簡単な設定で印刷する」47ページ

1ページのデータを複数の用紙に分割して印刷する（ポスター印刷）

1ページのデータを複数の用紙に分割して印刷します。印刷した用紙を貼り合わせるとポスターのような大きな印刷物になります。



1. プリンタードライバーの［基本設定］タブの［両面印刷］から［オフ］を選択します。

2. ［ページ集約/ポスター］から［2×1 ポスター］、［2×2 ポスター］、［3×3 ポスター］、［4×4 ポスター］のいずれかを選択します。

3. ［設定］をクリックし、各項目を設定して［OK］をクリックします。

   参考　［ガイド印刷］をチェックすると、貼り合わせガイドが印刷できます。

4. ［基本設定］タブと［応用設定］タブの各項目を設定して［OK］をクリックします。

   「基本設定タブ」48ページ
   「応用設定タブ」51ページ

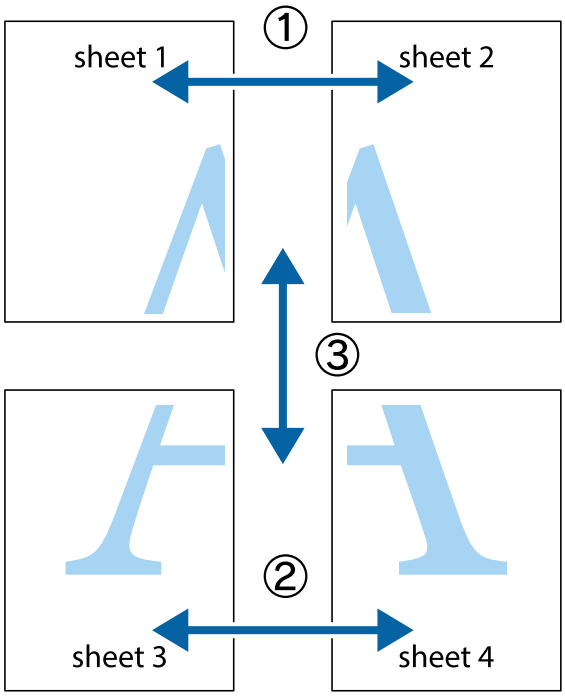
5. ［印刷］をクリックします。

関連情報

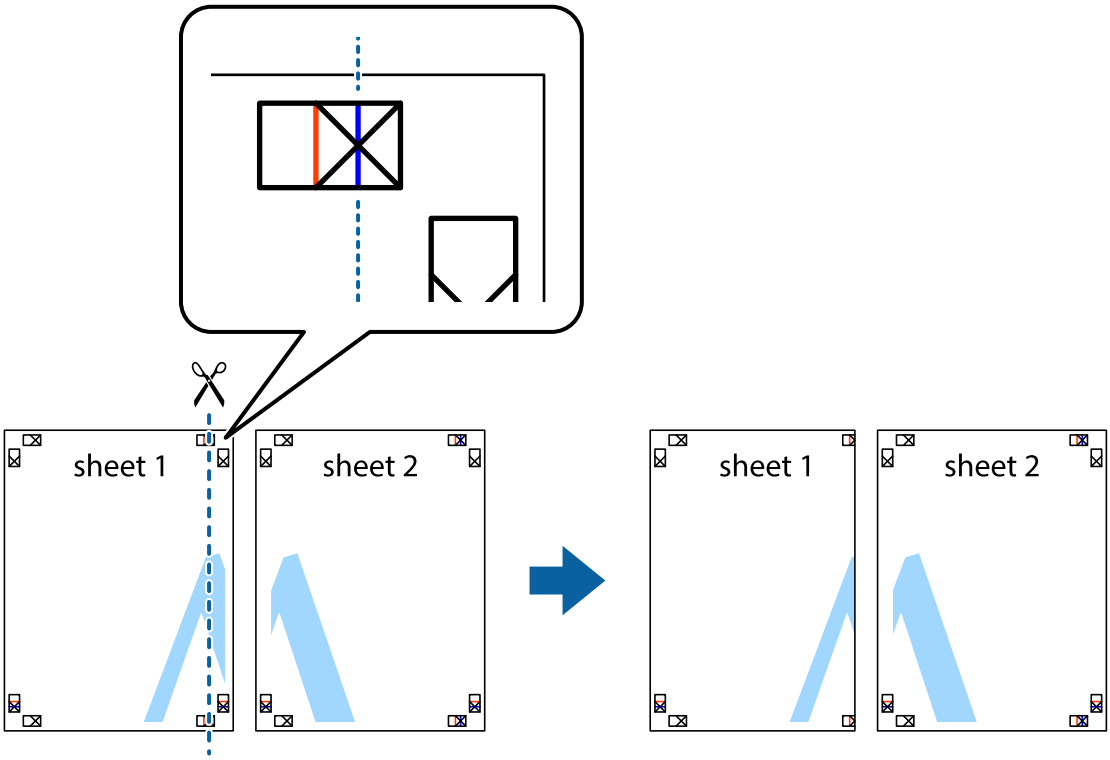
➡ 「用紙のセット」34ページ
➡ 「簡単な設定で印刷する」47ページ

用紙を貼り合わせてポスターを作る

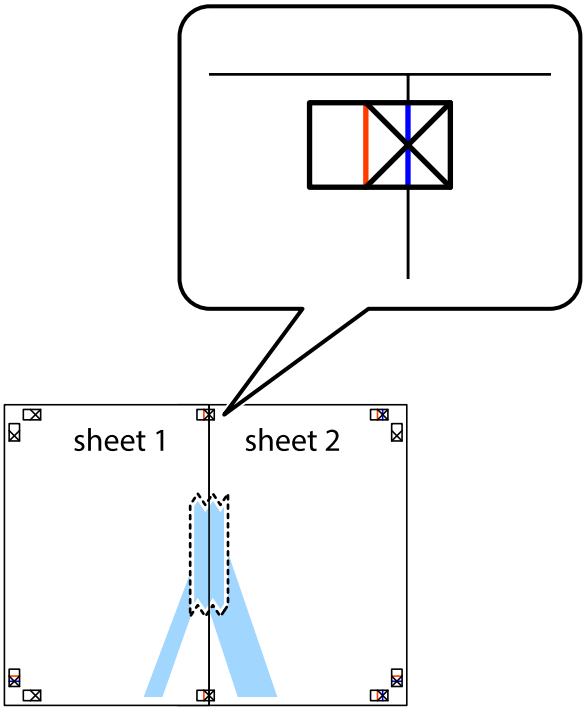
ここでは［2×2 ポスター］を選択して、［ガイド印刷］を［貼り合わせガイドを印刷］にしたときの用紙の貼り合わせ方を例に説明します。



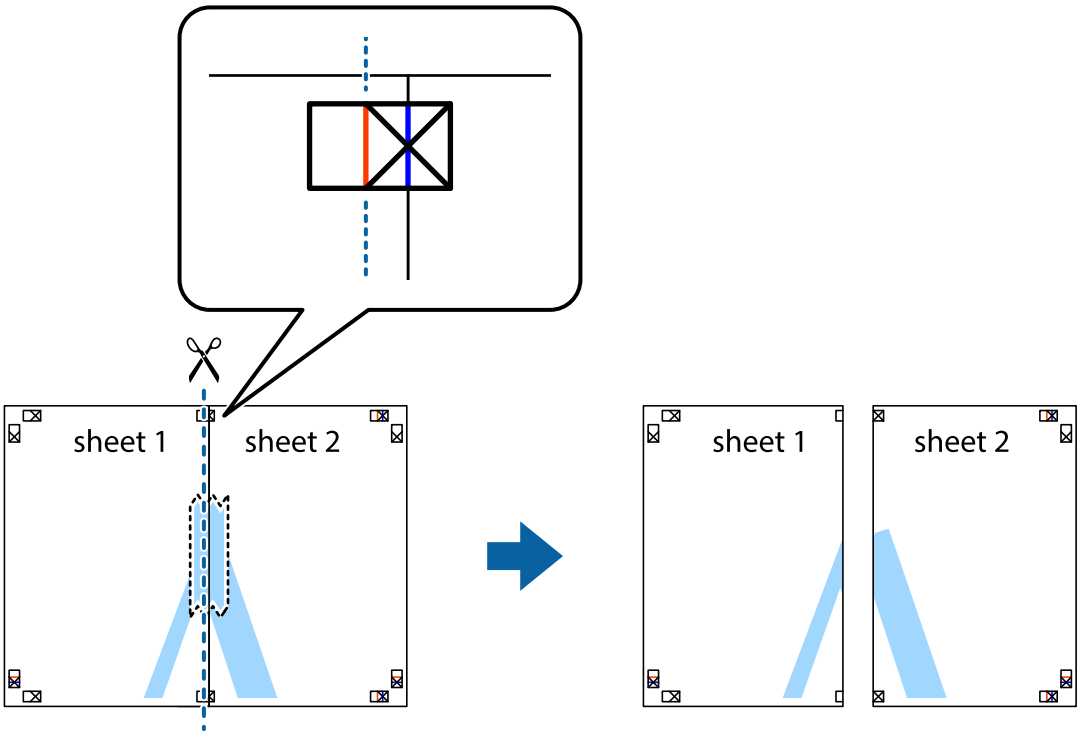
1. Sheet 1とSheet 2を用意します。Sheet 1を、×印と交わっている縦線（青色）を結ぶ線で切ります。



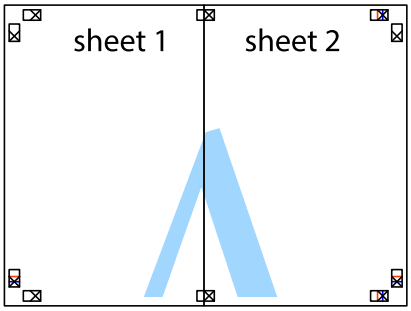
2. Sheet 1をSheet 2の上に重ね、×印が合うようにして、裏面にテープを貼って仮留めします。



3. ×印の左側の縦線（赤色）を結ぶ線で切ります。

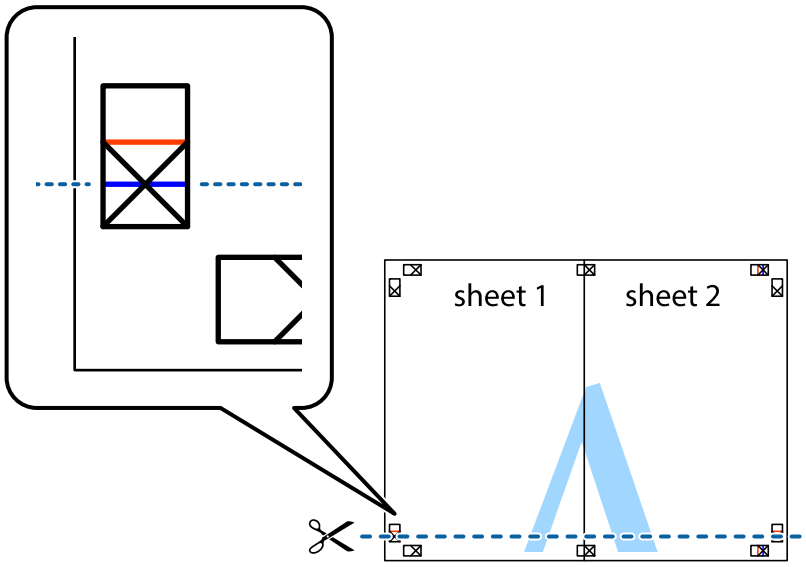


4. 裏面にテープを貼って合わせます。

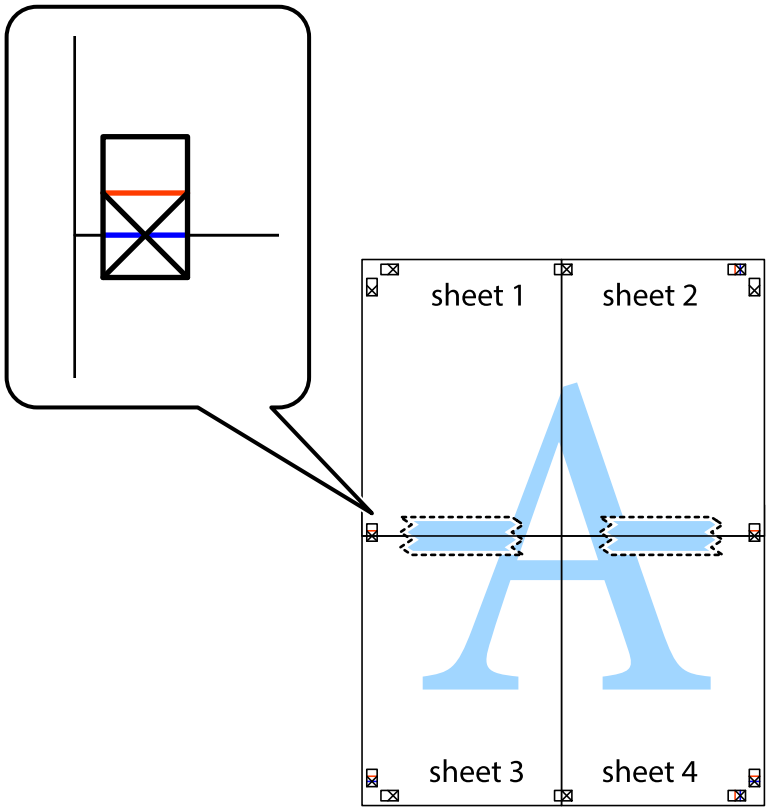


5. Sheet 3とSheet 4も手順1～4と同じように貼り合わせます。

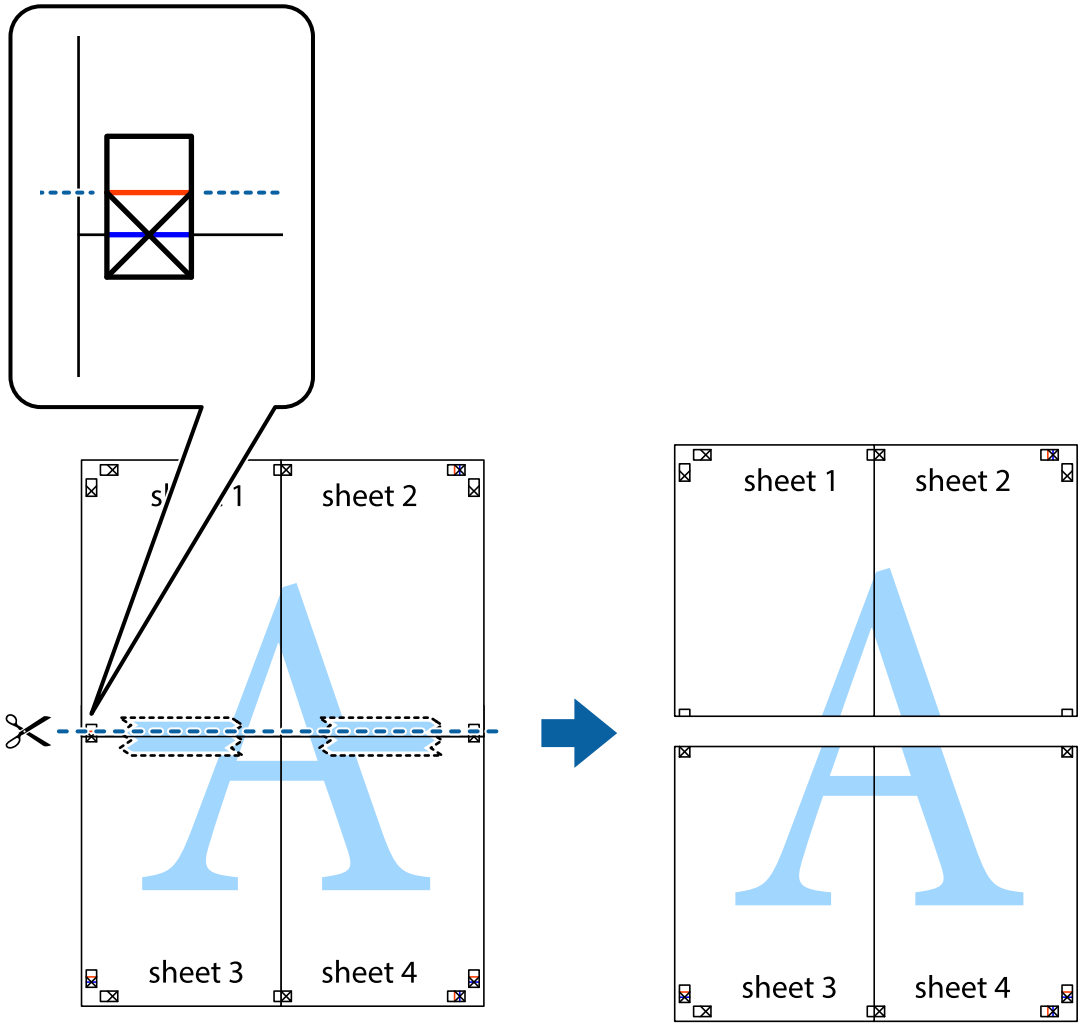
6. Sheet 1とSheet 2を、×印に交わった横線（青色）を結ぶ線で切ります。



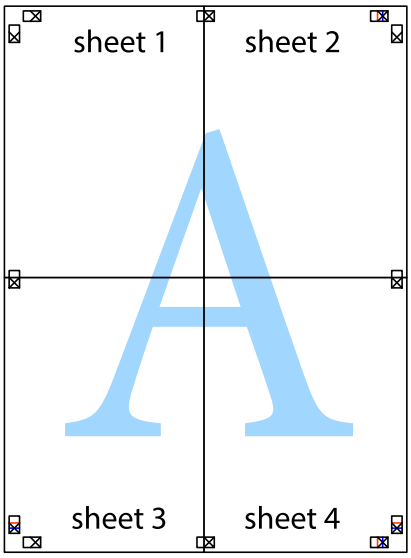
7. Sheet 1とSheet 2をSheet 3とSheet 4の上に重ね、×印が合うようにして、裏面にテープを貼って仮留めします。



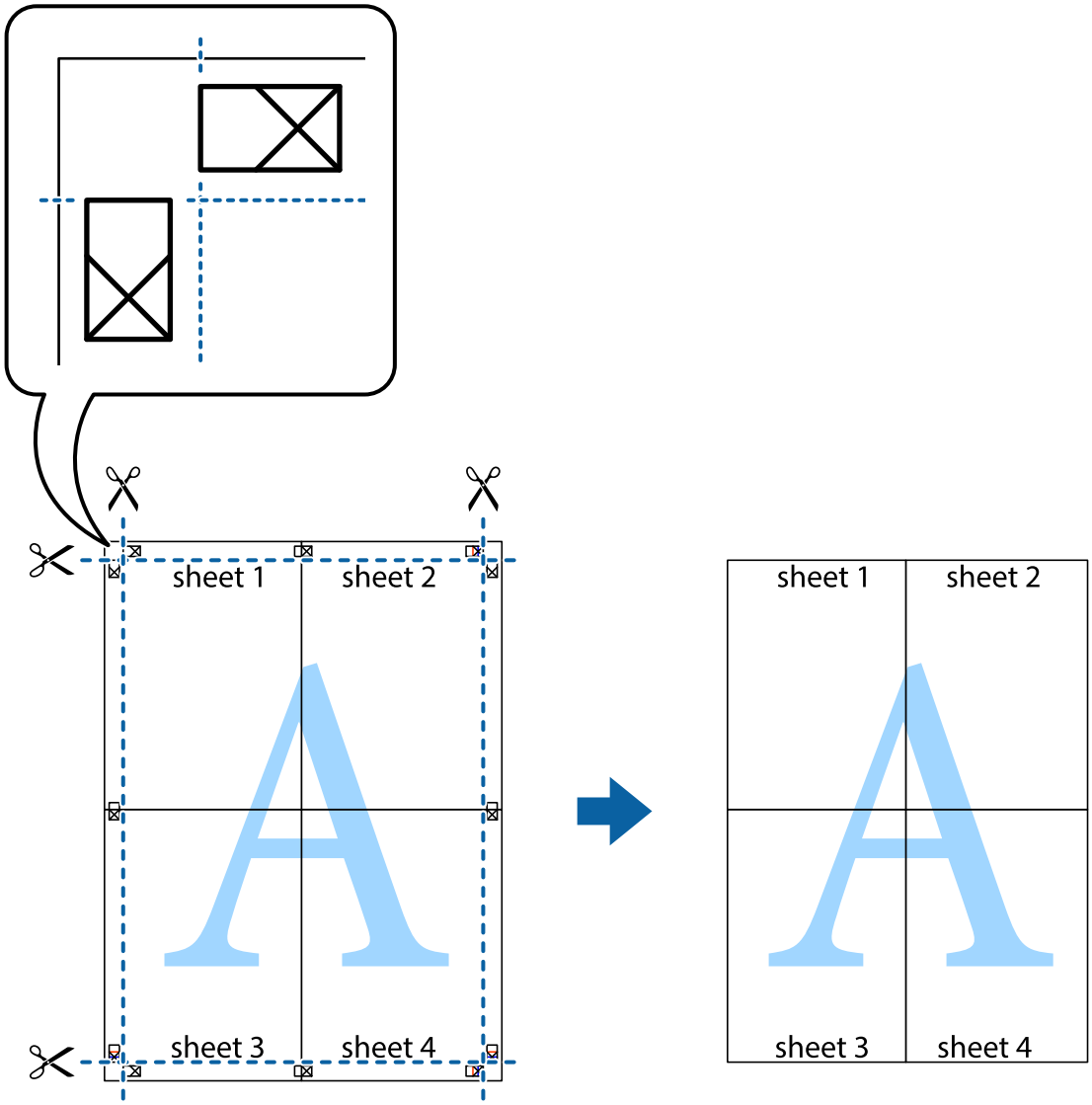
8. ×印上側の横線（赤色）を結ぶ線で切ります。



9. 裏面にテープを貼って合わせます。

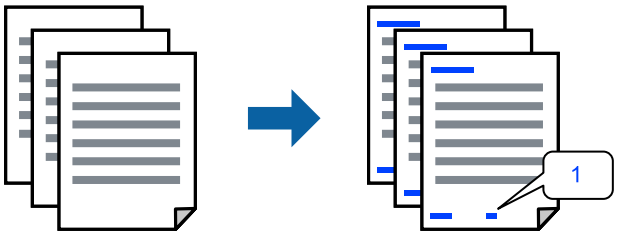


10. 外側のガイドに沿って余白を切り取ります。



ヘッダーやフッターを入れて印刷する

ヘッダーやフッターにユーザー名や日付などを入れて印刷できます。



1. プリンタードライバーの［応用設定］タブで［背景の設定］をクリックして、［ヘッダー/フッター］にチェックします。

2. ［設定］をクリックして印刷したい項目を選択し、OKをクリックします。

参考
- ページ番号の最初の数字を指定する場合は、ヘッダーやフッターに印刷したい位置から［ページ番号］を選択し、その後［開始番号］で数字を選択します。
- ヘッダーまたはフッターに文字を印刷する場合は、印刷する位置を選択して［テキスト］を選択します。そしてテキスト欄に任意の文字を入力します。

3. ［基本設定］タブと［応用設定］タブの各項目を設定して［OK］をクリックします。

「基本設定タブ」48ページ
「応用設定タブ」51ページ

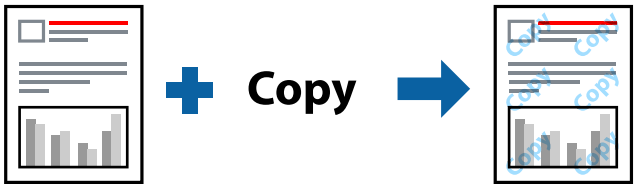
4. ［印刷］をクリックします。

関連情報

➡「用紙のセット」34ページ
➡「簡単な設定で印刷する」47ページ

透かしを入れて印刷する（透かし印刷）

印刷データに「マル秘」などのマークや、「コピー」などの透かし文字を入れて印刷できます。原本をコピーしたときに文字が浮き上がるように印刷されて、原本とコピーを区別できます。



透かし印刷は、以下の条件でのみ有効にできます。

- 用紙種類：普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき、プレプリント、上質紙、厚紙1(106～163g/m²)、厚紙2(164～216g/m²)、ラベル、ユーザー専用紙
- 印刷品質：きれい

参考 任意のマークや透かし文字も登録できます。

1. プリンタードライバーの［応用設定］タブで［背景の設定］をクリックして、透かし印刷やスタンプマークの種類を選択します。

2. ［設定］をクリックして、透かしやスタンプマークのサイズ、濃度、位置などを変更します。

3. ［基本設定］タブと［応用設定］タブの各項目を設定して［OK］をクリックします。

「基本設定タブ」48ページ
「応用設定タブ」51ページ

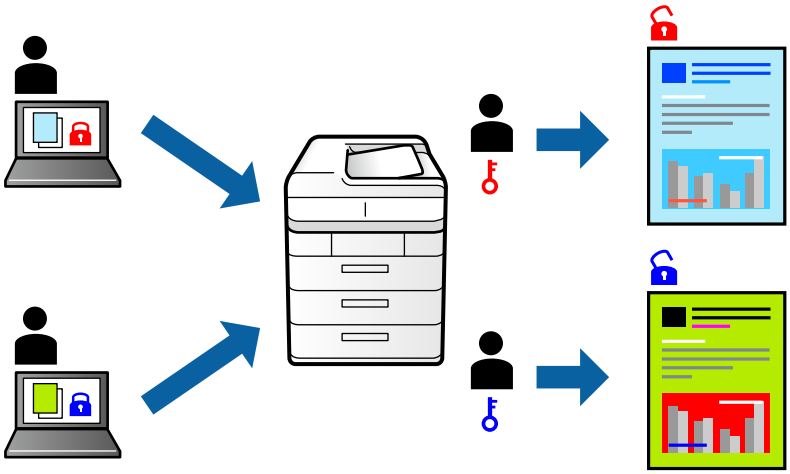
4. ［印刷］をクリックします。

関連情報

➡ 「用紙のセット」34ページ
➡ 「簡単な設定で印刷する」47ページ

パスワードを設定して印刷する

印刷ジョブにパスワードを設定して、プリンターの操作パネルからパスワードが入力されるまで印刷できないようにします。



1. プリンタードライバーの［応用設定］タブの［印刷方法］から［パスワード印刷］を選択して、パスワードを入力します。

2. ［基本設定］タブと［応用設定］タブの各項目を設定して［OK］をクリックします。
   「基本設定タブ」48ページ
   「応用設定タブ」51ページ

3. ［印刷］をクリックします。

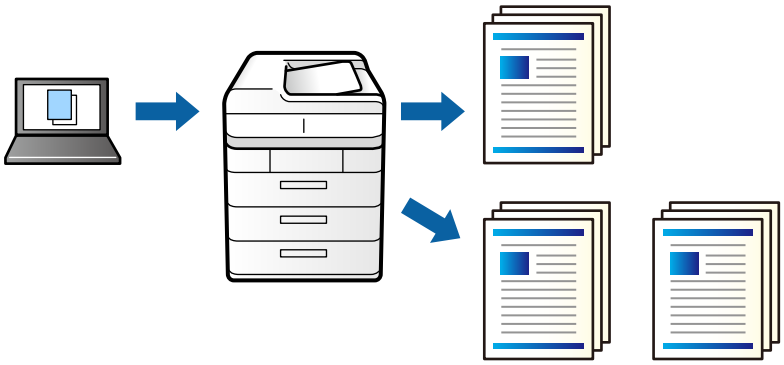
4. 印刷するには、プリンターのホーム画面で［本体メモリーからの印刷］を選択します。印刷するジョブを選択してパスワードを入力します。

関連情報

➡ 「用紙のセット」34ページ
➡ 「簡単な設定で印刷する」47ページ

1部だけ印刷してから2部目以降を印刷する

大量の文書を印刷する前に、1部だけ印刷して内容を確認することができます。2部目以降はプリンターの操作パネルを操作して印刷します。



1. プリンタードライバーの［応用設定］タブの［試し印刷］設定で［印刷方法］を選択します。

2. ［設定］をクリックし、［ユーザー名］と［ジョブ名］を入力して、［OK］をクリックします。
   ジョブ名を設定することで、プリンターの操作パネル上でジョブが識別できます。

3. ［基本設定］タブと［応用設定］タブの各項目を設定して［OK］をクリックします。
   「基本設定タブ」48ページ
   「応用設定タブ」51ページ

4. ［印刷］をクリックします。
   1部だけ印刷され、2部目以降はプリンターのメモリーに保存されます。
   保存されたデータは、プリンターの電源を切ると削除されます。

5. 印刷するには、プリンターのホーム画面で［本体メモリーからの印刷］を選択します。

6. 印刷するジョブを選択します。
   一覧からユーザーを選択して、印刷したいジョブを選びます。パスワードの入力を要求されたら、プリンタードライバーで設定したパスワードを入力します。

7. もしジョブ詳細情報が表示されたら、その画面を閉じて［印刷］を選択します。

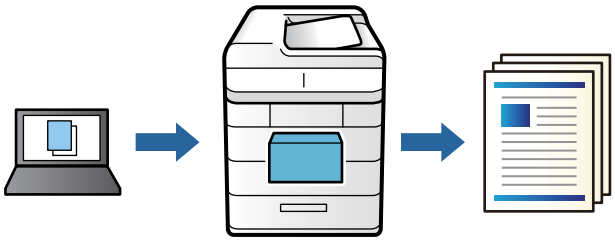
   参考　メモリーから削除したい場合は、［削除］を選択します。

関連情報

➡ 「用紙のセット」34ページ
➡ 「簡単な設定で印刷する」47ページ

プリンターのメモリーに印刷ジョブを保存して印刷する

印刷したデータをプリンターのメモリーに保存できます。プリンターの操作パネルを操作して再印刷します。



1. プリンタードライバーの［応用設定］タブの［印刷方法］設定で［プリンターに保存して印刷］を選択します。

2. ［設定］をクリックし、［ユーザー名］と［ジョブ名］を入力して、［OK］をクリックします。
   ジョブ名を設定することで、プリンターの操作パネル上でジョブが識別できます。

3. ［基本設定］タブと［応用設定］タブの各項目を設定して［OK］をクリックします。
   「基本設定タブ」48ページ
   「応用設定タブ」51ページ

4. ［印刷］をクリックします。

5. 印刷するには、プリンターのホーム画面で［本体メモリーからの印刷］を選択します。

6. 印刷するジョブを選択します。
   一覧からユーザーを選択して、印刷したいジョブを選びます。パスワードの入力を要求されたら、プリンタードライバーで設定したパスワードを入力します。

7. もしジョブ詳細情報が表示されたら、その画面を閉じて［印刷］を選択します。

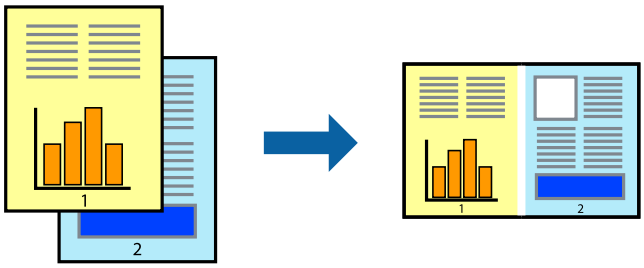
   参考 メモリーから削除したい場合は、［削除］を選択します。

関連情報

➡ 「用紙のセット」34ページ
➡ 「簡単な設定で印刷する」47ページ

複数ファイルを1つにまとめて印刷する（まとめてプリント）

まとめてプリント Liteを使うと、異なるアプリケーションソフトで作成したファイルを1つにまとめて印刷できます。複数ページのレイアウトや両面印刷など、結合されたファイルの印刷設定を指定できます。



1. プリンタードライバーの［基本設定］をクリックして［まとめてプリント Lite］にチェックします。

2. ［印刷］をクリックします。

   印刷を開始するとまとめてプリント Lite画面が表示されます。

3. まとめてプリント Lite画面を表示したまま1つにまとめたい他のファイルを開き、作業を繰り返します。

4. まとめてプリント Lite画面の印刷プロジェクトに追加された印刷データを選択すると、割り付け順序などが編集できます。

5. ［ファイル］メニューの［印刷］をクリックして印刷を開始します。

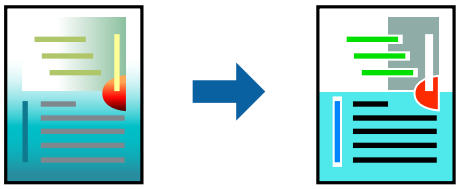
   参考　全ての印刷データを印刷プロジェクトに追加する前にまとめてプリント Lite画面を閉じると、それまでの作業が取り消されます。［ファイル］メニューの［保存］ をクリックして現在の作業が保存できます。保存したファイルの拡張子は"ecl"です。
   保存したファイルを開くには、プリンタードライバーの［ユーティリティー］タブで［まとめてプリント Lite］をクリックして、まとめてプリント Lite画面を開きます。その後［ファイル］メニューの［開く］から、対象のファイルを選択します。

関連情報

➡ 「用紙のセット」34ページ
➡ 「簡単な設定で印刷する」47ページ

カラーユニバーサルプリントで印刷する

文字や画像の視認性を向上させて印刷できます。



カラーユニバーサルプリントは、以下の条件でのみ有効にできます。

- 用紙種類：普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき、プレプリント、上質紙、厚紙1(106～163g/m²)、厚紙2(164～216g/m²)、ラベル、ユーザー専用紙
- 印刷品質：きれい
- カラー：カラー
- アプリケーションソフト：Microsoft® Office 2007以降
- 文字サイズ：96ポイント以下

1. プリンタードライバーで［応用設定］タブの［色補正］から［画像処理設定］をクリックします。

2. ［カラーユニバーサルプリント］の種類を選択します。

3. ［装飾の設定］をクリックすると、詳細な装飾の方法を設定できます。

4. ［基本設定］タブと［応用設定］タブの各項目を設定して［OK］をクリックします。
「基本設定タブ」48ページ
「応用設定タブ」51ページ

5. ［印刷］をクリックします。

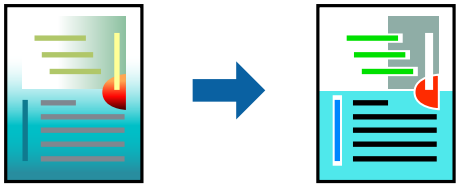
参考
- 装飾すると文字の意味が変わってしまうことがあります（「+」が「±」に見えるなど）。
- アプリケーションソフトの機能で装飾した文字やグラフなどは、正常に印刷されないことがあります。
- 写真などの画像はカラーユニバーサルプリントで印刷すると、画質が低下することがあります。
- カラーユニバーサルプリントを有効にすると、印刷速度が遅くなります。

関連情報

➡ 「用紙のセット」34ページ
➡ 「簡単な設定で印刷する」47ページ

色補正をして印刷する

画質などの色を補正して印刷できます。元データは補正しません。



［オートフォトファイン!EX］はエプソン独自の画像解析、処理技術を用いて自動的に画像を高画質にして印刷します。

参考 ［オートフォトファイン!EX］は、被写体の配置などを解析して補正します。このため、被写体の配置を変えた（回転、拡大縮小、トリミングなど）画像では色合いが変わることがあります。また、画像内のピントが合っていない箇所では不自然な階調が生じることがあります。色合いが変わったり不自然な階調が発生したりするときは、［オートフォトファイン!EX］以外のモードで印刷してください。

1. プリンタードライバーで、［応用設定］タブの［色補正］から、色補正の方法を選択します。
   - 自動：用紙種類と印刷品質の設定に合わせて、最適な色合いに自動補正されます。
   - ユーザー設定：［設定］をクリックすると、任意に設定できます。

2. ［基本設定］タブと［応用設定］タブの各項目を設定して［OK］をクリックします。
   「基本設定タブ」48ページ
   「応用設定タブ」51ページ

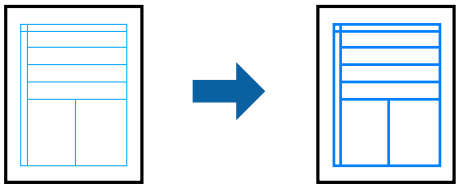
3. ［印刷］をクリックします。

関連情報

➡ 「用紙のセット」34ページ
➡ 「簡単な設定で印刷する」47ページ

細い線を鮮明に印刷する

印刷すると消えてしまう細い線を太くして印刷できます。



1. プリンタードライバーで［応用設定］タブの［色補正］から［画像処理設定］をクリックします。

2. ［細線を鮮明にする］を選択します。

3. ［基本設定］タブと［応用設定］タブの各項目を設定して［OK］をクリックします。
   「基本設定タブ」48ページ
   「応用設定タブ」51ページ

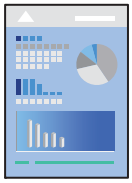
4. ［印刷］をクリックします。

関連情報

➡ 「用紙のセット」34ページ
➡ 「簡単な設定で印刷する」47ページ

コンピューターから文書を印刷する（Mac OS）

簡単な設定で印刷する



参考 アプリケーションソフトによって操作や画面が異なります。詳しくはアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

1. プリンターに用紙をセットします。
   「用紙のセット」34ページ

2. 印刷するファイルを開きます。

3. ［ファイル］メニューの［プリント］（または［印刷］など）を選択してプリント画面を表示させます。
   必要であれば［詳細を表示］（または▼）をクリックして詳細設定画面を開きます。

4. お使いのプリンターを選択します。

5. ポップアップメニューの［印刷設定］を選択します。

参考 macOS Catalina (10.15)以降、macOS High Sierra (10.13)、macOS Sierra (10.12)、OS X El Capitan (10.11)、OS X Yosemite (10.10)、OS X Mavericks (10.9)、OS X Mountain Lion (10.8)で［印刷設定］メニューが表示されないときは、エプソンのプリンタードライバーが設定できていません。以下の方法で設定してください。
アップルメニューの［システム環境設定］-［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択して、一旦プリンターを削除してから、プリンターの追加をやり直してください。追加方法は以下をご覧ください。
「プリンターを追加する（Mac OSのみ）」188ページ
macOS Mojave (10.14)はテキストエディットなどアップル社製アプリケーションソフトで［印刷設定］ができません。

6. 必要に応じて設定を変更します。

各項目の詳細は、プリンタードライバーのメニュー説明をご覧ください。

7. ［プリント］をクリックします。

参考 コンピューターから印刷を中止したい場合は、［Dock］内のプリンターのアイコンをクリックします。中止するジョブを選択し、以下のいずれかを行います。ただし、送信終了した印刷ジョブはコンピューターからは中止できません。プリンターの操作パネルから中止してください。

- OS X Mountain Lion (10.8)以降

  プログレスメーター横の をクリックします。

- Mac OS X v10.6.8～v10.7.x

  ［削除］をクリックします。

関連情報

➡ 「印刷できる用紙とセット枚数」360ページ

➡ 「印刷設定メニュー」79ページ

プリンタードライバーのメニュー説明

アプリケーションソフトの印刷画面を開き、プリンターを選択して印刷設定画面を表示します。

参考 項目は選択した内容によって異なります。

レイアウトメニュー

ページ数/枚：

1枚の用紙に複数のページを印刷するときのページ数を選択します。

レイアウト方向：

ページの並べ方を選択します。

境界線：

ページを区切る境界線の設定をします。

ページの方向を反転：

データを180度回転して印刷します。用紙の向きを変えられないハガキや封筒に印刷するときに設定してください。

左右反転：

データの左右を反転して印刷します。

カラー・マッチングメニュー

ColorSync/EPSON Color Controls:

色補正の方法を選択します。プリンターで色の調整を行い、異なるデバイス間の色合いを近づけることができます。

用紙処理メニュー

丁合い：

複数ページのデータを部ごとに印刷します。ページごとに印刷する場合はチェックを外します。

プリントするページ：

印刷するページを、奇数ページごとか偶数ページごとかを選択できます。

ページの順序：

複数ページのデータを、最初のページか最後のページから印刷するかを選択します。

用紙サイズに合わせる：

出力用紙サイズに合わせて自動で拡大縮小印刷します。

- 出力用紙サイズ：
  出力する用紙サイズを選択します。
- 縮小のみ：
  プリンターの用紙サイズに対して印刷データが大きすぎる場合のみ縮小します。

表紙メニュー

表紙をプリント

表紙を印刷するかどうかを選択します。裏表紙を付けるときは、［書類の後］を選択します。

表紙のタイプ

表紙に印刷される内容を選択します。

印刷設定メニュー

給紙方法：

どの給紙装置から給紙するかを選択します。［自動選択］にしておくと、プリンターの用紙設定と一致する給紙装置を自動で選択します。

用紙種類：

印刷する用紙の種類を選択します。［指定しない］を選択すると、プリンターの給紙装置設定で用紙種類を以下に設定した給紙装置から印刷されます。
普通紙、プレプリント、レターヘッド、色つき、再生紙、上質紙、厚紙1、厚紙2、ラベル、コート紙、ハガキ、封筒、ユーザー専用紙
ただし、プリンターの［給紙口自動選択］で給紙装置がオフになっている給紙装置からは給紙されません。

用紙の裏面を使用する：

自動で両面印刷できない用紙の裏面印刷は手動で行います（ラベル紙への裏面印刷は不可）。

グレースケール：

白黒で印刷したいときに選択します。

印刷品質：

印刷したい品質を選択します。用紙の種類によって選択肢が異なります。

スクリーン：

階調の再現性を優先するか、または解像度を上げることを優先するか選択します。

排紙方向：

給紙装置にセットした用紙の向きに合わせて、排紙方向を設定します。

自動両面印刷：

用紙の両面に印刷します。製本するときは［ブックレット］を選択します。

とじる位置：

出力紙をとじるときの位置や、とじしろの幅を設定します。
▼をクリックして、とじしろの幅を設定します。複数ページを印刷するときは、1ページ目を裏面から印刷するかを選択できます。［自動両面印刷］で［ブックレット］を選択しているときに▼をクリックすると、ブックレットのとじ方を選択できます。

カラーオプションメニュー

手動設定：

画像などの色を手動で補正して印刷します。［詳細設定］では、色補正の詳細な方法が選択できます。

オートフォトファイン！EX：

エプソン独自の画像解析、処理技術を使って自動で画像を高画質にして印刷します。

色補正なし：

色補正せずに印刷します。

透かし設定メニュー

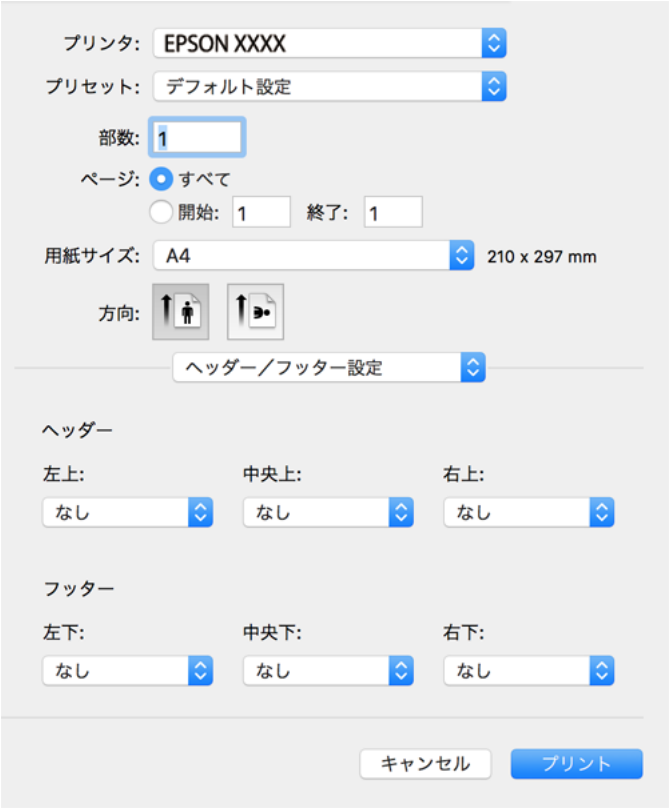
プリンターで印刷した印刷物（原本）とコピーを区別するために指定したテキストを浮かび上がらせます。

スタンプマーク設定メニュー

日付やConfidentialなどのスタンプマークを選択し、レイアウトやフォントを編集して印刷できます。

ヘッダー／フッター設定メニュー

ヘッダーやフッターにユーザー名や日付などを入れて印刷できます。



拡張設定メニュー

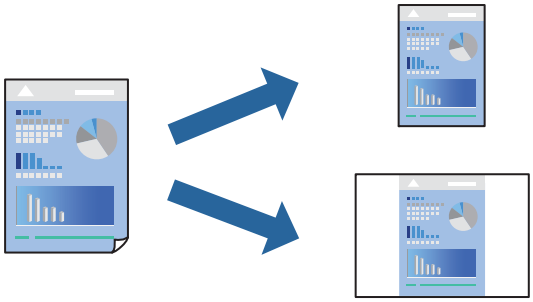
細い線や文字を太くすることができます。

パスワード設定メニュー

印刷ジョブにパスワードを設定して、プリンターの操作パネルからパスワードが入力されるまで印刷できないようにします。

よく使う設定を登録して簡単に印刷する

よく使う印刷設定をプリンタードライバーに登録しておくと、リストから選択するだけで印刷できます。



1. ［印刷設定］や［レイアウト］などの各項目（［用紙サイズ］や［用紙種類］など）を設定します。
2. ［プリセット］をクリックし、現在の設定をプリセットとして保存します。

3. ［OK］をクリックします。

参考 登録した印刷設定を削除するには、［プリセット］-［プリセットを表示］の順にクリックし、リストから削除するプリセット名を選択して削除します。

4. ［プリント］をクリックします。

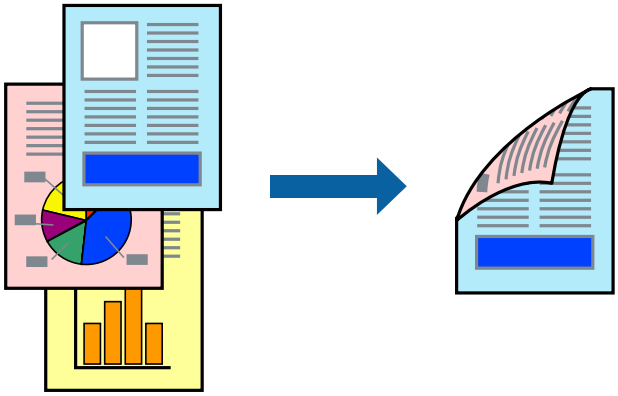
次回同じ設定で印刷するときは、［プリセット］から登録した登録名を選択して、OKをクリックします。

関連情報

➡「用紙のセット」34ページ
➡「簡単な設定で印刷する」73ページ

両面に印刷する

用紙の両面に印刷できます。



参考 両面印刷に対応していない用紙は、印刷品質の低下や紙詰まりの原因になります。
「自動両面印刷ができる用紙」363ページ

1. ポップアップメニューの［印刷設定］を選択します。

2. ［自動両面印刷］から［オン］を選択します。

3. 必要に応じてその他の項目を設定します。

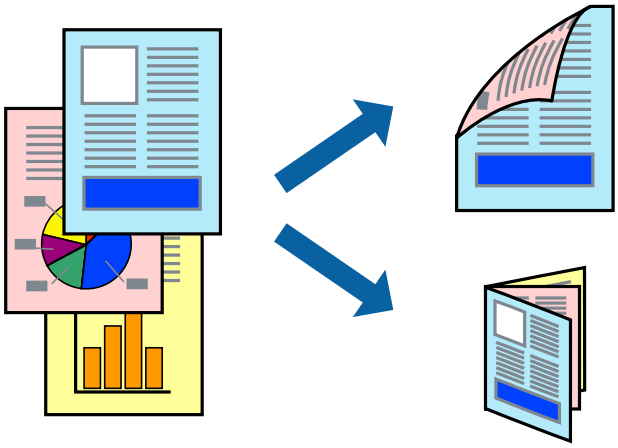
4. ［プリント］をクリックします。

関連情報

➡「印刷できる用紙とセット枚数」360ページ
➡「用紙のセット」34ページ
➡「簡単な設定で印刷する」73ページ

冊子になるように印刷する

用紙を折ったときに冊子になるように、ページを並べ替えて両面印刷できます。



参考　両面印刷に対応していない用紙は、印刷品質の低下や紙詰まりの原因になります。
「自動両面印刷ができる用紙」363ページ

1. ポップアップメニューの［印刷設定］を選択します。

2. ［自動両面印刷］から［ブックレット］を選択します。

3. とじる位置を設定し、▼をクリックしてブックレットのとじ方を設定します。
   - 全ページ：ページ数が少なく、全ページを重ねて二つ折りできるときの方法です。
   - 分割する：1枚（4ページ）分ずつ印刷し、それぞれを二つ折りしてから1冊にまとめる方法です。

4. 必要に応じてその他の項目を設定します。

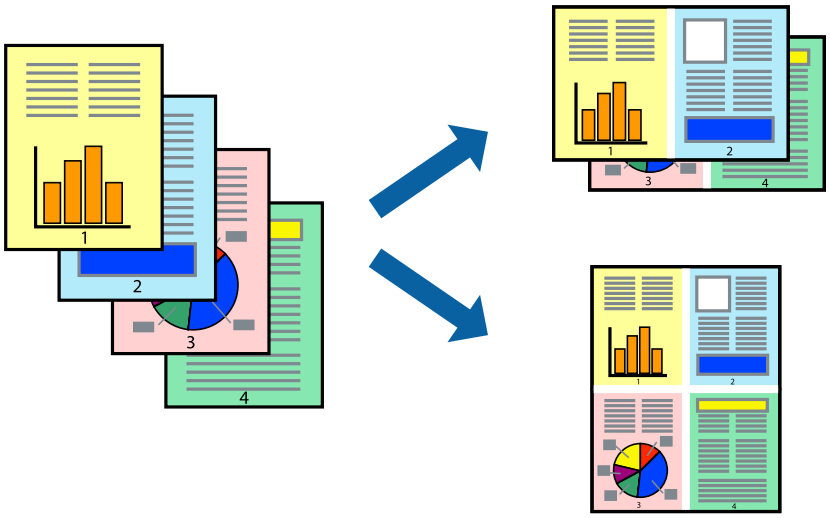
5. ［プリント］をクリックします。

関連情報

➡「印刷できる用紙とセット枚数」360ページ
➡「用紙のセット」34ページ
➡「簡単な設定で印刷する」73ページ

複数ページを1枚の用紙に印刷する

1枚の用紙に複数ページのデータを割り付けて印刷できます。



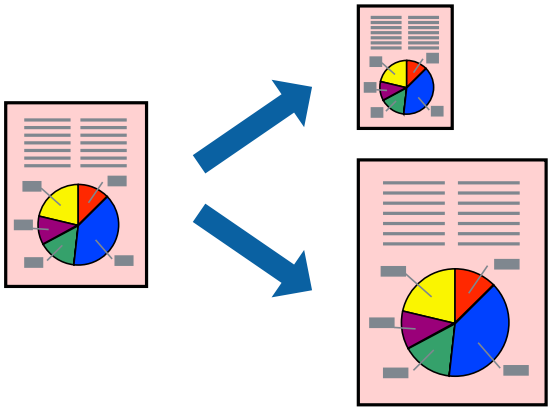
1. ポップアップメニューの［レイアウト］を選択します。
2. ［ページ数/枚］、［レイアウト方向］、［境界線］を設定します。
3. 必要に応じてその他の項目を設定します。
4. ［プリント］をクリックします。

関連情報

➡ 「用紙のセット」34ページ
➡ 「簡単な設定で印刷する」73ページ

用紙サイズに合わせて印刷する

プリンターにセットした用紙のサイズに合わせて印刷できます。



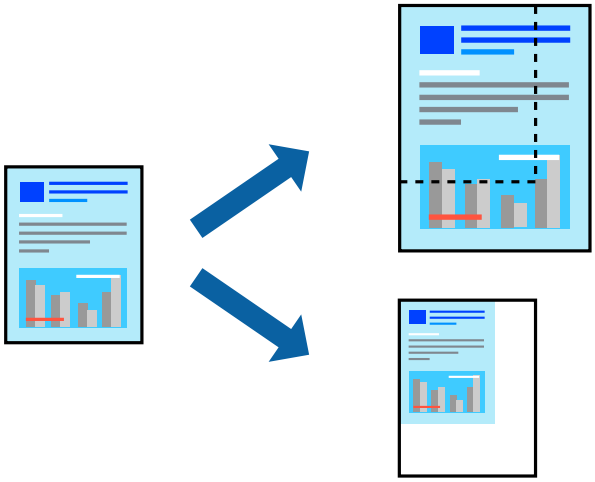
1. ［用紙サイズ］はアプリケーションソフトで設定した用紙サイズを選択します。
2. ポップアップメニューの［用紙処理］を選択します。
3. ［用紙サイズに合わせる］をチェックします。
4. ［出力用紙サイズ］でプリンターにセットした印刷用紙のサイズを選択します。
5. 必要に応じてその他の項目を設定します。
6. ［プリント］をクリックします。

関連情報

➡「用紙のセット」34ページ
➡「簡単な設定で印刷する」73ページ

任意の倍率で拡大または縮小して印刷する

任意の倍率で、拡大または縮小して印刷できます。



1. ［ファイル］メニューの［プリント］（または［印刷］など）を選択してプリント画面を表示させます。
2. アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから、［ページ設定］を選択します。
3. ［対象プリンタ］と［用紙サイズ］を設定し、［拡大縮小］に倍率を入力して［OK］をクリックします。

   参考　［用紙サイズ］は、印刷するデータのサイズを選択します。

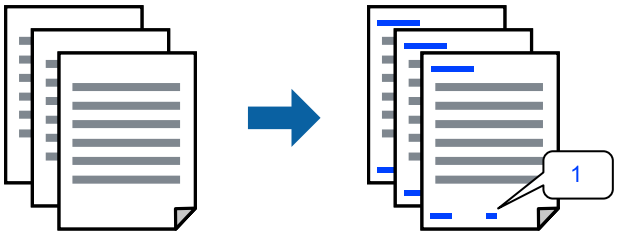
4. 必要に応じてその他の項目を設定します。
5. ［プリント］をクリックします。

関連情報

➡ 「用紙のセット」34ページ
➡ 「簡単な設定で印刷する」73ページ

ヘッダーやフッターを入れて印刷する

ヘッダーやフッターにユーザー名や日付などを入れて印刷できます。



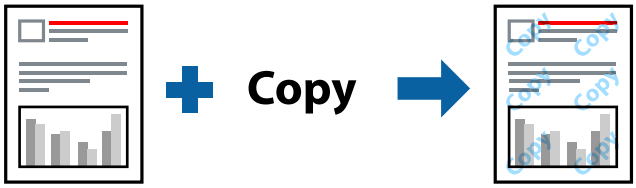
1. ポップアップメニューの［ヘッダー／フッター設定］を選択します。
2. 印刷したい位置から項目を選択します。
3. 必要に応じてその他の項目を設定します。
4. ［プリント］をクリックします。

関連情報

➡ 「用紙のセット」34ページ
➡ 「簡単な設定で印刷する」73ページ

透かしを入れて印刷する（透かし印刷）

印刷データに「マル秘」などのマークや、「コピー」などの透かし文字を入れて印刷できます。原本をコピーしたときに文字が浮き上がるように印刷されて、原本とコピーを区別できます。



透かし印刷は、以下の条件でのみ有効にできます。

- 用紙種類：普通紙、プレプリント、レターヘッド、色つき、再生紙、上質紙、厚紙1、厚紙2、ラベル、コート紙、ハガキ、封筒、ユーザー専用紙
- 印刷品質：きれい

参考　任意の透かし文字やマークも登録できます。

1. ポップアップメニューから［透かし設定］または［スタンプマーク設定］を選択し、透かしやスタンプマークの種類を選択します。

2. レイアウトとフォントを設定します。

3. 必要に応じてその他の項目を設定します。

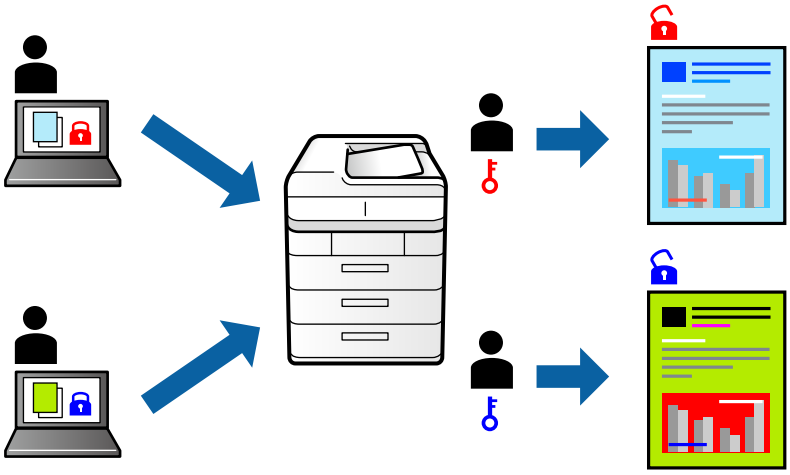
4. ［プリント］をクリックします。

関連情報

➡ 「用紙のセット」34ページ
➡ 「簡単な設定で印刷する」73ページ

パスワードを設定して印刷する

印刷ジョブにパスワードを設定して、プリンターの操作パネルからパスワードが入力されるまで印刷できないようにします。



1. ポップアップメニューの［パスワード設定］を選択します。

2. ［パスワード印刷］にチェックして、ユーザー名、ジョブ名、パスワードを入力します。

3. 必要に応じてその他の項目を設定します。

4. ［プリント］をクリックします。

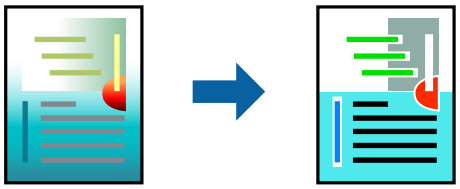
5. 印刷するには、プリンターのホーム画面で［本体メモリーからの印刷］を選択します。印刷するジョブを選択してパスワードを入力します。

関連情報

➡ 「用紙のセット」34ページ
➡ 「簡単な設定で印刷する」73ページ

色補正をして印刷する

画質などの色を補正して印刷できます。元データは補正しません。



［オートフォトファイン!EX］はエプソン独自の画像解析、処理技術を用いて自動的に画像を高画質にして印刷します。

参考 ［オートフォトファイン!EX］は、被写体の配置などを解析して補正します。このため、被写体の配置を変えた（回転、拡大縮小、トリミングなど）画像では色合いが変わることがあります。また、画像内のピントが合っていない箇所では不自然な階調が生じることがあります。色合いが変わったり不自然な階調が発生したりするときは、［オートフォトファイン!EX］以外のモードで印刷してください。

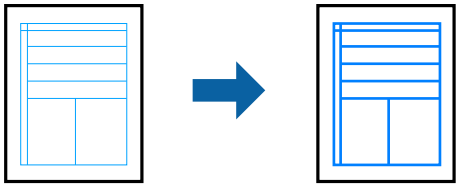
1. ポップアップメニューの［カラー・マッチング］を選択し、［EPSON Color Controls］を選択します。
2. ポップアップメニューの［カラーオプション］を選択して、色補正の種類を選択します。
3. ［詳細設定］横の矢印をクリックして、各項目を設定します。
4. 必要に応じてその他の項目を設定します。
5. ［プリント］をクリックします。

関連情報

➡ 「用紙のセット」34ページ
➡ 「簡単な設定で印刷する」73ページ

細い線を鮮明に印刷する

印刷すると消えてしまう細い線を太くして印刷できます。



1. ポップアップメニューの［拡張設定］を選択します。
2. ［細線を鮮明にする］を有効にします。
3. 必要に応じてその他の項目を設定します。

4. ［プリント］をクリックします。

関連情報

➡ 「用紙のセット」34ページ
➡ 「簡単な設定で印刷する」73ページ

コンピューターから文書を印刷する（PostScriptプリンタードライバー）

PostScriptプリンタードライバーで印刷するには、オプションのPS3対応ROMをプリンター本体に取り付けてドライバーをインストールする必要があります。

関連情報

➡ 「PostScriptプリンタードライバーを使って文書を印刷する（Windows）」322ページ
➡ 「Mac OSからPostScriptプリンタードライバーを使って印刷する」331ページ

外部メモリー内のPDFデータを印刷する

プリンターにセットした外部メモリー内のPDFデータを印刷します。

参考 オプションのPS3対応ROMを増設していない場合、PDFデータは、［スキャン to 外部メモリー 機能］で作成したファイルのみ対応しています。

1. プリンターの外部機器接続用USBポートに外部メモリーを挿入します。
「USB接続機器をセットする」44ページ

2. ホーム画面で［外部メモリーから印刷］を選択します。

3. ［PDF印刷］を選択します。

4. ファイルを選択して次の画面に進みます。

5. ◇をタップします。

PDF印刷設定

外部メモリー内のPDF形式ファイルを印刷するときの設定項目です。

（ファイルの並び順）：

操作パネルの画面で表示するファイルの順番を選択します。（初期値は［昇順］）

基本設定：

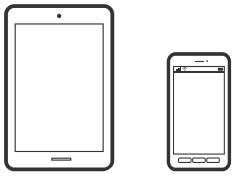
- 用紙設定
  使用する給紙装置を指定します。（初期値は［C1］）
- カラーモード
  通常印刷するときの色を設定します。（初期値は［カラー］）

応用設定：

- 両面設定
  ［オン］にすると両面印刷ができます。また、［開き方向(出力)］も指定できます。初期値は、両面印刷［オフ］　開き方向（出力）［左右開き］
- 印刷順序
  印刷するページの順番が指定できます。（初期値は［正順印刷］）

スマートデバイスから文書を印刷する（iOS）

スマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスから文書を印刷できます。



Epson iPrintで文書を印刷する

参考　デバイスによって操作が異なります。

1. プリンターとスマートデバイスをWi-Fi Directで接続します。
   「スマートデバイスとプリンターを直接接続する方法（Wi-Fi Direct）」297ページ

2. Epson iPrintをインストールしていない場合はインストールします。
   「Epson iPrintをインストールする」370ページ

3. Epson iPrintを起動します。

4. ホーム画面で［文書印刷］をタップします。

5. 印刷したい文書がある場所をタップします。

6. 文書を選択し、［次へ］をタップします。

7. ［印刷］ボタンをタップします。

AirPrintで文書を印刷する

AirPrintを使うと、ドライバーのインストールやソフトウェアのダウンロードをしなくてもiPhone、iPad、iPod touchやMacから簡単に無線で印刷できます。

Works with Apple AirPrint

参考 操作パネルでプリンター設定メニューの給紙装置設定の情報表示を無効にしていると、AirPrintは使えません。給紙装置設定の情報表示を有効にするには以下の関連情報をご覧ください。

1. プリンターを無線LANに接続します。以下のリンクをご覧ください。
   http://epson.sn

2. お使いの機器をプリンターと同じ無線LANに接続します。

3. 機器からプリンターに印刷します。

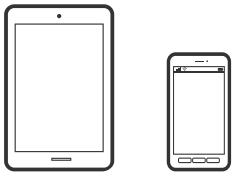
   参考 詳しくはアップル社ウェブサイトのAirPrintのページをご覧ください。

関連情報

➡ 「接続できているのに印刷できない（iOS）」220ページ

スマートデバイスから文書を印刷する（Android）

スマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスから文書を印刷できます。



Epson iPrintで文書を印刷する

参考 デバイスによって操作が異なります。

1. プリンターとスマートデバイスをWi-Fi Directで接続します。
「スマートデバイスとプリンターを直接接続する方法（Wi-Fi Direct）」297ページ

2. Epson iPrintをインストールしていない場合はインストールします。
「Epson iPrintをインストールする」370ページ

3. Epson iPrintを起動します。

4. ホーム画面で［文書印刷］をタップします。

5. 印刷したい文書がある場所をタップします。

6. 文書を選択し、［次へ］をタップします。

7. ［印刷］ボタンをタップします。

Epson印刷サービスプラグインで文書を印刷する

Epson印刷サービスプラグインを使うと、文書やメール、写真、ウェブページなどを、Android 4.4以降のスマートデバイスからWi-Fiで印刷できます。プリンターとデバイスが同じネットワークにつながっている場合は、このプラグインをインストールしておくと便利です。

参考 デバイスによって操作が異なります。

1. プリンターとスマートデバイスをWi-Fi Directで接続します。
「スマートデバイスとプリンターを直接接続する方法（Wi-Fi Direct）」297ページ

2. Google Playから、スマートデバイスにEpson印刷サービスプラグインをダウンロードします。

3. お使いのスマートデバイスの［設定］から［印刷］を選択して、Epson印刷サービスプラグインを有効にします。

4. ChromeなどのAndroidアプリケーションで、メニューアイコンをタップして印刷します。

参考 プリンターが見つからないときは、［すべてのプリンター］をタップして、お使いのプリンターを選択してください。

Mopria Print Serviceで印刷する

Mopria Print Serviceを使うと、Androidスマートフォンやタブレットから簡単に無線で印刷できます。

1. Google PlayからMopria Print Serviceをインストールします。

2. プリンターに用紙をセットします。

3. プリンターを無線LANに接続します。以下のリンクをご覧ください。
http://epson.sn

4. お使いの機器をプリンターと同じ無線LANに接続します。

5. 機器からプリンターに印刷します。

参考 詳しくはhttps://mopria.orgの使い方のページをご覧ください。

関連情報

➡ 「用紙のセット」34ページ

ハガキ、年賀状、封筒に印刷する

ハガキ印刷のポイントは以下の通りです。

- 宛名（住所録）を印刷するときは、市販のアプリケーションソフトなどをご利用ください。
- 用紙設定では、［用紙サイズ］を［ハガキ］、［用紙種類］をハガキの種類に合わせて設定してください。
- ハガキをセットするときは、宛名面と通信面、郵便番号枠の向きに注意してください。

コンピューターからハガキや封筒に印刷する

コンピューターからハガキに印刷する（Windows）

ここではプリンタードライバーを使って印刷する手順を説明します。

1. プリンターにハガキをセットします。
「ハガキのセット方法」37ページ

2. エプソン純正プリンタードライバーをインストールしていない場合は、インストールします。
「エプソン純正プリンタードライバーがインストールされているか確認する（Windows）」186ページ

3. 印刷するファイルを開きます。

4. プリンタードライバーの画面を表示させます。

5. ［基本設定］タブの［用紙サイズ］で［ハガキ］を選択して、［用紙種類］でハガキの種類を選択します。

6. ［基本設定］タブと［応用設定］タブの各項目を設定して［OK］をクリックします。

7. ［印刷］をクリックします。

コンピューターからハガキに印刷する（Mac OS）

ここではプリンタードライバーを使って印刷する手順を説明します。

1. プリンターにハガキをセットします。
「ハガキのセット方法」37ページ

2. エプソン純正プリンタードライバーをインストールしていない場合は、インストールします。
「エプソン純正プリンタードライバーがインストールされているか確認する（Mac OS）」187ページ

3. 印刷するファイルを開きます。

4. ［ファイル］メニューの［プリント］（または［印刷］など）を選択してプリント画面を表示させます。

5. ［用紙サイズ］設定で［はがき］を選択します。

6. ポップアップメニューの［印刷設定］を選択します。

7. ［用紙種類］設定でハガキの種類を選択します。

8. 必要に応じてその他の項目を設定します。

9. ［プリント］をクリックします。

コンピューターから封筒に印刷する（Windows）

1. プリンターに封筒をセットします。
「封筒のセット」35ページ

2. 印刷するファイルを開きます。

3. プリンタードライバーの画面を表示させます。

4. ［基本設定］タブの［用紙サイズ］で封筒のサイズを選択して、［用紙種類］で［封筒］を選択します。

5. ［基本設定］タブと［応用設定］タブの各項目を設定して［OK］をクリックします。

6. ［印刷］をクリックします。

コンピューターから封筒に印刷する（Mac OS）

1. プリンターに封筒をセットします。
「封筒のセット」35ページ

2. 印刷するファイルを開きます。

3. ［ファイル］メニューの［プリント］（または［印刷］など）を選択してプリント画面を表示させます。

4. ［用紙サイズ］設定でサイズを選択します。

5. ポップアップメニューの［印刷設定］を選択します。

6. ［用紙種類］設定で［封筒］を選択します。

7. 必要に応じてその他の項目を設定します。

8. ［印刷］をクリックします。

写真を印刷する

外部メモリー内のJPEGデータを印刷する

プリンターにセットした外部メモリー内のJPEGデータを印刷します。

1. プリンターの外部機器接続用USBポートに外部メモリーを挿入します。
「USB接続機器をセットする」44ページ

2. ホーム画面で［外部メモリーから印刷］を選択します。

3. ［JPEG印刷］を選択します。

4. ファイルを選択して次の画面に進みます。

5. ◇をタップします。

JPEG印刷設定

Menu（写真メニュー）：

画像ファイルの表示順、選択や選択解除を設定します。（初期値は［昇順］）

基本設定：

- 用紙設定
  使用する用紙の設定をします。（初期値は［C1］）
- カラーモード
  通常印刷するときの色を設定します。（初期値は［カラー］）

応用設定：

- レイアウト
  JPEGファイルの配置方法を選択します。［1面］は、1枚の用紙に1ファイルを印刷します。［20面］は、1枚の用紙に20ファイルを印刷します。［インデックス］は、撮影情報付きのインデックス印刷をします。（初期値は［1面］）

- トリミング
  有効にすると、選択画像の上下（または左右）を自動的に切り取って指定の印刷レイアウトにフィットするように印刷します。画像データと用紙サイズの縦横比が異なる場合、画像の短辺を用紙の短辺に合わせて印刷領域いっぱいに印刷します。長辺は印刷領域からはみ出る部分が切り取られます。また、パノラマ写真では設定が無効になることがあります。（初期値は［オフ］）
- 印刷品質
  ［標準］が表示されています。
- 日付表示
  撮影日を入れて印刷するときの表示方法を指定します。レイアウトによっては日付が印刷できません。（初期値は［オフ］）
- 自動画質補正
  エプソン独自の画像解析・処理技術を使って自動的に高画質化します。自動補正をしたくないときは、［自動補正なし］を選択します。（初期値は［自動補正なし］）
- 赤目補正
  有効にすると、赤く撮影された目の色を補正することができます。元のファイルは補正しません。画像によっては赤目が補正されず、赤目以外の部分が補正されてしまうことがあります。（初期値は［オフ］）

外部メモリー内のTIFFデータを印刷する

プリンターにセットした外部メモリー内のTIFFデータを印刷します。

1. プリンターの外部機器接続用USBポートに外部メモリーを挿入します。
   「USB接続機器をセットする」44ページ

2. ホーム画面で［外部メモリーから印刷］を選択します。

3. ［TIFF印刷］を選択します。

4. ファイルを選択して次の画面に進みます。

5. ◇をタップします。

TIFF印刷設定

外部メモリー内のTIFF形式ファイルを印刷するときの設定項目です。

(ファイルの並び順)：

ファイル名の昇順または降順にファイルを並べ替えます。（初期値は［昇順］）

基本設定:

- 用紙設定
  使用する用紙の設定をします。（初期値は［C1］）
- カラーモード
  通常印刷するときの色を設定します。（初期値は［カラー］）

応用設定:

- レイアウト
  マルチTIFFファイルの配置方法を選択します。［1面］は、1枚の用紙に1ページ印刷します。［20面］は、1枚の用紙に20 ページ印刷します。［インデックス］は、撮影情報付きのインデックス印刷をします。（初期値は［1面］）
- トリミング
  有効にすると、選択画像の上下（または左右）を自動的に切り取って指定の印刷レイアウトにフィットするように印刷します。画像データと用紙サイズの縦横比が異なる場合、画像の短辺を用紙の短辺に合わせて印刷領域いっぱいに印刷します。長辺は印刷領域からはみ出る部分が切り取られます。また、パノラマ写真では設定が無効になることがあります。（初期値は［オフ］）
- 印刷品質
  ［標準］が表示されています。
- 印刷順序
  マルチTIFFファイルの印刷するページの順番が指定できます。（初期値は［正順印刷］）
- 日付表示
  撮影日を入れて印刷するときの表示方法を指定します。レイアウトによっては日付が印刷できません。（初期値は［オフ］）

ウェブページを印刷する

スマートデバイスからウェブページを印刷する

参考　デバイスによって操作が異なります。

1. プリンターとスマートデバイスをWi-Fi Directで接続します。
   「スマートデバイスとプリンターを直接接続する方法（Wi-Fi Direct）」297ページ

2. Epson iPrintをインストールしていない場合はインストールします。
   「Epson iPrintをインストールする」370ページ

3. ウェブブラウザーアプリで印刷したいウェブページを開きます。

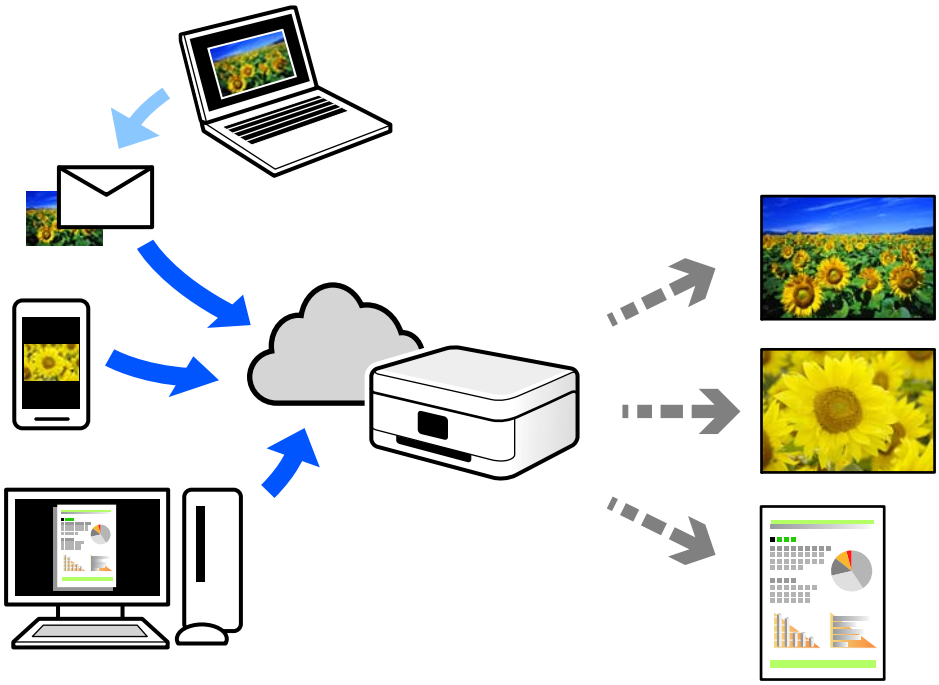
4. ウェブブラウザーアプリのメニューから［共有］をタップします。

5. ［iPrint］を選択します。

6. ［印刷］ボタンをタップします。

クラウドサービスで印刷する

インターネットを利用したEpson Connect（エプソン コネクト）サービスを使うと、コンピューターやスマートデバイスからいつでもどこからでも印刷できます。このサービスの利用には、Epson Connectのセットアップ（ユーザー登録、プリンター登録）が必要です。



インターネットを利用したサービスは以下の通りです。

- メールプリント
  プリンターに割り当てられたメールアドレスに、印刷したい写真や文書を添付してメールを送ると、メールの本文や添付ファイルの印刷ができます。離れた場所から、自宅やオフィスのプリンターに印刷できます。
- Epson iPrint
  スマートフォンやタブレット端末から印刷、またはスキャンするためのiOS、Android専用のアプリケーションです。同じ無線LAN内にあるプリンターに写真や文書、ウェブサイトなどを直接印刷できます。
- リモートプリントドライバー
  リモートプリントドライバー対応の共有ドライバーです。いつものアプリケーションの印刷画面からプリンターを切り替えるだけで、離れたプリンターに印刷できます。

Epson Connectのセットアップ方法や印刷方法など、詳しくはEpson Connectのポータルサイトをご覧ください。
https://www.epsonconnect.com/

操作パネルからEpson Connectサービスを登録する

以下の手順でプリンターを登録してください。

1. 操作パネルで［設定］を選択します。

2. ［本体設定］-［Webサービス設定］-［Epson Connect設定］-［登録削除］を選択して、登録シートを印刷します。

3. 登録シートの説明に従って、プリンターを登録します。

コピー

このプリンターでできるコピー 105

コピー時の基本設定メニュー 110

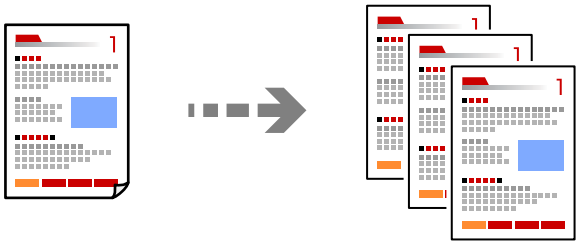
コピー時の応用設定メニュー 112

このプリンターでできるコピー

原稿を原稿台かADFにセットしてから、ホーム画面で［コピー］を選択してコピーします。

コピーする

定形サイズや、不定形サイズの原稿を、カラーまたはモノクロでコピーできます。



1. プリンターに用紙をセットします。
   「用紙のセット」34ページ

2. 原稿をセットします。
   「原稿のセット」40ページ

3. ホーム画面で［コピー］を選択します。

4. ［基本設定］タブを選択して、［自動］、［カラー］または［モノクロ］を選択します。

5. ◇をタップします。

両面にコピーする

複数枚の原稿を用紙の両面にコピーします。

1. 読み取る面を上にして、ADFに全ての原稿をセットします。

> **！重要** ADFに対応していない原稿をコピーしたい場合は、原稿台を使用してください。
> 「ADFにセットできない原稿」42ページ

参考 原稿は原稿台にもセットできます。
「原稿のセット」40ページ

2. ホーム画面で［コピー］を選択します。

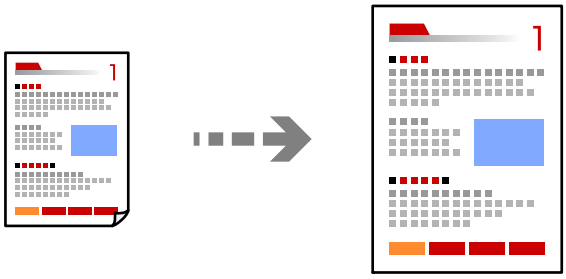
3. ［基本設定］タブを選択して、［両面設定］を選択し、［両面→両面］または［片面→両面］を選択します。

4. 原稿の向きと、原稿や用紙の開き方向などを指定します。

5. ◇をタップします。

拡大または縮小してコピーする

倍率を指定してコピーします。



1. 原稿をセットします。
「原稿のセット」40ページ

2. ホーム画面で［コピー］を選択します。

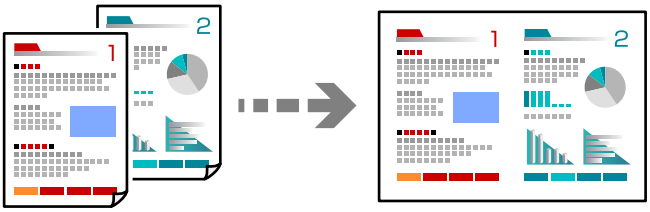
3. ［基本設定］タブを選択して、［倍率］を選択します。

4. 拡大縮小の倍率を指定します。

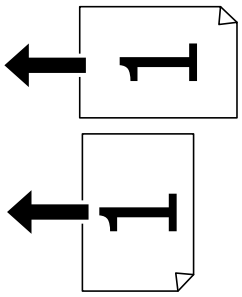
5. ◇をタップします。

割り付けてコピーする

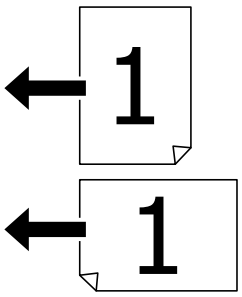
複数枚の原稿を、1枚の用紙に割り付けてコピーできます。



1. 読み取る面を上にして、ADFに全ての原稿をセットします。
   図で示した向きで原稿をセットします。
   - 読める向き



   - 左向き



> **重要** ADFに対応していない原稿をコピーしたい場合は、原稿台を使用してください。
> 「ADFにセットできない原稿」42ページ

参考 原稿は原稿台にもセットできます。
「原稿のセット」40ページ

2. ホーム画面で［コピー］を選択します。

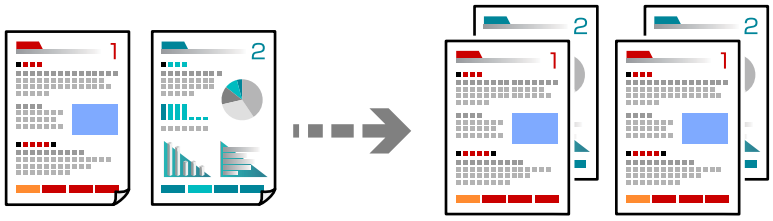
3. ［応用設定］タブを選択し、［ページ集約］を選択して、［2in1］または［4in1］を選択します。

4. 割り付け順や、原稿のセット向きを指定します。

5. ◇をタップします。

ページ順でコピーする

複数ページの原稿を複数部コピーするときに、1部ずつにまとめて排紙できます。



1. 原稿をセットします。
「原稿のセット」40ページ

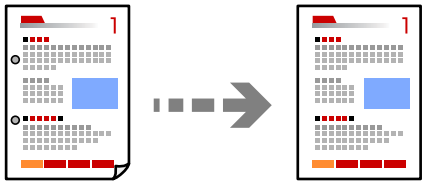
2. ホーム画面で［コピー］を選択します。

3. ［応用設定］タブを選択して、［仕上げ］-［ソート(1部ごと)］を選択します。

4. ◇をタップします。

きれいにコピーする

影やパンチ穴を消したり、画質調整をしてきれいにコピーできます。



1. 原稿をセットします。
「原稿のセット」40ページ

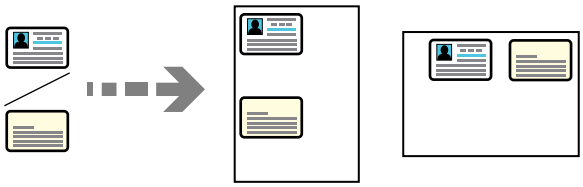
2. ホーム画面で［コピー］を選択します。

3. ［応用設定］タブを選択して、［影消し］や［パンチ穴消し］を有効にするか、［詳細画質調整］で画質を調整します。

4. ◇をタップします。

カードをコピーする

IDカードの両面をスキャンし、用紙の片面に並べてコピーします。



1. 原稿をセットします。
「原稿のセット」40ページ

2. ホーム画面で［コピー］を選択します。

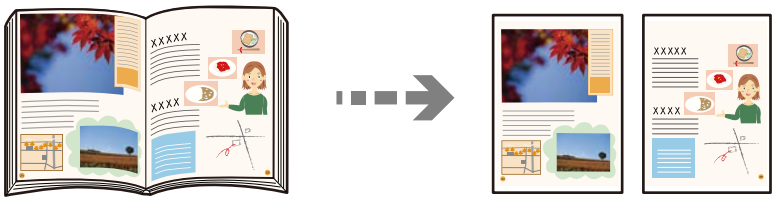
3. ［応用設定］タブを選択し、［IDカードコピー］を選択して、設定を有効にします。

4. ［原稿セット方向］を設定します。

5. ◇をタップします。

冊子をコピーする

冊子など見開きの原稿を1ページずつコピーします。



1. 原稿台に原稿をセットします。
「原稿のセット」40ページ

2. ホーム画面で［コピー］を選択します。

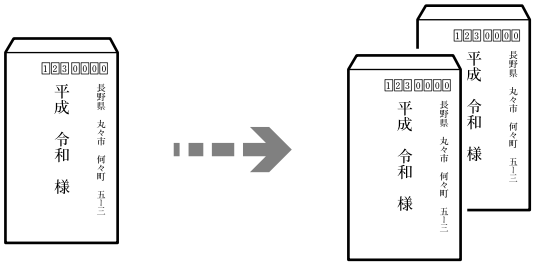
3. ［応用設定］タブを選択し、［見開き→2ページ］を選択して、設定を有効にします。

4. ［読み取り順序］を指定します。

5. ◇をタップします。

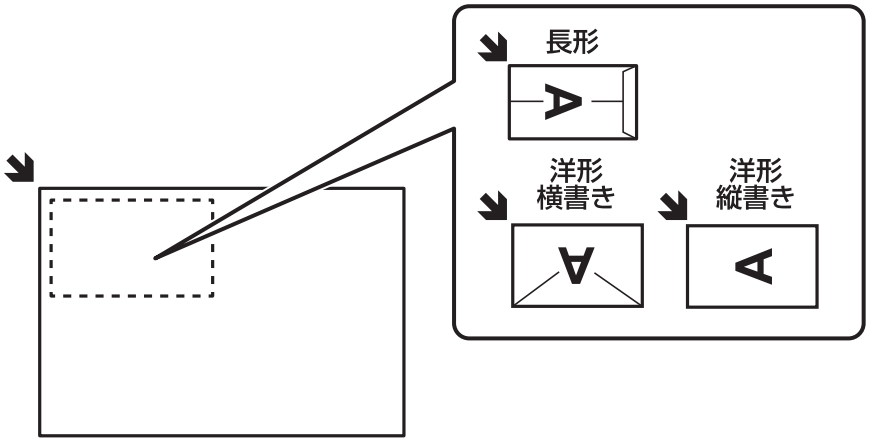
封筒やハガキをコピーする

封筒やハガキをコピーできます。



セット向きに気を付けてください。

- 用紙のセット方法
  以下の関連情報をご覧ください。
  「封筒のセット」35ページ
  「ハガキのセット方法」37ページ
- 原稿のセット方法
  原稿台にセットしてください。封筒をセットする場合は図の向きで封筒を置いてください。



コピー時の基本設定メニュー

参考　他の項目の設定内容によっては、これらの設定ができないことがあります。

カラーモード：

カラーでコピーするかモノクロでコピーするか選択します。（初期値は［モノクロ］）

- 自動
  原稿をカラーかモノクロか自動で判別してコピーします。
  ただし、原稿によってはモノクロの原稿をカラーと判別したり、カラーの原稿をモノクロと判別したりすることもあります。その場合は、［カラー］または［モノクロ］を選択してコピーするか、判定の度合いを調整することをお勧めします。判定の度合いは、ホーム画面で［設定］ - ［本体設定］ - ［管理者用設定］ - ［コピーカラー判定］の順に選択すると設定できます。

- カラー
  原稿をカラーでコピーします。
- モノクロ
  原稿をモノクロ（白黒）でコピーします。

濃度:

コピーの濃度を指定します。マイナスに設定すると全体的に薄い画像になり、プラスに設定すると濃い画像になります。（初期値は ±0、最大値は±4）

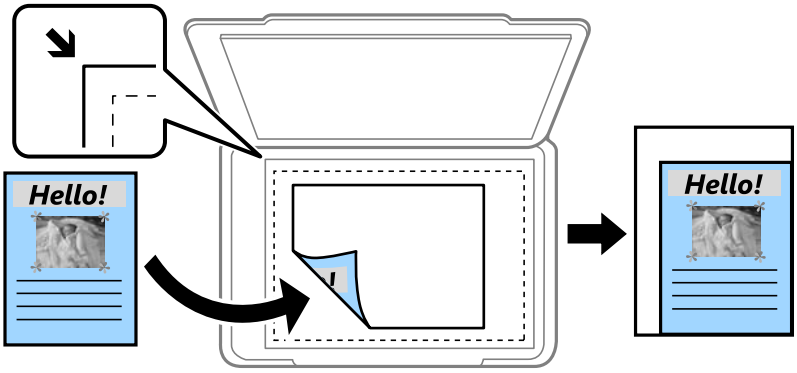
用紙設定：

使用する給紙装置を選択します。［自動］を選択すると、自動で検出された原稿サイズと、設定した倍率から、最適な用紙サイズを自動で給紙します。（初期値は［自動］）

倍率：

拡大または縮小コピーの倍率を設定します。任意の倍率（25～400%）を、数値をタップして指定してください。（初期値は［等倍］）

- 自動
  原稿の読み取り範囲を自動で検出して、用紙サイズに合わせた倍率で拡大または縮小します。原稿の周囲に余白がある場合、原点（↘）からの余白部分はスキャン範囲に含まれますが、原点から反対側の余白部分は切り取られることがあります。



- 小さめフィット
  スキャンした画像を印刷する用紙のサイズに収まるように、指定した倍率より小さめにコピーします。指定した倍率が、印刷する用紙サイズより大きいと、用紙からはみ出します。
- 等倍
  100%の倍率でコピーします。
- A3→A4など
  定形サイズの原稿（スキャン範囲）を、定形サイズの用紙に合わせた倍率で拡大または縮小します。

原稿種類：

原稿の種類を選択します。原稿の種類に合わせて最適な品質でコピーします。

両面設定：

両面コピーのレイアウトを選択します。（初期値は［片面→片面］）

- 片面→片面
  原稿の片面を用紙の片面にコピーします。

- 両面→両面
  両面の原稿を、1枚の用紙の両面にコピーします。原稿の向きと原稿と用紙の開き方向を選択します。
- 片面→両面
  2枚の原稿の片面を、1枚の用紙の両面にコピーします。原稿の向きと用紙の開き方向を選択します。
- 両面→片面
  両面の原稿を、2枚の用紙に片面ずつコピーします。原稿の向きと原稿の開き方向を選択します。

コピー時の応用設定メニュー

参考　他の項目の設定内容によっては、これらの設定ができないことがあります。

ページ集約：

コピーのレイアウトを選択します。（初期値は［しない］）

- しない
  1ページの原稿を、1枚の用紙にコピーします。
- 2in1
  2枚の原稿を、1枚の用紙に2面割り付けでコピーします。割り付け順序と原稿の向きを選択します。
- 4in1
  4ページの原稿を、1枚の用紙に4面割り付けでコピーします。割り付け順序と原稿の向きを選択します。

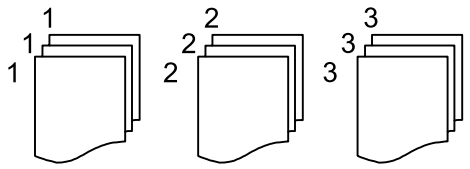
原稿サイズ：

原稿のサイズを選択します。［自動検知］を選択すると、原稿サイズが自動で検出されます。非定形サイズの原稿をコピーするときは、原稿サイズに近いサイズを選択してください。（初期値は［自動検知］）

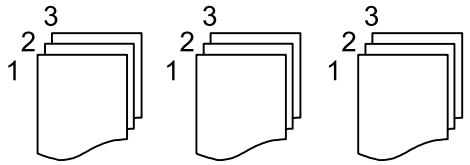
仕上げ：

複数ページの原稿を複数部コピーするときの排紙方法を選択します。（初期値は［ソート(1部ごと)］）

- グループ(ページごと)
  ページごとにまとめてコピーします。

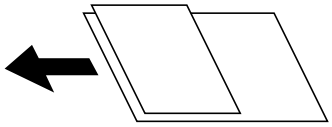


- ソート(1部ごと)
  1部ずつ、ページ順にそろえてコピーします。



原稿サイズ混載：

用紙の幅が同じ（A3とA4、B4とB5）原稿は、混在させてADFにセットできます。混在させても原稿と同じサイズの用紙に印刷します。セットするときは、図のように用紙の幅をそろえてセットしてください。（初期値は［オフ］）



原稿セット方向：

原稿の向きを選択します。（初期値は［読める向き］）

見開き→2ページ：

冊子など見開きの原稿を1ページずつコピーします。（初期値は［オフ］）
スキャンする順番を選択します。（初期値は［右ページ→左ページ］）

連続読込：

大量の原稿を複数回に分けて（継ぎ足して）セットし、一度のコピーとして実行できます。

詳細画質調整：

画質の設定を調整します。（初期値は±0、最大値は±4）

- コントラスト
  明るい部分と暗い部分の差を調整します。
- 鮮やかさ
  色の鮮やかさを調整します。
- 色調補正 レッド、色調補正 グリーン、色調補正 ブルー
  各色の濃さを調整します。
- シャープネス
  画像の輪郭を調整します。
- 色相調整
  肌の色味を調整します。＋をタップすると冷たく（グリーンが増す）、－をタップすると温かく（レッドが増す）なります。
- 背景除去
  背景色の濃さを調整します。+をタップすると明るく（白く）、－をタップすると暗く（黒く）なります。

とじしろ：

原稿のとじ位置、とじ幅、原稿の向きを選択します。（初期値は［オフ］）

小さめフィット：

スキャンした画像を印刷する用紙のサイズに収まるように、指定した倍率より小さめにコピーします。指定した倍率が、印刷する用紙サイズより大きいと、用紙からはみ出します。（初期値は［オフ］）

影消し：

冊子をコピーしたときに中央部に出る影や、厚い原稿をコピーしたときに周りに出る影を消します。（初期値は［オフ］）

パンチ穴消し：

パンチ穴の影を消してコピーします。（初期値は［オフ］）

IDカードコピー：

IDカードの両面をスキャンし、用紙の片面に並べてコピーします。

スキャン

このプリンターでできるスキャン 116

原稿をスキャンしてネットワークフォルダーに保存する 116

原稿をスキャンしてメールに添付する 120

原稿をスキャンしてコンピューターに保存する 123

原稿をスキャンして外部メモリーに保存する 125

原稿をスキャンしてクラウドに転送する 127

スマートデバイスからスキャンする 130

このプリンターでできるスキャン

このプリンターでは、以下の方法でスキャンができます。

スキャンした画像をネットワークフォルダーに保存する

スキャンした画像を、事前に設定したネットワーク上のフォルダーに保存できます。
「原稿をスキャンしてネットワークフォルダーに保存する」116ページ

スキャンした画像をメールに添付する

スキャンした画像を、事前に設定したメールサーバーを経由して、プリンターから直接メールで送信できます。
「原稿をスキャンしてメールに添付する」120ページ

スキャンした画像をコンピューターに保存する

スキャンした画像を、接続しているコンピューターに保存できます。
「原稿をスキャンしてコンピューターに保存する」123ページ

スキャンした画像を外部メモリーに保存する

プリンターに外部メモリーを接続して、スキャンした画像を、直接外部メモリーに保存できます。
「原稿をスキャンして外部メモリーに保存する」125ページ

スキャンした画像をクラウドサービスに転送する

事前に設定したクラウドサービスに、操作パネルを使って、スキャンした画像をそのまま転送できます。
「原稿をスキャンしてクラウドに転送する」127ページ

スマートデバイスから直接スキャンする

スマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスでEpson iPrintを使うと、スキャンした画像を直接スマートデバイスに保存できます。
「スマートデバイスからスキャンする」130ページ

原稿をスキャンしてネットワークフォルダーに保存する

スキャンする前に以下を確認してください。

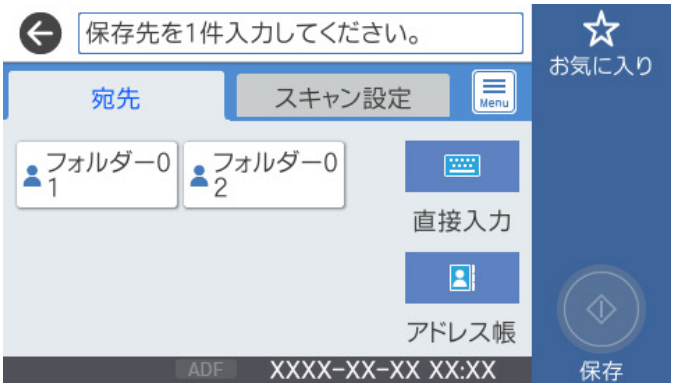
- 事前にネットワークフォルダーを準備してください。ネットワークに共有フォルダーを作成するときは、以下を参考にしてください。
  「共有フォルダーの作成」451ページ
- 事前にネットワークフォルダーのパスをアドレス帳に登録することをお勧めします。
  「アドレス帳を使えるようにする」470ページ

参考 事前にプリンターの［日付/時刻］と［時差］が正しく設定されていることを確認してください。操作パネルで［設定］-［本体設定］-［基本設定］-［日付/時刻設定］の順に選択します。

1. 原稿をセットします。
   「原稿のセット」40ページ

2. 操作パネルで［スキャン］-［ネットワークフォルダー］の順に選択します。

3. 宛先を指定します。
「フォルダー保存の宛先設定項目」117ページ



参考 Menu を選択すると、フォルダー保存の履歴を印刷できます。

4. ［スキャン設定］を選択して保存形式などの設定を確認し、必要に応じて変更します。
「フォルダー保存のスキャン設定項目」118ページ

参考 ☆ を選択すると、ここで設定した内容をお気に入りに登録できます。

5. ◇ をタップします。

フォルダー保存の宛先設定項目

直接入力：

［保存先編集］画面を開きます。保存先フォルダーのパスおよびその他の項目を設定します。

保存先編集：

保存先フォルダーのパスおよびその他の項目を設定します。

- 通信モード：
  フォルダーの通信モードを選択します。
- 保存先(必須項目)：
  スキャンした画像を保存するフォルダーのパスを入力します。
  ［参照］を選択すると、ネットワークに接続されたコンピューター上のフォルダーを検索できます。
  ［参照］は、［通信モード］がSMBに設定されているときのみ使用できます。
  アルファベット、数字、記号を入力するときは、半角文字と全角文字を正しく指定してください。 半角文字と全角文字の設定が間違っていると、共有フォルダーに保存できません。
- ユーザー名：
  指定したフォルダーにログオンするユーザー名を入力します。
- パスワード：
  ユーザー名に対応するパスワードを入力します。
- 接続モード：
  フォルダーの接続モードを選択します。
- ポート番号：
  フォルダーのポート番号を入力します。
- プロキシサーバー使用設定：
  プロキシーサーバーを使うかどうかを選択します。

アドレス帳：

宛先をアドレス帳から選択します。
アドレス帳から宛先を検索できます。画面上部の検索ボックスに検索ワードを入れてください。

フォルダー保存のスキャン設定項目

参考　他の項目の設定内容によっては、これらの設定ができないことがあります。

カラーモード：

原稿をカラーでスキャンするか、モノクロでスキャンするかを選択します。（初期値は［カラー］）

ファイル形式：

スキャンした画像の保存形式を選択します。（初期値は［PDF(マルチページ)］）
保存形式にPDF、PDF/A、またはTIFFを指定したときは、全ての原稿を一つのファイルに保存するか（マルチページ）、それぞれ別のファイルに保存するか（シングルページ）を選択できます。

- 圧縮率：
  スキャン画像の圧縮率を選択します。
- PDF設定：
  保存形式をPDFにすると、PDFのセキュリティーが設定できます。
  開くときにパスワードが必要なPDFファイルを作成するには、文書を開くパスワードを設定します。印刷したり編集したりするときにパスワードが必要なPDFファイルを作成するには、権限パスワードを設定します。

解像度：

スキャン解像度を選択します。（初期値は200 dpi、最大値は600 dpi）

両面設定：

原稿の両面をスキャンします。（初期値は［片面］）

- 原稿セット方向：
  原稿の向きを選択します。
- 開き方向(原稿)：
  原稿のとじ位置を選択します。

原稿読み取り：

スキャンする範囲を選択します。［最大範囲］を選択すると、原稿台の全ての領域をスキャンします。（初期値は［自動検知］）

- 原稿セット方向：
  原稿の向きを選択します。

原稿種類：

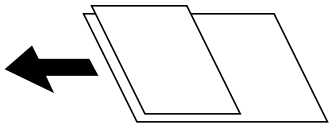
原稿の種類を選択します。（初期値は［文字］）

原稿セット方向：

原稿の向きを選択します。（初期値は［読める向き］）

原稿サイズ混載：

用紙の幅が同じ（A3とA4、B4とB5）原稿は、混在させてADFにセットできます。 混在させても原稿と同じサイズにスキャンします。セットするときは下図のようにセットしてください。（初期値は［オフ］）



濃度：

スキャン画像の濃度を選択します。（初期値は±0、最大値は±4）

影消し：

スキャンした画像から影を除去します。（初期値は［オフ］）

- 枠幅:
  スキャンした画像から、原稿のフチの影を除去します。
- 中央幅:
  スキャンした画像から、冊子のとじしろの影を除去します。

パンチ穴消し：

スキャンした画像からパンチ穴の影を除去します。右側のテキストボックスに数値を入力すると、パンチ穴の影を消す幅を指定できます。（初期値は［オフ］）

- 消し位置：
  パンチ穴の影の位置を指定できます。
- 原稿セット方向：
  原稿の向きを選択します。

ADF連続読込：

大量の原稿を複数回に分けて（継ぎ足して）セットし、一度のスキャンとして実行できます。（初期値は［オフ］）

ファイル名：

- ファイルヘッダー：
  画像のファイル名の先頭部分を、半角英数字および記号で入力します。（初期値は［未入力］）
- 日付を入れる:
  ファイル名に日付を追加します。（初期値は［オン］）
- 時刻を入れる:
  ファイル名に時間を追加します。（初期値は［オン］）

原稿をスキャンしてメールに添付する

スキャンする前に以下の設定が必要です。

- メールサーバーを設定してください。
  「メールサーバーを設定する」447ページ
- 事前に宛先のメールアドレスをアドレス帳に登録することをお勧めします。アドレス帳から選ぶだけで、宛先を素早く指定できます。
- 事前にプリンターの［日付/時刻］と［時差］が正しく設定されていることを確認してください。操作パネルで［設定］-［本体設定］-［基本設定］-［日付/時刻設定］の順に選択します。

1. 原稿をセットします。
   「原稿のセット」40ページ

2. 操作パネルで［スキャン］-［メール］の順に選択します。

3. 宛先を指定します。
   「メール添付の宛先設定項目」121ページ

参考
- 選択した宛先の数が画面の右側に表示されます。メールは最大10件の宛先（アドレスまたはグループ）に送信できます。
  宛先にグループが含まれるときは、グループ内のアドレスも合計して最大200件のアドレスに送信できます。
- 画面上部のボックスを選択すると、選択したアドレスの一覧を確認できます。
- Menu を選択すると、送信履歴を表示または印刷したり、メールサーバーの設定を変更したりできます。

4. ［スキャン設定］を選択して保存形式などの設定を確認し、必要に応じて変更します。
「メール添付のスキャン設定項目」121ページ

参考 ☆ を選択すると、ここで設定した内容をお気に入りに登録できます。

5. ◇ をタップします。

メール添付の宛先設定項目

直接入力：

メールアドレスを直接入力します。

アドレス帳：

宛先をアドレス帳から選択します。
アドレス帳から宛先を検索できます。画面上部の検索ボックスに検索ワードを入れてください。

履歴：

アドレスを履歴から選択します。

メール添付のスキャン設定項目

参考 他の項目の設定内容によっては、これらの設定ができないことがあります。

カラーモード：

原稿をカラーでスキャンするか、モノクロでスキャンするかを選択します。（初期値は［カラー］）

ファイル形式：

スキャンした画像の保存形式を選択します。（初期値は［PDF(マルチページ)］）
保存形式にPDF、PDF/A、またはTIFFを指定したときは、全ての原稿を一つのファイルに保存するか（マルチページ）、それぞれ別のファイルに保存するか（シングルページ）を選択できます。

- 圧縮率：
  スキャン画像の圧縮率を選択します。
- PDF設定：
  保存形式をPDFにすると、PDFのセキュリティーが設定できます。
  開くときにパスワードが必要なPDFファイルを作成するには、文書を開くパスワードを設定します。印刷したり編集したりするときにパスワードが必要なPDFファイルを作成するには、権限パスワードを設定します。

解像度：

スキャン解像度を選択します。（初期値は200 dpi、最大値は600 dpi）

両面設定：

原稿の両面をスキャンします。（初期値は［片面］）

- 原稿セット方向：
  原稿の向きを選択します。
- 開き方向(原稿)：
  原稿のとじ位置を選択します。

原稿読み取り：

スキャンする範囲を選択します。［最大範囲］を選択すると、原稿台の全ての領域をスキャンします。（初期値は［自動検知］）

- 原稿セット方向：
  原稿の向きを選択します。

原稿種類：

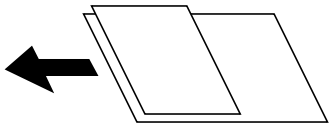
原稿の種類を選択します。（初期値は［文字］）

原稿セット方向：

原稿の向きを選択します。（初期値は［読める向き］）

原稿サイズ混載：

用紙の幅が同じ（A3とA4、B4とB5）原稿は、混在させてADFにセットできます。 混在させても原稿と同じサイズにスキャンします。セットするときは下図のようにセットしてください。（初期値は［オフ］）



濃度：

スキャン画像の濃度を選択します。（初期値は±0、最大値は±4）

影消し：

スキャンした画像から影を除去します。（初期値は［オフ］）

- 枠幅:
  スキャンした画像から、原稿のフチの影を除去します。
- 中央幅:
  スキャンした画像から、冊子のとじしろの影を除去します。

パンチ穴消し：

スキャンした画像からパンチ穴の影を除去します。右側のテキストボックスに数値を入力すると、パンチ穴の影を消す幅を指定できます。（初期値は［オフ］）

- 消し位置：
  パンチ穴の影の位置を指定できます。
- 原稿セット方向：
  原稿の向きを選択します。

ADF連続読込：

大量の原稿を複数回に分けて（継ぎ足して）セットし、一度のスキャンとして実行できます。（初期値は［オフ］）

件名：

メールの件名を半角英数字または記号で入力します。

添付最大ファイルサイズ：

メールに添付するファイルの最大サイズを選択します。（初期値は5 MB、最大値は30 MB）

ファイル名：

- ファイルヘッダー：
  画像のファイル名の先頭部分を、半角英数字および記号で入力します。（初期値は［未入力］）
- 日付を入れる:
  ファイル名に日付を追加します。（初期値は［オン］）
- 時刻を入れる:
  ファイル名に時間を追加します。（初期値は［オン］）

メールの暗号化：

Eメールを暗号化して送信します。（初期値は［オフ］）

デジタル署名：

メールに電子署名を追加します。（初期値は［オフ］）

原稿をスキャンしてコンピューターに保存する

スキャンした画像を、ネットワークで接続しているコンピューターに保存できます。

保存方法（ジョブ）は、コンピューター上のスキャンソフトウェア「Document Capture Pro」に登録されています。スキャンした画像をコンピューターに保存するジョブがあらかじめ登録されています。Document Capture Proを使って、新しいジョブを登録することもできます。

参考 スキャンする前に以下の設定が必要です。

- お使いのコンピューターに以下のソフトウェアをインストールする。
  - Document Capture Pro
  - Epson Scan 2（スキャナーを動作させるために必要なソフトウェア）

  インストールされているソフトウェアを確認するためには、以下を参照してください。
  Windows 10：スタートボタンをクリックし、［Windowsシステムツール］-［コントロールパネル］-［プログラム］-［プログラムと機能］の順に選択します。
  Windows 8.1/Windows 8：［デスクトップ］-［設定］-［コントロールパネル］-［プログラム］-［プログラムと機能］の順に選択します。
  Windows 7：スタートボタンをクリックし、［コントロールパネル］-［プログラム］-［プログラムと機能］の順に選択します。
  Mac OS：［移動］-［アプリケーション］-［Epson Software］の順に選択します。
- お使いのコンピューターをネットワークに接続する。
- Windows Serverをお使いのときは、コントロールパネルでの動作設定が必要です。

1. 原稿をセットします。
   「原稿のセット」40ページ

2. 操作パネルで［スキャン］-［コンピューター］の順に選択します。

3. ［コンピューターを選択してください。］を選択して、Document Capture Proがインストールされたコンピューターを選択します。

参考
- 操作パネルには、Document Capture Proがインストールされたコンピューターが最大100台表示されます。
- 動作モードを［サーバーモード］にしているときは、この手順は必要ありません。

4. ［ジョブを選択してください。］を選択して、ジョブを選択します。

   参考 ジョブを1つしか登録していないときは、ジョブを選択する必要はありません。次の手順に進みます。

5. ジョブ内容が表示されている部分を選択して、ジョブの詳細を確認します。

6. ◇ をタップします。

コンピューターが自動でDocument Capture Proを起動して、スキャンが始まります。

参考
- 新規ジョブの作成や登録など、ソフトウェアの詳しい使い方はDocument Capture Proのヘルプをご覧ください。
- プリンターの操作パネルからだけでなく、コンピューターからもDocument Capture Proを使ってスキャンできます。詳しくはDocument Capture Proのヘルプをご覧ください。

関連情報

- 「書類をスキャンするソフトウェア（Document Capture Pro）」370ページ
- 「ソフトウェアを個別にインストールする」185ページ
- 「Document Capture Pro Serverを使う」483ページ

原稿をスキャンして外部メモリーに保存する

1. 原稿をセットします。

「原稿のセット」40ページ

2. プリンターに外部メモリーをセットします。

「USB接続機器をセットする」44ページ

3. 操作パネルで［スキャン］-［外部メモリー］の順に選択します。

4. スキャン設定をします。

「外部メモリー保存の基本設定項目」126ページ
「外部メモリー保存の応用設定項目」126ページ

参考 ☆ を選択すると、ここで設定した内容をお気に入りに登録できます。

5. ◇ をタップします。

外部メモリー保存の基本設定項目

参考 他の項目の設定内容によっては、これらの設定ができないことがあります。

モノクロ/カラー

原稿をモノクロでスキャンするか、カラーでスキャンするかを選択します。（初期値は［カラー］）

ファイル形式：

スキャンした画像の保存形式を選択します。（初期値は［PDF(マルチページ)］）
保存形式にPDF、PDF/A、またはTIFFを指定したときは、全ての原稿を一つのファイルに保存するか（マルチページ）、それぞれ別のファイルに保存するか（シングルページ）を選択できます。

- 圧縮率：
  スキャン画像の圧縮率を選択します。
- PDF設定：
  保存形式をPDFにすると、PDFのセキュリティーが設定できます。
  開くときにパスワードが必要なPDFファイルを作成するには、文書を開くパスワードを設定します。印刷したり編集したりするときにパスワードが必要なPDFファイルを作成するには、権限パスワードを設定します。

解像度：

スキャン解像度を選択します。（初期値は200 dpi、最大値は600 dpi）

両面設定：

原稿の両面をスキャンします。（初期値は［片面］）

- 原稿セット方向：
  原稿の向きを選択します。
- 開き方向(原稿)：
  原稿のとじ位置を選択します。

原稿読み取り：

スキャンする範囲を選択します。［最大範囲］を選択すると、原稿台の全ての領域をスキャンします。（初期値は［自動検知］）

- 原稿セット方向：
  原稿の向きを選択します。

原稿種類：

原稿の種類を選択します。（初期値は［文字］）

外部メモリー保存の応用設定項目

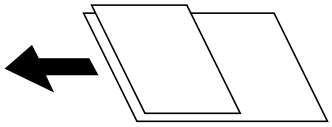
参考 他の項目の設定内容によっては、これらの設定ができないことがあります。

原稿セット方向：

原稿の向きを選択します。（初期値は［読める向き］）

原稿サイズ混載：

用紙の幅が同じ（A3とA4、B4とB5）原稿は、混在させてADFにセットできます。 混在させても原稿と同じサイズにスキャンします。セットするときは下図のようにセットしてください。（初期値は [オフ] ）



濃度：

スキャン画像の濃度を選択します。（初期値は±0、最大値は±4）

影消し：

スキャンした画像から影を除去します。（初期値は［オフ］）

- 枠幅:
  スキャンした画像から、原稿のフチの影を除去します。
- 中央幅:
  スキャンした画像から、冊子のとじしろの影を除去します。

パンチ穴消し：

スキャンした画像からパンチ穴の影を除去します。右側のテキストボックスに数値を入力すると、パンチ穴の影を消す幅を指定できます。（初期値は［オフ］）

- 消し位置：
  パンチ穴の影の位置を指定できます。
- 原稿セット方向：
  原稿の向きを選択します。

ADF連続読込：

大量の原稿を複数回に分けて（継ぎ足して）セットし、一度のスキャンとして実行できます。（初期値は［オフ］）

ファイル名：

- ファイルヘッダー：
  画像のファイル名の先頭部分を、半角英数字および記号で入力します。（初期値は［未入力］）
- 日付を入れる:
  ファイル名に日付を追加します。（初期値は［オン］）
- 時刻を入れる:
  ファイル名に時間を追加します。（初期値は［オン］）

原稿をスキャンしてクラウドに転送する

この機能を使う前に、Epson Connectの設定をしておいてください。詳しくはEpson Connectのポータルサイトをご覧ください。
https://www.epsonconnect.com/

1. 原稿をセットします。
「原稿のセット」40ページ

2. 操作パネルで［スキャン］-［クラウド］の順に選択します。

3. 画面上部の ⊕ を選択して、宛先を選択します。

4. スキャン設定をします。

「クラウド保存の基本設定項目」128ページ
「クラウド保存の応用設定項目」129ページ

参考 ☆ を選択すると、ここで設定した内容をお気に入りに登録できます。

5. ◇ をタップします。

クラウド保存の基本設定項目

参考 他の項目の設定内容によっては、これらの設定ができないことがあります。

モノクロ/カラー

原稿をモノクロでスキャンするか、カラーでスキャンするかを選択します。（初期値は［カラー］）

ファイル形式：

スキャンした画像の保存形式を選択します。（初期値は［PDF(マルチページ)］）
保存形式にPDFを指定したときは、全ての原稿を一つのファイルに保存するか（マルチページ）、それぞれ別のファイルに保存するか（シングルページ）を選択できます。

両面設定：

原稿の両面をスキャンします。（初期値は［片面］）

- 原稿セット方向：
  原稿の向きを選択します。

- 開き方向(原稿)：
  原稿のとじ位置を選択します。

原稿読み取り：

スキャンする範囲を選択します。［最大範囲］を選択すると、原稿台の全ての領域をスキャンします。（初期値は［自動検知］）

- 原稿セット方向：
  原稿の向きを選択します。

クラウド保存の応用設定項目

参考　他の項目の設定内容によっては、これらの設定ができないことがあります。

原稿種類：

原稿の種類を選択します。（初期値は［文字］）

原稿セット方向：

原稿の向きを選択します。（初期値は［読める向き］）

濃度：

スキャン画像の濃度を選択します。（初期値は±0、最大値は±4）

影消し：

スキャンした画像から影を除去します。（初期値は［オフ］）

- 枠幅:
  スキャンした画像から、原稿のフチの影を除去します。
- 中央幅:
  スキャンした画像から、冊子のとじしろの影を除去します。

パンチ穴消し：

スキャンした画像からパンチ穴の影を除去します。右側のテキストボックスに数値を入力すると、パンチ穴の影を消す幅を指定できます。（初期値は［オフ］）

- 消し位置：
  パンチ穴の影の位置を指定できます。
- 原稿セット方向：
  原稿の向きを選択します。

ADF連続読込：

大量の原稿を複数回に分けて（継ぎ足して）セットし、一度のスキャンとして実行できます。（初期値は［オフ］）

スマートデバイスからスキャンする

参考
- スキャンする前に、Epson iPrintでプリンターとスマートデバイスを接続してください。
- Epson iPrintの画面は予告なく変更されることがあります。
- Epson iPrintの画面に表示される内容は、お使いの製品により異なることがあります。

1. 原稿をセットします。
「原稿のセット」40ページ

2. Epson iPrintを起動します。

3. ホーム画面で［スキャン］をタップします。

4. ［スキャン］をタップします。

参考 スキャン設定を変更できます。右上の のアイコンをタップします。

スキャンが始まります。

5. スキャンした画像を確認して、保存先を選択します。
- : スキャンした画像を保存する画面を表示します。
- : スキャンした画像をメールで送信する画面を表示します。
- : スキャンした画像を印刷する画面を表示します。

6. この後は、画面の指示に従って操作してください。

ファクス（LP-M8180Fのみ）

ファクスを使う前に 132

ファクス機能の紹介 132

プリンターからファクスを送信する 138

プリンターでファクスを受信する 146

ファクスメニューの説明 153

ファクスボックスメニューの説明 158

ファクスのジョブ状態や履歴を確認する 165

コンピューターからファクスを送信する 167

コンピューターでファクスを受信する 172

ファクスを使う前に

ファクスを使うには、ファクスプラン契約が必要となります。お使いのプリンターがファクス使用可能かどうか、エプソンのインフォメーションセンター にご確認ください。
ファクスを使用する前に、以下を行ってください。

- プリンターと電話回線、外付け電話機（使用する場合）の接続
- ファクスを使用するための基本設定
- 使用環境に合わせたファクス設定

「プリンターを電話回線に接続する」485ページ
「プリンターでファクス送受信できるようにする」491ページ
「用途に応じてファクス機能の設定をする」492ページ
「ファクス設定（LP-M8180Fのみ）」382ページ
「メールサーバーを設定する」447ページ
「共有フォルダーを設定する」451ページ
「アドレス帳を使えるようにする」470ページ
プリンターにファクスを増設しているときは、以下の情報もご覧ください。
「増設G3ファクスボード」343ページ
管理者がいる場合、プリンターの設定状態や接続状態は管理者にお問い合わせください。

ファクス機能の紹介

機能：ファクス送信

送信方法

- 自動送信

  ◇（［送信］）をタップして原稿をスキャンすると、自動で宛先にダイヤルしてファクス送信します。
  「プリンターからファクスを送信する」138ページ

- 手動送信

  相手先にダイヤルしてつながったことを確認してから◇（［送信］）をタップするとファクスを直接送信します。
  「送信先の状況を確認してから手動送信する（オンフック）」140ページ
  「外付け電話機からダイヤルして送信する」141ページ

宛先入力（送信時）

［直接入力］や［アドレス帳］、［宛先履歴］から入力できます。
「宛先」153ページ
「アドレス帳を使えるようにする」470ページ

原稿の読み取り設定（送信時）

［画質］や［原稿サイズ(原稿台)］などを指定して送信できます。
「読み取り設定：」154ページ

送信設定（送信時）

［ダイレクト送信］（大量原稿を安定送信）や、［バックアップ送信設定］（送信ファクスのバックアップ）などの［送信設定］ができます。バックアップは、送信失敗時にバックアップと合わせメールで通知するようにあらかじめ設定することもできます。

「送信設定：」155ページ
「バックアップエラーレポート：」395ページ
「メールサーバーを設定する」447ページ

機能：ファクス受信

受信モード

相手先から送られてきたファクスを受信する方法（受信モード）は3つあります。

- 手動
  通話が主だが、ファクスにも使用する
  「手動モード」146ページ
- 自動
  ・ファクス専用で使用する（外付け電話機は不要）
  ・ファクスと留守番電話機兼用で使用する
  「自動モード」147ページ
- ファクス/電話自動切替
  ファクスが主だが、通話にも使用する
  「ファクス/電話自動切替モード」148ページ

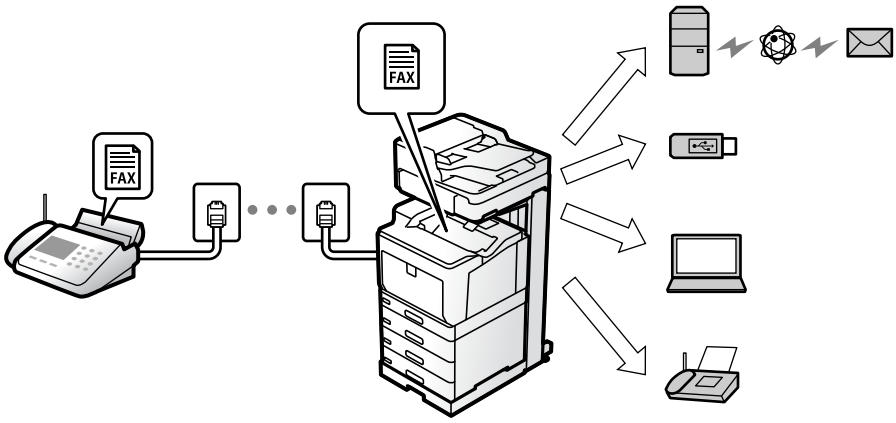
外付け電話機の操作で受信する

外付け電話機で電話を受け、音声電話のときは相手と通話でき、ファクスのときはプリンターの操作で受信を開始します。

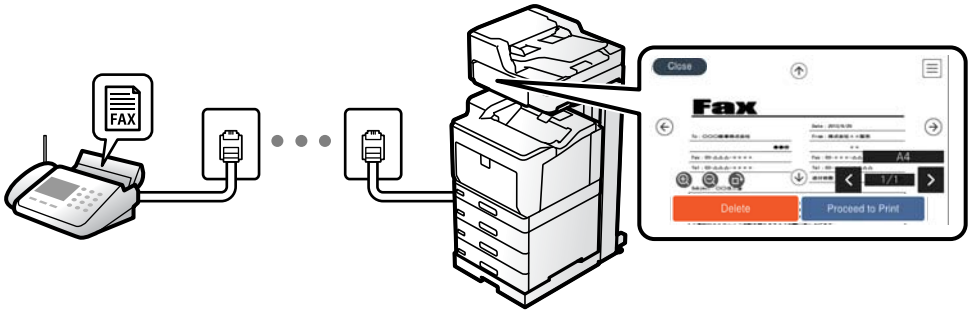
「基本設定」383ページ
「外付け電話機接続時の設定をする」494ページ

受信文書の出力先

- 条件なしで出力：初期設定では、受信文書は自動でプリンターから印刷されます。出力先の設定をすることで、受信ボックスや外部メモリーへの保存、メールやフォルダーへの転送、他のファクスへの転送ができます。受信ボックスに保存すると画面で内容を確認できます。

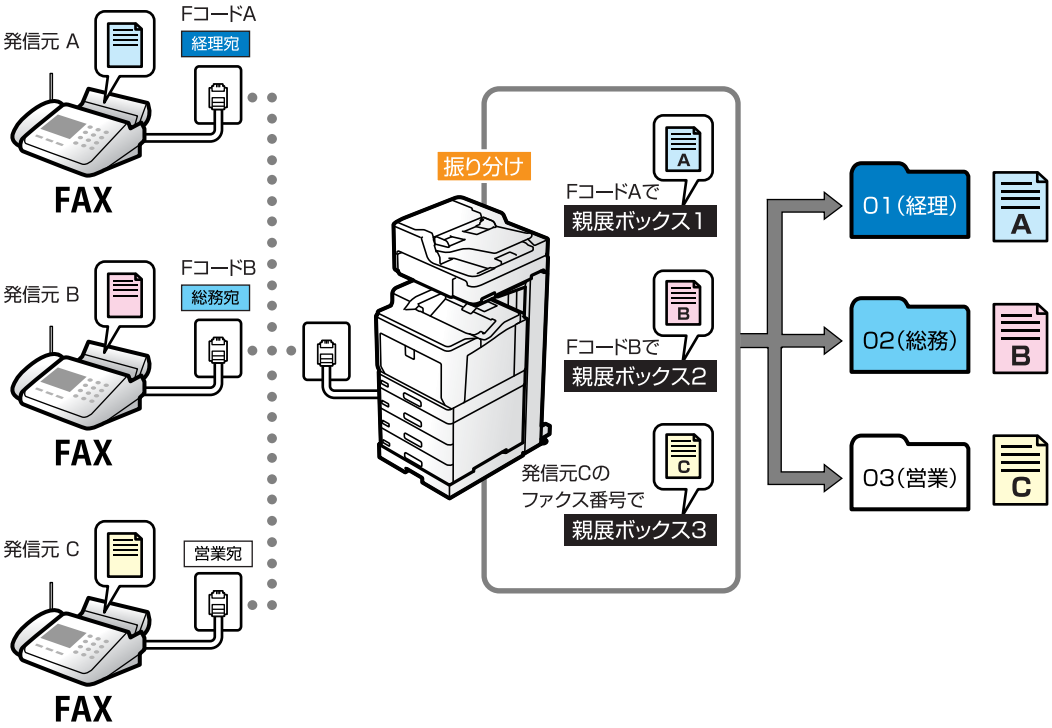


「条件なし保存・転送：」388ページ



「受信ボックス設定：」393ページ
「受信したファクスをプリンターの画面で確認する」152ページ

- 条件一致で出力：設定した条件に合わせた出力先に出力します。出力先には、受信ボックスや親展ボックス、外部メモリー、メール転送、フォルダー転送、他のファクスへの転送が選択できます。受信ボックスか親展ボックスに保存すると画面で内容を確認できます。



「条件保存・転送：」390ページ
「条件保存・転送リスト：」157ページ

機能：コンピューターからの送受信（Windows/Mac OS）

PC-FAX送信

コンピューターからファクスを送信できます。

「PC-FAX送信機能：」387ページ
「ファクスのソフトウェア」372ページ
「コンピューターからファクスを送信する」167ページ

PC-FAX受信

コンピューターでファクスを受信できます。

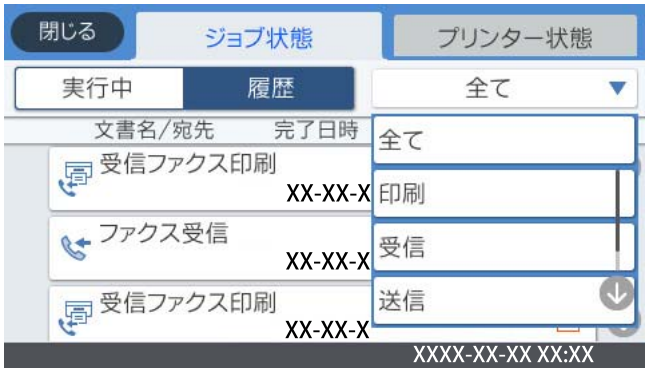
「コンピューターからのファクス送受信を設定する」502ページ
「ファクスのソフトウェア」372ページ
「コンピューターでファクスを受信する」172ページ

機能：いろいろなファクスレポート

ファクスの送受信状況をレポートでチェックできます。

「レポート設定」395ページ
「送信設定：」155ページ
「通信履歴表示：」157ページ
「ファクスレポート印刷：」157ページ

機能：ファクスのジョブやログの確認



送受信の状況や履歴を確認できます。
「ファクスのジョブ状態や履歴を確認する」165ページ

機能：ファクスボックス

受信ボックスと親展ボックス

受信した文書をプリンターの受信ボックスまたは親展ボックスに保存できます。
「受信/親展」158ページ

待機文書送信ボックス

このボックスに保存しておいた文書を使ってファクス送信できます。
「待機文書送信：」160ページ

ポーリング送信/掲示板ボックス

ポーリング送信ボックスや掲示板ボックスに保存した文書は、受信側からの要求で送信されます。
「ポーリング送信/掲示板」161ページ

ファクスボックスのセキュリティー

ボックスごとにパスワードを設定できます。
「機能：安全なファクス送受信（セキュリティー）　」137ページ

機能：安全なファクス送受信（セキュリティー）

誤送信防止（［直接ダイヤル制限］など）や漏えい防止（［バックアップデータ自動消去］など）といったセキュリティー機能を備えています。ボックスにはパスワードが設定できます。
「セキュリティー設定」396ページ
「パスワード設定：」393ページ
「ファクスボックスメニューの説明」158ページ
「ボックス内文書削除設定：」393ページ

機能：その他の役立つファクス機能

迷惑ファクス防止

迷惑ファクスの受信を拒否できます。
「迷惑ファクスの受信拒否を設定する」501ページ

ダイヤルしてからファクス受信

相手先にダイヤルして、相手先のファクス機から文書を受信できます。
「相手先にダイヤルしてファクスを受信する」149ページ
「ポーリング受信：」157ページ

便利な送信機能

ファクス送信するときに頻繁に設定したい項目を、［ファクス設定］タブの先頭に表示できます。
「クイック操作ボタン1、クイック操作ボタン2、クイック操作ボタン3：」383ページ
「クイック操作ボタン：」154ページ

プリンターからファクスを送信する

操作パネルでファクスの宛先を入力して送信できます。

参考
- モノクロ送信時は、スキャンした原稿をプリンターの画面で確認してから送信できます。
- 通話やファクス送受信で電話回線が使用中でも、モノクロ文書を50件まで予約できます。予約文書は[i]で確認や削除ができます。

1. 原稿をセットします。
一度に送信できる原稿は200ページまでです。ただし、メモリー残量によっては200ページ以下でも送信できない場合があります。

2. ホーム画面で［ファクス］を選択します。

参考 クイックダイヤルでファクス用の登録番号を入力すると、宛先が設定されたファクス画面が表示されます。この宛先だけに送信するときは手順4に、他の宛先にも送信するときは手順3に進みます。

3. 宛先を指定します。
「宛先を選択する」138ページ
プリンターにファクスを増設しているときは、以下の情報もご覧ください。
「プリンターからファクスを送信する （増設G3ファクスボード装着時）」347ページ

4. ［ファクス設定］タブを選択し、必要に応じて設定をします。
「ファクス設定」154ページ

5. ◇をタップしてファクスを送信します。

参考
- 相手先が話し中などでファクスが送信できなかったときは自動でリダイヤルします。リダイヤル回数やリダイヤル間隔は変更できます。
- 送信を中止するときは、▽をタップします。
- カラー送信は、読み取りながら送信するため時間がかかります。また、カラー送信中は他の機能は使用できません。

関連情報

➡ 「実行中のファクスジョブを確認する」166ページ

宛先を選択する

［宛先］タブで宛先を指定してファクス送信できます。宛先の指定の仕方には以下があります。

ファクス番号を直接入力する

［直接入力］を選択し、ファクス番号を入力して、［OK］をタップします。
ダイヤル中にポーズ（約3秒の待ち時間）を入れたいときはハイフン（-）を入力してください。
［接続回線］で外線発信番号を設定したときは、外線発信番号の代わりにファクス番号の先頭に「#」を付けてください。

参考 直接入力できない場合は、［セキュリティー設定］で［直接ダイヤル制限］が［オン］に設定されています。アドレス帳や履歴、クイックダイヤルから宛先を指定してください。

アドレス帳から宛先を選択する

［アドレス帳］を選択して宛先を選択します。送信したい宛先が［アドレス帳］に未登録のときは、をタップして登録します。

送信履歴から宛先を選択する

［宛先履歴］を選択して、宛先を選択します。

［宛先］タブに表示された一覧から宛先を選択する

［設定］-［アドレス帳管理］-［常用管理］で登録した宛先を選択します。

参考 選択した宛先を解除するときは、画面のファクス番号または選択件数をタップして宛先リストを表示し、選択解除したい宛先をタップして［選択を解除］を選択します。

関連情報

➡ 「アドレス帳を使えるようにする」470ページ

便利な送信方法

スキャンした文書を確認してから送信する

モノクロ送信時は、スキャンした原稿をプリンターの画面で確認してから送信できます。

1. 原稿をセットします。
   「原稿のセット」40ページ

2. ホーム画面で［ファクス］を選択します。

3. 宛先を指定します。
   「宛先を選択する」138ページ
   プリンターにファクスを増設しているときは、以下の情報もご覧ください。
   「プリンターからファクスを送信する （増設G3ファクスボード装着時）」347ページ

4. ［ファクス設定］タブを選択し、必要に応じて設定をします。
   「ファクス設定」154ページ

5. ファクスのトップ画面でをタップしてスキャンした文書のイメージを確認します。

6. ［送信開始］を選択します。送信しないときは［中止］を選択します。

：矢印方向に画面を移動

：縮小、拡大

：前ページへ移動 、次ページへ移動

参考
- ［ダイレクト送信］が設定されているとプレビューできません。
- プレビュー中に無操作の時間が、［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［送信設定］-［送信プレビュー無操作タイマー］での設定時間以上続くと、自動で送信を開始します。
- 相手先のファクス機の仕様に合わせるため、プレビューで確認した画質で送信されないことがあります。

送信先の状況を確認してから手動送信する（オンフック）

送信先の状況（ダイヤル中、通信中、通話中）を音や音声としてスピーカーから流して、それを聞きながら送信できます。

1. ホーム画面で［ファクス］を選択します。

2. ［ファクス設定］タブで、必要に応じた設定をします。
「ファクス設定」154ページ

3. ［宛先］タブで、 をタップして宛先を指定します。

参考 スピーカーの音量を調節できます。

4. ファクス信号（ピー音）が聞こえたら、画面右上の［送受信切替］を選択して［送信］を選択します。

参考 ファクス情報サービスで音声ガイダンスが流れたら、ガイダンスの指示に従って操作してください。

5. をタップしてファクスを送信します。

外付け電話機からダイヤルして送信する

ファクスを送信する前に通話したいときや、自動で切り替わらないファクス機にファクスを送信したいときに、外付け電話機を使って送信できます。

1. 外付け電話機の受話器を上げて相手先のファクス番号をダイヤルします。

   参考 相手が電話に出たら、通話できます。

2. ホーム画面で［ファクス］を選択します。

3. ［ファクス設定］で、必要に応じた設定をします。

   「ファクス設定」154ページ

4. ファクス信号（ボー音）が聞こえたら、◇をタップして電話を切ります。

   参考 外付け電話機からダイヤルしたときは、原稿をスキャンしながら送信するため時間がかかります。送信中は他の機能は使用できません。

受信側の操作で送信する（ポーリング送信/掲示板ボックス）

ポーリング送信ボックスや掲示板ボックスにモノクロ文書をあらかじめ蓄積しておくと、相手側ファクス機からの操作で蓄積文書が送信されます。ポーリング送信は1ボックス、掲示板は10ボックスあります。ボックスごとに1件（最大200ページまで）の文書を蓄積できます。この機能は、プリンターの掲示板ボックスに文書が蓄積されていて、相手側（受信側）のファクス機がFコード通信に対応している場合に利用できます。

関連情報

- 「ポーリング送信ボックスを設定する」141ページ
- 「掲示板ボックスを登録する」142ページ
- 「ポーリング送信/掲示板ボックスに文書を蓄積する」142ページ

ポーリング送信ボックスを設定する

ポーリング送信ボックスに蓄積できるのは1文書のみです。必要に応じて以下のオプション設定を有効にします。

1. ホーム画面で［ファクスボックス］を選択し、［ポーリング送信/掲示板］を選択します。

2. ［ポーリング送信］を選択し、Menuをタップして、［設定変更］を選択します。

   参考 パスワード入力画面が表示された場合はパスワードを入力してください。

3. 必要に応じて［送信結果メール通知］などの項目を設定します。

   参考 ［ボックスを開くパスワード］を設定すると、次回以降ボックスを開くたびにパスワード入力が要求されます。

4. ［OK］を選択して設定を保存します。

関連情報

➡ 「ポーリング送信：」162ページ

掲示板ボックスを登録する

掲示板ボックスに保存するには、事前登録が必要です。登録手順は以下です。

1. ホーム画面で［ファクスボックス］を選択し、［ポーリング送信/掲示板］を選択します。

2. ［未登録の掲示板］と表示されたボックスを選択します。

   参考 パスワード入力画面が表示された場合はパスワードを入力してください。

3. 画面に表示された項目の設定をします。
   - ［登録名(必須項目)］に登録名を入力する
   - ［Fコード(SEP)］にFコードを入力する
   - ［パスワード(PWD)］にパスワードを入力する

4. 必要に応じて［送信結果メール通知］などの項目を設定します。

   参考 ［ボックスを開くパスワード］を設定すると、次回以降ボックスを開くたびにパスワード入力が要求されます。

5. ［OK］を選択して設定を保存します。

設定変更や登録削除をする画面を表示するには、変更や削除をしたいボックスを選択して Menu をタップします。

関連情報

➡ 「未登録の掲示板：」163ページ

ポーリング送信/掲示板ボックスに文書を蓄積する

1. ホーム画面で［ファクスボックス］-［ポーリング送信/掲示板］の順に選択します。

2. ［ポーリング送信］、または登録済み掲示板のどれか1つをタップします。
   パスワード入力画面が表示された場合はパスワードを入力します。

3. ［文書を登録する］をタップします。

4. ファクス設定画面が表示されたらファクス設定を確認して、◇をタップします。

保存した文書の中身を確認するには、ホーム画面から［ファクスボックス］-［ポーリング送信/掲示板］の順に選択し、確認したい文書の入ったボックスを選択して、［文書を確認する］をタップします。開いた画面では、スキャンした原稿を閲覧、印刷、削除することができます。

関連情報

➡ 「登録済み掲示板ボックス」164ページ

大量ページのモノクロ文書を送る（ダイレクト送信）

モノクロ送信では、スキャンした文書をメモリーに保存します。そのため、大量の文書を読み込むとメモリーが不足して送信できないことがあります。［ダイレクト送信］を有効にするとこのトラブルが回避できます。原稿をスキャンしながら送信するため時間はかります。ダイレクト送信時に指定できる宛先は1件のみです。

メニューを表示するには

プリンターの操作パネルから以下の順に選択すると表示されます。
［ファクス］-［ファクス設定］-［ダイレクト送信］

優先して送信する（優先送信）

送信待ち文書があるときでも、急ぎの原稿を優先して送信できます。

参考 優先送信に設定しても、以下のプリンター動作中は割り込めないため、優先されません。

- モノクロ文書のダイレクト送信
- カラー文書送信
- 外付け電話機から送信
- コンピューターから送られた文書の送信（メモリー送信を除く）

メニューを表示するには

プリンターの操作パネルから以下の順に選択すると表示されます。
［ファクス］-［ファクス設定］-［優先送信］

関連情報

➡ 「ファクスのジョブ状態や履歴を確認する」165ページ

指定した時刻にモノクロで送信する（時刻指定送信）

指定した時刻にファクス送信できます。時刻指定送信できるのはモノクロ送信のみです。

メニューを表示するには

プリンターの操作パネルから以下の順に選択すると表示されます。
［ファクス］-［ファクス設定］タブ
［時刻指定送信］を有効にして、送信時刻を指定してください。

参考 予約のキャンセルは[i]からできます。

関連情報

➡ 「ファクスのジョブ状態や履歴を確認する」165ページ

異なるサイズの原稿をADFから送信する（ADF連続読込）

サイズの異なる原稿を1枚ずつセットするか、サイズごとに分けてセットすると、それぞれの原稿サイズで（原稿がA4ならA4で、A5ならA5で）1つの文書としてファクス送信できます。
もし、サイズの異なる原稿を混在させてセットすると、一番大きな原稿サイズで全ての原稿が送信されてしまいます。サイズが異なる原稿を混在させてADFにセットすると、一番大きな原稿サイズとして全ての原稿が送信されてしまうため、サイズは混在しないでください。

1. 最初にスキャンするサイズの原稿をセットします。

2. ホーム画面で［ファクス］を選択します。

3. 宛先を指定します。

4. ［ファクス設定］タブを選択し、［ADF連続読込］をタップして［オン］にします。
   必要に応じて画質や送信方法などを設定します。

5. ◇（送信）をタップします。

6. 画面に次の原稿をセットする旨のメッセージが表示されたら、次のサイズの原稿をセットして［読み取り開始］を選択します。

   参考 次の原稿をセットする案内が表示されてから、無操作の状態が、［原稿追加待ちタイマー］で設定した時間経過すると、蓄積を終了して送信を開始します。

Fコード(SUB)とパスワード(SID)でファクスを送信する

宛先のファクス機に、親展ファクス受信やファクス中継機能がある場合、宛先の親展ボックスや中継ボックスへファクス送信できます。Fコードやパスワードを付けて送信したファクスは、宛先で安全に受信したり、中継ボックスとして特定の相手へ転送したりできます。

1. 原稿をセットします。

2. ホーム画面で［ファクス］を選択します。

3. ［アドレス帳］を選択して、Fコードとパスワードを登録した宛先を選択します。
   ［宛先履歴］から、Fコードやパスワード付きで送信した履歴を選択しても、Fコードやパスワード付きで送信できます。

4. ［ファクス設定］タブを選択して、必要に応じて画質や送信方法などを設定します。
   「ファクス設定」154ページ

5. ファクスを送信します。

関連情報

➡ 「アドレス帳を使えるようにする」470ページ

同じ文書を使って何度もファクス送信する

関連情報

➡ 「宛先を指定しない送信文書を蓄積する（待機文書蓄積）」145ページ
➡ 「同じ文書を何度も送信する（待機文書送信）」145ページ

宛先を指定しない送信文書を蓄積する（待機文書蓄積）

蓄積文書を使ってファクス送信できます。同じ文書を頻繁に送るときに、送信ごとのスキャン時間が省けます。最大200ページの文書を10件までモノクロで蓄積できます。

参考　保存した文書のファイルサイズなどにより、文書を10件まで保存できないことがあります。

1. 原稿をセットします。
2. ホーム画面で［ファクスボックス］を選択します。
3. ［待機文書送信］を選択し、（ボックスメニュー）をタップして、［待機文書蓄積］を選択します。
4. ［ファクス設定］タブが表示されるので、必要に応じて画質などを設定します。
5. ◇をタップして文書を蓄積します。

蓄積後、［ファクスボックス］-［待機文書送信］の一覧から蓄積文書のボックスをタップすると、文書の中身を表示できます。ボックス右のをタップすると文書を削除できます。

関連情報

➡ 「待機文書送信：」160ページ

同じ文書を何度も送信する（待機文書送信）

1. ホーム画面で［ファクスボックス］-［待機文書送信］の順に選択します。
2. 送信したい文書を選択し、文書の中身を確かめてから、［送信開始］を選択します。
   ［送信後、この文書を削除しますか？］が表示されたら［はい］か［いいえ］どちらかを選択します。
3. 宛先を指定します。
4. ［ファクス設定］タブを選択して、必要に応じて送信方法などを設定します。
   「ファクス設定」154ページ
5. ◇をタップしてファクスを送信します。

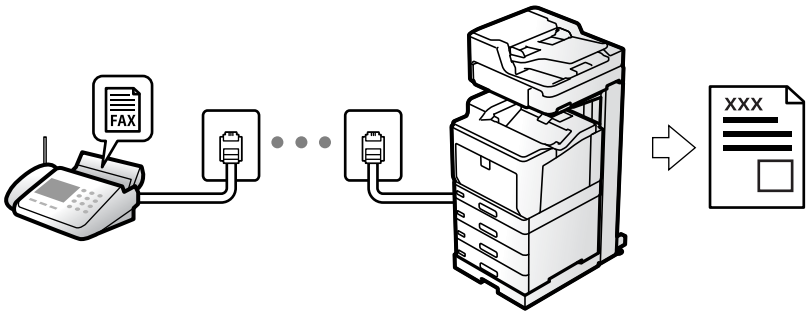
関連情報

➡ 「待機文書送信：」160ページ

➡ 「ファクスのジョブ状態や履歴を確認する」165ページ

プリンターでファクスを受信する

プリンターと電話回線、外付け電話機（必要に応じて）が正しく接続されていて、［ファクス設定ウィザード］が完了していれば、ファクス受信ができます。
受信したファクスをプリンターに保存、プリンターの画面で確認、メールなどに転送する設定ができます。
初期設定では、ファクスを受信すると印刷します。



設定を確認したいときは、［ファクス機能設定リスト］でファクスの設定状態を印刷します。［ファクス］- （応用）-［ファクスレポート印刷］-［ファクス機能設定リスト］の順に選択してください。

相手先から送られてきたファクスを受信する

3つの方法（［受信モード］）があります。

関連情報

➡ 「手動モード」146ページ
➡ 「自動モード」147ページ
➡ 「ファクス/電話自動切替モード」148ページ

手動モード

通話を主に、ファクス受信もするときの受信モードです。

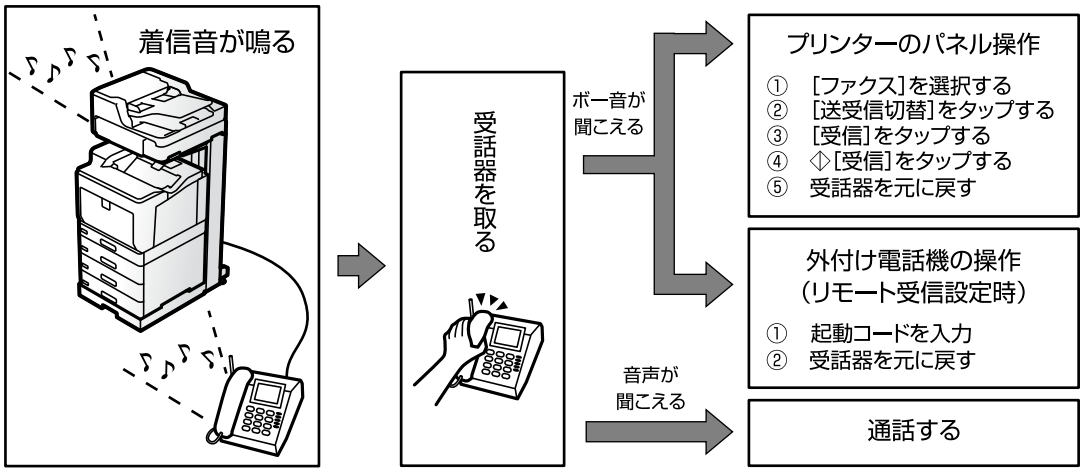
受信の仕方

外付け電話機の呼び出し音が鳴ったら受話器を上げます。

- ファクス信号（ボー音）が聞こえたとき：
  ホーム画面で［ファクス］を選択し、［送受信切替］-［受信］の順に選択して、（受信）をタップします。ファクス受信が開始されたら受話器を元に戻します。
- 通話の呼び出しだったとき
  そのまま通話できます。

外付け電話機の操作だけでの受信の仕方

［リモート受信］が設定してある場合、［起動コード］を入力するだけで受信できます。
外付け電話機の呼び出し音が鳴ったら受話器を上げます。ファクス信号（ボー音）が聞こえたら、2桁の［起動コード］をダイヤルして受話器を元に戻します。起動コードは管理者に問い合わせてください。



関連情報

➡ 「リモート受信：」384ページ

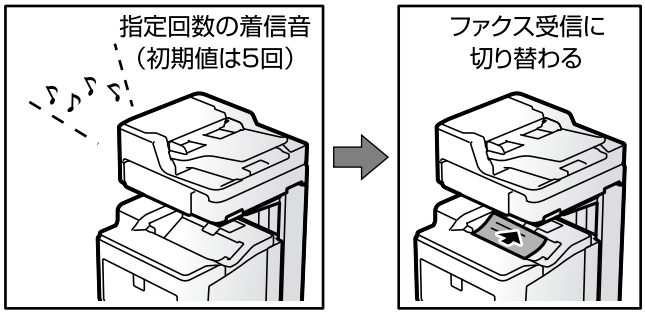
自動モード

回線を以下の用途で使用する受信モードです。

- ファクス専用で使用する（外付け電話機は不要）
- ファクスと留守番電話機兼用で使用する

ファクス専用で回線を使用しているときの受信の仕方

［呼び出し回数］で指定した回数の着信音が鳴り終わると、自動でファクス受信に切り替わります。



留守番電話機を接続しているときの受信の仕方

受信の仕方は以下です。

- ［呼び出し回数］で指定した回数（初期値は5回）の呼び出し中に留守番電話が応答したとき（留守番電話接続時）：
  ・ファクスの呼び出しだった：自動でファクス受信に切り替わります。
  ・通話の呼び出しだった：そのまま録音できます。

- 呼び出し中に受話器を取ったとき
  ・ファクスの呼び出しだった：自動的にファクス受信が始まるまで待って受話器を元に戻します。直ちに受信開始したいときは、［手動］モードと同じ手順で受信を開始します（プリンターのホーム画面で［ファクス］-［送受信切替］-［受信］を選択し、◇をタップしてください）。受信が開始されたら受話器を元に戻します。
  ・通話の呼び出しだった：そのまま通話できる
- 呼び出しが終わり自動でファクス受信モードに切り替わったとき
  ・ファクスの呼び出しだった：自動でファクス受信が開始される
  ・通話の呼び出しだった：この段階で通話はできない。こちらから電話するか、発信元にかけ直しを依頼してください。

参考　留守番電話の呼び出し回数は、プリンターの［呼び出し回数］より少なく設定してください。留守番電話の呼び出し回数の方が多いと、録音や通話ができません。留守番電話機の設定は、留守番電話機のマニュアルをご覧ください。

ファクス/電話自動切替モード

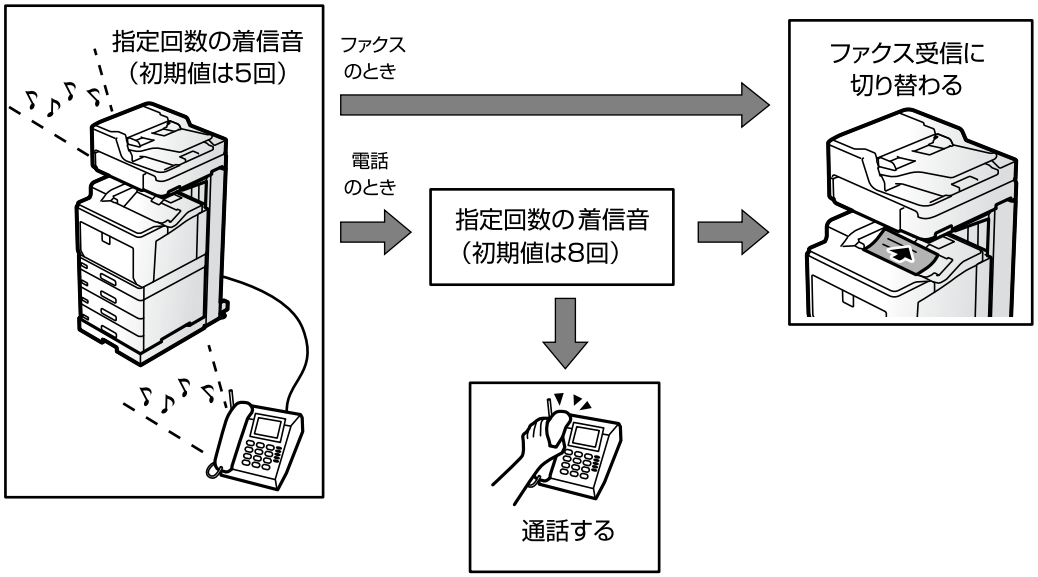
ファクスを主に、通話もするときの受信モードです。

受信の仕方

着信音を指定回数（初期設定は5回）鳴らしてから、ファクスか電話かを自動判別します。

- ファクス信号（ポー音）を検知すると自動的にファクス受信を開始する
- ファクス信号を検知できずに一定時間が経過すると、プリンターと外付け電話機の着信音を指定回数（初期設定は8回）鳴らす

！重要
- 音声通話の呼び出し時は、通話しなくても発信者に課金されます。
- 外付け電話機のナンバーディスプレイ機能は使えません。



相手先にダイヤルしてファクスを受信する

相手先にダイヤルして、相手先のファクス機に蓄積された文書を受信します。

関連情報

- 「送信元の状況を確認してから受信する（オンフック）」149ページ
- 「ポーリング受信する」149ページ
- 「掲示板からFコード（SEP）とパスワード（PWD）を使って受信する（ポーリング受信）」150ページ

送信元の状況を確認してから受信する（オンフック）

送信元の状況（ダイヤル中、通信中、通話中）を音や音声としてスピーカーから流して、それを聞きながら受信できます。ファクス情報サービスの音声ガイダンスに従って文書を受信するときにも使えます。

1. ホーム画面で［ファクス］を選択します。
2. をタップして、宛先を選択します。

   参考 スピーカーの音量を調節できます。

3. 送信元の応答を待ちます。ファクス信号（ボー音）が聞こえたら、画面右上の［送受信切替］を選択して［受信］を選択します。

   参考 ファクス情報サービスの音声ガイダンスが流れたら、ガイダンスの指示に従って操作してください。

4. をタップします。

ポーリング受信する

相手先にダイヤルして、相手先のファクス機に蓄積された文書を受信します。ファクス情報サービスなどから情報を受け取るときに使用します。

参考
- 音声ガイダンスに従って操作するファクス情報サービスには対応していません。
- 音声ガイダンス付きのファクス情報サービスを利用するときは、［オンフック］でダイヤルするか、外付け電話機からダイヤルし、音声ガイダンスに従って外付け電話機やプリンターを操作します 。

1. ホーム画面で［ファクス］を選択します。
2. （応用） をタップします。
3. ［拡張ファクス］を選択します。
4. ［ポーリング受信］をタップして［オン］にします。
5. ［閉じる］をタップしてから、［閉じる］をタップします。

6. ファクス番号を入力します。

参考 直接入力できない場合は、［セキュリティー設定］で［直接ダイヤル制限］が［オン］に設定されています。アドレス帳や履歴、クイックダイヤルから宛先を指定してください。

7. ◇をタップします。

掲示板からFコード（SEP）とパスワード（PWD）を使って受信する（ポーリング受信）

相手先にダイヤルして、相手先のファクス機の掲示板に蓄積された文書を、Fコード（SEP）とパスワード（PWD）を使って受信します。アドレス帳にFコード（SEP）とパスワード（PWD）を設定した宛先をあらかじめ登録してください。

1. ホーム画面で［ファクス］を選択します。

2. （応用）を選択します。

3. ［拡張ファクス］を選択します。

4. ［ポーリング受信］をタップして［オン］にします。

5. ［閉じる］をタップしてから、［閉じる］をタップします。

6. ［アドレス帳］を選択して、相手先の掲示板に一致するFコード（SEP）とパスワード（PWD）を登録した宛先を選択します。

7. ◇をタップします。

関連情報

➡ 「アドレス帳を使えるようにする」470ページ
➡ 「アドレス帳を使えるようにする」470ページ

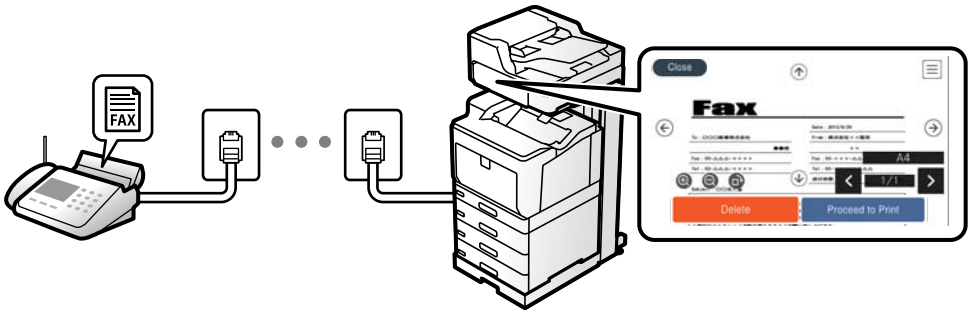
受信ファクスの保存と転送

機能の概要

管理者がいる場合、プリンターの設定状態や接続状態は管理者にお問い合わせください。

受信したファクスをプリンターに保存する

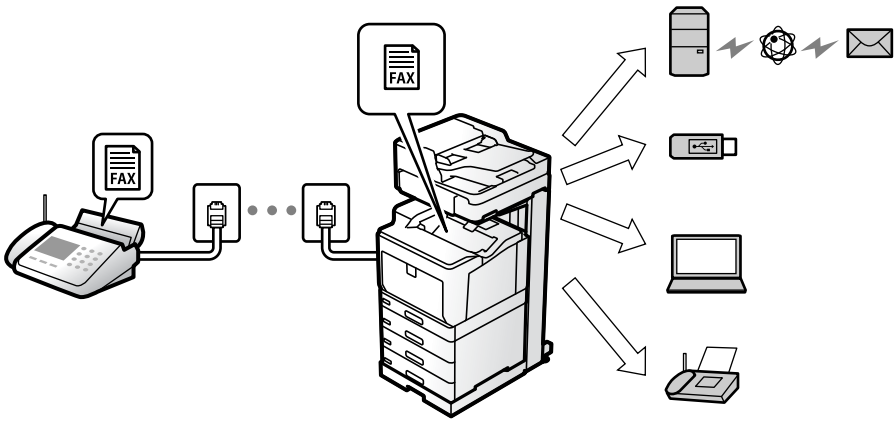
保存したファクスはプリンターの画面で閲覧できます。必要なファクスだけ印刷し、不要なものは削除できます。



プリンター以外の場所への転送

転送先に指定できるのは以下です。

- コンピューター（PC-FAX受信機能）
- 外部メモリー
- メールアドレス
- ネットワーク上の共有フォルダー
- 他のファクス機



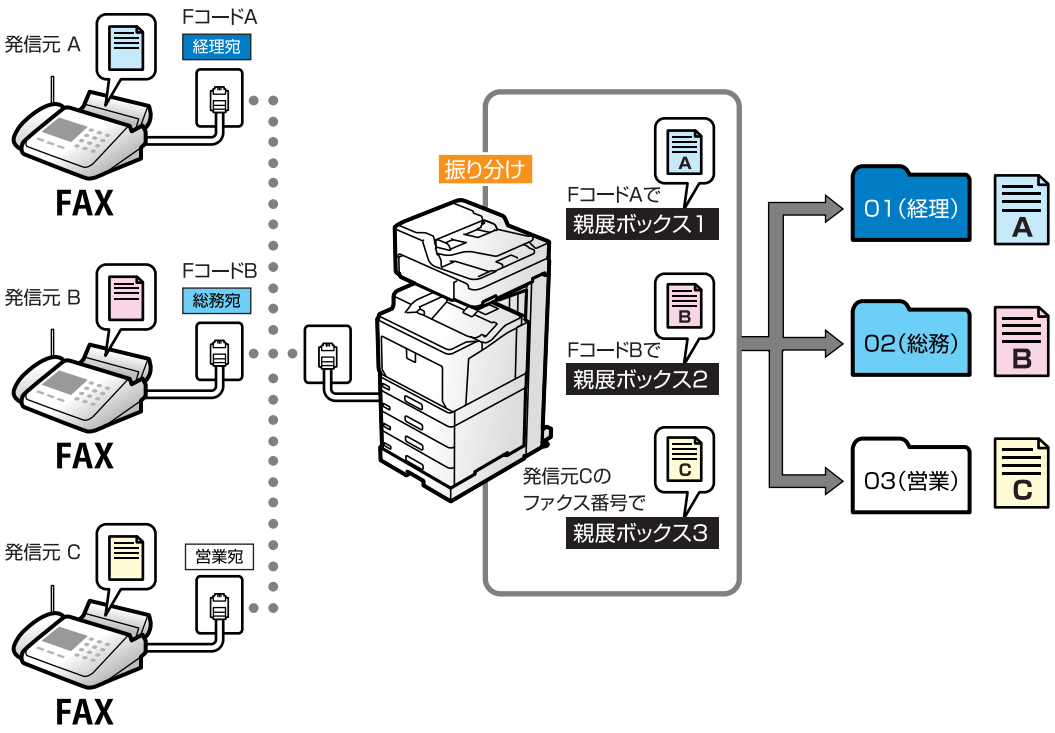
参考
- ファクスデータはPDF形式かTIFF形式で保存されます。
- カラー文書は他のファクス機に転送できません。転送失敗文書として処理されます。

Fコード通信などの条件を利用した振り分け保存や振り分け転送

プリンターの受信ボックスや親展ボックスにファクスを振り分けて保存できます。プリンター以外の場所にも振り分けて転送できます。

- メールアドレス
- ネットワーク上の共有フォルダー

- 他のファクス機



参考
- ファクスデータはPDF形式かTIFF形式で保存されます。
- カラー文書は他のファクス機に転送できません。転送失敗文書として処理されます。
- 現在の設定を印刷できます。ホーム画面で［ファクス］- Menu（応用）-［ファクスレポート印刷］-［条件保存・転送リスト］の順に選択してください。

関連情報

➡「受信ファクスの保存と転送を設定する」495ページ
➡「特定の条件で受信ファクスを保存・転送するように設定する」498ページ
➡「受信したファクスをプリンターの画面で確認する」152ページ

受信したファクスをプリンターの画面で確認する

受信したファクスをプリンターの画面で見るには設定が必要です。
「受信ファクスを保存する設定をする」495ページ

1. ホーム画面で［ファクスボックス］を選択します。

   参考 未読の受信文書があると、ホーム画面の に未処理件数が表示されます。

2. ［受信/親展］を選択します。

3. 受信ボックスまたは親展ボックスを選択します。

4. 受信ボックスまたは親展ボックスにパスワードを設定しているときは、受信ボックス用のパスワード、親展ボックス用のパスワードまたは管理者パスワードを入力します。

5. 確認する文書をリストから選択します。
文書の内容が表示されます。

- ：右に90°回転
- ：矢印方向に画面を移動
- ：縮小、拡大
- ：前ページへ移動 、次ページへ移動
- ：保存や転送などのメニューを表示します。
- 操作アイコンのない部分をタップすると、操作アイコンを消してファクスだけを表示できます。もう一度タップすると操作アイコンを表示します。

6. 確認した文書を印刷するか削除するか選択して、画面の指示に従います。

> **！重要** プリンターのメモリーの空き容量が不足するとファクスの送受信ができなくなります。確認または印刷した文書は速やかに削除してください。

関連情報

➡ 「受信/親展」158ページ

ファクスメニューの説明

宛先

操作パネルで以下の順に選択します。
［ファクス］-［宛先］タブ
プリンターにファクスを増設しているときは、以下の情報もご覧ください。
「プリンターからファクスを送信する （増設G3ファクスボード装着時）」347ページ

直接入力：

宛先のファクス番号を直接入力します。

アドレス帳：

アドレス帳から宛先を選択します。宛先の新規登録や変更もできます。

宛先履歴：

発着信履歴から宛先を選択します。着信履歴はナンバーディスプレイ機能を有効にしていると表示されます。履歴からアドレス帳に登録することもできます。

関連情報

➡ 「宛先を選択する」138ページ

ファクス設定

操作パネルで以下の順に選択します。
［ファクス］-［ファクス設定］タブ

クイック操作ボタン：

［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［クイック操作ボタン］で、［通信履歴表示］や［原稿種類］など使用頻度の高い項目3つまでを事前に割り当てておくと、［ファクス設定］タブのトップに表示できます。

読み取り設定：

画質：

送信する文書の画質を選択します。画質を優先するとデータのサイズが大きくなり、送信に時間がかかります。
初期設定：［精細］

濃度：

送信する文書の濃度を設定します。＋にすると濃くなり、－にすると薄くなります。
初期設定：［±0］

原稿種類：

原稿の種類を選択します。
初期設定：［文字］

背景除去：

［自動］にすると、原稿の紙の色（背景色）を検知して背景を除去または薄くします。背景色が濃い、または検出できないときは、除去または薄くしないことがあります。
初期設定：［自動］

シャープネス：

画像の輪郭を設定します。＋にすると輪郭が鮮明になり、－にするとぼやけます。

初期設定：［±0］

ADF自動両面：

モノクロ送信時に、ADFにセットした原稿の両面をスキャンします。
初期設定：［オフ］

ADF連続読込：

サイズの異なる原稿を1枚ずつセットするか、サイズごとに分けてセットすると、それぞれの原稿サイズで（原稿がA4ならA4で、A5ならA5で）1つの文書としてファクス送信できます。詳細は下の関連情報をご覧ください。
初期設定：［オフ］

原稿サイズ(原稿台)：

原稿台にセットした原稿の、サイズと方向を選択します。
初期設定：［自動検知］

カラーモード：

カラーかモノクロのどちらでスキャンするか選択します。
初期設定：［モノクロ］

送信設定：

ダイレクト送信：

モノクロ原稿をスキャンしながら送信します。メモリーを使わないので、大量原稿でもメモリー不足にならず送信できます。ただし、送信時間は長くなります。詳細は下の関連情報をご覧ください。
以下の場合には使えません。

- ［ADF自動両面］で送信するとき
- 複数の宛先に送信するとき

初期設定：［しない］

優先送信：

送信待ち文書があるときでも、急ぎの原稿を優先して送信できます。詳細は下の関連情報をご覧ください。
初期設定：［オフ］

時刻指定送信：

指定した時刻にファクス送信できます。時刻指定送信できるのはモノクロ送信のみです。詳細は下の関連情報をご覧ください。
初期設定：［しない］

発信元情報の付加：

- 発信元情報の付加
  発信元情報（発信元の名前とファクス番号）を送信文書に入れる位置、または、入れずに送信するかを選択します。
  ・［付加しない］：発信元情報を入れずに送信します。
  ・［原稿外］：スキャンした画像に発信元情報が重ならないように、上部の余白に発信元情報を入れて送信します。原稿のサイズによっては、相手側で定形の用紙サイズに収まらず2ページに分かれて印刷されることがあります。
  ・［原稿内］：スキャンした画像の先端（上から約7mm）部分に発信元情報を入れて送信します。画像の先端部分は発信元情報が重なって消えることがありますが、相手側で2ページに分かれて印刷されることを防げます。
  初期設定：［原稿外］
- 発信元名
  宛先に合わせて発信元情報を選択します。あらかじめ発信元情報を複数登録しておく必要があります。
- 追加情報
  追加したい情報を、［発信元番号］と［宛先情報］、［なし］から1つ選択できます。
  初期設定：［発信元番号］

送信結果メール通知：

ファクス送信後に、送信結果を通知します。
初期設定：［オフ］

通信結果レポート印刷：

ファクスを送信すると結果レポートを印刷します。
［エラー時のみ］を選択したときは、ファクス送信時にエラーが発生すると結果レポートを印刷します。
［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［レポート設定］で［レポート内画像添付］が有効に設定されているときは、エラーとなったファクスもレポートと一緒に印刷されます。
初期設定：［エラー時のみ］

バックアップ送信設定：

スキャンしてプリンターのメモリーに保存された送信ファクスのバックアップを保存します。以下のときに使用できます。

- モノクロ（白黒）で送信する
- ［時刻指定送信］で送信する
- ［バッチ送信］で送信する
- ［待機文書蓄積］で送信する

初期設定：［オフ］

関連情報

➡「異なるサイズの原稿をADFから送信する（ADF連続読込）」144ページ
➡「大量ページのモノクロ文書を送る（ダイレクト送信）」143ページ
➡「優先して送信する（優先送信）」143ページ
➡「指定した時刻にモノクロで送信する（時刻指定送信）」143ページ

応用

ホーム画面の［ファクス］内にある Menu が ［応用］メニューです。

通信履歴表示：

ファクスの送受信履歴を確認できます。
［ジョブ/状態］でも履歴確認ができます。

ファクスレポート印刷：

通信結果レポート：

最後に実行したファクス送信またはポーリング受信の通信結果を印刷します。

通信管理レポート：

送受信結果を印刷します。以下のメニューで、この通信管理レポートを自動印刷する設定ができます。
［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［レポート設定］-［通信管理レポート］

蓄積文書リスト：

プリンターのメモリーに蓄積されているファクス文書（未完了のジョブなど）のリストを印刷します。

ファクス機能設定リスト：

現在のファクス設定を印刷します。

条件保存・転送リスト：

条件保存・転送リストを印刷します。

プロトコルログ：

最後に送受信したファクスの詳細な通信レポートを印刷します。

拡張ファクス：

ポーリング受信：

［オン］に設定してからダイヤルすることで、送信元のファクス機に蓄積されているポーリング用文書を受信できます。［ポーリング受信］機能を使った受信の仕方は、下の関連情報をご覧ください。
ファクスメニューを終了すると、［オフ］（初期設定）に戻ります。

ポーリング送信/掲示板ボックス：

［オン］を選択して、ファクスの送信画面（［ファクス設定］タブ）から◇をタップすると、選択したボックスに文書を保存できます。
1つのボックスに1件の文書を保存できます。プリンターの掲示板は10ボックスあるので、合計10件まで文書を保存できます。［ファクスボックス］から事前に登録したボックスが使用できます。
掲示板ボックスの登録の仕方は、下の関連情報をご覧ください。
ファクスメニューを終了すると、［オフ］（初期設定）に戻ります。

待機文書蓄積：

［オン］を選択して、ファクスの送信画面（［ファクス設定］タブ）から◇をタップすると、［待機文書送信］ボックスに文書を保存できます。このボックスに保存できる文書数は最大で10件です。
保存は、［待機文書送信］の［ファクスボックス］からもできます。［ファクスボックス］からの蓄積の仕方は、下の関連情報をご覧ください。
ファクスメニューを終了すると、［オフ］（初期設定）に戻ります。

ファクスボックス：

ホーム画面の［ファクスボックス］メニューに移動します。

ファクス設定：

［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］に移動します。管理者として行ってください。

関連情報

- 「ポーリング受信する」149ページ
- 「ポーリング送信ボックスを設定する」141ページ
- 「掲示板ボックスを登録する」142ページ
- 「ポーリング送信/掲示板ボックスに文書を蓄積する」142ページ
- 「ポーリング送信/掲示板」161ページ
- 「宛先を指定しない送信文書を蓄積する（待機文書蓄積）」145ページ
- 「待機文書送信：」160ページ
- 「ファクスのジョブ状態や履歴を確認する」165ページ
- 「ファクス送受信履歴を確認する」166ページ

ファクスボックスメニューの説明

受信/親展

このメニューは、ホーム画面の［ファクスボックス］内にあります。

受信ボックスと親展ボックス（一覧）

受信ボックスと親展ボックスは、［ファクスボックス］-［受信/親展］内にあります。
受信した文書をプリンターの受信ボックスまたは親展ボックスに合計で200件まで保存できます。
1つの受信ボックスと10件の親展ボックスがあります。登録したボックス名称が各ボックスに表示されます。ボックス名の初期設定は［親展XX］です。

受信ボックスと親展ボックス

受信した文書の日付や発信元名、ページ数を一覧で表示します。
一覧から文書をタップするとプレビュー画面が開き、文書を閲覧できます。閲覧中の文書の削除や印刷ができます。

（プレビュー画面）

- ：縮小、拡大
- ：右に90°回転
- ：矢印方向に画面を移動
- ：前ページへ移動 、次ページへ移動

操作アイコンのない部分をタップすると、操作アイコンを消してファクスだけを表示できます。もう一度タップすると操作アイコンを表示します。

（プレビューメニュー）

- 外部メモリーに保存
- 転送(メール)
- 転送(ネットワークフォルダー)
- ファクス送信
- 詳細表示

［実行後削除］で［オン］を選択すると、［外部メモリーに保存］や［転送(メール)］などの完了時に、保存した文書を削除できます。

（ボックスメニュー）

全て印刷：

ボックス内に文書が保存されているときに表示されます。ボックス内に保存されている全ファクスを印刷します。［実行後削除］で［オン］を選択すると、印刷完了時にボックス内の全ファクスを削除します。

全て外部メモリーに保存：

ボックス内に文書が保存されているときに表示されます。ボックス内に保存されている全文書を外部メモリーに保存します。［実行後削除］で［オン］を選択すると、保存完了時にボックス内の全ファクスを削除します。

既読文書を一括削除：

既読のファクス文書がボックス内に存在しているときに表示されます。ボックス内の既読文書を全て削除します。

未読文書を一括削除：

未読のファクス文書がボックス内に存在しているときに表示されます。ボックス内の未読文書を全て削除します。

全ての文書を削除：

ボックス内にファクス文書が保存されているときに表示されます。ボックス内に保存されている全文書を削除します。

設定変更：

以下は、［受信ボックス］-［ボックスメニュー］-［設定変更］の順に選択すると表示される項目です。

- 容量限界時の動作：受信ボックスがいっぱいになった後の新着ファクスの扱い（印刷か受信拒否か）を選択します。
  初期設定：［受信しない］
- パスワード設定：ボックスを開くためのパスワードを設定します。
- 受信文書自動削除：［オン］を選択すると、受信後一定時間が経過したファクスを自動的に削除します。［ファクス設定に従う］を選択すると、以下での設定が適用されます。
  ［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］-［保存・転送設定］-［共通設定］-［ボックス内文書削除設定］

以下は、親展ボックスを選択してから［ボックスメニュー］-［設定変更］の順に選択すると表示される項目です。

- 登録名：親展ボックスに名称（適用条件名）を付けます。
- ボックスを開くパスワード：ボックスを開くためのパスワードを設定します。
- 受信文書自動削除：［オン］を選択すると、受信後一定時間が経過したファクスを自動的に削除します。

ボックスを削除：

親展ボックスを選択しているときに、［ボックスメニュー］を選択すると表示される項目です。ボックス内に保存されている文書があれば削除して未登録状態に戻します。

関連情報

➡ 「ファクス送受信履歴を確認する」166ページ

待機文書送信：

このメニューは、ホーム画面の［ファクスボックス］内にあります。
10件のモノクロ文書（1件当たり最大200ページ）を蓄積できます。1つの文書を頻繁に送るときに、送信のたびのスキャン時間が省けます。

参考　保存した文書のファイルサイズなどにより、文書を10件まで保存できないことがあります。

待機文書送信ボックス

蓄積した文書の日付とページ数を一覧で表示します。
一覧から文書をタップするとプレビュー画面が開きます。［送信開始］を選択すると送信画面へ進みます。
［削除］を選択すると蓄積した文書を削除できます。

（プレビュー画面）

- ：縮小、拡大
- ：右に90°回転
- ：矢印方向に画面を移動
- ：前ページへ移動 、次ページへ移動

操作アイコンのない部分をタップすると、操作アイコンを消してファクスだけを表示できます。もう一度タップすると操作アイコンを表示します。

（プレビューメニュー）

- 外部メモリーに保存
- 転送(メール)
- 転送(ネットワークフォルダー)
- 印刷

［実行後削除］で［オン］を選択すると、［外部メモリーに保存］や［転送(メール)］などの完了時に、保存した文書を削除できます。

（ボックスメニュー）

待機文書蓄積：

［ファクス］メニューの［ファクス設定］タブだけを表示します。◇をタップすると文書をスキャンして待機文書送信ボックスに蓄積します。

全て印刷：

ボックス内に文書が保存されているときに表示されます。ボックス内に保存されている全ファクスを印刷します。［実行後削除］で［オン］を選択すると、印刷完了時にボックス内の全ファクスを削除します。

全て外部メモリーに保存：

ボックス内に文書が保存されているときに表示されます。ボックス内に保存されている全文書を外部メモリーに保存します。［実行後削除］で［オン］を選択すると、保存完了時にボックス内の全ファクスを削除します。

全て削除：

ボックス内に文書が保存されているときに表示されます。ボックス内に保存されている全文書を削除します。

設定変更：

ボックスを開くパスワード：ボックスを開くためのパスワードを設定します。

関連情報

➡ 「同じ文書を使って何度もファクス送信する」145ページ
➡ 「ファクス送受信履歴を確認する」166ページ

ポーリング送信/掲示板

このメニューは、ホーム画面の［ファクスボックス］内にあります。
1つのポーリング送信ボックスと10件の掲示板ボックスがあります。ボックス1つにつき1文書（最大200ページ）を蓄積できます。

関連情報

➡ 「受信側の操作で送信する（ポーリング送信/掲示板ボックス）」141ページ

ポーリング送信：

このメニューは、［ファクスボックス］-［ポーリング送信/掲示板］内にあります。

ポーリング送信ボックス：

（［メニュー］）の設定変更にある設定項目と設定値を表示します。

文書を登録する：

［ファクス］メニューの［ファクス設定］タブだけを表示します。◇をタップすると文書をスキャンして保存します。
ボックス内に文書があるときの表示は、［文書を確認する］です。

文書を確認する：

ボックス内に文書があるときは、文書の中身が閲覧できます。閲覧中の文書の印刷や削除ができます。

（プレビュー画面）

- ：縮小、拡大
- ：右に90°回転
- ：矢印方向に画面を移動
- ：前ページへ移動 、次ページへ移動

操作アイコンのない部分をタップすると、操作アイコンを消してファクスだけを表示できます。もう一度タップすると操作アイコンを表示します。

（プレビューメニュー）

- 外部メモリーに保存
- 転送(メール)
- 転送(ネットワークフォルダー)
- ファクス送信

［実行後削除］で［オン］を選択すると、［外部メモリーに保存］や［転送(メール)］などの完了時に、保存した文書を削除できます。

（メニュー）

文書を削除：

ボックス内に文書が保存されているときに表示されます。ボックス内に保存されている文書を削除します。

設定変更：

- ボックスを開くパスワード：ボックスを開くためのパスワードを設定します。
- ポーリング送信後自動削除：［オン］にすると、受信側からの要求で次のファクス送信（ポーリング送信）をした後、その文書を削除します。
  初期設定：［オフ］
- 送信結果メール通知：［メール通知設定］を［オン］にすると、受信側からの要求でファクス送信（ポーリング送信）をした後に、［送信先］で設定した宛先に送信結果をメールで通知します。
  初期設定：［オフ］

関連情報

➡ 「ファクス送受信履歴を確認する」166ページ

未登録の掲示板：

このメニューは、［ファクスボックス］-［ポーリング送信/掲示板］-［未登録の掲示板］内にあります。［未登録の掲示板］ のいずれかをタップします。ボックス上の［未登録の掲示板］の表示は、登録すると登録名に変わります。
掲示板は10件まで登録できます。

掲示板ボックス設定：

登録名(必須項目)：

掲示板ボックスに名称（適用条件名）を付けます。

Fコード(SEP)：

受信条件を設定できます。

パスワード(PWD)：

受信条件を設定できます。

ボックスを開くパスワード：

ボックスを開くためのパスワードの設定や変更をします。

ポーリング送信後自動削除：

［オン］にすると、受信側からの要求で次のファクス送信（ポーリング送信）をした後、その文書を削除します。
初期設定：［オフ］

送信結果メール通知：

［メール通知設定］を［オン］にすると、受信側からの要求でファクス送信（ポーリング送信）をした後に、［送信先］で設定した宛先に送信結果をメールで通知します。
初期設定：［オフ］

関連情報

➡ 「登録済み掲示板ボックス」164ページ

登録済み掲示板ボックス

このメニューは、［ファクスボックス］-［ポーリング送信/掲示板］内にあります。登録名が表示されているボックスを選択してください。ボックス上に表示される名称は、［未登録の掲示板］登録時に付けた登録名です。
掲示板は10件まで登録できます。

（掲示板ボックスの登録名）

（メニュー）の［設定変更］にある設定項目とその値を表示します。

文書を登録する：

［ファクス］メニューの［ファクス設定］タブだけを表示します。◇をタップすると文書をスキャンして保存します。
ボックス内に文書があるときの表示は、［文書を確認する］です。

文書を確認する：

ボックス内に文書があるときは、文書の中身が閲覧できます。閲覧中の文書の印刷や削除ができます。

（プレビュー画面）

- ：縮小、拡大
- ：右に90°回転
- ：矢印方向に画面を移動
- ：前ページへ移動 、次ページへ移動

操作アイコンのない部分をタップすると、操作アイコンを消してファクスだけを表示できます。もう一度タップすると操作アイコンを表示します。

（プレビューメニュー）

- 外部メモリーに保存
- 転送(メール)
- 転送(ネットワークフォルダー)
- ファクス送信

［実行後削除］で［オン］を選択すると、［外部メモリーに保存］や［転送(メール)］などの完了時に、保存した文書を削除できます。

（メニュー）

文書を削除：

ボックス内に文書が保存されているときに表示されます。ボックス内に保存されている文書を削除します。

設定変更：

- ボックスを開くパスワード：ボックスを開くためのパスワードを設定します。

- ポーリング送信後自動削除：［オン］にすると、受信側からの要求で次のファクス送信（ポーリング送信）をした後、その文書を削除します。
  初期設定：［オフ］
- 送信結果メール通知：［メール通知設定］を［オン］にすると、受信側からの要求でファクス送信（ポーリング送信）をした後に、［送信先］で設定した宛先に送信結果をメールで通知します。
  初期設定：［オフ］

ボックスを削除：

ボックス内に保存されている文書があれば削除して未登録状態に戻します。

関連情報

➡ 「未登録の掲示板：」163ページ
➡ 「ファクス送受信履歴を確認する」166ページ

ファクスのジョブ状態や履歴を確認する

受信ファクスが未処理（未読／未印刷／未保存／未転送）の表示

未処理の受信文書があると、ホーム画面の にその件数が表示されます。未処理とは下表で示す状態です。

！重要 受信ボックスがいっぱいになるとファクスを受信できません。速やかに受信文書の内容を確認して削除してください。

受信文書の処理設定	未処理状態
印刷する*1	印刷待ち、または印刷中
プリンターの受信ボックスまたは親展ボックスに保存する	受信ボックスまたは親展ボックスの受信文書が未読
外部メモリーに保存する	装着した外部メモリーに受信ファクス保存専用フォルダーが未作成 などの理由で保存できない

受信文書の処理設定	未処理状態
コンピューターに保存する	保存先のコンピューターが起動していない などの理由で保存できない
転送する	転送されていない、または転送に失敗した*2

*1　保存や転送をする設定にしていない、または外部メモリーやコンピューターへの保存と同時に印刷する設定にしているとき。

*2　転送失敗文書を受信ボックスに保存する設定にしているときは未読状態、印刷する設定にしているときは印刷されていない状態。

参考　受信文書の処理を複数設定していると、1つの受信文書の未処理件数が2件や3件など複数になることがあります。例えば、受信ボックスとコンピューターの両方に保存する設定の場合、1つの受信文書が両方とも処理されなかったときは未処理件数が2になります。

関連情報

➡「受信したファクスをプリンターの画面で確認する」152ページ
➡「実行中のファクスジョブを確認する」166ページ

実行中のファクスジョブを確認する

処理が完了していないファクスのジョブを画面に表示して確認できます。確認画面に表示されるジョブは以下です。この確認画面から、印刷前のファクスの印刷や送信失敗文書の再送信もできます。

- 受信ファクス
  - 印刷前のファクス（印刷する設定の場合）
  - 未保存のファクス（保存先が設定されている場合）
  - 未転送のファクス（転送先が設定されている場合）
- 送信に失敗したファクス文書（［送信失敗文書保存］を有効にしてある場合）

確認画面を表示する手順は以下です。

1. ホーム画面で［ジョブ/状態］をタップします。
2. ［ジョブ状態］タブをタップして、［実行中］をタップします。
3. 確認するファクスジョブを選択します。

関連情報

➡「受信ファクスが未処理（未読／未印刷／未保存／未転送）の表示」165ページ

ファクス送受信履歴を確認する

ファクスの送受信履歴（宛先や日時、送受信結果など）が確認できます。

1. ホーム画面で［ジョブ/状態］をタップします。

2. ［ジョブ状態］タブ-［履歴］の順にタップします。

3. 画面右上の▼をタップして［送信］または［受信］を選択します。

   確認するジョブ履歴が新しい順に一覧表示されます。確認する履歴をタップすると詳細が表示されます。

履歴印刷もできます。ホーム画面から［ファクス］-（応用）-［ファクスレポート印刷］-［通信管理レポート］の順に選択してください。

関連情報

➡ 「応用」157ページ

印刷した受信文書を再印刷する

印刷履歴から、印刷した受信文書を再印刷できます。
ただし、プリンターのメモリーがいっぱいになると、印刷した受信文書は古いものから順に削除されます。

1. ホーム画面で［ジョブ/状態］をタップします。

2. ［ジョブ状態］タブ-［履歴］の順にタップします。

3. 画面右上の▼をタップして［印刷］をタップします。

   印刷ジョブ履歴の一覧が表示されます。一番上が最新の印刷ジョブです。

4. アイコンのあるジョブをリストから選択します。

   印刷したい文書かどうか、受信日時や送付元で確認します。

5. ［再印刷］をタップして文書を印刷します。

コンピューターからファクスを送信する

コンピューターからのファクス送信は、FAX UtilityとPC-FAXドライバーで行います。

参考
- FAX UtilityとPC-FAX ドライバーがインストール済みかをあらかじめ確認しておいてください。
  「ファクスの送受信や設定をするソフトウェア（FAX Utility）」372ページ
  「ファクス送信するソフトウェア（PC-FAXドライバー）」373ページ
- FAX Utilityがインストールされていない場合は、ソフトウェア更新用のソフトウェア EPSON Software Updater（エプソン ソフトウェアアップデーター）を使用してインストールしてください。

関連情報

➡ 「コンピューターからファクス送信する設定」502ページ

アプリケーションで作成した文書を送信する（Windows）

Microsoft WordやExcelなどの［印刷］メニューから、ご使用のファクス対応プリンター（PC-FAXライバー）を選択すれば、作成した文書/図/表などのデータに送付状を付けて直接送信できます。

参考 ここでは、Microsoft Word 2010を例に説明します。ご使用のアプリケーションソフトによって操作が異なります。詳しくはアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

1. アプリケーションソフトで、ファクス送信する文書を作成します。
   モノクロデータは200ページまで、カラーデータは100ページまで一度に送信できます。

2. ［ファイル］メニュー内の［印刷］をクリックします。
   アプリケーションソフトの［印刷］ウィンドウが表示されます。

3. プリンターから［XXXXXX（FAX）］（XXXはご使用のプリンター名）を選択して、ファクス送信のための設定を確認します。

   ［印刷部数］では、［1］を入力してください。［2］以上を入力すると正常に送信できないことがあります。

4. ［プリンターのプロパティ］（または［プロパティ］）をクリックして、［用紙サイズ］、［用紙方向］、［色］、［画質］、［文字の濃さ］を設定します。
   詳細はPC-FAXドライバーのヘルプをご覧ください。

5. ［印刷］をクリックします。

   参考 お使いのコンピューターで初めて送信するとき、発信者（ご自分）の情報を登録する画面が表示されます。必要事項を入力して、［OK］をクリックしてください。

   FAX Utilityの［送付先設定］画面が表示されます。

6. 同時に他の文書を送るには、［送信文書を追加する］にチェックを付けます。

手順10で［次へ］をクリックすると、文書を追加する画面が表示されます。

7. 必要に応じて［送付状を付ける］を設定します。

8. 送付先を指定します。

- ［PC-FAX電話帳］から送付先（名前/ファクス番号など）を選択する場合：
  送付先が連絡先（またはアドレスブック）に登録されているときは、以下をします。
  ❶ ［PC-FAX電話帳］タブをクリックする
  ❷ 一覧から送付先を選択して［追加］をクリックする
- プリンターの電話帳から送付先（名前/ファクス番号など）を選択する場合：
  送付先がプリンターの電話帳に登録されているときは、以下をします。
  ❶ ［プリンターのアドレス帳］タブをクリックする
  ❷ 一覧から送付先を選択して［追加］をクリックする（［送付先に追加］画面が開きます）
  ❸ 一覧から送付先を選択して［編集］をクリックする
  ❹ 必要に応じて個人データ（［会社名/団体名］や［敬称］）を追加し、［OK］をクリックする（［送付先に追加］画面に戻ります）
  ❺ 必要に応じて［PC-FAX電話帳に登録する］にチェックを付ける
  ❻ ［OK］をクリックする
- 送付先（名前/ファクス番号など）を直接入力する場合：
  送付先が連絡先（またはアドレスブック）に登録されているときは、以下をします。
  ❶ ［直接入力］タブをクリックする
  ❷ 情報を入力する
  ❸ ［追加］をクリックする
  また、［電話帳に登録］をクリックすると、［PC-FAX電話帳］タブの一覧に登録されます。

参考
- プリンターで接続回線設定を［構内交換機(PBX)］にしてある場合は、外線発信番号を「#」で登録することをお勧めします。詳しくは、関連情報にある「基本設定」内の「接続回線」をご覧ください。
- FAX Utility（メイン画面）の［オプション設定］（PC-FAXの設定）で［送信時にファクス番号を2回入力する］を有効にしている場合は、［追加］または［次へ］をクリックした後、もう一度ファクス番号を入力する画面が表示されます。

画面上部の［送付先一覧］に追加されます。

9. ［送信オプション］タブをクリックして、送信時の通信設定を設定します。

プリンターにファクスを増設しているときは、以下の情報もご覧ください。
「Windowsからファクスを送信する（増設G3ファクスボード装着時）」348ページ

- ［送信方式］：
  プリンターからの文書の送信方法を選択します。
  ・［メモリー送信］：プリンターの内部メモリーにデータを一時的に保存してからファクスを送信します。複数の送付先に、または複数のコンピューターから同時にファクスを送信する場合に選択します。
  ・［ダイレクト送信］：プリンターの内部メモリーにデータを一時的に保存しないでファクスを送信します。モノクロのページを一度に多数送信するときに選択して、プリンターメモリーの容量不足によるエラーを防ぎます。
- ［時刻指定］：
  指定時間にファクスを送信する場合は、［時刻を指定して送信する］にチェックを付けて、［送信時刻］に時刻を入力します。

10. ［次へ］をクリックします。

- ［送信文書を追加する］にチェックを付けた場合は、［送信文書追加］画面で送信文書を追加します。
  ❶ 追加する文書を開いて、［印刷］で同じプリンター名（FAX）を選択します。文書が［結合する文書一覧］に追加されます。
  ❷ ［プレビュー］をクリックして結合された文書を確認します。
  ❸ ［次へ］をクリックします。

参考 最初の文書で選択していた［画質］と［色］が他の文書にも適用されます。

- ［送付状を付ける］にチェックを付けた場合は、［送付状設定］画面で送付状の内容を設定します。
  ❶ ［送付状］一覧から送付状のデザインを選択します。デザインの追加や作成はできません。
  ❷ ［件名］と［コメント］を入力します。
  ❸ ［次へ］をクリックします。

参考 必要に応じて［送付状設定］で以下の設定をしてください。

- ［送付状書式設定］をクリックすると、送付状に表示される項目の並び順を変更できます。［用紙サイズ］で送付状のサイズを選択できます。送信する文書と異なる用紙サイズを選択することもできます。
- ［フォント］をクリックして、送付状に表示される文字のフォントを変更します。
- ［発信元設定］をクリックして、発信元情報を変更します。
- ［詳細プレビュー］をクリックして、件名やコメントが反映された送付状のイメージを確認します。

11. 送信内容を確認して［送信］をクリックします。

送付先の名前とファクス番号が間違っていないか、十分に確認してから送信してください。［プレビュー］をクリックすると、送付状と送信する文書のイメージを確認できます。
送信が始まると、送信状態を確認できる画面が表示されます。

参考

- 送信を中止するときは、送信データを選択して［中止］をクリックしてください。プリンターのパネル操作で中止することもできます。
- 送信中にエラーになると［通信エラー］画面が表示されます。エラー内容を確認して再送信してください。
- ファクス送信モニター（上記の送信状態を確認できる画面）が表示されないときは、FAX Utilityを起動し、オプション設定で送信時にファクス送信モニターを表示にチェックを付けてください。

関連情報

➡ 「基本設定」383ページ

アプリケーションで作成した文書を送信する（Mac OS）

市販アプリケーションソフトの［印刷］メニューからファクス対応プリンター（PC-FAXドライバー）を選択すると、作成した文書や図、表などのデータを直接送信できます。

参考 ここでは、Mac OS添付のテキストエディットを例に説明します。

1. アプリケーションソフトで、ファクス送信する文書を作成します。

モノクロは200ページまで、カラーは100ページまでの2GB以下のデータを一度に送信できます。

2. ［ファイル］メニュー内の［印刷］をクリックします。

アプリケーションの［印刷］ウィンドウが表示されます。

3. ［名前］からご使用のプリンター（ファクス名）を選択し、▼をクリックして詳細設定を表示し、［OK］をクリックします。

4. 次の設定をします。

［印刷部数］では、［1］を入力してください。［2］以上を入力しても、実際に送信されるのは1部のみです。

参考 ファクスできる文書のページサイズは、プリンターからファクスできる用紙のサイズと同じです。

5. ポップアップメニューでファクス設定を選択して、各項目を設定します。

各設定項目の説明はPC-FAXドライバーのヘルプをご覧ください。

PC-FAXドライバーのヘルプは、画面左下の をクリックします。

6. ポップアップメニューで送付先設定を選択して、送付状を設定します。

- 送付先（名前/ファクス番号など）を直接入力する場合：

  ［追加］項目に必要事項を入力して をクリックしてください。画面上部の送付先一覧に追加されます。

  PC-FAXのドライバー設定で「送信時にファクス番号を２回入力する」が有効になっている場合は、 をクリックするともう一度ファクス番号を入力する画面が表示されます。
  ご使用のファクス接続回線が外線発信番号を必要とするときは、外線発信番号を入力します。

参考 プリンターで接続回線設定を［構内交換機(PBX)］にしてある場合は、外線発信番号を「#」で登録することをお勧めします。詳しくは、関連情報にある「基本設定」内の「接続回線」を参照ください。

- 電話帳から送付先（名前/ファクス番号など）を選択する場合：

  送付先が連絡先（またはアドレスブック）に登録されているときは、 をクリックします。一覧から送付先を選択して［追加］をクリックし、［OK］をクリックしてください。
  ご使用のファクス接続回線が外線発信番号を必要とするときは、外線発信番号を入力します。

参考 プリンターで接続回線設定を［構内交換機(PBX)］にしてある場合は、外線発信番号を「#」で登録することをお勧めします。詳しくは、関連情報にある「基本設定」内の「接続回線」を参照ください。

7. 宛先設定して、［ファクス］をクリックします。

送信が始まります。
送付先の名前とファクス番号が間違っていないか、十分に確認してから送信してください。

参考
- Dock内のプリンターアイコンをクリックすると送信状況確認画面が表示されます。送信を中止するときは、送信データをクリックして［削除］をクリックしてください。
- 送信中にエラーになると［送信失敗］というメッセージが表示されます。［ファクス送信記録］画面で送信記録を確認してください。
- 用紙サイズの異なるページが混在するドキュメントは、正常に送信できないことがあります。

コンピューターでファクスを受信する

プリンターで受信したファクス文書は、プリンターに接続したコンピューターにPDF形式かTIFF形式で保存できます。設定はFAX Utility（アプリケーション）で行います。
操作方法は、FAX Utilityのオンラインヘルプの「基本の操作」をご覧ください。設定中にパスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードがわからないときは管理者に問い合わせてください。

参考
- FAX UtilityとPC-FAX ドライバーがインストール済みかあらかじめ確認しておいてください。
  「ファクスの送受信や設定をするソフトウェア（FAX Utility）」372ページ
  「ファクス送信するソフトウェア（PC-FAXドライバー）」373ページ
- FAX Utilityがインストールされていない場合は、ソフトウェア更新用のソフトウェア EPSON Software Updater（エプソン ソフトウェアアップデーター）を使用してインストールしてください。

！重要
- コンピューターでファクス受信するときは、［受信モード］を［ファクス/電話自動切替］または［自動］に設定してください。操作パネルの［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］で［受信モード］の設定状態の確認や設定ができます。
- 保存先のコンピューターは起動しておいてください。受信ファクスはプリンターのメモリーに一時保存されます。電源を切ったままにしておくと、プリンターのメモリーが不足して送受信できなくなります。
- 一時保存の文書件数はホーム画面の に表示されます。
- 受信ファクスの閲覧にはPDFビューアー（Adobe Readerなど）が必要です。

関連情報

➡ 「相手先から送られてきたファクスを受信する」146ページ

新着ファクスを確認する（Windows）

受信ファクスを保存する設定をしたコンピューターでは、Windowsのタスクバーにファクスアイコンが表示され、処理の状況や新着ファクスの有無を確認できます。ファクス受信を通知する設定にすると、デスクトップ画面右下に受信通知ウィンドウが表示され新着ファクスを確認できます。

参考
- コンピューターに受信ファクスデータが保存されると、プリンターの内部メモリーからは削除されます。
- PDFファイルとして保存された受信ファクスの閲覧にはPDFビューアー（Adobe Readerなど）が必要です。

タスクバーのファクスアイコンを使う （Windows）

受信ファクスを保存するコンピューターのタスクバーにファクスアイコンが表示され、処理の状況や新着ファクスの有無を確認できます。

1. アイコンを確認します。
   - ：待機中
   - ：新着ファクスの有無を確認中
   - ：新着ファクスの取り込みが完了した状態

2. アイコンを右クリックして［受信記録を見る］をクリックします。
［ファクス受信記録］画面が表示されます。

3. リストで日時と送信元を確認して目的のファクスデータ（PDFかTIFF）を開きます。

参考
- 受信ファクスデータには以下のルールで自動的にファイル名が付けられています。
YYYYMMDDHHMMSS_xxxxxxxxxx_nnnnn （年/月/日/時/分/秒_送信元番号）
- 新着ファクスを保存したフォルダーを直接開くこともできます。操作方法は、FAX Utilityの［オプション設定］かそのヘルプをご覧ください。

待機中のときは、［新着ファクスの確認］を選択します。新着ファクスがあるかどうかがすぐに確認できます。

受信通知ウィンドウを使う （Windows）

新着ファクスをコンピューターに通知する設定にすると、新着ファクスがあるたびに画面右下に受信通知ウィンドウが表示されます。

1. 表示された受信通知ウィンドウを確認します。

参考 何もせずに一定時間が経過すると、受信通知ウィンドウは非表示になります。受信通知ウィンドウの表示時間や通知の有無は設定できます。

2. 受信通知ウィンドウの、 ボタン以外の場所をクリックします。
［ファクス受信記録］画面が表示されます。

3. リストで日時と送信元を確認して目的のファクスデータ（PDFかTIFF）を開きます。

参考
- 受信ファクスデータには以下のルールで自動的にファイル名が付けられています。
YYYYMMDDHHMMSS_xxxxxxxxxx_nnnnn （年/月/日/時/分/秒_送信元番号）
- 新着ファクスを保存したフォルダーを直接開くこともできます。操作方法は、FAX Utilityの［オプション設定］とそのヘルプをご覧ください。

新着ファクスを確認する（Mac OS）

新着ファクスは、以下の方法で確認できます。["ファクス保存" (このコンピューターで保存する)] を設定したコンピューターのみ可能です。

- 保存フォルダー（［受信ファクスの出力設定］で指定）を開く
- ファクス受信モニターを開き、［新着ファクスの確認］をクリックする
- ファクスの新着通知を受け取る
FAX Utilityの［ファクス受信モニター］-［環境設定］で［ファクス受信をDockで通知する］をチェックするとDockのファクス受信モニターアイコンがジャンプして新着ファクスを知らせます。

ファクス受信モニターから保存フォルダーを開く　（Mac OS）

［"ファクス保存" (このコンピューターで保存する)］を設定したコンピューターでは、ファクス受信モニターから保存フォルダーを開けます。

1. Dockのファクス受信モニターアイコンをクリックして［ファクス受信モニター］を開きます。

2. プリンターを選択して［保存フォルダーを開く］をクリックするか、プリンター名をダブルクリックします。

3. ファイル名の日時と送信元を確認して目的のファクスデータ（PDF）を開きます。

参考　受信ファクスデータには以下のルールで自動的にファイル名が付けられています。
YYYYMMDDHHMMSS_xxxxxxxxxx_nnnnn　（年/月/日/時/分/秒_送信元番号）
送信元番号は送信元から送られた情報が表示されます。送信元によっては番号がないこともあります。

コンピューターでのファクス受信をやめる

FAX Utilityで、コンピューターでのファクス受信をやめるように設定できます。
設定方法は、FAX Utilityの「オンラインヘルプ」-「基本の操作」をご覧ください。

参考
- コンピューターに保存されていない受信ファクスがプリンター内にあるときは変更できません。
- 管理者によってロックされているメニューは、管理者以外は設定を変更できません。
- この設定変更はプリンターからもできます。管理者に問い合わせてください。

関連情報

➡ 「コンピューターへの受信ファクスの保存をやめる設定」503ページ

プリンターのお手入れ

消耗品の状態を確認する 176

給紙不良を改善する 176

プリンター内部の汚れを拭き取る 177

プリンターの表面の汚れを拭き取る 180

原稿台の汚れを拭き取る 180

ADFをクリーニングする 182

ソフトウェアを個別にインストールまたはアンインストールする 185

プリンターの持ち運びや輸送 192

消耗品の状態を確認する

プリンターの操作パネルから消耗品の状態を確認することができます。ホーム画面で - ［交換品情報］の順に選択します。

参考
- Epson Status Monitor（インストールしている場合）でも消耗品の状態を確認することができます。
- 消耗品の寿命が近づくとのアイコンが表示されます。印刷は継続できますが、新しい消耗品を用意してください。

給紙不良を改善する

本製品を良好な状態で使用するために、ときどきクリーニング（清掃）をしてください。

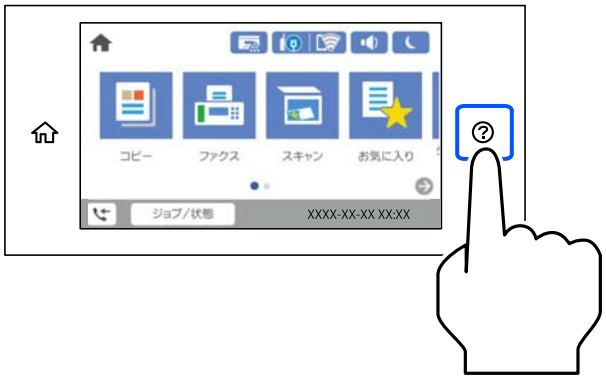
警告
- プリンター内部にはマニュアルで指示されている箇所以外触れないでください。感電や火傷のおそれがあります。
- 本製品の内部や周囲でエアダスターやダストスプレーなど、可燃性ガスを使用しないでください。引火による爆発・火災のおそれがあります。

重要
- ベンジン、シンナー、アルコールなど、揮発性の薬品を使用しないでください。プリンターの外装ケースや部品が変色、変形するおそれがあります。
- プリンターを水に濡らさないでください。
- 固いブラシや布などを使用しないでください。プリンターが傷付くおそれがあります。

手差しトレイの給紙ローラーの紙粉を取る

プリンターの操作パネルに表示される動画を見ながら手差しトレイの給紙ローラーの紙粉を取ることができます。

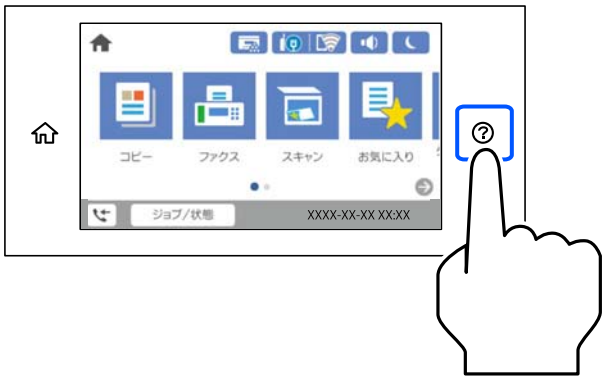
を選択して、［困ったときは］ - ［正しく給紙されない］ - ［手差しトレイ］を選択します。



用紙カセットの給紙ローラーの紙粉を取る

プリンターの操作パネルに表示される動画を見ながら用紙カセットの給紙ローラーの紙粉を取ることができます。

を選択して、［困ったときは］ - ［正しく給紙されない］ - ［用紙カセット］を選択します。

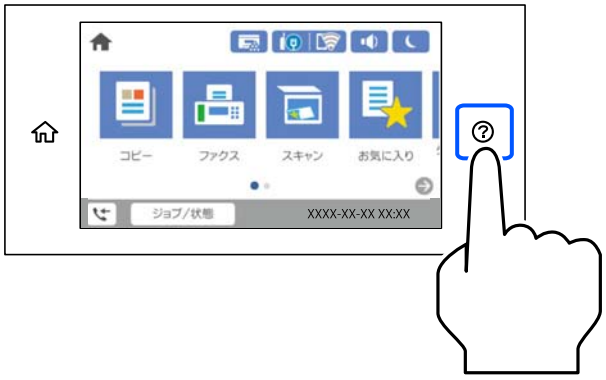


プリンター内部の汚れを拭き取る

プリンターの操作パネルに表示される動画を見ながら内部の汚れを拭き取ることができます。

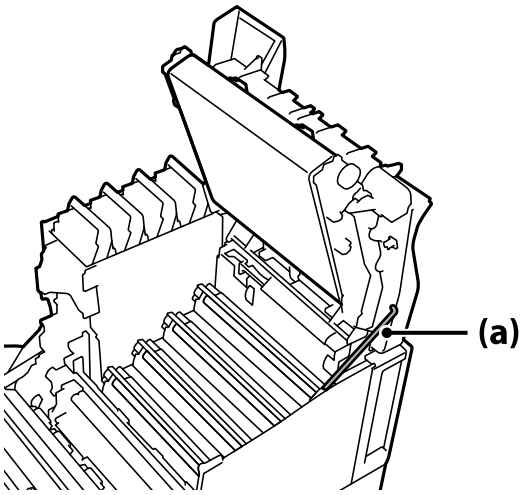
を選択して、いずれかの方法で露光窓を清掃するを選択してください。

- ［困ったときは］ - ［印刷結果がおかしい］ - ［スジ、線が入る］ - ［露光窓を清掃する］
- ［困ったときは］ - ［印刷結果がおかしい］ - ［色がおかしい］ - ［露光窓を清掃する］
- ［困ったときは］ - ［印刷結果がおかしい］ - ［用紙が汚れる］ - ［露光窓を清掃する］



⚠注意

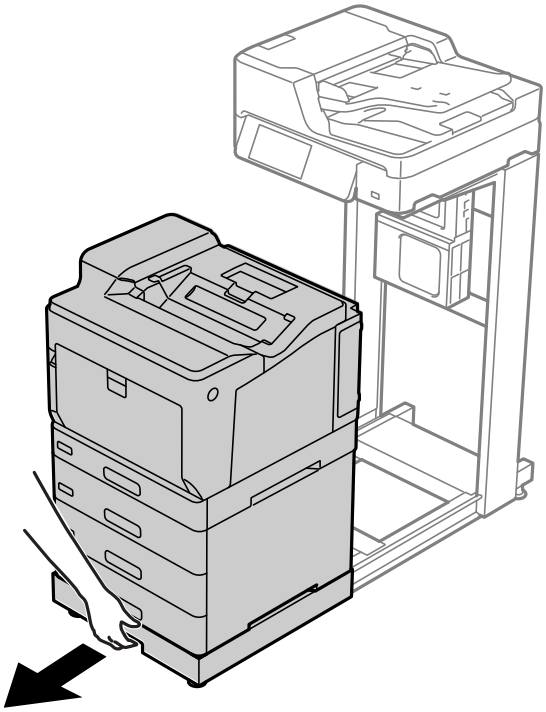
- 上カバーは必ず支え棒（a）で固定してください。突然閉まり、指や手を挟んでけがをするおそれがあります。



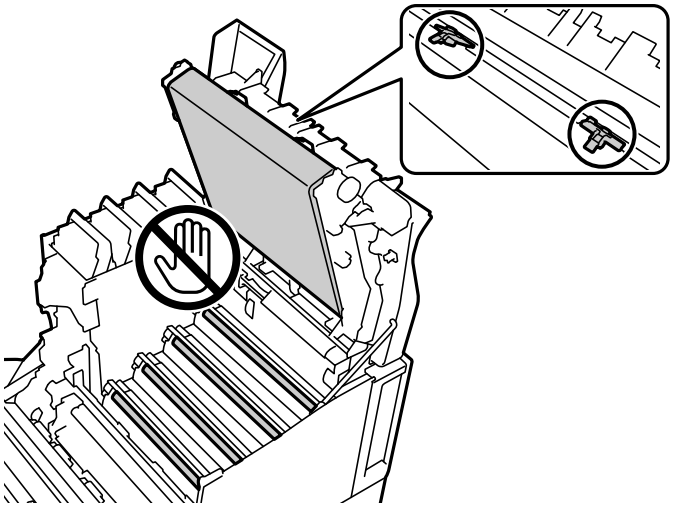
- 上カバーを閉めるときは、必ずG レバーを持ちながら下げてください。トナーカートリッジカバーを持って閉めると、上カバーが突然閉まり、指や手を挟んでけがをするおそれがあります。

!重要

- プリンター内部の汚れを拭き取るときにプリンター部を引き出すときは、レバーをもって引き出してください。前面カバーの上部を持ってプリンター部を引き出さないでください。



- 電源コードが抜けないように注意してプリンター部を引き出してください。
- イラストで示した箇所には、手を触れたり、こすったり、物をぶつけたりしないでください。手の脂が付いたり、傷や汚れが付くと印刷品質が低下します。



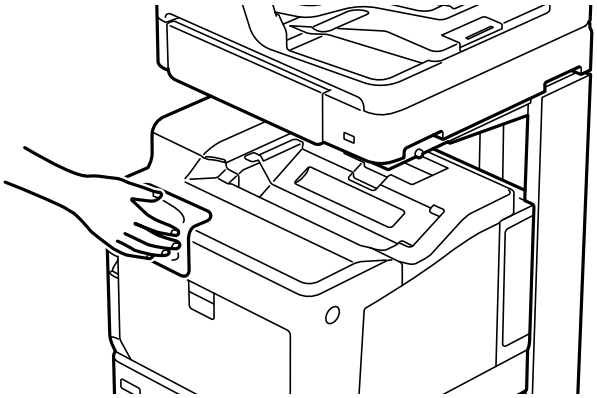
- 感光体ユニットを直射日光や強い光に当てないでください。室内の明かりの下でも3分以上放置しないでください。強い光や長時間光が当たると印刷品質が低下します。
- 感光体の表面に傷が付かないよう平らな台の上に置いてください。

プリンターの表面の汚れを拭き取る

プリンターの外装ケースの汚れやホコリが気になるときは、プリンターの電源を切って電源コードを抜き、柔らかくてきれいな布を水に浸し固く絞ってから拭いてください。汚れが落ちないときは、水で薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸して、固く絞ってから拭いてみてください。

!重要

- ベンジン、シンナー、アルコールなど、揮発性の薬品を使用しないでください。プリンターの外装ケースや部品が変色、変形するおそれがあります。
- プリンターを水に濡らさないでください。
- 固いブラシや布などを使用しないでください。プリンターが傷付くおそれがあります。



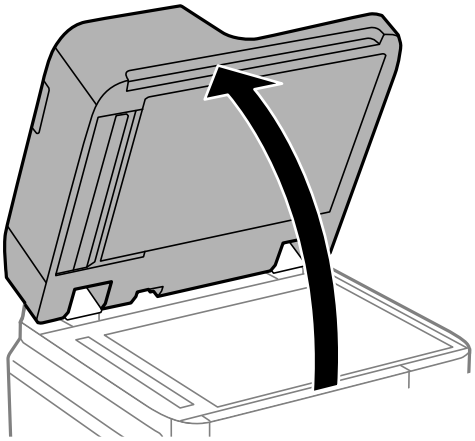
原稿台の汚れを拭き取る

印刷物に汚れがあるときや、スキャンしたデータにムラやシミなどがあるときは、原稿台をクリーニングしてください。

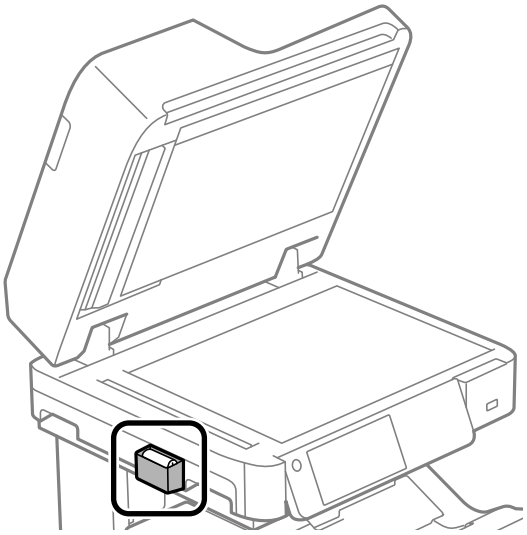
⚠注意 原稿カバーを開閉するときは、手や指を挟まないように注意してください。けがをするおそれがあります。

!重要 アルコールやシンナーなどでプリンターを拭かないでください。プリンターを損傷するおそれがあります。

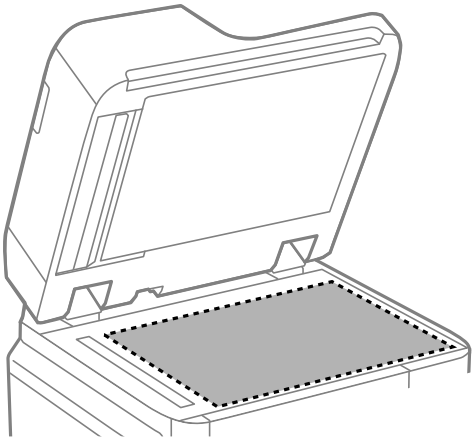
1. 原稿カバーを開けます。



2. クリーニングクロス入れからクリーニングクロスを取り出します。



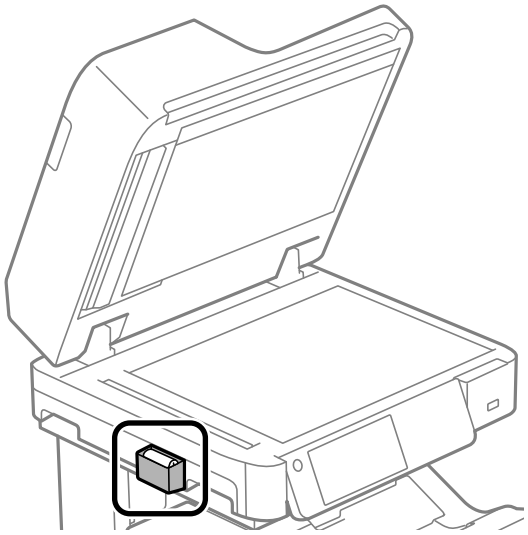
3. 原稿台のガラス面を、クリーニングクロスでから拭きします。



！重要

- ガラス面に油脂や頑固な汚れが付いたときは、柔らかい布に少量のガラスクリーナーを付けて拭いてください。汚れを落とした後は水分が残らないようによく拭き取ってください。
- ガラス面を強く押さないでください。
- ガラス面をこすったり、傷を付けたりしないようにご注意ください。傷が付くとスキャン品質が低下するおそれがあります。

4. クリーニングクロスをクリーニングクロス入れに戻します。



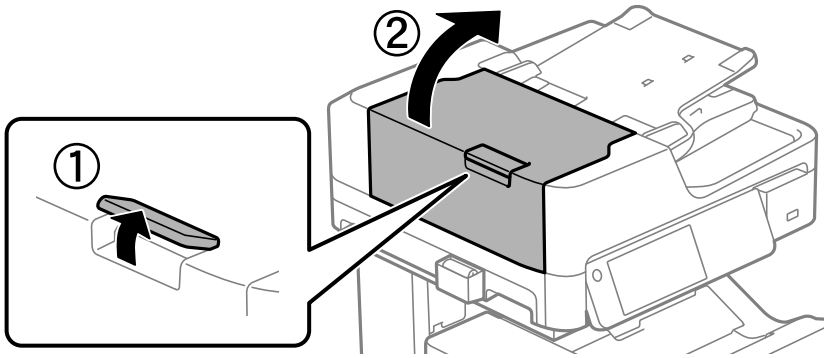
5. 原稿カバーを閉めます。

ADFをクリーニングする

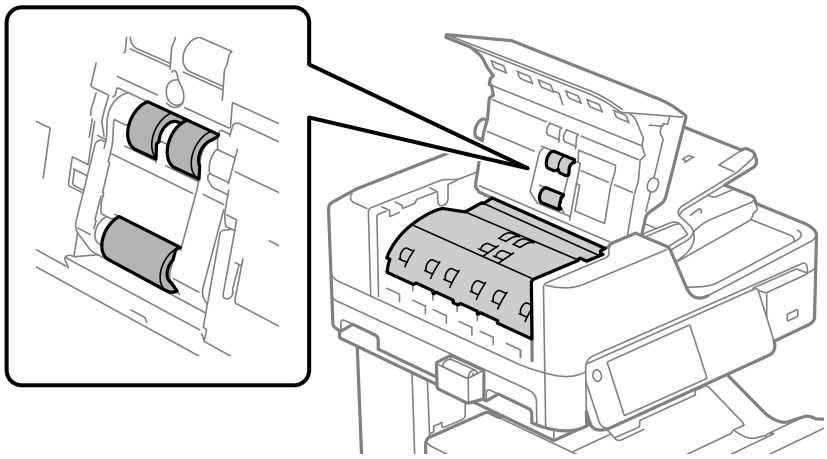
ADFからコピーやスキャンなどをすると汚れが出たり、原稿の給紙不良が発生したりするときは、ADFをクリーニングしてください。

!重要 アルコールやシンナーなどでプリンターを拭かないでください。プリンターを損傷するおそれがあります。

1. ADFカバーを開けます。



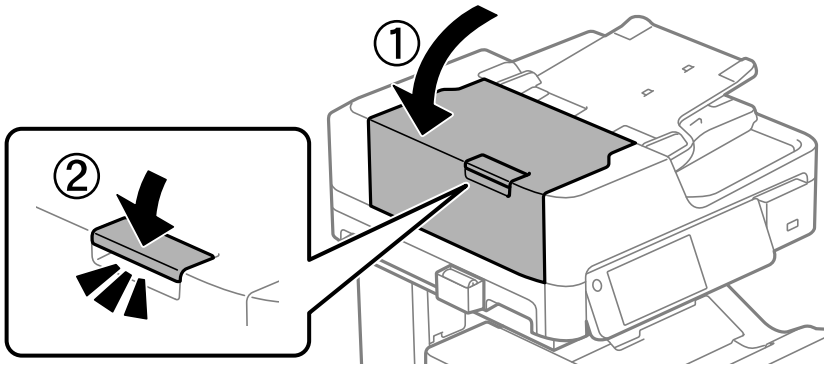
2. 水を含ませた柔らかい布を固く絞って、ローラー部など内部に付着している紙粉やゴミ、ホコリなどを拭きます。



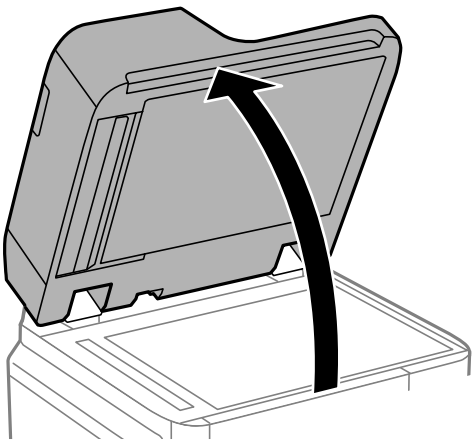
!重要
- 乾いた布で拭くと、表面に傷が付くおそれがあります。
- ローラーが乾いてからお使いください。

3. ADFカバーを閉めます。

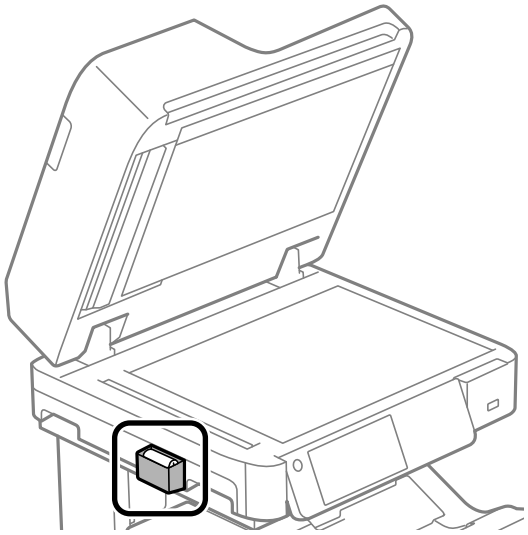
カチッと音がするまでレバーを押します。



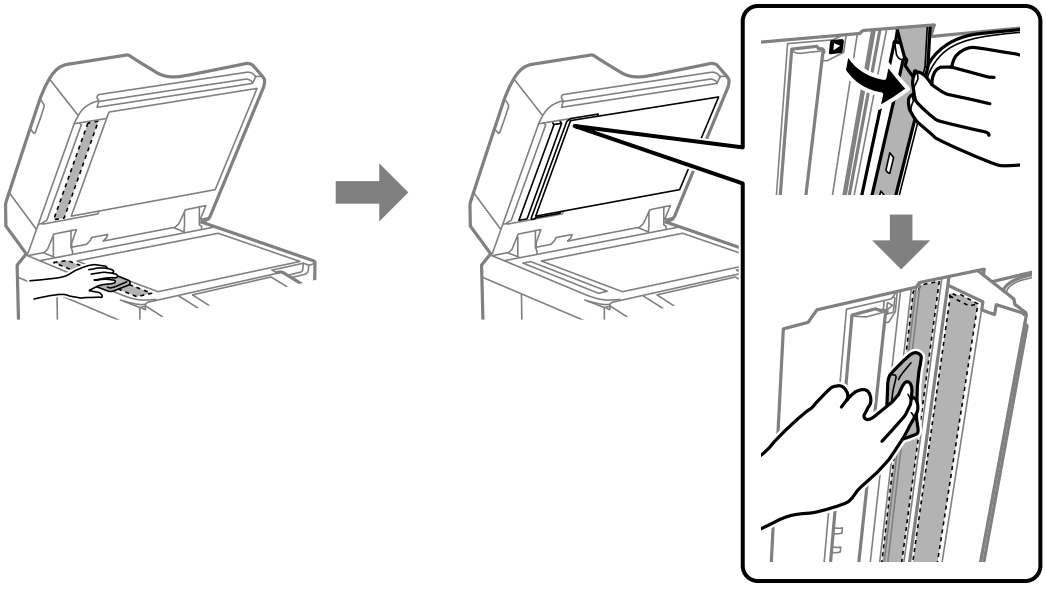
4. 原稿カバーを開けます。



5. クリーニングクロス入れからクリーニングクロスを取り出します。



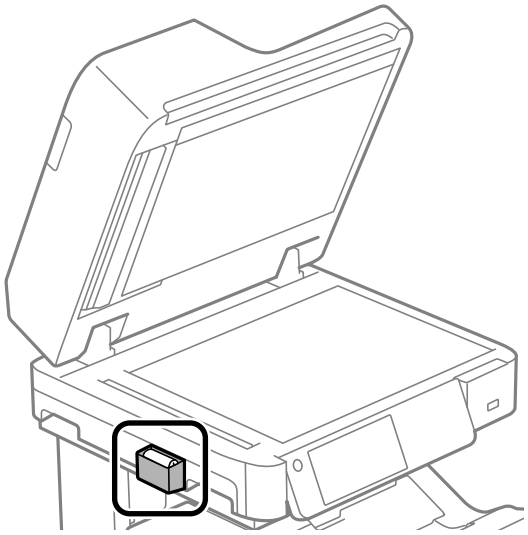
6. イラストで示した部分をクリーニングクロスでから拭きします。



!重要

- ガラス面に油脂や頑固な汚れが付いたときは、柔らかい布に少量のガラスクリーナーを付けて拭いてください。汚れを落とした後は水分が残らないようによく拭き取ってください。
- ガラス面を強く押さないでください。
- ガラス面をこすったり、傷を付けたりしないようにご注意ください。傷が付くとスキャン品質が低下するおそれがあります。

7. クリーニングクロスをクリーニングクロス入れに戻します。



8. 原稿カバーを閉めます。

ソフトウェアを個別にインストールまたはアンインストールする

ネットワークに接続されているコンピューターでWeb上の最新版をインストールします。管理者権限のあるアカウント（ユーザー）でコンピューターにログオンしてください。また、管理者のパスワードが求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。

ソフトウェアを個別にインストールする

参考 再インストール時は、インストール済みの古いソフトウェアをアンインストールしてください。

1. プリンターとコンピューターが通信可能な状態で、コンピューターがインターネットに接続されていることを確認します。

2. EPSON Software Updaterを起動します。
画面はWindowsでの一例です。

3. Windowsの場合は、お使いのプリンターを選択し、をクリックして最新のソフトウェアの有無を調べます。

4. インストールや更新が必要なソフトウェアにチェックを入れて、画面右下のインストールをクリックします。

！重要 更新中はプリンターの電源を切ったり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。プリンターが故障するおそれがあります。

参考
- 最新版のソフトウェアはエプソンのウェブサイトからもダウンロードできます。
www.epson.jp/support/
- Windows Server OSをお使いの場合、Epson Software Updaterではインストールができません。エプソンのウェブサイトからダウンロードしてください。

関連情報

➡「ソフトウェアやファームウェアを更新するソフトウェア（Epson Software Updater）」374ページ
➡「ソフトウェアをアンインストール（削除）する」188ページ

エプソン純正プリンタードライバーがインストールされているか確認する（Windows）

エプソン純正プリンタードライバーがコンピューターにインストールされているか、以下の方法で確認できます。
［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］-［デバイスとプリンターの表示］（または［プリンタ］、［プリンタとFAX］）の順に選択して、以下の方法でプリントサーバーのプロパティ画面を表示します。

- Windows 10/Windows 8.1/Windows 8/Windows 7/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012/Windows Server 2008 R2
  プリンターアイコンをクリックして、画面上部の［プリントサーバープロパティ］をクリックします。
- Windows Vista/Windows Server 2008
  ［プリンタ］フォルダー上で右クリックして、［管理者として実行］-［サーバーのプロパティ］の順にクリックします。
- Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
  ［ファイル］メニューから［サーバーのプロパティ］を選択します。

［ドライバー］タブをクリックします。お使いのプリンター名が一覧に表示された場合、エプソン純正プリンタードライバーがインストールされています。

関連情報

➡ 「ソフトウェアを個別にインストールする」185ページ

エプソン純正プリンタードライバーがインストールされているか確認する（Mac OS）

エプソン純正プリンタードライバーがコンピューターにインストールされているか、以下の方法で確認できます。

アップルメニューの［システム環境設定］-［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。［オプションとサプライ］をクリックして［オプション］タブと［ユーティリティー］タブが表示された場合、エプソン純正プリンタードライバーがインストールされています。

関連情報

➡ 「ソフトウェアを個別にインストールする」185ページ

プリンターを追加する（Mac OSのみ）

1. アップルメニューの［システム環境設定］-［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択します。

2. ［+］をクリックして、［プリンタまたはスキャナを追加］を選択します。

3. 表示された画面でお使いのプリンターを選択して、さらに［ドライバ］からお使いのプリンターを選択します。

4. ［追加］をクリックします。

参考
- プリンター名がリストに表示されないときは、コンピューターとプリンターの接続状態が正しいか、プリンターの電源が入っているかを確認してください。
- USB接続やIP接続、Bonjour接続では、プリンタードライバーの追加後に増設カセットユニットの設定を手動で行ってください。

ソフトウェアをアンインストール（削除）する

管理者権限のあるアカウント（ユーザー）でコンピューターにログオンしてください。また、管理者のパスワードが求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。

ソフトウェアをアンインストール（削除）する - Windows

1. ⏻ボタンを押してプリンターの電源を切ります。

2. 起動している全てのアプリケーションソフトを終了させます。

3. ［コントロールパネル］を表示させます。
   - Windows 10/Windows Server 2019/Windows Server 2016
     スタートボタンをクリックし、［Windows システムツール］-［コントロールパネル］を選択します。
   - Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
     ［デスクトップ］-［設定］-［コントロールパネル］の順に選択します。
   - Windows 7/Windows Vista/Windows XP/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
     スタートボタンをクリックして、［コントロールパネル］を選択します。

4. ［プログラムのアンインストール］（または［プログラムの追加と削除］）を表示します。
   - Windows 10/Windows 8.1/Windows 8/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008
     ［プログラム］の［プログラムのアンインストール］を選択します。
   - Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
     ［プログラムの追加と削除］をクリックします。

5. 削除するソフトウェアを選択します
   印刷ジョブが残っていると、プリンタードライバーをアンインストールできません。印刷ジョブを削除するか、印刷が終わるのを待ってからアンインストールをしてください。

6. ソフトウェアをアンインストールします。
   - Windows 10/Windows 8.1/Windows 8/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008
     ［アンインストールと変更］または［アンインストール］をクリックします。
   - Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
     ［変更と削除］または［削除］をクリックします。

   参考 ［ユーザーアカウント制御画面］が表示されたら、［続行］をクリックします。

7. 画面の指示に従って操作します。

ソフトウェアをアンインストール（削除）する -Mac OS

1. EPSON Software Updaterを使ってUninstallerをダウンロードします。
   一度ダウンロードすれば、アンインストールのたびにダウンロードする必要はありません。

2. ⏻ボタンを押してプリンターの電源を切ります。

3. プリンタードライバー、またはPC-FAXドライバーを削除するときは、アップルメニューの［システム環境設定］-［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択し、使用できるプリンターのリストからプリンターを削除します。

4. 起動している全てのアプリケーションソフトを終了させます。

5. ［移動］-［アプリケーション］-［Epson Software］-［Uninstaller］の順に選択します。

6. 削除するソフトウェアをチェックして、［アンインストール］をクリックします。

> **重要** Uninstallerは、コンピューターにインストールされているエプソン製プリンターのドライバーを全て削除します。複数のエプソン製プリンターをご使用の方で、一部のプリンタードライバーのみを削除したい場合は、一旦全てのプリンタードライバーを削除した後、使いたいプリンターのドライバーを再インストールしてください。

参考 一覧に表示されないソフトウェアはUninstallerでは削除できません。［移動］-［アプリケーション］-［Epson Software］の順に選択し、削除するソフトウェアを選択して、ゴミ箱アイコンにドラッグ＆ドロップしてください。

関連情報

➡「ソフトウェアやファームウェアを更新するソフトウェア（Epson Software Updater）」374ページ

ソフトウェアやファームウェアを更新する

ソフトウェアやファームウェアを更新すると、今まで起こっていたトラブルの解消、機能の改善や追加などができます。最新版のソフトウェアやファームウェアをお使いください。

1. プリンターとコンピューターが通信可能な状態で、コンピューターがインターネットに接続されていることを確認します。

2. EPSON Software Updaterを起動して、ソフトウェアまたはファームウェアを更新します。

> **重要** 更新中は、コンピューターやプリンターの電源を切らないでください。プリンターが故障するおそれがあります。

参考 一覧に表示されないソフトウェアはEPSON Software Updaterでは更新できません。エプソンのウェブサイトで最新版のソフトウェアを確認してください。
www.epson.jp/support/

関連情報

➡「ソフトウェアやファームウェアを更新するソフトウェア（Epson Software Updater）」374ページ

操作パネルを使ってプリンターのファームウェアを更新する

プリンターがインターネットに接続されていると、操作パネルでプリンターのファームウェアが更新できます。新しいファームウェアがあるかどうかを定期的に確認して、ある場合には通知するようにも設定できます。
管理者によってロックされているメニューは、管理者以外は設定を変更できません。

1. ホーム画面で［設定］を選択します。

2. ［本体設定］-［管理者用設定］-［ファームウェアのアップデート］-［アップデート］の順に選択します。

参考 新しいファームウェアがあるかどうか定期的に確認したいときは、［定期通知設定］-［オン］の順に選択します。

3. ［確認開始］を選択します。
新しいファームウェアがあるかどうかの確認が始まります。

4. 新しいファームウェアが見つかったというメッセージが表示されたら、画面の指示に従ってファームウェアを更新します。

！重要
- 更新中はプリンターの電源を切ったり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。プリンターが故障するおそれがあります。
- ファームウェアの更新に失敗すると、次回電源を入れたときに「Recovery Mode」（リカバリーモード）と表示され、プリンターが動かなくなります。コンピューターでファームウェアの更新をし直してください。
リカバリーモードになるとネットワーク接続での更新ができないため、以下の手順で作業してください。
1.エプソンのウェブサイトからファームウェアをコンピューターにダウンロードする
2.コンピューターとプリンターをUSBケーブルで接続する
3.ファームウェアを更新する
http://www.epson.jp/support/
詳しくはダウンロードページの「ファームウェアのアップデート方法」をご覧ください。

Web Configでファームウェアをアップデートする

プリンターがインターネットに接続できると、Web Configからファームウェアをアップデートできます。

1. Web Configで［デバイス管理］タブ -［ファームウェアアップデート］を選択します。

2. ［確認開始］をクリックします。
ファームウェアの確認が始まり、更新されたファームウェアがあるとファームの情報が表示されます。

参考 Epson Device Adminを使ってもファームウェアをアップデートできます。デバイス一覧でファームウェアの情報が確認ができます。この方法は、複数のデバイスのファームウェアをアップデートするのに便利です。詳細はEpson Device Adminのマニュアルやヘルプをご覧ください。

関連情報

➡「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」432ページ

プリンターをインターネットに接続しないでファームウェアをアップデートする

コンピューターでエプソンのウェブサイトから機種用のファームウェアをダウンロードし、USBケーブルで接続してアップデートすることもできます。ネットワーク経由でアップアップデートができない場合に、この方法をお使いください。

1. エプソンのウェブサイトにアクセスして、ファームウェアをダウンロードします。
   www.epson.jp/support/

2. ファームウェアをダウンロードしたコンピューターと、プリンターをUSBケーブルで接続します。

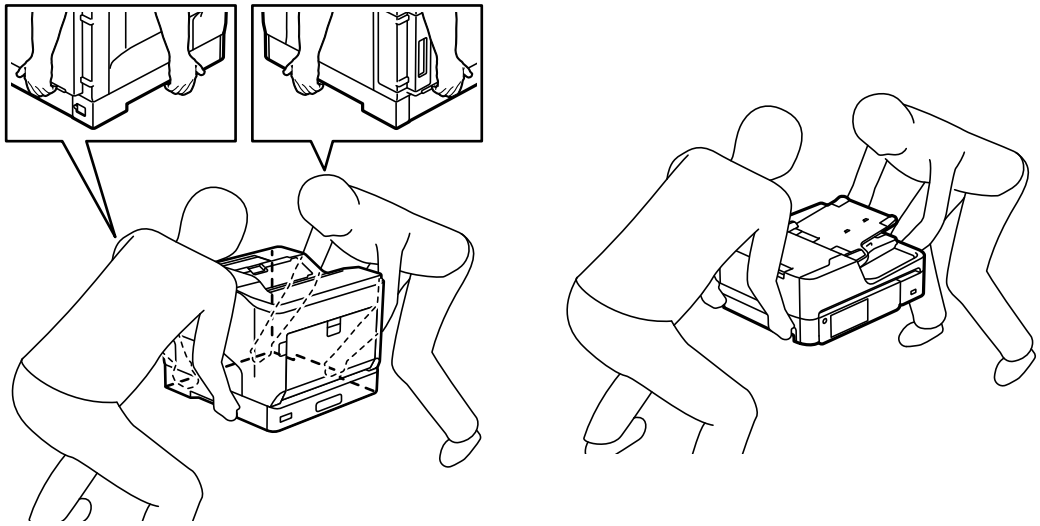
3. ダウンロードしたexeファイルをダブルクリックします。
   Epson Firmware Updaterが起動します。

4. この後は、画面の指示に従って操作します。

プリンターの持ち運びや輸送

⚠注意

- プリンターやスキャナーユニットを持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。
- プリンターやスキャナーユニットは重いので、1人で運ばないでください。開梱や移動の際は2人以上で運んでください。
- プリンターやスキャナーユニットを持ち上げる際は、下図で指示された箇所に手を掛けて持ち上げてください。他の部分を持って持ち上げると、プリンターが落下したり、下ろすときに指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。

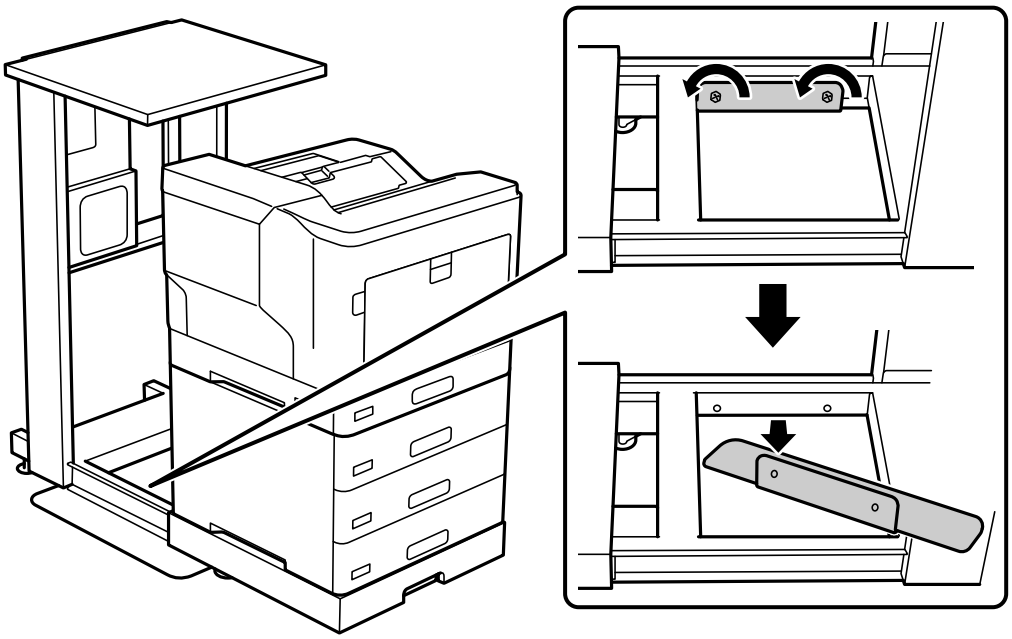


- プリンターやスキャナーユニットを移動するときは、前後左右に10度以上傾けないでください。転倒などによる事故のおそれがあります。
- プリンターやスキャナーユニットを、キャスター（車輪）付きの台などに載せるときは、キャスターを固定して動かないようにしてから作業を行ってください。作業中に台などが思わぬ方向に動くと、けがをするおそれがあります。

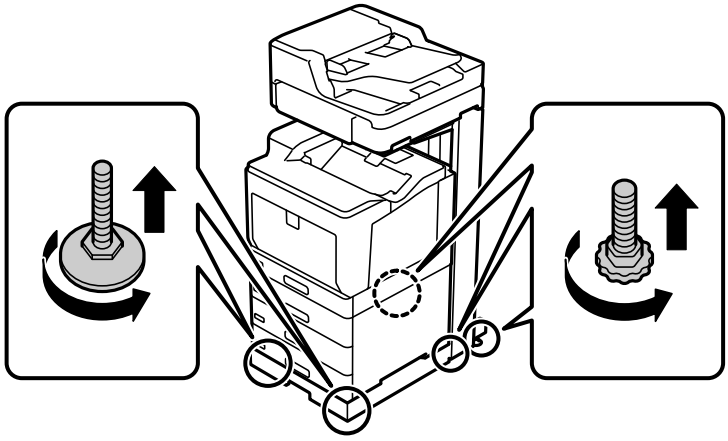
近くへの移動

キャスターで移動させるときの手順は以下です。

1. ⏻ボタンを押してプリンターの電源を切ります。
2. 電源ランプの消灯を確認して、電源プラグをコンセントから抜きます。
3. 電源コードやUSB ケーブルなどのケーブル類を取り外します。
4. 手差しトレイが開いているときは閉じます。
5. 転倒防止脚を外します。



6. ラックのアジャスター（5 箇所）を床面に触れない位置まで上げます。



7. 衝撃を与えないようにして移動させます。
段差のあるような場所を避け、水平に移動させてください。

> ⚠注意
> - プリンターやスキャナーをラックに載せたまま移動するときは、転倒防止のため3 人以上で運んでくだ さい。
> - 通路やエレベーターで段差を通過するときなど、振動や衝撃でプリンター台がスライドし、プリンターが前に出てくることがあります。プリンターを押さえながら移動してください。

移動後は転倒防止脚を取り付け、ラックのアジャスターを床面まで下げて固定してください。

参考 移動後フロアマットやカーペットの上などに設置する場合、転倒防止脚が浮いてしまいネジが締まらないことがあります。プリンターと増設カセットユニットを取り外してから、転倒防止脚を取り付けてください。

輸送

本製品を輸送するときは、以下の準備をしてください。振動や衝撃から本製品を守るために本製品の購入時と同等の状態に梱包する必要があります。

1. ⏻ボタンを押してプリンターの電源を切ります。

2. 電源ランプの消灯を確認して、電源プラグをコンセントから抜きます。

3. セットされている全ての印刷用紙を取り除きます。

4. 電源コードやUSB ケーブルなどのケーブル類を取り外します。

5. 取り付けてある全ての付属品およびオプションを取り外します。
「セットアップガイド」（冊子）-「組み立て」を参照して逆の手順で取り外してください。

6. 保護材や梱包材で梱包します。

困ったときは

うまく動かない 196

プリンター画面にメッセージが表示された 266

用紙が詰まった 268

消耗品の交換が必要になった 269

きれいに印刷、コピー、スキャン、ファクスできない 274

解決できないときは 289

うまく動かない

正常に起動しない

電源コードが抜けているか緩んでいます。

対処方法

まず、コードやケーブルが確実に挿し込まれているか確認してください。

- 電源コード：プリンターがコンセントに正しく接続されているか
- 専用プリンターケーブル：プリンター部とコントローラーボックスが正しく接続されているか
- 専用スキャナーケーブル：スキャナーとコントローラーボックスが正しく接続されているか

接続の確認ができたら電源を入れてください。
接続の確認と方法は『セットアップガイド』（冊子）をご覧ください。

プリンター部とコントローラーボックス間で、専用プリンターケーブルが抜けているか緩んでいます。

対処方法

まず、コードやケーブルが確実に挿し込まれているか確認してください。

- 電源コード：プリンターがコンセントに正しく接続されているか
- 専用プリンターケーブル：プリンター部とコントローラーボックスが正しく接続されているか
- 専用スキャナーケーブル：スキャナーとコントローラーボックスが正しく接続されているか

接続の確認ができたら電源を入れてください。
接続の確認と方法は『セットアップガイド』（冊子）をご覧ください。

専用スキャナーケーブルが抜けているか緩んでいます。

対処方法

スキャナーユニット背面とコントローラーボックス側面のコネクターに、専用スキャナーケーブルを確実に挿し込んでください。
抜けていたり緩んでいる状態で電源を入れると、以下のような現象が発生します。

- スキャナーユニット左側面にある輸送用固定ロックが解除されていても、パネルに「スキャナロックエラー」と表示される
- パネルに1分以上「EPSON」と表示される
- プリンター部は起動するが、パネルに何も表示されない

また、コードやケーブルが確実に挿し込まれているか確認してください。

- 電源コード：プリンターがコンセントに正しく接続されているか
- 専用プリンターケーブル：プリンター部とコントローラーボックスが正しく接続されているか
- 専用スキャナーケーブル：スキャナーとコントローラーボックスが正しく接続されているか

接続の確認ができたら電源を入れてください。
接続の確認と方法は『セットアップガイド』（冊子）をご覧ください。

電源が入らない、切れない

電源が入らない

以下の原因が考えられます。

電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていません。

対処方法

電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。

⏻ボタンを押している時間が不十分です。

対処方法

⏻ボタンを少し長めに押してください。

専用スキャナーケーブルが抜けています。

対処方法

スキャナーユニット背面とコントローラーボックス側面のコネクターに、専用スキャナーケーブルを確実に挿し込んでください。

電源が切れない

⏻ボタンを押している時間が不十分です。

対処方法

⏻ボタンを少し長めに押してください。それでも切れないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

給紙や排紙が正しくできない

給紙ができない

以下の原因が考えられます。

印刷できない用紙を使用しています。

対処方法

本製品で印刷できる用紙を使用してください。

➡ 「印刷できる用紙とセット枚数」360ページ
➡ 「印刷できない用紙」363ページ

用紙の取り扱いに問題があります。

対処方法

用紙取り扱い上のご注意に従ってください。

➡ 「用紙取り扱い上のご注意」33ページ

用紙のセット枚数が多過ぎます。

対処方法

セット可能枚数を超えてセットしないでください。

➡ 「印刷できる用紙とセット枚数」360ページ

用紙カセットが正しくセットされていません。

対処方法

標準の用紙カセットやオプションの増設カセットを正しくセットしてください。また用紙ガイドの位置が正しいか確認してください。セットした後は［設定］-［情報確認/印刷］-［本体ステータスシートの印刷］-［プリンター情報シート］を選択してプリンター情報シートを印刷し、用紙カセットと用紙サイズが正しく認識されているか確認してください。

プリンターに登録した用紙情報が間違っています。

対処方法

プリンターの用紙サイズと用紙種類の設定を、実際にセットした用紙に合わせてください。

➡ 「用紙サイズと用紙種類の登録」34ページ

給紙装置の選択が間違っています。

対処方法

プリンタードライバーの給紙装置を正しく設定してください。

給紙ローラーに紙粉が付いて、用紙が滑って給紙できません。

対処方法

給紙ローラーをクリーニングしてください。

➡ 「給紙不良を改善する」176ページ

斜めに給紙される

以下の原因が考えられます。

印刷できない用紙を使用しています。

対処方法

本製品で印刷できる用紙を使用してください。

➡ 「印刷できる用紙とセット枚数」360ページ
➡ 「印刷できない用紙」363ページ

用紙の取り扱いに問題があります。

対処方法

用紙取り扱い上のご注意に従ってください。

➡ 「用紙取り扱い上のご注意」33ページ

用紙が正しくセットされていません。

対処方法

用紙を正しい方向でセットして、用紙の側面に用紙ガイドを合わせてください。

➡ 「用紙のセット」34ページ

用紙のセット枚数が多過ぎます。

対処方法

セット可能枚数を超えてセットしないでください。

➡ 「印刷できる用紙とセット枚数」360ページ

用紙カセットが正しくセットされていません。

対処方法

標準の用紙カセットやオプションの増設カセットを正しくセットしてください。また用紙ガイドの位置が正しいか確認してください。セットした後は［設定］-［情報確認/印刷］-［本体ステータスシートの印刷］-［プリンター情報シート］を選択してプリンター情報シートを印刷し、用紙カセットと用紙サイズが正しく認識されているか確認してください。

プリンターに登録した用紙情報が間違っています。

対処方法

プリンターの用紙サイズと用紙種類の設定を、実際にセットした用紙に合わせてください。

➡ 「用紙サイズと用紙種類の登録」34ページ

給紙装置の選択が間違っています。

対処方法

プリンタードライバーの給紙装置を正しく設定してください。

給紙ローラーに紙粉が付いて、用紙が滑って給紙できません。

対処方法

給紙ローラーをクリーニングしてください。

➡ 「給紙不良を改善する」176ページ

重なって給紙される

以下の原因が考えられます。

印刷できない用紙を使用しています。

対処方法

本製品で印刷できる用紙を使用してください。

➡ 「印刷できる用紙とセット枚数」360ページ
➡ 「印刷できない用紙」363ページ

用紙の取り扱いに問題があります。

対処方法

用紙取り扱い上のご注意に従ってください。

➡ 「用紙取り扱い上のご注意」33ページ

用紙が正しくセットされていません。

対処方法

用紙を正しい方向でセットして、用紙の側面に用紙ガイドを合わせてください。

➡ 「用紙のセット」34ページ

用紙が湿っています。

対処方法

新しい用紙をセットしてください。

静電気で用紙がくっついています。

対処方法

印刷用紙をさばいてからセットしてください。特殊紙は1枚ずつセットしてください。

用紙のセット枚数が多過ぎます。

対処方法

セット可能枚数を超えてセットしないでください。

➡ 「印刷できる用紙とセット枚数」360ページ

用紙カセットが正しくセットされていません。

対処方法

標準の用紙カセットやオプションの増設カセットを正しくセットしてください。また用紙ガイドの位置が正しいか確認してください。セットした後は［設定］-［情報確認/印刷］-［本体ステータスシートの印刷］-［プリンター情報シート］を選択してプリンター情報シートを印刷し、用紙カセットと用紙サイズが正しく認識されているか確認してください。

プリンターに登録した用紙情報が間違っています。

対処方法

プリンターの用紙サイズと用紙種類の設定を、実際にセットした用紙に合わせてください。

➡ 「用紙サイズと用紙種類の登録」34ページ

給紙装置の選択が間違っています。

対処方法

プリンタードライバーの給紙装置を正しく設定してください。

ADFから給紙できない

以下の原因が考えられます。

ADFに対応していない原稿です。

対処方法

ADFに対応している原稿を使用してください。

原稿が正しくセットされていません。

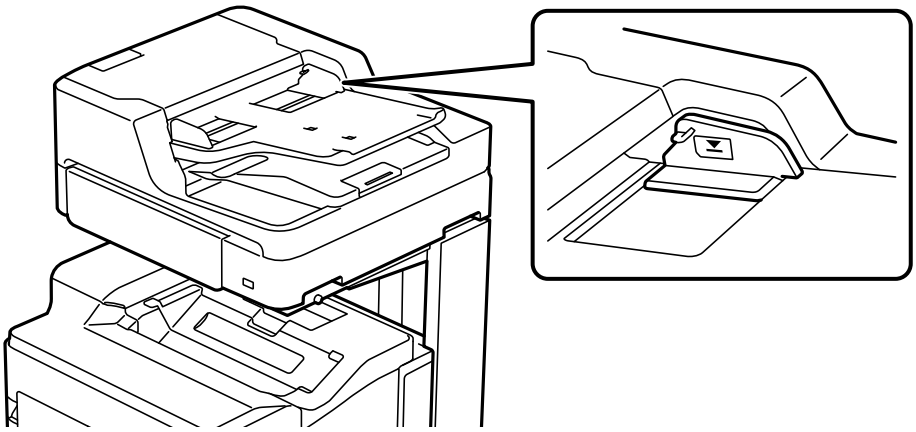
対処方法

原稿を正しい方向でセットして、原稿の側面にADF原稿ガイドを合わせてください。

原稿のセット枚数が多過ぎます。

対処方法

ADFの三角マークが示す線を越えてセットしないでください。



ローラーに紙粉が付いて、原稿が滑って給紙できません。

対処方法

ADFの内部をクリーニングしてください。

原稿が検知されていません。

対処方法

コピー、スキャン、またはファクス画面で、ADFアイコンが点灯しているか確認してください。点灯していないときは、原稿をセットし直してください。

縦横交互排紙ができない

用紙のセットや設定が間違っています。

対処方法

交互排紙では、2つの給紙装置から交互に用紙を給紙して印刷します。そのため、横置きと縦置きできる用紙（A4、Letter）以外ではできません。セットした用紙のサイズと向きを操作パネルで設定し、プリンタードライバーで交互排紙を指定してください。

➡ 「1部ずつ縦横交互に排紙する」38ページ

印刷できない

Windowsから印刷できない

コンピューターとプリンターを接続できているか確認してください。
接続している場合としていない場合で原因と対処方法が異なります。

接続状態を確認する

EPSON ステータスモニタを使って、コンピューターとプリンターの接続状態を確認してください。
［EPSON ステータスモニタ］の利用にはあらかじめインストールされている必要があります。エプソンのウェブサイトよりダウンロードしてください。

1. プリンタードライバーを表示します。
   - Windows 10/Windows Server 2019/Windows Server 2016
     スタートボタンをクリックし、［Windows システムツール］-［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックまたは長押しして［印刷設定］を選択します。
   - Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
     ［デスクトップ］-［設定］-［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックまたは長押しして［印刷設定］を選択します。
   - Windows 7/Windows Server 2008 R2
     スタートボタンをクリックし、［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックして［印刷設定］を選択します。
   - Windows Vista/Windows Server 2008
     スタートボタンをクリックし、［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［プリンター］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックして［印刷設定］を選択します。
   - Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
     スタートボタンをクリックし、コントロールパネル-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックして［印刷設定］を選択します。
2. ［ユーティリティー］タブをクリックします。
3. ［EPSON ステータスモニタ］をクリックします。

消耗品の状態が表示されていればコンピューターとプリンターは接続しています。
接続できていない場合は、以下を確認してください。

- ネットワーク接続でプリンターが認識されていない
  「ネットワークに接続できない」203ページ
- USB接続でプリンターが認識されていない
  「USB接続できない（Windows）」205ページ

接続できている場合は、以下を確認してください。

- プリンターは認識されているが印刷できない
  「接続できているのに印刷できない（Windows）」206ページ

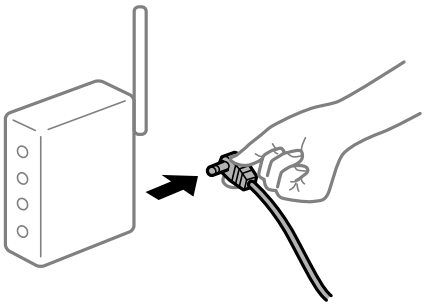
ネットワークに接続できない

以下の原因が考えられます。

無線LAN接続でネットワーク機器に何らかの問題があります。

対処方法

ネットワークに接続する全ての機器の電源を切ります。約10秒待ってから無線LANルーター（アクセスポイント）、コンピューターまたはスマートデバイス、プリンターの順に電源を入れます。電波が届きやすいように機器を無線LANルーター（アクセスポイント）に近づけて、設定し直してください。



機器と無線LANルーターが離れていて電波が届いていません。

対処方法

コンピューターまたはスマートデバイスとプリンターを無線LANルーターの近くに移動して、無線LANルーターの電源を入れ直してください。

無線LANルーターを交換した場合、設定が新しいルーターに合っていません。

対処方法

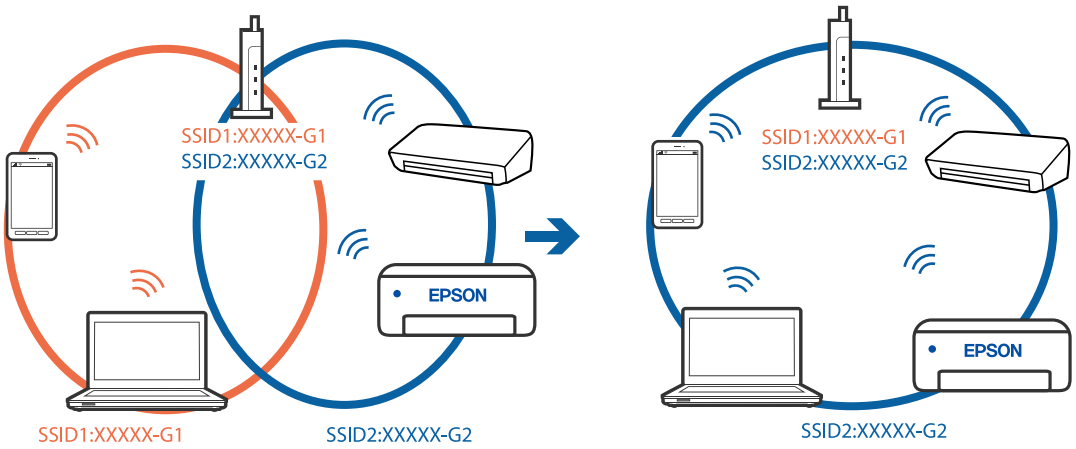
新しい無線LANルーターに合うように、接続設定をやり直してください。

➡ 「無線LANルーターを交換したとき」292ページ

接続しているSSIDがコンピューターやスマートデバイスとプリンターで異なっています。

対処方法

複数の無線LANルーターを使用している場合や、1台で複数のSSIDを使用できる無線LANルーターの場合、コンピューターやスマートデバイスが接続しているSSIDとプリンターが接続しているSSIDが異なっていると接続できません。
コンピューターやスマートデバイスを同じSSIDに接続してください。



無線LANルーターのプライバシーセパレーター機能が有効になっています。

対処方法

ほとんどのワイヤレスルーターには、同じSSID内のデバイス間の通信をブロックするセパレーター機能があります。プリンターとコンピューターまたはスマートデバイスが同じネットワークに接続されていても通信できない場合は、無線ルーターのセパレーター機能を無効にしてください。詳しくは無線LANルーターのマニュアルをご覧ください。

IPアドレスが正しく割り当てられていません。

対処方法

IPアドレスが「169.254.XXX.XXX」、サブネットマスクが「255.255.0.0」の場合は、IPアドレスが正しく割り当てられていない可能性があります。
プリンターの操作パネルで、［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［詳細設定］の順に選択して、プリンターに割り当てられているIPアドレスとサブネットマスクを確認してください。
無線LANルーターの電源を入れ直すか、プリンターのネットワークを再設定してください。

➡ 「ネットワークを再設定する方法」292ページ

コンピューターのネットワーク設定に問題があります。

対処方法

コンピューターからウェブサイトを閲覧できるか確認してください。閲覧できない場合はコンピューターのネットワーク設定に問題があります。
コンピューターのネットワーク接続を確認してください。詳しくはコンピューターのマニュアルをご覧ください。

IEEE802.3az（省電力イーサーネット）に対応した機器を使って有線LAN接続しています。

対処方法

IEEE802.3az（Energy Efficient Ethernet、省電力イーサネット）に対応した機器を使って有線LAN接続する場合、一部のハブやルーターを使用したときに以下の現象が発生することがあります。

- 接続したりしなかったりして不安定になる
- 接続できなくなる
- 通信速度が遅くなる

以下の手順で、コンピューターとプリンターのIEEE802.3azを無効にして接続してください。

1. コンピューターとプリンターそれぞれにつながっているLANケーブルを外します。
2. コンピューターのIEEE802.3azが有効になっている場合は、無効にします。
   詳しくはコンピューターのマニュアルをご覧ください。
3. LANケーブルでコンピューターとプリンターを直接接続します。
4. プリンターで、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。
   「ネットワーク接続診断レポートを印刷する」307ページ
5. ネットワーク接続診断レポートで、プリンターのIPアドレスを確認します。
6. コンピューターで、Web Configを起動します。
   Webブラウザーを起動し、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   「WebブラウザーからWeb Configを起動する」432ページ
7. ［ネットワーク設定］タブ - ［有線LAN］の順に選択します。
8. ［IEEE 802.3az］を［オフ］にします。
9. ［次へ］をクリックします。
10. ［設定］をクリックします。
11. コンピューターとプリンターにつながっているLANケーブルを外します。
12. 手順2でコンピューターのIEEE802.3azを無効にした場合は、有効にします。
13. 手順1で外したLANケーブルをコンピューターとプリンターにつなぎます。

上記の手順をしてもこの現象が発生する場合は、プリンター以外の機器が原因となっている可能性があります。

USB接続できない（Windows）

以下の原因が考えられます。

USBケーブルがしっかりと差し込まれていません。

対処方法

プリンターとコンピューターを接続しているUSBケーブルをしっかりと差し込んでください。

USBハブに問題があります。

対処方法

USBハブ使用時は、プリンターとコンピューターを直接接続してみてください。

USBケーブルか差し込み口に問題があります。

対処方法

USBケーブルの差し込み口を変えてみてください。それでも解決しないときはUSBケーブルを変えてみてください。

プリンターをSuperSpeed USBポートに接続しています。

対処方法

一部のコンピューターのSuperSpeed USBポートにUSB2.0ケーブルを使ってプリンターを接続すると、通信不良が発生することがあります。その場合は次のいずれかの方法で接続し直してください。

- USB3.0ケーブルを使用する
- コンピューターのHi-Speed USBポートに接続する
- 通信不良が発生する以外のSuperSpeed USBポートに接続する

接続できているのに印刷できない（Windows）

以下の原因が考えられます。

ソフトウェアやデータに問題があります。

対処方法

- エプソン純正プリンタードライバー（EPSON XXXXX）がインストールされているか確認してください。インストールされていないと使用できる機能が限られるため、インストールすることをお勧めします。
- データサイズが大きい画像を印刷しようとすると、コンピューターのメモリーが足りなくなることがあります。解像度を下げたり、サイズを小さくしたりして印刷してください。
- 容量の大きなデータを印刷しようとすると、コンピューターのCPUやメモリーの容量によって、データを処理できないことがあります。以下の対処をしてください。
  - コンピューターのメモリーを増設する
  - プリンタードライバーの［印刷品質］の設定を［はやい］（300dpi）にする
  - 使用していないインターフェイスを使わない設定にする
- 全ての対処方法を試してもトラブルを解決できないときは、プリンタードライバーをアンインストールして、再インストールしてみてください。

➡「エプソン純正プリンタードライバーがインストールされているか確認する（Windows）」186ページ
➡「エプソン純正プリンタードライバーがインストールされているか確認する（Mac OS）」187ページ
➡「ソフトウェアを個別にインストールまたはアンインストールする」185ページ

プリンターの状態に問題があります。

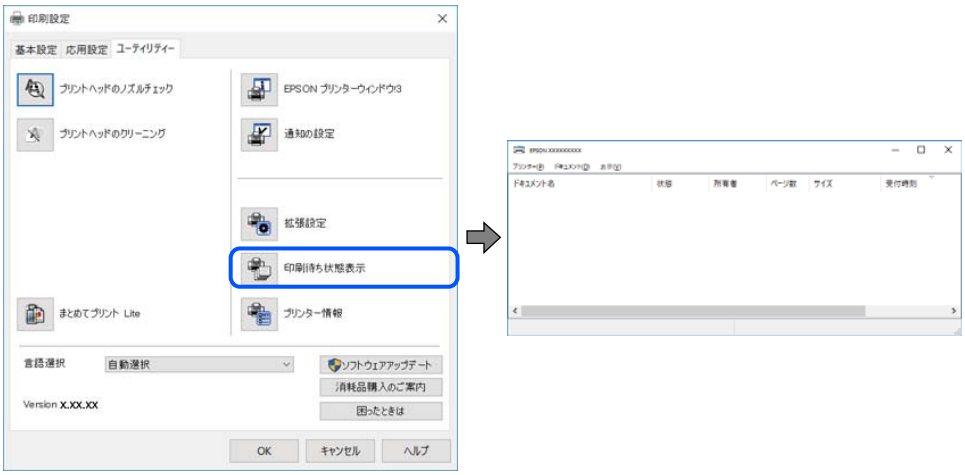
対処方法

プリンタードライバーで［ユーティリティー］タブの［EPSONステータスモニタ］をクリックしてプリンターの状態を確認してください。この機能を使うにはEPSONステータスモニタのインストールが必要です。エプソンのウェブサイトからダウンロードできます。

印刷待ちのジョブが残っています。

対処方法

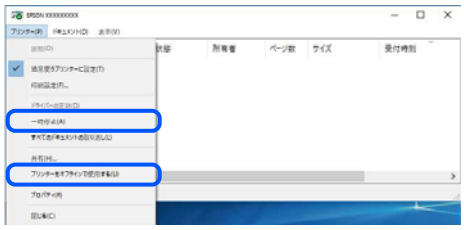
プリンタードライバーの［ユーティリティー］タブで［印刷待ち状態表示］をクリックします。不要な印刷データが残っている場合は、［プリンター］メニューで［すべてのドキュメントの取り消し］を選択してください。



プリンターが一時停止やオフラインになっています。

対処方法

プリンタードライバーの［ユーティリティー］タブで［印刷待ち状態表示］をクリックします。
［プリンター］メニューで一時停止またはオフラインのチェックを外してください。



通常使うプリンターに設定されていません。

対処方法

［コントロールパネル］-［デバイスとプリンター］（または［プリンタ］、［プリンタとFAX］）でお使いになるプリンターアイコンを右クリックして［通常使うプリンターに設定］をクリックします。

参考　複数プリンターアイコンがある場合は、以下を参考にして選んでください。

例）
USB ケーブルで接続：EPSON XXXX Series
ネットワークで接続：EPSON XXXX Series（ネットワーク）
何度もプリンタードライバーをインストールするとプリンタードライバーのコピーが作成されることがあります。「EPSON XXXX Series（コピー1）」などのコピーができてしまっている場合は、コピーされたドライバーのアイコン上で右クリックし、［デバイスの削除］をクリックしてください。

正しいポートが選択されていません。

対処方法

プリンタードライバーの［ユーティリティー］タブで［印刷待ち状態表示］をクリックします。
［プリンター］メニューの［プロパティ］-［ポート］で、以下の正しいポートを選択してください。
USB ケーブルで接続：［USBXXX］、ネットワーク接続：［EpsonNet Print Port］
ポートを変更できないときは、［プリンター］メニューの［管理者として実行］を選択してください。［管理者として実行］が表示されないときは、システム管理者に問い合わせてください。

プリンターの選択が間違っています。

対処方法

プリンター名が変更されている可能性があります。システム管理者などに正しいプリンター名を尋ね、その名称のプリンターを選択してください。

ネットワーク接続のプリンターから突然印刷できなくなった

以下の原因が考えられます。

ネットワーク環境が変更されています。

対処方法

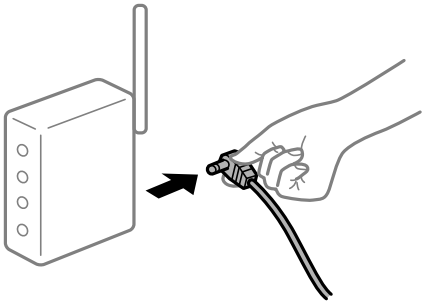
無線LANルーター（アクセスポイント）やプロバイダーなど、ネットワーク環境を変更したときは、プリンターのネットワーク設定をやり直してください。
コンピューターやスマートデバイスをプリンターと同じSSIDに接続してください。

➡「ネットワークを再設定する方法」292ページ

無線LAN接続でネットワーク機器に何らかの問題があります。

対処方法

ネットワークに接続する全ての機器の電源を切ります。約10秒待ってから無線LANルーター（アクセスポイント）、コンピューターまたはスマートデバイス、プリンターの順に電源を入れます。電波が届きやすいように機器を無線LANルーター（アクセスポイント）に近づけて、設定し直してください。



プリンターがネットワークに接続していません。

対処方法

プリンターの操作パネルで［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［接続診断］の順に選択して、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。ネットワーク接続診断レポートの結果が失敗だった場合は、接続診断の内容を確認して対処方法をお試しください。

コンピューターのネットワーク設定に問題があります。

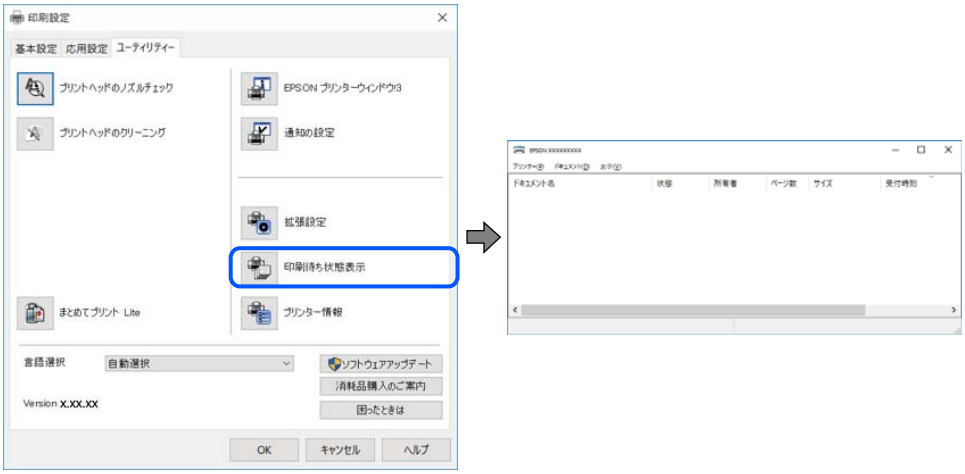
対処方法

コンピューターからウェブサイトを閲覧できるか確認してください。閲覧できない場合はコンピューターのネットワーク設定に問題があります。
コンピューターのネットワーク接続を確認してください。詳しくはコンピューターのマニュアルをご覧ください。

印刷待ちのジョブが残っています。

対処方法

プリンタードライバーの［ユーティリティー］タブで［印刷待ち状態表示］をクリックします。不要な印刷データが残っている場合は、［プリンター］メニューで［すべてのドキュメントの取り消し］を選択してください。



プリンターが一時停止やオフラインになっています。

対処方法

プリンタードライバーの［ユーティリティー］タブで［印刷待ち状態表示］をクリックします。
［プリンター］メニューで一時停止またはオフラインのチェックを外してください。

通常使うプリンターに設定されていません。

対処方法

［コントロールパネル］-［デバイスとプリンター］（または［プリンタ］、［プリンタとFAX］）でお使いになるプリンターアイコンを右クリックして［通常使うプリンターに設定］をクリックします。

参考　複数プリンターアイコンがある場合は、以下を参考にして選んでください。

例）
USB ケーブルで接続：EPSON XXXX Series
ネットワークで接続：EPSON XXXX Series（ネットワーク）
何度もプリンタードライバーをインストールするとプリンタードライバーのコピーが作成されることがあります。「EPSON XXXX Series（コピー1）」などのコピーができてしまっている場合は、コピーされたドライバーのアイコン上で右クリックし、［デバイスの削除］をクリックしてください。

正しいポートが選択されていません。

対処方法

プリンタードライバーの［ユーティリティー］タブで［印刷待ち状態表示］をクリックします。
［プリンター］メニューの［プロパティ］-［ポート］で、以下の正しいポートを選択してください。
USB ケーブルで接続：［USBXXX］、ネットワーク接続：［EpsonNet Print Port］
ポートを変更できないときは、［プリンター］メニューの［管理者として実行］を選択してください。［管理者として実行］が表示されないときは、システム管理者に問い合わせてください。

全ての対処方法を試しても解決しないとき

対処方法

全ての対処方法を試してもうまくいかない場合は 、セキュリティーソフトなどの影響が考えられます 。エプソンのウェブサイトでFAQをご覧ください。
http://www.epson.jp/support/faq/
製品カテゴリーからお使いの製品を選択して、「無線LAN 接続」などのキーワード入力で検索できます。

Mac OSから印刷できない

コンピューターとプリンターを接続できているか確認してください。
接続している場合としていない場合で原因と対処方法が異なります。

接続状態を確認する

EPSON ステータスモニタを使って、コンピューターとプリンターの接続状態を確認してください。

1. アップルメニューの［システム環境設定］ - ［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。

2. ［オプションとサプライ］ - ［ユーティリティ］ - ［プリンタユーティリティを開く］の順にクリックします。

3. ［EPSON ステータスモニタ］をクリックします。

消耗品の状態が表示されていればコンピューターとプリンターは接続しています。
接続できていない場合は、以下を確認してください。

- ネットワーク接続でプリンターが認識されていない
  「ネットワークに接続できない」211ページ
- USB接続でプリンターが認識されていない
  「USB接続できない（Mac OS）」214ページ

接続できている場合は、以下を確認してください。

- プリンターは認識されているが印刷できない
  「接続できているのに印刷できない（Mac OS）」215ページ

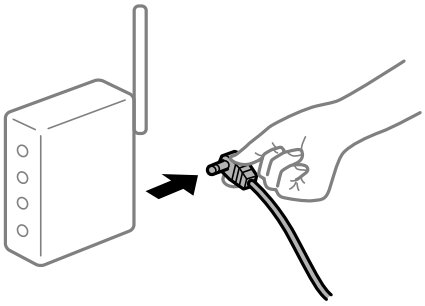
ネットワークに接続できない

以下の原因が考えられます。

無線LAN接続でネットワーク機器に何らかの問題があります。

対処方法

ネットワークに接続する全ての機器の電源を切ります。約10秒待ってから無線LANルーター（アクセスポイント）、コンピューターまたはスマートデバイス、プリンターの順に電源を入れます。電波が届きやすいように機器を無線LANルーター（アクセスポイント）に近づけて、設定し直してください。



機器と無線LANルーターが離れていて電波が届いていません。

対処方法

コンピューターまたはスマートデバイスとプリンターを無線LANルーターの近くに移動して、無線LANルーターの電源を入れ直してください。

無線LANルーターを交換した場合、設定が新しいルーターに合っていません。

対処方法

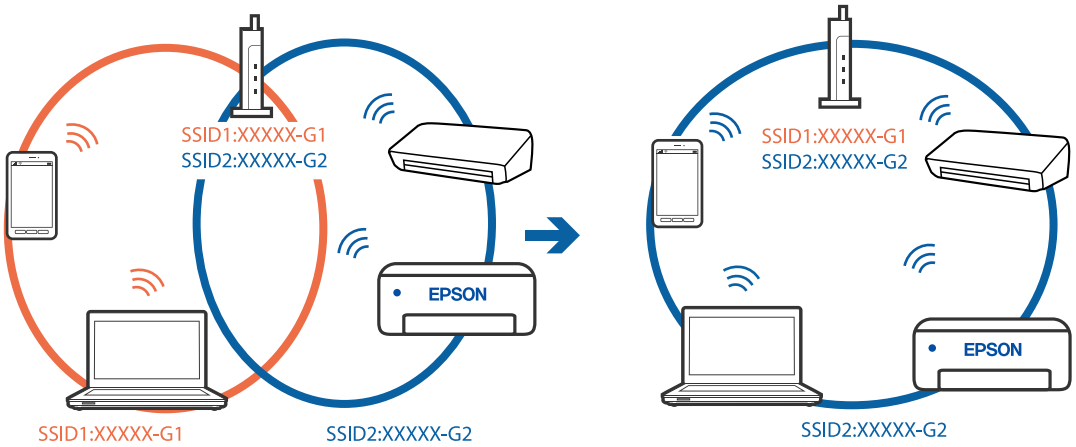
新しい無線LANルーターに合うように、接続設定をやり直してください。

➡ 「無線LANルーターを交換したとき」292ページ

接続しているSSIDがコンピューターやスマートデバイスとプリンターで異なっています。

対処方法

複数の無線LANルーターを使用している場合や、1台で複数のSSIDを使用できる無線LANルーターの場合、コンピューターやスマートデバイスが接続しているSSIDとプリンターが接続しているSSIDが異なっていると接続できません。
コンピューターやスマートデバイスを同じSSIDに接続してください。



無線LANルーターのプライバシーセパレーター機能が有効になっています。

対処方法

ほとんどのワイヤレスルーターには、同じSSID内のデバイス間の通信をブロックするセパレーター機能があります。プリンターとコンピューターまたはスマートデバイスが同じネットワークに接続されていても通信できない場合は、無線ルーターのセパレーター機能を無効にしてください。詳しくは無線LANルーターのマニュアルをご覧ください。

IPアドレスが正しく割り当てられていません。

対処方法

IPアドレスが「169.254.XXX.XXX」、サブネットマスクが「255.255.0.0」の場合は、IPアドレスが正しく割り当てられていない可能性があります。
プリンターの操作パネルで、［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［詳細設定］の順に選択して、プリンターに割り当てられているIPアドレスとサブネットマスクを確認してください。
無線LANルーターの電源を入れ直すか、プリンターのネットワークを再設定してください。

➡ 「ネットワークを再設定する方法」292ページ

コンピューターのネットワーク設定に問題があります。

対処方法

コンピューターからウェブサイトを閲覧できるか確認してください。閲覧できない場合はコンピューターのネットワーク設定に問題があります。
コンピューターのネットワーク接続を確認してください。詳しくはコンピューターのマニュアルをご覧ください。

USB 3.0ポートに接続している機器によって無線周波数干渉が起こっています。

対処方法

MacのUSB 3.0ポートに機器を接続して使用していると、無線周波数干渉が起こることがあります。無線LAN（Wi-Fi）に接続できない、または動作が不安定になる場合は以下をお試しください。

- USB 3.0ポートに接続している機器をコンピューターから離す
- 5 GHzのSSIDに接続する

接続するには、以下を参照してください。

IEEE802.3az（省電力イーサーネット）に対応した機器を使って有線LAN接続しています。

対処方法

IEEE802.3az（Energy Efficient Ethernet、省電力イーサネット）に対応した機器を使って有線LAN接続する場合、一部のハブやルーターを使用したときに以下の現象が発生することがあります。

- 接続したりしなかったりして不安定になる
- 接続できなくなる
- 通信速度が遅くなる

以下の手順で、コンピューターとプリンターのIEEE802.3azを無効にして接続してください。

1. コンピューターとプリンターそれぞれにつながっているLANケーブルを外します。
2. コンピューターのIEEE802.3azが有効になっている場合は、無効にします。
   詳しくはコンピューターのマニュアルをご覧ください。
3. LANケーブルでコンピューターとプリンターを直接接続します。
4. プリンターで、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。
   「ネットワーク接続診断レポートを印刷する」307ページ
5. ネットワーク接続診断レポートで、プリンターのIPアドレスを確認します。
6. コンピューターで、Web Configを起動します。
   Webブラウザーを起動し、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   「WebブラウザーからWeb Configを起動する」432ページ
7. ［ネットワーク設定］タブ - ［有線LAN］の順に選択します。
8. ［IEEE 802.3az］を［オフ］にします。
9. ［次へ］をクリックします。
10. ［設定］をクリックします。
11. コンピューターとプリンターにつながっているLANケーブルを外します。
12. 手順2でコンピューターのIEEE802.3azを無効にした場合は、有効にします。
13. 手順1で外したLANケーブルをコンピューターとプリンターにつなぎます。

上記の手順をしてもこの現象が発生する場合は、プリンター以外の機器が原因となっている可能性があります。

USB接続できない（Mac OS）

以下の原因が考えられます。

USBケーブルがしっかりと差し込まれていません。

対処方法

プリンターとコンピューターを接続しているUSBケーブルをしっかりと差し込んでください。

USBハブに問題があります。

対処方法

USBハブ使用時は、プリンターとコンピューターを直接接続してみてください。

USBケーブルか差し込み口に問題があります。

対処方法

USBケーブルの差し込み口を変えてみてください。それでも解決しないときはUSBケーブルを変えてみてください。

プリンターをSuperSpeed USBポートに接続しています。

対処方法

一部のコンピューターのSuperSpeed USBポートにUSB2.0ケーブルを使ってプリンターを接続すると、通信不良が発生することがあります。その場合は次のいずれかの方法で接続し直してください。

- USB3.0ケーブルを使用する
- コンピューターのHi-Speed USBポートに接続する
- 通信不良が発生する以外のSuperSpeed USBポートに接続する

接続できているのに印刷できない（Mac OS）

以下の原因が考えられます。

ソフトウェアやデータに問題があります。

対処方法

- エプソン純正プリンタードライバー（EPSON XXXXX）がインストールされているか確認してください。インストールされていないと使用できる機能が限られるため、インストールすることをお勧めします。
- データサイズが大きい画像を印刷しようとすると、コンピューターのメモリーが足りなくなることがあります。解像度を下げたり、サイズを小さくしたりして印刷してください。
- 容量の大きなデータを印刷しようとすると、コンピューターのCPUやメモリーの容量によって、データを処理できないことがあります。以下の対処をしてください。
  - コンピューターのメモリーを増設する
  - プリンタードライバーの［印刷品質］の設定を［はやい］（300dpi）にする
  - 使用していないインターフェイスを使わない設定にする
- 全ての対処方法を試してもトラブルを解決できないときは、プリンタードライバーをアンインストールして、再インストールしてみてください。

➡「エプソン純正プリンタードライバーがインストールされているか確認する（Windows）」186ページ
➡「エプソン純正プリンタードライバーがインストールされているか確認する（Mac OS）」187ページ
➡「ソフトウェアを個別にインストールまたはアンインストールする」185ページ

プリンターの状態に問題があります。

対処方法

プリンターのステータスが［一時停止］になっていないか確認してください。
アップルメニューの［システム環境設定］-［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択し、お使いのプリンターをダブルクリックします。［一時停止］になっているときは、［再開］をクリックしてください。

プリンターの利用者制限が有効になっています。

対処方法

利用者制限されたプリンターでは印刷できないことがあります。プリンターの管理者に問い合わせてください。

プリンターの選択が間違っています。

対処方法

プリンター名が変更されている可能性があります。システム管理者などに正しいプリンター名を尋ね、その名称のプリンターを選択してください。

ネットワーク接続のプリンターから突然印刷できなくなった

以下の原因が考えられます。

ネットワーク環境が変更されています。

対処方法

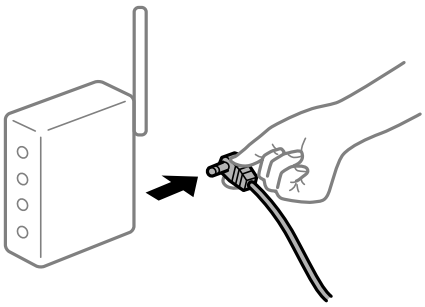
無線LANルーター（アクセスポイント）やプロバイダーなど、ネットワーク環境を変更したときは、プリンターのネットワーク設定をやり直してください。
コンピューターやスマートデバイスをプリンターと同じSSIDに接続してください。

➡ 「ネットワークを再設定する方法」292ページ

無線LAN接続でネットワーク機器に何らかの問題があります。

対処方法

ネットワークに接続する全ての機器の電源を切ります。約10秒待ってから無線LANルーター（アクセスポイント）、コンピューターまたはスマートデバイス、プリンターの順に電源を入れます。電波が届きやすいように機器を無線LANルーター（アクセスポイント）に近づけて、設定し直してください。



プリンターがネットワークに接続していません。

対処方法

プリンターの操作パネルで［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［接続診断］の順に選択して、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。ネットワーク接続診断レポートの結果が失敗だった場合は、接続診断の内容を確認して対処方法をお試しください。

コンピューターのネットワーク設定に問題があります。

対処方法

コンピューターからウェブサイトを閲覧できるか確認してください。閲覧できない場合はコンピューターのネットワーク設定に問題があります。
コンピューターのネットワーク接続を確認してください。詳しくはコンピューターのマニュアルをご覧ください。

全ての対処方法を試しても解決しないとき

対処方法

全ての対処方法を試してもうまくいかない場合は 、セキュリティーソフトなどの影響が考えられます 。エプソンのウェブサイトでFAQをご覧ください。
http://www.epson.jp/support/faq/
製品カテゴリーからお使いの製品を選択して、「無線LAN 接続」などのキーワード入力で検索できます。

スマートデバイスから印刷できない

スマートデバイスとプリンターを接続できているか確認してください。
接続している場合としていない場合で原因と対処方法が異なります。

接続状態を確認する

Epsonの印刷用アプリを使って、スマートデバイスとプリンターの接続状態を確認してください。
エプソンの印刷用アプリの例

Epson iPrint

App StoreまたはGoogle Playから、Epsonの印刷用アプリを検索してインストールしてください。

1. スマートデバイスで印刷用アプリを開きます。

2. 使用するプリンター名が表示されているか確認します。

   プリンター名が表示されている場合は、スマートデバイスとプリンターは接続しています。
   以下が表示されている場合は、スマートデバイスとプリンターは接続していません。

- プリンター未設定
- 通信エラーが発生しました。

接続できていない場合は、以下を確認してください。

- ネットワーク接続でプリンターが認識されていない
  「ネットワークに接続できない」218ページ

接続できている場合は、以下を確認してください。

- プリンターは認識されているが印刷できない
  「接続できているのに印刷できない（iOS）」220ページ

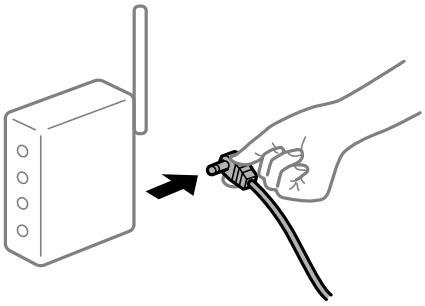
ネットワークに接続できない

以下の原因が考えられます。

無線LAN接続でネットワーク機器に何らかの問題があります。

対処方法

ネットワークに接続する全ての機器の電源を切ります。約10秒待ってから無線LANルーター（アクセスポイント）、コンピューターまたはスマートデバイス、プリンターの順に電源を入れます。電波が届きやすいように機器を無線LANルーター（アクセスポイント）に近づけて、設定し直してください。



機器と無線LANルーターが離れていて電波が届いていません。

対処方法

コンピューターまたはスマートデバイスとプリンターを無線LANルーターの近くに移動して、無線LANルーターの電源を入れ直してください。

無線LANルーターを交換した場合、設定が新しいルーターに合っていません。

対処方法

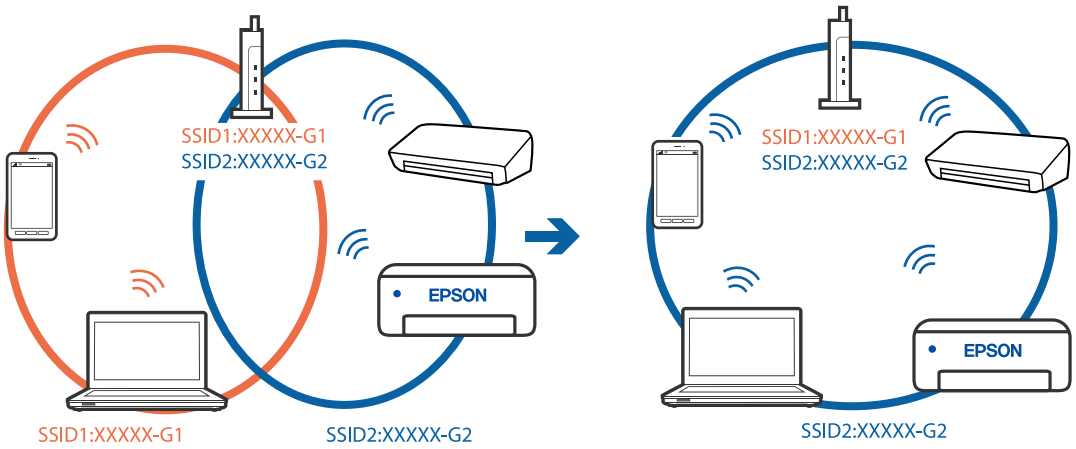
新しい無線LANルーターに合うように、接続設定をやり直してください。

➡ 「無線LANルーターを交換したとき」292ページ

接続しているSSIDがコンピューターやスマートデバイスとプリンターで異なっています。

対処方法

複数の無線LANルーターを使用している場合や、1台で複数のSSIDを使用できる無線LANルーターの場合、コンピューターやスマートデバイスが接続しているSSIDとプリンターが接続しているSSIDが異なっていると接続できません。
コンピューターやスマートデバイスを同じSSIDに接続してください。



無線LANルーターのプライバシーセパレーター機能が有効になっています。

対処方法

ほとんどのワイヤレスルーターには、同じSSID内のデバイス間の通信をブロックするセパレーター機能があります。プリンターとコンピューターまたはスマートデバイスが同じネットワークに接続されていても通信できない場合は、無線ルーターのセパレーター機能を無効にしてください。詳しくは無線LANルーターのマニュアルをご覧ください。

IPアドレスが正しく割り当てられていません。

対処方法

IPアドレスが「169.254.XXX.XXX」、サブネットマスクが「255.255.0.0」の場合は、IPアドレスが正しく割り当てられていない可能性があります。
プリンターの操作パネルで、［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［詳細設定］の順に選択して、プリンターに割り当てられているIPアドレスとサブネットマスクを確認してください。
無線LANルーターの電源を入れ直すか、プリンターのネットワークを再設定してください。

➡ 「ネットワークを再設定する方法」292ページ

スマートデバイスのネットワーク設定に問題があります。

対処方法

スマートデバイスからウェブサイトを閲覧できるか確認してください。閲覧できない場合はスマートデバイスのネットワーク設定に問題があります。
スマートデバイスのネットワーク接続を確認してください。詳しくはスマートデバイスのマニュアルをご覧ください。

接続できているのに印刷できない（iOS）

以下の原因が考えられます。

設定画面自動表示が無効になっています。

対処方法

操作パネルの以下のメニューで［設定画面自動表示］を有効にしてください。
［設定］-［本体設定］-［プリンター設定］-［給紙装置設定］-［設定画面自動表示］

AirPrintの設定が無効になっています。

対処方法

Web ConfigでAirPrintの設定を有効にしてください。

➡「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」432ページ

ネットワーク接続のプリンターから突然印刷できなくなった

以下の原因が考えられます。

ネットワーク環境が変更されています。

対処方法

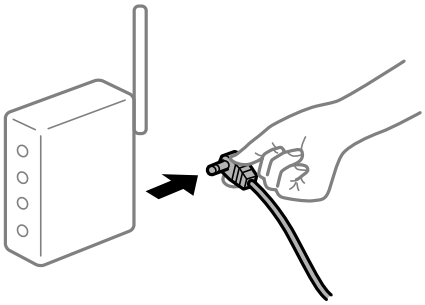
無線LANルーター（アクセスポイント）やプロバイダーなど、ネットワーク環境を変更したときは、プリンターのネットワーク設定をやり直してください。
コンピューターやスマートデバイスをプリンターと同じSSIDに接続してください。

➡「ネットワークを再設定する方法」292ページ

無線LAN接続でネットワーク機器に何らかの問題があります。

対処方法

ネットワークに接続する全ての機器の電源を切ります。約10秒待ってから無線LANルーター（アクセスポイント）、コンピューターまたはスマートデバイス、プリンターの順に電源を入れます。電波が届きやすいように機器を無線LANルーター（アクセスポイント）に近づけて、設定し直してください。



プリンターがネットワークに接続していません。

対処方法

プリンターの操作パネルで［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［接続診断］の順に選択して、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。ネットワーク接続診断レポートの結果が失敗だった場合は、接続診断の内容を確認して対処方法をお試しください。

スマートデバイスのネットワーク設定に問題があります。

対処方法

スマートデバイスからウェブサイトを閲覧できるか確認してください。閲覧できない場合はスマートデバイスのネットワーク設定に問題があります。
スマートデバイスのネットワーク接続を確認してください。詳しくはスマートデバイスのマニュアルをご覧ください。

全ての対処方法を試しても解決しないとき

対処方法

全ての対処方法を試してもうまくいかない場合は 、セキュリティーソフトなどの影響が考えられます 。エプソンのウェブサイトでFAQをご覧ください。
http://www.epson.jp/support/faq/
製品カテゴリーからお使いの製品を選択して、「無線LAN 接続」などのキーワード入力で検索できます。

スキャンできない

Windowsからスキャンできない

コンピューターとプリンターが接続できているか確認してください。
接続している場合としていない場合で原因と対処方法が異なります。

接続状態を確認する

EPSON ステータスモニタを使って、コンピューターとプリンターの接続状態を確認してください。
［EPSON ステータスモニタ］の利用にはあらかじめインストールされている必要があります。エプソンのウェブサイトよりダウンロードしてください。

1. プリンタードライバーを表示します。
   - Windows 10/Windows Server 2019/Windows Server 2016
     スタートボタンをクリックし、［Windows システムツール］-［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックまたは長押しして［印刷設定］を選択します。
   - Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
     ［デスクトップ］-［設定］-［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックまたは長押しして［印刷設定］を選択します。

- Windows 7/Windows Server 2008 R2
  スタートボタンをクリックし、［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックして［印刷設定］を選択します。
- Windows Vista/Windows Server 2008
  スタートボタンをクリックし、［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［プリンター］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックして［印刷設定］を選択します。
- Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
  スタートボタンをクリックし、コントロールパネル-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックして［印刷設定］を選択します。

2. ［ユーティリティー］タブをクリックします。

3. ［EPSON ステータスモニタ］をクリックします。

消耗品の状態が表示されていればコンピューターとプリンターは接続しています。
接続できていない場合は、以下を確認してください。

- ネットワーク接続でプリンターが認識されていない
  「ネットワークに接続できない」203ページ
- USB接続でプリンターが認識されていない
  「USB接続できない（Windows）」205ページ

接続できている場合は、以下を確認してください。

- プリンターは認識されているが印刷できない
  「接続できているのに印刷できない（Windows）」206ページ

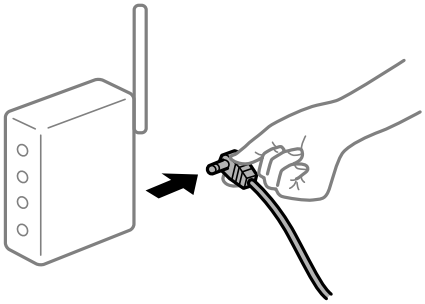
ネットワークに接続できない

以下の原因が考えられます。

無線LAN接続でネットワーク機器に何らかの問題があります。

対処方法

ネットワークに接続する全ての機器の電源を切ります。約10秒待ってから無線LANルーター（アクセスポイント）、コンピューターまたはスマートデバイス、プリンターの順に電源を入れます。電波が届きやすいように機器を無線LANルーター（アクセスポイント）に近づけて、設定し直してください。



機器と無線LANルーターが離れていて電波が届いていません。

対処方法

コンピューターまたはスマートデバイスとプリンターを無線LANルーターの近くに移動して、無線LANルーターの電源を入れ直してください。

無線LANルーターを交換した場合、設定が新しいルーターに合っていません。

対処方法

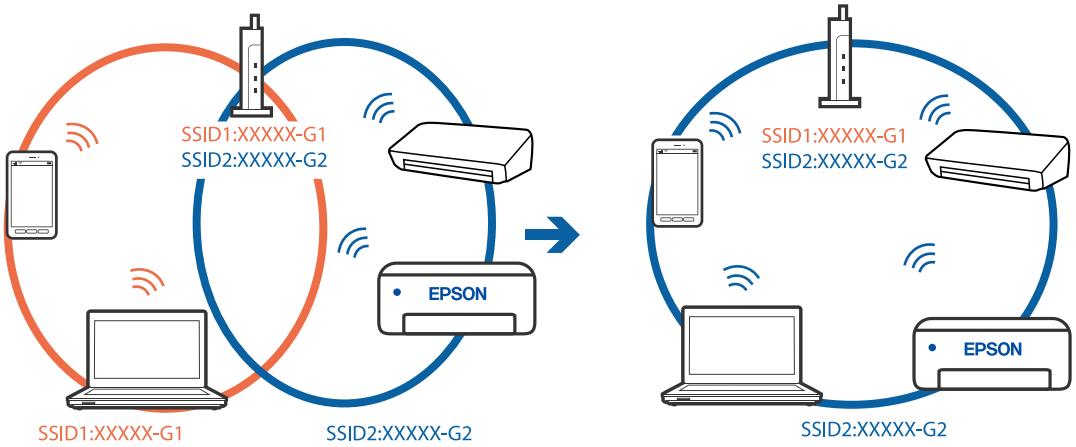
新しい無線LANルーターに合うように、接続設定をやり直してください。

➡ 「無線LANルーターを交換したとき」292ページ

接続しているSSIDがコンピューターやスマートデバイスとプリンターで異なっています。

対処方法

複数の無線LANルーターを使用している場合や、1台で複数のSSIDを使用できる無線LANルーターの場合、コンピューターやスマートデバイスが接続しているSSIDとプリンターが接続しているSSIDが異なっていると接続できません。
コンピューターやスマートデバイスを同じSSIDに接続してください。



無線LANルーターのプライバシーセパレーター機能が有効になっています。

対処方法

ほとんどのワイヤレスルーターには、同じSSID内のデバイス間の通信をブロックするセパレーター機能があります。プリンターとコンピューターまたはスマートデバイスが同じネットワークに接続されていても通信できない場合は、無線ルーターのセパレーター機能を無効にしてください。詳しくは無線LANルーターのマニュアルをご覧ください。

IPアドレスが正しく割り当てられていません。

対処方法

IPアドレスが「169.254.XXX.XXX」、サブネットマスクが「255.255.0.0」の場合は、IPアドレスが正しく割り当てられていない可能性があります。
プリンターの操作パネルで、［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［詳細設定］の順に選択して、プリンターに割り当てられているIPアドレスとサブネットマスクを確認してください。
無線LANルーターの電源を入れ直すか、プリンターのネットワークを再設定してください。

➡ 「ネットワークを再設定する方法」292ページ

コンピューターのネットワーク設定に問題があります。

対処方法

コンピューターからウェブサイトを閲覧できるか確認してください。閲覧できない場合はコンピューターのネットワーク設定に問題があります。
コンピューターのネットワーク接続を確認してください。詳しくはコンピューターのマニュアルをご覧ください。

IEEE802.3az（省電力イーサーネット）に対応した機器を使って有線LAN接続しています。

対処方法

IEEE802.3az（Energy Efficient Ethernet、省電力イーサネット）に対応した機器を使って有線LAN接続する場合、一部のハブやルーターを使用したときに以下の現象が発生することがあります。

- 接続したりしなかったりして不安定になる
- 接続できなくなる
- 通信速度が遅くなる

以下の手順で、コンピューターとプリンターのIEEE802.3azを無効にして接続してください。

1. コンピューターとプリンターそれぞれにつながっているLANケーブルを外します。
2. コンピューターのIEEE802.3azが有効になっている場合は、無効にします。
   詳しくはコンピューターのマニュアルをご覧ください。
3. LANケーブルでコンピューターとプリンターを直接接続します。
4. プリンターで、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。
   「ネットワーク接続診断レポートを印刷する」307ページ
5. ネットワーク接続診断レポートで、プリンターのIPアドレスを確認します。
6. コンピューターで、Web Configを起動します。
   Webブラウザーを起動し、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   「WebブラウザーからWeb Configを起動する」432ページ
7. ［ネットワーク設定］タブ - ［有線LAN］の順に選択します。
8. ［IEEE 802.3az］を［オフ］にします。
9. ［次へ］をクリックします。
10. ［設定］をクリックします。
11. コンピューターとプリンターにつながっているLANケーブルを外します。
12. 手順2でコンピューターのIEEE802.3azを無効にした場合は、有効にします。
13. 手順1で外したLANケーブルをコンピューターとプリンターにつなぎます。

上記の手順をしてもこの現象が発生する場合は、プリンター以外の機器が原因となっている可能性があります。

USB接続できない（Windows）

以下の原因が考えられます。

USBケーブルがしっかりと差し込まれていません。

プリンターとコンピューターを接続しているUSBケーブルをしっかりと差し込んでください。

USBハブに問題があります。

USBハブ使用時は、プリンターとコンピューターを直接接続してみてください。

USBケーブルか差し込み口に問題があります。

USBケーブルの差し込み口を変えてみてください。それでも解決しないときはUSBケーブルを変えてみてください。

プリンターをSuperSpeed USBポートに接続しています。

一部のコンピューターのSuperSpeed USBポートにUSB2.0ケーブルを使ってプリンターを接続すると、通信不良が発生することがあります。その場合は次のいずれかの方法で接続し直してください。

- USB3.0ケーブルを使用する
- コンピューターのHi-Speed USBポートに接続する
- 通信不良が発生する以外のSuperSpeed USBポートに接続する

接続できているのにスキャンできない（Windows）

ネットワーク接続で、高解像度のスキャンをしようとしています。

解像度を下げてスキャンしてください。

Mac OSからスキャンできない

コンピューターとプリンターが接続できているか確認してください。
接続している場合としていない場合で原因と対処方法が異なります。

接続状態を確認する

EPSON ステータスモニタを使って、コンピューターとプリンターの接続状態を確認してください。

1. アップルメニューの［システム環境設定］ - ［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。
2. ［オプションとサプライ］ - ［ユーティリティ］ - ［プリンタユーティリティを開く］の順にクリックします。
3. ［EPSON ステータスモニタ］をクリックします。

消耗品の状態が表示されていればコンピューターとプリンターは接続しています。

接続できていない場合は、以下を確認してください。

- ネットワーク接続でプリンターが認識されていない
  「ネットワークに接続できない」211ページ
- USB接続でプリンターが認識されていない
  「USB接続できない（Mac OS）」214ページ

接続できている場合は、以下を確認してください。

- プリンターは認識されているが印刷できない
  「接続できているのに印刷できない（Mac OS）」215ページ

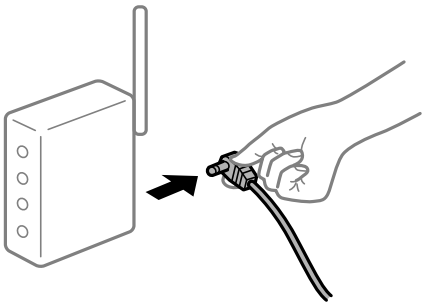
ネットワークに接続できない

以下の原因が考えられます。

無線LAN接続でネットワーク機器に何らかの問題があります。

対処方法

ネットワークに接続する全ての機器の電源を切ります。約10秒待ってから無線LANルーター（アクセスポイント）、コンピューターまたはスマートデバイス、プリンターの順に電源を入れます。電波が届きやすいように機器を無線LANルーター（アクセスポイント）に近づけて、設定し直してください。



機器と無線LANルーターが離れていて電波が届いていません。

対処方法

コンピューターまたはスマートデバイスとプリンターを無線LANルーターの近くに移動して、無線LANルーターの電源を入れ直してください。

無線LANルーターを交換した場合、設定が新しいルーターに合っていません。

対処方法

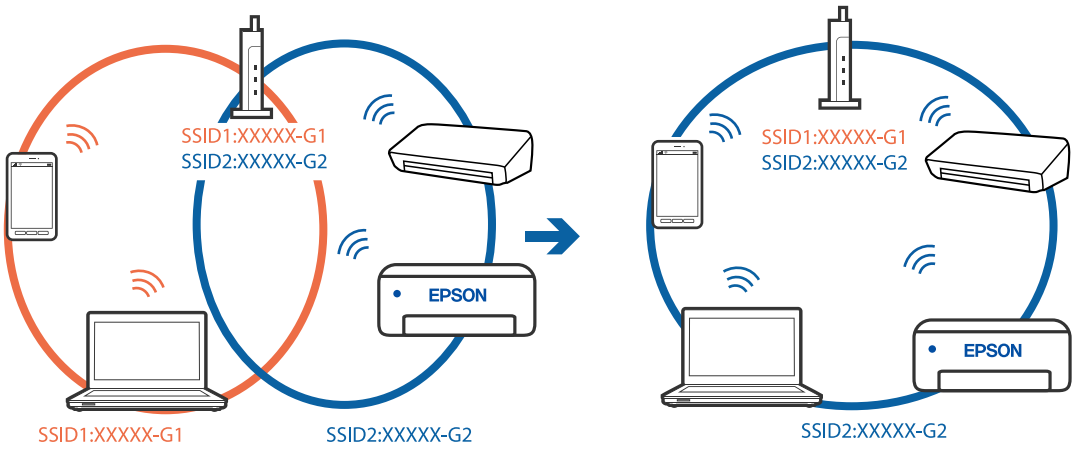
新しい無線LANルーターに合うように、接続設定をやり直してください。

➡ 「無線LANルーターを交換したとき」292ページ

接続しているSSIDがコンピューターやスマートデバイスとプリンターで異なっています。

対処方法

複数の無線LANルーターを使用している場合や、1台で複数のSSIDを使用できる無線LANルーターの場合、コンピューターやスマートデバイスが接続しているSSIDとプリンターが接続しているSSIDが異なっていると接続できません。
コンピューターやスマートデバイスを同じSSIDに接続してください。



無線LANルーターのプライバシーセパレーター機能が有効になっています。

対処方法

ほとんどのワイヤレスルーターには、同じSSID内のデバイス間の通信をブロックするセパレーター機能があります。プリンターとコンピューターまたはスマートデバイスが同じネットワークに接続されていても通信できない場合は、無線ルーターのセパレーター機能を無効にしてください。詳しくは無線LANルーターのマニュアルをご覧ください。

IPアドレスが正しく割り当てられていません。

対処方法

IPアドレスが「169.254.XXX.XXX」、サブネットマスクが「255.255.0.0」の場合は、IPアドレスが正しく割り当てられていない可能性があります。
プリンターの操作パネルで、［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［詳細設定］の順に選択して、プリンターに割り当てられているIPアドレスとサブネットマスクを確認してください。
無線LANルーターの電源を入れ直すか、プリンターのネットワークを再設定してください。

➡ 「ネットワークを再設定する方法」292ページ

コンピューターのネットワーク設定に問題があります。

対処方法

コンピューターからウェブサイトを閲覧できるか確認してください。閲覧できない場合はコンピューターのネットワーク設定に問題があります。
コンピューターのネットワーク接続を確認してください。詳しくはコンピューターのマニュアルをご覧ください。

USB 3.0ポートに接続している機器によって無線周波数干渉が起こっています。

対処方法

MacのUSB 3.0ポートに機器を接続して使用していると、無線周波数干渉が起こることがあります。無線LAN（Wi-Fi）に接続できない、または動作が不安定になる場合は以下をお試しください。

- USB 3.0ポートに接続している機器をコンピューターから離す
- 5 GHzのSSIDに接続する

接続するには、以下を参照してください。

IEEE802.3az（省電力イーサーネット）に対応した機器を使って有線LAN接続しています。

対処方法

IEEE802.3az（Energy Efficient Ethernet、省電力イーサネット）に対応した機器を使って有線LAN接続する場合、一部のハブやルーターを使用したときに以下の現象が発生することがあります。

- 接続したりしなかったりして不安定になる
- 接続できなくなる
- 通信速度が遅くなる

以下の手順で、コンピューターとプリンターのIEEE802.3azを無効にして接続してください。

1. コンピューターとプリンターそれぞれにつながっているLANケーブルを外します。
2. コンピューターのIEEE802.3azが有効になっている場合は、無効にします。
   詳しくはコンピューターのマニュアルをご覧ください。
3. LANケーブルでコンピューターとプリンターを直接接続します。
4. プリンターで、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。
   「ネットワーク接続診断レポートを印刷する」307ページ
5. ネットワーク接続診断レポートで、プリンターのIPアドレスを確認します。
6. コンピューターで、Web Configを起動します。
   Webブラウザーを起動し、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   「WebブラウザーからWeb Configを起動する」432ページ
7. ［ネットワーク設定］タブ - ［有線LAN］の順に選択します。
8. ［IEEE 802.3az］を［オフ］にします。
9. ［次へ］をクリックします。
10. ［設定］をクリックします。
11. コンピューターとプリンターにつながっているLANケーブルを外します。
12. 手順2でコンピューターのIEEE802.3azを無効にした場合は、有効にします。
13. 手順1で外したLANケーブルをコンピューターとプリンターにつなぎます。

上記の手順をしてもこの現象が発生する場合は、プリンター以外の機器が原因となっている可能性があります。

USB接続できない（Mac OS）

以下の原因が考えられます。

USBケーブルがしっかりと差し込まれていません。

プリンターとコンピューターを接続しているUSBケーブルをしっかりと差し込んでください。

USBハブに問題があります。

USBハブ使用時は、プリンターとコンピューターを直接接続してみてください。

USBケーブルか差し込み口に問題があります。

USBケーブルの差し込み口を変えてみてください。それでも解決しないときはUSBケーブルを変えてみてください。

プリンターをSuperSpeed USBポートに接続しています。

一部のコンピューターのSuperSpeed USBポートにUSB2.0ケーブルを使ってプリンターを接続すると、通信不良が発生することがあります。その場合は次のいずれかの方法で接続し直してください。

- USB3.0ケーブルを使用する
- コンピューターのHi-Speed USBポートに接続する
- 通信不良が発生する以外のSuperSpeed USBポートに接続する

接続できているのにスキャンできない（Mac OS）

ネットワーク接続で、高解像度のスキャンをしようとしています。

解像度を下げてスキャンしてください。

スマートデバイスからスキャンできない

スマートデバイスとプリンターが接続できているか確認してください。
接続している場合としていない場合で原因と対処方法が異なります。

接続状態を確認する

Epsonの印刷用アプリを使って、スマートデバイスとプリンターの接続状態を確認してください。
エプソンの印刷用アプリの例

Epson iPrint

App StoreまたはGoogle Playから、Epsonの印刷用アプリを検索してインストールしてください。

1. スマートデバイスで印刷用アプリを開きます。

2. 使用するプリンター名が表示されているか確認します。

   プリンター名が表示されている場合は、スマートデバイスとプリンターは接続しています。
   以下が表示されている場合は、スマートデバイスとプリンターは接続していません。

   - プリンター未設定
   - 通信エラーが発生しました。

接続できていない場合は、以下を確認してください。

- ネットワーク接続でプリンターが認識されていない
  「ネットワークに接続できない」218ページ

接続できている場合は、以下を確認してください。

- プリンターは認識されているがスキャンできない
  「接続できているのに印刷できない（iOS）」220ページ

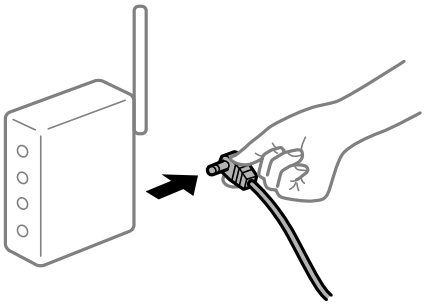
ネットワークに接続できない

以下の原因が考えられます。

無線LAN接続でネットワーク機器に何らかの問題があります。

対処方法

ネットワークに接続する全ての機器の電源を切ります。約10秒待ってから無線LANルーター（アクセスポイント）、コンピューターまたはスマートデバイス、プリンターの順に電源を入れます。電波が届きやすいように機器を無線LANルーター（アクセスポイント）に近づけて、設定し直してください。



機器と無線LANルーターが離れていて電波が届いていません。

対処方法

コンピューターまたはスマートデバイスとプリンターを無線LANルーターの近くに移動して、無線LANルーターの電源を入れ直してください。

無線LANルーターを交換した場合、設定が新しいルーターに合っていません。

対処方法

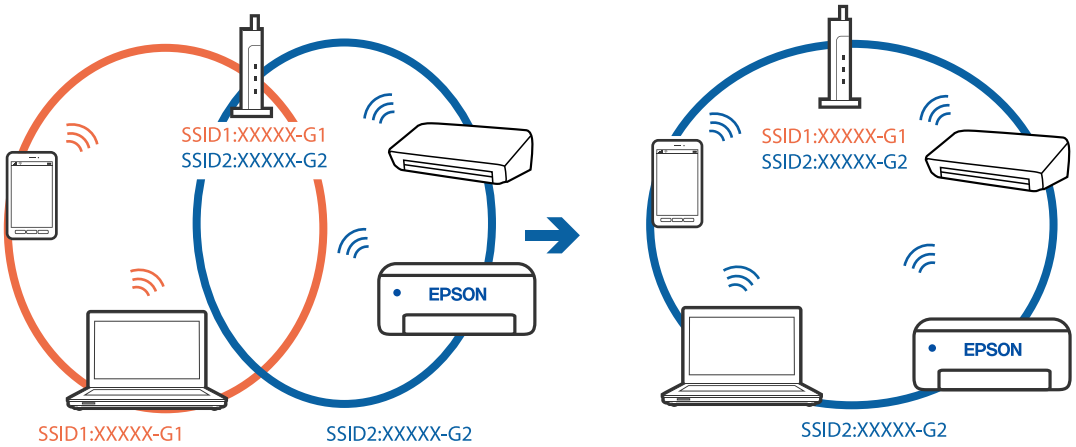
新しい無線LANルーターに合うように、接続設定をやり直してください。

➡ 「無線LANルーターを交換したとき」292ページ

接続しているSSIDがコンピューターやスマートデバイスとプリンターで異なっています。

対処方法

複数の無線LANルーターを使用している場合や、1台で複数のSSIDを使用できる無線LANルーターの場合、コンピューターやスマートデバイスが接続しているSSIDとプリンターが接続しているSSIDが異なっていると接続できません。
コンピューターやスマートデバイスを同じSSIDに接続してください。



無線LANルーターのプライバシーセパレーター機能が有効になっています。

対処方法

ほとんどのワイヤレスルーターには、同じSSID内のデバイス間の通信をブロックするセパレーター機能があります。プリンターとコンピューターまたはスマートデバイスが同じネットワークに接続されていても通信できない場合は、無線ルーターのセパレーター機能を無効にしてください。詳しくは無線LANルーターのマニュアルをご覧ください。

IPアドレスが正しく割り当てられていません。

対処方法

IPアドレスが「169.254.XXX.XXX」、サブネットマスクが「255.255.0.0」の場合は、IPアドレスが正しく割り当てられていない可能性があります。
プリンターの操作パネルで、［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［詳細設定］の順に選択して、プリンターに割り当てられているIPアドレスとサブネットマスクを確認してください。
無線LANルーターの電源を入れ直すか、プリンターのネットワークを再設定してください。

➡ 「ネットワークを再設定する方法」292ページ

スマートデバイスのネットワーク設定に問題があります。

対処方法

スマートデバイスからウェブサイトを閲覧できるか確認してください。閲覧できない場合はスマートデバイスのネットワーク設定に問題があります。
スマートデバイスのネットワーク接続を確認してください。詳しくはスマートデバイスのマニュアルをご覧ください。

操作パネルから共有フォルダーにスキャンできない

操作パネルにメッセージが表示された

操作パネルにメッセージが表示されたら、画面の指示または以下の対処方法に従ってエラーを解決してください。

メッセージ	対処方法
DNSエラーが発生しました。DNS設定を確認してください。	コンピューターに接続できません。以下の設定を確認してください。 • プリンターのアドレス帳に登録しているアドレスと、共有フォルダーのアドレスが同じに設定されているか確認してください。 • コンピューター名にひらがな、カタカナ、漢字、全角英数字の2バイト文字が使用されているときは、半角英数字に直して設定し、アドレス帳を登録し直してください。 • コンピューターのIPアドレスが手動で固定設定されているときは、ネットワークパスのコンピューター名をコンピューターのIPアドレスに置き換えてみてください。 例）\\EPSON02\SCAN → \\192.168.xxx.xxx\SCAN • 保存先コンピューターの電源が入っているか、またはスリープ状態になっていないか確認をしてください。スリープ状態のときは、共有フォルダーに保存できません。 • 保存先のコンピューターのファイアウォール、セキュリティーソフトを一時的に停止して確認してください。エラーが解決したら、セキュリティーソフトの設定を確認してください。 • ネットワークの場所が［パブリックネットワーク］になっているとき、共有フォルダーに保存できません。ポートの解放設定などを個別に設定してください。 • IPアドレスがDHCPのとき、一度LANを切断すると、次にLANに接続したときにIPアドレスが変わることがあります。IPアドレスの取得をやり直してください。 • DNSの設定に問題がないか確認してください。DNSの設定値は、ネットワーク管理者に問い合わせてしてください。 • DNSサーバーの管理テーブルが更新されてないとき、コンピューター名とIPアドレスが一致してないことがあります。DNSサーバーの管理者に問い合わせてください。
認証エラーが発生しました。認証方式とアカウント名、パスワードを確認してください。	フォルダーの共有アクセスを許可しているユーザーのログオン名/パスワードと、アドレス帳に登録しているユーザー名/パスワードが一致しているか確認してください。また、パスワードの有効期限が切れていないか確認してください。

メッセージ	対処方法
通信エラーが発生しました。ネットワーク接続状態を確認してください。	アドレス帳に登録されたネットワークフォルダーと通信できません。以下の設定を確認してください。 • Web Configなどで、［Microsoftネットワーク共有を使用する］が無効になっていないかを確認してください。 Web Configでは、［ネットワーク］-［MS Network］で確認できます。 • プリンターのアドレス帳に登録しているアドレスと、共有フォルダーのアドレスが同じに設定されているか確認してください。 • アドレス帳に登録しているユーザーのアクセス許可が、共有フォルダーのプロパティの［共有］タブと［セキュリティ］タブの両方に追加されていて、変更の許可にチェックが入っている必要があります。
同じ名前のファイルがあります。ファイル名を変更してスキャンし直してください。	ファイル名の設定を変更してください。または、共有フォルダーのファイルを移動したり、名前を変更したり、削除したりしてください。
スキャンしたファイルが大きすぎます。XXページが送信済みです。保存先を確認してください。	コンピューターにファイルを保存できる容量がありません。コンピューターのハードディスクの空き容量を増やしてください。

エラーの発生箇所を確認する

対処方法

共有フォルダーに保存するとき、以下の項目を上から順に行います。エラーが発生したとき、エラーの発生箇所を判断できます。

項目	動作内容	エラーメッセージ
接続	プリンターから保存先コンピューターに接続する。	DNSエラーが発生しました。DNS設定を確認してください。
コンピューターへのログオン	ユーザー名とパスワードを入れてログオンする。	認証エラーが発生しました。認証方式とアカウント名、パスワードを確認してください。
保存場所の確認	共有フォルダーのネットワークパスを確認する。	通信エラーが発生しました。ネットワーク接続状態を確認してください。
ファイル名の確認	フォルダー内に同じ名前のファイルがないかを確認する。	同じ名前のファイルがあります。ファイル名を変更してスキャンし直してください。
ファイルの書き込み	フォルダーにファイルを書き込む。	スキャンしたファイルが大きすぎます。XXページが送信済みです。保存先を確認してください。

保存に時間がかかる

「ドメインネーム」と「IPアドレス」を対応させる名前解決に時間がかかっています。

対処方法

以下の設定を確認してください。

- DNSの設定に問題がないか確認してください。
- Web Configで確認するとき、各DNSの設定が正しくされているか確認してください。
- DNSドメイン名が正しく設定されているか確認してください。

ファクスの送信も受信もできない

ファクスの送信も受信もできない

以下の原因が考えられます。

電話回線に問題があります。

対処方法

電話回線に直接電話機を接続して、電話の発着信ができるか確認してみてください。正常に動作しないときはご契約の回線事業者へ問い合わせてください。

電話回線との接続に問題があります。

対処方法

プリンターの操作パネルで［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［ファクス診断］を選択してファクス診断を実行してください。印刷された診断結果レポートに従って対処してください。

通信エラーが発生しています。

対処方法

プリンターの操作パネルで［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］の順に選択して、［通信モード］を［9.6kbps(G3)］に設定してください。

ADSL接続時に、スプリッターが接続されていません。

対処方法

ADSL接続時は、スプリッター内蔵のADSLモデムをお使いになるか、内蔵されていない場合は別途スプリッターを取り付ける必要があります。ご契約のADSLの回線事業者に問い合わせてください。

「ADSLまたはISDNに接続する」486ページ

ADSL接続時に、ご使用のスプリッターに問題があります。

対処方法

ADSL接続時に送受信できない場合は、プリンターを電話回線に直接接続して送信できるか確認してください。正常に送信できれば、プリンターではなくスプリッターに問題がある可能性があります。ご契約のADSLの回線事業者に問い合わせてください。

ISDN接続時に構内交換機（PBX）タイプの装置をご使用の場合、使用環境に何らかの問題があります。

対処方法

ご契約の回線事業者へ問い合わせてください。

ブロードバンドルーターやターミナルアダプターの状態に問題があります。

対処方法

電話回線の接続で、ブロードバンドルーターやターミナルアダプター使用時は、ルーターやアダプターの電源を入れ直してください。

エラー訂正（ECM）設定が無効の状態で、カラーファクスを送受信しようとしています。

対処方法

操作パネルで［設定］-［本体設定］-［基本設定］の順に選択して、［エラー訂正(ECM)］を有効にしてください。無効にするとカラーファクスの送受信ができません。

ファクスを送信できない

以下の原因が考えられます。

構内交換機（PBX）が設置された環境で、接続回線がPSTNに設定されています。

対処方法

プリンターの操作パネルで［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］の順に選択して、［接続回線］を［構内交換機(PBX)］に設定してください。

構内交換機が設置された環境で、外線発信番号を付けずに発信しています。

対処方法

外線発信番号が必要な環境では外線発信番号をプリンターに登録して、電話番号の先頭に#を付けて送信してみてください。

ダイヤル種別の設定が間違っています。

対処方法

ご契約の電話回線を確認し、操作パネルで［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］-［ダイヤル種別］を選択して、電話回線にあった設定をしてください。

発信元番号が登録されていません。

対処方法

プリンターの操作パネルで［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］-［発信元設定］の順に選択して、発信元番号を登録してください。送信先によっては発信元番号情報がないファクスを受け付けないことがあります。

お使いの電話番号が非通知に設定されています。

対処方法

ご契約の回線事業者に問い合わせて、非通知設定を解除してください。送信先によっては非通知で送られたファクスを受け付けないことがあります。送信先によっては電話番号を通知することで受信できることがあります。

送信先のファクス番号が間違っています。

対処方法

アドレス帳に登録したファクス番号や、直接入力したファクス番号が正しいか確認してください。または、ファクス番号が正しいか、送信先に確認してください。

送信先のファクス機がファクスを受信できない状態です。

対処方法

送信先に確認してください。

意図せずにFコードを使ってファクスを送信しています。

対処方法

Fコード（Fコードやパスワード）送信になっていないか確認してください。アドレス帳から、Fコードやパスワード付きで登録した宛先を選択すると、Fコード送信になります。

送信先のファクス機がFコード受信に対応していません。

対処方法

Fコードを使った送信の場合、送信先のファクスがFコード受信に対応しているかを確認してください。

Fコードおよびパスワードが間違っています。

対処方法

Fコードを使った送信の場合、登録されたFコードおよびパスワードが正しいか確認してください。また、Fコードおよびパスワードが送信先のファクス機に登録されたものと一致しているか、送信先に確認してください。

送信データのサイズが大きすぎます。

対処方法

以下の方法でデータサイズを小さくして送信できます。

- モノクロファクス送信の場合は、［ファクス］-［ファクス設定］の［送信設定］から.［ダイレクト送信］を有効にして送信する
  「大量ページのモノクロ文書を送る（ダイレクト送信）」143ページ
- 外付け電話機からダイヤルして送信する
  「外付け電話機からダイヤルして送信する」141ページ
- プリンターのオンフック機能を使って送信する
  「送信先の状況を確認してから手動送信する（オンフック）」140ページ
- 原稿を小分けにして送信する

ファクスを送信できない（オプションのファクスが追加されているとき）

プリンターで受信専用に設定した回線にファクス送信しようとした

対処方法

［回線別通信設定］で［送受信兼用］か［送信専用］に設定した回線からファクス送信してください。
回線設定の状態は、プリンターの操作パネルから設定-本体設定-ファクス設定-基本設定-回線別通信設定の順に選択し画面を表示して確認できます。

ファクスを受信できない

以下の原因が考えられます。
また、プリンターが現在ファクス受信中かなどのプリンターの状態を［ジョブ/状態］から確認することをお勧めします。

ボイスワープなどの電話転送サービスを利用しています。

対処方法

ボイスワープなどの電話転送サービス利用時に受信できないことがあります。サービスを提供している業者に問い合わせてください。

外付け電話機使用時に、［受信モード］が［手動］に設定されています。

対処方法

外付け電話機を接続してプリンターと電話回線を共有しているときは、プリンターの操作パネルで［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］を選択して、［受信モード］を［ファクス/電話自動切替］に設定してください。

外付け電話機を不使用時に、受信モードが［ファクス/電話自動切替］に設定されています。

対処方法

外付け電話機を接続していないときは、操作パネルで［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］-［受信モード］を選択して、［自動］に設定してください。

呼び出し回数が多く設定されています。

対処方法

操作パネルで［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］-［呼び出し回数］を選択して、呼び出し回数を少なく設定してみてください。呼び出し回数が多く設定されていると、送信側の設定によっては受信できないことがあります。

受信ボックスと親展ボックスのメモリーが不足しています。

対処方法

受信ボックスと親展ボックスの受信文書の合計が200件（最大値）に達しています。不要になった文書を削除してください。

受信ファクスの保存先のコンピューターが起動していません。

対処方法

受信ファクスをコンピューターに保存する設定にしているときは、保存する設定にしているコンピューターを起動しておいてください。受信文書はコンピューターに保存されるとプリンターのメモリーから削除されます。

Fコードおよびパスワードが間違っています。

対処方法

Fコードを使った送信の場合、Fコードおよびパスワードが正しいか確認してください。また、Fコードおよびパスワードが送信先のファクス機に登録されたものと一致しているか、送信元に確認してください。

送信元のファクス番号が拒否番号リストに登録されています。

対処方法

送信元のファクス番号は、［拒否番号リスト］から削除してもよい番号か確認してから削除してください。プリンターの操作パネルで［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］-［着信・ファクス受信拒否］を選択し、［拒否番号リスト編集］から削除できます。または、［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］-［着信・ファクス受信拒否］を選択し、［ファクス受信拒否］で［拒否番号リスト］を無効に設定してください。設定を有効にしているときは、拒否番号リストに載っている番号からのファクスは受信拒否されます。

送信元のファクス番号がアドレス帳に登録されていません。

対処方法

送信元のファクス番号をアドレス帳に登録してください。または、［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］-［着信・ファクス受信拒否］-［ファクス受信拒否］で、［アドレス帳未登録］を無効に設定してください。設定を有効にしていると、アドレス帳に載っていない番号からのファクスは受信拒否されます。

発信元情報のないファクスが送信されてきています。

対処方法

送信元に、発信元情報を付けてファクスを送信してもらってください。または、［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］-［着信・ファクス受信拒否］-［ファクス受信拒否］で、［非通知］を無効に設定してください。［非通知］を有効に設定しているとき、発信元情報の付いていないファクスは受信拒否されます。

構内交換機（PBX）接続で、内線呼び出し（SIR）に設定されています。

対処方法

構内交換機（PBX）接続で、内線呼び出し（SIR）になっているときは、外線呼び出し（IR）に設定すると解決することがあります。ご契約の回線事業者に問い合わせてください。

ダイヤルインやモデムダイヤルインには対応していません。

対処方法

該当する場合は、ご契約の回線事業者に問い合わせてください。

Fネット（1300Hz呼び出し）には対応していません。

対処方法

該当する場合は、ご契約の回線事業者に問い合わせてください。

接続されている電話回線が不安定です。

対処方法

接続されている電話回線が不安定な場合は、受信ファクスがないにもかかわらず着信中の表示が続くことがあります。ご契約の回線事業者に問い合わせてください。

ファクスを受信できない（オプションのファクスが追加されているとき）

送信元がファクス送信しようとした番号は、プリンターで送信専用に設定した回線の番号だった

対処方法

［回線別通信設定］で［送受信兼用］か［受信専用］に設定した回線の番号にファクス送信するように、送信元に依頼してください。
回線設定の状態は、プリンターのホーム画面から［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］-［回線別通信設定］の順に選択し画面を表示して確認できます。

特定送信先にファクスを送信できない

以下の原因が考えられます。

送信先の応答に時間がかかっています。

対処方法

ダイヤル終了後、送信先の応答に50秒以上かかるとエラーになります。（［オンフック］）機能を使うか、外付け電話機を使ってダイヤルし、ファクス信号（ボー音）が聞こえるまでの時間を確認してください。

50秒以上かかる場合は、ファクス番号の後ろに続けてポーズを入力して送信してください。ポーズは－をタップして入れます。タップするとポーズマークとしてハイフンが入力されます。1ポーズは約3秒です。ポーズの数で調整してください。

アドレス帳の通信モード設定が間違っています。

対処方法

アドレス帳から送信先を選択して、［編集］で［通信モード］を［9.6kbps(G3)］にして再送信してみてください。

指定の時間にファクスを送信できない

日付と時刻が正しく設定されていません。

対処方法

プリンターの操作パネルで［設定］-［本体設定］-［基本設定］-［日付/時刻設定］の順に選択して、日付と時刻を正しく設定してください。

外部メモリーに受信文書を保存できない

以下の原因が考えられます。

受信設定で、外部メモリーに保存する設定が無効になっています。

対処方法

プリンターの操作パネルで［設定］-［本体設定］ -［ファクス設定］-［受信設定］の順に選択して、［外部メモリーに保存］を有効にしてください。

外部メモリーがプリンターに挿入されていません。

対処方法

保存フォルダーを作成した外部メモリーをプリンターに挿入してください。受信ファクスが外部メモリーに保存されるとプリンターのメモリーからは削除されます。

外部メモリーの空き容量が不足しています。

対処方法

不要なデータを削除し、空き容量を増やしてください。または、空き容量に余裕のある外部メモリーをセットしてください。

外部メモリーが書き込み禁止になっています。

対処方法

書き込み禁止を解除してください。

原稿サイズと違うサイズで送信された

以下の原因が考えられます。

送信先のファクス機がA3サイズに対応していません。

対処方法

A3サイズで送信するときは、事前に相手機がA3サイズに対応しているか確認してください。通信結果レポートに［OK(縮小)］と表示されていたら相手側はA3サイズに対応していません。通信結果レポートは、［ファクス］-(応用)-［ファクスレポート印刷］-［通信結果レポート］から印刷できます。

原稿が原稿台の適切な位置にセットできていません。

対処方法

- 原点マークに合わせて原稿をセットしてください。
- スキャン結果の端が欠けたときは、原稿を原稿台のフチから少し離してセットしてください。原稿台の隅から約1.5 mmの範囲はスキャンできません。

➡ 「原稿のセット」40ページ

原稿や原稿台にゴミや汚れが付いています。

対処方法

操作パネルから、スキャン範囲の自動切り取り設定でスキャンするときは、原稿台や原稿カバーのゴミや汚れを取り除いてください。原稿の周辺にゴミや汚れがあると、その位置までスキャン範囲が拡張されます。
「原稿台の汚れを拭き取る」180ページ

➡ 「原稿台の汚れを拭き取る」180ページ

A3ファクスを受信できない

以下の原因が考えられます。

給紙装置の設定が間違っています。

対処方法

A3サイズの用紙を入れている給紙装置の用紙サイズ設定がA3になっているか、またそのA3用紙が入った給紙装置をファクスで使う設定にしているか確認してください。［設定］-［本体設定］-［プリンター設定］-［給紙装置設定］-［給紙口自動選択］-［ファクス］の順に選択して、有効になっている給紙装置を確認します。

［受信紙宣言］でA3が選択されていません。

対処方法

［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］-［受信紙宣言］の順に選択して、A3サイズが選択されていることを確認します。［受信紙宣言］では、本プリンターが受信できるファクスの最大サイズを設定できます。

受信ファクスが印刷されない

以下の原因が考えられます。

紙詰まりなどのエラーが発生しています。

対処方法

プリンターのエラーを解除してから送信元に再送信を依頼してください。

受信ファクスを印刷する設定になっていません。

対処方法

［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］-［保存・転送設定］から、受信ファクスを印刷できるように設定変更してください。

Windowsでファクスを送受信できない

コンピューターとプリンターが接続できているか確認してください。接続している場合としていない場合で原因と対処方法が異なります。

接続状態を確認する

EPSON ステータスモニタを使って、コンピューターとプリンターの接続状態を確認してください。
［EPSON ステータスモニタ］の利用にはあらかじめインストールされている必要があります。エプソンのウェブサイトよりダウンロードしてください。

1. プリンタードライバーを表示します。
   - Windows 10/Windows Server 2019/Windows Server 2016
     スタートボタンをクリックし、［Windows システムツール］-［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックまたは長押しして［印刷設定］を選択します。

- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
  ［デスクトップ］-［設定］-［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックまたは長押しして［印刷設定］を選択します。
- Windows 7/Windows Server 2008 R2
  スタートボタンをクリックし、［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックして［印刷設定］を選択します。
- Windows Vista/Windows Server 2008
  スタートボタンをクリックし、［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［プリンター］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックして［印刷設定］を選択します。
- Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
  スタートボタンをクリックし、コントロールパネル-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックして［印刷設定］を選択します。

2. ［ユーティリティー］タブをクリックします。

3. ［EPSON ステータスモニタ］をクリックします。

消耗品の状態が表示されていればコンピューターとプリンターは接続しています。
接続できていない場合は、以下を確認してください。

- ネットワーク接続でプリンターが認識されていない
  「ネットワークに接続できない」203ページ
- USB接続でプリンターが認識されていない
  「USB接続できない（Windows）」205ページ

接続できている場合は、以下を確認してください。

- プリンターは認識されているが印刷できない
  「接続できているのに印刷できない（Windows）」206ページ

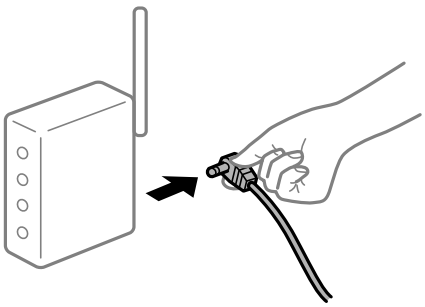
ネットワークに接続できない

以下の原因が考えられます。

無線LAN接続でネットワーク機器に何らかの問題があります。

対処方法

ネットワークに接続する全ての機器の電源を切ります。約10秒待ってから無線LANルーター（アクセスポイント）、コンピューターまたはスマートデバイス、プリンターの順に電源を入れます。電波が届きやすいように機器を無線LANルーター（アクセスポイント）に近づけて、設定し直してください。



機器と無線LANルーターが離れていて電波が届いていません。

対処方法

コンピューターまたはスマートデバイスとプリンターを無線LANルーターの近くに移動して、無線LANルーターの電源を入れ直してください。

無線LANルーターを交換した場合、設定が新しいルーターに合っていません。

対処方法

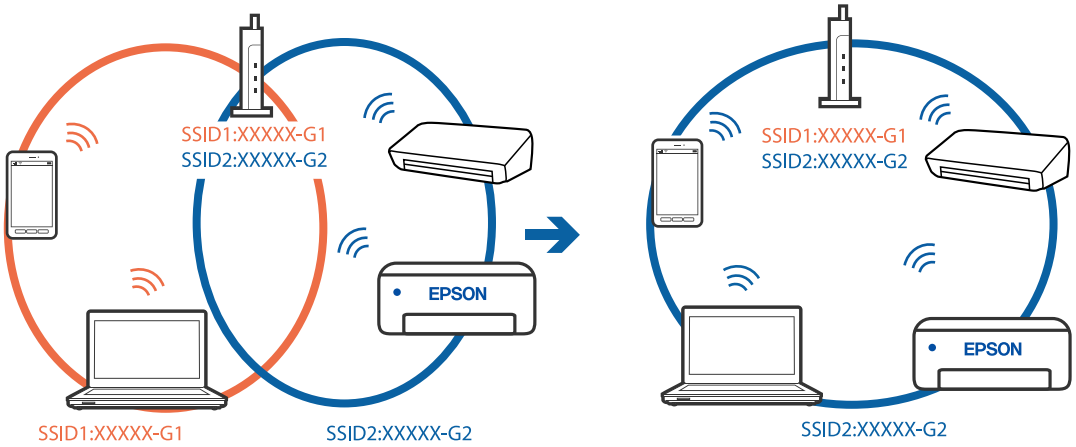
新しい無線LANルーターに合うように、接続設定をやり直してください。

➡ 「無線LANルーターを交換したとき」292ページ

接続しているSSIDがコンピューターやスマートデバイスとプリンターで異なっています。

対処方法

複数の無線LANルーターを使用している場合や、1台で複数のSSIDを使用できる無線LANルーターの場合、コンピューターやスマートデバイスが接続しているSSIDとプリンターが接続しているSSIDが異なっていると接続できません。
コンピューターやスマートデバイスを同じSSIDに接続してください。



無線LANルーターのプライバシーセパレーター機能が有効になっています。

対処方法

ほとんどのワイヤレスルーターには、同じSSID内のデバイス間の通信をブロックするセパレーター機能があります。プリンターとコンピューターまたはスマートデバイスが同じネットワークに接続されていても通信できない場合は、無線ルーターのセパレーター機能を無効にしてください。詳しくは無線LANルーターのマニュアルをご覧ください。

IPアドレスが正しく割り当てられていません。

対処方法

IPアドレスが「169.254.XXX.XXX」、サブネットマスクが「255.255.0.0」の場合は、IPアドレスが正しく割り当てられていない可能性があります。
プリンターの操作パネルで、［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［詳細設定］の順に選択して、プリンターに割り当てられているIPアドレスとサブネットマスクを確認してください。
無線LANルーターの電源を入れ直すか、プリンターのネットワークを再設定してください。

➡ 「ネットワークを再設定する方法」292ページ

コンピューターのネットワーク設定に問題があります。

対処方法

コンピューターからウェブサイトを閲覧できるか確認してください。閲覧できない場合はコンピューターのネットワーク設定に問題があります。
コンピューターのネットワーク接続を確認してください。詳しくはコンピューターのマニュアルをご覧ください。

IEEE802.3az（省電力イーサーネット）に対応した機器を使って有線LAN接続しています。

対処方法

IEEE802.3az（Energy Efficient Ethernet、省電力イーサネット）に対応した機器を使って有線LAN接続する場合、一部のハブやルーターを使用したときに以下の現象が発生することがあります。

- 接続したりしなかったりして不安定になる
- 接続できなくなる
- 通信速度が遅くなる

以下の手順で、コンピューターとプリンターのIEEE802.3azを無効にして接続してください。

1. コンピューターとプリンターそれぞれにつながっているLANケーブルを外します。
2. コンピューターのIEEE802.3azが有効になっている場合は、無効にします。
   詳しくはコンピューターのマニュアルをご覧ください。
3. LANケーブルでコンピューターとプリンターを直接接続します。
4. プリンターで、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。
   「ネットワーク接続診断レポートを印刷する」307ページ
5. ネットワーク接続診断レポートで、プリンターのIPアドレスを確認します。
6. コンピューターで、Web Configを起動します。
   Webブラウザーを起動し、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   「WebブラウザーからWeb Configを起動する」432ページ
7. ［ネットワーク設定］タブ - ［有線LAN］の順に選択します。
8. ［IEEE 802.3az］を［オフ］にします。
9. ［次へ］をクリックします。
10. ［設定］をクリックします。
11. コンピューターとプリンターにつながっているLANケーブルを外します。
12. 手順2でコンピューターのIEEE802.3azを無効にした場合は、有効にします。
13. 手順1で外したLANケーブルをコンピューターとプリンターにつなぎます。

上記の手順をしてもこの現象が発生する場合は、プリンター以外の機器が原因となっている可能性があります。

USB接続できない（Windows）

以下の原因が考えられます。

USBケーブルがしっかりと差し込まれていません。

対処方法

プリンターとコンピューターを接続しているUSBケーブルをしっかりと差し込んでください。

USBハブに問題があります。

対処方法

USBハブ使用時は、プリンターとコンピューターを直接接続してみてください。

USBケーブルか差し込み口に問題があります。

対処方法

USBケーブルの差し込み口を変えてみてください。それでも解決しないときはUSBケーブルを変えてみてください。

プリンターをSuperSpeed USBポートに接続しています。

対処方法

一部のコンピューターのSuperSpeed USBポートにUSB2.0ケーブルを使ってプリンターを接続すると、通信不良が発生することがあります。その場合は次のいずれかの方法で接続し直してください。

- USB3.0ケーブルを使用する
- コンピューターのHi-Speed USBポートに接続する
- 通信不良が発生する以外のSuperSpeed USBポートに接続する

接続できているのにファクスを送受信できない（Windows）

以下の原因が考えられます。

ソフトウェアがインストールされていません。

対処方法

PC-FAXドライバーがインストールされているか確認してください。PC-FAXドライバーはFAX Utilityをインストールすると一緒にインストールされます。確認方法は以下です。
［デバイスとプリンター］（または［プリンタ］、［プリンタとFAX］）で、お使いのプリンター（ファクス）が表示されていることを確認してください。プリンター（ファクス）は「EPSON XXXXX (FAX)」と表示されます。表示されないときは、FAX Utilityをアンインストールして、再インストールしてください。［デバイスとプリンター］（または［プリンタ］、［プリンタとFAX］）フォルダーを表示させる手順は以下です。

- Windows 10
  スタートボタンをクリックし、［Windowsシステムツール］-［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンター］の順に選択します。
- Windows 8.1/8
  ［デスクトップ］-［設定］-［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。
- Windows 7
  スタートボタンをクリックし、［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。
- Windows Vista
  スタートボタンをクリックし、［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］の順に選択します。
- Windows XP
  スタートボタンをクリックし、［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］の順に選択します。

コンピューターからの送信時に、ユーザー認証に失敗しました。

対処方法

プリンタードライバーで、ユーザー名とパスワードを設定してください。プリンターの利用者制限が設定されているときにコンピューターからファクスを送信すると、プリンタードライバーで設定してあるユーザー名とパスワードで認証が行われます。

プリンター本体のファクス接続、または設定に問題があります。

対処方法

プリンター本体のファクス接続や、設定のトラブル解決をお試しください。

Mac OSでファクスを送受信できない

コンピューターとプリンターが接続できているか確認してください。接続している場合としていない場合で原因と対処方法が異なります。

接続状態を確認する

EPSON ステータスモニタを使って、コンピューターとプリンターの接続状態を確認してください。

1. アップルメニューの［システム環境設定］ - ［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。

2. ［オプションとサプライ］ - ［ユーティリティ］ - ［プリンタユーティリティを開く］の順にクリックします。

3. ［EPSON ステータスモニタ］をクリックします。

消耗品の状態が表示されていればコンピューターとプリンターは接続しています。
接続できていない場合は、以下を確認してください。

- ネットワーク接続でプリンターが認識されていない
  「ネットワークに接続できない」211ページ
- USB接続でプリンターが認識されていない
  「USB接続できない（Mac OS）」214ページ

接続できている場合は、以下を確認してください。

- プリンターは認識されているが印刷できない
  「接続できているのに印刷できない（Mac OS）」215ページ

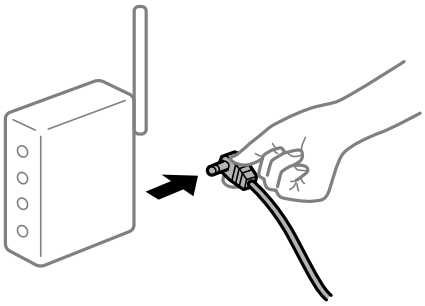
ネットワークに接続できない

以下の原因が考えられます。

無線LAN接続でネットワーク機器に何らかの問題があります。

対処方法

ネットワークに接続する全ての機器の電源を切ります。約10秒待ってから無線LANルーター（アクセスポイント）、コンピューターまたはスマートデバイス、プリンターの順に電源を入れます。電波が届きやすいように機器を無線LANルーター（アクセスポイント）に近づけて、設定し直してください。



機器と無線LANルーターが離れていて電波が届いていません。

対処方法

コンピューターまたはスマートデバイスとプリンターを無線LANルーターの近くに移動して、無線LANルーターの電源を入れ直してください。

無線LANルーターを交換した場合、設定が新しいルーターに合っていません。

対処方法

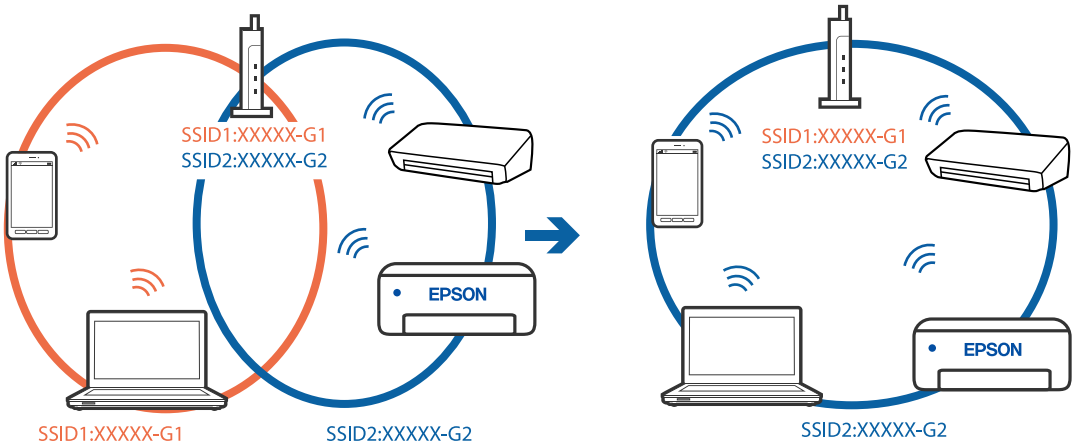
新しい無線LANルーターに合うように、接続設定をやり直してください。

➡ 「無線LANルーターを交換したとき」292ページ

接続しているSSIDがコンピューターやスマートデバイスとプリンターで異なっています。

対処方法

複数の無線LANルーターを使用している場合や、1台で複数のSSIDを使用できる無線LANルーターの場合、コンピューターやスマートデバイスが接続しているSSIDとプリンターが接続しているSSIDが異なっていると接続できません。
コンピューターやスマートデバイスを同じSSIDに接続してください。



無線LANルーターのプライバシーセパレーター機能が有効になっています。

対処方法

ほとんどのワイヤレスルーターには、同じSSID内のデバイス間の通信をブロックするセパレーター機能があります。プリンターとコンピューターまたはスマートデバイスが同じネットワークに接続されていても通信できない場合は、無線ルーターのセパレーター機能を無効にしてください。詳しくは無線LANルーターのマニュアルをご覧ください。

IPアドレスが正しく割り当てられていません。

対処方法

IPアドレスが「169.254.XXX.XXX」、サブネットマスクが「255.255.0.0」の場合は、IPアドレスが正しく割り当てられていない可能性があります。
プリンターの操作パネルで、［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［詳細設定］の順に選択して、プリンターに割り当てられているIPアドレスとサブネットマスクを確認してください。
無線LANルーターの電源を入れ直すか、プリンターのネットワークを再設定してください。

➡ 「ネットワークを再設定する方法」292ページ

コンピューターのネットワーク設定に問題があります。

対処方法

コンピューターからウェブサイトを閲覧できるか確認してください。閲覧できない場合はコンピューターのネットワーク設定に問題があります。
コンピューターのネットワーク接続を確認してください。詳しくはコンピューターのマニュアルをご覧ください。

IEEE802.3az（省電力イーサーネット）に対応した機器を使って有線LAN接続しています。

対処方法

IEEE802.3az（Energy Efficient Ethernet、省電力イーサネット）に対応した機器を使って有線LAN接続する場合、一部のハブやルーターを使用したときに以下の現象が発生することがあります。

- 接続したりしなかったりして不安定になる
- 接続できなくなる
- 通信速度が遅くなる

以下の手順で、コンピューターとプリンターのIEEE802.3azを無効にして接続してください。

1. コンピューターとプリンターそれぞれにつながっているLANケーブルを外します。
2. コンピューターのIEEE802.3azが有効になっている場合は、無効にします。
   詳しくはコンピューターのマニュアルをご覧ください。
3. LANケーブルでコンピューターとプリンターを直接接続します。
4. プリンターで、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。
   「ネットワーク接続診断レポートを印刷する」307ページ
5. ネットワーク接続診断レポートで、プリンターのIPアドレスを確認します。
6. コンピューターで、Web Configを起動します。
   Webブラウザーを起動し、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   「WebブラウザーからWeb Configを起動する」432ページ
7. ［ネットワーク設定］タブ - ［有線LAN］の順に選択します。
8. ［IEEE 802.3az］を［オフ］にします。
9. ［次へ］をクリックします。
10. ［設定］をクリックします。
11. コンピューターとプリンターにつながっているLANケーブルを外します。
12. 手順2でコンピューターのIEEE802.3azを無効にした場合は、有効にします。
13. 手順1で外したLANケーブルをコンピューターとプリンターにつなぎます。

上記の手順をしてもこの現象が発生する場合は、プリンター以外の機器が原因となっている可能性があります。

USB接続できない（Mac OS）

以下の原因が考えられます。

USBケーブルがしっかりと差し込まれていません。

対処方法

プリンターとコンピューターを接続しているUSBケーブルをしっかりと差し込んでください。

USBハブに問題があります。

対処方法

USBハブ使用時は、プリンターとコンピューターを直接接続してみてください。

USBケーブルか差し込み口に問題があります。

対処方法

USBケーブルの差し込み口を変えてみてください。それでも解決しないときはUSBケーブルを変えてみてください。

プリンターをSuperSpeed USBポートに接続しています。

対処方法

一部のコンピューターのSuperSpeed USBポートにUSB2.0ケーブルを使ってプリンターを接続すると、通信不良が発生することがあります。その場合は次のいずれかの方法で接続し直してください。

- USB3.0ケーブルを使用する
- コンピューターのHi-Speed USBポートに接続する
- 通信不良が発生する以外のSuperSpeed USBポートに接続する

接続できているのにファクスを送受信できない（Mac OS）

以下の原因が考えられます。

ソフトウェアがインストールされていません。

対処方法

PC-FAXドライバーがインストールされているか確認してください。PC-FAXドライバーはFAX Utilityをインストールすると一緒にインストールされます。確認方法は以下です。
アップルメニューの［システム環境設定］-［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択し、お使いのプリンター（ファクス）が表示されていることを確認します。プリンター（ファクス）は「FAX XXXX (USB)」または「FAX XXXX (IP)」と表示されます。表示されていないときは、［+］をクリックして、お使いのプリンター（ファクス）を登録してください。

PC-FAXドライバーが一時停止の状態になっています。

対処方法

アップルメニューの［システム環境設定］-［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択し、お使いのプリンター（ファクス）をダブルクリックします。一時停止になっているときは、［再開］をクリックしてください。

コンピューターからの送信時に、ユーザー認証に失敗しました。

対処方法

プリンタードライバーで、ユーザー名とパスワードを設定してください。プリンターの利用者制限が設定されているときにコンピューターからファクスを送信すると、プリンタードライバーで設定してあるユーザー名とパスワードで認証が行われます。

プリンター本体のファクス接続、または設定に問題があります。

対処方法

プリンター本体のファクス接続や、設定のトラブル解決をお試しください。

ジョブ確認メニューにエラーコードが表示された

実行したジョブに何らかのエラーが発生すると、ジョブ履歴にエラーコードが表示されます。エラーの内容は操作パネルの[i]ボタンを押して、［ジョブ状態］を選択すると確認できます。エラーの状況と対処方法は以下の表をご覧ください。

コード	状況	対処方法
001	停電でプリンターの電源が切れたため、ジョブがキャンセルされました。	-
101	プリンターのメモリー不足で印刷できませんでした。	以下の方法で印刷データのサイズを小さくしてください。 • 印刷品質または解像度を低くする • 保存形式を変更する • 印刷データで使われている画像や文字の数、フォントの種類を減らす

102	プリンターのメモリー不足で1部しか印刷できませんでした。	• ［設定］-［本体設定］-［管理者用設定］-［内部メモリーデータ削除］-［PDLのフォントとマクロと作業領域］の順に選択して、ダウンロードしたフォントとマクロを削除してください。
		• 以下の方法で印刷データのサイズを小さくしてください。サイズを小さくしたくないときは、1部ずつ印刷してください。
		  • 印刷品質または解像度を低くする
		  • 保存形式を変更する
		  • 印刷データで使われている画像や文字の数、フォントの種類を減らす

103	プリンターのメモリー不足で印刷品質を下げて印刷しました。	印刷品質を下げずに印刷したいときは、以下の方法で印刷データのサイズを小さくしてください。 • 保存形式を変更する • 印刷データで使われている画像や文字の数、フォントの種類を減らす

コード	状況	対処方法

104	プリンターのメモリー不足で逆順印刷できなかったため、正順で印刷しました。	• ［設定］-［本体設定］-［管理者用設定］-［内部メモリーデータ削除］-［PDLのフォントとマクロと作業領域］の順に選択して、ダウンロードしたフォントとマクロを削除してください。
		• 逆順で印刷したいときは、以下の方法で印刷データのサイズを小さくしてください。
		  • 印刷品質または解像度を低くする
		  • 保存形式を変更する
		  • 印刷データで使われている画像や文字の数、フォントの種類を減らす

106	コンピューターからの印刷が制限されているため、印刷できません。	プリンターの管理者に問い合わせてください。
107	ユーザー認証に失敗したため、ジョブがキャンセルされました。	• ユーザー名とパスワードが正しいか確認してください。 • ［設定］-［本体設定］-［管理者用設定］-［セキュリティー設定］-［利用者制限］の順に選択します。利用者制限を有効にして、認証情報がないジョブを許可してください。
108	プリンターの電源が切られたため、パスワード印刷データが破棄されました。	-
109	受信文書が削除されたため、再印刷できません。	-
110	両面印刷に対応していない用紙が設定されたため、片面で印刷しました。	両面で印刷したいときは、両面印刷対応の用紙をセットしてください。
111	プリンターのメモリー不足で、途中で排紙しました。	以下の方法で印刷データのサイズを小さくしてください。 • 印刷品質または解像度を低くする • 保存形式を変更する • 印刷データで使われている画像や文字の数、フォントの種類を減らす
120	OpenPlatformで接続するサーバーと正常に通信できません。	サーバーとネットワークに問題がないか確認してください。
201	文書を送信または受信中にプリンターのメモリーが一杯になりました。	• ［ジョブ/状態］の［ジョブ状態］で、印刷されていない受信文書を印刷してください。 • ［ジョブ/状態］の［ジョブ状態］で、受信ボックスに保存されているデータを削除してください。 • 1件の宛先にモノクロで送信する場合は、ダイレクト送信を利用すると送信できます。 • 複数枚の原稿は分割して送信してください。
202	文書を送信または受信中に、相手のファクス機によって通信が切断されました。	しばらくしてから再送信するか、相手先に確認してください。

コード	状況	対処方法
203	ダイヤルトーンが検出できません。	• モジュラーケーブルが正しく接続され、回線が正しく動作することを確認してください。 • プリンターを構内交換機（PBX）またはターミナルアダプターに接続しているときは、［接続回線］設定を［構内交換機(PBX)］に変更してください。 • ［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］-［ダイヤルトーン検出］の順に選択して、ダイヤルトーン検出を無効にしてください。
204	相手のファクス機が話し中です。	• しばらくしてから再送信してください。 • 送信先のファクス番号を確認してください。 それでも送信できない場合は、［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］-［ダイヤル種別］を選択して、ダイヤル種別を変更してください。
205	相手のファクス機が応答しません。	しばらくしてから再送信してください。
206	モジュラーケーブルがLINEポートとEXT.ポートに正しく接続されていません。	プリンターのLINEポートとEXT.ポートの接続を確認してください。
207	プリンターが電話回線に接続されていません。	モジュラーケーブルを電話回線に接続してください。
208	複数の宛先の内、いくつかの宛先に文書を送信できませんでした。	ファクスモードの［ファクスレポート印刷］で［通信管理レポート］か、直前のジョブの場合は［通信結果レポート］を印刷して送信できなかった宛先を確認してください。［送信失敗文書保存］設定を有効にしていると、［ジョブ/状態］の［ジョブ状態］から再送信できます。
301	外部メモリーの容量が不足しています。	• 外部メモリーの容量を増やしてください。 • 原稿の枚数を減らしてください。 • スキャンの解像度を低くするか圧縮率を高くして、スキャンした画像のサイズを小さくしてください。
302	外部メモリーが書き込み禁止になっています。	外部メモリーの書き込み禁止を解除してください。
303	スキャンした画像を保存するために必要なフォルダーが外部メモリーに作成できません。	他の外部メモリーを挿入してください。
304	外部メモリーが取り外されました。	外部メモリーを再度挿入してください。
305	スキャンした画像の保存中に何らかのエラーが発生しました。	コンピューターから外部メモリーにアクセスしているときは、しばらく待ってから再度実行してください。
306	プリンターのメモリーが不足しています。	他の実行中のジョブが終了するまで待ってください。
311	DNSエラーが発生しました。	• ［設定］-［本体設定］-［ネットワーク設定］-［詳細設定］-［TCP/IP］の順に選択して、DNS設定を確認してください。 • サーバー、コンピューター、アクセスポイントのDNS設定を確認してください。

コード	状況	対処方法
312	認証エラーが発生しました。	［設定］-［本体設定］-［ネットワーク設定］-［詳細設定］-［メールサーバー］-［サーバー設定］の順に選択して、サーバー設定を確認してください。
313	通信エラーが発生しました。	• プリンターが正常にネットワーク接続できているか、ネットワーク接続診断をして確認してください。 • ［設定］-［本体設定］-［ネットワーク設定］-［詳細設定］-［メールサーバー］-［サーバー設定］の順に選択します。メールサーバーの設定内容を確認してください。また、接続診断を行うと、エラー原因が確認できます。 • 指定した認証方法とメールサーバーの認証が合っていない可能性があります。［オフ］を選択した場合は、メールサーバーの認証がNone（なし）かどうかを確認してください。
314	スキャンした画像のサイズが、メールに添付できるサイズを超えています。	• スキャン設定の［添付最大ファイルサイズ］を大きくしてください。 • スキャンの解像度を低くするか圧縮率を高くして、スキャンした画像のサイズを小さくしてください。
315	プリンターのメモリーが不足しています。	他の実行中のジョブが終了してから再度実行してください。
316	メール暗号化エラーが発生しました。	• 暗号化用証明書が正しく設定されているか確認してください。 • プリンターの時間が正確か確認してください。
317	メール署名エラーが発生しました。	• 署名用証明書が正しく設定されているか確認してください。 • プリンターの時間が正確か確認してください。
321	DNSエラーが発生しました。	• ［設定］-［本体設定］-［ネットワーク設定］-［詳細設定］-［TCP/IP］の順に選択して、DNS設定を確認してください。 • サーバー、コンピューター、アクセスポイントのDNS設定を確認してください。
322	認証エラーが発生しました。	［保存先］の設定を確認してください。
323	通信エラーが発生しました。	• ［保存先］の設定を確認してください。 • プリンターが正常にネットワーク接続できているか、ネットワーク接続診断をして確認してください。
324	保存先フォルダーに同じ名前のファイルが存在しています。	• 保存先フォルダーにある同じ名前のファイルを削除してください。 • ［ファイル設定］でファイルヘッダーを別の文字に変更してください。

コード	状況	対処方法
325	保存先フォルダーの容量が不足しています。	• 保存先フォルダーの容量を増やしてください。 • 原稿の枚数を減らしてください。 • スキャンの解像度を低くするか圧縮率を高くして、スキャンした画像のサイズを小さくしてください。
327	プリンターのメモリーが不足しています。	他の実行中のジョブが終了するまで待ってください。
328	保存先フォルダーが見つかりません。	［保存先］の設定を確認してください。
330	FTPS/HTTPSセキュア接続エラーが発生しました。	• 宛先設定の保存先が正しいか確認してください。 • Web Configを起動してルート証明書を更新してください。 • WebConfigを起動してCA証明書をインポートまたは更新してください。 それでも解決しない場合は、宛先設定の証明書の検証をオフにしてください。
331	通信エラーが発生しました。	プリンターが正常にネットワーク接続できているか、ネットワーク接続診断をして確認してください。
332	スキャンした画像のサイズが、サーバーに送信できるサイズを超えています。	原稿の枚数を減らしてください。
333	選択した宛先の情報がサーバー上で変更されたため、宛先が見つかりません。	宛先を選択し直してください。
334	スキャンした画像の送信中に何らかのエラーが発生しました。	-
341	通信エラーが発生しました。	• プリンターとコンピューターの接続を確認してください。ネットワークで接続しているときは、プリンターが正常にネットワーク接続できているか、ネットワーク接続診断をして確認してください。 • Document Capture Proがインストールされていないときはインストールしてください。
350	FTPS/HTTPS証明書エラーが発生しました。	• 日時と時差の設定が正しいか確認してください。 • Web Configを起動してルート証明書を更新してください。 • WebConfigを起動してCA証明書をインポートまたは更新してください。 それでも解決しない場合は、宛先設定の証明書の検証をオフにしてください。
401	外部メモリーの容量が不足しています。	外部メモリーの容量を増やしてください。
402	外部メモリーが書き込み禁止になっています。	外部メモリーの書き込み禁止を解除してください。
404	外部メモリーが取り外されました。	外部メモリーを再度挿入してください。

コード	状況	対処方法
405	受信文書保存中に書き込みエラーが発生しました。	• 外部メモリーを再度挿入してください。 • ［保存専用フォルダー作成］でフォルダーを作成した、別の外部メモリーを挿入してください。
411	DNSエラーが発生しました。	• ［設定］-［本体設定］-［ネットワーク設定］-［詳細設定］-［TCP/IP］の順に選択して、DNS設定を確認してください。 • サーバー、コンピューター、アクセスポイントのDNS設定を確認してください。
412	認証エラーが発生しました。	［設定］-［本体設定］-［ネットワーク設定］-［詳細設定］-［メールサーバー］-［サーバー設定］の順に選択して、サーバー設定を確認してください。
413	受信文書を転送中にエラーが発生しました。	• ［設定］-［本体設定］-［ネットワーク設定］-［詳細設定］-［メールサーバー］-［サーバー設定］の順に選択します。メールサーバーの設定内容を確認してください。また、接続診断を行うと、エラー原因が確認できます。 • 指定した認証方法とメールサーバーの認証が合っていない可能性があります。［オフ］を選択した場合は、メールサーバーの認証がNone（なし）かどうかを確認してください。 • プリンターが正常にネットワーク接続できているか、ネットワーク接続診断をして確認してください。
421	DNSエラーが発生しました。	• ［設定］-［本体設定］-［ネットワーク設定］-［詳細設定］-［TCP/IP］の順に選択して、DNS設定を確認してください。 • サーバー、コンピューター、アクセスポイントのDNS設定を確認してください。
422	認証エラーが発生しました。	［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］-［保存・転送設定］の順に選択して、［保存・転送先］で指定されているフォルダーの設定を確認してください。
423	通信エラーが発生しました。	• プリンターが正常にネットワーク接続できているか、ネットワーク接続診断をして確認してください。 • ［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］-［保存・転送設定］の順に選択して、［保存・転送先］で指定されているフォルダーの設定を確認してください。
425	転送先フォルダーの容量が不足しています。	転送先フォルダーの容量を増やしてください。
428	保存先フォルダーが見つかりません。	［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］-［保存・転送設定］の順に選択して、［保存・転送先］で指定されているフォルダーの設定を確認してください。

思い通りに操作できない

動作が遅い

印刷速度が遅い

以下の原因が考えられます。

不要なアプリケーションソフトを起動しています。

対処方法

コンピューターやスマートデバイスで、不要なアプリケーションソフトを終了してください。

スリープモードになっています。

対処方法

ウォームアップしてから印刷を開始するため、排紙までに時間がかかることがあります。そのままお待ちください。

プリンターを調整中です。

対処方法

良好な印刷品質を保つために、印刷中に一時停止してプリンター内部機能の自動調整を行うことがあります。調整が完了すると自動的に印刷を再開します。そのままお待ちください。

印刷に時間がかかる設定（厚紙など）になっています。

対処方法

普通紙への印刷は、用紙種類の設定を［普通紙］にしてください。

定着ユニットの冷却中です。

対処方法

ハガキなど幅の狭い用紙に連続印刷すると、定着ユニットの過熱防止のための冷却が必要になり、印刷速度が低下することがあります。印刷が終わるまでお待ちください。

印刷データの容量が大きすぎます。

対処方法

容量の大きなデータを印刷しようとすると、コンピューターのCPUやメモリーの容量によって、データを処理できないことがあります。以下の対処をしてください。

- コンピューターのメモリーを増設する
- プリンタードライバーの［印刷品質］の設定を［はやい］（300dpi）にする
- 使用していないインターフェイスを使わない設定にする

スキャン速度が遅い

高解像度でスキャンしています。

対処方法

解像度を下げてスキャンしてください。

プリンターの画面が暗くなった

スリープモードになっています。

対処方法

画面をタップすると元の明るさに戻ります。

プリンターの画面が反応しない

以下の原因が考えられます。

プリンターの画面にフィルムが貼られています。

対処方法

プリンターの画面にフィルムを貼ると、光学タッチパネルのため反応しなくなります。フィルムを剥がしてください。

プリンターの画面が汚れています。

対処方法

電源を切って、プリンターの画面を乾いた柔らかい布で拭いてください。画面が汚れていると反応しなくなります。
それでも解決しないときは、エプソンインフォメーションセンターにご連絡ください。

操作パネルから操作できない

利用者制限されたプリンターでは、ユーザー名とパスワードが要求されます。

対処方法

パスワードがわからないときは管理者に問い合わせてください。

画面に「×」が表示されて写真を選択できない

対応していない画像ファイルです。

対処方法

本製品に対応していない画像ファイルは「×」で表示されます。対応しているファイルを使用してください。

➡ 「印刷できるファイルの仕様」412ページ

外部メモリーが認識されない

外部メモリーが無効に設定されています。

対処方法

操作パネルの［設定］-［本体設定］-［プリンター設定］-［外部メモリー設定］で外部メモリーを有効にしてください。

外部メモリーにデータを保存できない

以下の原因が考えられます。

外部メモリーが書き込み禁止になっています。

対処方法

書き込み禁止を解除してください。

外部メモリーの空き容量が少なくなっています。

対処方法

不要なデータを削除するか、別の外部メモリーを使用してください。

日付や時刻がずれている

電源供給に異常が発生しました。

対処方法

落雷などで停電したり、電源を切ったまま長時間放置したりすると、プリンターの設定時刻がずれることがあります。［設定］-［本体設定］-［基本設定］-［日付/時刻設定］で日付と時刻を正しく設定してください。

ルート証明書の更新が必要になった

ルート証明書の有効期限が切れています。

対処方法

Web Configを起動してルート証明書を更新してください。

Mac OS X v10.6.8から印刷を中止できない

AirPrintの設定に問題があります。

対処方法

Web Configを起動して［AirPrint設定］で［最優先プロトコル］を［Port9100］にします。その後、アップルメニューの［システム環境設定］-［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択し、お使いのプリンターを削除してから、再度同じプリンターを追加します。

➡「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」432ページ

パスワードを忘れた

サービスマンによる対応が必要です。

対処方法

管理者のパスワードを忘れたときは、エプソンの修理窓口にご相談ください。

意図しないコピーやファクス送信がされた

画面に異物が接触しました。

対処方法

［設定］-［本体設定］-［基本設定］-［スリープ復帰方法］の順に選択して、［タッチパネルで復帰］を無効にしてください。スリープ（省電力）モードの復帰は⏻ボタンを押すため、異物などの接触による誤動作を防ぎます。

EPSONステータスモニタ使用時に通信エラーが発生する

以下の原因が考えられます。

通信プロトコルにIPPを使用しています。

対処方法

ネットワークプリンターを監視できないために通信エラーになることがありますが、印刷は正常に終了します。［通知の設定］画面内の［印刷中プリンターを監視する］のチェックを外すとエラー表示されなくなります。

リモートデスクトップ機能で、リダイレクトプリントを実行した（Windows XP/Windows Vista）

対処方法

通信エラーは表示されますが印刷は正常に終了します。

ナンバーディスプレイ機能が働かない

以下の原因が考えられます。

ナンバーディスプレイサービスが契約されていません。

対処方法

発信元のファクス番号を外付け電話機やプリンターのパネルに表示させるには、ナンバーディスプレイサービスの契約をした回線が必要です。ご契約の回線事業者に問い合わせてください。

ナンバーディスプレイ対応設定が無効になっています。

対処方法

操作パネルで［設定］-［本体設定 >］-［ファクス設定］-［基本設定］-［ナンバー・ディスプレイ対応］の順に選択して、設定を有効にしてください。

1回線を、電話機とプリンターで並列に接続して共有しています。

対処方法

1回線を電話機とプリンターで共有するときは、電話機をプリンターのEXT.ポートに接続してください。

送信元のファクス番号が表示されない

送信元のファクス機に送信元のファクス番号が設定されていません。

対処方法

送信元でファクス番号を設定していない可能性があります。送信元に連絡してください。

受信ファクスに表示された送信元のファクス番号が間違っている

送信元のファクス機に登録された送信元のファクス番号が違っています。

対処方法

送信元で登録したファクス番号が間違っている可能性があります。送信元に連絡してください。

外付け電話機から電話ができない

外付け電話機がプリンターに正しく接続されていません。

対処方法

プリンターのEXTポートと電話機を電話線で接続し、受話器を上げてみてください。受話器を通してダイヤルトーンが聞こえない場合は、電話線を正しく接続してください。

留守番電話が応答しない

プリンターの［呼び出し回数］が、留守番電話の呼び出し回数より少なく設定されています。

対処方法

［設定］-［本体設定］ > ［ファクス設定］-［基本設定］で、［呼び出し回数］を留守番電話の呼び出し回数より多く設定してください。

受信モードが、ファクス/電話自動切替に設定されています。

対処方法

留守番電話を接続している場合は、操作パネルで［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］-［受信モード］を選択して、［自動］に設定してください。

迷惑ファクスがよく届く

迷惑ファクスを防止する設定がされていません。

対処方法

プリンターの操作パネルで［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］の順に選択し、［着信・ファクス受信拒否］の設定をしてください。

「迷惑ファクスの受信拒否を設定する」501ページ

プリンター画面にメッセージが表示された

プリンターの画面にメッセージが表示されたら、画面の指示または以下の対処方法に従ってトラブルを解決してください。操作パネルから共有フォルダーにスキャンできない場合にメッセージが表示されたときは、以下の関連情報をご覧ください。

メッセージ	対処方法
アドレスとサブネットマスクの組み合わせが有効ではありません。詳しくはマニュアルをご覧ください。	IPアドレス、またはデフォルトゲートウェイに正しい値を入力してください。正しい値がわからない場合は、ネットワーク管理者に確認してください。
このサービスを利用するには、ルート証明書のアップデートが必要です。	Web Configを起動してルート証明書を更新してください。
コンピューターでプリンターのポート設定(IPアドレスなど)やドライバーの状態が正しいか確認してください。詳しくはマニュアルをご覧ください。	［プリンター］メニューの［プロパティ］-［ポート］で、以下の正しいポートが選択されていることを確認してください。 USB接続：［USBXXX］ ネットワーク接続：［EpsonNet Print Port］
コンピューターで、印刷ポートの設定や、ドライバーの状態などを確認してください。詳しくはマニュアルをご覧ください。	
設定画面自動表示をオフにします。一部の機能が使えなくなります。詳しくはマニュアルをご覧ください。	［設定画面自動表示］設定が無効になっているとAirPrintは使用できません。
ダイヤルトーンが検出できません。	［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］-［接続回線］の順にタップして、［構内交換機(PBX)］を選択すると問題が解決することがあります。外線発信番号が必要な環境では、［構内交換機(PBX)］を選択した後に、外線発信番号を登録してください。登録後に外線の宛先にファクス送信するときは、外線発信番号の代わりに＃（シャープ）を入力します。これにより通信がより確実になります。 それでも同じメッセージが表示されるときは、［ダイヤルトーン検出］を無効にしてください。ただし、ファクス番号の最初の番号が抜けるなど、間違った番号にダイヤルしてしまう可能性があります。
プリンターエラーが発生しました。電源を入れ直してください。詳しくはマニュアルをご覧ください。 エラーコード：XXXXXX	電源を入れ直しても同じメッセージが表示されるときは、エラーコードを控えてからエプソンの修理窓口にご連絡ください。

メッセージ	対処方法
プリンターエラーが発生しました。詳しくはマニュアルをご覧ください。印刷以外の機能は使用できます。	プリンターが故障している可能性があります。エプソンの修理窓口に修理を依頼してください。ただし、スキャンなど、印刷以外の機能は使用できます。
プリンターエラーが発生しました。詳しくはマニュアルをご覧ください。	プリンターが故障している可能性があります。エプソンの修理窓口に修理を依頼してください。
ファクスデータ量が上限に達したため、ファクス受信できませんでした。ホーム画面下部の[ジョブ/状態]を押して確認してください。	以下の理由で処理が済んでいない受信文書を処理してください。 • プリンターのエラーなどで印刷されていない プリンターのエラーを解除してください。エラーの内容と対処方法は、ボタンを押して［プリンター状態］をタップすると確認できます。 • 保存先のコンピューターまたは外部メモリーに保存されていない 保存されていない受信文書は、ボタンを押して［ジョブ状態］をタップすると確認できます。保存するには、保存先のコンピューターを起動するか、または外部メモリーをプリンターに接続してください。
XXに用紙を補充してください。用紙サイズ：XX用紙種類：XX	用紙を補充して、用紙カセットを奥までセットしてください。
増設カセットユニットの接続可能数を超えています。電源を切ってから接続数を減らしてください。詳しくはマニュアルをご覧ください。	増設できるカセットユニットは、増設1段カセットユニットは2段まで、増設3段カセットユニット（増設1段カセットとの併用不可）は1台までです。それ以上の増設カセットユニットは取り付けの逆の手順で取り外してください。
非対応の増設カセットユニットを接続しています。電源を切ってから取り外してください。詳しくはマニュアルをご覧ください。	非対応の増設カセットユニットを接続しています。取り付けの逆の手順で取り外してください。
XXが故障したため、印刷できません。別の給紙装置からは印刷できます。	電源を入れ直して、用紙カセットをセットし直してください。それでも同じメッセージが表示されるときは、エプソンの修理窓口に修理を依頼してください。
XXの給紙ローラーが交換時期に近付いています。	給紙ローラーは定期交換部品です。交換時期に達すると、表示された用紙カセットから正しく給紙できなくなります。お早めにエプソンの修理窓口に交換を依頼してください。
XXの給紙ローラーが交換時期に達しました。	給紙ローラーの交換が必要です。エプソンの修理窓口へ連絡してください。
Recovery Mode Update Firmware	ファームウェアのアップデートに失敗したため、リカバリーモードで起動しました。以下の手順でもう一度ファームウェアをアップデートしてください。 1. コンピューターとプリンターをUSB 接続します（リカバリーモード中のアップデートは、ネットワーク接続ではできません）。 2. エプソンのウェブサイトから最新のファームウェアをダウンロードしてアップデートを開始します。 詳しくはダウンロードページの「アップデート方法」をご覧ください。

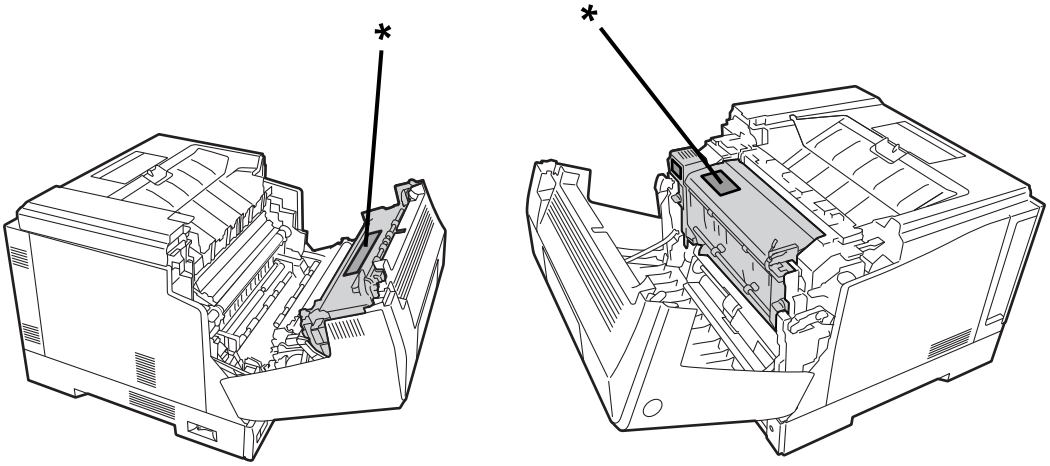
関連情報

➡ 「操作パネルにメッセージが表示された」234ページ

用紙が詰まった

操作パネルのエラー表示を確認し、用紙が詰まっている（ちぎれた紙片が残っている）箇所を順番に確認して取り除いてください。プリンターの画面に、詰まった用紙を取り除く方法の動画が表示されます。［OK］を選択してエラーを解除してください。

⚠注意　使用中にプリンターの前面カバーを開けたときは、注意ラベルで示す定着ユニットと両面印刷ユニットカバーに触れないでください。内部は高温になっているため、火傷のおそれがあります。
アスタリスク（*）が注意ラベルの位置を示します。



詰まった用紙を取り除く際は、以下の点に注意してください。

- 詰まった用紙は、破れないように両手でゆっくり引き抜いてください。無理に引き抜くと、用紙が破れて取り除くことが困難になり、さらに別の用紙詰まりを引き起こします。
- 用紙が破れた場合は、破れた用紙が残らないよう全て取り除いてください。
- 破れた用紙が取り除けない場合や、本書で説明している場所以外に用紙が詰まって取り除けない場合は、販売店またはエプソンサービスコールセンターにご相談ください。

紙詰まりを防ぐには

紙詰まりが頻繁に起こる場合は、以下を確認してください。

- 本製品で印刷できる用紙を使用してください。
  「印刷できる用紙とセット枚数」360ページ
- 用紙取り扱い上のご注意に従ってください。
  「用紙取り扱い上のご注意」33ページ
- 用紙を正しい方向でセットして、用紙の側面に用紙ガイドを合わせてください。
  「用紙のセット」34ページ
- 用紙はセット可能枚数を超えてセットしないでください。
- 複数枚セットしてうまく給紙できないときは、1枚ずつセットしてください。
- プリンターの用紙サイズと用紙種類の設定を、実際にセットした用紙に合わせてください。

消耗品の交換が必要になった

消耗品取り扱い上のご注意

消耗品や定期交換部品を交換する際は、以下の取り扱い上の注意を必ず守ってください。

⚠警告
- 消耗品を、火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷するおそれがあります。
- 製品内部の、マニュアルで指示されている箇所以外には触れないでください。感電や火傷のおそれがあります。
- こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。こぼれたトナーを掃除機で吸い取ると、電気接点の火花などにより、内部に吸い込まれたトナーが粉じん発火するおそれがあります。床などにこぼれてしまったトナーは、ほうきで掃除するか中性洗剤を含ませた布などで拭き取ってください。

⚠注意 消耗品を交換するときは、周囲に紙などを敷いてください。トナーがこぼれて、プリンターの周囲や衣服などに付いて汚れるおそれがあります。

!重要 本製品はエプソン製のトナーカートリッジ使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されております。エプソン製以外のものをご使用になると、本製品の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなど、本製品の性能が発揮できない場合があります。エプソン製以外のものをご使用したことにより発生した不具合については保証いたしませんのでご了承ください。

参考 消耗品の保管は以下のようにしてください。
- 直射日光を避け、梱包された状態で、温度0～35℃、湿度15～80%の結露しない場所に保管
- 立てたり傾けたりしない状態で保管

関連情報

➡「消耗品/定期交換部品の一覧」364ページ

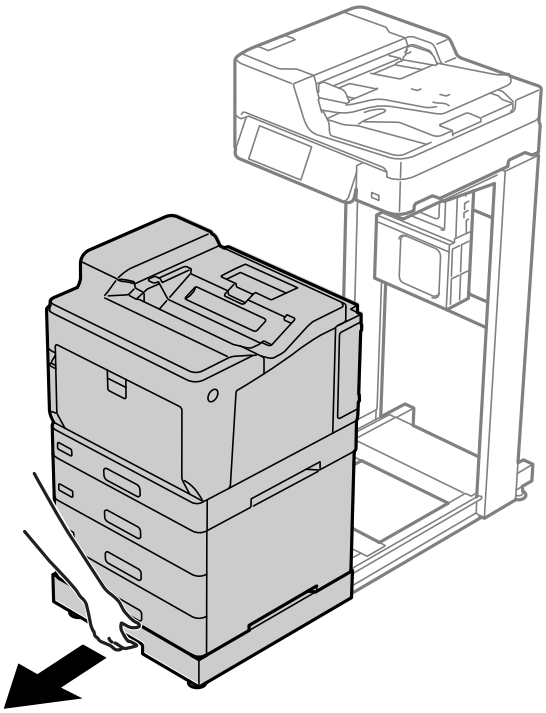
トナーカートリッジと廃トナーボックスの交換が必要になった

トナーカートリッジ取り扱い上のご注意

トナーカートリッジを交換するときは、以下のことに注意してください。

!重要

- カートリッジにトナーを補充しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- トナーが手や衣服に付いたときは、すぐに水で洗い流してください。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたまま放置すると落ちにくくなります。
- 寒い場所から暖かい場所にトナーカートリッジを移したときは、室温に慣らすため未開封のまま1時間以上待ってから使用してください。
- 交換時にプリンター部を引き出すときは、レバーをもって引き出してください。前面カバーの上部を持ってプリンター部を引き出さないでください。



- 電源コードが抜けないように注意してプリンター部を引き出してください。

廃トナーボックス取り扱い上のご注意

廃トナーボックスを交換するときは、以下のことに注意してください。

- 廃トナーボックスに入っているトナーは再利用しないでください。
- トナーがこぼれないよう、注意して作業してください。トナーは人体に無害ですが、こぼれたトナーが体や衣服に付着したときはすぐに水で洗い流してください。本製品内部にトナーがこぼれた場合は、きれいに拭き取ってください。

トナーカートリッジと廃トナーボックスを交換する

トナーカートリッジ/廃トナーボックス交換のメッセージが表示されたら、操作パネルに表示される動画を見ながら交換できます。

関連情報

- 「トナーカートリッジ」364ページ
- 「共通消耗品」366ページ
- 「消耗品取り扱い上のご注意」269ページ
- 「トナーカートリッジ取り扱い上のご注意」269ページ
- 「廃トナーボックス取り扱い上のご注意」270ページ
- 「トナーカートリッジの回収」271ページ
- 「使用済みトナーカートリッジの廃棄」271ページ
- 「使用済み廃トナーボックスの廃棄」271ページ

トナーカートリッジの回収

エプソンでは、トナーカートリッジ本体だけでなく、その梱包材など全てを再利用できるリサイクル体制を整え、資源の有効利用と廃棄物ゼロの実現を目指しています。環境保全のため、使用済みトナーカートリッジの回収にご協力いただきますようお願いいたします。
エプソンでは、宅配便などを利用した回収を進めています。詳細は、エプソンのウェブサイトで確認してください。
http://www.epson.jp/recycle/

参考 使用済みトナーカートリッジの梱包には、新しいトナーカートリッジの梱包箱を使用してください。

また、弊社は使用済みトナーカートリッジ回収でベルマーク運動に参加しています。学校単位で使用済みトナーカートリッジを回収していただき、弊社は回収数量に応じた点数を学校へ提供するシステムになっています。この活動により資源の有効活用と廃棄物の減少による地球環境保全を図り、さらに教育支援という社会貢献活動を行っております。詳細はエプソンのウェブサイトをご覧ください。
http://www.epson.jp/bellmark/

使用済みトナーカートリッジの廃棄

一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

使用済み廃トナーボックスの廃棄

一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

感光体ユニットの交換が必要になった

感光体ユニットには以下の物が同梱されています。

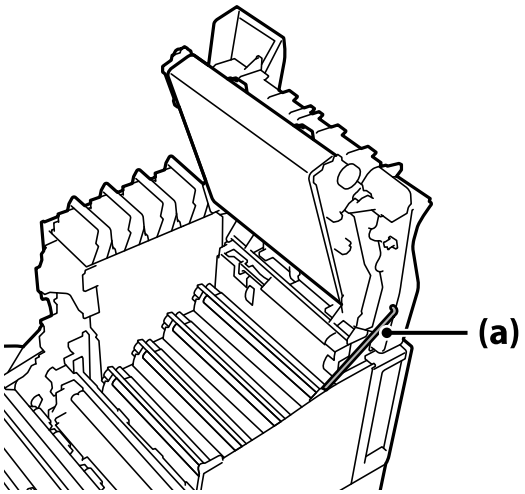
- 回収用ポリ袋
- 感光体ユニット
- 交換用パッド

感光体ユニット取り扱い上のご注意

感光体ユニットを交換するときは、以下のことに注意してください。

⚠注意

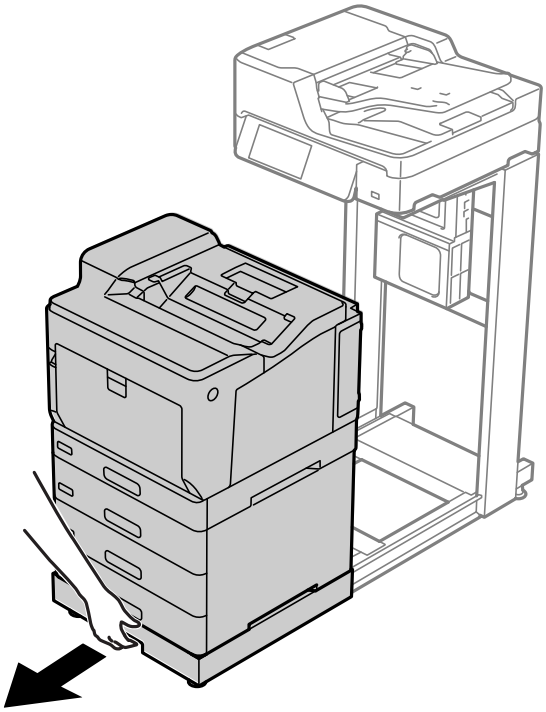
- 上カバーは必ず支え棒（a）で固定してください。突然閉まり、指や手を挟んでけがをするおそれがあります。



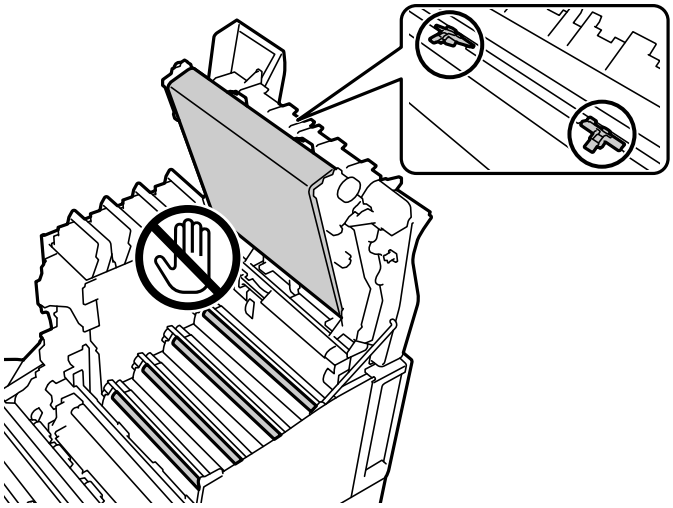
- 上カバーを閉めるときは、必ずGレバーを持ちながら下げてください。トナーカートリッジカバーを持って閉めると、上カバーが突然閉まり、指や手を挟んでけがをするおそれがあります。

!重要

- 交換時にプリンター部を引き出すときは、レバーをもって引き出してください。前面カバーの上部を持ってプリンター部を引き出さないでください。



- 電源コードが抜けないように注意してプリンター部を引き出してください。
- イラストで示した箇所には、手を触れたり、こすったり、物をぶつけたりしないでください。手の脂が付いたり、傷や汚れが付くと印刷品質が低下します。



- 感光体ユニットを直射日光や強い光に当てないでください。室内の明かりの下でも3分以上放置しないでください。強い光や長時間光が当たると印刷品質が低下します。
- 寒い場所から暖かい場所に感光体ユニットを移したときは、室温に慣らすため未開封のまま1時間以上待ってから使用してください。
- 感光体の表面に傷が付かないよう平らな台の上に置いてください。

感光体ユニットを交換する

感光体ユニット交換のメッセージが表示されたら、［操作方法を見る］を選択して操作パネルに表示される動画を見ながら交換できます。

関連情報

- 「共通消耗品」366ページ
- 「消耗品取り扱い上のご注意」269ページ
- 「感光体ユニット取り扱い上のご注意」272ページ
- 「使用済み感光体ユニットの廃棄」274ページ

使用済み感光体ユニットの廃棄

一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

きれいに印刷、コピー、スキャン、ファクスできない

きれいに印刷できない

印刷結果が薄い、濃い、かすれる、汚い

以下の原因が考えられます。

印刷できない用紙を使用しています。

対処方法

本製品で印刷できる用紙を使用してください。

- 「印刷できる用紙とセット枚数」360ページ
- 「印刷できない用紙」363ページ

用紙が湿っています。

対処方法

新しい用紙をセットしてください。

プリンターに登録した用紙情報が間違っています。

対処方法

プリンターの用紙サイズと用紙種類の設定を、実際にセットした用紙に合わせてください。

➡ 「用紙サイズと用紙種類の登録」34ページ

トナーセーブ状態になっています。

対処方法

トナーセーブは、トナーを節約して印刷するため、通常の印刷に比べ品質が低下します。試し印刷など、印刷品質を問わない印刷に適しています。操作パネルまたはプリンタードライバーでトナーセーブモードを解除してください。

- 操作パネル
  ［設定］-［本体設定］-［プリンター設定］［PDL印刷設定］-［共通設定］の順に選択して、［トナーセーブモード］を［オフ］にします。
- Windows
  プリンタードライバーの［応用設定］タブで［画像処理設定］を選択して、［トナーセーブ］のチェックを外します。
- Mac OS
  アップルメニューの［システム環境設定］-［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。［オプションとサプライ］-［オプション］（または［ドライバ］）の順にクリックします。［トナーセーブ］で［オフ］を選択します。

プリンタードライバーの印刷品質の設定がはやい（300dpi）になっています。

対処方法

きれいに印刷したいときは、［印刷品質］を［きれい］（600dpi）に設定してください。線描画をより精細にしたいときは、［印刷品質］-［詳細設定］で［品質優先］の度合いを上げてください。ただし、複雑な印刷データではメモリー不足で印刷できない場合があります。このようなときは、［印刷品質］を［はやい］（300dpi）に戻してください。
線描画をより精細にしたいときは、［応用設定］タブ-［画像処理設定］を選択して、［細線を鮮明にする］を無効にしてください。

給紙経路が汚れています。

対処方法

プリンターの画面に表示される動画を見て給紙ローラーをクリーニングしてください。⑦を選択して、［困ったときは］-［印刷結果がおかしい］-［用紙が汚れる］-［給紙ローラーのクリーニングをする］の順に選択します。

高地で使っています。

対処方法

標高が高い場所でのご使用時は、［設定］-［本体設定］-［管理者用設定］-［プリンター調整機能］の順に選択して、［高地設定］の値を変更してください。

エプソン製以外の消耗品を使っています。

対処方法

本製品はエプソン製のトナーカートリッジ使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されています。エプソン製品以外のものをご使用になると、プリンター本体の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなど、プリンター本体の性能が発揮できないことがあります。トナーカートリッジはエプソン製品のご使用をお勧めします。また、必ず本製品に合った型番のものをお使いください。

プリンター内部が結露しています。

対処方法

プリンターと空気の温度差で結露が発生します。冬の低温環境で暖房を入れると、暖まった空気がプリンターに触れて水蒸気が付着して結露します。［設定］-［本体設定］-［基本設定］-［予熱モード］の順に選択して、［予熱モード移行時間］を60分に設定して電源を入れたまま放置し、プリンターが十分に温まってから印刷してみてください。

感光体ユニットが劣化または損傷しています。または寿命が近づいています。

対処方法

数ページ印刷しても改善されないときは、新しいものと交換してみてください。
黒い線が印刷結果の上下に印刷されるときは、露光窓を清掃すると改善することがあります。

➡ 「感光体ユニットを交換する」274ページ
➡ 「プリンター内部の汚れを拭き取る」177ページ

印刷位置、サイズ、余白が思い通りにならない

以下の原因が考えられます。

用紙が正しくセットされていません。

対処方法

用紙を正しい方向でセットして、用紙の側面に用紙ガイドを合わせてください。

➡ 「用紙のセット」34ページ

用紙のサイズが正しく設定されていません。

対処方法

用紙のサイズを正しく設定してください。

アプリケーションソフトの余白設定が印刷領域内になっていません。

対処方法

アプリケーションソフトの余白設定を印刷領域内にしてください。

➡ 「プリント機能」406ページ

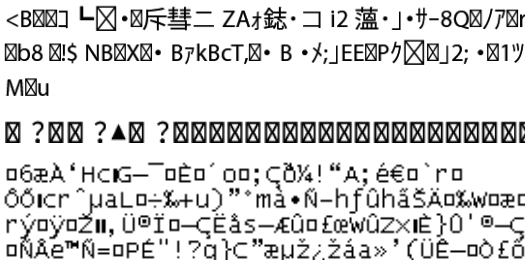
印刷開始位置が変更されています。

対処方法

アプリケーションソフトによっては印刷開始位置（オフセット）の設定が必要です。以下を参照して設定してください。

➡ 「プリンター調整機能」416ページ

文字が正しく印刷されない、文字化けする



以下の原因が考えられます。

使用できない文字が使われています。

対処方法

Windowsの制限事項により、JIS X 0213：2004で追加された以下の文字が一部の機能では使えません。

俱叱嘘屏痩剝呑妍幷繋

上記の文字が使えない機能は以下です。

- 透かし印刷
- スタンプマーク
- プリンターフレンドリー名
- ヘッダー/フッター設定で印字する際のユーザー名
- パスワード印刷のユーザー名やジョブ名
- EPSONステータスモニタのジョブ情報表示

使用環境に問題があります。

対処方法

プリンターのテスト印刷やステータス印刷が正常にできる場合は使用環境に問題がある可能性があります。以下を確認してください。

- 適切なケーブルで、正しく接続されているか
- コンピューターの仕様がプリンターのシステム条件を満たしているか

バーコードが読み取れない

プリンタードライバーの印刷品質の設定がはやい（300dpi）になっています。

対処方法

［きれい］（600dpi）を選択するか、または［詳細設定］をクリックし、［品質優先］の度合いを上げて印刷してください。

カラー印刷できない

以下の原因が考えられます。

プリンタードライバーのカラーの設定がグレースケールになっています。

対処方法

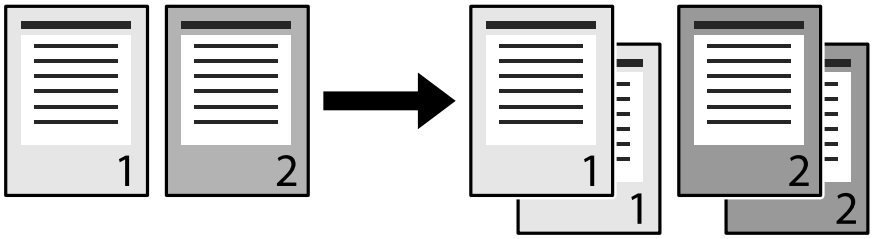
［カラー］にしてください。

アプリケーションソフトの設定がカラーデータになっていません。

対処方法

カラー印刷できるようにアプリケーションソフト側で設定してください。

部単位印刷できない

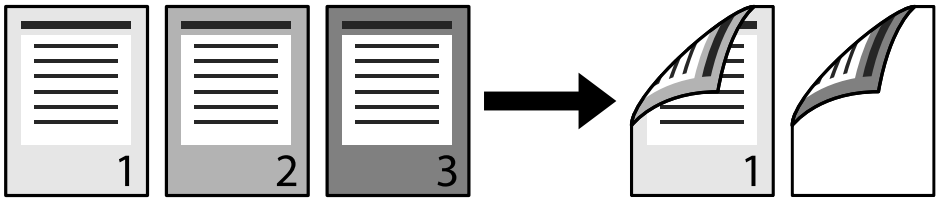


プリンタードライバーとアプリケーションソフトの両方で部単位印刷する設定になっています。（Windows）

対処方法

両方で設定すると、正しく部単位印刷できないことがあります。アプリケーションソフト側で設定したときはプリンタードライバーでは設定しないでください。

両面印刷の最終ページが意図した面とは反対の面に印刷される

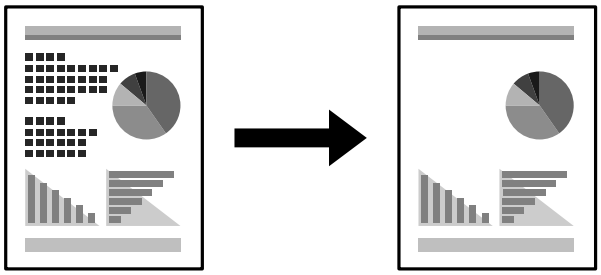


両面片面変換の設定が間違っています。

対処方法

［設定］-［本体設定］-［プリンター設定］［PDL印刷設定］-［共通設定］の順に選択して、［両面片面変換］を［しない］に設定して印刷してください。

フォントが印刷されない



以下の原因が考えられます。

TrueTypeフォントをプリンターフォントに置き換えて印刷しています（Windows）。

対処方法

プリンタードライバーの［ユーティリティー］タブで［拡張設定］を選択して、［指定したフォントのみプリンターフォントで印刷］を無効にしてください。

サポートしていないフォントが指定されています。

対処方法

プリンターがサポートしているフォントをアプリケーションソフト側で指定して印刷してください。

きれいにコピーできない

コピー結果が薄い、濃い、かすれる、汚い

以下の原因が考えられます。

原稿や原稿台にゴミや汚れが付いています。

対処方法

原稿に付いているゴミや汚れを取り除き、原稿台をクリーニングしてください。

➡ 「原稿台の汚れを拭き取る」180ページ

ADFや原稿にゴミや汚れが付いています。

対処方法

ADFをクリーニングして、原稿に付着したゴミや汚れを取り除いてください。

➡ 「ADFをクリーニングする」182ページ

給紙経路が汚れています。

対処方法

プリンターの画面に表示される動画を見て給紙ローラーをクリーニングしてください。? を選択して、［困ったときは］-［印刷結果がおかしい］-［用紙が汚れる］-［給紙ローラーのクリーニングをする］の順に選択します。

原稿を強く押さえつけています。

対処方法

原稿を強く押さえつけると、ムラ、シミ、斑点が出ることがあります。
原稿や原稿カバーを強く押さえつけないでください。

➡ 「原稿のセット」40ページ

［原稿種類］の設定が原稿と合っていない。

対処方法

［コピー］ - ［基本設定］ - ［原稿種類］ を選択してセットした原稿に合わせてください。

コピーの色合い（カラーバランス）が調整されていません。

対処方法

［コピー］ メニューの ［応用設定］ -［詳細画質調整］ を選択して ［コントラスト］ と ［色調補正 レッド］、［色調補正 ブルー］、［色調補正 グリーン］ を調整してみてください。

温湿度環境や経年で、工場出荷時のカラー調整状態に狂いが生じた。

対処方法

以下の手順でカラーキャリブレーション（本来の色合いで印刷されるように調整すること）をしてみてください。
［設定］ - ［本体設定］ - ［プリンター設定］ - ［カラーキャリブレーション］で［開始］ を選択します。 画面の指示に従って調整してください。

印刷できない用紙を使用しています。

対処方法

本製品で印刷できる用紙を使用してください。

➡ 「印刷できる用紙とセット枚数」360ページ
➡ 「印刷できない用紙」363ページ

用紙が湿っています。

対処方法

新しい用紙をセットしてください。

プリンターに登録した用紙情報が間違っています。

対処方法

プリンターの用紙サイズと用紙種類の設定を、実際にセットした用紙に合わせてください。

➡ 「用紙サイズと用紙種類の登録」34ページ

高地で使っています。

対処方法

標高が高い場所でのご使用時は、［設定］-［本体設定］-［管理者用設定］-［プリンター調整機能］の順に選択して、［高地設定］の値を変更してください。

エプソン製以外の消耗品を使っています。

対処方法

本製品はエプソン製のトナーカートリッジ使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されています。エプソン製品以外のものをご使用になると、プリンター本体の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなど、プリンター本体の性能が発揮できないことがあります。トナーカートリッジはエプソン製品のご使用をお勧めします。また、必ず本製品に合った型番のものをお使いください。

感光体ユニットが劣化または損傷しています。または寿命が近づいています。

対処方法

数ページ印刷しても改善されないときは、新しいものと交換してみてください。
黒い線が印刷結果の上下に印刷されるときは、露光窓を清掃すると改善することがあります。

➡ 「感光体ユニットを交換する」274ページ
➡ 「プリンター内部の汚れを拭き取る」177ページ

プリンター内部が結露しています。

対処方法

プリンターと空気の温度差で結露が発生します。冬の低温環境で暖房を入れると、暖まった空気がプリンターに触れて水蒸気が付着して結露します。［設定］-［本体設定］-［基本設定］-［予熱モード］の順に選択して、［予熱モード移行時間］を60分に設定して電源を入れたまま放置し、プリンターが十分に温まってから印刷してみてください。

コピー位置、サイズ、余白が思い通りにならない

以下の原因が考えられます。

原稿台では検知できないサイズの原稿をセットしました。

対処方法

以下のページを参照して、原稿台にセットできるサイズの原稿をセットしてください。

➡ 「スキャン機能」407ページ

ADFではセットできないサイズの原稿をセットしました。

対処方法

以下のページを参照して、ADFにセットできるサイズの原稿をセットしてください。

➡ 「ADF機能」405ページ

原稿が原稿台の適切な位置にセットできていません。

対処方法

- 原点マークに合わせて原稿をセットしてください。
- スキャン結果の端が欠けたときは、原稿を原稿台のフチから少し離してセットしてください。原稿台の隅から約1.5 mmの範囲はスキャンできません。

➡ 「原稿のセット」40ページ

原稿台にゴミや汚れが付いています。

対処方法

原稿台に原稿をセットするときは、原稿に付いているゴミや汚れを取り除き、原稿台をクリーニングしてください。ゴミや汚れがあると、それを含めた範囲がスキャンされるため、位置が大きくずれたり画像が小さくなったりします。

➡ 「原稿台の汚れを拭き取る」180ページ

コピーに時間がかかる

以下の原因が考えられます。

スリープモードになっています。

対処方法

ウォームアップしてからコピーを開始するため、排紙までに時間がかかることがあります。そのままお待ちください。

［文字・写真(きれい)］の設定で、連続カラーコピーまたは部単位コピーしている。

対処方法

データ処理に時間がかかるために動作が遅くなっています。コピーの仕方を変えると、この現象を回避できます。以下をお試しください。

- カラーコピーは数回に分ける。
- モノクロコピーにする。
- ［原稿種類］を［文字・写真(きれい)］以外の設定にする。
- ［コピー］タブで［応用設定］を選択し、［仕上げ］を［グループ(ページごと)］に設定する。（初期値は［ソート(1部ごと)］）

きれいにスキャンできない

原稿台からスキャンするとき、色ムラ、汚れ、点などが画像に現れる

原稿や原稿台にゴミや汚れが付いています。

対処方法

原稿に付いているゴミや汚れを取り除き、原稿台をクリーニングしてください。

➡ 「原稿台の汚れを拭き取る」180ページ

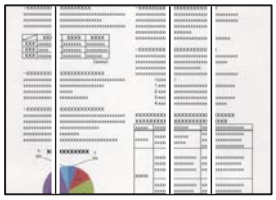
原稿を強く押さえつけています。

対処方法

原稿を強く押さえつけると、ムラ、シミ、斑点が出ることがあります。
原稿や原稿カバーを強く押さえつけないでください。

➡ 「原稿のセット」40ページ

スキャンした画像に直線が現れる



ADFや原稿にゴミや汚れが付いています。

対処方法

ADFをクリーニングして、原稿に付着したゴミや汚れを取り除いてください。

➡ 「ADFをクリーニングする」182ページ

原稿の裏面がスキャンした画像に写る

薄い原稿の場合、スキャン時に裏面の画像が読み取られます。

対処方法

原稿の裏側に黒い紙や下敷きなどを重ねて、原稿台にセットしてください。

➡ 「原稿のセット」40ページ

原稿台からスキャンするとき、正しい範囲でスキャンできない

原稿が原稿台の適切な位置にセットできていません。

対処方法

- 原点マークに合わせて原稿をセットしてください。
- スキャン結果の端が欠けたときは、原稿を原稿台のフチから少し離してセットしてください。原稿台の隅から約1.5 mmの範囲はスキャンできません。

➡ 「原稿のセット」40ページ

原稿台にゴミや汚れが付いています。

対処方法

操作パネルから、スキャン範囲の自動切り取り設定でスキャンするときは、原稿台や原稿カバーのゴミや汚れを取り除いてください。原稿の周辺にゴミや汚れがあると、その位置までスキャン範囲が拡張されます。

スキャン品質のトラブルが解決しない

全ての対処方法を試してもトラブルを解決できないときは、以下を確認してください。

スキャンソフトウェアの設定に問題があります。

対処方法

スキャナードライバー（Epson Scan 2）の設定を、Epson Scan 2ユーティリティーを使って初期化します。

参考 Epson Scan 2ユーティリティーは、Epson Scan 2に付属してインストールされる設定ソフトウェアです。

1. Epson Scan 2ユーティリティーを起動します。
   - Windows 10
     スタートボタンをクリックして、［EPSON］-［Epson Scan 2 ユーティリティー］の順に選択します。
   - Windows 8.1/Windows 8
     検索チャームでソフトウェア名を入力して、表示されたアイコンを選択します。
   - Windows 7/Windows Vista/Windows XP
     スタートボタンをクリックして、［すべてのプログラム］または［プログラム］-［EPSON］-［Epson Scan 2］-［Epson Scan 2 ユーティリティー］の順に選択します。
   - Mac OS
     ［移動］-［アプリケーション］-［Epson Software］-［Epson Scan 2 ユーティリティー］の順に選択します。
2. ［その他］タブを選択します。
3. ［初期化］をクリックします。

設定を初期化してもトラブルを解決できないときは、Epson Scan 2をアンインストールして、再インストールしてください。

➡ 「ソフトウェアを個別にインストールする」185ページ

ファクスをきれいに送信できない

ファクスをきれいに送信できない

以下の原因が考えられます。

原稿や原稿台にゴミや汚れが付いています。

対処方法

原稿に付いているゴミや汚れを取り除き、原稿台をクリーニングしてください。

➡ 「原稿台の汚れを拭き取る」180ページ

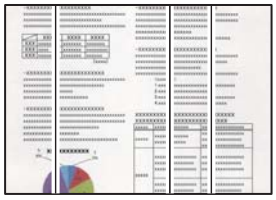
原稿を強く押さえつけています。

対処方法

原稿を強く押さえつけると、ムラ、シミ、斑点が出ることがあります。
原稿や原稿カバーを強く押さえつけないでください。

➡ 「原稿のセット」40ページ

ADFからファクス送信すると直線が現れる



以下の原因が考えられます。

ADFや原稿にゴミや汚れが付いています。

対処方法

ADFをクリーニングして、原稿に付着したゴミや汚れを取り除いてください。

➡ 「ADFをクリーニングする」182ページ

送信したファクスの画質が粗い

以下の原因が考えられます。

原稿種類の設定が間違っています。

対処方法

操作パネルで、［ファクス］-［ファクス設定］- 読み取り設定 -［原稿種類］を選択し、原稿の種類に合わせて設定を変更してください。文字と写真が混在した原稿は［写真］の設定で送信してください。

解像度が低く設定されています。

対処方法

相手機の性能がわからないときは、以下どちらも設定してファクスを送信してください。

- ［ファクス］-［ファクス設定］の［画質］で最高品質の設定を選択する
- ［ファクス］ > ［ファクス設定］で［ダイレクト送信］を有効にする。
  ［画質］を［高精細］か［超高精細］にしても、［ダイレクト送信］を無効にしてモノクロ送信すると、低い解像度に変更されて送信されることがあります。

エラー訂正機能が無効になっています。

対処方法

プリンターの操作パネルで［設定］ > ［本体設定］ > ［ファクス設定］ > ［基本設定］を選択して［エラー訂正(ECM)］を有効にしてください。回線トラブルによるデータ抜けなどのエラーを自動で修復できることがあります。ただし、［エラー訂正(ECM)］を有効にすると、データの送受信に通常より時間がかかることがあります。

送信したファクスに原稿の裏面が写る

以下の原因が考えられます。

薄い原稿の場合、スキャン時に裏面の画像が読み取られます。

対処方法

原稿の裏側に黒い紙や下敷きなどを重ねて、原稿台にセットしてください。

➡ 「原稿のセット」40ページ

ファクス送信時に、濃度が高く設定されています。

対処方法

操作パネルで、［ファクス］-［ファクス設定］-［読み取り設定］-［濃度］を選択し、濃度を低く設定してください。

ファクスをきれいに受信できない

受信したファクスの画質が粗い

以下の原因が考えられます。

エラー訂正機能が無効になっています。

対処方法

プリンターの操作パネルで［設定］ > ［本体設定］ > ［ファクス設定］ > ［基本設定］を選択して［エラー訂正(ECM)］を有効にしてください。回線トラブルによるデータ抜けなどのエラーを自動で修復できることがあります。ただし、［エラー訂正(ECM)］を有効にすると、データの送受信に通常より時間がかかることがあります。

送信元で画質が低く設定されています。

対処方法

送信元に、より高い画質で送信できないか確認してください。

解決できないときは

全ての対処方法を試しても問題が解決できないときは、エプソンのウェブサイトで「よくあるご質問（FAQ）」をご覧ください。
www.epson.jp/support/faq/
それでも解決できないときは、エプソンのインフォメーションセンターまたは修理窓口にお問い合わせください。

コンピューターや機器の追加や交換をしたときは

ネットワーク接続済みのプリンターに接続する方法 291

ネットワークを再設定する方法 292

スマートデバイスとプリンターを直接接続する方法（Wi-Fi Direct） 297

ネットワーク接続状態の確認 306

ネットワーク接続済みのプリンターに接続する方法

すでにプリンターがネットワークに接続していれば、コンピューターやスマートデバイスからネットワーク経由でプリンターに接続できます。

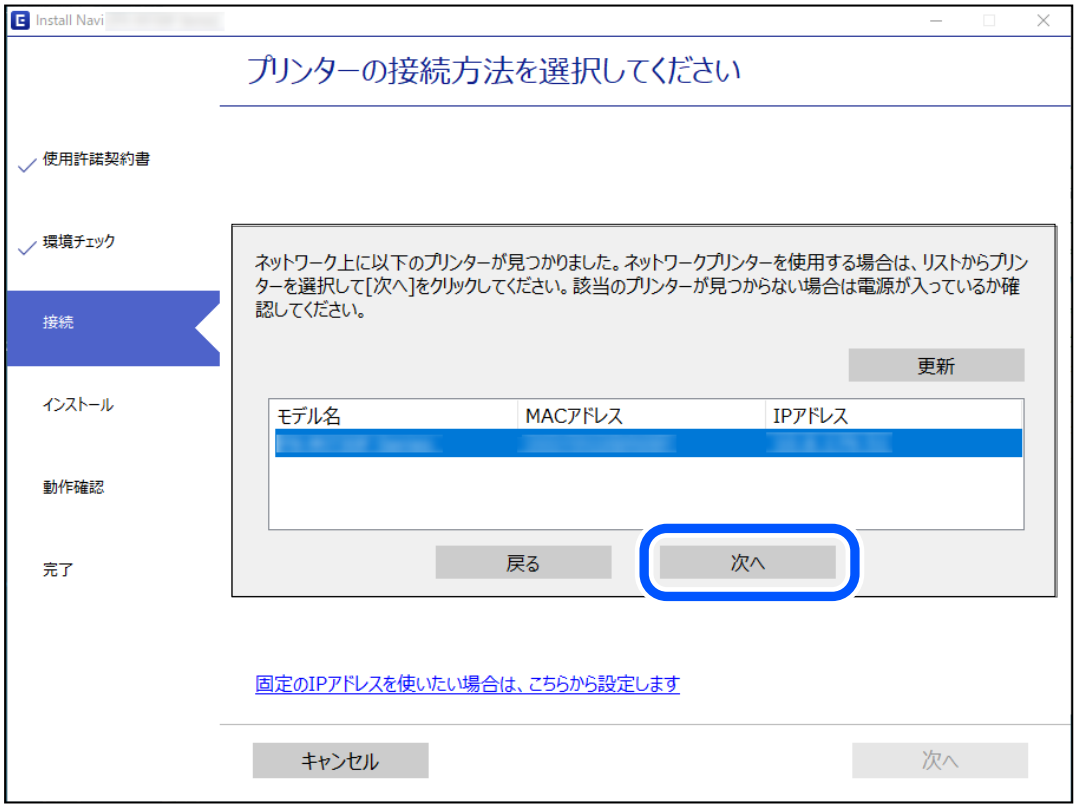
2台目のコンピューターからネットワークプリンターを使う

プリンターとコンピューターを接続設定するにはインストーラーを使うと便利です。インストーラーは以下のいずれかの方法で起動できます。

- ウェブサイトから
  以下のウェブサイトにアクセスして、製品名を入力します。［セットアップ］に進んで作業を開始します。
  http://epson.sn
- ソフトウェアディスクから（製品にソフトウェアディスクが同梱されていて、それを使用できる場合）
  ソフトウェアディスクをコンピューターにセットして、画面の指示に従って操作します。

プリンターを選択する

以下の画面が表示されるまで、画面の指示に従って操作し、接続したいプリンターを選択して［次へ］をクリックします。



この後は、画面の指示に従って操作します。

スマートデバイスからネットワークプリンターを使う

スマートデバイスからプリンターに接続するには、以下のいずれかの方法があります。

無線LANルーター経由で接続

無線LANルーターを介して、プリンターが接続しているネットワークに接続します。
詳しくは以下を参照してください。
「スマートデバイスとの接続設定をする」293ページ

Wi-Fi Directで接続

無線LANルーター（アクセスポイント）を介さず、直接プリンターと接続します。
詳しくは以下を参照してください。
「スマートデバイスとプリンターを直接接続する方法（Wi-Fi Direct）」297ページ

ネットワークを再設定する方法

無線LANルーターを交換したときやコンピューターを買い替えたときなどの接続設定や、接続方法の変更などについて説明します。

無線LANルーターを交換したとき

無線LANルーターを交換したときは、コンピューターやスマートデバイスとプリンターとの接続設定をします。
プロバイダーを変更した場合などでこの設定が必要です。

コンピューターとの接続設定をする

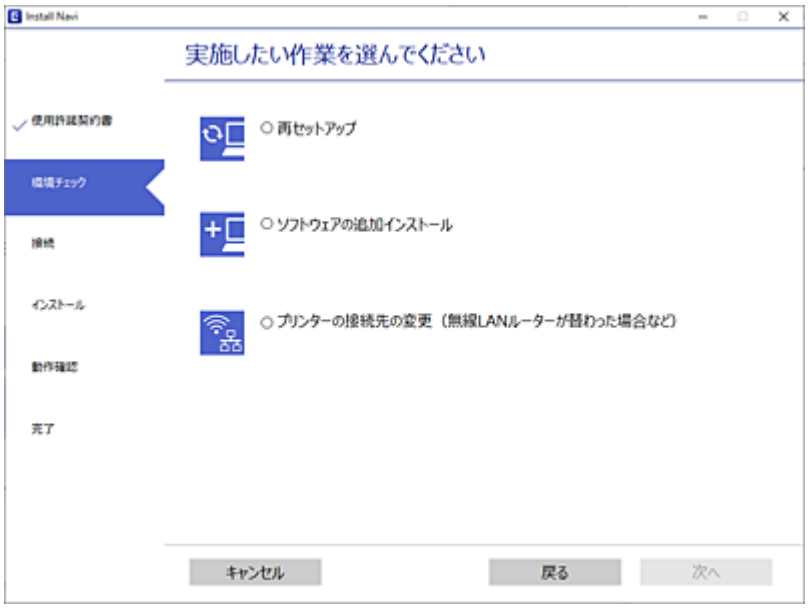
プリンターとコンピューターを接続設定するにはインストーラーを使うと便利です。インストーラーは以下のいずれかの方法で起動できます。

- ウェブサイトから
  以下のウェブサイトにアクセスして、製品名を入力します。［セットアップ］に進んで作業を開始します。
  http://epson.sn
- ソフトウェアディスクから（製品にソフトウェアディスクが同梱されていて、それを使用できる場合）
  ソフトウェアディスクをコンピューターにセットして、画面の指示に従って操作します。

接続方法を選択する

以下の画面が表示されるまで、画面の指示に従って操作します。

実施したい作業を選んでください画面で［プリンターの接続先の変更（無線ルーターが替わった場合など）］を選択して、［次へ］をクリックします。



この後は、画面の指示に従って操作します。
接続できない場合は、以下を参照してください。

- Windows：「ネットワークに接続できない」203ページ
- Mac OS：「ネットワークに接続できない」211ページ

スマートデバイスとの接続設定をする

スマートデバイスが接続しているWi-Fiと同じネットワーク（SSID）にプリンターを接続すると、スマートデバイスからプリンターを使えるようになります。スマートデバイスからプリンターを利用するには、以下のウェブサイトから設定をしてください。なお、ウェブサイトにはプリンターに接続したい機器からアクセスしてください。
http://epson.sn - ［セットアップ］

コンピューターを買い替えたとき

コンピューターを買い替えたときは、コンピューターとプリンターとの接続設定をします。

コンピューターとの接続設定をする

プリンターとコンピューターを接続設定するにはインストーラーを使うと便利です。インストーラーは以下のいずれかの方法で起動できます。

- ウェブサイトから
  以下のウェブサイトにアクセスして、製品名を入力します。［セットアップ］に進んで作業を開始します。
  http://epson.sn

- ソフトウェアディスクから（製品にソフトウェアディスクが同梱されていて、それを使用できる場合）
  ソフトウェアディスクをコンピューターにセットして、画面の指示に従って操作します。

この後は、画面の指示に従って操作します。

コンピューターとの接続形態を変更する

すでにコンピューターとプリンターが接続されている場合に、接続形態を変更する方法について説明します。

有線LAN接続から無線LAN接続に変更する

プリンターの操作パネルで有線LAN接続から無線LAN接続に変更します。変更方法は操作パネルを使った無線LAN接続設定と同じです。

関連情報

➡ 「操作パネルから無線LAN（Wi-Fi）接続する」295ページ

無線LAN接続から有線LAN接続に変更する

無線LAN（Wi-Fi）接続時に有線LAN接続に変更するには以下の手順で操作します。

1. プリンターのホーム画面で［設定］を選択します。
2. ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［有線LAN接続設定］を選択します。
3. この後は、画面の指示に従って操作します。

USB接続からネットワーク接続に変更する

インストーラーを使って別の接続形態に設定し直します。

- ウェブサイトから
  以下のウェブサイトにアクセスして、製品名を入力します。［セットアップ］に進んで作業を開始します。
  http://epson.sn
- ソフトウェアディスクから（製品にソフトウェアディスクが同梱されていて、それを使用できる場合）
  ソフトウェアディスクをコンピューターにセットして、画面の指示に従って操作します。

接続方法を選択する

以下の画面が表示されるまで、画面の指示に従って操作します。

［無線LAN（Wi-Fi）］または［有線LAN（Ethernet）で接続する］から使用する接続方法を選択して、［次へ］をクリックします。

参考　表示される接続方法は機種によって異なります。

この後は、画面の指示に従って操作します。

操作パネルから無線LAN（Wi-Fi）接続する

プリンターの操作パネルからネットワーク設定する方法はいくつかあります。お使いの環境や条件に合わせて接続方法を選択してください。
無線LANルーター（アクセスポイント）の情報（SSID、パスワード）がわかれば、手動で設定するのが確実です。
AOSSやWPS対応の無線LANルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、プッシュボタンで自動設定ができます。
プリンターがネットワークに接続できたら、使用する機器（コンピューターやスマートデバイスなど）をプリンターに接続してください。

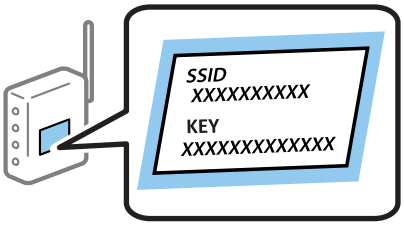
関連情報

➡「プリンターにSSIDとパスワードを入力して設定する」296ページ
➡「プッシュボタンで自動設定する（AOSS/WPS）」296ページ
➡「PINコードで設定する（WPS）」297ページ

プリンターにSSIDとパスワードを入力して設定する

無線LANルーター（アクセスポイント）に接続するための情報をプリンターの操作パネルから入力して設定する方法です。手動で設定するには、無線LANルーター（アクセスポイント）のSSIDとパスワードの情報が必要です。

参考 無線LANルーター（アクセスポイント）をメーカー設定値のまま利用している場合は、ラベルなどに書かれているSSIDとパスワードが設定されています。SSIDとパスワードがわからない場合は、無線LANルーターを設定した人に確認するか、無線LANルーターのマニュアルをご覧ください。



1. ホーム画面で をタップします。

2. ［ルーター］を選択します。

3. ［設定に進む］をタップします。
すでにネットワーク接続している場合は、接続状態の詳細が表示されます。設定を変更する場合は［無線LAN接続に変更する］または［設定を変更する］をタップします。

4. ［無線LANルーターを検索］を選択します。

5. この後は、画面の指示に従って、SSIDを選択し、パスワードを入力して、設定を開始します。
設定完了後に接続状態を確認したい場合は、「関連情報」をご覧ください。

参考
- SSIDがわからない場合は無線LANルーターのラベルに書かれていないかを確認してください。無線LANルーター（アクセスポイント）をメーカー設定値のまま利用している場合は、ラベルに書かれているSSIDを使用します。情報が見つからない場合は、無線LANルーター（アクセスポイント）のマニュアルをご覧ください。
- パスワードは大文字と小文字を区別して入力してください。
- SSIDがわからない場合は無線LANルーター（アクセスポイント）本体のラベルに書かれていないかを確認してください。ラベルには、「暗号化キー」「XXXX Key」などと書かれています。無線LANルーター（アクセスポイント）をメーカー設定値のまま利用している場合は、ラベルに書かれているパスワードを使用します。

プッシュボタンで自動設定する（AOSS/WPS）

無線LANルーター（アクセスポイント）のプッシュボタンで無線LAN（Wi-Fi）を自動設定する方法です。以下の条件に当てはまる場合は、この方法で設定できます。

- 無線LANルーター（アクセスポイント）がAOSSやWPS（Wi-Fi Protected Setup）に対応している
- 既存の無線LAN（Wi-Fi）をプッシュボタンで設定している

参考 プッシュボタンの位置がわからない、またはプッシュボタンがなくソフトウェアで操作する場合は、無線LANルーター（アクセスポイント）のマニュアルをご覧ください。

1. ホーム画面で をタップします。

2. ［ルーター］を選択します。

3. ［設定に進む］をタップします。
すでにネットワーク接続している場合は、接続状態の詳細が表示されます。設定を変更する場合は［無線LAN接続に変更する］または［設定を変更する］をタップします。

4. ［プッシュボタンで設定(AOSS/WPS)］を選択します。

5. この後は、画面の指示に従って操作します。
設定完了後に接続状態を確認したい場合は、「関連情報」をご覧ください。

参考 接続に失敗した場合は無線LANルーター（アクセスポイント）を再起動し、無線LANルーター（アクセスポイント）とプリンターを近づけてから再度設定してください。それでも解決しないときは、ネットワーク接続診断レポートを印刷して対処方法を確認してください。

PINコードで設定する（WPS）

PINコードを使って無線LANルーター（アクセスポイント）に接続する方法です。無線LANルーター（アクセスポイント）がWPS（Wi-Fi Protected Setup）に対応している場合は、この方法で設定できます。PINコードを無線LANルーター（アクセスポイント）に入力するときに、コンピューターを使います。

1. ホーム画面で をタップします。

2. ［ルーター］を選択します。

3. ［設定に進む］をタップします。
すでにネットワーク接続している場合は、接続状態の詳細が表示されます。設定を変更する場合は［無線LAN接続に変更する］または［設定を変更する］をタップします。

4. ［その他］ - ［PINコード自動設定(WPS)］の順に選択します。

5. この後は、画面の指示に従って操作します。
設定完了後に接続状態を確認したい場合は、「関連情報」をご覧ください。

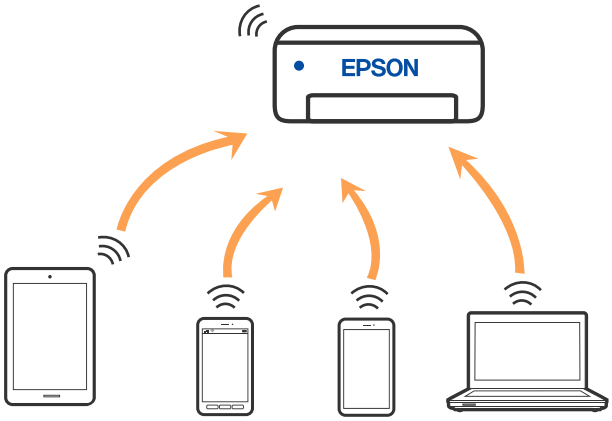
参考 PINコードの入力方法は、無線LANルーター（アクセスポイント）のマニュアルをご覧ください。

スマートデバイスとプリンターを直接接続する方法（Wi-Fi Direct）

Wi-Fi Direct（シンプルAP）を使うと、無線LANルーターを使わずにスマートデバイスとプリンターを直接接続して印刷できます。

Wi-Fi Direct（シンプルAP）とは

家庭またはオフィスで無線LAN（Wi-Fi）を利用していない、無線LANルーター（アクセスポイント）がない場合や、プリンターとコンピューターやスマートデバイスを直接接続したい場合の接続方法です。この接続方法はプリンターが無線LANルーター（アクセスポイント）として動作し、複数台の機器と接続できます。ただし、プリンターに直接接続された機器の間では、プリンター経由での通信はできません。



プリンターは無線LAN（Wi-Fi）または有線LANと、Wi-Fi Direct（シンプルAP）の同時接続ができます。ただし、無線LAN（Wi-Fi）で接続中にWi-Fi Direct（シンプルAP）設定を開始すると、無線LAN（Wi-Fi）接続は一時切断されます。

iPhone、iPad、iPod touchでWi-Fi Direct接続する

無線LANルーター（アクセスポイント）を介さず、直接プリンターとiPhone、iPad、iPod touchを接続する方法です。この接続をする場合は、以下の条件が必要です。条件に合致しない場合は、［その他スマートデバイスとつなぐ］から接続してください。詳しくは「関連情報」をご覧ください。

- iOS11以降
- QRコード読み取り時に標準カメラアプリを使用
- Epson iPrintバージョン 7.0以降

スマートデバイスからはEpson iPrintなどを使って印刷します。あらかじめ、スマートデバイスにEpson iPrintなどエプソンの印刷用アプリをインストールしてください。

参考　以下の作業はプリンターと接続したいデバイスで、1回だけ設定してください。Wi-Fi Directを無効にしたり、ネットワーク設定を初期の状態に戻したりしない限り、設定をし直す必要はありません。

1. ホーム画面で をタップします。

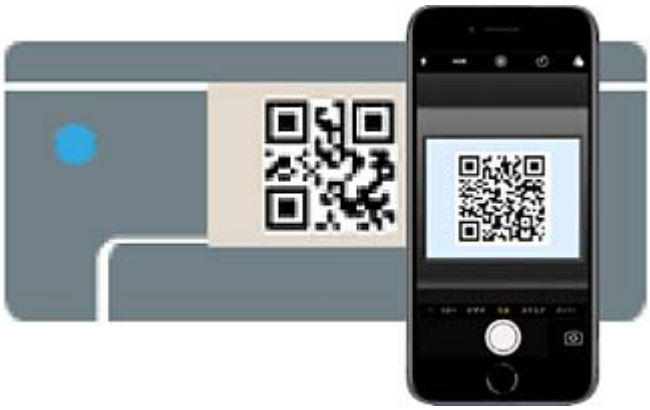
2. ［Wi-Fi Direct］をタップします。

3. ［設定に進む］をタップします。

4. ［iOSデバイスとつなぐ］をタップします。

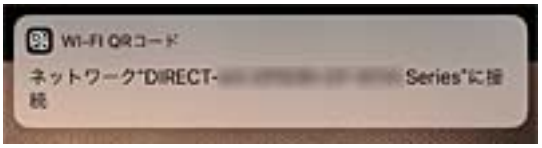
プリンターの画面上にQRコードが表示されます。

5. iPhone、iPad、iPod touchの標準カメラアプリを開き、プリンターの画面上のQRコードを写真モードで読み取ります。

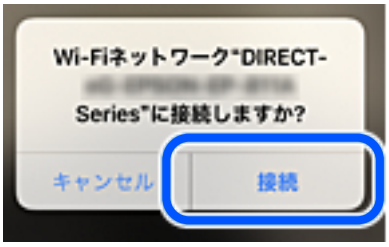


iOS11以降の標準カメラアプリを使ってください。iOS10以前の標準カメラアプリでは、プリンターの接続はできません。コード読み取り用のアプリを使っても、プリンターの接続はできません。接続できない場合は、［別の方法でつなぐ］を選択してください。詳しくは「関連情報」をご覧ください。

6. iPhone、iPad、iPod touchの画面に表示される通知をタップします。



7. ［接続］をタップします。



8. プリンターの画面で［次へ］を選択します。

9. iPhone、iPad、iPod touchでエプソンの印刷用アプリを開きます。
エプソンの印刷用アプリの例

Epson iPrint

10. エプソンの印刷用アプリの画面で［プリンター未設定］をタップします。

11. 接続するプリンターを選択します。

プリンターの画面に表示されている情報を参考にプリンターを選択してください。

12. プリンターの画面で［完了］を選択します。

一度接続設定をしたスマートデバイスから再度プリンターに接続する場合は、スマートデバイスのWi-Fi接続画面から、プリンターの接続名を選択して接続してください。

AndroidデバイスでWi-Fi Direct接続する

無線LANルーター（アクセスポイント）を介さず、直接プリンターとAndroidデバイスを接続する方法です。この接続をする場合は、以下の条件が必要です。

- Android 4.4以上
- Epson iPrintバージョン 7.0以降

スマートデバイスからはEpson iPrintを使って印刷します。あらかじめ、スマートデバイスにEpson iPrintをインストールしてください。

参考 以下の作業はプリンターと接続したいデバイスで、1回だけ設定してください。Wi-Fi Directを無効にしたり、ネットワーク設定を初期の状態に戻したりしない限り、設定をし直す必要はありません。

1. ホーム画面で をタップします。

2. ［Wi-Fi Direct］をタップします。

3. ［設定に進む］をタップします。

4. ［Androidデバイスとつなぐ］をタップします。

5. スマートデバイスでEpson iPrintを起動します。

6. エプソンの印刷用アプリの画面で［プリンター未設定］をタップします。

7. 接続するプリンターを選択します。
プリンターの画面に表示されている情報を参考にプリンターを選択してください。

参考 一部のAndroidデバイスではプリンターが表示されない場合があります。プリンターが表示されないときは、［その他スマートデバイスとつなぐ］から接続してください。詳しくは「関連情報」をご覧ください。

8. プリンターにデバイスの接続許可の画面が表示されたら［接続を許可］を選択します。

9. プリンターの画面で［完了］を選択します。

一度接続設定をしたスマートデバイスから再度プリンターに接続する場合は、スマートデバイスのWi-Fi接続画面から、プリンターの接続名を選択して接続してください。

iOS、Android以外のデバイスとWi-Fi Direct接続する

無線LANルーター（アクセスポイント）を介さず、直接プリンターと機器を接続する方法です。

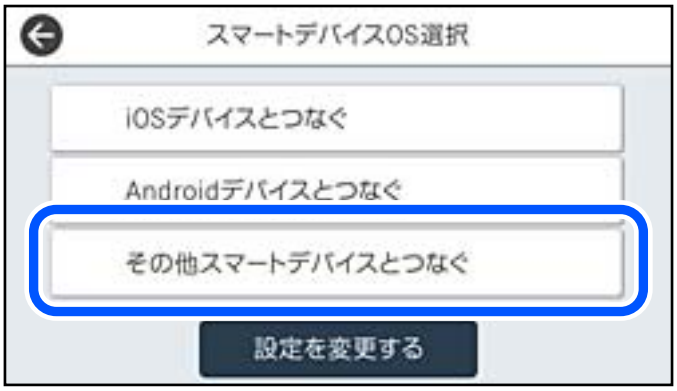
参考 以下の作業はプリンターと接続したいデバイスで、1回だけ設定してください。Wi-Fi Directを無効にしたり、ネットワーク設定を初期の状態に戻したりしない限り、設定をし直す必要はありません。

1. ホーム画面で をタップします。

2. ［Wi-Fi Direct］をタップします。

3. ［設定に進む］をタップします。

4. ［その他スマートデバイスとつなぐ］をタップします。



プリンターの画面にはWi-Fi Directの接続名(SSID)とパスワードが表示されます。

5. スマートデバイスのWi-Fi接続画面を表示し、プリンターの操作パネルに表示されたSSIDを選択して、パスワードを入力します。

6. プリンターの画面で［次へ］を選択します。

7. 印刷用アプリの画面で、接続するプリンターを選択します。
プリンターの画面に表示されている情報を参考にプリンターを選択してください。

8. プリンターの画面で［完了］を選択します。

一度接続設定をしたスマートデバイスから再度プリンターに接続する場合は、スマートデバイスのWi-Fi接続画面から、プリンターの接続名を選択して接続してください。

Wi-Fi Direct（シンプルAP）接続を切断する

Wi-Fi Direct（シンプルAP）接続を無効にする方法は、操作パネルから全ての接続を無効にする方法と、コンピューターやスマートデバイスからそれぞれの接続を無効にする方法があります。全ての接続を無効にしたい場合は、「関連情報」をご覧ください。

！重要 Wi-Fi Direct（シンプルAP）接続で複数のコンピューターやスマートデバイスがプリンターと接続されていた場合、Wi-Fi Direct（シンプルAP）接続を無効にすると、全ての接続が切断されます。

参考 特定の機器だけを切断したいときは、スマートデバイス側から接続を切断してください。以下の方法で、スマートデバイスからプリンターへのWi-Fi Direct接続を切断します。

- プリンターの接続名（SSID）とのWi-Fi接続を切断
- 他のネットワーク（SSID）に接続

Wi-Fi Direct（シンプルAP）のSSIDなどを変更する

Wi-Fi Direct（シンプルAP）が有効なとき、 - ［Wi-Fi Direct］ - ［設定に進む］ - ［設定を変更する］を選択すると、以下のメニューが表示され設定を変更できます。

接続名を変更する

プリンターに接続するWi-Fi Direct（シンプルAP）の接続名（SSID）を任意の値に変更します。接続名（SSID）に設定できるのは、操作パネルのソフトキーボードに表示されたASCII文字です。22文字以内で入力してください。
接続名（SSID）を変更すると接続しているデバイスは全て切断されます。接続名を変更した場合は、接続する機器から新しい接続名（SSID）で接続し直してください。

パスワードを変更する

プリンターに接続するWi-Fi Direct（シンプルAP）のパスワードを変更します。パスワードに設定できるのは、操作パネルのソフトキーボードに表示されたASCII文字です。8～22文字以内で入力してください。
パスワードを変更すると接続しているデバイスは全て切断されます。パスワードを変更した場合は、接続する機器から新しいパスワードで接続し直してください。

周波数帯を変更する

プリンターに接続するWi-Fi Direct（シンプルAP）の周波数帯を変更します。2.4GHzまたは5GHzに設定できます。
周波数帯を変更すると接続しているデバイスは全て切断されます。再度接続してください。
周波数帯を5GHzに設定した場合、5GHz非対応のデバイスからは再接続できなくなります。

Wi-Fi Directを無効にする

Wi-Fi Direct（シンプルAP）を無効にします。無効にすると接続しているデバイスは全て切断されます。

初期設定に戻す

Wi-Fi Direct（シンプルAP）設定の全てを購入時の設定に戻します。
また、プリンターが保持しているスマートデバイスのWi-Fi Direct機能を使った接続情報の登録を削除します。

参考 以下の設定項目は、Web Configの［ネットワーク］ タブ - ［Wi-Fi Direct］からも設定できます。

- Wi-Fi Direct（シンプルAP）を有効または無効にする
- ネットワーク名（SSID）を変更する
- パスワードを変更する
- 周波数帯を変更する
- Wi-Fi Direct（シンプルAP）の設定を初期の状態に戻す

関連情報

➡ 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」432ページ

ネットワーク接続状態の確認

ネットワーク接続状態を確認するには、いくつかの方法があります。

関連情報

➡ 「操作パネルでのネットワーク接続状態の確認」306ページ
➡ 「ネットワーク接続診断レポートを印刷する」307ページ

操作パネルでのネットワーク接続状態の確認

操作パネルに表示されるネットワークアイコンやネットワーク情報で接続状態を確認できます。

ネットワークアイコンで接続状態を確認する

プリンターのホーム画面にあるネットワークアイコンでネットワークの接続状態と電波強度を確認できます。

操作パネルにネットワーク状態を表示する

プリンターがネットワーク接続されていると、確認したい項目を選択することでその他ネットワーク関連の情報も確認できます。

1. ホーム画面で［設定］を選択します。

2. ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］を選択します。

3. 確認したいメニューを選択します。
   - 有線・無線接続状態
     有線または無線接続時のネットワーク情報（デバイス名、接続状態、電波状態など）が表示されます。
   - Wi-Fi Direct接続状態
     Wi-Fi Directの有効状態、SSID、パスワードなどが表示されます。
   - メールサーバー設定情報
     メールサーバーのネットワーク情報が表示されます。
   - ステータスシート印刷
     ネットワークステータスシートを印刷します。有線、無線、Wi-Fi Directの情報が複数枚印刷されます。

ネットワーク接続診断レポートを印刷する

プリンターと無線LANルーター（アクセスポイント）の接続状態を確認するために、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。

1. プリンターのホーム画面で［設定］を選択します。

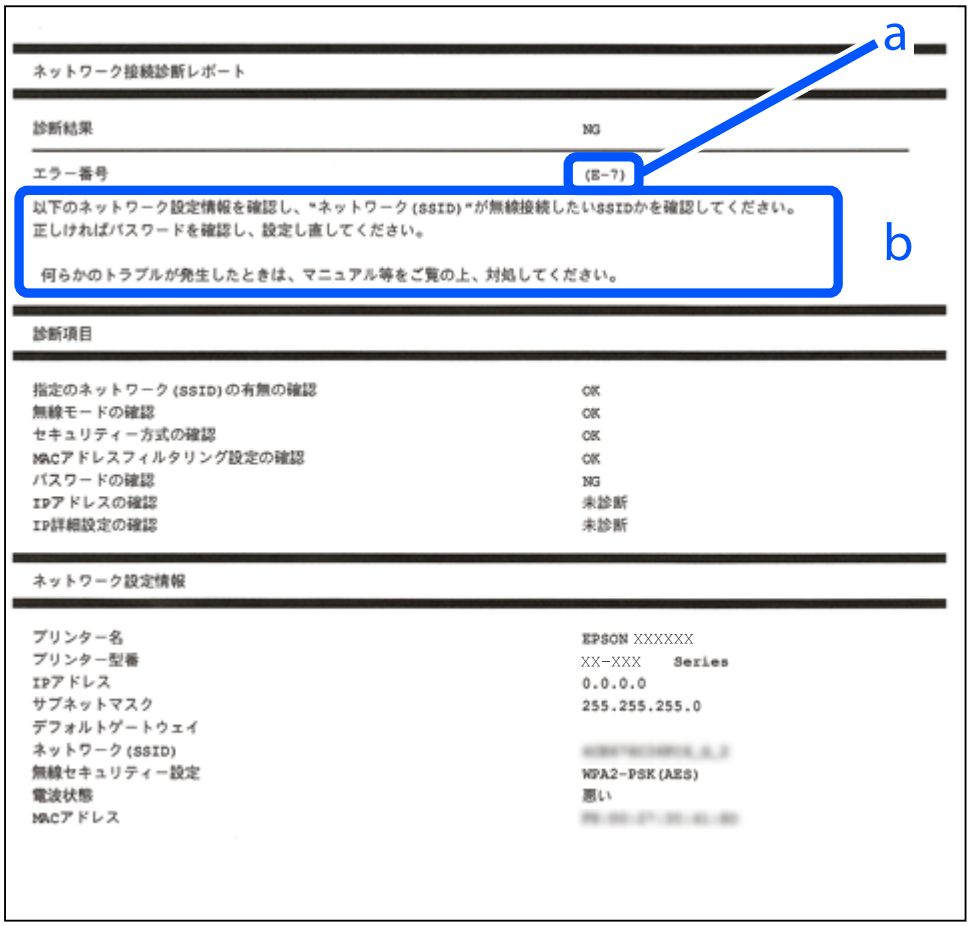
2. ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［接続診断］を選択します。
   診断が始まります。

3. ［接続診断結果を印刷する］を選択します。

4. ネットワーク接続診断レポートを印刷します。
   エラーがある場合はネットワーク接続診断レポートの内容を確認して対処してください。

ネットワーク接続診断レポートの見方と対処方法

ネットワーク接続診断レポートのメッセージとエラー番号を確認して対処してください。



a. エラー番号
b. ネットワーク環境に関するメッセージ

関連情報

- 「E-1」309ページ
- 「E-2, E-3, E-7」309ページ
- 「E-5」310ページ
- 「E-6」310ページ
- 「E-8」310ページ
- 「E-9」311ページ
- 「E-10」311ページ
- 「E-11」311ページ
- 「E-12」312ページ
- 「E-13」312ページ

E-1

対処方法：

- LAN ケーブルが、プリンターやハブなどのネットワーク機器にしっかり差し込まれているか確認してください。
- ハブなどのネットワーク機器の電源が入っているか確認してください。
- プリンターを無線LAN（Wi-Fi）で使用したい場合は、プリンターの無線LANが有効になっていないため、無線LAN接続設定をやり直してください。

E-2, E-3, E-7

対処方法：

- 無線LANルーターの電源が入っているか確認してください。
- コンピューターやその他の機器が無線LANルーターと正常に通信できているか確認してください。
- 無線LANルーターの電源を切ります。10秒くらい待ってから、電源を入れてください。
- プリンターと無線LANルーターは近くに置き、間にある障害物は取り除いてください。
- SSIDを直接入力したときは、入力したSSIDが正しいかを確認してください。SSIDはネットワーク接続診断レポートの［ネットワーク設定情報］で確認できます。
- 1つの無線LANルーターに複数のSSIDが存在する場合、表示されたSSIDから選択してください。SSIDが非対応の周波数を使用していると、SSIDは表示されません。
- プッシュボタンを使った自動設定をする場合は、お使いの無線LANルーターがWPSに対応しているか確認してください。WPSに対応していないときは、プッシュボタンを使った自動設定はできません。
- SSIDにASCII文字（半角英数字、記号）以外の文字列が使われていないか確認してください。プリンターは、ASCII文字以外の文字列が含まれたSSIDは表示できません。
- 無線LANルーターに接続する場合は、SSIDとパスワードを事前に確認してください。無線LANルーターをメーカー設定値のまま使用している場合は、ラベルなどに書かれているSSIDとパスワードが設定されています。SSIDとパスワードがわからない場合は無線LANルーターを設定した人に確認するか、無線LANルーターのマニュアルをご覧ください。
- スマートデバイスなどのテザリング機能で生成したSSIDに接続したい場合は、スマートデバイスのマニュアルなどでSSIDとパスワードを確認してください。
- 無線LAN（Wi-Fi）で突然接続できなくなった場合は、以下を確認してください。どれかに当てはまる場合は、以下のウェブサイトでインストーラーをダウンロードして、ネットワーク設定をやり直してください。
  http://epson.sn-［セットアップ］
  - お使いのネットワーク環境に、新たに別のスマートデバイスからプッシュボタン自動設定（AOSS／WPS）で設定したか
  - この無線LAN（Wi-Fi）ネットワークは、プッシュボタン自動設定以外の方法で設定されたか
  - 株式会社バッファロー製の無線LANルーターで、プッシュボタンで設定（AOSS）できるタイプを使っているか

関連情報

➡「コンピューターとの接続設定をする」292ページ
➡「操作パネルから無線LAN（Wi-Fi）接続する」295ページ

E-5

対処方法：

無線LANルーターが以下のいずれかのセキュリティー方式になっているかを確認してください。なっていない場合は、以下のセキュリティー方式を使用するよう無線LANルーターの設定を変更し、プリンターのネットワーク設定をし直してください。

- WEP-64 bit (40 bit)
- WEP-128 bit (104 bit)
- WPA PSK (TKIP/AES)*
- WPA2 PSK (TKIP/AES)*
- WPA (TKIP/AES)
- WPA2 (TKIP/AES)
- WPA3-SAE (AES)
- WPA2/WPA3-Enterprise

* WPA PSKはWPA Personal、WPA2 PSKはWPA2 Personalとも呼ばれます。

E-6

対処方法：

- MACアドレスフィルタリングが無効になっていることを確認してください。有効の場合は、プリンターのMACアドレスを登録して、フィルタリングされないようにしてください。詳しくは無線LANルーターのマニュアルをご覧ください。プリンターのMACアドレスはネットワーク接続診断レポートの［ネットワーク設定情報］で確認できます。
- 無線LANルーターのWEPセキュリティー方式でShared認証が有効になっている場合は、認証キーおよびインデックスが正しいことを確認してください。
- 無線LANルーターに設定されている同時接続可能な機器数が、接続するネットワーク機器の台数より少ない場合は、接続できる数を増やしてください。設定方法は、無線LANルーターのマニュアルをご覧ください。

関連情報

➡ 「ネットワーク接続診断レポートを印刷する」307ページ
➡ 「コンピューターとの接続設定をする」292ページ

E-8

対処方法：

- プリンターの TCP/IP 設定を自動にしているときは、無線LANルーターのDHCPを有効にしてください。
- プリンターの TCP/IP 設定を手動設定にしているときは、手動で設定したIPアドレスが有効範囲外（0.0.0.0 など）のため、無効になっています。有効なIPアドレスをプリンターの操作パネルから設定してください。

関連情報

➡ 「ネットワーク設定」380ページ

E-9

対処方法：

以下を確認してください。

- プリンターを利用する機器の電源が入っているか
- プリンターを利用する機器から、インターネットへのアクセスや同じネットワーク上の、他のコンピューター、ネットワーク機器にアクセスできるか

上記を確認してもプリンターと他のネットワーク機器が接続できない場合は、無線LANルーターの電源を切ります。10秒くらい待ってから、電源を入れてください。続いて、以下のウェブサイトでインストーラーをダウンロードして、ネットワーク設定をやり直してください。
http://epson.sn-［セットアップ］

関連情報

➡「コンピューターとの接続設定をする」292ページ

E-10

対処方法：

以下を確認してください。

- ネットワーク上の他の機器の電源が入っているか
- プリンターのTCP/IP設定を手動にしているときは、ネットワークアドレス（IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ）が正しいか

ネットワークアドレスが間違っている場合は、設定し直してください。IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイはネットワーク接続診断レポートの［ネットワーク設定情報］で確認できます。
DHCPを有効にしているときは、プリンターのTCP/IP設定でIPアドレスを自動にしてください。IPアドレスを手動で設定したい場合は、ネットワーク接続診断レポートの［ネットワーク設定情報］でプリンターのIPアドレスを確認し、プリンターのネットワーク設定画面で手動を選択して、設定してください。サブネットマスクは「255.255.255.0」に設定してください。
それでもプリンターと他のネットワーク機器が接続できない場合は、無線LANルーターの電源を切ります。10秒くらい待ってから、電源を入れてください。

関連情報

➡「ネットワーク接続診断レポートを印刷する」307ページ
➡「ネットワーク設定」380ページ

E-11

対処方法：

以下を確認してください。

- プリンターのTCP/IP設定を手動設定にしたときは、プリンターに設定されたデフォルトゲートウェイのアドレスが正しいか
- デフォルトゲートウェイに指定した機器の電源が入っているか

デフォルトゲートウェイのアドレスを正しく設定してください。プリンターのデフォルトゲートウェイのアドレスはネットワーク接続診断レポートの［ネットワーク設定情報］で確認できます。

関連情報

➡ 「ネットワーク接続診断レポートを印刷する」307ページ
➡ 「ネットワーク設定」380ページ

E-12

対処方法：

以下を確認してください。

- ネットワーク上の他の機器の電源が入っているか
- 手動で設定したプリンターのネットワークアドレス（IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ）が正しいか
- 他の機器のネットワークアドレス（サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ）が同一になっているか
- 他の機器のIPアドレスと重複していないか

上記を確認してもプリンターと他のネットワーク機器が接続できない場合は、以下の対処を試してみてください。

- 無線LANルーターの電源を切ります。10秒くらい待ってから、電源を入れます。
- インストーラーを使って、ネットワーク設定をやり直してください。インストーラーは以下のウェブサイトから起動できます。
  http://epson.sn-［セットアップ］
- セキュリティータイプ「WEP」は、無線LANルーターに複数のセキュリティーキーを登録できます。複数のキーが登録されているときは、最初（1番目）のインデックスのセキュリティーキーがプリンターに設定されているかを確認してください。

関連情報

➡ 「ネットワーク設定」380ページ
➡ 「コンピューターとの接続設定をする」292ページ

E-13

対処方法：

以下を確認してください。

- ネットワーク機器（無線LANルーター、ハブ、ルーターなど）の電源が入っているか
- プリンター以外のネットワーク機器が手動でTCP/IP設定されていないか。（他のネットワーク機器のTCP/IP設定が手動で、プリンターのTCP/IP設定のみ自動設定になっていると、プリンターだけが異なるネットワークになってしまう可能性があります。）

問題がないときは、以下をお試しください。

- 無線LANルーターの電源を切ります。10秒くらい待ってから、電源を入れます。

- プリンターと同じネットワーク上のコンピューターで、インストーラーを使ってネットワーク設定をし直してください。インストーラーは以下のウェブサイトから起動できます。
  http://epson.sn-［セットアップ］
- セキュリティータイプ「WEP」は、無線LANルーターに複数のセキュリティーキーを登録できます。複数のキーが登録されているときは、最初（1番目）のインデックスのセキュリティーキーがプリンターに設定されているかを確認してください。

関連情報

➡ 「ネットワーク設定」380ページ
➡ 「コンピューターとの接続設定をする」292ページ

ネットワーク環境に関するメッセージ

メッセージ	対処方法
*無線環境の改善が必要です。 アクセスポイントの電源を入れ直してください。 それでも解消しないときはアクセスポイントのマニュアルをご覧ください。	プリンターを無線LANルーターの近くに移動し、機器間にある障害物を取り除いてから無線LANルーターの電源を入れ直します。10秒くらい待ってから、電源を入れてください。それでも接続できない場合は、無線LANルーターのマニュアルをご覧ください。
*無線接続が可能な機器数の上限に達しています。 機器を追加したいときは、他の機器の接続を解除してください。	Wi-Fi Direct（シンプルAP）接続で同時接続できる無線機器が最大限接続されています。他のコンピューターやスマートデバイスを追加するには、プリンターを使用していないコンピューターやスマートデバイスの接続を解除するか他のネットワークに接続させてから追加してください。 同時接続できる無線機器の台数と接続されている台数は、プリンターの操作パネルまたはネットワークステータスシートで確認できます。
周囲にWi-Fi Directと重複するSSIDが存在します。 スマートデバイス(無線機器)をプリンターに接続できないときは、 Wi-Fi DirectのSSIDを変更してください。	プリンターの操作パネルからWi-Fi Direct設定の画面を表示し、設定を変更するメニューから接続名を変更してください。接続名はDIRECT-XX-の後に続く文字列を変更できます。半角22文字以内で入力します。

ネットワークステータスシートを印刷する

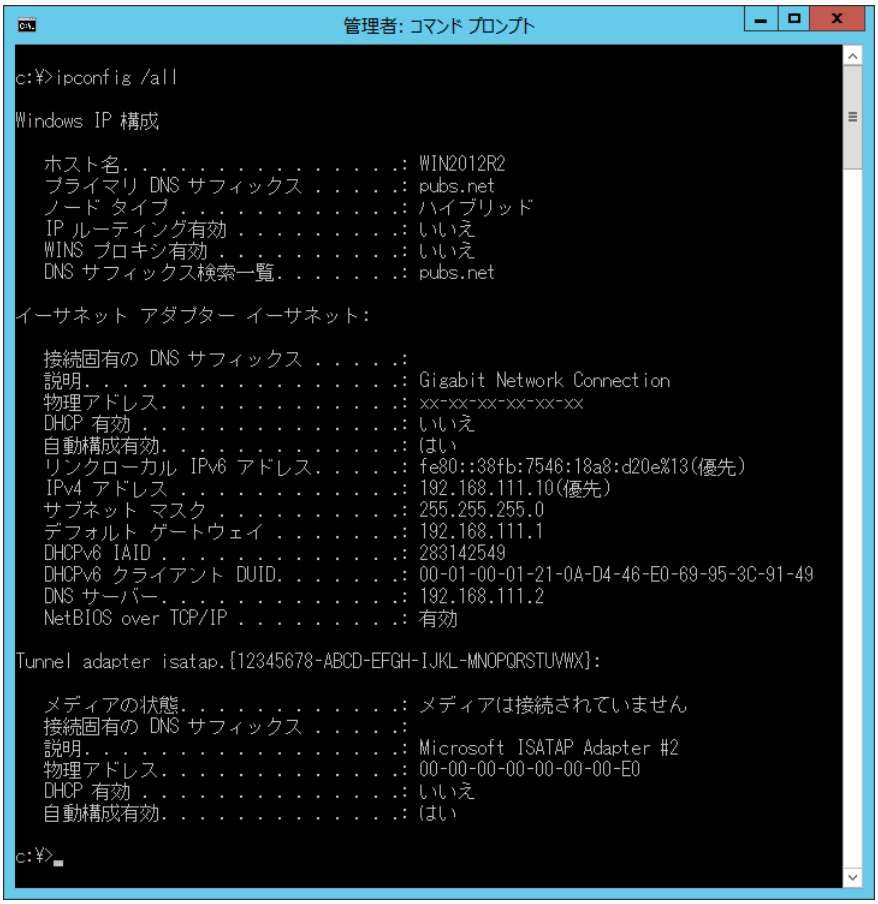
ネットワークステータスシートを印刷すると、プリンターのネットワーク情報や状態を確認できます。

1. プリンターのホーム画面で［設定］を選択します。
2. ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］を選択します。
3. ［ステータスシート印刷］を選択します。
4. メッセージを確認して、ネットワークステータスシートを印刷します。

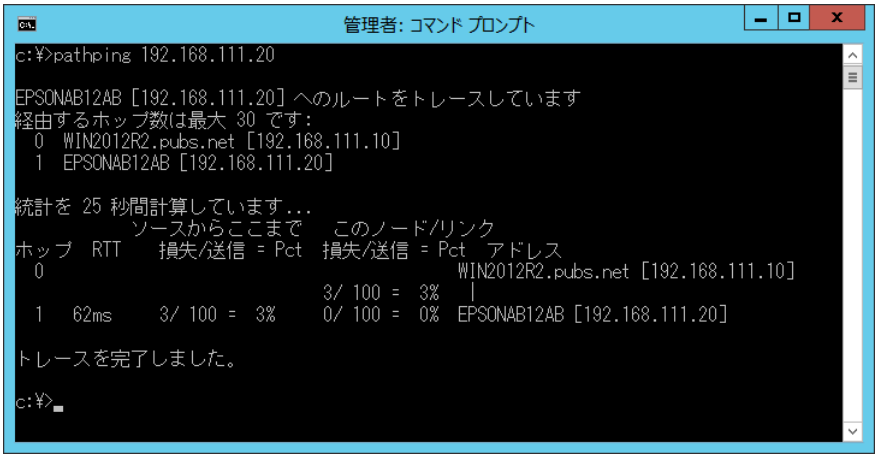
コンピューターのネットワークを確認する (Windowsのみ)

Windowsのコマンドプロンプトからコマンドを使って、コンピューターの接続情報やプリンターとの接続経路などを確認します。トラブル解決につながります。

- ipconfigコマンド
  コンピューターが現在使用しているネットワークインターフェイスの接続状況を表示します。
  実際に通信している情報と設定情報の差がないかを比較して、正常に接続されているかを確認できます。同じネットワークに複数のDHCPサーバーがあるような場合、コンピューターに割り当てられている実際のアドレスや、参照しているDNSサーバーなどを知ることができます。
  - 書式：ipconfig /all
  - 例：



- pathpingコマンド
  宛先ホストまでに通過するルーターのリストや通信のルーティングを確認できます。
  - 書式：pathping xxx.xxx.xxx.xxx
  - 例：pathping 192.0.2.222



オプションの使い方

オプション一覧 317

オプションを取り付けるときのご注意 318

オプションの取り付け状態を確認する 319

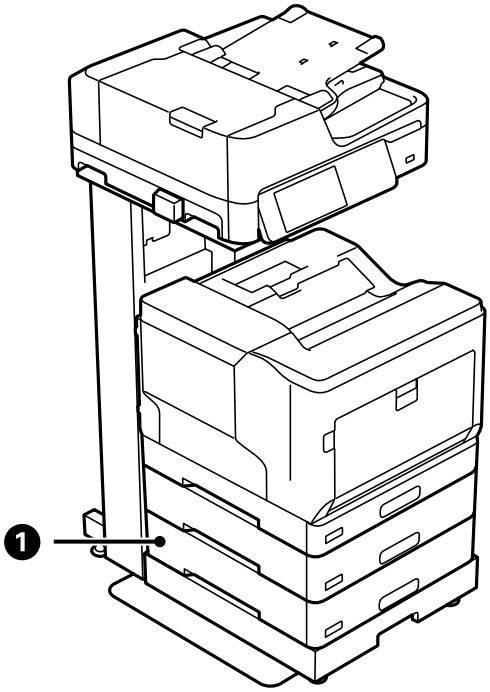
増設カセットユニット 319

PS3対応ROM 321

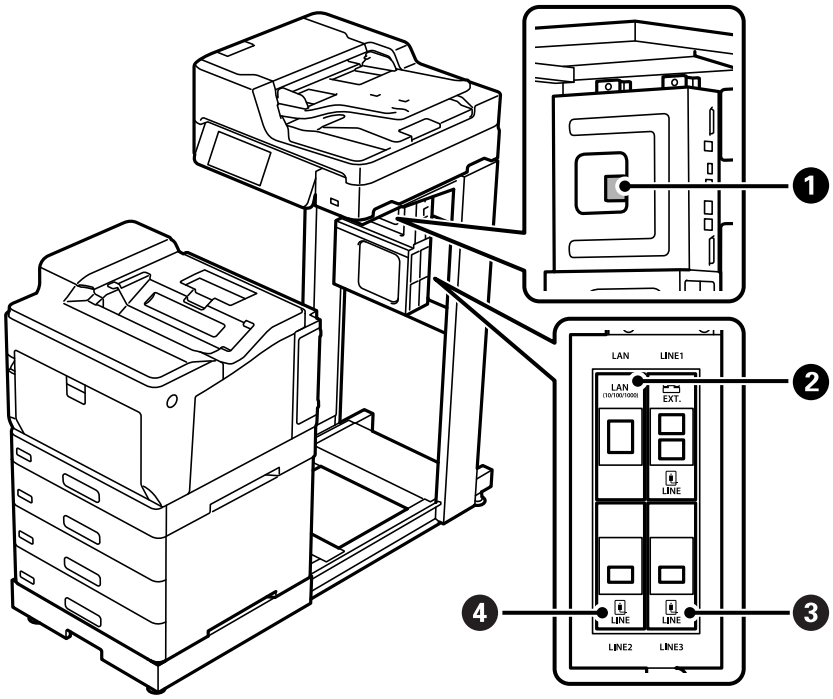
増設G3ファクスボード 343

増設ネットワークインターフェイスボード 350

オプション一覧



No.	名称	型番	説明
❶	増設1段カセットユニット	LPA3CZ1C14	増設1段カセットユニットを1段増設できます。 増設1段カセットユニットは各段に普通紙（64g/m^2）を670枚セットできます。 「増設カセットユニット」319ページ



No.	名称	型番	説明
❶	PS3対応ROM	LPPSROM07	オプションでPS3対応ROM を増設できます。 PS3対応ROMはPostScript対応プリンターとして使用するためのROM モジュールです。 「PS3対応ROM」321ページ
❷	増設ネットワークインターフェイスボード	PR3NW1	有線LANを2回線利用できるようになります。通信速度が1ギガビット/秒に対応する高速のインターフェイスです 「増設ネットワークインターフェイスボード」350ページ
❸ ❹	増設G3ファクスボード	PR3FB1	ファクスとして使用したり、パソコンで原稿を送受信できるネットワークファクスとして使用することができます。LP-M8180F のみ対応しています。 最大2回線増設できます。 ファクスボードを増設すると複数の電話回線に接続できるため、多くの相手先に短時間で送信したり、1回線を受信専用にして、着信できない時間を減らしたりできます。* *：　外付け電話機は不可 「増設G3ファクスボード」343ページ

オプションを取り付けるときのご注意

コインまたはプラスドライバーをあらかじめ用意してください。
オプションは取り付け前に損傷のないことを確認してください。万一、足りないものがある場合や損傷している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

⚠警告　マニュアルで指示されている箇所以外の分解は行わないでください。安全装置が損傷し、レーザー光漏れ、定着ユニットの異常加熱、高圧部での感電など事故のおそれがあります。

⚠注意
- プリンターを持ち上げるときは、無理のない姿勢で作業してください。無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。
- プリンターは重いので、1人で運ばないでください。開梱や移動の際は2人以上で運んでください。
- 各種ケーブルやオプションを取り付けるときは、取り付ける向きや手順を間違えないでください。火災やけがのおそれがあります。マニュアルの指示に従って、正しく取り付けてください。

!重要　⏻ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。電源が切れるまで、電源プラグを抜かないでください。プリンターが損傷するおそれがあります。

オプションの取り付け状態を確認する

オプションが正しく取り付けられているか「プリンター情報シート」を印刷して確認します。

1. プリンターの操作パネルで［設定］を選択します。

2. ［情報確認/印刷］ - ［本体ステータスシートの印刷］ - ［プリンター情報シート］の順に選択します。

3. ［印刷開始］を選択します。
   両面で印刷するときは［両面印刷］を選択してください。

プリンター情報シートの見方はセットアップガイドをご覧ください。

増設カセットユニット

増設カセットユニットをプリンターに取り付ける

増設カセットユニットの取り付け方はセットアップガイドをご覧ください。

プリンタードライバーで増設カセットユニットを設定する

増設したカセットユニットは、プリンタードライバーに情報を取得させないと使用できません。

プリンタードライバーで増設カセットユニットを設定する - Windows

参考 管理者権限のあるアカウント（ユーザー）でコンピューターにログオンしてください。

1. コンピューターでプリンターの一覧を表示します。
   - Windows 10/Windows Server 2016
     スタートボタンをクリックし、［Windows システムツール］-［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。

- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
  ［デスクトップ］-［設定］-［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］ の順に選択します。
- Windows 7/Windows Server 2008 R2
  スタートボタンをクリックし、［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。
- Windows Vista/Windows Server 2008
  スタートボタンをクリックし、［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］の順に選択します。
- Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
  スタートボタンをクリックし、［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］の順に選択します。

2. お使いのプリンターを右クリックまたは長押しし、［プリンターのプロパティ］または［プロパティ］を選択して、［オプション設定］タブをクリックします。

3. ［プリンターから取得］を選択して［取得］をクリックします。
   ［現在のプリンター情報］に［オプション給紙装置］が表示されます。

4. ［OK］をクリックします。

プリンタードライバーで増設カセットユニットを設定する - Mac OS

1. アップルメニューの［システム環境設定］-［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。［オプションとサプライ］-［オプション］（または［ドライバ］）の順にクリックします。

2. 用紙カセットの段数に合わせて［用紙カセット］を設定します。

3. ［OK］をクリックします。

増設カセットユニット使用時のトラブル

増設カセットユニットから給紙できない

カセットユニットを増設したときは、プリンタードライバーで給紙装置追加の設定をしてください。

増設カセットユニットの仕様

対応用紙	種類	普通紙、再生紙、厚紙
	サイズ	A5, A4, A3, B5, B4, Letter, Legal
	紙厚（坪量）	60～175 g/m²
セット可能枚数	最大670枚	
外形寸法*	• 幅：500mm • 奥行き：524mm • 高さ：164mm	
質量：	約9.6kg	

*　　：凸部を含む

PS3対応ROM

PS3対応ROMを取り付ける

PS3対応ROMの取り付け方はセットアップガイドをご覧ください。

PostScriptプリンタードライバーをインストールする

PostScriptプリンタードライバーをインストールする - Windows

1. 以下のいずれかの方法でインストールを開始します。
   - **オプションのPS3対応ROMに付属のソフトウェアディスクを使用する**
     ソフトウェアディスクをコンピューターにセットし、画面の指示に従ってインストールします。
   - **ウェブサイトからダウンロードする**
     以下からお使いの機種のページにアクセスし、PostScriptプリンタードライバー（またはクライアントPPDファイル）をダウンロードして、実行ファイルを起動してください。
     www.epson.jp/support/
2. お使いの機種を選択します。
3. 画面の指示に従って操作します。

4. 接続方法を、ネットワーク接続またはUSB接続から選択します。
   - **ネットワーク接続の場合**
     同じネットワークに接続されているプリンターが表示されます。
     使いたいプリンターを選択してください。
   - **USB接続の場合**
     画面の指示に従ってプリンターとコンピューターを接続してください。

5. 以降は画面の指示に従ってドライバーをインストールします。

PostScriptプリンタードライバーをインストールする -Mac OS

以下のウェブサイトからプリンタードライバーをダウンロードして、インストールします。
www.epson.jp/support/
インストール時にプリンターのIPアドレスが必要です。
ホーム画面でネットワークアイコンから接続済みのネットワークを選択し、IPアドレスを確認します。

PostScriptプリンタードライバーを使って文書を印刷する（Windows）

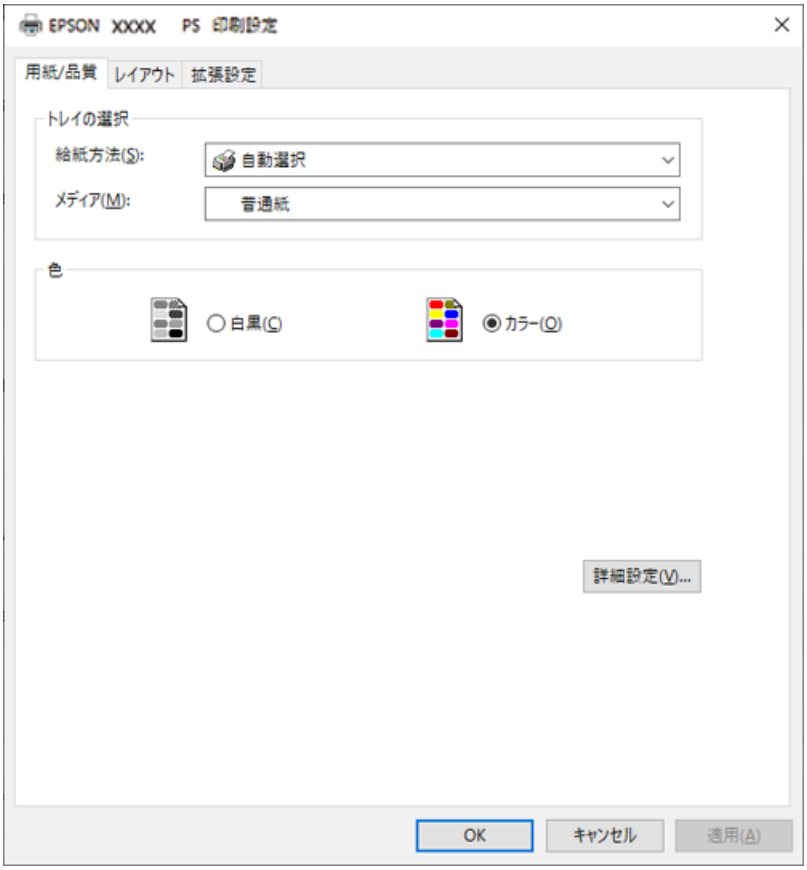
PostScriptプリンタードライバーはPostScript（ページ記述言語）を使って出力するドライバーです。

1. 印刷するファイルを開きます。
   プリンターに用紙がセットされていなければセットしてください。

2. ［ファイル］メニューの［プリント］（または［印刷設定］など）を選択してプリント画面を表示します。

3. プリンターを選択します。

4. ［プロパティ］（または［詳細設定］など）をクリックして、プリンタードライバー（詳細な印刷設定）の画面を表示します。



5. 必要に応じて設定を変更します。
各項目の詳細は、プリンタードライバーのメニュー説明をご覧ください。

6. ［OK］をクリックしてプリンタードライバーの詳細画面を閉じます。

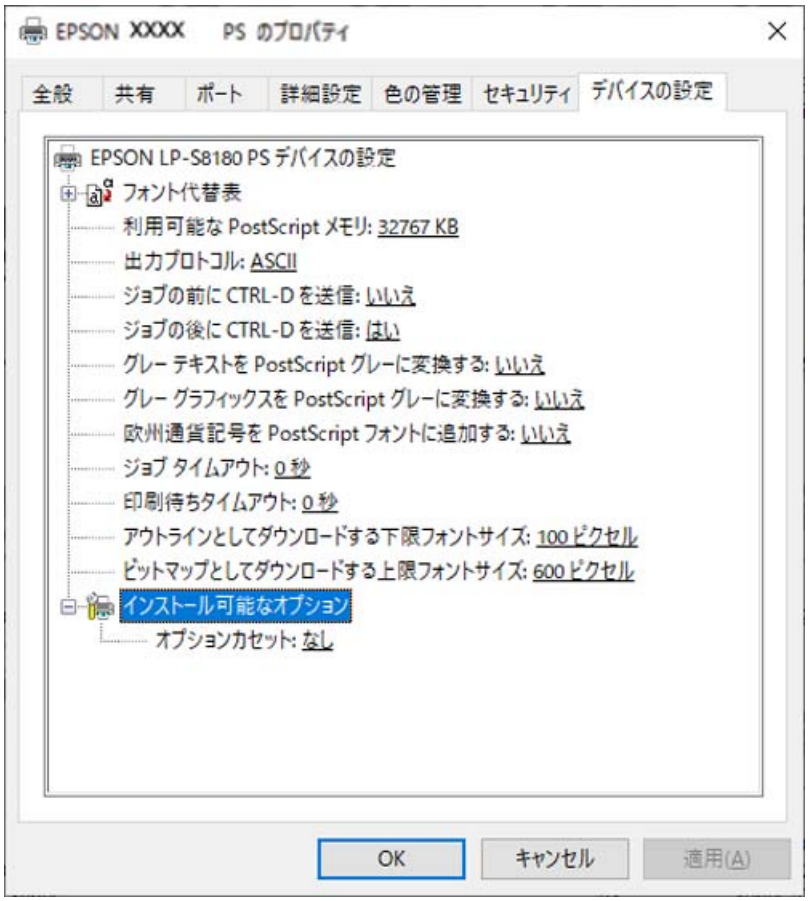
7. ［印刷］をクリックします。

関連情報

➡ 「印刷できる用紙とセット枚数」360ページ
➡ 「用紙のセット」34ページ
➡ 「用紙/品質タブ」325ページ
➡ 「レイアウトタブ」326ページ

PostScriptプリンタードライバーでオプション装置を使用する

オプション装置を使用するには、デバイスの設定が必要です。



設定

- Windows 10/Windows Server 2019/Windows Server 2016
  スタートボタンをクリックして、［Windows システムツール］-［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックまたは長押しし、［プリンターのプロパティ］を選択します。［デバイスの設定］タブの［インストール可能なオプション］でオプション装置を選択します。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
  ［デスクトップ］-［設定］-［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］を選択します。お使いのプリンターを右クリックまたは長押しし、［プリンターのプロパティ］を選択します。［デバイスの設定］タブの［インストール可能なオプション］でオプション装置を選択します。
- Windows 7/Windows Server 2008 R2
  スタートボタンをクリックして［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］を選択します。お使いのプリンターを右クリックして［プリンターのプロパティ］を選択します。［デバイスの設定］タブの［インストール可能なオプション］でオプション装置を選択します。
- Windows Vista/Windows Server 2008
  スタートボタンをクリックして［コントロールパネル］-［プリンター］-［ハードウェアとサウンド］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックして［プロパティ］を選択します。［デバイスの設定］タブの［インストール可能なオプション］でオプション装置を選択します。

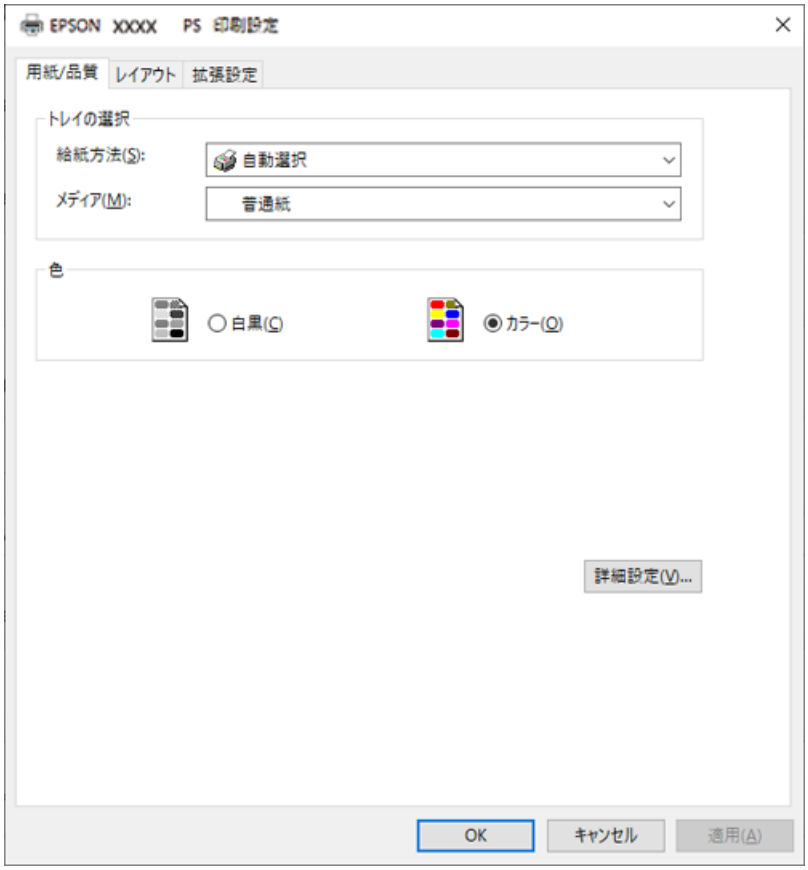
- Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
  スタートボタンをクリックして［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックして［プロパティ］を選択します。［デバイスの設定］タブの［インストール可能なオプション］でオプション装置を選択します。

PostScriptプリンタードライバーのメニュー説明

アプリケーションソフトの印刷画面を開き、プリンターを選択して印刷設定画面を表示します。

参考　項目は選択した内容によって異なります。

用紙/品質タブ



トレイの選択：

給紙方法とメディアを選択します。

給紙方法：

どの給紙装置から給紙するかを選択します。
［自動選択］にしておくと、プリンターの［用紙設定］と一致する給紙装置を自動で選択します。

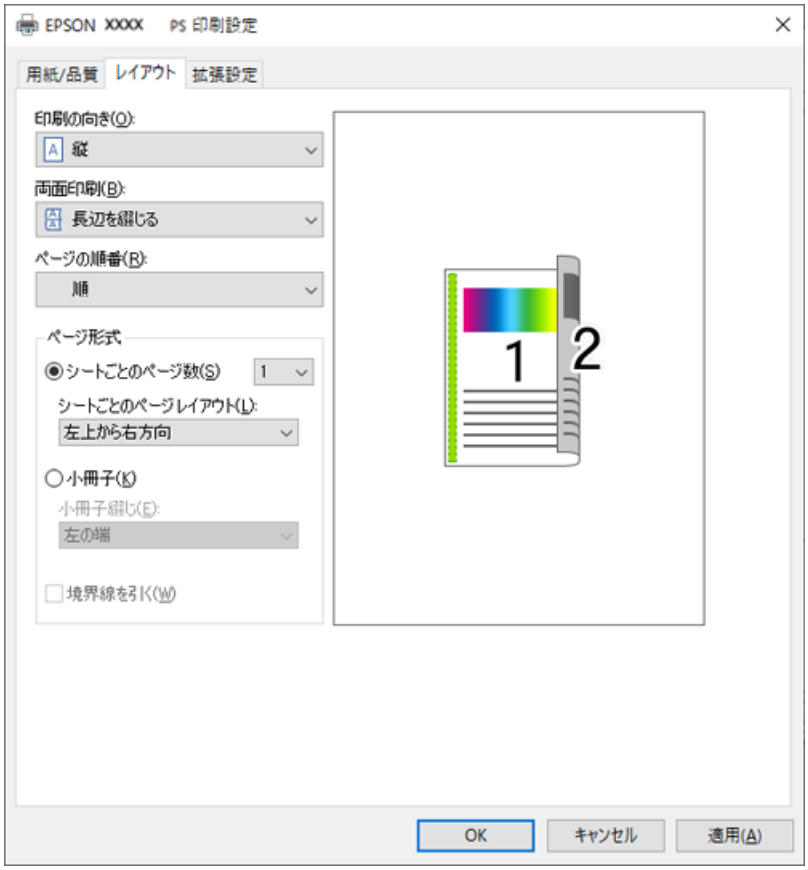
メディア：

印刷する用紙の種類を選択します。［指定しない］を選択すると、プリンターの給紙装置設定で、用紙種類を以下に設定した給紙装置から印刷されます。
普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき、プレプリント、上質紙、厚紙1(106～163g/m²)、厚紙2(164～216g/m²)、ラベル、コート紙、ハガキ、封筒、ユーザー専用紙
ただし、プリンターの［給紙口自動選択］で給紙装置がオフになっている給紙装置からは給紙されません。

色：

印刷する色を選択します。

レイアウトタブ



印刷の向き：

データを印刷する向きを選択します。

両面印刷：

両面印刷を有効にします。

ページの順番：

複数ページのデータを、最初のページか最後のページから印刷するかを選択します。

ページ形式：

シートごとのページ数：

シートごとのページレイアウト：
割り付け印刷時のページの配置順が設定できます。

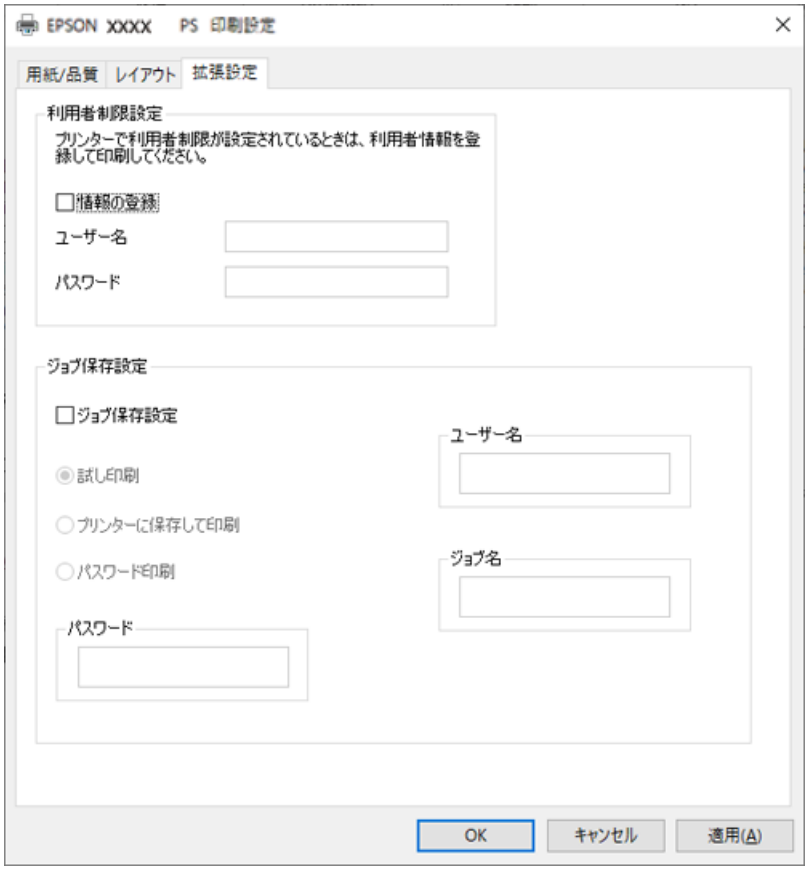
小冊子：

小冊子綴じ：
冊子を作成するときのとじる位置を選択します。

境界線を引く：

1枚の用紙に複数のページを印刷するときや冊子を作成するとき、ページごとに枠線を入れたい場合に選択します。

拡張設定タブ



利用者制限設定：

管理者によってプリンターの使用が制限されている場合は、プリンタードライバーに許可されているユーザー名とパスワードを登録すると印刷できます。ログオン情報はプリンターの管理者に確認してください。

情報の登録：

ユーザー名とパスワードの入力を有効にします。

ユーザー名：

ユーザー名を入力します。

パスワード：

ファイルに設定されているパスワードを入力します。

ジョブ保存設定：

印刷データをプリンターのメモリーに保存して印刷するかどうかを選択します。

ジョブ保存設定：

［ジョブ保存設定］と、［試し印刷］、［プリンターに保存して印刷］、［パスワード印刷］の選択を有効にします。

試し印刷：

複数部印刷するときに、最初の1部だけを印刷して内容を確認することができます。プリンターの操作パネルを操作することで、2部目以降を印刷します。

プリンターに保存して印刷：

印刷したデータをプリンターのメモリーに保存できます。プリンターの操作パネルを操作して再印刷します。

パスワード印刷：

［パスワード印刷］を選択してパスワードを入力します。プリンターの操作パネルでパスワードを入力するまで印刷されません。

パスワード：

パスワード印刷のパスワードを入力します。

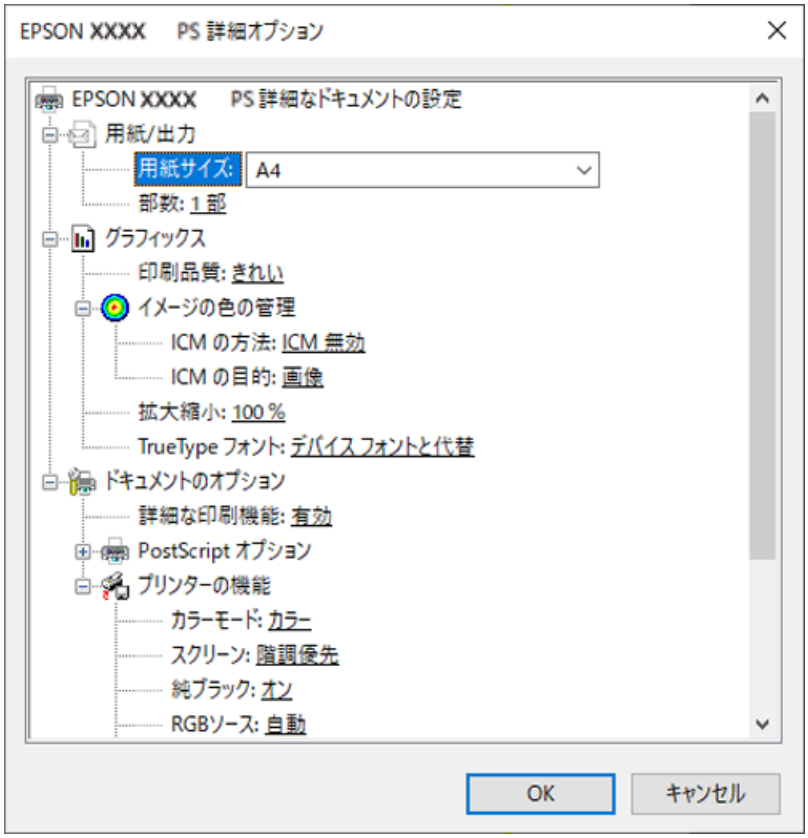
ユーザー名：

ユーザー名を入力します。

ジョブ名：

ジョブ名を入力します。

詳細設定メニュー



用紙/出力：

用紙サイズと部数を選択します。

用紙サイズ：

出力する用紙サイズを選択します。

部数：

印刷する部数を設定します。

グラフィックス：

次のメニューを設定します。

印刷品質：

印刷したい品質を選択します。

イメージの色の管理：

ICMの方法や目的を選択します。

拡大縮小：

拡大、縮小印刷を有効にします。

TrueType フォント：

フォント代替処理をTrueTypeフォントに設定します。

ドキュメントのオプション：

詳細な印刷機能：

有効にすると詳細な印刷機能が設定できます。

PostScriptオプション：

オプションの設定ができます。

プリンターの機能：

次のメニューを設定します。

カラーモード：

カラー印刷かモノクロ印刷かを選択します。

スクリーン：

階調の再現性を優先するか、または解像度を上げることを優先するか選択します。

純ブラック：

ブラックトナーのみで印刷するか、しないかの設定をします。

RGBソース：

RGB色空間をCMYK印刷でシミュレートする場合に、補正するRGB色を選択できます。

CMYKシミュレーション：

オフセット印刷機のCMYK色を再現して印刷する場合に、シミュレーションするCMYKの色を選択できます。

RIT：

斜線や曲線などのギザギザをなめらかに印刷するエプソン独自の輪郭補正（RIT）機能です。大きな文字を印刷するときに、より効果が得られます。

トナーセーブ：

輪郭部分以外を薄くしてトナーを節約することができます。レイアウトを確認するときなど、階調性や印刷品質にこだわらないときにお使いください。

180度回転：

印刷データを180度回転して印刷します。

排紙方向：

給紙装置にセットした用紙の向きに合わせて、排紙方向を設定します。

Mac OSからPostScriptプリンタードライバーを使って印刷する

PostScriptプリンタードライバーはPostScript（ページ記述言語）を使って出力するドライバーです。

1. 印刷するファイルを開きます。
   プリンターに用紙がセットされていなければセットしてください。

2. ［ファイル］メニューの［プリント］（または［印刷］など）を選択してプリント画面を表示します。
   必要であれば［詳細を表示］（または▼）をクリックして詳細設定画面を開きます。

3. お使いのプリンターを選択します。

4. ポップアップメニューの［プリンタの機能］を選択します。

5. 必要に応じて設定を変更します。
   各項目の詳細は、プリンタードライバーのメニュー説明をご覧ください。

6. ［プリント］をクリックします。

関連情報

➡ 「印刷できる用紙とセット枚数」360ページ
➡ 「用紙のセット」34ページ
➡ 「プリンタの機能メニュー」337ページ

PostScriptプリンタードライバーでオプション装置を使用する

オプション装置を使用するには、デバイスの設定が必要です。
アップルメニューの［システム環境設定］-［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択して、お使いのプリンターを選択します。［オプションとサプライ］-［オプション］（または［ドライバ］）の順にクリックします。使用したいオプション装置に対して設定をします。

PostScriptプリンタードライバーのメニュー説明

アプリケーションソフトの印刷画面を開き、プリンターを選択して印刷設定画面を表示します。

参考　項目は選択した内容によって異なります。

レイアウトメニュー

ページ数/枚：

用紙1枚に対し、印刷したいページ数を選択します。

レイアウト方向：

ページの並べ方を選択します。

境界線：

ページを区切る境界線の設定をします。

両面：

両面印刷を有効にします。

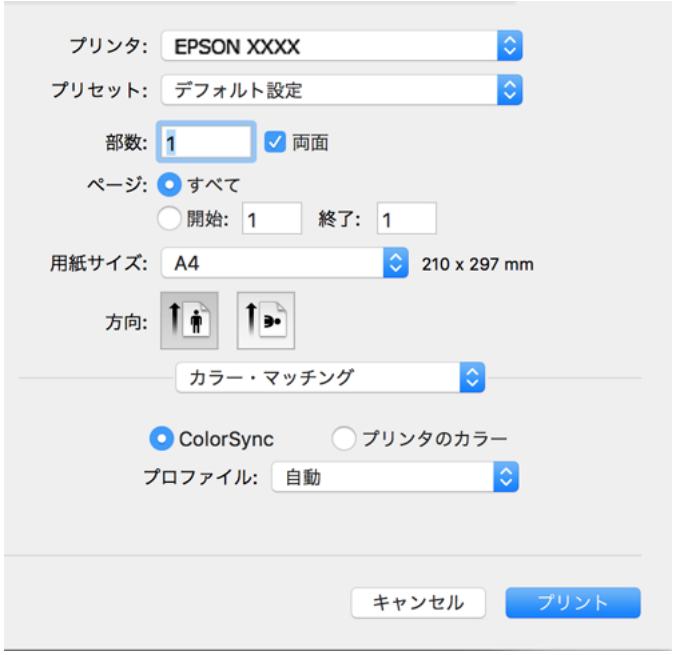
ページの方向を反転：

データを180度回転して印刷します。

左右反転：

データの左右を反転して印刷します。

カラー・マッチングメニュー



ColorSync/プリンタのカラー：

色補正の方法を選択します。プリンターで色の調整を行い、異なるデバイス間の色合いを近づけることができます。

用紙処理メニュー

丁合い：

部数に対して複数ページのデータをページごとでなく、部ごとに印刷します。

プリントするページ：

印刷するページを、奇数ページごとか偶数ページごとかを選択できます。

ページの順序：

複数ページのデータを、最初のページか最後のページから印刷するかを選択します。

用紙サイズに合わせる：

出力用紙サイズに合わせて自動で拡大縮小印刷します。

出力用紙サイズ：

出力する用紙サイズを選択します。

縮小のみ：

縮小印刷時に選択します。

給紙メニュー

どの給紙装置から給紙するかを選択します。

すべてのページ：

［自動選択］にしておくと、プリンターの［用紙設定］と一致する給紙装置を自動で選択します。

先頭ページのみ/残りのページ：

ページの給紙方法が選択できます。

表紙メニュー

表紙をプリント：

表紙を印刷するかどうかを選択します。裏表紙を付けるときは、［書類の後］を選択します。

表紙のタイプ：

表紙に印刷される内容を選択します。

ジョブ設定メニュー

パスワード印刷：

パスワード印刷をする場合はチェックボックスにチェックします。

ユーザー名：

パスワード印刷に設定するユーザー名を入力します。

ジョブ名：

パスワード印刷に設定するジョブ名を入力します。

パスワード：

パスワード印刷のパスワードを入力します。

プリンタの機能メニュー

機能セット：

印刷品質：

用紙種類：

印刷する用紙の種類を選択します。［指定しない］を選択すると、プリンターの給紙装置設定で用紙種類を以下に設定した給紙装置から印刷されます。
普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき、プレプリント、上質紙、厚紙1(106～163g/m²)、厚紙2(164～216g/m²)、ラベル、コート紙、ハガキ、封筒、ユーザー専用紙
ただし、プリンターの［給紙口自動選択］で給紙装置がオフになっている給紙装置からは給紙されません。

解像度：

印刷したい品質を選択します。

スクリーン：

階調の再現性を優先するか、または解像度を上げることを優先するか選択します。

RIT：

斜線や曲線などのギザギザをなめらかに印刷するエプソン独自の輪郭補正（RIT）機能です。大きな文字を印刷するときに、より効果が得られます。

カラー設定：

カラーモード：

カラー印刷かモノクロ印刷かを選択します。

純ブラック：

ブラックトナーのみで印刷するか、しないかの設定をします。

RGBソース：

RGB色空間をCMYK印刷でシミュレートする場合に、補正するRGB色を選択できます。

CMYKシミュレーション：

オフセット印刷機のCMYK色を再現して印刷する場合に、シミュレーションするCMYKの色を選択できます。

その他の設定：

トナーセーブ：

輪郭部分以外を薄くしてトナーを節約することができます。レイアウトを確認するときなど、階調性や印刷品質にこだわらないときにお使いください。

出力設定：

排紙方向：

給紙装置にセットした用紙の向きに合わせて、排紙方向を設定します。

PostScriptフォントなどが印刷できるソフトウェア（Windows PostScript プリンタードライバー）

PostScriptプリンタードライバーを使用すると、コンピューターから送られるページ記述言語による印刷指示をプリンターは解釈して適切に印刷できます。DTPに使用するPostScriptに準拠したアプリケーションからの印刷に適しています。

アプリケーションソフトからの表示方法

使用中のアプリケーションソフトだけに設定を反映したいときは、アプリケーションソフトから表示します。
［ファイル］メニューの［印刷］または［印刷設定］を選択します。お使いのプリンターを選択して［詳細設定］または［プロパティ］をクリックします。

参考　アプリケーションソフトによって操作が異なります。詳しい使い方はソフトウェアのヘルプをご覧ください。

コントロールパネルからの表示方法

全てのアプリケーションソフトに設定を反映したいときは、コントロールパネルから表示します。

- Windows 10/Windows Server 2019/Windows Server 2016
  スタートボタンをクリックし、［Windows システムツール］-［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックまたは長押して［印刷設定］を選択します。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
  ［デスクトップ］-［設定］ -［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックまたは長押して［印刷設定］を選択します。
- Windows 7/Windows Server 2008 R2
  スタートボタンをクリックし、［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックして［印刷設定］を選択します。
- Windows Vista/Windows Server 2008
  スタートボタンをクリックして、［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックして［印刷設定］を選択します。
- Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
  スタートボタンをクリックして、［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックして［印刷設定］を選択します。

タスクバーのプリンターアイコンからの表示方法

デスクトップのタスクバーにあるプリンターアイコンは、プリンタードライバーに素早くアクセスするためのショートカットアイコンです。
プリンターアイコンをクリックして、［プリンターのプロパティ］を選択すると、コントロールパネルから表示させたときと同様の印刷設定画面が表示されます。ダブルクリックすると、プリンターの状態を確認する画面が表示されます。

関連情報

➡ 「PostScriptプリンタードライバーのメニュー説明」325ページ

PostScriptフォントなどが印刷できるソフトウェア（Mac OS PostScript プリンタードライバー）

PostScriptプリンタードライバーを使用すると、コンピューターから送られるページ記述言語による印刷指示をプリンターは解釈して適切に印刷できます。DTPに使用するPostScriptに準拠したアプリケーションからの印刷に適しています。

アプリケーションソフトからの表示方法

［ファイル］メニューの［ページ設定］または［プリント］をクリックします。必要に応じて［詳細を表示］（または▼）をクリックして詳細設定画面を開きます。

参考　アプリケーションソフトによっては［ファイル］メニューに［ページ設定］がなかったり、印刷画面を開く手順が異なったりすることがあります。詳しくはアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

ユーティリティーの起動方法

アップルメニューの［システム環境設定］-［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。［オプションとサプライ］-［ユーティリティ］-［プリンタユーティリティを開く］の順にクリックします。

関連情報

➡ 「PostScriptプリンタードライバーのメニュー説明」332ページ

PostScriptプリンタードライバー使用時のトラブル

PostScriptプリンタードライバー使用時に印刷できない（Windows）

以下の原因が考えられます。

印刷言語の設定変更が必要です。

対処方法

操作パネルで［印刷言語］を［Auto］または［PS］に設定してください。

大量のジョブを送信しました。

対処方法

Windowsの場合、大量のジョブを送信すると印刷できないことがあります。プリンターのプロパティの［詳細設定］タブで、［プリンターに直接印刷データを送る］を選択してください。

PostScriptプリンタードライバー使用時に印刷できない（Mac OS）

印刷言語の設定変更が必要です。

対処方法

操作パネルで［印刷言語］を［Auto］または［PS］に設定してください。

PostScriptプリンタードライバー使用時に印刷速度が遅い

印刷品質が高く設定されています。

対処方法

プリンタードライバーで、［印刷品質］を［はやい］に設定してください。

PostScriptプリンタードライバー使用時に正しく印刷できない

以下の原因が考えられます。

データに問題があります。

対処方法

- Adobe Photoshopなどのデータ形式を変更できるアプリケーションソフトでデータを作成したときは、プリンタードライバーの設定を作成したデータ形式と合わせてください。
- バイナリー形式で作成したEPSファイルは正常に印刷できないことがあります。アプリケーションソフトでEPSファイルを作成するときはASCII形式にしてください。
- Windowsの場合、USB接続時にはバイナリー形式のデータが印刷できません。プリンターのプロパティの［デバイスの設定］タブで、［出力プロトコル］を［ASCII］または［TBCP］に設定してください。
- Windowsの場合、プリンターのプロパティの［デバイスの設定］タブで、適切な代替フォントを選択してください。

PostScriptプリンタードライバー使用時に印刷品質が悪い

カラーの設定がされていません。

対処方法

プリンタードライバーの［用紙/品質］タブでは色の設定ができません。［詳細設定］をクリックして、［カラーモード］を設定してください。

設定メニュー一覧（PS3対応ROM装着時）

PS3対応ROM装着時には、プリンターの操作パネルに以下のメニューが表示されます。

プリンター設定

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［本体設定］-［プリンター設定］

管理者によってロックされているメニューは、管理者以外は設定を変更できません。

PDL印刷設定：

PostScript印刷時の設定ができます。

共通設定:

共通設定については関連情報をご覧ください。

PS設定：

- PSエラーシート
  ［オン］を選択すると、PostScript印刷またはPDF印刷時にエラーが発生したときに、エラー状態を記載したシートを印刷します。（初期値は［オフ］）
- Coloration
  PostScript印刷のカラーモードを選択します。（初期値は［カラー］）

- Binary
  バイナリー形式の画像が含まれるデータの印刷時に［オン］を選択します。ドライバーの設定がASCIIになっていてもアプリケーションがバイナリーデータを送ってしまうことがありますが、この設定を有効にすると印刷できます。（初期値は［オフ］）
- PDF印刷 用紙サイズ
  PDFファイルを印刷するときの用紙サイズを選択します。［自動］を選択すると、印刷データの最初のページの用紙サイズに合わせて印刷します。（初期値は［自動］）

関連情報

➡「共通設定：」378ページ
➡「用紙のセット」34ページ

［情報確認/印刷］メニュー

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［情報確認/印刷］

本体ステータスシートの印刷：

PSフォントリスト：

PostScript印刷で使えるフォントリストを印刷します。

PostScript Level 3との互換性

このプリンターのPostScriptはPostScript Level 3の互換です。

対応フォント（PostScript 3対応）

フォント名	ファミリー	HP互換
Nimbus Mono	Medium, Bold, Italic, Bold Italic	Courier
Letter Gothic	Medium, Bold, Italic	Letter Gothic
Nimbus Mono PS	Regular, Bold, Oblique, Bold Oblique	CourierPS
Nimbus Roman No4	Medium, Bold, Italic, Bold Italic	CG Times
URW Classico	Medium, Bold, Italic, Bold Italic	CG Omega
URW Coronet	-	Coronet
URW Clarendon Condensed	-	Clarendon Condensed
URW Classic Sans	Medium, Bold, Italic, Bold Italic	Univers

フォント名	ファミリー	HP互換
URW Classic Sans Condensed	Medium, Bold, Italic, Bold Italic	Univers Condensed
Antique Olive	Medium, Bold, Italic	Antique Olive
Garamond	Antiqua, Halbfett, Kursiv, Kursiv Halbfett	Garamond
Mauritius	-	Marigold
Algiers	Medium, Extra Bold	Albertus
NimbusSansNo2	Medium, Bold, Italic, Bold Italic	Arial
Nimbus Roman No9	Medium, Bold, Italic, Bold Italic	Times New Roman
Nimbus Sans	Medium, Bold, Oblique, Bold Oblique	Helvetica
Nimbus Sans Narrow	Medium, Bold, Oblique, Bold Oblique	Helvetica Narrow
Palladio	Roman, Bold, Italic, Bold Italic	Palatino
URW Gothic	Book, Demi, Book Oblique, Demi Oblique	ITC Avant Garde
URW Bookman	Light, Demi, Light Italic, Demi Italic	ITC Bookman
URW Century Schoolbook	Roman, Bold, Italic, Bold Italic	New Century Schoolbook
Nimbus Roman	Medium, Bold, Italic, Bold Italic	Times
URW Chancery Medium Italic	-	ITC Zapf Chancery Italic
Symbol	-	Symbol
URW Dingbats	-	Wingdings
Dingbats	-	ITC Zapf Dingbats
Standard Symbol	-	SymbolPS

和文フォント

- 明朝体
- ゴシック体

増設G3ファクスボード

本プリンターは増設によりファクス回線が複数利用できるため、ファクス受信中に送信したり、複数ファクスを同時に受信したり送信したりできます。

！重要 増設ファクスの設定時にファームウェア更新のメッセージが表示されたときは、増設G3ファクスボードを装着した状態で、プリンターのファームウェアを更新してください。

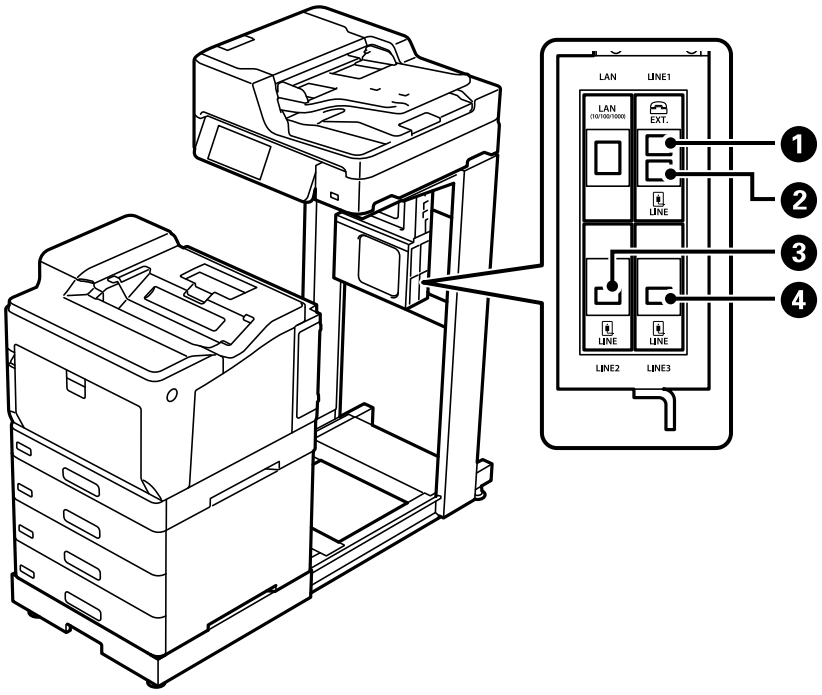
関連情報

➡ 「ソフトウェアやファームウェアを更新する」190ページ

増設G3ファクスボードを取り付ける

増設G3ファクスボードの取り付け方はセットアップガイドをご覧ください。

増設G3ファクスのポート



❶	EXTポート	外付け電話機を接続します。標準のファクス用です。
❷	LINE1ポート	プリンターを電話回線に接続します。標準のファクス用です。
❸	LINE2ポート	プリンターを電話回線に接続します。接続の仕方はLINE1ポートと同様です。下の関連情報を参考にしてください。
❹	LINE3ポート	

関連情報

➡ 「使用できる電話回線」485ページ
➡ 「プリンターを電話回線に接続する」485ページ

ファクス設定メニュー（増設G3ファクスボード装着時）

増設ファクスボードを装着すると以下のメニューが追加されます。ファクス回線を増設したら、用途に合わせて設定をしてください。
増設した回線に外付け電話機は接続できません。

基本設定（増設G3ファクスボード装着時）

プリンターの操作パネルから以下の順に選択すると表示されます。
［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］

参考 Web Config画面からは、以下の順に選択すると表示されます。
［ファクス］タブ -［基本設定］

増設回線設定：

G3-2：

- 通信モード
- エラー訂正(ECM)
- ダイヤルトーン検出
- ダイヤル種別
- ナンバー・ディスプレイ対応
- 接続回線
- 発信元番号
- 呼び出し回数

G3-3：

- 通信モード
- エラー訂正(ECM)
- ダイヤルトーン検出
- ダイヤル種別
- ナンバー・ディスプレイ対応
- 接続回線
- 発信元番号
- 呼び出し回数

各項目の機能は、標準のファクスと同じです。項目詳細は、下の関連リンクを参照ください。

回線別通信設定：

G3-1：

標準で使用する回線（G3-1）の用途（送信専用、受信専用、送受信兼用）を選択します。ファクスが増設されていないときは送受信兼用です。
初期設定：［送受信兼用］

G3-2：

増設回線（G3-2）の用途（送信専用、受信専用、送受信兼用）を選択します。
初期設定：［送受信兼用］

G3-3：

増設回線（G3-3）の用途（送信専用、受信専用、送受信兼用）を選択します。
初期設定：［送受信兼用］

関連情報

➡ 「基本設定」383ページ

受信設定

保存・転送設定

条件保存・転送：

プリンターの操作パネルから［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］-［保存・転送設定］-［条件保存・転送］の順に選択すると表示されます。

参考 Web Config画面からは、以下の順に選択すると表示されます。
［ファクス］タブ -［保存・転送設定］-［条件保存・転送］

受信ファクスを、受信ボックスや親展ボックス、外部メモリーに保存したり、メールや共有フォルダー、他のファクス機に転送したりする設定をします。

設定した条件を有効または無効にするには、その条件設定の › 以外の場所をタップします。初期設定は［無効］です。

条件

条件を選択して設定します。

受信回線一致：

回線が一致した場合、受信ファクスを保存・転送します。
初期設定：［オフ］

この他に以下の条件（標準ファクスと同じ）を選択できます。詳細は下の関連情報をご覧ください。

- 相手先電話番号一致
- Fコード(SUB)完全一致
- パスワード(SID)完全一致
- 受信時間の設定

関連情報

➡ 「条件保存・転送：」390ページ

アドレス帳を登録する （増設G3ファクスボード装着時 ）

アドレス帳に宛先を登録するときに、使用する回線も一緒に登録できます。

1. Web Configの［スキャン/コピー］タブ、または［ファクス］タブから［アドレス帳］を選択します。

2. 登録したい番号を選択して［編集］をクリックします。

3. ［登録名］と［検索名］を入力します。

4. ［種別］で［ファクス］を選択します。

   参考 登録後は［種別］を変更できません。登録後に種別の変更をしたい場合は、宛先を削除して再登録してください。

5. ［回線選択］で回線を選択して［適用］をクリックします。
   初期設定は［G3-自動選択］です。

アドレス帳登録は操作パネルからもできます。

関連情報

➡ 「アドレス帳を使えるようにする」470ページ

プリンターからファクスを送信する （増設G3ファクスボード装着時）

操作パネルからファクスの回線を指定し、宛先入力して送信できます。

参考 送信の仕方は、標準のファクスと同じです。
「プリンターからファクスを送信する」138ページ

1. 原稿をセットします。
   「原稿のセット」40ページ

2. ホーム画面で［ファクス］を選択します。

3. ［宛先］タブで宛先を指定します。
   「宛先を選択する」138ページ
   直接入力するには、［直接入力］を選択して［回線選択］で使用する回線を選択します。［回線別通信設定］で、［送受信兼用］か［送信専用］に設定されている回線を選択します。受信専用に設定されている回線を選択した場合は送信できません。［回線選択］の初期設定は［G3-自動選択］です。次に、画面のキーボードで番号を入力し、［OK］を選択して入力を完了します。

   参考 ［セキュリティー設定］で［直接ダイヤル制限］が設定されているときは、アドレス帳や履歴でのみ宛先を指定できます。直接入力はできません。

4. ［ファクス設定］タブを選択して、必要に応じて画質や送信方法などを設定します。

5. ◇をタップしてファクスを開始送信します。

関連情報

➡ 「ファクスのジョブ状態や履歴を確認する」165ページ
➡ 「アドレス帳を登録する （増設G3ファクスボード装着時 ）」347ページ

コンピューターからファクスを送信する（増設G3ファクスボード装着時）

Windowsからファクスを送信する（増設G3ファクスボード装着時）

Microsoft WordやExcelなどの［印刷］メニューから、ご使用のファクス対応プリンター（PC-FAXライバー）を選択すれば、作成した文書/図/表などのデータに送付状を付けて直接送信できます。

参考
- ここでは、Microsoft Word 2010を例に説明します。
- 送信の仕方の基本は、以下をご覧ください。
  「アプリケーションで作成した文書を送信する（Windows）」168ページ
- ご使用のアプリケーションソフトによって操作が異なります。詳しくはアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

1. アプリケーションソフトで、ファクス送信する文書を作成します。

2. ［ファイル］メニュー内の［印刷］をクリックします。
   アプリケーションソフトの［印刷］ウィンドウが表示されます。

3. プリンターから［XXXXXX（FAX）］（XXXはご使用のプリンター名）を選択して、ファクス送信のための設定を確認します。

4. ［プリンターのプロパティ］（または［プロパティ］）をクリックして、用紙サイズや画質などを必要に応じて設定します。
   詳細はPC-FAXドライバーのヘルプをご覧ください。

5. ［印刷］をクリックします。
   FAX Utilityの［送付先設定］画面が表示されます。

6. 送付先を指定します。
   詳細は下の関連情報をご覧ください。
   「アプリケーションで作成した文書を送信する（Windows）」168ページ
   画面上部の［送付先一覧］に追加されます。

7. ［送信オプション］タブをクリックして、［送信回線］を設定します。
   プリンターの操作パネルの［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］-［回線別通信設定］で［送受信兼用］か［送信専用］に設定されている回線を指定してください。受信専用に設定されている回線を選択した場合は送信できません。

8. ［次へ］をクリックして、必要に応じた設定をします。

9. 送信内容を確認して［送信］をクリックします。
送付先の名前とファクス番号が間違っていないか、十分に確認してから送信してください。

Mac OSからファクスを送信する（増設G3ファクスボード装着時）

市販アプリケーションソフトの［印刷］メニューからファクス対応プリンター（PC-FAXドライバー）を選択すると、作成した文書や図、表などのデータを直接送信できます。空いている回線を自動的に選択して送信します。
送信の仕方は、標準のファクスと同じです。

関連情報

➡ 「コンピューターからファクスを送信する」167ページ

回線の状態を確認する（増設G3ファクスボード装着時）

ファクス回線の状態（待機中か通信中かなど）を回線ごとに確認できます。
プリンターの操作パネルでボタンを押して、［プリンター状態］-［増設］を選択するとを表示されます。

関連情報

➡ 「ジョブ/状態メニュー画面の見方」29ページ

困ったときは

詳細は下の関連情報をご覧ください。

増設G3ファクスボードの仕様

最大増設数	2（標準含め3）

その他の仕様は、標準のファクスと同じです。下の関連情報を参照してください。

関連情報

➡ 「ファクス機能（LP-M8180Fのみ）」409ページ

増設ネットワークインターフェイスボード

!重要 増設ネットワークの設定時にファームウェア更新のメッセージが表示されたときは、増設ネットワークインターフェースボードを装着した状態で、プリンターのファームウェアを更新してください。

関連情報

➡ 「ソフトウェアやファームウェアを更新する」190ページ

ネットワーク増設時の機能一覧

機能		標準	増設	関連情報
印刷	コンピューターからの印刷	○	○	
スキャン	コンピューターからのスキャン	○	○	
	スキャン to メール機能	○*3	○*3	「メールサーバーを設定する」447ページ 「ネットワーク送信経路を選択する（ネットワーク増設時）」355ページ
	スキャン to フォルダー機能	○*3	○*3	「共有フォルダーを設定する」451ページ 「ネットワーク送信経路を選択する（ネットワーク増設時）」355ページ
	スキャン to Document Capture Pro機能	○*3	○*3	「ネットワーク送信経路を選択する（ネットワーク増設時）」355ページ
	スキャン to クラウド機能	○	×	「原稿をスキャンしてクラウドに転送する」127ページ
ファクス	コンピューターからのファクス送受信	○	×	
	ファクス to メール機能	○*3	○*3	「メールサーバーを設定する」447ページ 「ネットワーク送信経路を選択する（ネットワーク増設時）」355ページ
	ファクス to フォルダー機能	○*3	○*3	「共有フォルダーを設定する」451ページ 「ネットワーク送信経路を選択する（ネットワーク増設時）」355ページ
外部メモリーのデータ共有		○	○	「外部メモリーのデータを共有する」45ページ
Epson Connect		○	×	「クラウドサービスで印刷する」102ページ
EPSON Software Updater		○	×	「ソフトウェアやファームウェアを更新するソフトウェア（Epson Software Updater）」374ページ

機能		標準	増設	関連情報
ファームウェアの更新		○	×	「ソフトウェアやファームウェアを更新するソフトウェア（Epson Software Updater）」374ページ
ネットワーク設定	IPアドレスの設定	○*1	○*1	「IPアドレスを設定する（ネットワーク増設時）」352ページ
	プロキシサーバーの設定	○	×	「プロキシサーバーを設定する（ネットワーク増設時）」353ページ
Web Configからの設定		○*1	○*1	「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」432ページ
LDAPサーバーの設定		○*3	○*3	「LDAPサーバーを設定する」479ページ 「利用するLDAPサーバーがある回線を選択する（ネットワーク増設時）」355ページ
メール通知		○*2	○*2	「メールサーバーを設定する」447ページ 「メール通知を設定する（ネットワーク増設時）」356ページ
管理者パスワードの設定		○*1	○*1	「操作パネルから管理者パスワードを設定する」510ページ 「コンピューターから管理者パスワードを設定する」510ページ 「増設ネットワーク用の管理者パスワードを設定する」352ページ
高度なセキュリティー設定	IPsec/IPフィルタリング	○*1	○*1	「IPsec/IPフィルタリングで暗号化通信する」542ページ
	IEEE802.1X	○*1	○*1	「IEEE802.1X環境にプリンターを接続する」554ページ
Epson Open Platform		○	×	「Epson Open Platformを利用する」566ページ

○＝利用できます。
×＝利用できません。
*1　：ネットワーク回線ごとに設定が必要です。
*2　：宛先ごとに、送信先のネットワーク回線を標準または増設から選択できます。
*3　：標準、増設のいずれかのネットワーク回線のみで使用できます。

増設ネットワークインターフェイスボードを取り付ける

増設ネットワークインターフェイスボードの取り付け方はセットアップガイドをご覧ください。

ネットワーク増設時の設定

増設ネットワーク用の管理者パスワード設定

増設ネットワーク用の管理者パスワードを設定すると、プリンターのユーザーが増設ネットワーク回線の設定を変更することを防ぎます。増設ネットワーク用の管理者パスワードは、増設ネットワーク回線にあるコンピューターから、Web Configを使って設定、変更ができます。増設ネットワーク用の管理者パスワードとプリンターの管理者パスワードは異なります。
増設ネットワーク用の初期パスワードは、MACアドレスの下8桁です。MACアドレスは、プリンターの操作パネルで増設ネットワーク回線の［有線接続状態］を選択して、詳細を表示すると確認できます。増設ネットワークインターフェイスボードの貼付ラベルでも確認できます。
不正アクセスを防止するため、速やかに初期パスワードを変更することをお勧めします。増設ネットワーク回線を初期設定に戻すと、初期パスワードに戻ります。

関連情報

➡ 「ネットワーク設定メニューの説明（ネットワーク増設時）」357ページ

増設ネットワーク用の管理者パスワードを設定する

増設ネットワーク回線にあるコンピューターから、Web Configを使って管理者パスワードを設定します。

1. ブラウザーに増設ネットワーク用のIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
2. ［本体セキュリティー］タブ - ［管理者パスワード変更］を選択します。
3. ［新しいパスワード］と［新しいパスワードの確認］にパスワードを入力します。必要に応じてユーザー名を入力します。
   パスワードを変更するには、現在のパスワードを入力します。
4. ［設定］を選択します。

   参考　ロックされている項目を設定、変更するには［管理者ログオン］をクリックして管理者パスワードを入力します。

関連情報

➡ 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」432ページ

操作パネルでネットワークに接続する（ネットワーク増設時）

プリンターの操作パネルを使って、プリンターをネットワークに接続します。

IPアドレスを設定する（ネットワーク増設時）

ホストアドレスやサブネットマスク、デフォルトゲートウェイなど、基本的なIPアドレス設定をします。
標準ネットワーク回線、増設ネットワーク回線の両方を設定してください。

ここでは固定IPアドレスを設定する手順を説明します。

1. プリンターの電源を入れます。

2. 操作パネルのホーム画面で［設定］を選択します。

3. ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］の順に選択します。

4. 設定するネットワーク回線を［標準］または［増設］から選択します。

5. ［詳細設定］ - ［TCP/IP］の順に選択します。

   参考 ［詳細設定］を選択したときに、増設ネットワーク用の管理者パスワード入力が必要になります。

6. ［TCP/IP設定方法］を［手動設定］にします。

   IPアドレスをルーターなどのDHCP機能で自動設定する場合は［自動設定］にします。この場合は、手順7、8の［IPアドレス］、［サブネットマスク］、［デフォルトゲートウェイ］も自動設定になるので入力できません。手順9へ進んでください。

7. IPアドレスを入力します。

   ◀または▶を選択すると、ピリオドで区切られた前後の区切りにフォーカスが移動します。
   戻った画面で入力した値が反映されていることを確認してください。

8. 同様に［サブネットマスク］、［デフォルトゲートウェイ］を設定します。

   戻った画面で入力した値が反映されていることを確認してください。

   ！重要 IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの組み合わせが不正の場合、［設定を開始する］が有効にならず、設定を続けることができません。入力に間違いがないか確認してください。

9. プライマリーDNSサーバーのIPアドレスを入力します。

   戻った画面で入力した値が反映されていることを確認してください。

   参考 IPアドレスを［自動設定］にすると、DNSサーバー設定は［手動設定］、［自動設定］を選択できます。DNSサーバーのアドレスを自動取得できない場合に［手動設定］を選択して、DNSサーバーのIPアドレスを入力してください。引き続き、セカンダリーDNSサーバーのアドレスを直接入力します。［自動設定］を選択した場合は、手順11へ進んでください。

10. セカンダリーDNSサーバーのIPアドレスを入力します。

    戻った画面で入力した値が反映されていることを確認してください。

11. ［設定を開始する］をタップします。

プロキシサーバーを設定する（ネットワーク増設時）

以下の両方に当てはまる場合は、プロキシサーバーを設定してください。

- インターネット接続用にプロキシサーバーを構築している

- Epson Connect サービスや他社クラウドサービスなど、プリンターが直接インターネットに接続する機能を使用する

プロキシサーバーは標準ネットワーク回線のみで使用できます。

1. ホーム画面で［設定］を選択します。
   IPアドレスの設定に続いて設定するときは、［詳細設定］画面が表示されています。手順3に進んでください。

2. ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［標準］ - ［詳細設定］の順に選択します。

3. ［プロキシサーバー］を選択します。

4. ［プロキシサーバー使用設定］を［使用する］にします。

5. プロキシサーバーのアドレスを、IPv4アドレスまたはFQDN形式で入力します。
   戻った画面で入力した値が反映されていることを確認してください。

6. プロキシサーバーのポート番号を入力します。
   戻った画面で入力した値が反映されていることを確認してください。

7. ［設定を開始する］をタップします。

有線LANに接続する（ネットワーク増設時）

標準ネットワークの有線LANに接続する

LANケーブルで標準ネットワークに接続して、接続の確認をします。

1. プリンターとハブ（LANスイッチ）をLANケーブルで接続します。

2. ホーム画面で［設定］を選択します。

3. ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［標準］ - ［接続診断］を選択します。
   接続診断の結果が表示されます。正常に接続されていることを確認してください。

4. ［OK］をタップして終了します。
   ［接続診断結果を印刷する］をタップすると診断結果を印刷できます。画面の案内に従って印刷してください。

増設ネットワークの有線LANに接続する

LANケーブルで増設ネットワークに接続して、接続の確認をします。

1. プリンターとハブ（LANスイッチ）をLANケーブルで接続します。

2. ホーム画面で［ジョブ/状態］を選択します。

3. ［プリンター状態］タブを選択し、［増設］タブを選択します。

有線LANの接続状態が表示されます。正常に接続されていることを確認してください。

ネットワーク送信経路を選択する（ネットワーク増設時）

プリンターの操作パネルを使った以下のスキャンやファクス機能は、標準または増設のいずれかのネットワーク回線で使用できます。

- スキャン to メール機能
- スキャン to フォルダー機能
- スキャン to Document Capture Pro機能
- ファクス to メール機能
- ファクス to フォルダー機能

これらのスキャンやファクス機能を使用するネットワーク回線を選択するには以下の手順で操作します。

1. ホーム画面で［設定］を選択します。
2. ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク送信経路］の順に選択します。
3. スキャンやファクス機能を使うネットワーク回線を［標準］または［増設］から選択します。

利用するLDAPサーバーがある回線を選択する（ネットワーク増設時）

標準、増設のいずれかのネットワーク回線にあるLDAPサーバーが利用できます。
利用するLDAPサーバーがあるネットワーク回線を選択するには以下の手順で操作します。

1. ホーム画面で［設定］を選択します。
2. ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［LDAPサーバー］の順に選択します。
3. LDAPサーバーがあるネットワーク回線を［標準］または［増設］から選択します。

イベント発生時にメール通知を受け取る（ネットワーク増設時）

メール通知の概要（ネットワーク増設時）

印刷の停止やプリンターエラーなど、プリンターにイベントが発生したときに、指定したアドレスにメールで通知する機能です。
宛先は5つまで登録でき、それぞれに受け取りたい通知を設定できます。
この機能を使うには、設定前にメールサーバーの設定が必要です。宛先があるネットワーク回線（標準または増設）のメールサーバーを設定してください。

関連情報

➡ 「メールサーバーを設定する」447ページ

メール通知を設定する（ネットワーク増設時）

標準ネットワーク回線にあるコンピューターから、Web Configを使ってメール通知の設定をします。

1. ブラウザーに標準ネットワーク用のIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

2. ［デバイス管理］タブ - ［メール通知］を選択します。

3. メール通知の件名を設定します。
   2つのプルダウンメニューで件名に表示する内容を選択します。
   - 選択された内容が［件名］の横に表示されます。
   - 左右に同じ内容は設定できません。
   - ［ロケーション］の文字数が多い場合は、32バイト以降の文字が省略されます。

4. 通知メールを送信するメールアドレスを入力します。
   A-Z a-z 0-9 ! # $ % & ' * + - . /= ? ^ _ { ¦ } ~ @,を使用し、255文字以内で入力します。

5. 送信先のネットワーク回線を［標準］または［増設］から選択します。

6. メール通知の言語を選択します。

7. 通知を受け取りたいイベントの行で、通知する宛先番号と重なるチェックボックスにチェックを付けます。
   ［通知設定］の番号は［宛先設定］の宛先の番号に対応しています。
   設定例：
   用紙がなくなった場合の通知を［宛先設定］の1に設定したアドレスに送信したいときは、［用紙なし］の行にある［1］の列のチェックボックスにチェックを付けます。

8. ［設定］をクリックします。
   何らかのイベントを作って、メール通知が送信されることを確認してください。
   例：用紙をセットしていない給紙方法を指定して印刷

関連情報

➡ 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」432ページ
➡ 「メールサーバーを設定する」447ページ
➡ 「メール通知の設定項目」524ページ

ネットワーク増設時のトラブル

コンピューターからの印刷やスキャンができない

標準ネットワークまたは増設ネットワークの設定が正しくない。

標準ネットワーク、増設ネットワークそれぞれの設定が必要です。両方の設定を確認してください。

関連情報

➡ 「操作パネルでネットワークに接続する（ネットワーク増設時）」352ページ

操作パネルからのスキャンやファクス機能（スキャン to クラウド機能を除く）が正常に動作しない

操作パネルからのスキャンやファクス機能を使うネットワークが正しく選択されていない。

操作パネルからのスキャンやファクス機能は、標準、増設のいずれかのネットワーク回線で使用できます。スキャンやファクス機能を使うネットワーク回線が正しく選択されているか確認してください。

関連情報

➡ 「ネットワーク送信経路を選択する（ネットワーク増設時）」355ページ

LDAPサーバーが利用できない

利用するLDAPサーバーがあるネットワーク回線が正しく選択されていない。

標準、増設のいずれかのネットワーク回線にあるLDAPサーバーが利用できます。利用するLDAPサーバーがあるネットワーク回線が正しく選択されているか確認してください。

関連情報

➡ 「利用するLDAPサーバーがある回線を選択する（ネットワーク増設時）」355ページ

ネットワーク設定メニューの説明（ネットワーク増設時）

ここでは、ネットワーク増設時のネットワーク設定メニューについて説明します。
操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］

標準：

標準ネットワーク回線を設定します。以下の関連情報を参照してください。

関連情報

➡ 「ネットワーク設定」380ページ

増設：

増設ネットワーク回線を設定します。

ネットワーク情報：

現在のネットワーク設定の内容を表示または印刷します。

- 有線接続状態
- ステータスシート印刷

詳細設定：

設定項目は次の通りです。

- TCP/IP
- IPv6アドレス（初期値は［有効］）
- Link Speed & Duplex（初期値は［自動］）
- HTTPをHTTPSにリダイレクト（初期値は［有効］）
- IPsec/IPフィルタリングの無効化
- IEEE802.1Xの無効化

増設ネットワーク用の管理者パスワードの入力が必要です。

初期設定に戻す：

増設ネットワーク回線の設定を初期値に戻します。
増設ネットワーク用の管理者パスワードの入力が必要です。

ネットワーク送信経路：

操作パネルからのスキャンやファクス機能（スキャン to メール機能、スキャン to フォルダー機能、スキャン to Document Capture Pro機能、ファクス to メール機能、ファクス to フォルダー機能）を使うネットワーク回線を選択します。（初期値は［標準］）

LDAPサーバー：

利用するLDAPサーバーがあるネットワーク回線を選択します。（初期値は［標準］）

製品情報

用紙情報 360

消耗品/定期交換部品の一覧 364

ソフトウェア情報 367

設定メニュー一覧 375

製品仕様 404

フォントの仕様 419

規格と規制 429

用紙情報

印刷できる用紙とセット枚数

以下は2020年7月現在の情報です。
これ以外の用紙を使うと、紙詰まりや故障の原因になります。再生紙や封筒など、品質のばらつきが大きい用紙は、必ず試し印刷をしてからお使いください。A4とLetterサイズは縦置きと横置きができます。
用紙の厚さ（坪量：1m²当たりの紙の重量をグラムで表示したもの）を満たしていても紙質（目の方向や硬さなど）によって印刷品質の低下や紙詰まりが起こることがあります。

参考 両面印刷に対応している用紙は以下をご覧ください。
「自動両面印刷ができる用紙」363ページ

参考
- 封筒の印刷速度は、普通紙に比べて遅くなります。良好な印刷結果が得られるようプリンター内部で印刷速度を調整しているためです。
- プリンタードライバーの［給紙方法］を［自動選択］にすると、［用紙サイズ］で設定した用紙がセットされた給紙装置から自動的に給紙します。複数の給紙装置が対象になっている場合、最初の給紙装置の用紙がなくなると次の給紙装置から自動的に給紙します。例えば、オプションの増設3段カセット1台を含め、全ての給紙装置にA4普通紙（64g/m²）をセットすると、最大2001枚の連続印刷が可能になります。
- 排紙トレイの保持容量はA4（横置き）普通紙で250枚です。

普通紙（60～80g/m²）

普通紙はプレプリント（帳票など、あらかじめ定型書式が印刷された用紙）、レターヘッド、色つき用紙、再生紙を含みます。
セット枚数は普通紙64g/m²の場合

用紙サイズ	セット可能枚数			
	用紙カセット1	増設1段カセット	増設3段カセット	手差しトレイ
	C1	C2、C3	C2～C4	
A3、A4、A5、B4、B5、Letter、Legal、US B（11×17 in.）	305	670	502	190
8.5×13 in.、Executive、A6、Half Letter、8×10.5 in.、8.27×13 in.	-	-	-	190
ユーザー定義サイズ* 幅：210～297mm 長さ：148～431.8mm	305	670	502	-
ユーザー定義サイズ* 幅：75～297mm 長さ：98～431.8mm	-	-	-	190

*： 幅が279.4mmより広く、かつ、長さが420mmを超える用紙は手差しトレイにのみセット可能

上質紙（81～105g/m²）

用紙サイズ	セット可能総厚			
	用紙カセット1	増設1段カセット	増設3段カセット	手差しトレイ
	C1	C2、C3	C2～C4	
A3、A4、A5、B4、B5、Letter、Legal、US B（11×17 in.）	27.6mm	59.4mm	44.4mm	17.5mm
8.5×13 in.、Executive、A6、Half Letter、8×10.5 in.、8.27×13 in.	-	-	-	17.5mm
ユーザー定義サイズ* 幅：210～297mm 長さ：148～431.8mm	27.6mm	59.4mm	44.4mm	-
ユーザー定義サイズ* 幅：75～297mm 長さ：98～431.8mm	-	-	-	17.5mm

*：　幅が279.4mmより広く、かつ、長さが420mmを超える用紙は手差しトレイにのみセット可能

厚紙（106～163g/m²）

用紙種類の設定で［厚紙1］を選択します。

用紙サイズ	セット可能総厚			
	用紙カセット1	増設1段カセット	増設3段カセット	手差しトレイ
	C1	C2、C3	C2～C4	
A3、A4、A5、B4、B5、Letter、Legal、US B（11×17 in.）、ユーザー定義サイズ*	27.6mm	59.4mm	44.4mm	17.5mm
A6、Half Letter、8.5 x 13 in、8 x 10.5 in.、Executive、8.27 x 13 in.	-	-	-	17.5mm

*：　対応サイズは、普通紙や上質紙の「ユーザー定義サイズ」を参照

厚紙（164～216g/m²）

A4のみ220g/m²まで可能
用紙種類の設定で［厚紙2］を選択します。

用紙サイズ	セット可能総厚			
	用紙カセット1	増設1段カセット	増設3段カセット	手差しトレイ
	C1	C2、C3	C2～C4	
A3、A4、A5、B4、B5、Letter、Legal、US B（11×17 in.）、ユーザー定義サイズ*	27.6mm	-	-	17.5mm
A6、Half Letter、8.5 x 13 in、8 x 10.5 in.、Executive、8.27 x 13 in.	-	-	-	17.5mm

*：　対応サイズは、普通紙や上質紙の「ユーザー定義サイズ」を参照

ラベル紙（台紙全体がラベルで覆われているもの）

用紙サイズ	セット可能総厚			
	用紙カセット1	増設1段カセット	増設3段カセット	手差しトレイ
	C1	C2、C3	C2～C4	
A4	27.6mm	59.4mm	44.4mm	17.5mm

コート紙（105～216g/m²）

用紙サイズ	セット可能枚数			
	用紙カセット1	増設1段カセット	増設3段カセット	手差しトレイ
	C1	C2、C3	C2～C4	
A3、A4、A5、B4、B5、Letter、Legal、US B（11×17 in.）、A6、Half Letter、8.5 x 13 in、8 x 10.5 in.、Executive、8.27 x 13 in.、ユーザー定義サイズ*	-	-	-	1

*：　対応サイズは、普通紙や上質紙の「ユーザー定義サイズ」を参照

ハガキ（日本郵便株式会社製、190g/m²）

用紙サイズ	セット可能枚数			
	用紙カセット1	増設1段カセット	増設3段カセット	手差しトレイ
	C1	C2、C3	C2～C4	
ハガキ、往復ハガキ、四面連刷ハガキ	-	-	-	75

封筒

セット枚数は85g/m²の場合

用紙サイズ	セット可能枚数			
	用紙カセット1	増設1段カセット	増設3段カセット	手差しトレイ
	C1	C2、C3	C2～C4	
長形3号 洋形0号、4号、6号 角形2号	-	-	-	20

自動両面印刷ができる用紙

- 用紙種類：普通紙、上質紙、コート紙*
- 用紙サイズ：A3、A4、A5、B4、B5、Letter、Legal、US B (11×17 in.)、8.5×13 in.、Executive

*：　［プリンター調整機能］で［コート紙1］を選択したときのみ

関連情報

➡ 「印刷できる用紙とセット枚数」360ページ

印刷できない用紙

以下の用紙は使用しないでください。紙詰まりや印刷汚れの原因になります。

- インクジェットプリンター用特殊紙（スーパーファイン紙、光沢紙、光沢フィルム、インクジェット用郵便ハガキなど）
- アイロンプリント紙
- 他のページプリンター、熱転写プリンター、インクジェットプリンターなどのプリンターや、複写機で印刷したプレプリント紙
- 他のプリンターで一度印刷した後の裏紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、酸性紙、和紙
- のり、ホチキス、クリップなどが付いた用紙
- 表面に特殊コートが施された用紙、表面加工されたカラー用紙

- バインダー用の穴が開いている用紙
- 貼り合わせた用紙
- ページプリンター用またはコピー機用以外のラベル紙
- 薄すぎる用紙（59g/m2 以下）、厚すぎる用紙（221g/m2 以上）
- 濡れている（湿っている）用紙
- 表面が平滑すぎる（ツルツル、スベスベしすぎる）用紙、粗すぎる用紙
- 表と裏で粗さが大きく異なる用紙
- 折り跡、カール、破れのある用紙
- 形状が不規則な用紙、裁断角度が直角でない用紙
- ミシン目のある用紙
- 吸湿して波打ちしている用紙
- 紙粉が発生しやすい用紙
- 約175 ℃で変質や変色する用紙

以下の封筒は使用しないでください。紙詰まりや印刷汚れの原因になります。

- 封の部分にのり付け加工が施されている封筒
- 箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のある封筒
- リボン、フックなどが付いている封筒
- 他のプリンターやコピー機で一度印刷した封筒
- 二重封筒や窓付きの封筒

以下のハガキには印刷しないでください。故障や印刷不良などの原因になります。

- インクジェットプリンター用の専用ハガキ
- 表面に特殊コート、のり付けが施されたハガキ、圧着ハガキ
- 他のプリンターやコピー機で一度印刷したハガキ
- 私製ハガキ、絵ハガキ
- 箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のあるハガキ
- 中央に折り跡のある往復ハガキ

消耗品/定期交換部品の一覧

以下は2020年7月現在の情報です。

トナーカートリッジ

ETカートリッジの「ET」は「エプソントナー」の意味です。

商品名	サイズ *1	型番
ET カートリッジ ブラック	Sサイズ	LPC3T37K
	Mサイズ	LPC3T38K
	Lサイズ	LPC3T39K
ET カートリッジ シアン	Sサイズ	LPC3T37C
	Mサイズ	LPC3T38C
	Lサイズ	LPC3T39C
ET カートリッジ マゼンタ	Sサイズ	LPC3T37M
	Mサイズ	LPC3T38M
	Lサイズ	LPC3T39M
ET カートリッジ イエロー	Sサイズ	LPC3T37Y
	Mサイズ	LPC3T38Y
	Lサイズ	LPC3T39Y
環境推進トナー ブラック *2	Mサイズ	LPC3T38KV
	Lサイズ	LPC3T39KV
環境推進トナー シアン*2	Mサイズ	LPC3T38CV
	Lサイズ	LPC3T39CV
環境推進トナー マゼンタ *2	Mサイズ	LPC3T38MV
	Lサイズ	LPC3T39MV
環境推進トナー イエロー *2	Mサイズ	LPC3T38YV
	Lサイズ	LPC3T39YV

*1　サイズの違いはトナー容量の違い（カートリッジの大きさは同じ）です。

*2　ET カートリッジと同じ品質のトナーですが、セイコーエプソン株式会社がトナーカートリッジ（容器）の所有権を保有し、「環境推進トナー使用許諾契約」に基づき、本製品に充填されているトナーを使い切るまでの間の使用権を許諾する消耗品です。使用後は、環境推進トナーに添付の案内書をご覧いただき、セイコーエプソン株式会社に必ずご返却ください（送料無料）。エプソンのウェブサイトでもご確認いただけます。

http://www.epson.jp/products/offirio/printer/kankyotoner/

共通消耗品

商品名		型番	仕様
感光体ユニット	カラー	LPC3K17	印刷寿命 *1：約24,000 ページ
	ブラック	LPC3K17K	印刷寿命 *1：約24,000 ページ
廃トナーボックス		LPC3H17	印刷寿命 *1：約24,000 ページ
上質普通紙 *2		LPCPPA3	A3 サイズ
		LPCPPA4	A4 サイズ
		LPCPPB4	B4 サイズ
レーザーコート紙 *3		LPCCTA3	A3 サイズ
		LPCCTA4	A4 サイズ

*1　印刷寿命は、A4 横置き5%連続印刷時ですが、印刷ページ数は目安です。印刷の仕方により、印刷可能ページ数は異なります。間欠印刷（1 回あたりの印刷ページ数が1～数ページ程度の少ない印刷）、用紙サイズ、用紙方向、厚紙印刷、印刷原稿および電源の頻繁な入切などにより印刷可能ページ数は少なくなります。そのため印刷可能ページ数は、お客様の使用条件、使用環境によっては半分以下になる場合があります。

*2　普通紙への印刷で最良の印刷品質が得られます。両面に印刷するときは、包装紙の開封面（合わせ目のある面）から先に印刷してください。

*3　光沢のある質感で印刷できます。

定期交換部品

交換は、弊社の認定を受けたサービス実施店のサービスエンジニアまたは弊社のサービスエンジニアが実施します。交換時期を知らせるメッセージが表示されたら販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。交換に伴う出張基本料、技術料、部品料は保証期間内外を問わず、有料です。

商品名	印刷寿命*1
定着ユニット	100,000 ページ
転写ユニット	100,000 ページ
二次転写ユニット	100,000 ページ
カラー現像ユニット	100,000 ページ
白黒現像ユニット	100,000 ページ
給紙ローラーMP	100,000 ページ
給紙ローラーC1/C2/C3/C4	100,000 ページ
メンテナンスユニットA	300,000 ページ
メンテナンスユニットB	600,000 ページ

商品名	印刷寿命*1
ADFメンテナンスユニット*2	約200,000 ページ（A4換算）

*1　印刷寿命は、A4 横置き5%連続印刷時。ただし、印刷ページ数は目安です。印刷の仕方により、印刷可能ページ数は異なります。間欠印刷（1 回あたりの印刷ページ数が1 ～数ページ程度の少ない印刷）、用紙サイズ、用紙方向、厚紙印刷、印刷原稿および電源の頻繁な入切などにより印刷可能ページ数は少なくなります。そのため印刷可能ページ数は、お客様の使用条件、使用環境によっては半分以下になる場合があります。また、節電移行時間や節電移行時間（自動）、節電スケジュールの設定を変更すると、定着ユニットの寿命や消費電力に影響が出る場合があります。

*2　ピックローラー、フィードローラー類のセット

ソフトウェア情報

プリンターが対応しているソフトウェアを紹介します。ソフトウェアはエプソンのウェブサイトからインストールできます。

印刷用ソフトウェア

コンピューターから印刷するためのソフトウェア（Windowsプリンタードライバー）

プリンタードライバーは、アプリケーションソフトの印刷指示に合わせてプリンターを制御するソフトウェアです。プリンタードライバーの画面で印刷設定すると、最適な印刷結果が得られます。また、ユーティリティーを使うとプリンターの状態を確認できます。

参考　プリンタードライバーの言語は変更できます。［ユーティリティー］タブの［言語選択］から言語を選択してください。

アプリケーションソフトからの表示方法

使用中のアプリケーションソフトだけに設定を反映したいときは、アプリケーションソフトから表示します。
［ファイル］メニューの［印刷］または［印刷設定］を選択します。お使いのプリンターを選択して［詳細設定］または［プロパティ］をクリックします。

参考　アプリケーションソフトによって操作が異なります。詳しい使い方はソフトウェアのヘルプをご覧ください。

コントロールパネルからの表示方法

全てのアプリケーションソフトに設定を反映したいときは、コントロールパネルから表示します。

- Windows 10/Windows Server 2019/Windows Server 2016
  スタートボタンをクリックし、［Windows システムツール］-［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックまたは長押しして［印刷設定］を選択します。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
  ［デスクトップ］-［設定］ -［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックまたは長押しして［印刷設定］を選択します。

- Windows 7/Windows Server 2008 R2
  スタートボタンをクリックし、［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックして［印刷設定］を選択します。
- Windows Vista/Windows Server 2008
  スタートボタンをクリックして、［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックして［印刷設定］を選択します。
- Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
  スタートボタンをクリックして、［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックして［印刷設定］を選択します。

タスクバーのプリンターアイコンからの表示方法

デスクトップのタスクバーにあるプリンターアイコンは、プリンタードライバーに素早くアクセスするためのショートカットアイコンです。
プリンターアイコンをクリックして、［プリンターのプロパティ］を選択すると、コントロールパネルから表示させたときと同様の印刷設定画面が表示されます。ダブルクリックすると、プリンターの状態を確認する画面が表示されます。

参考　タスクバーにプリンターアイコンが表示されないときは、プリンタードライバーの画面を表示させ、［ユーティリティー］タブの［通知の設定］をクリックして、［呼び出しアイコンをタスクバーに登録する］をチェックしてください。

ユーティリティーの起動方法

プリンタードライバーの画面を表示します。［ユーティリティー］タブをクリックします。

関連情報

➡「プリンタードライバーのメニュー説明」48ページ

Windowsプリンタードライバー画面の見方

EPSON ステータスモニタ

プリンターの状態を監視してエラーメッセージなどを表示できます。消耗品の状態、印刷の進行状況も確認できます。使用するには本ソフトウェアのインストールが必要です。

関連情報

➡「ソフトウェアを個別にインストールする」185ページ

コンピューターから印刷するためのソフトウェア（Mac OSプリンタードライバー）

プリンタードライバーは、アプリケーションソフトの印刷指示に合わせてプリンターを制御するソフトウェアです。プリンタードライバーの画面で印刷設定すると、最適な印刷結果が得られます。また、ユーティリティーを使うとプリンターの状態を確認できます。

アプリケーションソフトからの表示方法

［ファイル］メニューの［ページ設定］または［プリント］をクリックします。必要に応じて［詳細を表示］（または▼）をクリックして詳細設定画面を開きます。

参考 アプリケーションソフトによっては［ファイル］メニューに［ページ設定］がなかったり、印刷画面を開く手順が異なったりすることがあります。詳しくはアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

ユーティリティーの起動方法

アップルメニューの［システム環境設定］-［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。［オプションとサプライ］-［ユーティリティ］-［プリンタユーティリティを開く］の順にクリックします。

関連情報

➡ 「プリンタードライバーのメニュー説明」75ページ

Mac OSプリンタードライバー画面の見方

Epson Printer Utility

EPSON ステータスモニタを起動して、プリンターの状態やエラーを確認できます。

スマートデバイスから簡単に印刷するアプリ（Epson iPrint）

Epson iPrint（エプソン アイプリント）は、スマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスから、写真やWebページ、文書などが印刷できるアプリケーションです。プリンターと同じ無線LANに接続したスマートデバイスから印刷するローカルプリントと、インターネット経由で外出先から印刷するリモートプリントがあります。リモートプリントを使うには、プリンターをEpson Connectサービスに登録してください。

Epson iPrintをインストールする

以下のURLまたはQRコードから、スマートデバイスにEpson iPrintをインストールできます。
http://ipr.to/c

Windowsに標準搭載されていない印刷方法で印刷するソフトウェア（EpsonNet Print）

スプーラー画面にプリンターのステータスを表示できます。IPv4 アドレスを自動追従するため、ネットワークインターフェイスのアドレスがDHCP 機能によって自動的に割り当てられても、プリンターポートの設定変更が不要です。ルーターを越えた場所にあるプリンター（別セグメントのプリンター）をLPR プリンターとして使用できます。印刷方法（印刷データの送信プロトコル）を、3 種類（LPD/Epson 拡張/RAW）から選べます。

参考　IPv6 アドレスには対応していません。

Androidアプリから簡単に印刷するアプリ（Epson 印刷サービスプラグイン）

Epson 印刷サービスプラグイン（エプソン 印刷サービスプラグイン）は、文書やメール、写真、ウェブページなどを、Android 4.4以降のスマートデバイスからWi-Fiで印刷できるアプリケーションです。プリンターとデバイスが同じネットワークにつながっている場合は、このプラグインをインストールしておくと便利です。
Google Playからエプソン 印刷サービスプラグインを検索してインストールしてください。

スキャン用ソフトウェア

書類をスキャンするソフトウェア（Document Capture Pro）

Document Capture Pro*は、書類や帳票などの原稿を目的に合わせて簡単に効率よく電子化できるソフトウェアです。
保存方法は、このソフトウェアに『ジョブ』として登録されています。事前に、よく使う一連の動作をジョブとして登録しておくことで、ジョブを選ぶだけで一連の動作を実行できます。スキャンした画像をコンピューターに保存するジョブがあらかじめ登録されています。
詳しくはDocument Capture Proのヘルプをご覧ください。

参考
- ジョブはコンピューターからだけでなく、コンピューターとネットワークで接続しているプリンターの操作パネルからも実行できます。
- Document Capture ProはWindows Vista/Windows XPには対応していません。

*Windowsでの名称です。Mac OSでの名称は「Document Capture」です。Windows Serverでの名称は「Document Capture Pro Server」です。

Windowsでの起動方法

- Windows 10/Windows Server 2019/Windows Server 2016
  スタートボタンをクリックして、［Epson Software］-［Document Capture Pro］の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
  検索チャームでソフトウェア名を入力して、表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7/Windows Server 2008 R2
  スタートボタンをクリックして、［すべてのプログラム］-［Epson Software］-［Document Capture Pro］の順に選択します。

Mac OSでの起動方法

［移動］-［アプリケーション］-［Epson Software］-［Document Capture］の順に選択します。

スキャナーを制御するソフトウェア（Epson Scan 2）

Epson Scan 2は、スキャナーを制御するソフトウェア（スキャナードライバー）です。画像のサイズや解像度の設定、画質などを調整してスキャンできます。TWAIN対応のアプリケーションソフトから起動することもできます。詳しい使い方はソフトウェアのヘルプをご覧ください。

Windowsでの起動方法

参考 Windows Server OSをお使いの場合、［デスクトップエクスペリエンス］がインストールされていることを確認してください。

- Windows 10/Windows Server 2016
  スタートボタンをクリックして、［EPSON］-［Epson Scan 2］の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
  検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7/Windows Vista/Windows XP/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
  スタートボタンをクリックして、［すべてのプログラム］（または［プログラム］）-［EPSON］-［Epson Scan 2］の順に選択します。

Mac OSでの起動方法

［移動］-［アプリケーション］-［Epson Software］-［Epson Scan 2］の順に選択します。

ネットワークスキャナーの追加方法

ネットワークスキャナーを使用するときは、スキャナードライバー（Epson Scan 2）でスキャナーを追加します。

1. Epson Scan 2を起動します。
   - Windows 10/Windows Server 2016
     スタートボタンをクリックして、［EPSON］-［Epson Scan 2］の順に選択します。

- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
  検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7/Windows Vista/Windows XP/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
  スタートボタンをクリックして、［すべてのプログラム］（または［プログラム］）-［EPSON］-［Epson Scan 2］の順に選択します。
- Mac OS
  ［移動］-［アプリケーション］-［Epson Software］-［Epson Scan 2］の順に選択します。

2. ［スキャナーの設定］画面で［追加］をクリックします。

参考
- ［追加］がグレーアウトされているときは、［編集を許可］をクリックします。
- Epson Scan 2のメイン画面が表示されたときは、すでにスキャナーと接続されています。別のネットワークスキャナーと接続するときは、［スキャナー］-［設定］の順に選択して、［スキャナーの設定］画面を表示します。

3. ネットワークスキャナーを追加します。以下の項目を入力、確認して、［追加］をクリックします。
   - ［機種］：接続したいスキャナーを選択します。
   - ［名前］：スキャナー名を入力します。32文字まで入力できます。
   - ［ネットワークを検索］：お使いのコンピューターとスキャナーが同じネットワーク内にあればIPアドレスが表示されます。表示されない場合、ボタンをクリックします。IPアドレスが見つからなかったときは［アドレスを入力］を選択し、アドレス欄にIPアドレスを直接入力します。

4. ［スキャナーの設定］画面で追加されたスキャナー名を選択し、［OK］をクリックします。

ファクスのソフトウェア

ファクスの送受信や設定をするソフトウェア（FAX Utility）

FAX Utility（ファクス ユーティリティー）は、コンピューターを使ってファクスの送受信をするための設定をするソフトウェアです。送信時に使うアドレス帳の作成や管理、プリンターが受信した文書をPDFにしてコンピューターに保存する設定などができます。詳しい使い方はソフトウェアのヘルプをご覧ください。

参考
- Windows Server OSは非対応です。
- FAX Utilityをインストールする前に、プリンタードライバー（PostScriptプリンタードライバーを除く）がインストールされている必要があります。
- お使いのコンピューターにFAX Utilityがインストールされているか確認してください。確認の仕方は、下の「Windowsでの起動方法」か「Mac OSでの起動方法」をご覧ください。

Windowsでの起動方法

- Windows 10
  スタートボタンをクリックして、［Epson Software］-［FAX Utility］の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8
  検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。

- Windows 7/Windows Vista/Windows XP
  スタートボタンをクリックして、［すべてのプログラム］（または ［プログラム］）-［Epson Software］-［FAX Utility］の順に選択します。

Mac OSでの起動方法

アップルメニューの［システム環境設定］-［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。［オプションとサプライ］-［ユーティリティ］-［プリンタユーティリティを開く］の順にクリックします。

関連情報

➡ 「コンピューターからファクスを送信する」167ページ
➡ 「コンピューターでファクスを受信する」172ページ

ファクス送信するソフトウェア（PC-FAXドライバー）

PC-FAXドライバーはアプリケーションソフトで作成した文書を、コンピューターからそのままファクス送信するソフトウェアです。FAX Utilityをインストールすると、一緒にインストールされます。詳しい使い方はソフトウェアのヘルプをご覧ください。

参考
- Windows Server OSは非対応です。
- PC-FAXドライバーがインストールされているか確認してください。下の「Windowsでの表示方法」か「Mac OSでの表示方法」をご覧ください。
- アプリケーションソフトによって操作が異なります。詳しくはアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。詳しい使い方はソフトウェアのヘルプをご覧ください。

Windowsでの表示方法

アプリケーションソフトで、［ファイル］メニューの［印刷］（または［印刷設定］など）を選択します。お使いのプリンター（FAX）を選択して［詳細設定］（または［プロパティ］）をクリックします。

Mac OSでの表示方法

アプリケーションソフトで、［ファイル］メニューの［プリント］（または［印刷］など）を選択します。［プリンタ］でお使いのプリンター（FAX）を選択して、ポップアップメニューから［ファクス設定］または［送付先設定］を選択します。

関連情報

➡ 「コンピューターからファクスを送信する」167ページ

パッケージ作成用ソフトウェア

ドライバーのパッケージを一括作成するソフトウェア（EpsonNet SetupManager）

EpsonNet SetupManagerはネットワークプリンターのドライバーやEPSON ステータスモニタのインストールから印刷ポートの設定までを自動で実行するパッケージを作成するソフトウェアです。環境の異なるドライバーのパッケージを一括して作成できるため、ドライバーの配布やインストール、設定など管理者が行う環境構築作業を大幅に軽減できます。
詳細はエプソンのウェブサイトをご覧ください。
www.epson.jp/support/

更新用ソフトウェア

ソフトウェアやファームウェアを更新するソフトウェア（Epson Software Updater）

Epson Software Updaterはインターネット上にある新しいソフトウェアのインストールやファームウェアを更新するソフトウェアです。定期的に更新情報を確認したい場合は、Epson Software Updaterの確認の間隔設定で更新を確認する間隔を設定できます。

参考 Windows Server OSは非対応です。

Windowsでの起動方法

- Windows 10
  スタートボタンをクリックして、［EPSON Software］-［Epson Software Updater］の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8
  検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7/Windows Vista/Windows XP
  スタートボタンをクリックして、［すべてのプログラム］（または［プログラム］）-［EPSON Software］-［Epson Software Updater］の順に選択します。

参考 Epson Software Updaterはデスクトップのタスクバーにあるプリンターアイコンをクリックして、［ソフトウェアアップデート］を選択しても起動できます。

Mac OSでの起動方法

［移動］-［アプリケーション］-［Epson Software］-［Epson Software Updater］の順に選択します。

関連情報

➡「ソフトウェアを個別にインストールする」185ページ

設定メニュー一覧

操作パネルのホーム画面で［設定］を選択すると、プリンターのいろいろな設定ができます。

［本体設定］メニュー

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［本体設定］

基本設定

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［本体設定］-［基本設定］

管理者によってロックされているメニューは、管理者以外は設定を変更できません。

画面の明るさ設定：

画面の明るさを調整します。（初期値は［9］）

音の設定：

音量を設定します。

- ミュート
  有効にすると、［操作音］などの音を消音します。
- 通常時
  ［操作音］などの音量を選択します。

予熱モード：

- 予熱モード
  有効にすると、プリンターは予熱モードとなり、消費電力は減ります。このモードでは、スリープモードまたはディープスリープモードの場合よりも早くレディー状態に戻りますが、より電力を使います。
- 予熱モード移行時間
  ［予熱モード］が有効な場合に、プリンターが予熱モードになるまでの時間を指定します。［予熱モード移行時間］に指定された時間が［スリープ移行時間設定］の時間と同じか長い場合は、プリンターは予熱モードになりません。

スリープ移行時間設定：

プリンターが動作しない状態が続いたときに、自動でスリープ（省電力）モードに移行する時間を設定します。設定した時間が過ぎると画面が暗くなります。（初期値は［1分］）

スリープ復帰方法：

タッチパネルで復帰：

タッチパネルをタップしてスリープ（省電力）モードから復帰します。無効のときはボタンを押して復帰します。この機能を無効にすると異物などの接触による誤動作を防ぎます。有効時間の設定もできます。

日付/時刻設定：

- 日付/時刻
  現在の日時を入力します。
- 時差
  協定世界時（UTC）との時差を設定します。

言語選択/Language：

画面に表示する言語を選択します。（初期値は［日本語］）

初期モード：

プリンターの電源を入れたときや［無操作タイマー設定］を有効にしたときに、初期画面として表示するモードを指定します。（初期値は［ホーム］）

ホーム画面編集：

操作パネルの画面で表示するアイコンの配置を変更します。アイコンの追加、消去、移動ができます。（レイアウトの初期値は［1行］）

ホーム背景色設定：

ホーム画面の背景色を変更します。（初期値は［ホワイト］）

無操作タイマー設定：

［オン］にすると、無操作状態が設定時間続いた場合にメッセージを表示して初期画面に戻ります。利用者制限の利用者として操作しているときは、メッセージが表示されて自動的にログオフされて初期画面に戻ります。（初期値は［オン］）

ジョブ/状態の初期画面：

ボタンを押したときに表示する情報を選択します。（初期値は［プリンター状態］）

関連情報

➡ 「文字入力の仕方」30ページ

プリンター設定

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［本体設定］-［プリンター設定］

管理者によってロックされているメニューは、管理者以外は設定を変更できません。

給紙装置設定：

用紙設定：

セットした印刷用紙のサイズと種類を設定します。［用紙サイズの自動検知］を有効にすると、プリンターが自動的に、給紙装置にセットされた用紙サイズを判別します。（初期値は各給紙装置ともに用紙サイズ［A4］、用紙種類［普通紙］、用紙サイズの自動検知［オン］）

手差しトレイ優先：

［オン］を選択すると、手差しトレイからの給紙を優先します。（初期値は［オフ］）

A4/Letter自動切替：

有効にすると、A4サイズがないときにLetterサイズの給紙装置から給紙します。また、逆にLetterサイズがないときにA4サイズの給紙装置から給紙します。（初期値は［オフ］）

給紙口自動選択：

コピー、ファクス、その他（印刷全般）で使用する給紙装置を設定します。複数の給紙装置を有効にすると、印刷ジョブの用紙設定と同じ設定になっている給紙装置から自動的に給紙します。（初期値は各給紙装置ともに［オン］）

- コピー
- ファクス
- その他(印刷全般)

エラー通知：

有効にすると、印刷設定で指定したサイズや用紙種類と給紙した用紙設定が合致しないときにエラーメッセージを表示します。（初期値は用紙サイズエラー［オン］、用紙種類エラー［オン］）

設定画面自動表示：

有効にすると、用紙カセットに用紙をセットしたときに［用紙設定］を表示します。（初期値は［オン］） この設定を無効にすると、iPhone、iPad、iPod touchからAirPrintを使った印刷ができません。

ユーザー定義サイズリスト：

ユーザー定義サイズの設定を変更できます。頻繁に使用する不定形の用紙サイズを設定しておくと便利です。

印刷言語：

USBまたはネットワーク接続時の印刷言語を選択します。（初期値は［Auto］）

外部機器(PC)印刷設定：

外部機器からプリンタードライバーを経由せずに印刷したときの設定をします。印刷位置調整は、プリンタードライバーからの印刷でも有効にすることができます。

上印刷位置調整：

用紙の上側の余白を設定します。（初期値は［0.0］）

左印刷位置調整：

用紙の左側の余白を設定します。（初期値は［0.0］）

裏面上印刷位置調整：

両面印刷するときの用紙裏側の上側の余白を設定します。（初期値は［0.0］）

裏面左印刷位置調整：

両面印刷するときの用紙裏側の左側の余白を設定します。（初期値は［0.0］）

白紙節約モード：

印刷データ内の白紙ページを印刷しないことで、用紙を節約することができます。（初期値は［オン］）

モノクロに変換印刷：

［オン］を選択すると、カラートナーがなくなったときに、モノクロに変換して印刷するかを確認するメッセージが表示されます。（初期値は［オン］）

PDL印刷設定：

印刷時の設定ができます。

共通設定：

- 用紙サイズ
  印刷時の用紙サイズを選択します。（初期値は［A４］）
- 用紙種類
  印刷時の用紙種類を選択します。（初期値は［普通紙］）
- 用紙方向
  印刷時の印刷方向を選択します。（初期値は［縦］）
- 印刷品質
  印刷時の印刷品質を選択します。（初期値は［標準］）
- トナーセーブモード
  ［オン］を選択すると、印刷濃度を薄くしてトナーを節約します。（初期値は［オフ］）
- 印刷順序
  正順印刷
  1ページ目から印刷します。（初期値は[正順印刷]）
  逆順印刷
  最終ページから印刷します。
- コピー枚数設定
  コピー枚数を選択します。（初期値は［1］）
- とじ位置
  用紙のとじ位置を選択します。（初期値は［左右開き］）
- 自動排紙設定
  ［オン］を選択すると、途中で印刷が停止したページを自動で排紙します。（初期値は［オフ］）
- 両面印刷
  ［オン］を選択すると、用紙の表裏に印刷します。（初期値は［オフ］）

- 両面片面変換
  奇数ページのジョブを両面印刷する際に、最終ページを片面印刷モードに変更して印刷するかどうかを指定します。最終ページを適切な面に印刷するためには［しない］を選択してください。（初期値は［最終ページ(奇数)］）
  - 最終ページ(奇数): 1ページのジョブや、奇数ページのジョブの最終ページを片面印刷に変更します。
  - 1ページのジョブ: 1ページのジョブに限り、片面印刷に変更します。
  - しない: 全てのジョブの最終ページ(1ページのジョブまたは奇数ページのジョブを含む)が両面印刷モードで印刷されます。
- RIT
  ［オン］を選択すると、なめらかで鮮明なテキストやグラフィックスが生成されます。（初期値は［オン］）
- 印刷領域拡張
  印刷するデータに合わせて、最大印刷領域を拡大します。
  （初期値は［オフ］）
- イメージ補正
  ［1］を選択すると、標準の方式でイメージデータを補正します。（初期値は［1］）
  通常はこの設定で使用してください。
  ［2］は、ESC/Pageモードで、本機に対応していないドライバーを使用していて、複雑な図の印刷に問題があるときに選択してください。

自動エラー解除：

両面印刷やメモリー不足のエラーが発生したときの動作を選択します。（初期値は［オフ］）

- オン
  両面印刷でエラーが発生したときは、一定時間メッセージを表示してから自動で片面を印刷します。印刷中にプリンターのメモリー不足になったときは、メッセージを表示してからプリンターで処理できたところだけを印刷します。
- オフ
  エラーメッセージを表示して印刷を中止します。

外部メモリー設定：

- 外部メモリー：
  有効にすると、プリンターに挿入した外部メモリーに接続できるようになります。［無効］にすると、プリンターに挿入した外部メモリーへのデータ保存を禁止します。機密文書の不正スキャンによるデータの持ち出しを未然に防ぎます。（初期値は［有効］）
- ファイル共有：
  USB接続されたコンピューターまたはネットワーク接続されたコンピューターのどちらから、プリンターに挿入された外部メモリーに書き込みできるかを選択します。（初期値は［USB接続優先］）

コンピューターのUSB接続：

［有効］にすると、USB接続されたコンピューターからのアクセスを許可します。［無効］にすると、ネットワークを経由しない印刷やスキャンなどを禁止できます。（初期値は［有効］）

USB I/Fタイムアウト時間設定：

USB接続したコンピューターからPostScriptプリンタードライバーを経由した印刷で、ジョブを受信してからUSB接続を切断するまでの時間を指定します。PostScriptプリンタードライバーを経由したジョブは、データの終わりが不明瞭のため、送信が終了してもUSB接続が切断されないことがあります。そのため、指定した時間が経過した後に自動で通信を遮断してジョブを終了させます。0（ゼロ）に設定すると通信の切断は行いません。（初期値は［60秒］）

カラーキャリブレーション:

［開始］を選択すると、本来の色合いで印刷されるようにカラー印刷画質を調整します。［初期設定に戻す］を選択すると、カラー印刷画質の設定を初期値に戻します。（初期値は［オフ］）

関連情報

➡ 「共通設定：」378ページ
➡ 「用紙のセット」34ページ

ネットワーク設定

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［本体設定］-［ネットワーク設定］

無線LAN接続設定：

無線LANでプリンターをネットワークに接続します。接続方法を選択し、画面の指示に従って設定してください。

ルーター：

- 無線LANルーターを検索
- プッシュボタンで設定(AOSS/WPS)
- その他
  - PINコード自動設定(WPS)
  - カンタン自動設定
  - 無線LANを無効にする
    無線LAN設定を無効にするか、もう一度無線LAN設定をすることでネットワークの問題を解決できる場合があります。 - ［ルーター］ - ［設定を変更する］ - ［その他］ - ［無線LANを無効にする］ - ［設定を開始する］の順に選択します。

Wi-Fi Direct：

- iOSデバイスとつなぐ
- Androidデバイスとつなぐ
- その他スマートデバイスとつなぐ

- 設定を変更する
  - 接続名を変更する
  - パスワードを変更する
  - 周波数帯を変更する
    地域によっては、この設定が表示されないことがあります。
  - Wi-Fi Directを無効にする
  - 初期設定に戻す

有線LAN接続設定：

LANケーブルでプリンターとハブを接続してネットワークに接続します。このとき、無線LAN接続は無効になります。

ネットワーク情報：

現在のネットワーク設定の内容を表示または印刷します。

- 有線・無線接続状態
- Wi-Fi Direct接続状態
- メールサーバー設定情報
- ステータスシート印刷

接続診断：

プリンターのネットワーク接続状況を確認して、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。接続に問題があるときは診断結果に従って対処してください。

詳細設定：

設定項目は次の通りです。

- デバイス名
- TCP/IP
- プロキシサーバー
- メールサーバー
- IPv6アドレス（初期値は［有効］）
- MS Network共有（初期値は［有効］）
- Link Speed & Duplex（初期値は［自動］）
- HTTPをHTTPSにリダイレクト（初期値は［有効］）
- IPsec/IPフィルタリングの無効化（初期値は［無効］）
- IEEE802.1Xの無効化（初期値は［無効］）
- iBeacon対応機器からの探索（初期値は［無効］）

関連情報

➡ 「プリンターにSSIDとパスワードを入力して設定する」296ページ
➡ 「プッシュボタンで自動設定する（AOSS/WPS）」296ページ
➡ 「PINコードで設定する（WPS）」297ページ
➡ 「iPhone、iPad、iPod touchでWi-Fi Direct接続する」298ページ
➡ 「AndroidデバイスでWi-Fi Direct接続する」301ページ

➡ 「iOS、Android以外のデバイスとWi-Fi Direct接続する」303ページ
➡ 「ネットワーク接続診断レポートを印刷する」307ページ
➡ 「ネットワーク接続状態の確認」306ページ
➡ 「無線LAN接続から有線LAN接続に変更する」294ページ

Webサービス設定

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［本体設定］-［Webサービス設定］

管理者によってロックされているメニューは、管理者以外は設定を変更できません。

Epson Connect設定：

Epson Connectサービスへの登録状態を表示します。
［登録する］を選択すると表示される画面の指示に従って登録します。
登録すると以下の設定ができます。

- サービスの一時停止/再開
- 登録削除

詳細は、以下のサイトをご覧ください。
https://www.epsonconnect.com/

ファクス設定（LP-M8180Fのみ）

プリンターの操作パネルから［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］の順に選択すると表示されます。

参考
- Web Configからもアクセスできます。Web Config画面の［ファクス］タブをクリックしてください。
- Web Configでのメニュー名や表示場所は、プリンターの操作パネルのファクス設定と異なることがあります。

関連情報

➡ 「クイック操作ボタン」382ページ
➡ 「基本設定」383ページ
➡ 「送信設定」386ページ
➡ 「受信設定」388ページ
➡ 「レポート設定」395ページ
➡ 「セキュリティー設定」396ページ
➡ 「ファクス診断」397ページ
➡ 「ファクス設定ウィザード」397ページ

クイック操作ボタン

プリンターの操作パネルから［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［クイック操作ボタン］の順に選択すると表示されます。

参考
- パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードがわからないときは管理者に問い合わせてください。
- Web Config画面からは設定できません。

クイック操作ボタン1、クイック操作ボタン2、クイック操作ボタン3：

ファクス送信時によく使う項目を3つまで登録できます。登録した項目は、［ファクス］メニューの［ファクス設定］タブの先頭に表示されます。
初期設定：［クイック操作ボタン1］は［通信履歴表示］、［クイック操作ボタン2］と［クイック操作ボタン3］は［使用しない］

基本設定

プリンターの操作パネルから［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］の順に選択すると表示されます。

参考
- Web Config画面からは［ファクス］タブ- ［基本設定］の順にクリックすると表示されます。
- パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードがわからないときは管理者に問い合わせてください。

通信モード：

通信速度を設定します。通信エラーが頻繁に起きるときや海外と通信するとき、またはIP電話環境で通信するときは［9.6kbps(G3)］をお勧めします。
初期設定：［14.4kbps(G3)］

エラー訂正(ECM)：

回線トラブルによるデータ抜けなどのエラーを自動で修復します（ECM機能）。無効にすると、カラー文書の送受信はできません。
初期設定：［オン］

ダイヤルトーン検出：

ダイヤルする前にダイヤルトーンを検出します。PBX（構内交換機）やIP電話などの環境ではダイヤルできないことがあります。その場合は［接続回線］を［構内交換機(PBX)］にしてください。それでも接続できないときは本機能を無効にしてください。ただし、無効にすると電話番号の先頭の数字がダイヤルされず、誤った番号にダイヤルされてしまう可能性があります。
初期設定：［オン］

ダイヤル種別：

接続した電話回線のダイヤル種別を選択します。ダイヤルしたとき受話器から「ピッポッパッ」と音がするときは、プッシュ回線です。「ジージージ」または「カタカタカタ」と音がするときは、ダイヤル回線です。回線がわからないときは［プッシュ］→［ダイヤル(20PPS)］→［ダイヤル(10PPS)］の順に設定を変えてダイヤルできるかどうか試してください。
初期設定：［プッシュ］

ナンバー・ディスプレイ対応：

ナンバーディスプレイサービスの契約をしている回線の使用時に、プリンターや外付け電話機に相手の電話番号を表示します。詳しくは下の関連情報をご覧ください。
初期設定：［オフ］

接続回線：

プリンターを接続した回線の種類を選択します。
内線電話を利用しているオフィスなどで、「0」や「9」などの外線発信番号が必要な環境では、［構内交換機(PBX)］を選択して外線発信番号を登録します。ADSLモデムやターミナルアダプターなどを使用している環境でも［構内交換機(PBX)］に設定することをお勧めします。
初期設定：［一般回線（PSTN）］

外線発信番号

［使用する］を選択して、「0」や「9」などの外線発信番号を登録します。登録後に外線番号にファクス送信するときは、外線発信番号の代わりに＃を入力します。アドレス帳に宛先登録すると、外線発信番号を付加する必要がなくなります。「0」や「9」などの外線発信番号付きで宛先をアドレス帳に登録している場合に［外線発信番号］ を［使用する］にすると外線発信できなくなります。この場合は［使用しない］に設定してください。
初期設定：［使用しない］

発信元設定：

発信元名と発信元番号を設定します。ここで設定した内容が送信文書のヘッダーに表示されます。

- 発信元番号：0～9 * #または半角スペースを使用し、20文字以内で入力できます。Web Configでは、30文字以内で入力できます。
- 発信元名：40文字以内で21件まで入力できます。Web Configでは、Unicode （UTF-8）で表せる40文字以内で入力できます。

受信モード：

受信モードを選択します。詳細は、表下の関連情報を参照ください。
初期設定：［自動］

呼び出し回数：

着信してからファクスを受信するまでの呼び出し回数を選択します。0回に設定すると、着信音を鳴らさずに受信できます（無鳴動着信）。
初期設定：［5］回

電話呼び出し回数：

［受信モード］が［ファクス/電話自動切替］になっている場合、電話がかかってきたときに外付け電話機を何回呼び出すかを選択します。
初期設定：［8］回

リモート受信：

リモート受信

外付け電話機で応答した相手がファクスの場合は、電話機で開始コードを入力するだけでファクス受信を開始します。
初期設定：［オフ］

起動コード

［リモート受信］の開始コードです。0～9 * #を使用し、2文字で入力します。
初期設定：［**］

着信・ファクス受信拒否：

着信拒否

迷惑ファクスの着信拒否を設定します。ナンバーディスプレイ回線の契約が必要です。

- 拒否番号リスト：拒否番号リストに載っている番号の着信を拒否します。
  初期設定：［オフ］
- 非通知：送信元情報が設定されていないファクスの着信を拒否します。
  初期設定：［オフ］

ファクス受信拒否

迷惑ファクス拒否の設定をします。

- 拒否番号リスト：拒否番号リストに載っている番号の受信を拒否します。
  初期設定：［オフ］
- 非通知：送信元情報が設定されていないファクスの受信を拒否します。
  初期設定：［オフ］
- アドレス帳未登録：アドレス帳に登録されていない番号の受信を拒否します。
  初期設定：［オフ］

拒否番号リスト編集

拒否番号リストに登録できるのは30件までです。0～9 * #または半角スペースを使用し、20文字以内で入力できます。

受信紙宣言：

ファクス受信に使う最大の用紙サイズを選択します。
設定した用紙サイズは、受信可能な最大用紙サイズとして、ファクス受信の際に送信側に通知されます。例えば、［A3/11x17in］に設定すると送信側に［A3/11x17in］を通知します。送信側の原稿がA3サイズのときはA3のまま送信してきます。
［自動］に設定すると、［設定］-［本体設定］-［給紙装置設定］-［給紙口自動選択］-［ファクス］で選択している用紙カセットのなかで最大の用紙サイズを送信側に通知します。
初期設定：［自動］

保存・転送時のファイル形式：

ファイル形式：

保存・転送するファクスのファイル形式を［PDF］と［TIFF］から選択します。
初期設定：［PDF］

PDF設定：

この設定は［保存・転送時のファイル形式］で［PDF印刷］を選択しているときに有効です。

文書を開くパスワード：

パスワード設定：

文書を開くためのパスワードを有効にします。
初期設定：［設定しない］

パスワード：

文書を開くパスワードを設定します。

権限パスワード：

パスワード設定

PDFファイルの印刷や編集を許可するためのパスワード設定を有効にします。
初期設定：［設定しない］

パスワード

権限パスワードを設定します。
［印刷許可］：PDFファイルの印刷を許可します。
初期設定：［許可する］
［編集許可］：PDFファイルの編集を許可します。
初期設定：［許可する］

関連情報

- 「プリンターでファクス送受信できるようにする」491ページ
- 「発信元の電話番号を表示する設定にする」494ページ
- 「構内交換機（PBX）を設定する」493ページ
- 「相手先から送られてきたファクスを受信する」146ページ
- 「迷惑ファクスの受信拒否を設定する」501ページ

送信設定

プリンターの操作パネルから［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［送信設定］の順に選択すると表示されます。

参考
- Web Config画面からは［ファクス］タブ-［送信設定］の順にクリックすると表示されます。
- パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードがわからないときは管理者に問い合わせてください。

回転送信：

ADFまたは原稿台に、A4サイズの原稿の長辺を左側にして縦置きにセットすると、通常はA3サイズの文書として送信されます。この設定を有効にすると、A4サイズの文書になるように回転させて送信できます。
初期設定：［オン］

クイックメモリー送信：

クイックメモリー送信は1ページ目の原稿のスキャンが完了した時点で、ファクスの送信を開始します。この設定を無効にすると、全てのページをスキャンしてメモリーに保存した後にファクス送信します。この設定を有効にすると、スキャンとファクス送信を並行して行うので、スキャン開始から送信完了までの時間を短縮できます。
初期設定：［オン］

バッチ送信：

宛先が同じ複数の予約文書を、自動でまとめて送信できます。5文書（合計200ページ）まで送信できます。通信回数が減るため通信費が削減できます。
初期設定：［オフ］

自動リダイヤル回数：

相手先にファクスが送れないときのリダイヤル回数を選択します。
初期設定：［3］回

自動リダイヤル間隔：

相手先にファクスが送れないときのリダイヤルする間隔を選択します。
初期設定：［3］分

送信失敗文書保存：

送信に失敗した文書をプリンターのメモリーに保存します。［ジョブ/状態］から再送信できます。
初期設定：［オフ］

文書保存期間の設定：

送信失敗文書を保持期間後に削除するかしないかを設定します。
初期設定：［オフ］

保存期間

送信失敗文書を保存しておく期間を設定します。
初期設定：［日単位］［7］日

原稿追加待ちタイマー：

セットした原稿のスキャン後に次の原稿をセットするまでの待ち時間を設定します。この時間が経過するとファクス送信が開始されます。
初期設定：［60］秒

送信プレビュー無操作タイマー：

読み取った原稿のイメージを画面で確認できる時間を設定します。この時間が経過するとファクス送信が開始されます。
初期設定：［60］秒

送信毎のバックアップ送信設定：

［許可する］を選択しておくと、［ファクス］メニューの［ファクス設定］でバックアップ送信設定設定ができます。
初期設定：［許可する］

PC-FAX送信機能：

Web Config画面のみに表示される項目です。クライアントコンピューターからのファクス送信を有効にします。
初期設定：［使用する］

関連情報

➡ 「WebブラウザーからWeb Configを起動する」432ページ

受信設定

関連情報

➡ 「保存・転送設定」388ページ
➡ 「印刷設定」393ページ

保存・転送設定

条件なし保存・転送：

プリンターの操作パネルから［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］-［保存・転送設定］-［条件なし保存・転送］の順に選択すると表示されます。

参考 Web Config画面からは、［ファクス］タブ -［保存・転送設定］-［条件なし保存・転送］の順にクリックすると表示されます。

受信ファクスを、受信ボックスや外部メモリー、コンピューターに保存したり、メールや共有フォルダー、他のファクス機に転送したりする設定をします。これらは全て同時に使用できます。プリンターの操作パネル上で全ての設定が無効のときは、受信ファクスは印刷されます。

受信ボックスに保存する：

受信ファクスをプリンターの受信ボックスに保存します。最大で200件の文書を保存できます。保存したファクスのファイルサイズや他の保存機能との併用などにより、200件まで保存できないことがあります。
この設定をオンにすると、受信ファクスは自動で印刷されません。プリンターの画面で確認して、必要なものだけ印刷できます。ただし、［条件なし保存・転送］の他の項目（［PC-FAXで受信］など）で［オン(印刷もする)］が選択されている場合は、自動で印刷されます。
初期設定：［オフ］

PC-FAXで受信：

受信したファクスをPDFかTIFFに変換してプリンターに接続されているコンピューターに保存します。
この設定はFAX Utility（アプリケーション）を使って有効にできます。プリンターの操作パネルからは有効にできません。事前にコンピューターにFAX Utilityをインストールしてください。［オン(印刷もする)］は、FAX Utilityから［オン］に設定後に変更できます。
初期設定：［オフ］

外部メモリーに保存：

受信したファクスをPDFかTIFFファイルに変換してプリンターにセットされている外部メモリーに保存します。［オン(印刷もする)］を選択すると、外部メモリーに保存と同時に印刷もします。
初期設定：［オフ］
受信したファクスは、外部メモリーに保存される前にプリンターのメモリーに一時保存されます。プリンターのメモリーの空き容量が不足すると送受信ができなくなるため、必ず空き容量に余裕のある外部メモリーをプリンターにセットしておいてください。

転送：

受信ファクスを他のファクス機に転送したり、PDFかTIFFファイルに変換してネットワーク上のフォルダーに転送したりします。転送されたファクスデータはプリンターから削除されます。［オン(印刷もする)］を選択すると、転送と同時に印刷もします。事前にアドレス帳の登録が必要です。また、転送先をメールアドレスにするときは、メールサーバーを設定してください。
初期設定：［オフ］

- 転送先：転送先をアドレス帳から選択します。
  ネットワーク上のフォルダーやメールアドレスを転送先に指定したときは、実際にその宛先に送ることができるかどうかスキャンモードでテストすることをお勧めします。ホーム画面から［スキャン］-［メール］、または［スキャン］-［ネットワークフォルダー］の順に選択し、ファクスの転送先と同じ宛先を選んでスキャンすることでテストできます。
- 転送失敗時の動作：転送に失敗したファクスを印刷するか受信ボックスに保存するか選択します。
  受信ボックスがいっぱいになるとファクスを受信できません。速やかに文書を確認して受信ボックスから削除してください。転送失敗文書件数は、その他の未処理件数と合わせてホーム画面の に表示されます。
  初期設定：［印刷する］

メール通知設定：

指定した処理が終わるとメールで通知します。以下の処理を指定できます。これらは全て同時に使用できます。

送信先

プロセスが終了したときのメールの送付先です。
初期設定：［オフ］

受信終了通知

ファクス受信が完了するとメールで通知します。
初期設定：［オフ］

印刷終了通知

受信ファクスの印刷が完了するとメールで通知します。
初期設定：［オフ］

外部メモリー保存終了通知

受信ファクスが外部メモリーに保存されるとメールで通知します。
初期設定：［オフ］

転送終了通知

ファクスの転送が完了するとメールで通知します。
初期設定：［オフ］

関連情報

➡「受信ファクスを保存する設定をする」495ページ
➡「受信ファクスを転送する設定をする」496ページ

条件保存・転送：

プリンターの操作パネルから［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］-［保存・転送設定］-［条件保存・転送］の順に選択すると表示されます。

参考 Web Config画面からは、［ファクス］タブ -［保存・転送設定］-［条件保存・転送］の順にクリックすると表示されます。

受信ファクスを、受信ボックスや親展ボックス、外部メモリーに保存したり、メールや共有フォルダー、他のファクス機に転送したりする設定をします。

設定した条件を有効または無効にするには、その項目の › 以外の場所をタップします。初期設定は［無効］です。

名称：

条件名を入力します。

条件：

条件を選択して設定します。

相手先電話番号一致

相手先のファクス番号が一致した場合、受信ファクスを保存・転送します。
初期設定：［オフ］

Fコード(SUB)完全一致

Fコードが完全に一致した場合、受信ファクスを保存・転送します。
初期設定：［オフ］

パスワード(SID)完全一致

パスワードが完全に一致した場合、受信ファクスを保存・転送します。
初期設定：［オフ］

受信時間の設定

指定した時間帯に受信ファクスを保存・転送します。
初期設定：［オフ］

保存・転送先：

条件に一致した受信ファクスを保存・転送するための保存先を選択します。これらは全て同時に使用できます。

ボックスに保存：

受信したファクス文書をプリンターの受信ボックスまたは親展ボックスに保存します。
受信したファクス文書をプリンターの受信ボックスまたは親展ボックスに最大で200件保存できます。保存したファクスのファイルサイズや他の保存機能との併用などにより、200件まで保存できないことがあります。
初期設定：［オフ］

外部メモリーに保存：

受信したファクスをPDFかTIFFファイルに変換してプリンターにセットされている外部メモリーに保存します。
初期設定：［オフ］

受信したファクスは、外部メモリーに保存される前にプリンターのメモリーに一時保存されます。プリンターのメモリーの空き容量が不足すると送受信ができなくなるため、必ず空き容量に余裕のある外部メモリーをプリンターにセットしておいてください。

転送：

受信ファクスを他のファクス機に転送したり、PDFかTIFFファイルに変換してネットワーク上のフォルダーに転送したりします。転送されたファクスデータはプリンターから削除されます。事前にアドレス帳の登録が必要です。また、転送先をメールアドレスにするときは、メールサーバーの設定もしてください。
初期設定：［オフ］

- 転送先：転送先をアドレス帳から選択します。
  ネットワーク上のフォルダーやメールアドレスを転送先に指定したときは、実際にその宛先に送ることができるかどうかスキャンモードでテストすることをお勧めします。ホーム画面から［スキャン］-［メール］、または［スキャン］-［ネットワークフォルダー］の順に選択し、ファクスの転送先と同じ宛先を選んでスキャンすることでテストできます。
- 転送失敗時の動作：転送に失敗したファクスを印刷するか受信ボックスに保存するか選択します。
  初期設定：［印刷する］

印刷：

ファクスを受信したら印刷します。
初期設定：［オフ］

保存・転送時のファイル形式：

ファクスを保存したり転送したりするときのファイル形式を設定できます。
初期設定：［ファクス設定に従う］

PDF設定：

この設定は［保存・転送時のファイル形式］で［PDF印刷］を選択しているときに有効です。

文書を開くパスワード：

パスワード設定：

文書を開くためのパスワードを有効にします。
初期設定：［設定しない］

パスワード：

文書を開くパスワードを設定します。

権限パスワード：

パスワード設定

PDFファイルの印刷や編集を許可するためのパスワード設定を有効にします。
初期設定：［設定しない］

パスワード

権限パスワードを設定します。
［印刷許可］：PDFファイルの印刷を許可します。

初期設定：［許可する］
［編集許可］：PDFファイルの編集を許可します。
初期設定：［許可する］

メール通知設定：

指定した処理が終わるとメールで通知します。以下の処理を指定できます。これらは全て同時に使用できます。

送信先

プロセスが終了したときのメールの送付先です。
初期設定：［オフ］

受信終了通知

ファクス受信が完了するとメールで通知します。
初期設定：［オフ］

印刷終了通知

受信ファクスの印刷が完了するとメールで通知します。
初期設定：［オフ］

外部メモリー保存終了通知

受信ファクスが外部メモリーに保存されるとメールで通知します。
初期設定：［オフ］

転送終了通知

ファクスの転送が完了するとメールで通知します。
初期設定：［オフ］

結果レポート印刷：

受信ファクスの保存や転送時に、結果レポートを印刷します。
［エラー時のみ］を選択すると、受信ファクスの保存や転送をしたときにエラーが起こると、結果レポートを印刷します。
初期設定：［エラー時のみ］

関連情報

➡「特定の条件で受信ファクスを保存する」498ページ
➡「特定の条件で受信ファクスを転送する」500ページ

共通設定：

プリンターの操作パネルから［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］-［保存・転送設定］-［共通設定］の順に選択すると表示されます。

参考 Web Config画面からは、以下の順に選択すると表示されます。

- ［ファクス］タブ -［ファクスボックス］-［受信ボックス］
- ［ファクス］タブ -［保存・転送設定］-［共通設定］

受信ボックス設定：

容量限界時の動作：

受信ボックスがいっぱいのときに受信したファクスを印刷するか受信拒否するか選択します。
初期設定：［受信しない］

パスワード設定：

誰でも簡単に受信ボックスを開いて見ることができないように受信ボックスにパスワードを設定します。設定したパスワードを変更するときは［変更］を、パスワード設定を解除するときは［設定クリア］を選択します。変更や初期化をするときも現在設定されているパスワードの入力が必要です。
［容量限界時の動作］で［受信して印刷する］を選んだときは、パスワードは設定できません。

Eメール転送時の件名：

転送先をメールアドレスにしたときの、メールの件名を指定できます。

ボックス内文書削除設定：

ボックス内文書削除設定：

［オン］を選択すると、受信後一定時間が経過したファクスを自動的に削除します。
初期設定：［オフ］

削除までの期間：

受信ボックスに文書が保存されてから削除するまでの期間を設定します。
初期設定：［日単位］［7］日

削除対象：

削除対象とする文書を［既読文書のみ］、［未読文書のみ］、［全ての文書］から選択します。
初期設定：［既読文書のみ］

メニュー：

プリンターの操作パネルから［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］-［保存・転送設定］-Menuの順に選択すると表示されます。

参考 Web Config画面からは印刷できません。

条件保存・転送リスト印刷：

条件保存・転送リストを印刷します。

印刷設定

プリンターの操作パネルから［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］-［印刷設定］の順に選択すると表示されます。

参考
- Web Config画面からは［ファクス］タブ -［印刷設定］の順にクリックすると表示されます。
- パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードがわからないときは管理者に問い合わせてください。

自動縮小印刷：

受信ファクスの文書サイズがプリンターにセットされている用紙のサイズより大きいときに、用紙のサイズに合わせて縮小印刷します。データによっては縮小できないことがあります。無効にすると縮小されず、複数ページに印刷されたり、2枚目が白紙になったりすることがあります。
初期設定：［オン］

ページ分割設定：

受信ファクスの文書サイズがプリンターにセットされている用紙より大きいときのページの分割方法を設定します。
初期設定：［分割後の印刷破棄］が［下を破棄］、［分割時の重ねあわせ］が［オン］

代行印刷：

受信文書のサイズがプリンターにセットされている用紙より大きいときの印刷方法を設定します。
［オン（分割して印刷）］を選択すると受信文書を長辺方向に分割して印刷します。［オン（縮小して印刷）］ を選択すると最小で50%まで縮小して印刷します。
初期設定：［オフ］

自動回転印刷：

A4（またはレター、B5、A5）サイズの横長の文書を受信したときに、自動で回転してA4（またはレター、B5、A5）サイズの用紙に印刷します。ファクスで使用する給紙装置いずれかの用紙サイズ設定がA4（またはレター、B5、A5）のときに適用されます。
［オフ］を選択した場合、A4横長（またはレター、B5、A5）の文書を受信すると、同じ横幅のA3（またはタブロイド、B4、A4）サイズの文書を受信したとみなして印刷します。
初期設定：［オン］
ファクス印刷に使用できる給紙装置と、その給紙装置の用紙サイズ設定は、［設定］-［本体設定］-［プリンター設定］-［給紙装置設定］から以下を表示すると確認できます。

- ［給紙口自動選択］
- ［用紙設定］-［用紙サイズ］

受信情報の付加：

送信元がヘッダー情報を設定しない場合でも、受信ファクスに受信情報を印刷します。受信情報には受信日時、送信元番号、受付ID（#001など）やページ番号（P1など）が含まれます。受付IDで、通信管理レポートの通信履歴やファクスジョブ履歴と照合することがで きます。［ページ分割設定］を有効にしているときは、分割ページ番号も含まれます。
初期設定：［オフ］

両面印刷：

複数ページの受信ファクスを両面印刷します。
初期設定：［両面印刷］が［オフ］、［印刷とじ位置］が［長辺］

印刷開始設定：

受信したファクス文書の印刷を開始するタイミングを設定します。

- 全ページ受信後：全ページを受信後に印刷を開始します。印刷を最初のページからするか最後のページからするかは、［正順印刷］の設定に従います。［正順印刷］の説明をご覧ください。
- 最初のページ受信後：1ページ目を受信したところで印刷を開始します。他のジョブを印刷中などで印刷を開始できないときは、印刷可能になったところでまとめて印刷を開始します。

初期設定：［全ページ受信後］

正順印刷：

受信したファクス文書を、最後のページから印刷します。1ページ目が最後に印刷されて、文書はページ順に並びます。メモリーの空き容量が少ないときはこの設定が適用されないことがあります。
初期設定：［オン］

印刷停止時間の設定：

印刷停止時間の設定

指定の時間帯に受信したファクス文書を印刷せずにメモリーに保存します。夜間の騒音防止や不在時の機密漏えい防止などに活用できます。メモリーに十分な空き容量があることを確認してからお使いください。再開時刻前でも、［ジョブ/状態］から確認して個別に印刷できます。
初期設定：［オフ］

停止する時刻

指定時刻になると印刷を中止します。

再開する時刻

指定時刻になると自動的に印刷を再開します。

レポート設定

プリンターの操作パネルから［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［レポート設定］の順に選択すると表示されます。

参考
- Web Config画面からは［ファクス］タブ- ［レポート設定］の順にクリックすると表示されます。
- パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードがわからないときは管理者に問い合わせてください。

転送結果レポート：

受信ファクスが転送されたときのレポートを印刷します。［オン］を選択すると、転送のたびにレポートを印刷します。
初期設定：［エラー時のみ］

バックアップエラーレポート：

［バックアップ先］が有効のとき、送信した文書をバックアップできなかったときにレポートを印刷します。バックアップ先は、送信ごとに［ファクス］-［ファクス設定］タブ -［バックアップ送信設定］で指定できます。以下のときに使用できます。

- モノクロ（白黒）で送信する
- ［時刻指定送信］で送信する

- ［バッチ送信］で送信する
- ［待機文書蓄積］で送信する

初期設定：［オン］

通信管理レポート：

通信管理レポートを自動で印刷します。［オン(100件毎)］を選択すると、通信履歴が100件に達したときに印刷されます。［オン(指定時刻)］を選択すると、指定の時刻に印刷されます。ただし、通信履歴が100件に達すると指定時刻の前でも印刷されます。
初期設定：［オフ］

受信結果レポート：

ファクス受信すると受信結果レポートを印刷します。
［エラー時のみ］を選択したときは、ファクス受信時にエラーが発生すると受信結果レポートを印刷します。
初期設定：［オフ］

レポート内画像添付：

［通信結果レポート印刷］に、送信文書の1ページ目のイメージ画像を入れて印刷します。［添付する(画像大)］を選択すると、ページの一部（冒頭部分）を縮小せずに印刷します。［添付する(画像小)］を選択すると、ページ全体を縮小して印刷します。
初期設定：［添付しない］

通信管理レポートレイアウト：

［送受信混在］を選択すると、送信結果と受信結果が混在した状態の［通信管理レポート］が印刷されます。
［送受信別］を選択すると、送信結果と受信結果が分けられた状態の［通信管理レポート］が印刷されます。
初期設定：［送受信混在］

レポート形式：

［ファクス］-［応用］-［ファクスレポート印刷］から印刷できる、［プロトコルログ］以外のファクスレポートの表示形式を選択します。［詳細情報］にするとエラーコードも印刷されます。
初期設定：［簡易情報］

通信管理レポート出力先：

［外部メモリーに保存］などから出力先を選択します。［転送］を選択したときは、アドレス帳から［転送先］を選択してください。
初期設定：［印刷］

セキュリティー設定

プリンターの操作パネルから［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［セキュリティー設定］の順に選択すると表示されます。

参考
- Web Config画面からは［ファクス］タブ- ［セキュリティー設定］の順にクリックすると表示されます。
- パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードがわからないときは管理者に問い合わせてください。

直接ダイヤル制限：

［オン］にすると、ファクス番号を直接入力できません。アドレス帳かクイックダイヤル、または履歴から宛先を選択できます。
［2回入力］にすると、ファクス番号を直接入力したときに確認のための再入力が必要です。誤送信のリスクが軽減します。
［オフ］にすると、ファクス番号を直接入力できます。
初期設定：［オフ］

複数宛先送信制限：

［オン］を選択すると、宛先に指定できるファクス番号を1件のみに制限します。
初期設定：［オフ］

宛先一覧確認：

［オン］にすると、送信開始前に宛先確認の画面を表示します。
初期設定：［オン］
宛先確認画面を表示する条件を、［全て］または［複数宛先送信時のみ］から選択できます。
初期設定：［複数宛先送信時のみ］

バックアップデータ自動消去：

停電や誤操作による電源オフに備え、送受信文書のデータはメモリー内に一時保存しています。
［オン］にすると、送受信文書の処理が完了してバックアップが不要になると自動的に消去します。
初期設定：［オフ］

バックアップデータを消去：

メモリー内に一時保存されたバックアップデータを全て消去します。プリンターを譲渡または廃棄するときに実行してください。
Web Config画面からは設定できません。

ファクス診断

プリンターの操作パネルから［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［ファクス診断］の順に選択すると表示されます。

参考 Web Config画面からは診断できません。

プリンターが電話回線に接続されていて送受信ができる状態かどうかを診断します。診断後、A4サイズの普通紙に結果レポートを印刷できます。

ファクス設定ウィザード

プリンターの操作パネルから［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［ファクス設定ウィザード］の順に選択すると表示されます。

参考 Web Config画面からは実行できません。

ファクス送受信に必要な基本設定を画面に従って設定します。

関連情報

➡ 「基本設定」383ページ
➡ 「プリンターでファクス送受信できるようにする」491ページ

スキャン設定

読み取り前宛先確認

スキャンする前に宛先を確認します。（初期値は［オフ］）

Document Capture Pro設定

操作パネルで［コンピューター］を選択してスキャンするとき、Document Capture Proのインストールされたコンピューターに合わせてモードを設定します。（初期値は［クライアントモード］）

- クライアントモード
  WindowsまたはMac OSにDocument Capture Proがインストールされているときに選択します。
- サーバーモード
  Windows ServerにDocument Capture Proがインストールされているときに選択します。続いて、サーバーアドレスを入力します。

メールサーバー

［メール］を選択してスキャンするときの、メールサーバーの設定をします。

- サーバー設定
  プリンターがメールサーバーにアクセスする際の認証方式を指定します。（初期値は［オフ］）
  「メールサーバー設定項目」448ページ
- コネクションテスト
  メールサーバーとの接続を確認します。

管理者用設定

システム管理者としてプリンターを管理するときに使用します。オフィスなどでプリンターを共有する際に、個人が使用できる機能を制限できます。
操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［本体設定］-［管理者用設定］

アドレス帳管理：

アドレス帳登録・変更：

ファクス、スキャン to Eメール 機能、スキャン to ネットワークフォルダー 機能で使うアドレスを登録、削除します。

常用管理：

頻繁に使うアドレスを登録して簡単にアクセスできるようにします。また、アドレスの並び順を変えることができます。

アドレス帳印刷：

アドレス帳を印刷します。

アドレス帳表示方法設定：

アドレス帳の表示方法を変更します。（初期値は［タイル表示］）

アドレス帳検索設定：

アドレス帳の検索方法を変更します。（初期値は［前方一致］）

コピーカラー判定：

［自動］でコピーしたとき、原稿がモノクロかカラーかを判定する度合いを設定します。
［モノクロより］から［カラーより］の5段階で設定できます。
［モノクロより］に近づけるほどモノクロの原稿と認識しやすくなり、［カラーより］に近づけるほどカラーの原稿と認識しやすくなります。

スキャナー清掃通知：

設定を無効にすると、スキャナー読み取り部の清掃時期を通知する案内は表示されません。（初期値は［オン］）

本体情報の送信設定:

プリンター情報をDSサーバーに送信する時間帯を設定します。

スリープスケジュール設定：

利用状況に応じて、スリープパターンを設定できます。

トナー消費本数のリセット：

トナー消費本数を初期化します。

内部メモリーデータ削除：

プリンターの内蔵メモリーにダウンロードしたPostScript印刷用のフォントやマクロを削除します。
プリンターの内蔵メモリーにあるパスワード付きのジョブを削除します。

HDD消去設定：

内蔵ハードディスクに保存されているデータの処理を設定します。
本機は認証印刷や大量のコピー、スキャン、印刷などのデータを扱うために、一時的にハードディスクにこれらのジョブを保存しています。これらのデータを安全に消去する設定をします。

メモリー自動消去設定：

有効にすると、印刷やスキャンが終了した場合など、対象のデータが不要になったときに逐次消去されます。消去される対象のデータはこの機能が有効な間に書き込まれたデータです。
ハードディスクへのアクセスが必要なので省電力モードに入る時間が遅くなります。

メモリー全消去：

ハードディスク内の全データを消去します。実行中は他の操作をしたり、プリンターの電源を切らないでください。

- 高速：
  専用の消去コマンドによって全データを消去します。
- 上書き：
  専用の消去コマンドで全データを消去し、さらに全領域に別データを上書きして全データを消去します。
- 3回上書き：
  専用の消去コマンドで全データを消去し、さらに全領域に別データを3回上書きして全データを消去します。

セキュリティー設定：

以下の設定ができます。

機能制限：

パネルロックが有効な場合、以下の項目の設定を変更できます。

- ジョブ履歴表示
- アドレス帳の登録・変更許可
- ファクスの宛先履歴表示
- ファクスの通信履歴表示
- ファクスのレポート印刷許可
- スキャン to ネットワークフォルダー機能 保存履歴の印刷許可
- スキャン to メール機能 宛先履歴表示
- スキャン to メール機能 送信履歴表示
- スキャン to メール機能 送信履歴の印刷許可
- 言語選択の変更許可
- 宛先情報の保護

利用者制限：

有効にすると、使用できる機能をユーザーごとに制限します。利用者制限された機能は、ユーザー名とパスワードが要求され、操作パネルで入力してから使用します。［利用者情報がないジョブの許可設定］は、認証情報のないジョブの実行を許可するかどうかを設定します。

管理者設定：

- 管理者パスワード
  管理者パスワードの設定や変更、初期化をします。
- 管理者ロック
  操作パネルの設定を変更できないように管理者パスワードでロックします。（初期値は［オフ］）

パスワード暗号化:

有効にするとパスワードを暗号化します。（初期値は［オフ］） USBデバイスを接続して暗号鍵をバックアップすることもできます。再起動中に電源を切るとパスワードのデータが破損してプリンターの設定が初期化されるおそれがあります。その場合はパスワード情報を再設定してください。

監査ログ:

有効にすると監査ログを保存します。

起動時のプログラム検証:

有効にすると起動時にプリンターのプログラムを検証します。

本体寿命の警告：

有効にすると、本体寿命が近づいているときにメッセージを表示します。（初期値は［オン］）

お客様利用情報：

［許可］を選択すると印刷枚数など製品の利用情報をセイコーエプソン株式会社に提供します。（初期値は［拒否］）

プリンター調整機能：

プリンターで特殊な設定ができます。詳しくは関連情報をご覧ください。

初期設定に戻す：

以下のメニューの設定値を初期値に戻します。

- ネットワーク設定
- コピー設定
- スキャン設定
- ファクス設定
- 全て初期化

ファームウェアのアップデート：

プリンターのファームウェア情報を確認できます。

アップデート：

ネットワーク上に最新のファームウェアがあるか確認します。ファームウェアのアップデートが可能なときは、アップデートをするかどうか選択できます。

定期通知設定：

有効にすると、最新のファームウェアがあるかどうか定期的に確認してお知らせします。

プリンターモニタリングサービス設定：

有効にすると、［本体情報を送信］ボタンがホーム画面に表示され、本体情報をエプソンに送信することを選択できるようになります。（初期値は［オフ］）

関連情報

➡ 「プリンター調整機能」416ページ

［印刷ページ数の確認］メニュー

操作パネルで以下の順に選択します。

［設定］-［印刷ページ数の確認］

プリンター購入時からのステータスシートなどを含む総印刷ページ数、モノクロ印刷ページ数、カラー印刷ページ数を表示します。その他の機能または外部メモリーからの印刷ページ数を確認することもできます。

［交換品情報］メニュー

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［交換品情報］

消耗品や交換部品の状態や型番を確認できます。

［言語選択/Language］メニュー

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［言語選択/Language］

画面に表示する言語を選択します。（初期値は［日本語］）

［情報確認/印刷］メニュー

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［情報確認/印刷］

本体ステータスシートの印刷：

プリンター情報シート：

プリンターの状態や設定を印刷します。

消耗品情報シート：

消耗品の情報を印刷します。

使用履歴シート：

プリンターの使用履歴を印刷します。

ネットワーク：

現在のネットワーク設定の内容を表示します。またステータスシートを印刷することもできます。

［アドレス帳管理］メニュー

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［アドレス帳管理］

アドレス帳登録・変更：

ファクス、スキャン to Eメール 機能、スキャン to ネットワークフォルダー 機能で使うアドレスを登録、削除します。

常用管理：

頻繁に使うアドレスを登録して簡単にアクセスできるようにします。また、アドレスの並び順を変えることができます。

アドレス帳印刷：

アドレス帳を印刷します。

アドレス帳表示方法設定：

アドレス帳の表示方法を変更します。

アドレス帳検索設定：

アドレス帳の検索方法を変更します。

［ユーザー設定］メニュー

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［ユーザー設定］

管理者によってロックされているメニューは、管理者以外は設定を変更できません。
以下のメニュー項目の初期値を用途に合わせて変更することができます。

- スキャン to ネットワークフォルダー 機能
- スキャン to Eメール 機能
- スキャン to 外部メモリー 機能
- スキャン to クラウド 機能
- コピー設定
- ファクス

［認証装置ステータス］メニュー

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［認証装置ステータス］

認証装置の状態を表示します。（初期値は［非接続］）

［Epson Open Platform情報］メニュー

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［Epson Open Platform情報］

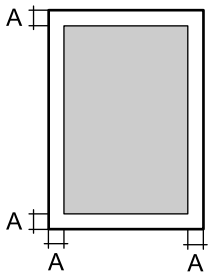
Epson Open Platformの情報を表示します。

製品仕様

以下は2020年7月現在の情報です。

コピー機能

形式		フロアタイプ（専用ラック使用）
カラー対応		フルカラー
解像度	読み取り	600×600 dpi、1200×1200 dpi
	書き込み	600×600 dpi、1200×1200 dpi
階調/表現色		C、M、Y、K 各色256 階調/1670 万色
原稿サイズ		最大：A3 （297×431.8 mm） 最小：ハガキ
用紙サイズ		A3、B4、A4、B5、A6、ハガキ
用紙種類		普通紙、再生紙、上質紙、厚紙、コート紙、ハガキ、封筒、ラベル
ウォームアップタイム		27秒以下
ファーストコピータイム*1	モノクロ（300×300 dpi）	13秒
	カラー（300×300 dpi）	15秒
リカバリータイム（スリープ復帰時間）		13秒
連続複写速度*2		35枚/分
複写倍率	等倍	1：1 （+1.6%、-2.2%）
	固定倍率	0.5、0.7、0.81、0.86、1.15、1.22、1.41、2.0
	ズーム	25 ～ 400%
最大連続複写枚数		999枚

画像欠け幅*3		各辺の端から4 mmを除く領域  A：4 mm
自動両面印刷		標準搭載
エネルギー消費効率*4		89 kWh/年 （区分：複合機a）
動作音*5 （本体のみ）	音圧 レベル	稼働時： 55 dB
		レディー時： 7 dB
	音響 パワー レベル	稼働時： 7.4 B
		レディー時： 3.4 B

*1： プリンター動作が始まってから1枚目の用紙が完全に排出されるまでの時間

*2： 印刷中に良好な画質を得るための画像調整を自動的に行うことがあり、上記の印刷速度が出ないことがあります。また用紙サイズによっては、定着ユニットの安定性保持のために、印刷を一時停止することがあります。

*3： プリンタードライバーの設定やプリンター制御コードによって印刷できる領域が上記より小さくなることもあります。

*4： 省エネ法（平成25年3月1日付）で定められたプリンターの測定方法による数値

*5： 動作音が気になる場合は、違う場所に設置することをお勧めします。

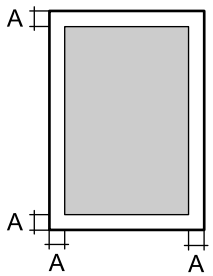
ADF機能

原稿送り装置の種類		自動両面原稿送り装置（両面同時読み取り）
原稿サイズ/種類	原稿サイズ	最大：A3 （297×431.8 mm） 最小：A6
	原稿坪量	片面読取時：38～128 g/m^2 両面読取時：50～128 g/m^2
原稿積載枚数		150枚 （80 g/m^2）、総厚16.5 mm 以下
原稿読み取り速度*1（コピー時）	モノクロ	35枚/分
	カラー	35枚/分
原稿読み取り速度*1（スキャン時）	モノクロ	50 ipm
	カラー	50 ipm

耐久性（ADF 寿命）	300,000ページ*2（A4）、または5年のいずれか早い方

*1：向きにA4 原稿をセットし、普通紙等倍の標準印刷モードで、A4 複数枚原稿の1 枚を複写倍率 1:1 かつ1 枚ずつの連続コピー時
*2：定期交換部品（ADFメンテナンスユニット）の交換が必要。ページ数は目安。印刷環境や印刷の仕方（用紙サイズ、電源の頻繁な入/ 切など）によって変動し、この数値より少なくなることがあります。

プリント機能

プリント方式		半導体レーザービーム走査＋乾式二成分電子写真方式
プリント速度		コピー機能に準ずる
解像度		600×600dpi、1200×1200dpi （スクリーン処理により最大9600×1200dpi相当）
ページ記述言語/コントロールコード体系		標準：ESC/PageS Printing system、ESC/Page、ESC/Page-Color PS3対応ROM装着時：PostScript3対応、PDF1.7
内蔵フォント	Scalable Font	標準：日本語2書体、欧文16書体 PS3対応ROM装着時：日本語2書体、欧文80書体
	Bitmap Font	欧文4書体
	OCR/Barcode	6書体
印刷可能領域*1		各辺の端から5 mmを除く領域  A：5 mm
メモリー容量		4 GB
耐久性（製品寿命）		900,000 ページ*2または5年のいずれか早い方

*1： プリンタードライバーの設定やプリンター制御コードによって印刷できる領域が上記より小さくなることもあります。

*2：定期交換部品（メンテナンスユニット）の交換が必要。ページ数は目安。印刷環境や印刷の仕方（用紙サイズ、電源の頻繁な入/切など）によって変動し、この数値より少なくなることがあります。

省資源機能

両面や割り付け、縮小などの印刷で、用紙の使用枚数が節約できます。

スキャン機能

形式	カラースキャナー
原稿サイズ	最大：A3 （297×431.8 mm）
読み取り解像度	600 dpi
耐久性（スキャナー寿命）	120,000ページ（A4）または5年のいずれか早い方

インターフェイスの仕様

コンピューター接続用	SuperSpeed USB
外部記憶装置接続用	Hi-Speed USB

プリンターが使用するポート

プリンターは以下のポートを使用します。必要に応じてあらかじめネットワーク管理者にポート使用を許可してもらいます。

送信元（クライアント）がプリンターの場合

用途	送信先(サーバー)	プロトコル	ポート番号
ファイル送信（プリンター本体のスキャン to ネットワークフォルダー機能利用時）	FTP/FTPSサーバー	FTP/FTPS (TCP)	20
			21
	ファイルサーバー	SMB (TCP)	445
		NetBIOS (UDP)	137
			138
		NetBIOS (TCP)	139
	WebDAVサーバー	Protocol HTTP (TCP)	80
		Protocol HTTPS (TCP)	443

用途	送信先(サーバー)	プロトコル	ポート番号
メール送信(プリンター本体のスキャン to メール機能利用時)	SMTPサーバー	SMTP (TCP)	25
		SMTP SSL/TLS (TCP)	465
		SMTP STARTTLS (TCP)	587
POP before SMTP接続(プリンター本体のスキャン to メール機能利用時)	POPサーバー	POP3 (TCP)	110
Epson Connect機能	Epson Connectサーバー	HTTPS	443
		XMPP	5222
ユーザー情報取得(プリンター本体のアドレス帳利用時)	LDAPサーバー	LDAP (TCP)	389
		LDAP SSL/TLS (TCP)	636
		LDAP STARTTLS (TCP)	389
メール送信時のユーザー認証(Epson Open Platformアクティベート時) ユーザー情報取得時のユーザー認証(プリンター本体のアドレス帳利用時) プリンター本体のスキャン to ネットワークフォルダー(SMB)機能利用時のユーザー認証	KDCサーバー	Kerberos	88
WSDの制御	クライアントコンピューター	WSD (TCP)	5357
Document Capture Proからのプッシュスキャン時のコンピューター探索	クライアントコンピューター	Network Push Scan Discovery	2968

送信元(クライアント)がクライアントコンピューターの場合

用途	送信先(サーバー)	プロトコル	ポート番号
ファイル送信(プリンター本体のFTP印刷利用時)	プリンター	FTP (TCP)	20
			21
EpsonNet Configなどのアプリケーションソフト、プリンタードライバー、スキャナードライバーからのプリンター探索	プリンター	ENPC (UDP)	3289
EpsonNet Configなどのアプリケーションソフト、エプソンのプリンタードライバー、スキャナードライバーからのプリンターMIB情報の取得と設定	プリンター	SNMP (UDP)	161
LPRデータの転送	プリンター	LPR (TCP)	515
RAWデータの転送	プリンター	RAW (Port9100) (TCP)	9100
AirPrint(IPP/IPPS印刷)のデータの転送	プリンター	IPP/IPPS (TCP)	631

用途	送信先(サーバー)	プロトコル	ポート番号
WSDのプリンター探索	プリンター	WS-Discovery (UDP)	3702
Document Capture Proからのスキャンデータの転送	プリンター	Network Scan (TCP)	1865
Document Capture Proからのプッシュスキャン時のジョブ情報取得	プリンター	Network Push Scan	2968
Web Config	プリンター	HTTP(TCP)	80
		HTTPS(TCP)	443
ファクスデータの転送	プリンター	IPP FaxOut(TCP)	631
PC-FAX	プリンター	HTTP(TCP)	80

ファクス機能（LP-M8180Fのみ）

適用回線		一般加入電話回線（PSTN）、構内交換機（PBX）
走査線密度	モノクロ	標準モード：8dot/mm×3.85 本/mm
		精細モード・写真モード：8dot/mm×7.7 本/mm
		高精細モード：8dot/mm×15.4 本/mm
		超高精細モード：16dot/mm×15.4 本/mm
	カラー	200×200dpi
通信速度		最大33.6kbps
符号化方式	モノクロ	MH、MR、MMR
	カラー	JPEG
通信モード		最大：A3
送信原稿サイズ		最大：A3
記録紙サイズ		最大：A3 最小：A5
電送時間		約3秒（ITU-T標準原稿/標準モード/スーパーG3送信時）

参考 ファクスのファームウェアのバージョンは、プリンターの操作パネルで以下の順に選択して、［ファクス機能設定リスト］を印刷して確認してください。

［ファクス］ - Menu（［応用］）- ［ファクスレポート印刷］ - ［ファクス機能設定リスト］

ネットワークの仕様

無線LANの仕様

準拠規格	IEEE802.11a/b/g/n*1/ac		
周波数帯	IEEE802.11b/g/n：2.4 GHz、IEEE802.11a/n/ac：5 GHz		
チャンネル	Wi-Fi	2.4 GHz	1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11/12/13
		5 GHz	W52（36/40/44/48）*2、W53（52/56/60/64）*2 、W56 （100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140）
	Wi-Fi Direct	2.4 GHz	1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11/12/13
		5 GHz	W52（36/40/44/48）*2
接続モード	インフラストラクチャー、 Wi-Fi Direct（シンプル AP）*3*4		
無線セキュリティー*5	WEP（64/128bit）、WPA2-PSK（AES）*6、WPA3-SAE（AES）、WPA2/WPA3-Enterprise		

*1： IEEE802.11n（2.4GHz）はHT20のみ対応
*2： 屋外使用不可
*3： IEEE802.11bは非対応
*4： シンプルAPモードは、無線LAN（インフラストラクチャー）または有線LANとの併用可能
*5： Wi-Fi DirectはWPA2-PSK（AES）のみ対応
*6： WPA2規格に準拠し、WPA/WPA2 Personal規格に対応

有線LANの仕様

準拠規格	IEEE802.3i（10BASE-T）*1 IEEE802.3u（100BASE-TX） IEEE802.3ab（1000BASE-T）*1 IEEE802.3az（Energy Efficient Ethernet）*2
通信モード	Auto、10 Mbps Full duplex、10 Mbps Half duplex、100 Mbps Full duplex、100 Mbps Half duplex
コネクター	RJ-45

*1： 社団法人 VCCI 協会の技術基準への適合および電磁障害のリスク低減のため、カテゴリー 5e 以上の STP（シールドツイストペア）ケーブルを使用すること
*2： IEEE802.3azに対応した接続機器が必要

ネットワーク機能とIPv4/IPv6対応

機能			対応	備考
ネットワーク印刷機能	EpsonNet Print（Windows）	IPv4	○	-
	Standard TCP/IP（Windows）	IPv4、IPv6	○	-
	WSD印刷（Windows）	IPv4、IPv6	○	Windows Vista以降
	Bonjour印刷（Mac OS）	IPv4、IPv6	○	-
	IPP印刷（Windows、Mac OS）	IPv4、IPv6	○	-
	PictBridge印刷（無線LAN）	IPv4	-	デジタルカメラ
	Epson Connect（メールプリント、リモートプリント）	IPv4	○	-
	AirPrint（iOS、Mac OS）	IPv4、IPv6	○	iOS 5以降、Mac OS X v10.7以降
ネットワークスキャン機能	Epson Scan 2	IPv4、IPv6	○	-
	Event Manager	IPv4	-	-
	Epson Connect（スキャン to クラウド機能/スキャンしてクラウドへ）	IPv4	○	-
	AirPrint（スキャン機能）	IPv4、IPv6	○	OS X Mavericks以降
ファクス機能	PC送信	IPv4	○	-
	PC受信	IPv4	○	-
	AirPrint（ファクス機能）	IPv4、IPv6	○	OS X Mountain Lion以降

セキュリティーのプロトコル

IEEE802.1X*	
IPsec/IPフィルタリング	
SSL/TLS	HTTPS（サーバー/クライアント）
	IPPS
SMTPS（STARTTLS、SSL/TLS）	

SNMPv3

*： IEEE802.1Xに対応した接続機器が必要

対応している他社サービス

AirPrint	印刷	iOS 5以降、Mac OS X v10.7.x以降
	スキャン	OS X Mavericks以降
	ファクス	OS X Mountain Lion以降

対応外部メモリーの仕様

外部メモリーの種類	サポートする最大容量
USBフラッシュメモリー	2TB（FAT、FAT32、またはexFATフォーマット済みのもの）

以下の外部メモリーは使用できません。

- 専用のドライバーが必要なもの
- セキュリティー（パスワード、暗号化）機能付きのもの

全ての動作を保証するものではありません。

印刷できるファイルの仕様

ファイルフォーマット	DCF*1Version 1.0または2.0*2規格準拠のデジタルカメラで撮影した、JPEG形式（Exif Version 2.3準拠）の画像データ（*.jpg） TIFF6.0準拠の以下の画像 • RGBフルカラー（非圧縮） • 2値（非圧縮もしくは2値CCITT2値エンコーディング） PS3対応ROM装着時はPDF1.7 準拠のデータファイル
有効画像サイズ	横：80～10200ピクセル 縦：80～10200ピクセル
有効ファイルサイズ	2GB未満

最大ファイル数	JPEG：9990個*3 TIFF：999個 PDF：999個

*1： 社団法人電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）で標準化された「Design rule for Camera File system」規格の略称
*2： デジタルカメラの内蔵メモリーに保存されている画像には非対応
*3： 一度に表示できるファイル数は999 個まで（999 個を越えるとグループ単位で表示）

参考 プリンターで認識できない画像ファイルは、プリンターの画面上に「×」と表示されます。複数面レイアウト（自動配置）では、空白（印刷されない）になります。

外形寸法と質量の仕様

外形寸法	• 幅：555 mm • 奥行き：768 mm • 高さ：1245mm
質量 *	増設1段カセットユニット付き：約118 kg 増設3段カセットユニット付き：約133 kg

*： スキャナー部、プリンター部、増設カセットユニット、コントローラーボックス部、専用ラックの合計値（消耗品含む）

電気的仕様

定格電圧	AC 100 V
定格周波数	50/60 Hz
定格最大電流	15.0 A
消費電力（本体のみ）	コピー時（カラー）：約649 W コピー時（モノクロ）：約532 W 予熱モード時：約65 W レディー時：約81 W スリープモード時：約0.90 W 電源オフ時：約0 W 最大消費電力：約1210 W

動作時と保管時の環境仕様

動作時	温度：10～32℃ 湿度：20～80%（非結露） 高度（気圧）*：0～3100 m

収納時	温度：0～35℃ 湿度：15～80%（非結露） 高度（気圧）*：0～3100 m （空輸の場合は0～15000 m）

*： 標高が高いところで使用する場合はプリンター調整機能 - 高地設定で標高に応じて設定を調整してください。プリンター調整機能については関連情報をご確認ください。

関連情報

➡ 「プリンター調整機能」416ページ

設置場所と設置スペース

以下の条件を満たす場所に設置してお使いください。

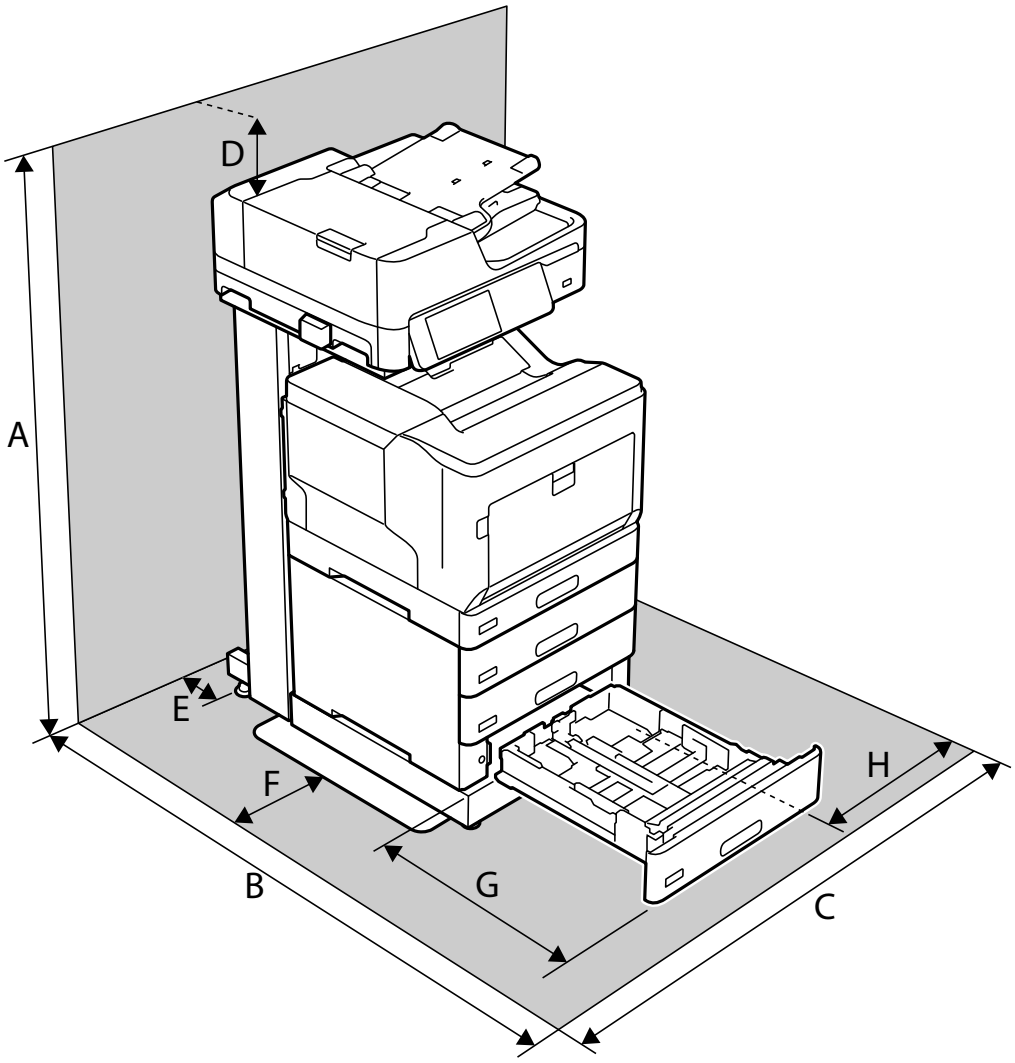
- 本製品の質量に十分耐えられる、水平で安定した場所
- 風通しのよい場所
- 本製品の通気口を塞がない場所
- 専用の電源コンセントが確保できる場所
- 用紙のセットや印刷した用紙の取り出しが無理なく行える場所
- 本書『動作時と保管時の環境仕様』を満たす場所

！重要 以下のような場所には設置しないでください。動作不良や故障の原因になります。

- 直射日光の当たる場所
- 温度変化の激しい場所
- 火気のある場所
- 揮発性物質のある場所
- 振動の多い場所
- テレビ・ラジオに近い場所
- ホコリや塵の多い場所
- 湿度変化の激しい場所
- 水に濡れやすい場所
- 冷暖房器具に近い場所
- 加湿器に近い場所

静電気の発生しやすい場所では、市販の静電防止マットなどを使用して静電気の発生を防いでください。

また、本製品をお使いいただくために必要なスペースを確保してください。



A	1675mm
B	1700mm
C	760mm
D	430mm
E	150mm
F	100mm
G	590mm
H	100mm

関連情報

➡ 「動作時と保管時の環境仕様」413ページ

対応OS

最新のOS対応状況はエプソンのウェブサイトをご覧ください。
www.epson.jp/support/taiou/os/

- Windows
  Windows Vista、Windows 7、Windows 8/8.1、Windows 10以降（32-bit、64-bit）
  Windows XP SP3（32-bit）
  Windows XP Professional x64 Edition SP2
  Windows Server 2003 （SP2）以降
- Mac OS
  Mac OS X v10.6.8 以降

参考
- Mac OSでは一部のアプリケーションソフトや機能が対応していないことがあります。
- Mac OS のUNIXファイルシステム（UFS形式）には非対応です。

プリンター調整機能

プリンターの操作パネルで特殊操作の設定ができます。通常はプリンター調整メニューは変更する必要はありません。
設定を変更すると、消耗品や定期交換部品の寿命に影響することがあります。
プリンターの操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］ - ［本体設定］ - ［管理者用設定］ - ［プリンター調整機能］

用紙種類の調整：

普通紙

普通紙の印刷品質を調整します。

- 0：普通紙2（初期値）
- 1：普通紙2
- 2： 再生紙
- 3： 上質紙

ラベル

ラベル紙の印刷品質を調整します。

- 0：ラベル1（初期値）
- 1： ラベル2

コート紙

コート紙の印刷品質を調整します。

- 0：コート紙1（初期値）
- 1：コート紙2（この設定では両面印刷できません。）
- 2：コート紙3（この設定では両面印刷できません。）

ユーザー専用紙

ユーザー専用紙の印刷品質を調整します。

- 0：普通紙1（初期値）
- 1： 普通紙2
- 2：ラベル1（この設定では両面印刷できません。）
- 3：ラベル2（この設定では両面印刷できません。）

プリンターオフセット：

先端オフセット

印刷開始位置の縦位置を調整します。あらかじめ給紙口毎オフセットの先端オフセットを調整してください。設定値が大きいほど、印刷の開始位置が下に移動します。この設定は、片面印刷の全ページと両面印刷での裏面ページに対して有効です。
-3.5mm ～ 3.5mm（初期値は［0.0mm］）

サイドオフセット

印刷開始位置の横位置を調整します。あらかじめ給紙口毎オフセットのサイドオフセットを調整してください。設定値が大きいほど、印刷の開始位置が右に移動します。この設定は、片面印刷の全ページと両面印刷での裏面ページに対して有効です。
-3.5mm ～ 3.5mm（初期値は［0.0mm］）

先端オフセット 2面目

印刷開始位置の縦位置を調整します。あらかじめ給紙口毎オフセットの先端オフセット 2面目を調整してください。設定値が大きいほど、印刷の開始位置が下に移動します。この設定は、両面印刷でのおもて面ページに対して有効です。
-3.5mm ～ 3.5mm（初期値は［0.0mm］）

サイドオフセット 2面目

印刷開始位置の横位置を調整します。あらかじめ給紙口毎オフセット のサイドオフセット 2面目を調整してください。設定値が大きいほど、印刷の開始位置が右に移動します。この設定は、両面印刷でのおもて面ページに対して有効です。
-3.5mm ～ 3.5mm（初期値は［0.0mm］）

給紙口毎オフセット：

給紙装置ごとに印刷開始の位置を調整します。

先端オフセット

印刷開始位置の縦位置を調整します。設定値が大きいほど、印刷の開始位置が下に移動します。この設定は、片面印刷の全ページと両面印刷での裏面ページに対して有効です。
-3.5mm ～ 3.5mm（初期値は［0.0mm］）

サイドオフセット

印刷開始位置の横位置を調整します。設定値が大きいほど、印刷の開始位置が右に移動します。この設定は、片面印刷の全ページと両面印刷での裏面ページに対して有効です。
-3.5mm ～ 3.5mm（初期値は［0.0mm］）

先端オフセット 2面目

印刷開始位置の縦位置を調整します。設定値が大きいほど、印刷の開始位置が下に移動します。この設定は、両面印刷でのおもて面ページに対して有効です。
-3.5mm ～ 3.5mm（初期値は［0.0mm］）

サイドオフセット 2面目

印刷開始位置の横位置を調整します。設定値が大きいほど、印刷の開始位置が右に移動します。この設定は、両面印刷でのおもて面ページに対して有効です。
-3.5mm ～ 3.5mm（初期値は［0.0mm］）

二次転写電圧調整：

用紙種類によって、印刷濃度や画質の粒度を調整します。設定値（1 ～ 16）が大きいほど、濃く印刷されます。（初期値は［6］）

定着温度調整：

用紙種類によって、定着温度を調整します。設定値（-6 ～ 6）が大きいほど定着温度は高くなります。定着温度を高くするほど、出力紙のカールが大きくなる場合があります。（初期値は［0］）

高地設定：

プリンターを標高の高い場所で使用すると、印刷面に汚れが出たり、印刷がかすれたりすることがあります。標高に応じて設定してください。
0（低い）～ 6（高い）　（初期値は［0］）

ROS露光点補正：

ROS 露光装置の露光点を補正します。操作パネルの「プリンター調整中」の表示が消えるまで、プリンターの電源を切らないでください。

ノイズレベル：

画像の階調性を調整します。設定値が大きいほど階調性は向上しますが、粒状性は低下します。
0 ～ 7　（初期値は［3］）

カラー診断シート：

用紙全体をカラーのグラデーションで印刷するColor Diagnosis Sheetを印刷します。印刷面の色落ちや汚れが確認できます。

パターン印刷：

濃度ムラなどの状態を確認するためのパターンを印刷します。

スクリーン　25%

濃度25% のハーフトーンパターンを印刷

スクリーン　50%

濃度50% のハーフトーンパターンを印刷

スクリーン　100%

濃度100% のハーフトーンパターンを印刷

カラーレジ補正：

カラー印刷時の色ズレをなくすように調整します。エラーが発生していない状態で実行してください。

フォントの仕様

次のフォントがウェブで配布されています。

- Epsonバーコードフォント
- Epson TrueTypeフォント
- OCR-B TrueTypeフォント

Epsonバーコードフォント

データキャラクター（バーコードに登録する文字列）を入力するだけで、簡単にバーコードシンボルを作成できるフォントです。通常必要な、データキャラクター以外のコードやマージン、OCR-Bフォント（バーコード下部の文字）などの入力が不要です。
各バーコードの規格の詳細は、仕様書や市販の解説書などを参照してください。

JAN（標準バージョン）

フォント名		EPSON JAN-13	EPSON JAN-13 Short
OCR-B		あり	
チェックデジット		あり	
キャラクター種類		数字（0～9）	
桁数		12	
入力可能サイズ		60～96 pt	36～90 pt
読み取り保証サイズ		60 pt、75 pt（標準）	36 pt、45 pt（標準）、67.5 pt、90 pt
自動設定される情報（入力不要）		• レフト/ ライトマージン • レフト/ ライトガードバー • チェックデジット • OCR-B • センターバー	
例	入力	123456789012	
	画面表示	123456789012	123456789012
	印刷	1 234567 890128	1 234567 890128

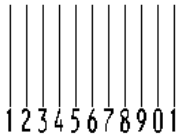
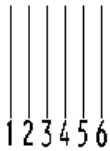
備考	JIS X 0501	・JAN-13 のバーの高さを低くしたもの ・日本国内でのみ使用可能

JAN（短縮バージョン）

フォント名		EPSON JAN-8	EPSON JAN-8 Short
OCR-B		あり	
チェックデジット		あり	
キャラクター種類		数字（0～9）	
桁数		7	
入力可能サイズ		52～96 pt	36～90 pt
読み取り保証サイズ		52 pt、65 pt（標準）	36 pt、45 pt（標準）、67.5 pt、90 pt
自動設定される情報（入力不要）		• レフト/ ライトマージン • レフト/ ライトガードバー • チェックデジット • OCR-B • センターバー	
例	入力	1234567	
	画面表示	1234567	1234567
	印刷	1234 5670	1234 5670
備考		ー	・JAN-8 のバー高さを低くしたもの ・日本国内でのみ使用可能

UPC

フォント名	EPSON UPC-A	EPSON UPC-E
OCR-B	あり	
チェックデジット	あり	
キャラクター種類	数字（0～9）	

桁数		11	6
入力可能サイズ		60～96 pt	
入力可能サイズ		60 pt、75 pt（標準）	
自動設定される情報（入力不要）		・レフト/ ライトマージン ・レフト/ ライトガードバー ・チェックデジット ・OCR-B ・センターバー	・レフト/ ライトマージン ・レフト/ ライトガードバー ・チェックデジット ・OCR-B ・ナンバーシステムの「0」
例	入力	12345678901	123456
	画面表示		
	印刷		
備考		Regular タイプ。補足コードはサポートしていません。	Zero Suppression タイプ（余分な0 を削除）

Code39

フォント名	EPSON Code39	EPSON Code39 CD	EPSON Code39 Num	EPSON Code39 CD Num
OCR-B	なし		あり	
チェックデジット	なし	あり	なし	あり
キャラクター種類	英数字（A～Z、0～9）、記号（－　.　スペース　$　/　＋　%）			
桁数	制限なし			
入力可能サイズ	26～96 pt		36～90 pt	
読み取り保証サイズ	26 pt、52 pt、78 pt		36 pt、72 pt	
自動設定される情報（入力不要）	・左/　右クワイエットゾーン ・スタート/　ストップキャラクター ・チェックデジット			

例	入力	1234567			
	画面表示	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 6 7	1234567	1234567
	印刷			1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 6 7 S
備考		・JIS X 0503 ・スペースを表すバーコードを入力したいときは、「_」（アンダーライン）を入力してください。			

Code128

フォント名		EPSON Code128
OCR-B		なし
チェックデジット		あり
キャラクター種類		全てのASCII 文字（95文字）
桁数		制限なし
入力可能サイズ		26～96 pt
読み取り保証サイズ		26 pt、52 pt、78 pt
自動設定される情報（入力不要）		・左/ 右クワイエットゾーン ・スタート/ ストップキャラクター ・コードセットの変更キャラクター ・チェックデジット
例	入力	1234567
	画面表示	1234567
	印刷	
備考		・JIS X 0504 ・コードセットA、B、C をサポートしています。入力するキャラクターのコードセットが途中で変わったときに、自動的にコードセットの変換コードを挿入します。

Interleaved 2 of 5

フォント名	EPSON ITF	EPSON ITF CD	EPSON ITF Num	EPSON ITF CD Num
OCR-B	なし		あり	

チェックデジット		なし	あり	なし	あり
キャラクター種類		数字（0～9）			
桁数		制限なし			
入力可能サイズ		26～96 pt		36～96 pt	
読み取り保証サイズ		26 pt、52 pt、78 pt		36 pt、72 pt	
自動設定される情報（入力不要）		・左/ 右クワイエットゾーン ・スタート/ ストップキャラクター ・チェックデジット ・文字列先頭の「0」（合計文字数が偶数でない場合のみ）			
例	入力	1234567			
	画面表示	1234567	1234567	1234567	1234567
	印刷			01234567	12345670
備考		キャラクターを2個一組で扱います。キャラクターの合計数が奇数個の場合、Epson バーコードフォントは自動的にキャラクターの先頭に0を追加して偶数個になるようにします。			

NW-7

フォント名	EPSON NW-7	EPSON NW-7 CD	EPSON NW-7 Num	EPSON NW-7 CD Num
OCR-B	なし		あり	
チェックデジット	なし	あり	なし	あり
キャラクター種類	数字（0～9）、記号（－　＄　：　／　．　＋）			
桁数	制限なし			
入力可能サイズ	26～96 pt		36～96 pt	
読み取り保証サイズ	26 pt、52 pt、78 pt		36 pt、72 pt	
自動設定される情報（入力不要）	・左/ 右クワイエットゾーン ・スタート/ ストップキャラクター（入力しない場合） ・チェックデジット			

例	入力	1234567			
	画面表示	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 6 7	1234567	1234567
	印刷			A 1 2 3 4 5 6 7 A	A 1 2 3 4 5 6 7 4 A
備考		・JIS X 0503 ・スタート/ ストップキャラクターのどちらかを入力すると、もう一方も同じになるように自動的挿入されます。スタート/ ストップキャラクターを入力しない場合は、両方に自動的に「A」が自動挿入されます。			

郵便番号（カスタマーバーコード）

フォント名		EPSON J-Postal Code
OCR-B		なし
チェックデジット		あり
キャラクター種類		数字（0～9）、英文字（A～Z）、記号（－）
桁数		制限なし
入力可能サイズ		8～11.5 pt
読み取り保証サイズ		8 pt、9 pt、10 pt、11.5 pt
自動設定される情報（入力不要）		・バーコードの上下左右2 mm の空白 ・入力時の－（ハイフン）の削除 ・スタート/ ストップコード ・住所表示番号の13桁調整 ・チェックデジット
例	入力	123-4567
	画面表示	1 2 3 – 4 5 6 7
	印刷	
備考		・郵便番号（3桁）－郵便番号（4桁）－住所表示番号（バーコードに変換後13桁まで）を入力します。住所表示番号は入力時の桁数の制限はありませんが、バーコードに変換後13桁を超える部分は省略されます。また住所表示番号が13桁に満たないときは、13桁になるように末尾にコードが挿入されます。 ・印刷領域やレイアウト枠は余裕をもって設定してください。

GS1-128（EAN-128）

フォント名	EPSON EAN128
OCR-B	あり

チェックデジット		あり
キャラクター種類		数字（0～9）、英文字（A～Z） 括弧(　) は、アプリケーション識別子(AI) を識別するためのみ使用します。英文字は大文字のみサポートしますが、入力は小文字で行います。
桁数		アプリケーション識別子(AI) により桁数が異なります。 01：GTIN（グローバルトレードアイテムナンバー） 　4桁「（01）」＋ 13桁（数字） 17：パッチ/ ロットナンパー 　4桁「（17）」＋6桁（数字） 10：保証期限日 　4桁「（10）」＋最大20 桁（英数字） 30：数量 　4桁「(30)」＋最大8桁（数字）
入力可能サイズ		36 pt 以上
読み取り保証サイズ		36 pt、72 pt
自動設定される情報（入力不要）		・左／右クワイエットゾーン ・スタート／ストップキャラクター ・FNC1 キャラクター （Code128 との識別、および可変長アプリケーション識別子用データの区切りのため） ・コードセットの変更キャラクター ・チェックデジット
例	入力	(01)1491234567890(17)990101(30)12(10)abc
	画面表示	
	印刷	
備考		コードセットA、B、C をサポートしています。入力するキャラクターのコードセットが途中で変わったときは、自動的にコードセットの変換コードが挿入されます。

標準料金代理収納

フォント名	EPSON EAN128_AI91
OCR-B	あり
チェックデジット	あり
キャラクター種類	数字（0～9）、記号（－） 括弧(　) は、アプリケーション識別子(AI) を識別するためのみ使用します。 ハイフンは、入力する数字間のセパレーターとして使用します。
桁数	4桁「(91)」＋ 46桁（数字間の「-」を含む）
入力可能サイズ	48 pt 以上
読み取り保証サイズ	48 pt

自動設定される情報 （入力不要）		・左/ 右クワイエットゾーン ・スタート/ ストップキャラクター ・FNC1 キャラクター（Code128 との識別のために挿入します。） ・チェックデジット
例	入力	(91)912345-01234567890123456789 0-1-010331-0-123000
	画面表示	(91)912345-0123456789012345678 90-1-010331-0-123000
	印刷	(91)912345-0123456789012345678901 010331-0-123000-3
備考		コンビニエンスストアなどで扱う請求書用シンボル

バーコード作成時と印刷時のご注意

作成時は以下に注意してください。

- 文字の装飾（ボールド/ イタリック/ アンダーラインなど）、網掛けはしないでください。
- 背景色は、バーコード部分とのコントラストが低下する色を避けてください。
- 文字の回転は、90度、180度、270度以外は指定しないでください。
- 文字間隔は変更しないでください。
- 文字の縦あるいは横方向のみを拡大/縮小しないでください。
- アプリケーションソフトのオートコレクト機能は使用しないでください。

例）文字間隔の自動調整
　行末に存在するスペース削除
　連続する複数個のスペースをタブなどに変換
　記号の変換

- 入力した文字をバーコードに変換する際に、バーコードとして必要なキャラクターを自動的に追加するため、バーコードの長さが入力時よりも長くなることがあります。バーコードと周囲の文字が重ならないように注意してください。
- 一行に2つ以上のバーコードを入力するときは、バーコード間をタブで区切ってください。スペースで区切るときは、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。バーコードフォントでスペースを入力すると、スペースがバーコードの一部となってしまいます。
- 入力したキャラクターの桁数が大きい場合、バーコードの高さを、全長の15%以上になるように自動的に調整します。バーコードの周囲に文字が入っているときは、バーコードと重ならないように間隔を空けてください。（Code39/Code128/Interleaved 2 of 5/NW-7/GS1-128、標準料金代理収納）
- アプリケーションソフトで、改行を示すマークの表示/非表示を選択できる場合、バーコードの部分とそうでない部分が区別しやすいよう、改行マークが表示される設定にしておくことをお勧めします。

印刷時は以下に注意してください。

- トナーの濃度や紙質あるいは、お使いのアプリケーションソフトによっては、印刷されたバーコードが読み取り機で読み取れないことがあります。お使いの読み取り機で認識テストをしてからご利用いただくことをお勧めします。
- Epson バーコードフォントは、本機に付属しているプリンタードライバーでのみ印刷可能です。
- プリンタードライバーの設定は［グレースケール］ 、［印刷設定］を［きれい］に設定してください。

バーコードの作成と印刷の手順

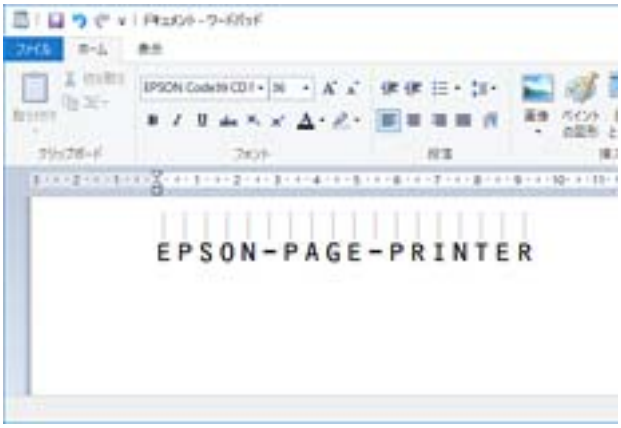
ここではWindows 10のワードパッドを例にEpsonバーコードフォントの作成と印刷の手順を説明します。

1. ワードパッドを起動し、バーコード変換する文字を全て半角（1Byte）で入力します。

2. 入力した文字を選択します。
   選択した範囲が反転表示になります。

3. ［ホーム］タブの［フォント］グループで、印刷したいEpson バーコードフォントを選択します。

4. フォントサイズを変更します。
   推奨または使用できるフォント（キャラクター）サイズは、バーコードフォントの種類とOS のバージョンによって異なります。入力した文字が設定したように表示されます。



5. 印刷を実行します。
   入力したデータがバーコードとして印刷されます。

参考 入力したデータが不適当な場合などプリンタードライバーがエラーと判断すると、画面表示と同様のフォントが出力されます。この場合バーコードとして読み取りはできません。

Epson TrueType フォント

フォント名	印刷例
EPSON 行書体M	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
EPSON 教科書体M	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
EPSON 正楷書体M	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
EPSON 丸ゴシック体M	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
EPSON 太角ゴシック体B	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
EPSON 太明朝体B	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
EPSON 太行書体B	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
EPSON 太丸ゴシック体B	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント

OCR-B TrueType フォント

OCR-Bは、光学文字認識に用いる目的で開発され、JISX9001に規定された書体の名称です。

フォント名	印刷例
OCR-B	1234567890

OCR-Bフォントセットには、OCR-Bの規格外の文字も含まれています。
読み取り用に使用するときは、事前に読み取り機で読み取れることを確認してください。トナー状況や用紙の種類によって読み取れないことがあります。OCR-Bフォントの保証サイズは12ポイントです。

規格と規制

電源高調波

この装置は、高調波電流規格JIS C 61000-3-2 に適合しています。

電波障害自主規制

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

著作権

写真、書籍、地図、図面、絵画、版画、音楽、映画、プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

複製が禁止されている印刷物

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。
（関連法律）刑法第148条、第149条、第162条 通貨及証券模造取締法第1条、第2条など
以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

オゾン

ページプリンターの印刷原理上、印刷処理中には微量のオゾンが発生します（排気風にオゾン臭を感じることがあります）。印刷中に本機が発生するオゾンは微量であり、通常の作業環境における安全許容値（3.0mg/h）を上回ることはありません。ただし、オゾン濃度はプリンターの設置環境によって変わるため、下記のような条件での使用は避けてください。

- 製品の環境条件外での使用

- 狭い部屋での複数ページプリンターの使用
- 換気が悪い場所での使用
- 上記条件下での長時間連続稼働
- 長時間印刷時や大量印刷時には、換気をするようにしてください。

揮発性物質の放散

本製品はエコマークの環境ラベルに定められた揮発性物質の放散基準を満たしています。ただし、使い始めなどに臭いが気になるときは換気してお使いください。

レーザー製品の表示

本プリンターは、レーザーの国際規格　IEC60825-1で定められた、クラス1レーザー製品です。識別のため、「クラス1レーザー製品」と書かれたラベルを製品に貼付しています。通常使用時には、レーザーは内部にありお客様が被ばくすることはありません。

内部のレーザー放射ユニット

本プリンターの内部には、レーザー国際規格IEC60825-1で定められた、クラス3B のレーザーダイオードを内蔵していますが、プリントヘッドのレーザー開口部においてはクラス1レベルに制御されています。
レーザー放射ユニットは、内部の見えない場所にあります。指示以外の分解行為は行わないでください。
指示以外の手順による制御や調整は危険なレーザー放射の被ばくをもたらすおそれがあります。

管理者向け情報

管理者向けソフトウェア情報 432

プリンターをネットワークに接続する 434

プリンターを使うための設定 439

プリンターの管理 508

高度なセキュリティー設定 526

管理者向けソフトウェア情報

設定または管理用のソフトウェアについて説明します。

ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）

Web Config（ウェブ コンフィグ）は、コンピューターやスマートデバイスなどの機器からInternet ExplorerやSafariなどのWebブラウザー上で起動できるソフトウェアです。プリンターの状態の確認やネットワークサービスの設定、プリンターの設定変更などができます。Web Configを使うには、プリンターと機器を同じネットワークに接続してください。
以下のブラウザーに対応しています。
Microsoft Edge、Internet Explorer 8以降、Firefox*、Chrome*、Safari*
*：　最新バージョンでお使いください。

参考　Web Configにアクセスした際に管理者パスワードが未設定の場合は、管理者パスワードの設定ページでパスワードの設定が必要です。
ユーザー名とパスワードを忘れないでください。忘れた場合はエプソンのサービスサポートに連絡する必要があります。

WebブラウザーからWeb Configを起動する

1. プリンターのIPアドレスを確認します。
   ホーム画面のネットワークアイコンから接続済みのネットワークを選択し、IPアドレスを確認します。

   参考　IPアドレスはネットワーク接続診断レポートを印刷することでも確認できます。

2. コンピューターやスマートデバイスでWebブラウザーを起動し、プリンターのIPアドレスを入力します。
   書式：
   IPv4： http://プリンターのIPアドレス/
   IPv6： http://[プリンターのIPアドレス]/
   例：
   IPv4：http://192.168.100.201/
   IPv6： http://[2001:db8::1000:1]/

   参考　スマートデバイスでは、Epson iPrintのプリンターのメンテナンス画面からもWeb Configを起動できます。

   HTTPSアクセス時にプリンターが所有する自己署名証明書を使用するため、Web Configを起動するとブラウザーに警告が表示されますが、問題ありません。

関連情報

➡「スマートデバイスから簡単に印刷するアプリ（Epson iPrint）」369ページ
➡「ネットワーク接続診断レポートを印刷する」307ページ

WindowsからWeb Configを起動する

プリンターとWSDで接続しているときは、以下の方法でWeb Configを起動できます。

1. コンピューターでプリンターの一覧を表示します。
   - Windows 10
     スタートボタンをクリックし、［Windows システムツール］-［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。
   - Windows 8.1/Windows 8
     ［デスクトップ］-［設定］ -［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］（または［ハードウェア］）の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。
   - Windows 7
     スタートボタンをクリックし、［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。
   - Windows Vista
     スタートボタンをクリックして、［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］の順に選択します。
2. プリンターのアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。
3. ［Webサービス］タブを選択して、URLをクリックします。
   HTTPSアクセス時にプリンターが所有する自己署名証明書を使用するため、Web Configを起動するとブラウザーに警告が表示されますが、問題ありません。

Mac OSからWeb Configを起動する

1. アップルメニューの［システム環境設定］-［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。
2. ［オプションとサプライ］-［プリンターのWebページを表示］をクリックします。
   HTTPSアクセス時にプリンターが所有する自己署名証明書を使用するため、Web Configを起動するとブラウザーに警告が表示されますが、問題ありません。

ネットワーク上のデバイスを設定するソフトウェア（EpsonNet Config）

EpsonNet Config（エプソンネット コンフィグ）は、ネットワークインターフェイスの各種アドレスやプロトコルなどが設定できるソフトウェアです。詳しくはEpsonNet Configのマニュアルやヘルプをご覧ください。

Windowsでの起動方法

- Windows 10/Windows Server 2019/Windows Server 2016
  スタートボタンをクリックして、［EpsonNet］-［EpsonNet Config］の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
  検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。

- Windows 7/Windows Vista/Windows XP/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
  スタートボタンをクリックして、［すべてのプログラム］（または［プログラム］）-［EpsonNet］-［EpsonNet Config SE］-［EpsonNet Config］の順に選択します。

Mac OSでの起動方法

［移動］-［アプリケーション］-［Epson Software］-［EpsonNet］-［EpsonNet Config SE］-［EpsonNet Config］の順に選択します。

関連情報

➡「ソフトウェアを個別にインストールする」185ページ

ネットワーク上のデバイスを管理するソフトウェア（Epson Device Admin）

Epson Device Adminは、ネットワーク上のデバイスの管理を行う多機能なアプリケーションソフトです。
以下のような機能があります。

- セグメントを越えて1台から2000台のプリンターやスキャナーの監視、管理
- 消耗品やステータスの詳細なレポート機能
- ファームアップデート機能
- デバイスのネットワークへの導入
- 複数デバイスへの同じ設定値の適用

Epson Device Adminはエプソンのウェブサイトからダウンロードしてください。詳細はEpson Device Adminのヘルプをご覧ください。

プリンターをネットワークに接続する

プリンターをネットワークに接続するには、以下の方法があります。

- 操作パネルで詳細設定して接続する
- ウェブサイトやソフトウェアディスクからインストーラーを起動して接続する

ここでは、プリンターの操作パネルを使って、プリンターをネットワークに接続する手順を説明します。

ネットワーク接続の前に

ネットワーク接続するには、接続方法と接続のための設定情報を事前に確認してください。

接続設定情報の収集

接続に必要な設定情報を用意します。事前に以下の情報を確認してください。

区分	項目	備考
デバイス接続方法	• 有線LAN • 無線LAN （Wi-Fi）	プリンターをネットワークに接続する方法を決定します。 有線LANは、LANスイッチ（ハブ）に接続します。 無線LANはアクセスポイントのSSIDに接続します。
LAN接続情報	• IPアドレス • サブネットマスク • デフォルトゲートウェイ	プリンターに割り当てるIPアドレスを決定します。 静的にIPアドレスを割り当てる場合は、全ての項目の値が必要です。 DHCP機能で動的にIPアドレスを割り当てる場合は、自動設定されるのでLAN接続の情報は不要です。
無線LAN接続情報	• SSID • パスワード	プリンターを接続するアクセスポイントのSSID（ネットワークの名称）、パスワードです。 MACアドレスフィルタリング設定がされている場合は、プリンターを登録できるように事前にMACアドレスの登録をしておいてください。 対応している規格は以下をご覧ください。 「無線LANの仕様」410ページ
DNSサーバー情報	• プライマリーDNSのIPアドレス • セカンダリーDNSのIPアドレス	DNSサーバーを指定する場合に必要です。セカンダリーDNSはシステムを冗長構成にしてセカンダリーDNSサーバーがある場合に設定します。 小規模なネットワークでDNSサーバーを構築していない場合は、ルーターのIPアドレスを設定します。
プロキシサーバー情報	• プロキシサーバー名	イントラネットからインターネットへの接続にプロキシサーバーを利用しているネットワーク環境において、プリンターが直接インターネットにアクセスする機能を使用する場合は設定してください。 以下のような機能はプリンターが直接インターネットにアクセスします。 • Epson Connectサービス • 他社のクラウドサービス • ファームウェア更新
ポート番号情報	• 開放するポート番号	プリンターやコンピューターが各機能で使用するポート番号を確認して、ファイアウォールでブロックされているポートを、必要に応じて開放してください。 プリンターが使用するポート番号の情報は以下をご覧ください。 「プリンターが使用するポート」407ページ

IPアドレスの割り当て

IPアドレス（IPv4）の割り当てには、以下のタイプがあります。

固定IPアドレス：

あらかじめ決めたIPアドレスを手動でプリンター（ホスト）に割り当てます。
ネットワークに接続するための情報（サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバー設定など）を手動で設定する必要があります。

デバイスの電源を切ってもIPアドレスは変更されないので、IPアドレスの変更を追従できない環境やIPアドレスでデバイスを管理したい場合に利用できます。多数のコンピューターがアクセスする、プリンターやサーバーなどへの設定をお勧めします。また、IPsec／IPフィルタリングなどのセキュリティー機能を利用する場合は、IPアドレスが変更されないよう固定IPアドレスを割り当ててください。

DHCP機能による自動割り当て（動的IPアドレス）：

DHCPサーバーやルーターのDHCP機能を使って自動でIPアドレスをプリンター（ホスト）に割り当てます。
ネットワークに接続するための情報（サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバー設定など）も自動で設定されるので、デバイスのネットワークへの接続が容易にできます。
デバイスやルーターの電源を切る、または、DHCPサーバーの設定により、再接続の際にIPアドレスが変更になる場合があります。
IPアドレス以外でのデバイス管理やIPアドレスを追従できるプロトコルでの通信をお勧めします。

参考 DHCPのIPアドレス予約機能を使用すると、常にデバイスに同じIPアドレスを割り当てることができます。

DNSサーバー、プロキシサーバーについて

DNSサーバーは、ホスト名やメールアドレスのドメイン名などとIPアドレスの情報を関連付けて持っています。
コンピューターやプリンターがIP通信をするときに、ホスト名やドメイン名などで相手先を記述すると通信ができません。
その情報をDNSサーバーに問い合わせ、相手先のIPアドレスを取得します。この処理を名前解決と言います。
これによりコンピューターやプリンターなどのデバイスは、IPアドレスを使って通信ができるようになります。
プリンターがメールを使ったり、インターネット接続をして通信したりするには、名前解決が必要です。
これらの機能を使用するには、DNSサーバーの設定をしてください。
プリンターのIPアドレスをDHCPサーバーやルーターのDHCP機能で割り当てる場合は自動設定されます。
プロキシサーバーはネットワークとインターネットとの出入り口に配置され、コンピューターやプリンターとインターネット（相手サーバー）の代理でそれぞれのデバイスと通信します。相手サーバーはプロキシサーバーとだけ通信しているように見えます。よって、プリンターに設定されているIPアドレスやポート番号などの情報を読み取れなくなり、セキュリティーの向上が期待できます。
プロキシサーバーを介してインターネット接続をしている場合は、プリンターにプロキシサーバーの設定をしてください。

操作パネルでネットワークに接続する

プリンターの操作パネルを使って、プリンターをネットワークに接続します。

IPアドレスを設定する

ホストアドレスやサブネットマスク、デフォルトゲートウェイなど、基本的なIPアドレス設定をします。
ここでは固定IPアドレスを設定する手順を説明します。

1. プリンターの電源を入れます。

2. 操作パネルのホーム画面で［設定］を選択します。

3. ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ -［詳細設定］ - ［TCP/IP］の順に選択します。

4. ［TCP/IP設定方法］を［手動設定］にします。

IPアドレスをルーターなどのDHCP機能で自動設定する場合は［自動設定］にします。この場合は、手順5、6の［IPアドレス］、［サブネットマスク］、［デフォルトゲートウェイ］も自動設定になるので入力できません。手順7へ進んでください。

5. IPアドレスを入力します。

◀または▶を選択すると、ピリオドで区切られた前後の区切りにフォーカスが移動します。

戻った画面で入力した値が反映されていることを確認してください。

6. 同様に［サブネットマスク］、［デフォルトゲートウェイ］を設定します。

戻った画面で入力した値が反映されていることを確認してください。

！重要 IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの組み合わせが不正の場合、［設定を開始する］が有効にならず、設定を続けることができません。入力に間違いがないか確認してください。

7. プライマリーDNSサーバーのIPアドレスを入力します。

戻った画面で入力した値が反映されていることを確認してください。

参考 IPアドレスを［自動設定］にすると、DNSサーバー設定は［手動設定］、［自動設定］を選択できます。DNSサーバーのアドレスを自動取得できない場合に［手動設定］を選択して、DNSサーバーのIPアドレスを入力してください。引き続き、セカンダリーDNSサーバーのアドレスを直接入力します。［自動設定］を選択した場合は、手順9へ進んでください。

8. セカンダリーDNSサーバーのIPアドレスを入力します。

戻った画面で入力した値が反映されていることを確認してください。

9. ［設定を開始する］をタップします。

プロキシサーバーを設定する

以下の両方に当てはまる場合は、プロキシサーバーを設定してください。

- インターネット接続用にプロキシサーバーを構築している
- Epson Connect サービスや他社クラウドサービスなど、プリンターが直接インターネットに接続する機能を使用する

1. ホーム画面で［設定］を選択します。

IPアドレスの設定に続いて設定するときは、［詳細設定］画面が表示されています。手順3に進んでください。

2. ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［詳細設定］の順に選択します。

3. ［プロキシサーバー］を選択します。

4. ［プロキシサーバー使用設定］を［使用する］にします。

5. プロキシサーバーのアドレスを、IPv4アドレスまたはFQDN形式で入力します。
戻った画面で入力した値が反映されていることを確認してください。

6. プロキシサーバーのポート番号を入力します。
戻った画面で入力した値が反映されていることを確認してください。

7. ［設定を開始する］をタップします。

LANに接続する

プリンターを有線LANまたは無線LANに接続します。

有線LANに接続する

LANケーブルでネットワークに接続して、接続の確認をします。

1. プリンターとハブ（LANスイッチ）をLANケーブルで接続します。

2. ホーム画面で［設定］を選択します。

3. ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［接続診断］を選択します。
接続診断の結果が表示されます。正常に接続されていることを確認してください。

4. ［OK］をタップして終了します。
［接続診断結果を印刷する］をタップすると診断結果を印刷できます。画面の案内に従って印刷してください。

関連情報

➡ 「無線LAN接続から有線LAN接続に変更する」294ページ

無線LAN（Wi-Fi）に接続する

プリンターを無線LAN（Wi-Fi）に接続する方法はいくつかあります。お使いの環境や条件に合わせて接続方法を選択してください。
無線LANルーター（アクセスポイント）の情報（SSID、パスワード）がわかれば、手動で設定するのが確実です。
AOSSやWPS対応の無線LANルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、プッシュボタンで自動設定ができます。
プリンターがネットワークに接続できたら、使用する機器（コンピューターやスマートデバイスなど）をプリンターに接続してください。

関連情報

➡ 「プリンターにSSIDとパスワードを入力して設定する」296ページ
➡ 「プッシュボタンで自動設定する（AOSS/WPS）」296ページ
➡ 「PINコードで設定する（WPS）」297ページ

プリンターを使うための設定

印刷できるようにする

ネットワーク接続でプリンターから印刷できるようにします。
ネットワークでプリンターを使用するには、プリンターのネットワーク接続以外に、コンピューターにネットワーク用のポート設定が必要です。

プリンター接続のタイプ

プリンターのネットワーク接続は主に以下の2つのタイプがあります。

- ピアツーピア型接続（直接印刷）
- サーバークライアント型接続（Windowsサーバーによるプリンター共有）

ピアツーピア型接続設定

プリンターとネットワーク上のコンピューターが直接通信する接続です。ネットワーク対応プリンターのみ接続できます。

接続方法：

プリンターをハブやアクセスポイントを介して直接ネットワークに接続します。

プリンタードライバー：

プリンタードライバーをコンピューターにインストールします。
EpsonNet SetupManagerを使うと、プリンター設定を含んだドライバーのパッケージを配布できます。

特徴：

- プリンターに直接印刷データを送るので、印刷開始までに時間がかかりません。
- プリンターが稼働していれば印刷できます。

サーバークライアント型接続設定

サーバーになるコンピューターがプリンターを共有する接続です。プリンターにサーバー経由以外の通信を遮断すると、セキュリティーを強化できます。
USBで接続するとネットワーク機能がないプリンターも共有できます。

接続方法：

プリンターをLANスイッチやアクセスポイントを介して直接ネットワークに接続します。
プリンターとサーバーをUSBケーブルで直接接続することもできます。

プリンタードライバー：

Windowsサーバー上に、クライアントコンピューターのOSにおけるシステムの種類に対応したドライバーをインストールします。
Windowsサーバーにアクセスしてプリンターをリンクすると、クライアントコンピューターにインストールされて使用できるようになります。

特徴：

- プリンターやプリンタードライバーを一括管理できます。
- 全ての印刷データはサーバーを経由するため、サーバーの能力によっては印刷開始までに時間がかかることがあります。
- Windowsサーバーが停止していると印刷できません。

ピアツーピア型接続での印刷設定

ピアツーピア型接続（直接印刷）の場合、プリンターとクライアントコンピューターは一対一の関係になります。
プリンターを使用するそれぞれのコンピューターにプリンタードライバーをインストールします。

サーバークライアント型接続での印刷設定

サーバークライアント型で接続したプリンターから印刷できるようにします。
サーバークライアント型の接続では、先にプリントサーバーのコンピューターから印刷できるように設定してから、プリンターをネットワークで共有してプリントサーバー経由で印刷できるようにします。
USBケーブルでサーバーに接続した場合も同様に、コンピューターからプリンターに印刷できるように設定してからプリンターをネットワークで共有します。

ネットワークポートを設定する

一般的なStandard TCP/IPを使用してプリントサーバーのコンピューターにネットワーク印刷用のプリントキューを作成し、ネットワークポートを設定します。
ここではWindows 2012 R2を代表例として説明します。

1. デバイスとプリンターの画面を開きます。

   ［デスクトップ］ - ［設定］ - ［コントロールパネル］ - ［ハードウェアとサウンド］（または［ハードウェア］）- ［デバイスとプリンター］の順に選択します。

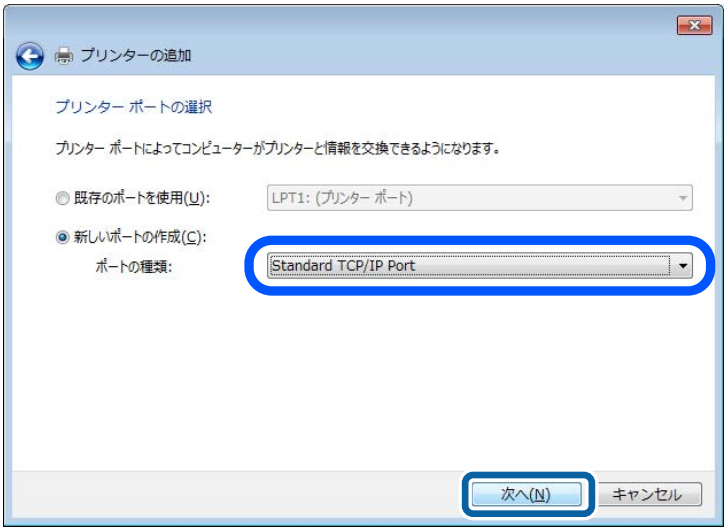
2. プリンターを追加します。

   ［プリンターの追加］をクリックして、表示される画面で［探しているプリンターはこの一覧にはありません］を選択します。

3. ローカルプリンターを追加します。

   ［ローカルプリンターまたはネットワークプリンターを手動設定で追加する］を選択して、［次へ］をクリックします。

4. ［新しいポートの作成］を選択し、ポートの種類から［Standard TCP/IP Port］を選択して、［次へ］をクリックします。

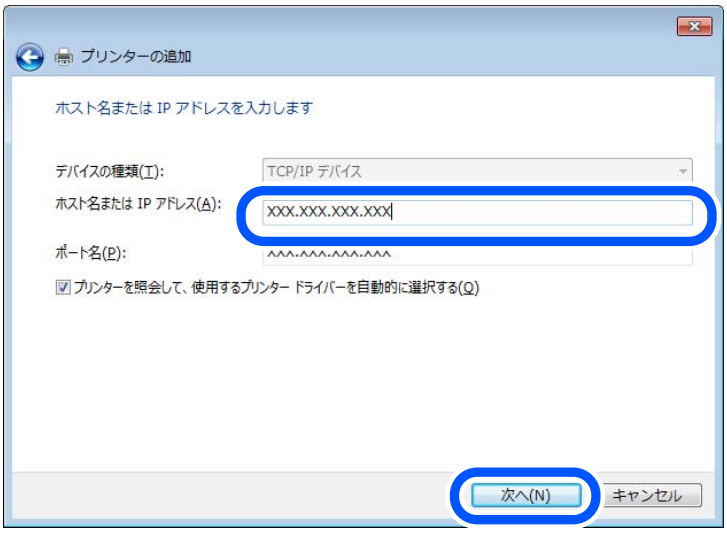


5. ［ホスト名またはIP アドレス］（または［プリンター名またはIP アドレス］）にプリンター名、またはプリンターのIP アドレスを入力して、［次へ］をクリックします。

記入例：

- プリンター名：EPSONA1A2B3C
- IPアドレス：192.0.2.111

［ポート名］は変更しないでください。
［ユーザーアカウント制御］画面が表示されたときは［続行］をクリックします。



参考 名前で検索が可能なネットワークでプリンター名を指定した場合は、DHCPによってプリンターのIPアドレスが変更になっても追従ができます。プリンター名は、操作パネルのネットワーク情報表示またはネットワークステータスシートで確認できます。

6. プリンタードライバーを設定します。
   - プリンタードライバーがインストールされている場合
     ［製造元］ - ［プリンター］を選択します。［次へ］をクリックします。

7. この後は、画面の指示に従って操作します。

サーバークライアント型接続（Windowsサーバーによるプリンター共有）でプリンターを使用する場合は、続いてプリンターを共有設定します。

ポート構成を確認する - Windows

プリントキューに適切なポートが設定されているか確認します。

1. デバイスとプリンターの画面を開きます。
   ［デスクトップ］ - ［設定］ - ［コントロールパネル］ - ［ハードウェアとサウンド］（または［ハードウェア］）- ［デバイスとプリンター］の順に選択します。

2. プリンターのプロパティ画面を開きます。
   対象プリンターのアイコンを右クリックして、［プリンターのプロパティ］をクリックします。

3. ［ポート］タブをクリックし、［標準のTCP/IPポート］を選択して、［ポートの構成］をクリックします。

4. ポートの構成を確認します。
   - RAWの場合
     ［プロトコル］で［Raw］が選択されていることを確認して、［OK］をクリックします。
   - LPRの場合
     ［プロトコル］で［LPR］が選択されていることを確認します。［LPR 設定］の［キュー名］に「PASSTHRU」と入力します。［LPRバイトカウントを有効にする］をチェックして、［OK］をクリックします。

プリンターを共有する（Windowsのみ）

サーバークライアント型接続（Windowsサーバーによるプリンター共有）でプリンターを使用する場合は、プリントサーバーからプリンターを共有設定します。

1. プリントサーバーのコンピューターで［コントロールパネル］ - ［デバイスとプリンター］の順に選択します。

2. 共有したいプリンターアイコン（プリントキュー）を右クリックして、［プリンターのプロパティ］－［共有］タブを選択します。

3. ［このプリンターを共有する］を選択して、［共有名］を入力します。
   Windows Server 2012をお使いの場合は、［共有オプションの変更］をクリックしてから設定してください。

追加ドライバーをインストールする（Windowsのみ）

プリントサーバーのコンピューターとクライアントコンピューターが異なるバージョンのWindowsで動作している場合、それぞれのバージョンのプリンタードライバーをプリントサーバーにインストールしておくことをお勧めします。

1. プリントサーバーのコンピューターで［コントロールパネル］ - ［デバイスとプリンター］の順に選択します。

2. 共有したいプリンターアイコン（プリントキュー）を右クリックして、［プリンターのプロパティ］－［共有］タブを選択します。

3. ［追加ドライバー］をクリックします。
   Windows Server 2012をお使いの場合は、共有オプションの変更をクリックしてから設定してください。

4. クライアントコンピューターのWindowsバージョン（プロセッサータイプ）を選択して、OKをクリックします。

5. プリンタードライバーの情報ファイル（*.inf）を指定してドライバーをインストールします。

共有プリンターを使う - Windows

プリンターの管理者は、クライアントコンピューターへのプリンター追加手順としてプリントサーバーに設定したコンピューター名をクライアントに連絡してください。追加ドライバーが設定されていない環境では、［デバイスとプリンター］からプリンターを追加する手順を案内してください。
以下は、プリントサーバーに追加ドライバーが設定されている場合の手順です。

1. プリントサーバーのコンピューター名を［エクスプローラー］で開きます。

2. 利用したいプリンターをダブルクリックします。

印刷の基本設定

用紙サイズや印刷エラーの表示など、プリンターの印刷に関する設定をします。

給紙装置の設定をする

各給紙装置にセットする用紙のサイズや種類などを設定します。

1. Web Configで［印刷］タブ-［給紙装置設定］を選択します。

2. 各項目を設定します。
   ご使用の環境によっては表示項目が異なります。
   - 給紙装置名称
     ［手差しトレイ］、［用紙カセット1］など、設定対象の給紙装置名が表示されます。
   - ［用紙サイズ］
     プルダウンメニューから設定する用紙のサイズを選択します。

- ［単位］
  ユーザー定義サイズの単位を選択します。［用紙サイズ］が［ユーザー定義サイズ］の場合に選択できます。
- ［横の長さ］
  ユーザー定義サイズの横の長さを設定します。
  入力できる範囲は給紙装置に依存し、［横の長さ］の横に示されています。
  ［単位］で［mm］を選択した場合、小数点第1位まで入力できます。
  ［単位］で［inch］を選択した場合、小数点第2位まで入力できます。
- ［縦の長さ］
  ユーザー定義サイズの縦の長さを設定します。
  入力できる範囲は給紙装置に依存し、［縦の長さ］の横に示されています。
  ［単位］で［mm］を選択した場合、小数点第1位まで入力できます。
  ［単位］で［inch］を選択した場合、小数点第2位まで入力できます。
- ［用紙種類］
  プルダウンメニューから設定する用紙の種類を選択します。

3. 設定内容を確認して、［設定］をクリックします。

インターフェイスの設定をする

印刷ジョブのタイムアウト時間や各インターフェイスに割り当てる印刷言語を設定します。
この項目はPostScript対応のプリンターのみ表示されます。

1. Web Configで［印刷］タブ-［インターフェイス設定］を選択します。

2. 各項目を設定します。
   - ［タイムアウト設定］
     USB経由の印刷ジョブのタイムアウト時間を設定します。
     1秒単位で5秒～300秒で設定できます。
     タイムアウトしたくない場合は0を入力します。
   - ［印刷言語］
     USBインターフェイス、ネットワークインターフェイスそれぞれの印刷言語を選択します。
     ［自動］を選択すると送られた印刷ジョブから判断されます。

3. 設定内容を確認して、［設定］をクリックします。

エラーの設定をする

デバイス本体のエラー表示に関する設定をします。

1. Web Configで［印刷］タブ-［エラー設定］を選択します。

2. 各項目を設定します。
   - 用紙サイズエラー
     指定された給紙装置の用紙サイズと、印刷データの用紙サイズが異なる場合に、操作パネルにエラーを表示するかどうか設定します。

- 用紙種類エラー
  指定された給紙装置の用紙タイプと、印刷データの用紙タイプが異なる場合に、操作パネルにエラーを表示するかどうか設定します。
- 自動エラー解除
  エラーを表示してから5秒間操作パネルの操作がなかった場合に、自動でエラーを解除するかどうか設定します。

3. 設定内容を確認して、［設定］をクリックします。

外部機器(PC)の設定をする

外部機器からプリンタードライバーを経由しない印刷をするときの設定をします。
お使いのプリンターの対応印刷言語によって表示されない項目があります。

1. Web Configで［印刷］タブ-［外部機器(PC)印刷設定］を選択します。
2. 各項目を設定します。
3. 設定内容を確認して、［設定］をクリックします。

基本設定

項目	説明
上印刷位置調整（-30.0-30.0mm）	印刷を開始する用紙の垂直位置を設定します。
左印刷位置調整（-30.0-30.0mm）	印刷を開始する用紙の水平位置を設定します。
裏面上印刷位置調整（-30.0-30.0mm）	両面印刷時の用紙裏面の印刷を開始する用紙の垂直位置を設定します。
裏面左印刷位置調整（-30.0-30.0mm）	両面印刷時の用紙裏面の印刷を開始する用紙の水平位置を設定します。
白紙節約モード	印刷データに白紙ページがあった場合、白紙を出さないように設定します。

PDL印刷設定

PostScript印刷時の設定ができます。

共通設定

項目	説明
用紙サイズ	印刷するデータのサイズを選択します。
用紙種類	印刷する用紙の種類を選択します。
用紙方向	印刷する用紙の方向を選択します。
印刷品質	印刷品質を選択します。

項目	説明
トナーセーブモード	トナーの消費量を抑えた印刷をするか設定します。
印刷順序	印刷する順序を選択します。
コピー枚数設定(1-999)	印刷部数を設定します。
とじ位置	両面印刷時のとじ位置を選択します。
自動排紙設定	データ受信のタイムアウトが発生した場合、自動で排紙するか設定します。
両面印刷	両面で印刷するか設定します。

PS設定

項目	説明
PSエラーシート	PS3印刷のエラー時にエラーシートを印刷するか設定します。
Coloration	カラー印刷かモノクロ印刷かを設定します。
Binary	バイナリーデータを受け付けるかどうか設定します。
PDF印刷 用紙サイズ	PDF印刷時の用紙サイズを設定します。

AirPrintを使えるようにする

印刷やスキャンをAirPrintで行うための設定をします。
Web Configで［ネットワーク］タブ-［AirPrint設定］を選択します。

項目	説明
Bonjourサービス名	BonjourのサービスをASCII (0x20-0x7E)で表せる41文字以内で入力します。
ロケーション	プリンターの設定場所など任意のロケーション情報を、UTF-8で表せる127バイト以内の文字列で入力します。
位置情報 緯度、経度 (WGS84)	プリンターの位置情報を入力します。入力は任意です。 WGS-84測地系の値を使用し、緯度と経度を「,」で区切ります。 緯度は-90～+90、経度は-180～+180の範囲で入力できます。また、小数点以下は6位まで入力でき、+は省略できます。
最優先プロトコル	優先するプロトコルを、IPPとPort9100から選択します。
Wide-Area Bonjour	Wide-Area Bonjourを使用するかどうか設定します。使用する場合、セグメントを越えた検索ができるように、プリンターがDNSサーバーに登録されている必要があります。
iBeacon対応機器からの探索	iBeacon対応機器からの探索の有効、無効を設定します。有効にするとiBeacon対応機器からの探索ができるようになります。

項目	説明
IPP印刷時にPINコードを必須とする	IPP印刷時にPINコードの設定を必須にするかどうか設定します。［はい］を選択すると、PINコードが設定されていないIPP印刷ジョブはプリンターに保存されません。
AirPrintを有効にする	IPP、Bonjour、AirPrint (Scan Service)が有効になり、IPPはセキュア通信のみになります。

メールサーバーを設定する

Web Configを使ってメールサーバーを設定します。
設定の前に以下を確認してください。

- プリンターがメールサーバーにアクセスできるネットワークに接続されているか
- プリンターと同じメールサーバーを使用するコンピューターのメール設定情報

参考
- インターネット上のメールサーバーを利用する場合は、サービスを提供しているプロバイダーやウェブサイトから設定情報を確認してください。
- プリンターの操作パネルを使っても設定できます。メニューは以下の通りです。
  ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［詳細設定］ - ［メールサーバー］ - ［サーバー設定］

1. Web Configで［ネットワーク］タブ - ［メールサーバー］ - ［基本］を選択します。

2. 各項目を設定します。

3. ［設定］を選択します。
   設定結果が表示されます。
   設定が終了したら、接続確認をしてください。

関連情報

➡ 「WebブラウザーからWeb Configを起動する」432ページ

メールサーバー設定項目

項目	設定値と説明	
認証方式	プリンターがメールサーバーにアクセスする際の認証方式を指定します。	
	認証しない	メールサーバーが認証を必要としない場合に設定します。
	SMTP認証	メール送信時にSMTPサーバー（メール送信サーバー）で認証をします。メールサーバーがSMTP認証に対応している必要があります。
	POP before SMTP	メール送信する前にPOP3サーバー（メール受信サーバー）で認証をします。選択した場合はPOP3サーバーの設定をしてください。
認証用アカウント	［認証方式］に［SMTP認証］または［POP before SMTP］を選択した場合、認証用のアカウント名を入力します。入力できる文字は、ASCII（0x20-0x7E）の255文字以内です。 ［SMTP認証］を選択した場合、SMTPサーバーの認証用アカウントを入力してください。［POP before SMTP］を選択した場合、POP3サーバーの認証用アカウントを入力してください。	

項目	設定値と説明	
認証用パスワード	［認証方式］に［SMTP認証］または［POP before SMTP］を選択した場合、認証用のパスワードを入力します。入力できる文字はASCII（0x20-0x7E）の20文字以内です。 ［SMTP認証］を選択した場合、SMTPサーバーの認証アカウントのパスワードを入力してください。［POP before SMTP］を選択した場合、POP3サーバーの認証アカウントのパスワードを入力してください。	
送信元アドレス	システム管理者のアドレスなど送信元のメールアドレスを入力します。認証にも使用されるため、お使いのメールサーバーに登録されていて実際に送信できるアドレスを入力してください。入力できる文字は、: ( ) < > [ ] ; ¥ を除くASCII (0x20-0x7E)で表せる255文字以内です。ただし、ピリオド（.）は先頭文字にできません。	
SMTPサーバーアドレス	A～Z a～z 0～9 . - を使用し、255文字以内で入力します。 IPv4形式とFQDN形式での入力が可能です。	
SMTPサーバー ポート番号	1～65535までの範囲で、半角数字で入力します。	
セキュア接続	メールサーバーとの通信の暗号化方式を選択します。	
	なし	［認証方式］で［POP before SMTP］を選択した場合は暗号化しません。
	SSL/TLS	［認証方式］で［認証しない］または［SMTP認証］を選択したときに選択できます。通信の開始から暗号化します。
	STARTTLS	［認証方式］で［認証しない］または［SMTP認証］を選択したときに選択できます。通信の開始は暗号化せず、受信環境によってその後の通信を暗号化するかが変わります。
証明書の検証	有効にするとメールサーバーの証明書の正当性をチェックします。［有効］にすることをお勧めします。設定するには、相手サーバー検証用CA証明書をプリンターにインポートする必要があります。	
POP3サーバーアドレス	［認証方式］に［POP before SMTP］を選択した場合、POP3サーバーアドレスを入力します。入力できる文字は、A～Z a～z 0～9 . - で、255文字以内です。IPv4形式とFQDN形式での入力が可能です。	
POP3サーバー ポート番号	［認証方式］で［POP before SMTP］を選択した場合にポート番号を指定します。入力できる文字は、1～65535の範囲で、半角数字で入力します。	

メールサーバーとの接続を確認する

メールサーバーとの接続確認ができます。

1. Web Configで［ネットワーク］タブ - ［メールサーバー］ - ［接続確認］を選択します。

2. ［確認開始］を選択します。

   メールサーバーとの接続診断が開始されます。接続テストが終了すると結果が表示されます。

   参考 プリンターの操作パネルを使っても設定できます。メニューは以下の通りです。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［詳細設定］ - ［メールサーバー］ - ［コネクションテスト］

メールサーバー接続確認結果

メッセージ	原因
接続に成功しました。	サーバーとの接続に成功した場合に表示されます。
SMTPサーバーとの通信でエラーが発生しました。以下を確認してください。 ・ネットワーク設定	以下のような場合に通信エラーが表示されます。 • プリンターがネットワークに接続されていない • SMTPサーバーがダウンしている • 通信中にネットワークが切断された • 異常なデータを受信した
POP3サーバーとの通信でエラーが発生しました。以下を確認してください。 ・ネットワーク設定	以下のような場合に通信エラーが表示されます。 • プリンターがネットワークに接続されていない • POP3サーバーがダウンしている • 通信中にネットワークが切断された • 異常なデータを受信した
SMTPサーバーとの接続に問題があります。以下を確認してください。 ・SMTPサーバーアドレス ・DNSサーバー	以下のような場合に通信エラーが表示されます。 • DNSサーバーとの接続に失敗した • SMTPサーバーアドレスの名前解決に失敗した
POP3サーバーとの接続に問題があります。以下を確認してください。 ・POP3サーバーアドレス ・DNSサーバー	以下のような場合に通信エラーが表示されます。 • DNSサーバーとの接続に失敗した • POP3サーバーアドレスの名前解決に失敗した
SMTPサーバーの認証に失敗しました。以下を確認してください。 ・認証方式 ・認証用アカウント ・認証用パスワード	SMTPサーバーでの認証処理に失敗したときに表示されます。
POP3サーバーの認証に失敗しました。以下を確認してください。 ・認証方式 ・認証用アカウント ・認証用パスワード	POP3サーバーでの認証処理に失敗したときに表示されます。
サポートしていない通信方式です。以下を確認してください。 ・SMTPサーバーアドレス ・SMTPサーバーポート番号	プリンターがサポートしていないプロトコルで通信しようとした場合に表示されます。
SMTPサーバーとの接続に失敗しました。セキュア接続をなしに変更してください。	サーバーとクライアントでSMTPセキュア接続の設定が合っていない、またはサーバーがSMTPセキュア接続（SSL接続）をサポートしていない場合に表示されます。
SMTPサーバーとの接続に失敗しました。セキュア接続をSSL/TLSに変更してください。	サーバーとクライアントでSMTPセキュア接続の設定が合っていない、またはサーバーがSMTPセキュア接続にSSL/TLS接続することを要求してきている場合に表示されます。
SMTPサーバーとの接続に失敗しました。セキュア接続をSTARTTLSに変更してください。	サーバーとクライアントでSMTPセキュア接続の設定が合っていない、またはサーバーがSMTPセキュア接続にSTARTTLS接続することを要求してきている場合に表示されます。
サーバーの安全性が確認できませんでした。以下を確認してください。 ・日付/時刻	プリンターの日時設定が正しくない、またはサーバーに対応するルート証明書は保有しているが、期限切れの場合に表示されます。

メッセージ	原因
サーバーの安全性が確認できませんでした。以下を確認してください。 ・相手サーバー検証用CA証明書	サーバーに対応するルート証明書をプリンターが保有していない、または相手サーバー検証用CA証明書がインポートされていない場合に表示されます。
サーバーの安全性が確認できませんでした。	サーバーから取得した証明書が壊れている場合などに表示されます。
SMTPサーバーの認証に失敗しました。認証方式をSMTP認証に変更してください。	サーバーとクライアントで認証方式が一致していない場合に表示されます。サーバーはSMTP認証をサポートしているのに、プリンターはSMTP認証を実行していません。
SMTPサーバーの認証に失敗しました。認証方式をPOP before SMTPに変更してください。	サーバーとクライアントで認証方式が一致していない場合に表示されます。サーバーはSMTP認証をしていないのに、プリンターはSMTP認証を実行しようとしています。
送信元アドレスが正しくありません。お使いのメールサービスで取得したアドレスに変更してください。	送信元アドレスの指定が間違っていた場合に表示されます。
プリンターが処理動作中のためアクセスできません。	プリンターが動作中で接続設定ができなかったときに表示されます。

共有フォルダーを設定する

プリンターから送信されるデータを保存するための共有フォルダーを設定します。
ファイルを保存するとき、プリンターは共有フォルダーのあるコンピューターに、コンピューターのユーザーとしてログオンします。
また、共有フォルダーと一緒にMS Networkを設定してください。

共有フォルダーの作成

共有フォルダーを作成する前に

共有フォルダーの作成前に以下を確認してください。

- プリンターが共有フォルダーを作成するコンピューターにアクセスできるネットワークに接続されているか
- 共有フォルダーを作成するコンピューターの名前にマルチバイト文字が使用されていないか

！重要 コンピューター名にマルチバイト文字が含まれていると、共有フォルダーへのファイル保存が失敗する可能性があります。
その場合、コンピューター名にマルチバイト文字が含まれていないコンピューターに変更するか、コンピューター名を変更してください。
コンピューター名を変更する場合、コンピューターの管理やリソースへのアクセスに影響が出る可能性がありますので、必ずシステムの管理者に確認してから行ってください。

ネットワークプロファイルの確認

共有フォルダーを作成するコンピューターで、フォルダーの共有が可能かどうか確認します。

1. 共有フォルダーを作成するコンピューターへ管理者権限のユーザーアカウントでログオンします。

2. ［コントロール パネル］ - ［ネットワークとインターネット］ - ［ネットワークと共有センター］を選択します。

3. ［共有の詳細設定］をクリックし、表示されたネットワークプロファイルから［（現在のプロファイル）］とあるプロファイルの をクリックします。

4. ［ファイルとプリンターの共有］で［ファイルとプリンターの共有を有効にする］が選択されているか確認します。

   選択されている場合は、［キャンセル］をクリックして画面を閉じます。
   変更した場合は、［変更の保存］をクリックして画面を閉じます。

関連情報

➡ 「共有フォルダーの作成場所とセキュリティーの例」452ページ

共有フォルダーの作成場所とセキュリティーの例

共有フォルダーを作成する場所によって、セキュリティーや利便性が変わります。
プリンターや他のコンピューターから共有フォルダーを扱うには、以下の両方でフォルダーの読み取りや変更の権限が必要です。

- ［共有］タブ - ［詳細な共有］ - ［アクセス許可］の共有アクセス許可
  ネットワーク経由のアクセスを制御します。
- ［セキュリティ］タブのアクセス許可
  ネットワークとローカルからのアクセスを制御します。

以下のデスクトップに共有フォルダーを作成した例で、共有フォルダーの［共有アクセス許可］に［Everyone］を設定すると、ネットワーク経由で共有フォルダーにアクセスできる全てのユーザーにアクセス許可を与えることになります。しかし、デスクトップはユーザーフォルダーの配下にあるフォルダーのため、ユーザーフォルダーのローカルアクセスのセキュリティー設定が継承されて、ユーザーフォルダーにアクセス許可のないユーザーはアクセスできません。［セキュリティ］でアクセス許可が設定されているユーザーやグループ（この場合はコンピューターのログオンユーザーとAdministrator）がフォルダーにアクセスできます。
以下の例を参考に適切な場所に共有フォルダーを作成してください。
ここでは「scan_folder」というフォルダーの作成を例に説明します。

関連情報

➡ 「ファイルサーバー向けの設定例」452ページ
➡ 「個人のコンピューター向けの設定例」459ページ

ファイルサーバー向けの設定例

ここでは、以下の環境条件でファイルサーバーなど共有コンピューターのドライブのルートに共有フォルダーを作成することを例に説明します。
共有フォルダーを作成するコンピューターと同じドメインなどアクセス制御できるユーザーがアクセスできます。

ファイルサーバーや共有のコンピューターなどを設置していて、組織内の誰にでも自由な読み書きを許可する場合に設定してください。

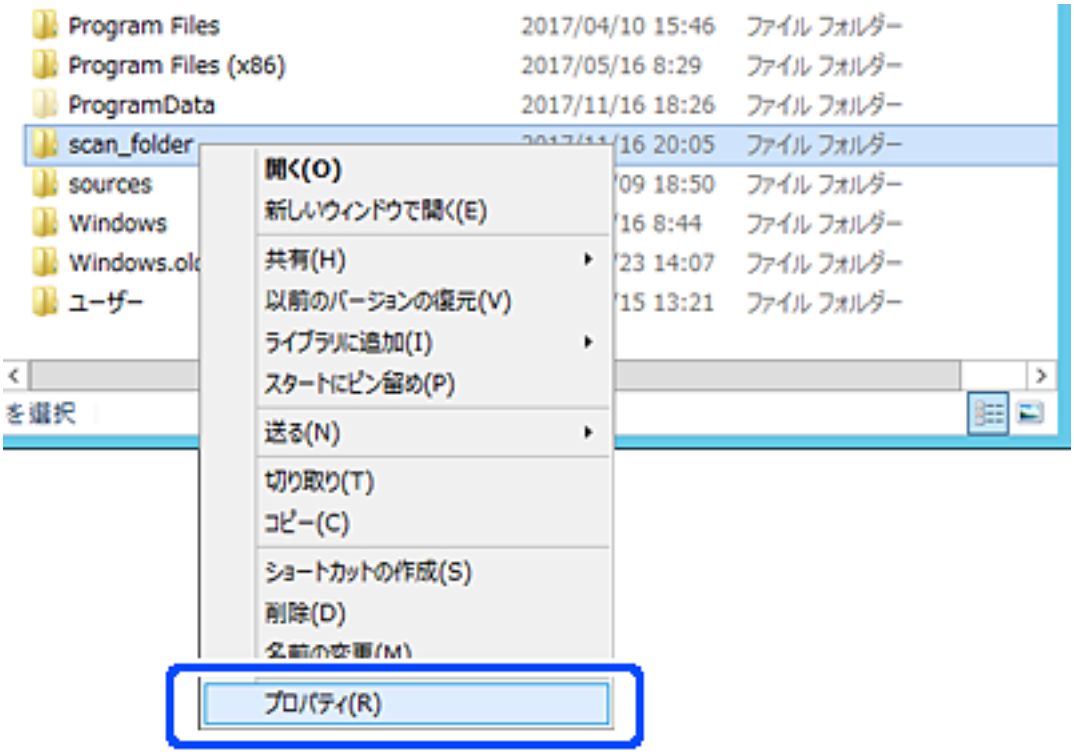
- フォルダー作成場所：ドライブ直下
- フォルダーパス：C:￥scan_folder
- ネットワーク経由のアクセス設定（共有アクセス許可）：Everyone
- ファイルシステムのアクセス設定（セキュリティ）：Authenticated Users

1. 共有フォルダーを作成するコンピューターへ管理者権限のユーザーアカウントでログオンします。

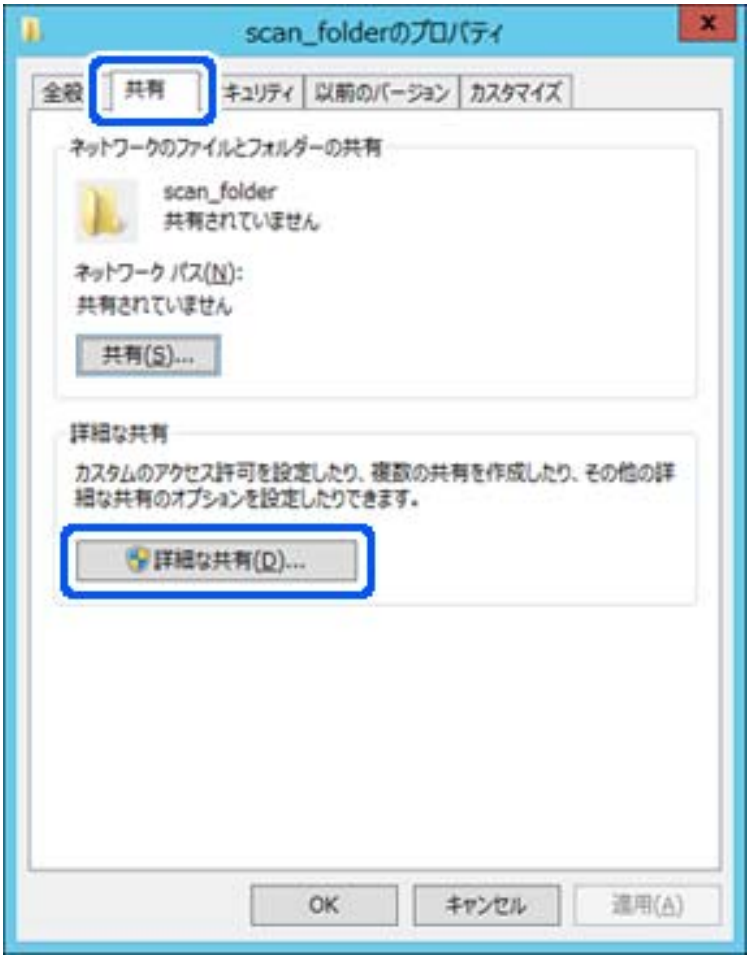
2. エクスプローラーを起動します。

3. Cドライブのルートにフォルダーを作成し「scan_folder」と名前を付けます。
   フォルダー名は、半角英数字12文字以内で入力してください。文字数を超えると、お使いの環境によっては正常にアクセスできないことがあります。

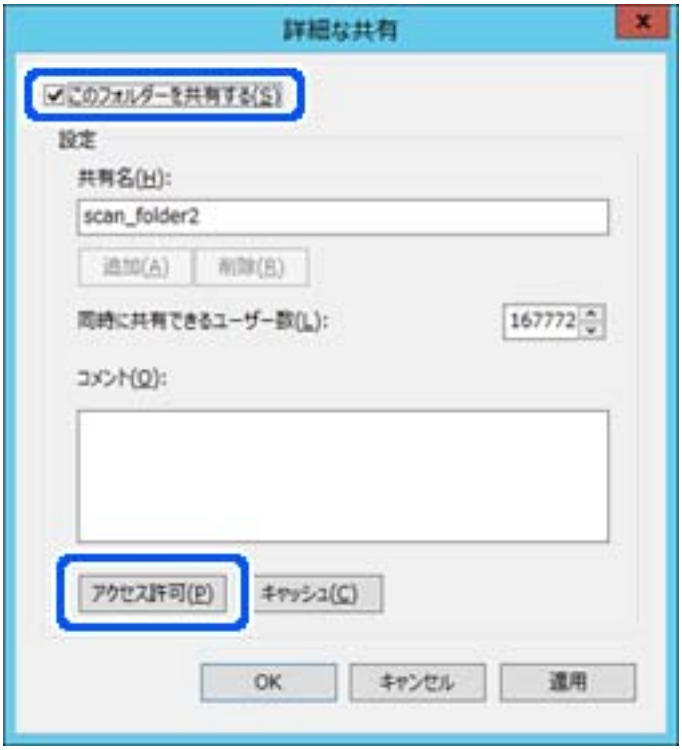
4. フォルダーを右クリックして［プロパティ］を選択します。



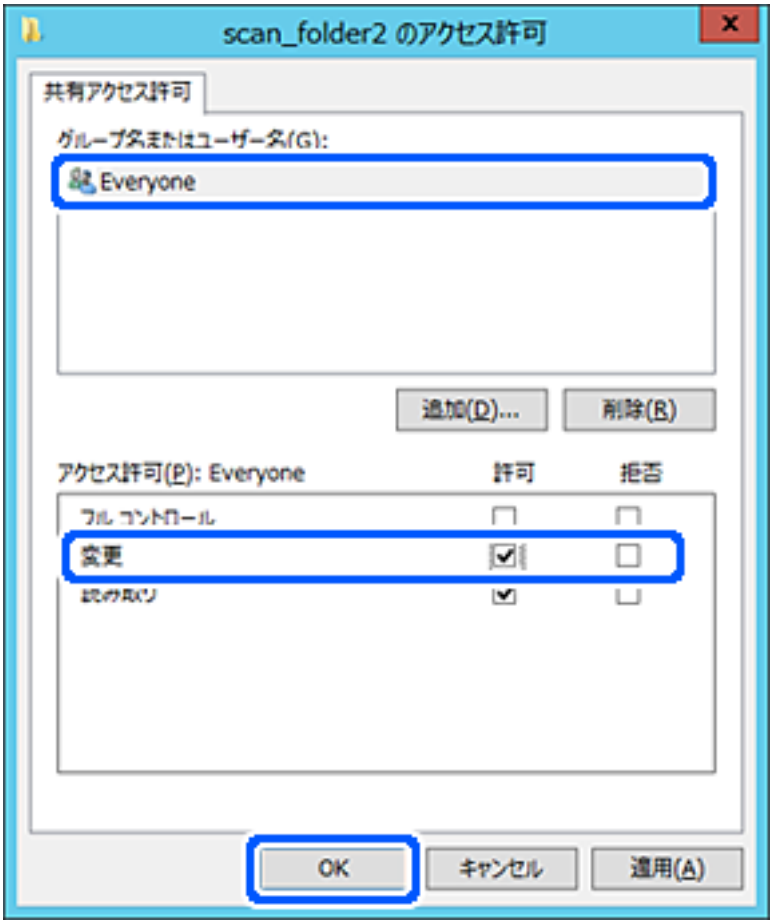
5. ［共有］タブで［詳細な共有］をクリックします。



6. ［このフォルダーを共有する］にチェックを入れ、［アクセス許可］をクリックします。

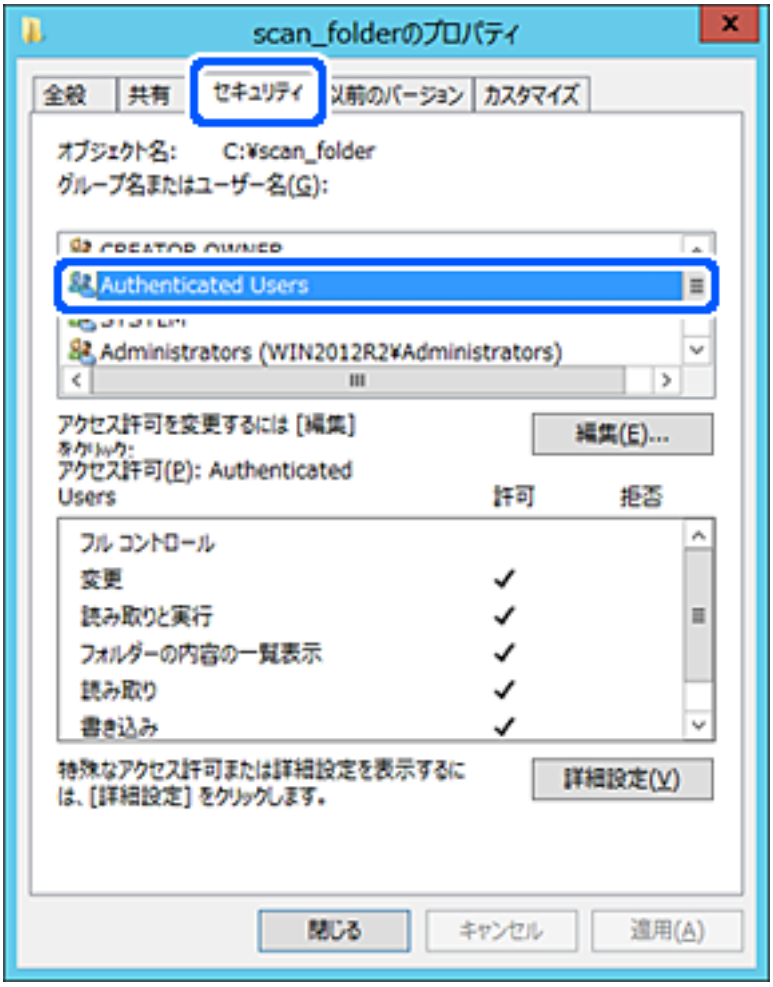


7. ［グループ名またはユーザー名］の［Everyone］グループを選択し、［変更］の［許可］にチェックを入れて［OK］をクリックします。



8. ［OK］をクリックします。

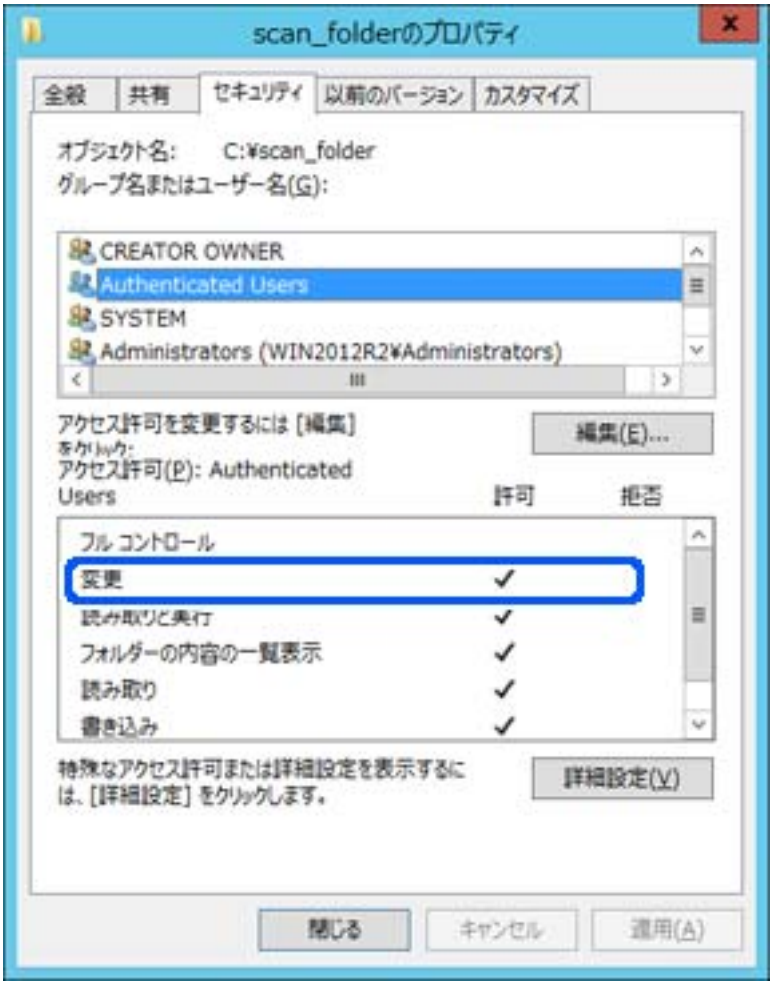
9. ［セキュリティ］タブを選択し、［グループ名またはユーザー名］にある［Authenticated Users］を選択します。



「Authenticated Users」はドメインやコンピューターにログオンできる全てのユーザーが含まれるグループです。ドライブ直下にフォルダーを作成した場合に表示される特殊グループです。
表示されていない場合は［編集］から追加できます。詳しくは「関連情報」にあるトピックをご覧ください。

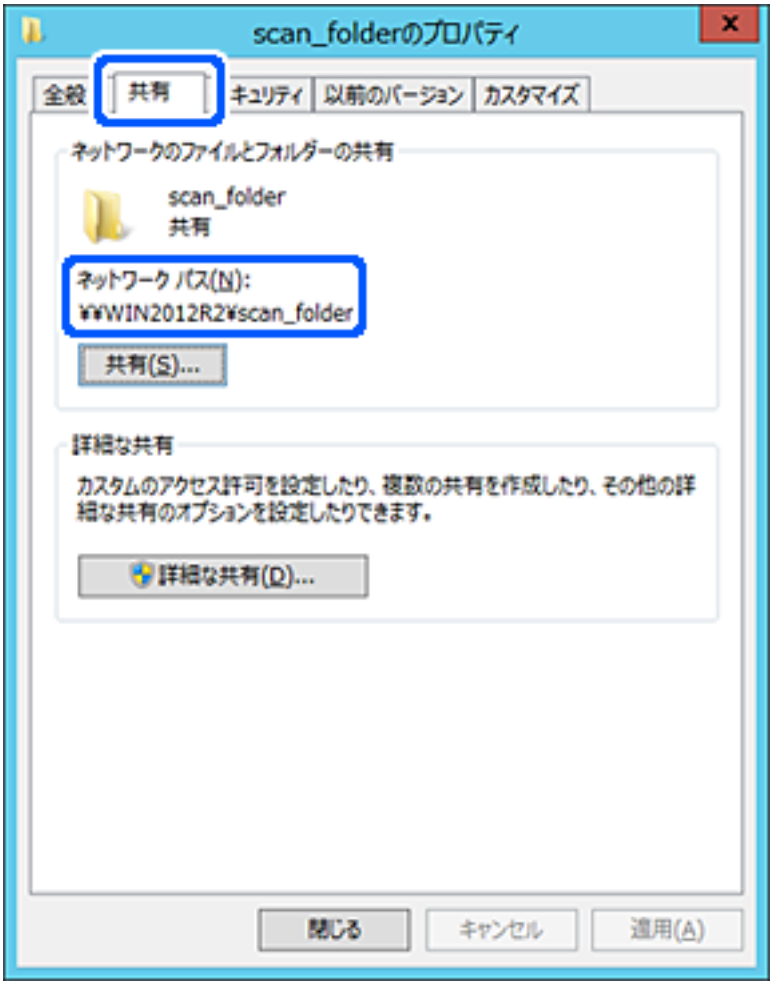
10. ［Authenticated Usersのアクセス許可］にある［変更］の［許可］にチェックがあることを確認します。

チェックがない場合は［Authenticated Users］を選択して［編集］をクリックし、［アクセス許可］で［変更］の［許可］にチェックを入れ、［OK］をクリックします。



11. ［共有］タブを選択します。

共有フォルダーのネットワークパスが表示されます。このパスをプリンターのアドレス帳の登録で使用します。メモやコピーをしておいてください。



12. ［OK］または［閉じる］をクリックして、画面を閉じます。

同じドメインネットワークのコンピューターから、共有フォルダーにファイルが読み書きできるか確認してください。

関連情報

➡ 「Web Configで宛先を登録する」471ページ

➡ 「アクセス許可をするグループやユーザーを追加する」465ページ

個人のコンピューター向けの設定例

ここでは、ログオンしているユーザーのデスクトップに共有フォルダーを作成することを例に説明します。
デスクトップやドキュメントフォルダーなどユーザーフォルダー配下のフォルダーは、ログオンしたユーザーとコンピューターの管理者権限を持つユーザーがアクセスできます。
個人のコンピューターにスキャン結果を保存し、ネットワーク経由で他のユーザーに閲覧やコピー、削除などを許可しない場合に設定してください。

- フォルダー作成場所：デスクトップ

- フォルダーパス：C:￥Users￥xxxx￥Desktop￥scan_folder
- ネットワーク経由のアクセス設定（共有アクセス許可）：Everyone
- ファイルシステムのアクセス設定（セキュリティ）：追加しない、または個別にアクセスを許可するユーザーまたはグループ

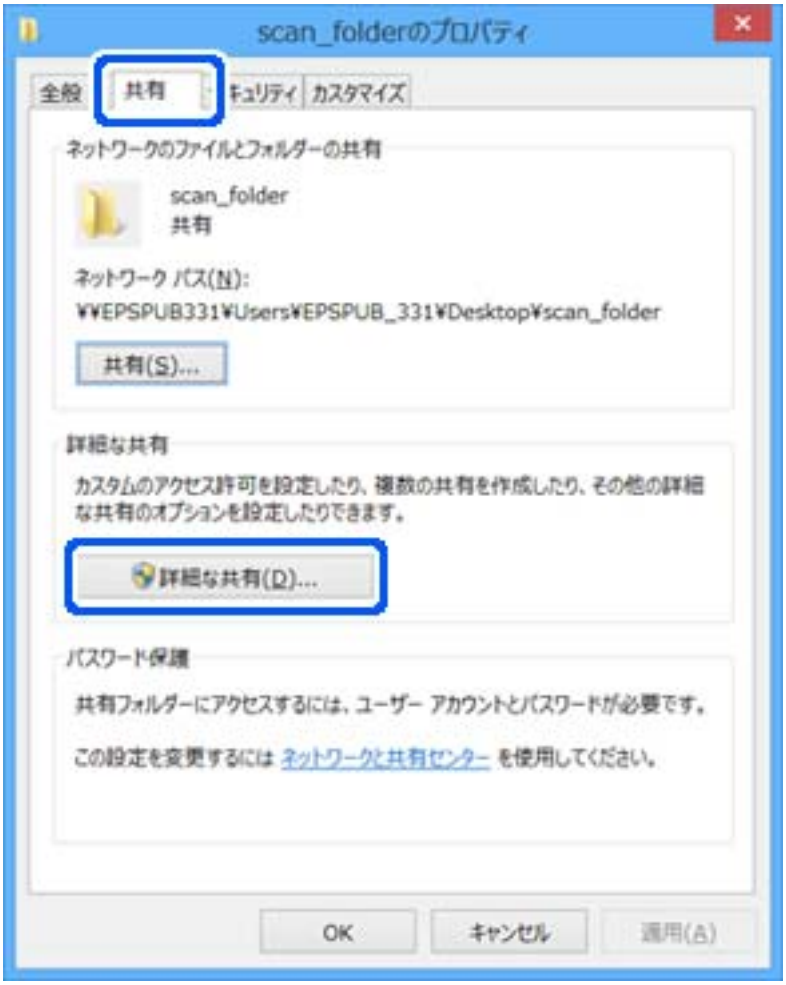
1. 共有フォルダーを作成するコンピューターへ管理者権限のユーザーアカウントでログオンします。

2. エクスプローラーを起動します。

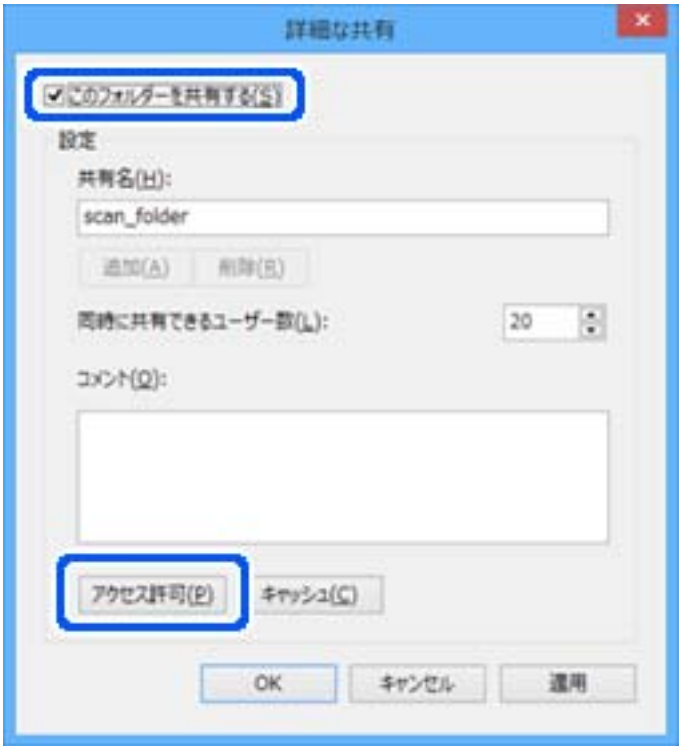
3. デスクトップにフォルダーを作成し「scan_folder」と名前を付けます。
   フォルダー名は、半角英数字12文字以内で入力してください。文字数を超えると、お使いの環境によっては正常にアクセスできないことがあります。

4. フォルダーを右クリックして［プロパティ］を選択します。

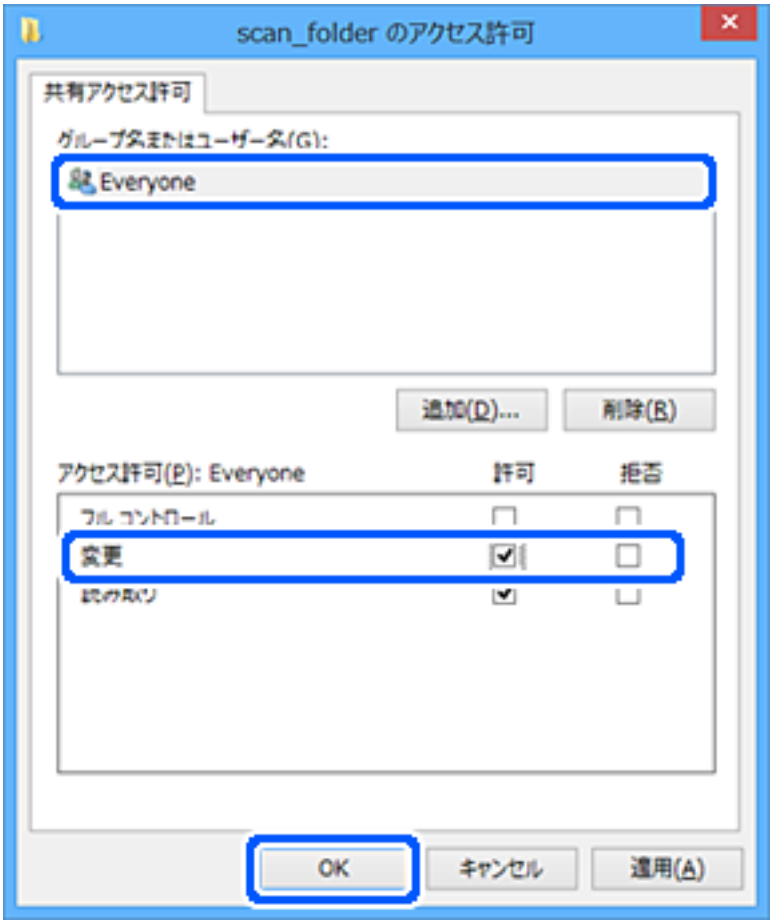
5. ［共有］タブの画面で［詳細な共有］をクリックします。



6. ［このフォルダーを共有する］にチェックを入れ、［アクセス許可］をクリックします。



7. ［グループ名またはユーザー名］の［Everyone］グループを選択し、［変更］の［許可］にチェックを入れて［OK］をクリックします。



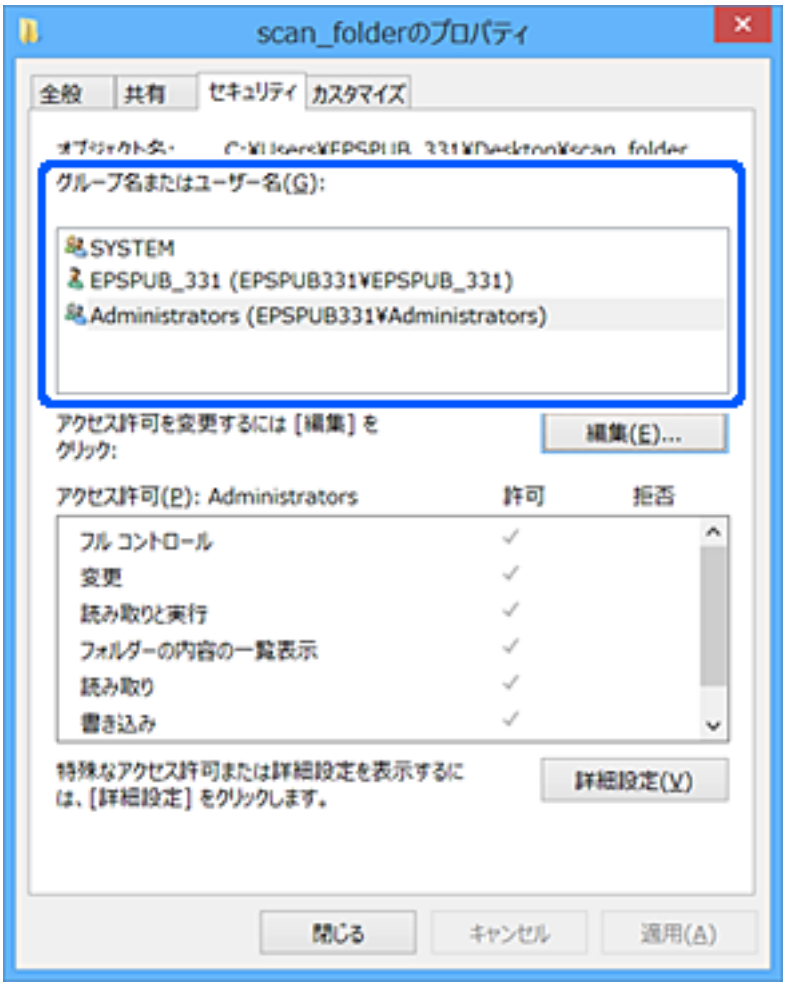
8. ［OK］をクリックします。

9. ［セキュリティ］タブを選択します。

10. ［グループ名またはユーザー名］にあるグループまたはユーザーを確認します。

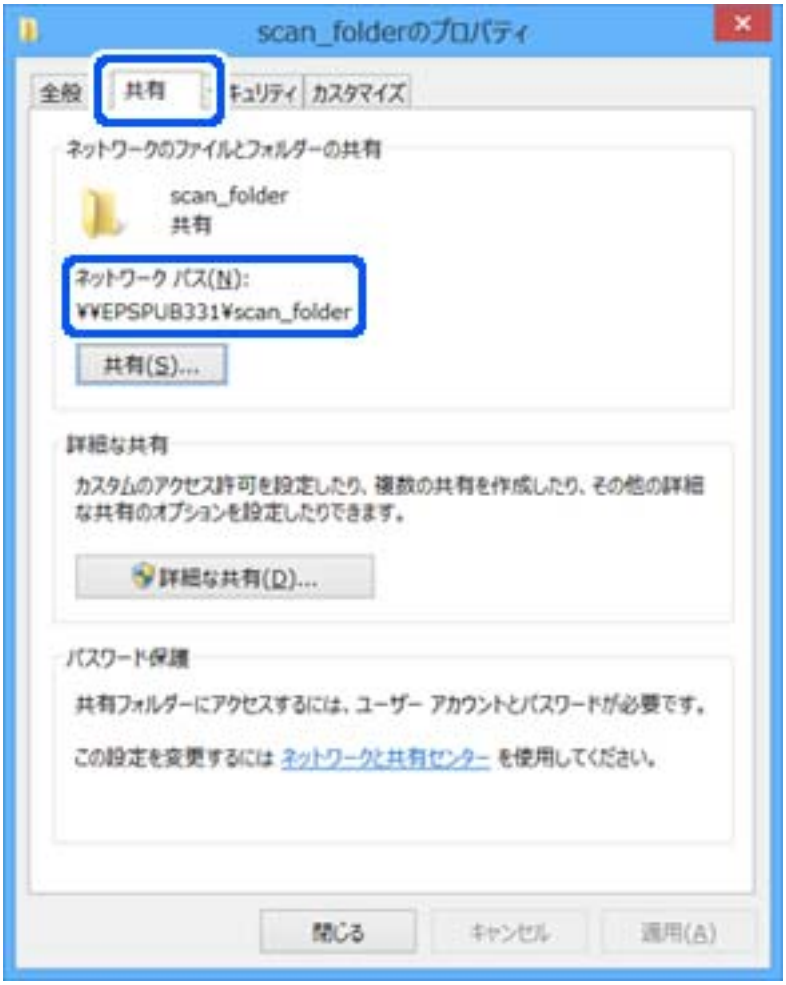
ここに表示されているグループまたはユーザーが共有フォルダーにアクセスできます。
この場合はこのコンピューターにログオンしているユーザーとAdministratorが共有フォルダーにアクセスできます。

必要に応じてアクセス許可を追加してください。アクセス許可は [編集] から追加できます。詳しくは「関連情報」にあるトピックをご覧ください。



11. ［共有］タブを選択します。

共有フォルダーのネットワークパスが表示されます。このパスをプリンターのアドレス帳の登録で使用します。メモやコピーをしておいてください。



12. ［OK］または［閉じる］をクリックして、画面を閉じます。

アクセスを許可したユーザーまたはグループのコンピューターから、共有フォルダーにファイルが読み書きできるか確認してください。

関連情報

➡ 「Web Configで宛先を登録する」471ページ
➡ 「アクセス許可をするグループやユーザーを追加する」465ページ

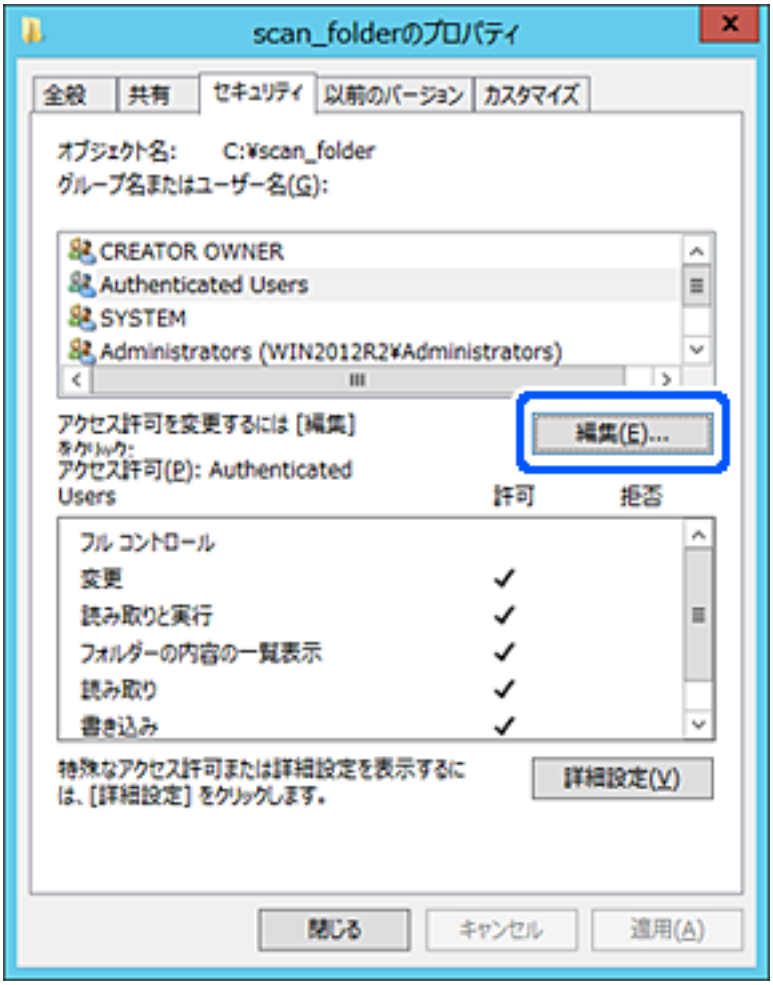
アクセス許可をするグループやユーザーを追加する

以下の手順で共有フォルダーにアクセスを許可するグループやユーザーを追加できます。

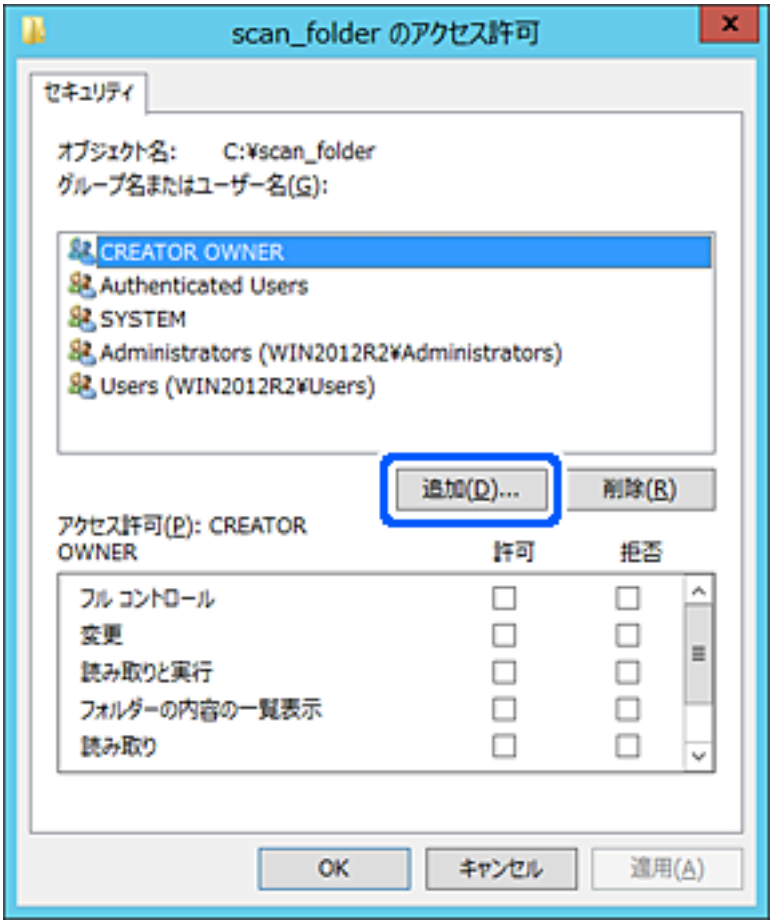
1. フォルダーを右クリックして［プロパティ］を選択します。

2. ［セキュリティ］タブを選択します。

3. ［編集］をクリックします。



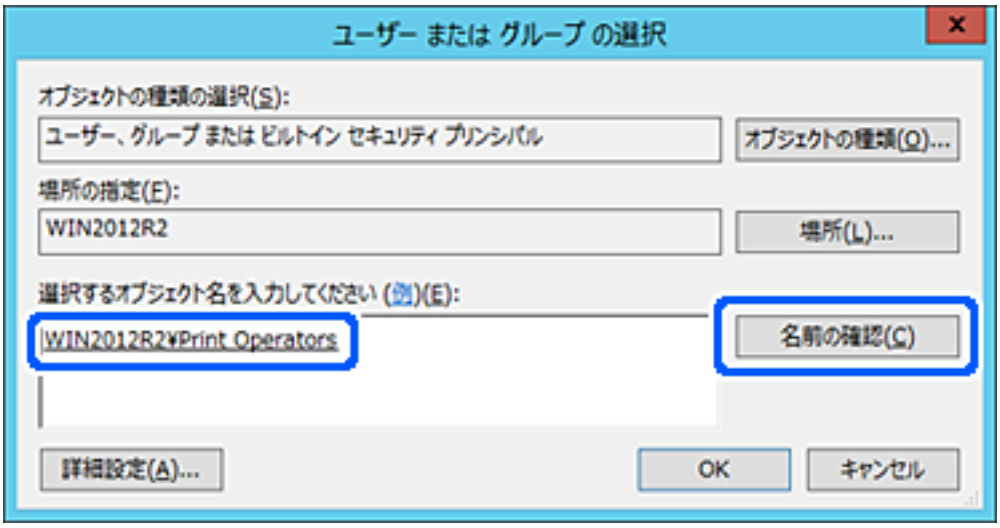
4. ［グループ名またはユーザー名］の下の［追加］をクリックします。



5. アクセスを許可したいグループやユーザー名を入力し、［名前の確認］をクリックします。

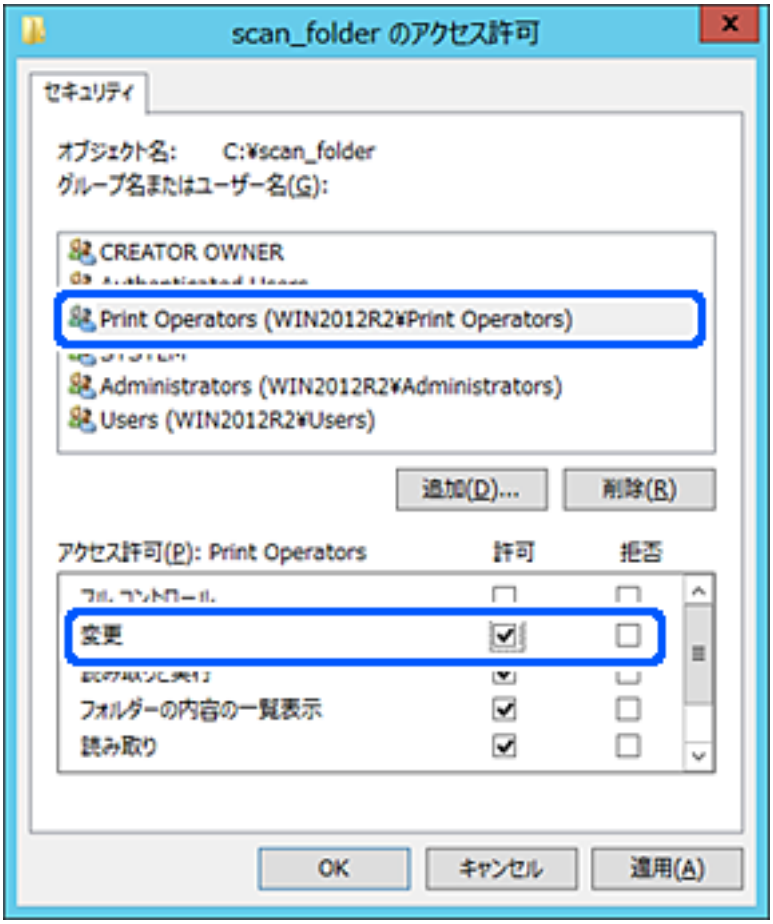
名前に下線が入ります。

参考 グループやユーザーの完全な名前がわからない場合は、名前の一部を入力して［名前の確認］をクリックしてください。名前の一部が合致するグループやユーザー名が一覧表示され、そこから選択することができます。
一つだけ合致した場合は、［選択するオブジェクト名を入力してください］に下線が入った完全な名前が表示されます。



6. ［OK］をクリックします。

7. アクセス許可の画面で、［グループ名またはユーザー名］に入力したユーザー名を選択して［変更］のアクセス許可にチェックを入れ、［OK］をクリックします。



8. ［OK］または［閉じる］をクリックして、画面を閉じます。

アクセスを許可したユーザーまたはグループのコンピューターから、共有フォルダーにファイルが読み書きできるか確認してください。

Microsoftネットワーク共有を使用する

有効にすると、以下が実現できます。

- プリンターに接続しているUSBストレージをネットワークで共有
- コンピューターの共有フォルダーにスキャン結果や受信ファクスを転送

1. Web Configで［ネットワーク］タブ - ［MS Network］を選択します。

2. ［Microsoftネットワーク共有を使用する］を選択します。

3. 各項目を設定します。

4. ［次へ］をクリックします。

5. 設定内容を確認して［設定］をクリックします。

6. コンピューターからエクスプローラーのURL欄に以下のように入力し、Enterキーを押します。
共有名のネットワークフォルダーがあり、アクセスできるか確認してください。
￥￥プリンターのIPアドレス
設定例：￥￥192.0.2.111

関連情報

➡ 「WebブラウザーからWeb Configを起動する」432ページ

MS Networkの設定項目

項目	説明
Microsoftネットワーク共有を使用する	MS Network共有を有効にする場合はチェックを入れます。
SMB1.0 SMB2/SMB3	使用するプロトコルを選択します。SMB1.0またはSMB2/SMB3のいずれかのみ選択できます。
ファイル共有	ファイル共有の有効、無効を設定します。 以下を実行する場合は、有効にしてください。 • プリンターに接続しているUSBストレージをネットワークで共有 • コンピューターの共有フォルダーにスキャン結果や受信ファクスを転送
ユーザー認証	ネットワークからプリンターに接続されているUSBストレージへアクセスする際に、ユーザー認証をするかどうか設定します。
ユーザー名	ユーザー認証時のユーザー名を設定します。入力できる文字は、"/\[]:;|=,+*?<>@%を除くASCII文字で、127文字以内です。ただし、.（ピリオド）とスペースだけの単独または組み合わせの文字列は入力できません。
パスワード	ユーザー認証のパスワードを設定します。入力できる文字は、ASCII文字で64文字以内です。ただし、*（アスタリスク）10個のみの設定はできません。
暗号化通信	暗号化通信の有効、無効を切り替えます。［ユーザー認証］が［有効］の場合に選択できます。
ホスト名	プリンターのMS Network ホスト名が表示されます。変更するには、［ネットワーク］タブ-［ネットワーク基本］の［デバイス名］を変更してください。
ワークグループ	MS Networkのワークグループ名を入力します。入力できる文字は、ASCII文字で15文字以内です。
アクセス属性	ファイル共有のアクセス属性を設定します。
共有名(外部機器接続ポート)	ファイル共有時に共有名として表示されます。

アドレス帳を使えるようにする

スキャンやファクスの宛先をプリンターのアドレス帳に登録しておくと、簡単に宛先を入力できます。

また、LDAPサーバーで管理しているアドレスを利用（LDAP検索）して宛先を入力することもできます。

参考
- プリンターのアドレス帳とLDAP検索は、プリンターの操作パネルで切り替えます。
- アドレス帳には、以下の種類の宛先を、合計で2000件まで登録できます。

ファクス	ファクスの宛先
メール	メールの宛先 メールサーバーの設定が必要です。
ネットワーク フォルダー(SMB)	スキャンデータやファクス転送データの保存先
ネットワークフォルダー	

設定ツールによる宛先設定機能差

アドレス帳の宛先は、Web ConfigやEpson Device Admin、プリンターの操作パネルから設定できます。ただし、設定できる項目が異なります。

機能	Web Config	Epson Device Admin	操作パネル
宛先登録	○	○	○
宛先編集	○	○	○
グループ登録	○	○	○
グループ編集	○	○	○
宛先やグループの削除	○	○	○
宛先の一括削除	○	○	-
ファイルのインポート	○	○	-
ファイルへエクスポート	○	○	-
常用の指定	○	○	○
常用の並べ替え	-	-	○

参考 ファクスの宛先はFAX Utilityからも設定できます。

Web Configで宛先を登録する

参考
- プリンターの操作パネルからも登録できます。
- オプションのファクスがプリンターに追加されている場合は、次の説明を参照してください。
「アドレス帳を登録する （増設G3ファクスボード装着時 ）」347ページ

1. Web Configの［スキャン/コピー］タブ、または［ファクス］タブから、［アドレス帳］を選択します。

2. 登録したい番号を選択して［編集］をクリックします。

3. ［登録名］と［検索名］を入力します。

4. 設定したい宛先の［種別］を選択します。

参考 登録後は［種別］を変更できません。登録後に種類を変更したいときは、アドレスを削除して再登録してください。

5. 必要な項目を設定して、［適用］をクリックします。

関連情報

- 「原稿をスキャンしてネットワークフォルダーに保存する」116ページ
- 「WebブラウザーからWeb Configを起動する」432ページ

アドレスの設定項目（Web Config）

項目	設定値と説明
共通設定	
登録名	アドレス帳に表示する名称を、Unicode（UTF-8）で表せる30文字以内で入力します。指定しないときは空白にします。
検索名	検索に使われる名称を、Unicode（UTF-8）で表せる30文字以内で入力します。指定しないときは空白にします。
種別	登録するアドレスの種類を選択します。
常用指定	チェックを付けると登録したアドレスを常用にします。 常用に設定すると、ファクスやスキャンのトップ画面に表示され、アドレス帳を開かなくても宛先を指定できるようになります。
ファクス	

項目	設定値と説明
ファクス番号	0～9の数字、 - * # または半角スペースを使用し、1から64文字以内で入力します。
通信モード	宛先に応じたファクス通信速度を選択します。
Fコード(SUB/SEP)	ファクス送信時に付加されるFコードを設定します。0～9の数字、* # または半角スペースを使用し、20文字以内で入力します。指定しないときは空白にします。
パスワード(SID/PWD)	Fコードのパスワードを設定します。0～9の数字、* # または半角スペースを使用し、20文字以内で入力します。指定しないときは空白にします。
メール	
メールアドレス	A～Z a～z 0～9 ! # $ % & ' * + - . / = ? ^ _ { | } ~ @を使用し、1～255文字以内で入力します。
ネットワークフォルダー (SMB)	
保存先	\\“フォルダーパス” 保存フォルダーのパスを、Unicode（UTF-8）で表せる1～253文字以内（"\\"を除く）で入力します。 ブラウザーによっては、円マークがバックスラッシュで表示されることがあります。
ユーザー名	ネットワークフォルダーのユーザー名を、Unicode（UTF-8）で表せる30文字以内で入力します。ただし、制御文字（0x00～0x1f、0x7F）は除きます。
パスワード	ネットワークフォルダーのパスワードを、Unicode（UTF-8）で表せる20文字以内で入力します。ただし、制御文字（0x00～0x1f、0x7F）は除きます。
FTP	
セキュア接続	FTPサーバーがサポートしているプロトコルに従って、FTPまたはFTPSを選択します。セキュアな通信をするには、［FTPS］を選択します。
保存先	FTPサーバー名を、ASCII（0X20-0X7E）で表せる1～253文字以内（"//"を除く）で入力します。
ユーザー名	FTPサーバーにアクセスするためのユーザー名を、Unicode（UTF-8）で表せる30文字以内で入力します。ただし、制御文字（0x00～0x1f、0x7F）は除きます。匿名による接続を認めているサーバーでは、AnonymousやFTPなどを入力します。指定しないときは空白にします。
パスワード	FTPサーバーにアクセスするパスワードを、Unicode（UTF-8）で表せる20文字以内で入力します。ただし、制御文字（0x00～0x1f、0x7F）は除きます。指定しないときは空白にします。
接続モード	メニューから接続モードを選択します。プリンターとFTPサーバーの間にファイアウォールがある場合は、［パッシブモード］を選択します。
ポート番号	FTPサーバーのポート番号を、1～65535以内の半角数字で入力します。
証明書の検証	有効にするとFTPサーバーの証明書の正当性をチェックします。［セキュア接続］が［FTPS］のときに選択できます。 設定の前に相手サーバー検証用CA証明書をプリンターにインポートしておいてください。

Web Configで宛先をグループに登録する

［ファクス］や［メール］の場合、複数の宛先をまとめてグループとして登録できます。

1. Web Configの［スキャン/コピー］タブ、または［ファクス］タブから、［アドレス帳］を選択します。

2. 登録したい番号を選択して［編集］をクリックします。

3. ［種別］で登録したいグループを選択します。

4. ［グループに入れる宛先］の［選択］をクリックします。
   登録できるアドレスが一覧で表示されます。

5. グループに登録するアドレスを選択して、［選択］をクリックします。

6. ［登録名］と［検索名］を入力します。

7. グループを常用登録するかを選択します。

   参考　アドレスは複数のグループに登録できます。

8. ［適用］をクリックします。

関連情報

➡「WebブラウザーからWeb Configを起動する」432ページ

よく使うアドレスをすぐ選択できるようにする（常用登録）

アドレスを常用登録すると、アドレス指定する画面のトップに表示され、すぐに選択できるようになります。

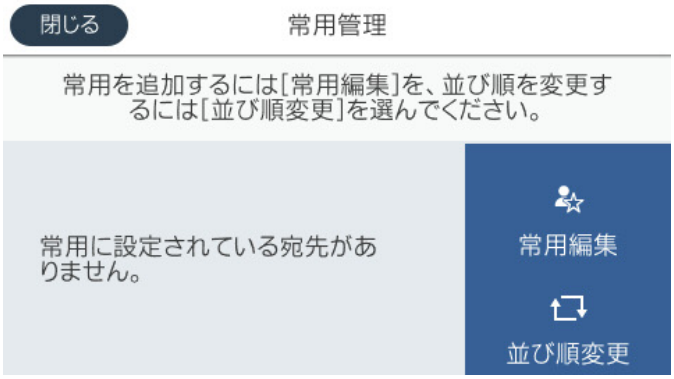
1. ホーム画面で［設定］を選択します。

2. ［アドレス帳管理］を選択し、［常用管理］を選択します。

3. 登録するアドレスの種類を選択します。

参考 パスワードの入力画面が表示されたら、管理者に連絡してください。

4. ［常用編集］を選択します。



参考 すでにアドレスを常用登録しているときは、［並び順変更］を選択すると順番を入れ替えることができます。

5. 常用登録するアドレスを選択して、［OK］を選択します。

参考
- 選択を解除するには、もう一度アドレスをタップします。
- アドレス帳からアドレスを検索できます。画面上部の検索ボックスに検索ワードを入れてください。

6. ［閉じる］を選択します。

アドレス帳のバックアップとインポート

アドレス帳は、Web Configやツールを使用してバックアップやインポートができます。
Web Configの場合、アドレス帳を含めてプリンター設定をエクスポートするとバックアップできます。バイナリーファイルでエクスポートされるので編集できません。
アドレス帳を含めてプリンター設定をインポートすると、アドレス帳を上書きします。
Epson Device Adminを使うと、デバイスのプロパティ画面からアドレス帳だけをエクスポートできます。また、パスワードなどセキュリティー項目を含めずにエクスポートするとSYLK形式やcsv形式に保存できるので、編集してからインポートできます。

Web Configからアドレス帳をインポートする

本プリンターにインポートできるアドレス帳を持った別のプリンターをお持ちの場合、そのプリンターのバックアップデータをインポートすることで、アドレス帳に登録できます。

参考 別のプリンターのアドレス帳からバックアップデータを作成するには、そのプリンターのマニュアルをご覧ください。

バックアップデータからインポートする手順は以下です。

1. Web Configを起動し、［デバイス管理］タブ -［設定のエクスポート/インポート］-［インポート］の順に選択します。

2. ［ファイル］で、バックアップデータファイルを選択し、暗号化パスワードを入力して、［次へ］をクリックします。

3. ［アドレス帳］を選択し、［次へ］をクリックします。

関連情報

➡「WebブラウザーからWeb Configを起動する」432ページ

Web Configからアドレス帳をバックアップする

プリンターの故障などでアドレス帳のデータが消失する可能性があります。アドレス帳の更新時にバックアップすることをお勧めします。本製品の保証期間内であっても、データの消失または破損について弊社はいかなる責も負いません。プリンターに登録されているアドレス帳は、Web Configでコンピューターにバックアップできます。

1. Web Configを起動し、［デバイス管理］タブ -［設定のエクスポート/インポート］-［エクスポート］の順に選択します。

2. ［アドレス帳］のどれか1つにチェックを付けます。

   例えば、［スキャン/コピー］カテゴリーの［アドレス帳］を選択すると、［ファクス］カテゴリーの［アドレス帳］も選択されます。

3. エクスポートするファイルを暗号化するための、任意のパスワードを入力します。

   ここで指定したパスワードはインポートするときに必要になります。パスワードを指定しない場合は空白にします。

4. ［エクスポート］をクリックします。

関連情報

➡「WebブラウザーからWeb Configを起動する」432ページ

他のエプソンプリンターのアドレス帳をインポートする

プリンターにインポートできるアドレス帳を持った別のプリンターをお持ちの場合、そのプリンターのバックアップデータをインポートすることで、アドレス帳に登録できます。

参考　別のプリンターのアドレス帳をバックアップするには、そのプリンターのマニュアルをご覧ください。

バックアップデータからインポートする手順は以下です。

1. Web Configを起動し、［デバイス管理］タブ -［設定のエクスポート/インポート］-［インポート］の順に選択します。

2. ［ファイル］で、バックアップデータファイルを選択し、暗号化パスワードを入力して、［次へ］をクリックします。

3. ［アドレス帳］を選択し、［次へ］をクリックします。

関連情報

➡ 「WebブラウザーからWeb Configを起動する」432ページ

ツールを使ったアドレス帳のエクスポートや一括登録

Epson Device Adminを使うと、アドレス帳だけをバックアップしたり、エクスポートしたファイルを編集して一括で登録したりできます。
アドレス帳だけをバックアップする場合や、プリンターの置き替え時に置き替え前のプリンターからアドレス帳を引き継ぐような場合に役立ちます。

アドレス帳をエクスポートする

アドレス帳の情報をファイルに保存します。
SYLK形式やcsv形式で保存したファイルは表計算ソフトやテキストエディターなどで編集できます。情報の削除や追加などをしてから一括で登録できます。
パスワードや個人情報などセキュリティー項目を含む情報は、パスワードを設定したバイナリー形式で保存できます。このファイルは編集できません。セキュリティー項目を含む情報のバックアップとして活用できます。

1. Epson Device Adminを起動します。

2. サイドバータスクメニューで［デバイス］を選択します。

3. デバイスリストで設定するデバイスを選択します。

4. リボンメニューの［ホーム］タブから［デバイスの設定］をクリックします。
   管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力して［OK］をクリックします。

5. ［共通］ - ［アドレス帳］をクリックします。

6. ［エクスポート］ - ［エクスポートする項目］からエクスポート形式を選択します。
   - 全ての項目
     暗号化したバイナリーファイルをエクスポートします。パスワードや個人情報などセキュリティー項目を含めたい場合に選択します。このファイルは編集できません。こちらを選択した場合はパスワードの設定が必要です。［設定］をクリックして、パスワードをASCII文字（8～63文字）で設定します。このパスワードはバイナリーファイルのインポート時に入力が求められます。
   - セキュリティー情報を除く項目
     SYLK形式またはcsv形式のファイルをエクスポートします。エクスポートした情報を編集したい場合に選択します。

7. ［エクスポート］をクリックします。

8. ファイルを保存する場所を指定し、ファイルの種類を選択して［保存］をクリックします。
   エクスポート完了メッセージが表示されます。

9. ［OK］をクリックします。
   指定した場所にファイルが保存されていることを確認してください。

アドレス帳をインポートする

アドレス帳の情報をファイルからインポートします。
SYLK形式やcsv形式で保存したファイルや、セキュリティー項目を含む情報をバックアップしたバイナリーファイルをインポートできます。

1. Epson Device Adminを起動します。

2. サイドバータスクメニューで［デバイス］を選択します。

3. デバイスリストで設定するデバイスを選択します。

4. リボンメニューの［ホーム］タブから［デバイスの設定］をクリックします。
   管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力して［OK］をクリックします。

5. ［共通］ - ［アドレス帳］をクリックします。

6. ［インポート］の［参照］をクリックします。

7. インポートするファイルを選択して［開く］をクリックします。
   バイナリーファイルを選択した場合、［パスワード］にファイルをエクスポートしたときに設定したパスワードを入力します。

8. ［インポート］をクリックします。
   確認画面が表示されます。

9. ［OK］をクリックします。
   読み込み内容の検証が始まり、結果を表示します。
   - 読み込んだ情報を編集する
     読み込んだ情報を個別に編集したい場合にクリックします。
   - 更にファイルを読み込む
     複数のファイルをインポートしたい場合にクリックします。

10. ［インポート］をクリックし、インポート完了画面で［OK］をクリックします。
    デバイスのプロパティ画面に戻ります。

11. ［送信］をクリックします。

12. 確認メッセージで［OK］をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

13. 送信完了画面で［OK］をクリックします。

プリンターの情報が更新されます。
Web Configや操作パネルからアドレス帳を開き、更新されていることを確認してください。

LDAPサーバーと利用者を連携する

LDAPサーバーと連携すると、LDAPサーバーに登録されているアドレス情報をメールやファクスの宛先に利用できます。

LDAPサーバーを設定する

LDAPサーバーの情報を登録して、LDAPサーバーの情報を利用できるようにします。

1. Web Configで［ネットワーク］タブ - ［LDAPサーバー］ - ［基本］を選択します。

2. 各項目を設定します。

3. ［設定］を選択します。

設定結果が表示されます。

関連情報

➡ 「WebブラウザーからWeb Configを起動する」432ページ

LDAPサーバー設定項目

項目	設定値と説明
LDAPサーバーを使用する	［使用する］または［使用しない］を選択します。
LDAPサーバーアドレス	LDAPサーバーのアドレスを入力します。IPv4、IPv6、FQDNのいずれかの形式で1～255文字以内で指定します。FQDN形式ではUS-ASCII文字の数字とアルファベット、ハイフン（先頭と末尾以外）が使用できます。
LDAPサーバーポート番号	LDAPサーバーのポート番号を1～65535以内の半角数字で入力します。
セキュア接続	プリンターがLDAPサーバーにアクセスする際の認証方式を指定します。
証明書の検証	有効にするとLDAPサーバーの証明書の正当性をチェックします。［有効］にすることをお勧めします。 設定するには、プリンターに［相手サーバー検証用CA証明書］のインポートが必要です。
検索タイムアウト（秒）	検索を開始してからタイムアウトするまでの時間（秒）を5～300までの半角数字で入力します。

項目	設定値と説明
認証方式	認証方式を選択します。 ［Kerberos認証］を選択する場合は、［Kerberos設定］を選択し、Kerberos設定をしてください。 Kerberos認証を行うには以下の環境が必要です。 • プリンターとDNSサーバーが通信できること • プリンターとKDCサーバー、認証が必要なサービスを提供するサーバー（LDAPサーバー、SMTPサーバー、ファイルサーバー）の時刻の同期が取れていること • サービスサーバーをIPアドレスで指定している場合、DNSサーバーの逆引き参照ゾーンにサービスサーバーのFQDNが登録されていること
使用するKerberosレルム	［認証方式］で［Kerberos認証］を選択した場合に、使用するKerberosレルムを選択します。
管理者DN / ユーザー名	Unicode（UTF-8）で表せる128文字以内でLDAPサーバーのユーザー名を入力します。制御文字（0x00～0x1F、0X7F）は使用できません。この項目は［認証方式］を［Anonymous認証］にすると無効になります。指定しない場合は空白にします。
パスワード	Unicode（UTF-8）で表せる128文字以内でLDAPサーバー認証のパスワードを入力します。制御文字（0x00～0x1F、0X7F）は使用できません。この項目は［認証方式］を［Anonymous認証］にすると無効になります。指定しない場合は空白にします。

Kerberos設定

［Kerberos認証］-［認証方式］の［LDAPサーバー］で［基本］を選択する場合は、［ネットワーク］タブ -［Kerberos設定］から、以下のKerberos設定をしてください。Kerberos設定は10個まで登録できます。

項目	設定値と説明
レルム(ドメイン)	Kerberos認証のレルムをASCII (0x20～0x7E)で表せる255文字以内で指定します。登録しない場合は空白にします。
KDCアドレス	Kerberos認証サーバーのアドレスを入力します。IPv4、IPv6、FQDNのいずれかの形式（255文字以内）で指定します。登録しない場合は空白にします。
ポート番号(Kerberos)	Kerberosサーバーのポート番号を1～65535以内の数字で入力します。

LDAPサーバーの検索属性を設定する

検索属性を設定すると、LDAPサーバーに登録されているユーザーのメールアドレスやファクス番号などを利用できます。

1. Web Configで［ネットワーク］タブ -［LDAPサーバー］-［検索設定］を選択します。

2. 各項目を設定します。

3. ［設定］をクリックします。

   設定結果が表示されます。

関連情報

➡ 「WebブラウザーからWeb Configを起動する」432ページ

LDAPサーバー検索設定項目

項目	設定値と説明
検索開始位置(DN)	データベースの任意の領域など、特定の場所から検索するときに指定します。 Unicode（UTF-8）で表せる0～128文字以内で入力します。検索位置を指定しないときは空白にします。 設定例：localのserverディレクトリー：dc=server,dc=local
検索件数上限数（5-500）	検索される数の上限を5～500以内で設定します。検索によって取得した、上限値までの件数を一時的に保存して表示します。上限値を超えると警告メッセージが表示されますが、検索は続行できます。
ユーザー名属性	登録名として検索するLDAPサーバーの属性名を指定します。Unicode（UTF-8）で表せる1～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：cn、uid
ユーザー表示名属性	表示名として表示する属性名を指定します。Unicode（UTF-8）で表せる0～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：cn、sn
ファクス番号属性	ファクス番号の検索結果として表示する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、1～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：facsimileTelephoneNumber
メールアドレス属性	メールアドレスを検索結果として表示する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、1～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：mail
任意情報属性1～任意情報属性4	LDAPサーバーにエントリーしている他の任意属性を指定します。Unicode（UTF-8）で表せる0～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。任意属性でのデータ取得を行わない場合は空白にします。 設定例：o、ou

LDAPサーバーとの接続を確認する

［LDAPサーバー］ - ［検索設定］で設定した値でLDAPサーバーとの接続テストを行います。

1. Web Configで［ネットワーク］タブ - ［LDAPサーバー］ - ［接続確認］を選択します。

2. ［確認開始］を選択します。

   LDAPサーバーとの接続診断が開始されます。接続テストが終了すると結果が表示されます。

関連情報

➡ 「WebブラウザーからWeb Configを起動する」432ページ

LDAPサーバー接続確認結果

メッセージ	説明
接続に成功しました。	サーバーとの接続に成功した場合に表示されます。
接続に失敗しました。 設定を確認してください。	以下の理由によってサーバーへの接続に失敗した場合に表示されます。 • LDAPサーバーアドレス、ポート番号などが間違っている • 通信タイムアウトが発生した • ［LDAPサーバーを使用する］が［使用しない］設定になっている • ［認証方式］に［Kerberos認証］を選択した場合に、Kerberos設定の［レルム(ドメイン)］、［KDCアドレス］、［ポート番号(Kerberos)］の設定が間違っている
接続に失敗しました。 製品、またはサーバーの日付/時刻設定を確認してください。	プリンターとLDAPサーバーの時刻設定の不一致によって接続に失敗した場合に表示されます。
サーバーの認証に失敗しました。 設定を確認してください。	以下の理由によってサーバーへの接続に失敗した場合に表示されます。 • ［ユーザー名］または［パスワード］が間違っている • ［認証方式］に［Kerberos認証］が選択されているとき、時刻設定されていない
プリンターが処理動作中のためアクセスできません。	プリンターが動作中で接続設定ができなかったときに表示されます。

スキャンの前に必要な準備

操作パネルを使ってスキャンするには

プリンターの操作パネルを使ったスキャン to フォルダー機能やスキャン to メール機能、メールやフォルダーなどへのスキャン結果の転送は、コンピューターからジョブを実行して行います。

サーバーやフォルダーの設定

機能名	設定	設定場所	必要なもの
スキャン to フォルダー機能（SMB）	保存フォルダーの作成と共有設定	保存先フォルダーのあるコンピューター	保存フォルダーを作成するコンピューターへの管理者権限ユーザーアカウント
	スキャン to フォルダー（SMB）の宛先	デバイス本体のアドレス帳	保存フォルダーがあるコンピューターへログオンするためのユーザー名、パスワード、保存フォルダーへの書き込みの権利

機能名	設定	設定場所	必要なもの
スキャン to フォルダー機能（FTP）	FTPサーバーログオン設定	デバイス本体のアドレス帳	保存先FTPサーバーへのログオン情報、保存フォルダーへの書き込みの権利
スキャン to メール機能	メールサーバーの設定	デバイス本体	メールサーバーの設定情報
スキャン to クラウド機能	デバイス本体のEpson Connectへのプリンター登録	デバイス本体	インターネット接続環境
	Epson Connectのアドレス帳登録	Epson Connectサービス	Epson Connectサービスへのプリンター、ユーザー登録
スキャン to コンピューター機能（Document Capture Pro Serverを使用する場合）	Document Capture Proのサーバーモード設定	デバイス本体	Document Capture Pro ServerがインストールされているコンピューターのIPアドレスまたはホスト名、FQDN

関連情報

➡ 「共有フォルダーを設定する」451ページ
➡ 「メールサーバーを設定する」447ページ

Document Capture Pro Serverを使う

Document Capture Pro Serverを使うと、プリンターの操作パネルからスキャンした結果の仕分けや保存形式、転送先などの処理を登録、管理できます。プリンターの操作パネルからサーバーに登録されているジョブを呼び出して実行します。
サーバーにするコンピューターにインストールします。 エプソンパートナーズネットより無償でダウンロードできます。
Document Capture Pro Serverの詳細はエプソンの問い合わせ窓口にお問い合わせください。

サーバーモードを設定する

Document Capture Pro Serverを使用するには以下の設定をします。

1. Web Configで［スキャン/コピー］タブ - ［Document Capture Pro］を選択します。

2. ［動作モード］を［サーバーモード］にします。

3. ［サーバーアドレス］にDocument Capture Pro Serverをインストールしているサーバーを指定します。
   IPv4、IPv6、ホスト名、FQDNのいずれかの形式で2～252文字以内で指定します。FQDN形式ではUS-ASCII文字の数字とアルファベット、ハイフン（先頭と末尾以外）が使用できます。

4. ［設定］をクリックします。
   ネットワークが再起動し、設定が有効になります。

コンピューターからスキャンするには

コンピューターからネットワークを経由したスキャンをするには、ソフトウェアをインストールして、ネットワークスキャンサービスの有効を確認してください。

インストールするソフトウェア

- EPSON Scan 2
  スキャナードライバーです。コンピューターからスキャンする場合、クライアントコンピューターそれぞれにインストールします。Document Capture Pro/Document Captureがコンピューターにインストールされている場合、本体のボタンに割り当てられたジョブを実行できます。
  EpsonNet SetupManagerを使うと、プリンタードライバーも一緒にパッケージして配布できます。
- Document Capture Pro （Windows）/Document Capture （Mac OS）
  クライアントコンピューターへインストールします。ネットワーク上のDocument Capture Pro/Document Captureがインストールしてあるコンピューターに登録されたジョブを操作パネルから呼び出して実行できます。
  コンピューターからネットワークでスキャンもできます。スキャンするにはEpson Scan 2が必要です。

ネットワークスキャンサービスの有効を確認する

クライアントコンピューターからネットワークでスキャンをするにはネットワークスキャンサービスを設定します。工場出荷時には有効に設定されています。

1. Web Configで［スキャン/コピー］タブ - ［ネットワークスキャン］を選択します。
2. ［EPSON Scan］の［スキャン機能を有効にする］にチェックが入っていることを確認します。
   入っている場合はここで終了です。Web Configを閉じます。
   入っていない場合はチェックを入れ、次の手順に進みます。
3. ［次へ］をクリックします。
4. ［設定］をクリックします。
   ネットワークが再起動し、設定が有効になります。

関連情報

➡ 「WebブラウザーからWeb Configを起動する」432ページ

ファクスを使えるようにする（LP-M8180Fのみ）

ファクスを使う前に

ファクスを使うには以下の作業をします。

- プリンターと電話回線、外付け電話機（必要に応じて）の接続
- ［ファクス設定ウィザード］で、必須の基本設定

その他、必要に応じた設定をします。

- ファクスの保存先や転送先、その設定で必要なネットワークやメールサーバーの設定
- アドレス帳の登録
- ［ファクス］メニューの設定項目の初期値設定（［ユーザー設定］）
- レポートを印刷する設定（［レポート設定］）

関連情報

- 「プリンターを電話回線に接続する」485ページ
- 「プリンターでファクス送受信できるようにする」491ページ
- 「用途に応じてファクス機能の設定をする」492ページ
- 「ファクス設定（LP-M8180Fのみ）」382ページ
- 「メールサーバーを設定する」447ページ
- 「共有フォルダーを設定する」451ページ
- 「アドレス帳を使えるようにする」470ページ
- 「［ユーザー設定］メニュー」403ページ
- 「レポート設定」395ページ

プリンターを電話回線に接続する

使用できる電話回線

一般加入電話回線（PSTN）や構内交換機（PBX）で使用できます。
以下の電話回線やシステムでは使用できないことがあります。

- ADSLや光ファイバーなどのIP電話回線
- デジタル回線（ISDN）
- 一部の構内交換機（PBX）
- キャッチホンなど各種サービスの提供を受けている電話回線
- 電話回線とプリンターとの間にターミナルアダプター、VoIPアダプター、スプリッター、ADSLモデムなどの各種アダプターを接続しているとき
- ドアホンやビジネスホン

プリンターを電話回線に接続する

RJ-11（6極2芯）のモジュラーケーブルで電話回線とプリンターを接続します。プリンターにお手持ちの電話機を接続するときも、RJ-11（6極2芯）のモジュラーケーブルを使います。

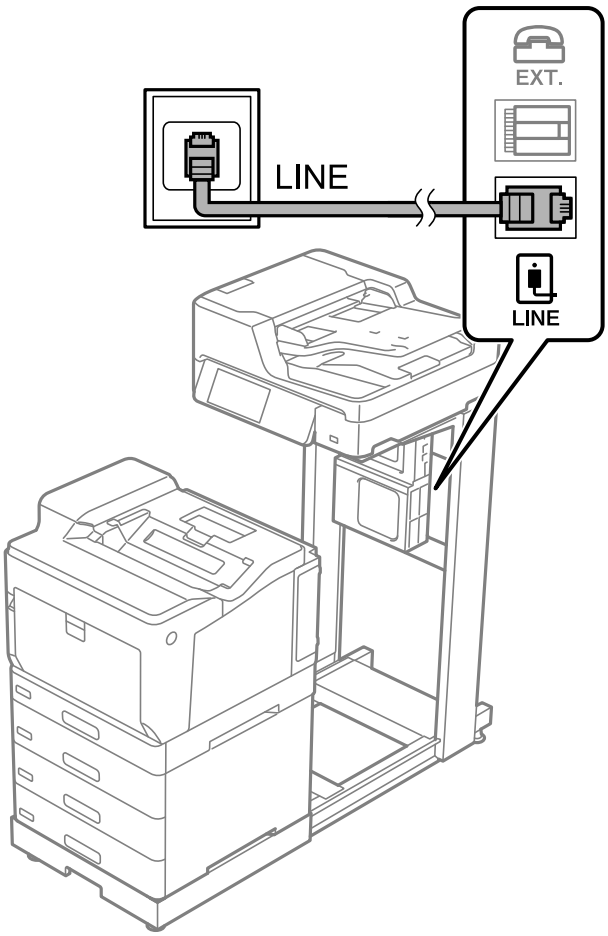
参考　プリンターのEXT. ポートのキャップは、お手持ちの電話機を外付け電話機として接続するときに外します。電話機を接続しないときはキャップを外さないでください。

落雷が頻繁に発生する地域では、サージプロテクターのご使用をお勧めします。

一般回線または構内交換機（PBX）に接続する

1. プリンター背面部のLINEポートからキャップを取り外します。

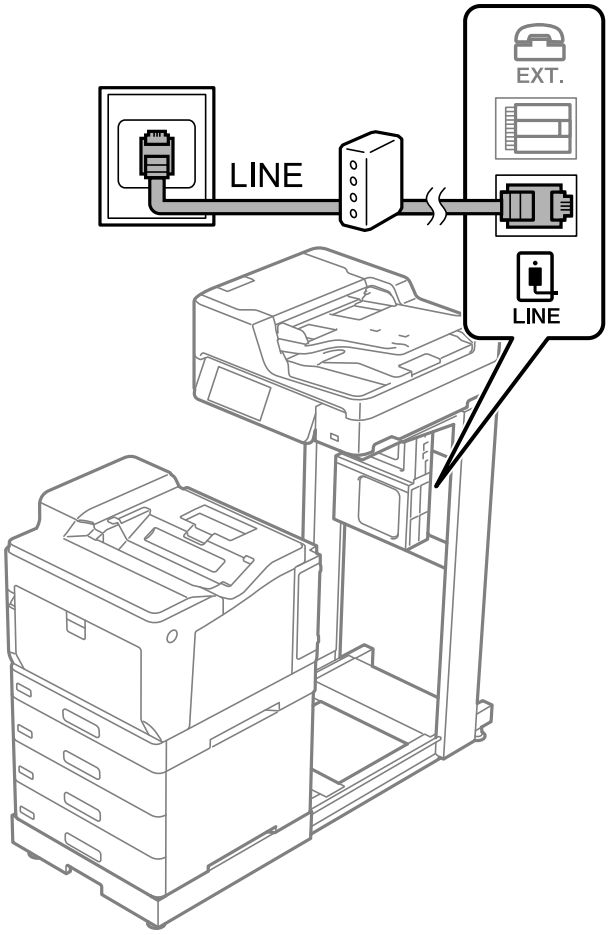
2. 電話回線やPBXポートとLINEポートをモジュラーケーブルで接続します。



ADSLまたはISDNに接続する

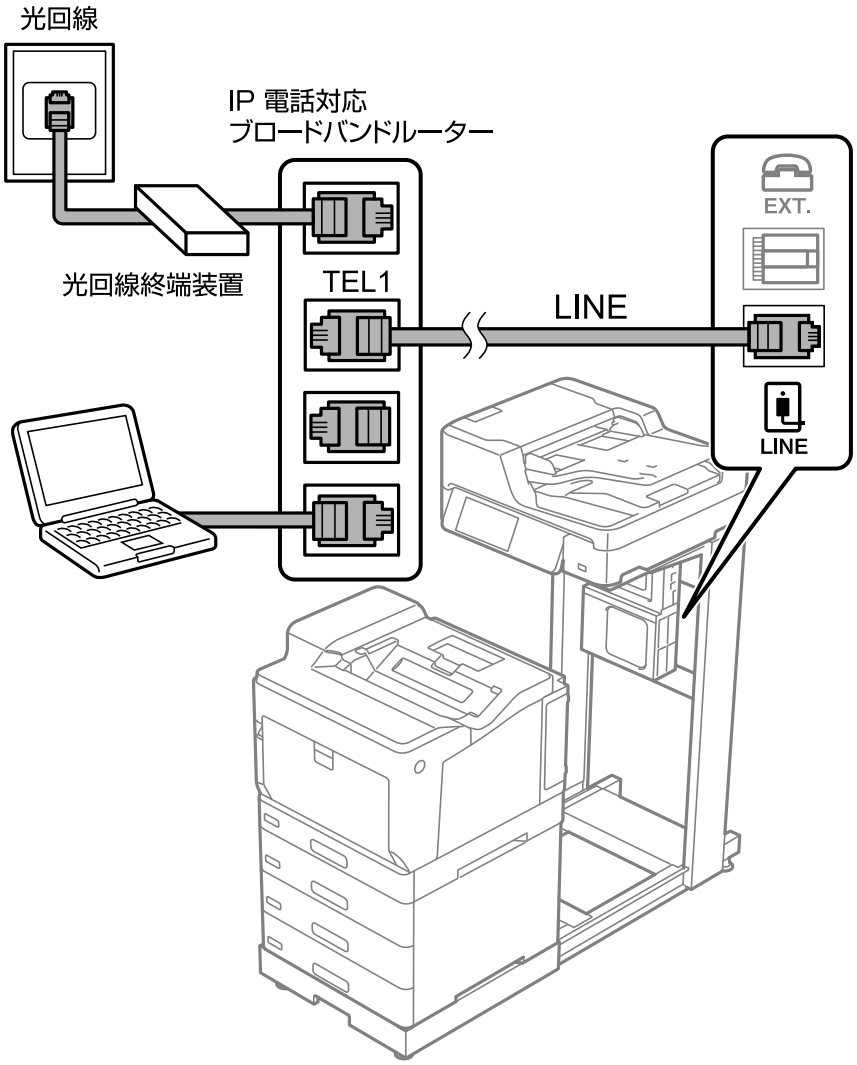
ADSLモデムまたはISDNターミナルアダプターと、プリンター背面部のLINEポートをモジュラーケーブルで接続します。詳しくはモデムやターミナルアダプターのマニュアルをご覧ください。

参考 ADSLモデムにスプリッターが内蔵されていないときは、スプリッターを接続してください。



光回線に接続する

IP電話対応のブロードバンドルーターとプリンター背面部のLINEポートをモジュラーケーブルで接続します。詳しくはご契約の回線事業者に問い合わせてください 。



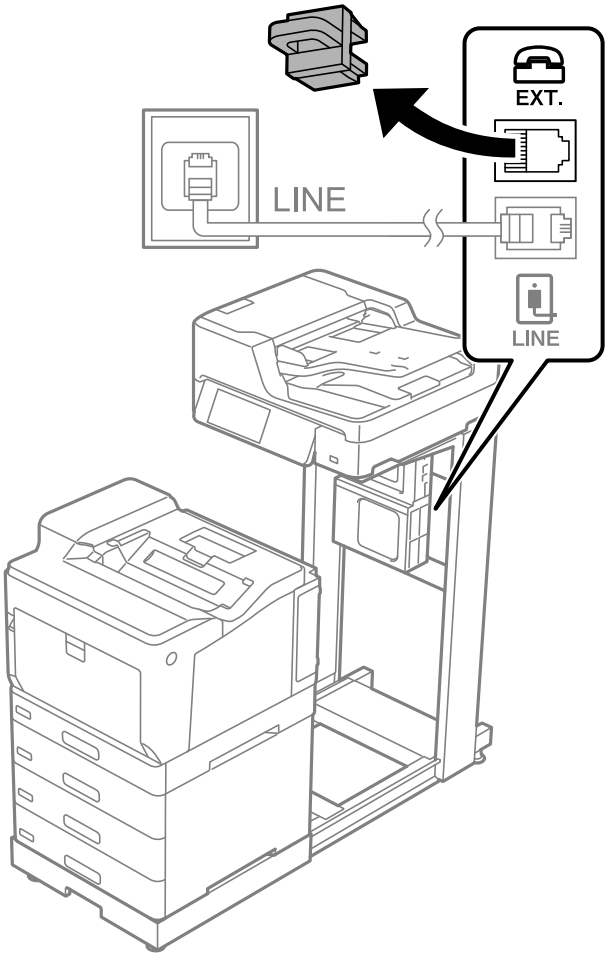
参考　2回線契約していないときは必ずルーターのTEL1（ポート名はルーターによって異なります。Aや1などの先頭の番号）に接続してください。

電話機とプリンターを接続する

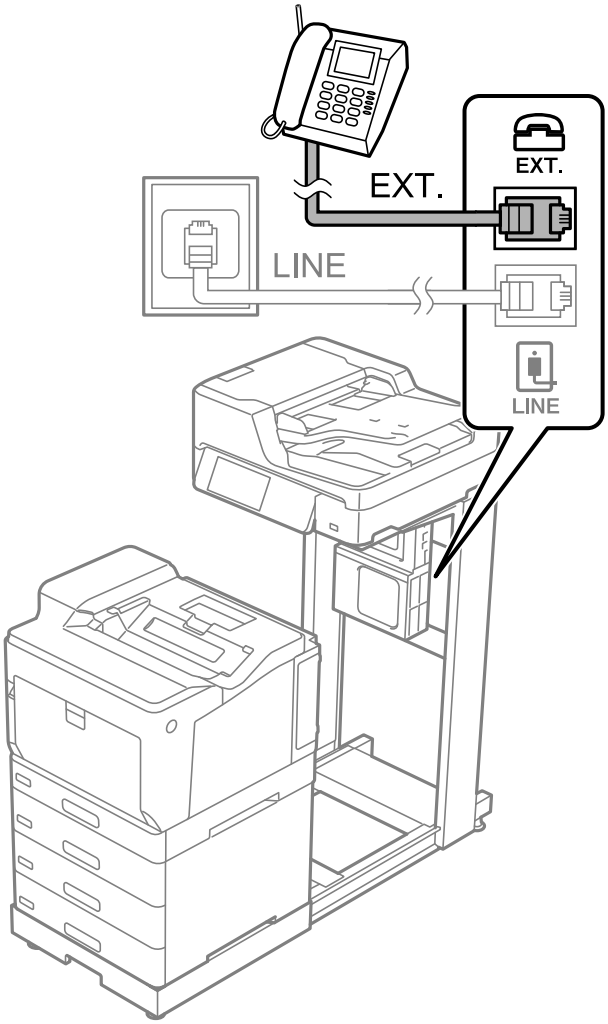
1つの電話回線で、ファクスと電話の両方を使用するときは、お手持ちの電話機を外付け電話機としてプリンターに接続します。

参考
- ファクス機能付き電話は、ファクス機能を無効にしてから接続してください。詳しくは電話機のマニュアルをご覧ください。電話機の機種によってはファクス機能を完全に無効にできないため、外付け電話機として使用できない場合があります。
- 留守番電話機能を使うときは、ファクスを受信するまでの［呼び出し回数］を留守番電話の呼び出し回数より多く設定してください。
- ナンバーディスプレイ機能を使うときは、プリンターの［ナンバー・ディスプレイ対応］設定を変更してください。

1. プリンター背面部のEXT.ポートからキャップを取り外します。



2. 電話機とEXT.ポートをモジュラーケーブルで接続します。



参考 1つの電話回線で、ファクスと電話の両方を使用するときは、必ず外付け電話機をプリンターのEXT.ポートに接続してください。同回線にプリンターと並列で接続すると（ブランチ接続）、プリンターも電話機も正常な動作ができなくなります。

3. プリンターの操作パネルで［ファクス］を選択します。

4. 受話器を上げます。

以下のように送信開始（または受信開始）を促すメッセージが表示されれば、接続が成功しています。

関連情報

➡ 「プリンターでファクス送受信できるようにする」491ページ
➡ 「留守番機能付き電話機を使えるようにする」494ページ
➡ 「外付け電話機の操作だけで受信できるようにする」494ページ
➡ 「受信モード：」384ページ

プリンターでファクス送受信できるようにする

［ファクス設定ウィザード］で基本設定が完了し、ファクス送受信が可能になります。
ウィザードは、初回電源投入時に自動で表示されます。手動でプリンターの操作パネルからも表示できます。初回電源投入時にスキップした場合や設置場所を変更した場合は、手動で設定してください。

- ウィザードに従って設定する項目は以下です。
  - ［発信元設定］（［発信元番号］と［発信元名］）
  - ［受信モード］（［自動］、［ファクス/電話自動切替］または［手動］）
- 接続環境に応じて自動的に設定される項目は以下です。
  - ［ダイヤル種別］（［プッシュ］、［ダイヤル(10PPS)］など）
- その他の基本設定はウィザードでは変更されません。

関連情報

➡ 「基本設定」383ページ

ファクス設定ウィザードを使ってファクス送受信できるようにする

1. プリンターの操作パネルから、［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［ファクス設定ウィザード］の順に選択します。

2. 画面の指示に従って、発信元の名前（自局の名前や会社名など）や番号を入力します。

参考 発信元の名前と番号は、送信文書のヘッダー情報になります。

3. 受信モードを設定します。

- プリンターに電話機を接続しない場合
  ［いいえ］を選択します。
  ［受信モード］は［自動］に設定されます。
- プリンターに電話機を接続する場合
  ［はい］を選択して、ファクスを自動受信するかしないか選択します。

参考 ［ファクスを自動受信する］で［はい］を選択すると、［受信モード］は［ファクス/電話自動切替］に設定されます。

4. 画面表示された設定結果を確認します。確認したら次の画面に進みます。

修正するときは←をタップしてください。

5. ［診断開始］を選択してファクスの接続チェックをします。チェックが完了したら［印刷開始］を選択して結果レポートを印刷します。

参考
- レポートにエラーが表示されていたら、レポートの指示に従って対処してください。
- ［接続回線選択］画面が表示されたら接続回線のタイプを選択してください。
  ・構内交換機（PBX）やターミナルアダプターに接続しているときは、［構内交換機(PBX)］を選択します。
  ・一般加入電話回線（PSTN）に接続しているときは［一般回線(PSTN)］を選択し、［確認］画面で［検出しない］を選択します。ただし、［検出しない］にするとファクス番号の先頭の番号がダイヤルされず、誤った番号にダイヤルされてしまう可能性があります。

留守番機能付き電話機や、ナンバーディスプレイ電話機を接続したときは、他にも設定が必要です。外付け電話機接続時の設定を確認してください。下の関連情報を参照してください。

関連情報

- 「プリンターを電話回線に接続する」485ページ
- 「留守番機能付き電話機を使えるようにする」494ページ
- 「受信モード：」384ページ
- 「発信元の電話番号を表示する設定にする」494ページ
- 「外付け電話機の操作だけで受信できるようにする」494ページ
- 「基本設定」383ページ

用途に応じてファクス機能の設定をする

プリンターの操作パネルを使って、プリンターのファクス機能を個別に設定できます。［ファクス設定ウィザード］を使って設定した項目も変更できます。詳しくは、ファクス設定メニューの説明ページをご覧ください。

参考
- Web Configからもプリンターのファクス機能を設定できます。
- Web Configでのメニュー名や表示場所は、プリンターの操作パネルのファクス設定と異なることがあります。

関連情報

- 「ファクス設定（LP-M8180Fのみ）」382ページ
- 「構内交換機（PBX）を設定する」493ページ
- 「外付け電話機接続時の設定をする」494ページ
- 「相手先から送られてきたファクスを受信する」146ページ

➡「受信ファクスの保存と転送を設定する」495ページ
➡「特定の条件で受信ファクスを保存・転送するように設定する」498ページ
➡「迷惑ファクスの受信拒否を設定する」501ページ
➡「コンピューターからのファクス送受信を設定する」502ページ

構内交換機（PBX）を設定する

会社で内線や外線発信番号（0や9などを使用した外線に発信するための番号）を使っているときは、次の設定をしてください。

参考 ［接続回線］の設定が［構内交換機(PBX)］のときに、外線発信番号に続けて電話番号をダイヤルすると、プリンターは次の順番で外信発信するため、誤接続となるトラブルのリスクを低減できます。

- 構内交換機(PBX)のダイヤルトーンを検出する
- 外線発信番号（［外線発信番号］が［使用する］のときは「#」）をダイヤルする
- 外線のダイヤルトーンを検出する
- 宛先の電話番号（例：「035555ＸＸＸＸ」）をダイヤルする

1. プリンターの操作パネルで［設定］を選択します。

2. ［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］の順に選択します。

   参考 パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードがわからないときは管理者に問い合わせてください。

3. ［接続回線］を選択して［構内交換機(PBX)］を選択します。

4. 外線発信番号の代わりに#を利用して、外線番号にファクス送信したいときは、［外線発信番号］をタップして［使用する］に切り替えます。

   参考
   - ダイヤルするときに外線発信番号の代わりに#を入力すると、0や9などの外線発信番号に置き換えます。
     例えば、外線発信番号が「0」、電話番号が「035555ＸＸＸＸ」の場合、ダイヤル番号は「#035555ＸＸＸＸ」です。アドレス帳に登録する番号も同じです。
   - 「0」や「9」などの外線発信番号付きでアドレス帳に登録した宛先は、外線発信番号の代わりに#を使用した番号で登録し直してください。または、［外線発信番号］を［使用しない］に設定してください。

   ダイヤルするときに外線発信番号の代わりに#を入力すると、0や9などの外線発信番号に置き換えます。#を使うことで外線への接続時のトラブルを回避します。

   参考 「0」や「9」などの外線発信番号付きで宛先をアドレス帳に登録した場合に［外線発信番号］を［使用する］にすると、アドレス帳からその宛先に外線発信できません。
   その場合は、［外線発信番号］を［使用しない］に設定してください。または［アドレス帳］に外線番号を#で登録し直してください。

5. ［外線発信番号］ボックスをタップし、外線発信番号を入力して、OKをタップします。

6. ［OK］を選択して設定を保存します。

外線発信番号をプリンターに記憶する手順は以上です。

外付け電話機接続時の設定をする

留守番機能付き電話機を使えるようにする

留守番機能を使用するときの設定をします。

1. プリンターの操作パネルで［設定］を選択します。

2. ［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］の順に選択します。

3. ［受信モード］を［自動］に設定します。

4. プリンターの［呼び出し回数］を留守番電話の呼び出し回数より多く設定します。
   少ないと留守番電話への録音や通話ができません。留守番電話機の設定は、留守番電話機のマニュアルをご覧ください。

外付け電話機の留守番電話機能を使用しないときは、プリンターの［受信モード］を［ファクス/電話自動切替］に設定することをお勧めします。

関連情報

➡「基本設定」383ページ

発信元の電話番号を表示する設定にする

電話番号を表示するには、ナンバーディスプレイ回線の契約が必要です。
プリンターで以下を設定します。

1. プリンターの操作パネルで ［設定］を選択します。

2. ［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］-［ナンバー・ディスプレイ対応］の順に選択します。

3. 設定を選択します。
   - オン：プリンターだけに電話番号を表示します。プリンターのアドレス帳に登録されている相手先は登録名称で表示されます。
   - 外付け電話機優先：外付け電話とプリンターの両方に電話番号を表示します。

関連情報

➡「基本設定」383ページ

外付け電話機の操作だけで受信できるようにする

受話器を上げて外付け電話機を操作するだけ（プリンターでの操作なし）でファクスを受信できます。
［リモート受信］はトーン信号（ピッポッパッ）に対応した電話機で使用できます。

1. ホーム画面で［設定］を選択します。

2. ［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］-［リモート受信］の順に選択します。

3. ［リモート受信］をタップして［オン］にする

4. ［起動コード］を選択し、2桁のコード（0-9、*、#の組み合わせ）を入力して［OK］をタップします。

5. ［OK］を選択して設定を保存します。

関連情報

➡ 「基本設定」383ページ

受信ファクスの保存と転送を設定する

受信ファクスは印刷するように初期設定されています。この他に、受信文書の保存や転送をする設定ができます。

参考
- Web Configからも、受信ファクスを保存したり転送したりする設定ができます。
- 特定の条件で受信ファクスを保存・転送することもできます。
  「特定の条件で受信ファクスを保存・転送するように設定する」498ページ

関連情報

➡ 「受信ファクスを保存する設定をする」495ページ
➡ 「受信ファクスを転送する設定をする」496ページ

受信ファクスを保存する設定をする

送信元や時間帯に依らず、ファクスを受信したら受信ボックスや外部メモリーに保存するように設定できます。受信ファクスは、プリンターの画面で内容を見てから印刷できます。
受信ファクスをコンピューターに保存（PC-FAX受信）するには、次の関連情報を参照してください：「 機能：コンピューターからの送受信（Windows/Mac OS）」135ページ

参考
- Web Configからも、受信ファクスを保存する設定ができます。［ファクス］タブ -［保存・転送設定］-［条件なし保存・転送］の順に選択し、［処理方法］で保存先の設定をします。
- 保存と同時に印刷や転送も処理もできます。同じ設定画面から設定できます。

1. プリンターの操作パネルで、［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］の順に選択します。

2. ［受信設定］-［保存・転送設定］-［条件なし保存・転送］の順に選択します。
   メッセージが表示されたら確認して［OK］をタップします。

3. 受信ファクスの保存先（受信ボックスや外部メモリー）を設定します。

- 受信ファクスの保存先に、受信ボックスを指定する場合
  1. ［受信ボックスに保存する］をタップして［オン］にする
  2. メッセージが表示されたら確認して［OK］を選択する
- 受信ファクスの保存先に、外部メモリーを指定する場合
  1. 外部メモリーをプリンターにセットする
  2. ［外部メモリーに保存］を選択する
  3. ［オン］を選択（保存と同時に自動で印刷したいときは［オン(印刷もする)］を選択）する
  4. メッセージを確認して［作成開始］をタップする

  セットした外部メモリーに、受信ファクス保存用のフォルダーが作成されます。
  5. メッセージを確認して［閉じる］をタップ（またはメッセージが消えたら）、［閉じる］をタップする
  6. 続いてメッセージが表示された場合は、確認して［OK］をタップする

！重要 受信したファクスは、外部メモリーに保存される前にプリンターのメモリーに一時保存されます。プリンターのメモリーの空き容量が不足すると送受信ができなくなるため、必ず空き容量に余裕のある外部メモリーをプリンターにセットしておいてください。

参考 受信ファクスの保存結果を電子メールで送信（1件のみ）する設定をします。必要に応じて［メール通知設定］を選択して、終了を通知したい処理の選択と送信先の設定をしてください。

4. ［閉じる］を選択して［条件なし保存・転送］の設定を完了します。

設定はここまでです。必要に応じて［共通設定］を設定してください。詳細は、［保存・転送設定］メニューの［共通設定］の説明をご覧ください。

参考 受信したファクスを条件付きで保存する場合は、以下の関連情報を参照してください。

関連情報

- 「特定の条件で受信ファクスを保存する」498ページ
- 「保存・転送設定」388ページ
- 「受信したファクスをプリンターの画面で確認する」152ページ

受信ファクスを転送する設定をする

転送先（メール、共有フォルダー、他のファクス機）は、5件まで選択できます。転送先とする宛先をあらかじめアドレス帳に登録しておく必要があります。メールアドレスに転送するときは、メールサーバーの設定もしてください。
「メールサーバーを設定する」447ページ

「共有フォルダーを設定する」451ページ
「アドレス帳を使えるようにする」470ページ
カラー文書は他のファクス機に転送できません。転送失敗文書として処理されます。

参考
- Web Configからも、受信ファクスを転送する設定ができます。［ファクス］タブ -［保存・転送設定］-［条件なし保存・転送］の順に選択し、［処理方法］で転送先の設定をします。
- 保存と同時に印刷や保存も処理もできます。同じ設定画面から設定できます。

1. プリンターの操作パネルで、［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］の順に選択します。

2. ［受信設定］-［保存・転送設定］-［条件なし保存・転送］の順に選択します。
メッセージが表示されたら確認して［OK］をタップします。

3. 転送先を5件まで設定します。

❶ ［転送］を選択する
❷ ［オン］を選択する転送と同時に自動で印刷をしたいときは、［オン(印刷もする)］を選択する
❸ ［宛先を追加］を選択して、アドレス帳から転送先（最大5件）を選択する
❹ ［閉じる］をタップして転送先の指定を終えてから、［閉じる］をタップする
❺ ［転送失敗時の動作］で、転送失敗文書を印刷するか受信ボックスに保存か選択する
❻ ［OK］をタップする

！重要 受信ボックスがいっぱいになるとファクスを受信できません。文書は速やかに確認して受信ボックスから削除してください。転送失敗文書件数は、その他の未処理件数と合わせてホーム画面の に表示されます。

参考 受信ファクスの転送する結果を電子メールで送信（1件のみ）する設定をします。必要に応じて［メール通知設定］を選択して、終了を通知したい処理の選択と送信先の設定をしてください。

4. ［閉じる］を選択して［条件なし保存・転送］の設定を完了します。

参考
- 設定はここまでです。必要に応じて［共通設定］を設定してください。詳細は、［保存・転送設定］メニューの［共通設定］の説明をご覧ください。
- ネットワーク上のフォルダーやメールアドレスを転送先に指定したときは、実際にその宛先に送ることができるかどうかスキャンモードでテストすることをお勧めします。ホーム画面から［スキャン］-［メール］、または［スキャン］-［ネットワークフォルダー］の順に選択し、ファクスの転送先と同じ宛先を選んでスキャンすることでテストできます。

関連情報

➡ 「保存・転送設定」388ページ

特定の条件で受信ファクスを保存・転送するように設定する

特定設定条件で受信ファクスを保存・転送できます。

参考
- 受信ファクスは印刷するように初期設定されています。
- 無条件で受信ファクスを保存することもできます。
  「受信ファクスの保存と転送を設定する」495ページ

関連情報

➡ 「特定の条件で受信ファクスを保存する」498ページ
➡ 「特定の条件で受信ファクスを転送する」500ページ

特定の条件で受信ファクスを保存する

受信ファクスを特定の時間に保存したり、特定の相手から受信したファクスを保存したりすることができます。受信ボックスや外部メモリーに保存できます。親展ボックスや受信ボックスに保存した受信ファクスは、プリンターの画面で内容を見てから印刷できます。
特定の時間にファクス受信するには、［日付/時刻］と［時差］が正しく設定されていることをプリンターの操作パネルで事前に確認してください。［設定］-［本体設定］-［基本設定］-［日付/時刻設定］の順に選択します。

参考
- Web Configからも、受信ファクスを保存する設定ができます。［ファクス］タブ -［保存・転送設定］-［条件保存・転送］の順に選択し、登録番号を選択して［編集］をクリックしたら宛先を設定します。
- 保存と同時に印刷や転送も処理もできます。同じ設定画面から設定できます。

1. プリンターの操作パネルで、［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］の順に選択します。

2. ［受信設定］-［保存・転送設定］-［条件保存・転送］の順に選択し、［条件保存・転送］の下にある未登録の条件設定の › をタップします。

3. ［名称］を選択して、登録する名称を入力します。

4. ［条件］を選択して条件を設定します。設定後［閉じる］を選択します。
   - 相手先電話番号一致：送信者のファクス番号が一致した場合に受信ファクスを処理します。
     ［相手先電話番号一致］を選択して、ファクス番号（最大20桁）を入力します。
   - Fコード(SUB)完全一致：Fコードが完全一致した場合に受信ファクスを処理します。
     ［Fコード(SUB)］を選択して、Fコードを入力します。
   - パスワード(SID)完全一致：パスワード（SID）が完全一致した場合に受信ファクスを処理します。
     ［パスワード(SID)］を選択して、パスワードを入力します。
   - 受信時間の設定：指定した時間帯に受信ファクスを処理します。
     ［受信時間の設定］を有効にしてから［適用開始時刻］と［適用終了時刻］に時刻を設定します。

5. ［保存・転送先］を選択し、受信ファクスの保存先（ボックス、外部メモリー）を設定します。

- 受信ファクスの保存先に、受信ボックスまたは親展ボックスを指定する場合：
  1. ［ボックスに保存］を選択する
  2. ［ボックスに保存］をタップして［オン］にする
  3. 文書を保存するボックスを選択する
- 受信ファクスの保存先に、外部メモリーを指定する場合
  1. 外部メモリーをプリンターにセットする
  2. ［外部メモリーに保存］を選択する
  3. ［外部メモリーに保存］をタップして［オン］にする
  4. メッセージを確認して［作成開始］をタップする

  セットした外部メモリーに、受信ファクス保存用のフォルダーが作成されます。

！重要 受信したファクスは、外部メモリーに保存される前にプリンターのメモリーに一時保存されます。プリンターのメモリーの空き容量が不足すると送受信ができなくなるため、必ず空き容量に余裕のある外部メモリーをプリンターにセットしておいてください。

参考 ［印刷］を［オン］にしておくと、同時に印刷もできます。

6. ［閉じる］を選択して［保存・転送先］の設定を完了します。

参考 受信ファクスの保存結果を電子メールで送信（1件のみ）する設定をします。必要に応じて［メール通知設定］を選択して、終了を通知したい処理の選択と送信先の設定をしてください。

7. ［条件保存・転送］を完了する（［保存・転送設定］画面に戻る）まで、［OK］を選択します。

8. 条件を登録したボックスを選択して、［有効］を選択します。

設定はここまでです。必要に応じて［共通設定］を設定してください。詳細は、［保存・転送設定］メニューの［共通設定］の説明をご覧ください。

関連情報

➡「保存・転送設定」388ページ
➡「受信したファクスをプリンターの画面で確認する」152ページ

特定の条件で受信ファクスを転送する

メール、共有フォルダー、他のファクス機に転送できます。転送先とする宛先をあらかじめアドレス帳に登録しておく必要があります。メールアドレスに転送するときは、メールサーバーの設定もしてください。

「メールサーバーを設定する」447ページ
「共有フォルダーを設定する」451ページ
「アドレス帳を使えるようにする」470ページ

特定の時間にファクス受信するには、［日付/時刻］と［時差］が正しく設定されていることをプリンターの操作パネルで事前に確認してください。［設定］-［本体設定］-［基本設定］-［日付/時刻設定］の順に選択します。
カラー文書は他のファクス機に転送できません。転送失敗文書として処理されます。

参考
- Web Configからも、受信ファクスを転送する設定ができます。［ファクス］タブ -［保存・転送設定］-［条件保存・転送］の順に選択し、登録番号を選択して［編集］をクリックしたら宛先を設定します。
- 保存と同時に印刷や保存も処理もできます。同じ設定画面から設定できます。

1. プリンターの操作パネルで、［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］の順に選択します。

2. ［受信設定］-［保存・転送設定］-［条件保存・転送］の順に選択し、［条件保存・転送］の下にある未登録の条件設定の › をタップします。

3. ［名称］を選択して、登録する名称を入力します。

4. ［条件］を選択して条件を設定します。設定後［閉じる］を選択します。
   - 相手先電話番号一致：送信者のファクス番号が一致した場合に受信ファクスを保存します。
     ［相手先電話番号一致］を選択して、ファクス番号（最大20桁）を入力します。
   - Fコード(SUB)完全一致：Fコードが完全一致した場合に受信ファクスを処理します。
     ［Fコード(SUB)］を選択して、Fコードを入力します。
   - パスワード(SID)完全一致：パスワード（SID）が完全一致した場合に受信ファクスを処理します。
     ［パスワード(SID)］を選択して、パスワードを入力します。
   - 受信時間の設定：指定した時間帯に受信ファクスを処理します。
     ［受信時間の設定］を有効にしてから［適用開始時刻］と［適用終了時刻］に時刻を設定します。

5. ［保存・転送先］を選択して、転送先の設定をします。

❶ ［転送］を選択する
❷ ［オン］を選択する転送と同時に自動で印刷をしたいときは、［オン(印刷もする)］を選択する
❸ ［宛先］を選択して、アドレス帳から転送先を選択する。ただし転送先に指定できるのは1件のみ
❹ 転送先を指定したら［閉じる］をタップする

❺ 転送先が正しいことを確認して［閉じる］を選択する
❻ ［転送失敗時の動作］で、転送失敗文書を印刷するか受信ボックスに保存か選択する

！重要 受信ボックスまたは親展ボックスがいっぱいになるとファクスを受信できません。文書は速やかに確認して受信ボックスから削除してください。転送失敗文書件数は、その他の未処理件数と合わせてホーム画面の に表示されます。

6. ［閉じる］を選択して［保存・転送先］の設定を完了します。

参考 受信ファクスの転送する結果を電子メールで送信（1件のみ）する設定をします。必要に応じて［メール通知設定］を選択して、終了を通知したい処理の選択と送信先の設定をしてください。

7. ［条件保存・転送］を完了する（［保存・転送設定］画面に戻る）まで、［OK］を選択します。

8. 条件を登録したボックスを選択して、［有効］を選択します。

設定はここまでです。必要に応じて［共通設定］を設定してください。詳細は、［保存・転送設定］メニューの［共通設定］の説明をご覧ください。

参考
- 設定はここまでです。必要に応じて［共通設定］を設定してください。詳細は、［保存・転送設定］メニューの［共通設定］の説明をご覧ください。
- ネットワーク上のフォルダーやメールアドレスを転送先に指定したときは、実際にその宛先に送ることができるかどうかスキャンモードでテストすることをお勧めします。ホーム画面から［スキャン］-［メール］、または［スキャン］-［ネットワークフォルダー］の順に選択し、ファクスの転送先と同じ宛先を選んでスキャンすることでテストできます。

関連情報

➡ 「保存・転送設定」388ページ
➡ 「WebブラウザーからWeb Configを起動する」432ページ

迷惑ファクスの受信拒否を設定する

プリンターで、迷惑ファクスを拒否する設定ができます。

- 着信拒否
  ナンバーディスプレイ機能を使って、着信自体を拒否します。
  ［着信拒否］を利用するには、ナンバーディスプレイ回線の契約が必要です。
- ファクス受信拒否
  着信後に発信元ファクス番号を確認して受信拒否します。

1. プリンターの操作パネルで［設定］を選択します。

2. ［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］-［着信・ファクス受信拒否］の順に選択します。

3. 拒否条件を設定します。

- ナンバーディスプレイ機能を使って着信拒否する場合
  ［着信拒否］を選択し、以下を設定します。
  ・［拒否番号リスト］：拒否番号リストに載っている番号の着信を拒否します。
  ・［非通知］：非通知番号の着信を拒否します。

参考 着信拒否の対象ファクスは呼び出しをせず、発信元に話し中を返します。

- 着信後に発信元ファクス番号をチェックして受信拒否する場合
  ［ファクス受信拒否］ を選択し、以下の項目を1つ以上有効にします。
  ・拒否番号リスト：拒否番号リストに載っている番号の受信を拒否します。
  ・非通知：送信元情報が設定されていないファクスの受信を拒否します。
  ・ アドレス帳未登録：宛先帳に登録されていない番号の受信を拒否します。

4. をタップして［着信・ファクス受信拒否］画面に戻ります。

5. ［拒否番号リスト］を使う場合は、［拒否番号リスト編集］を選択して拒否番号リストを編集します。

コンピューターからのファクス送受信を設定する

コンピューターでファクス送受信するには、ネットワークかUSBでプリンターに接続したクライアントのコンピューターにFAX Utilityをインストールしておく必要があります。

コンピューターからファクス送信する設定

Web Configで設定します。

1. Web Config画面から、［ファクス］タブ -［送信設定］-［基本］の順にクリックします。

2. ［PC-FAX送信機能］で［使用する］を選択します。
   ［PC-FAX送信機能］の初期値は［使用する］です。コンピューターから送信できないようにする場合は、［使用しない］を選択してください。

3. ［設定］ボタンをクリックします。

受信ファクスをコンピューターに保存する設定

FAX Utilityを使うと、受信ファクスをコンピューターに保存できます。クライアントのコンピューターにFAX Utility をインストールして設定してください。設定方法は、FAX Utilityの「オンラインヘルプ」-「基本の操作」をご覧ください。
設定すると、プリンターの操作パネルにある以下の項目が［オン］になります。
［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］-［保存・転送設定］-［条件なし保存・転送］-［PC-FAXで受信］

受信ファクスをコンピューターに保存してプリンターで印刷する設定

プリンターで以下を設定します。事前に、受信ファクスをコンピューターに保存する設定をしておいてください。

1. プリンターの操作パネルで［設定］を選択します。

2. ［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］の順に選択します。

3. ［保存・転送設定］-［条件なし保存・転送］-［PC-FAXで受信］-［オン(印刷もする)］の順に選択します。

コンピューターへの受信ファクスの保存をやめる設定

プリンターから設定変更します。

参考 FAX Utilityからも変更できますが、プリンターに、コンピューターに未保存の受信ファクスが残っているときは変更できません。

1. プリンターの操作パネルで［設定］を選択します。

2. ［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］の順に選択します。

3. ［保存・転送設定］-［条件なし保存・転送］-［PC-FAXで受信］-［オフ］の順に選択します。

プリンターの基本動作を設定する

操作パネルの動作を設定する

プリンターの操作パネルに関する設定をします。以下の設定ができます。

1. Web Configで［デバイス管理］タブ -［パネル］を選択します。

2. 必要に応じて以下の項目を設定します。
   - 表示言語
     操作パネルの表示言語を選択します。
   - パネルロック
     ［オン］にすると、操作パネルでシステム管理者権限が必要な項目は選択できなくなります。選択するにはプリンターに管理者としてログオンします。管理者パスワードを設定していないとパネルロックは無効になります。
   - 無操作タイマー設定
     ［オン］にすると、利用者制限の利用者またはシステム管理者としてログオンしている場合、設定した時間内に操作パネルの操作がなかったときに、自動でログオフして初期画面に移行します。
     10秒～240分まで1秒単位で設定できます。

   参考 プリンターの操作パネルからも設定できます。
   - 表示言語：［設定］-［本体設定］-［基本設定］-［言語選択/Language］
   - パネルロック：［設定］-［本体設定］-［管理者用設定］-［セキュリティー設定］-［管理者設定］-［管理者ロック］
   - 無操作タイマー設定：［設定］-［本体設定］-［基本設定］-［無操作タイマー設定］（オン/オフのみ設定できます。）

3. ［設定］をクリックします。

省電力設定をする

プリンターの操作パネルが一定時間操作されなかった場合に、節電モードへ移行する時間と自動で電源を切る時間を設定できます。使用する環境に合わせて時間を設定してください。

節電移行時間を設定する

操作パネル無操作時に節電モードへ移行する時間を設定できます。

1. Web Configで［デバイス管理］タブ -［省電力］を選択します。

2. ［節電移行時間］に操作パネル無操作時に節電モードへ移行する時間を設定します。
   1分単位で60分まで設定できます。

3. ［設定］をクリックします。

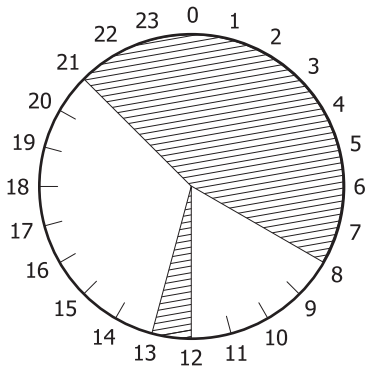
参考 プリンターの操作パネルからも設定できます。
［設定］-［本体設定］-［基本設定］-［スリープ移行時間設定］

スリープスケジュール設定設定をする

利用状況に応じて、スリープパターンを設定できます。

1. Web Config で［デバイス管理］ タブ -［省電力］-［スリープスケジュール設定］を選択します。

2. 5つの時間帯ごとに、［開始時刻］ と［節電モード］を設定します。
   節電モード は以下から選択できます。
   - ［する］
     ［節電移行時間］に応じて、スリープモードに移行します。
   - ［すぐに］
     無操作時にすぐにスリープモードに移行します。
     例として、月曜日は下図のようにスリープさせたい場合、下表のように設定します。



   - :
     この時間帯は、すぐにスリープモードに移行する。

- [　　]:
  この時間帯は、［節電移行時間］に応じてスリープモードに移行する。

3. ［設定］をクリックします。

参考　プリンターの操作パネルからも設定できます。
［設定］-［本体設定］-［管理者用設定］-［スリープスケジュール設定］-［曜日ごとに設定］

予熱モードを設定する

予熱モードに移行して、消費電力を削減する設定をします。

1. Web Configで［デバイス管理］タブ -［省電力］を選択します。

2. ［予熱モード］を［設定する］にします。

3. ［予熱モード移行時間］に予熱モードに移行するまでの時間を入力します。

4. ［設定］をクリックします。

参考　プリンターの操作パネルからも設定できます。

- 予熱モード：
  ［設定］-［本体設定］-［基本設定］-［予熱モード］-［予熱モード］
- 予熱モード移行時間：
  ［設定］-［本体設定］-［基本設定］-［予熱モード］-［予熱モード移行時間］

音の設定をする

パネル操作やプリンター、ファクスの動作時の音に関する設定をします。

参考　プリンターの操作パネルからも設定できます。
［設定］-［本体設定］-［基本設定］-［音の設定］

1. Web Configで［デバイス管理］タブ -［音の設定］を選択します。

2. 必要に応じて以下の項目を設定します。
   - 通常時
     ［通常時］　の音を設定します。

3. ［設定］をクリックします。

タイムサーバーと日付/時刻を同期する

タイムサーバー（NTPサーバー）と連携すると、プリンターとネットワーク上のコンピューターとの時刻を同期できます。タイムサーバーは、組織内で運用している場合やインターネット上に公開している場合があります。
CA証明書やKerberos認証を使っている場合、連携すると時間に関するトラブルを防ぐことができます。

1. Web Configで［デバイス管理］タブ - ［日付/時刻］ - ［タイムサーバー］を選択します。

2. ［タイムサーバーを使用する］を［使用する］にします。

3. ［タイムサーバーアドレス］にタイムサーバーのアドレスを入力します。
   IPv4、IPv6アドレスまたはFQDNが使用できます。252文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。

4. ［更新間隔（分）］を入力します。
   1分単位で10,080分まで設定できます。

5. ［設定］をクリックします。

参考　［タイムサーバーステータス］でサーバーとの接続状態を確認できます。

スキャン、コピー、ファクスの標準値を設定する（ユーザーデフォルト設定）

機能ごとに標準値を設定できます。
標準値を設定できるのは以下の機能です。

- スキャン to ネットワークフォルダー 機能
- スキャン to メール 機能
- スキャン to 外部メモリー 機能
- スキャン to クラウド 機能
- コピー
- ファクス

1. Web Configの［スキャン/コピー］タブ - ［ユーザーデフォルト設定］から標準値を設定する機能を選択します。
   ファクスのユーザーデフォルト設定は［ファクス］タブ - ［ユーザーデフォルト設定］を選択します。

2. 各項目を設定します。

3. ［設定］をクリックします。

無効の組み合わせの設定値があった場合は、設定できる組み合わせに自動修正されます。

設定時のトラブルを解決する

トラブルを解決するための糸口

- エラーメッセージの確認
  何らかのトラブルが発生した場合、始めにプリンターの操作パネルやドライバーの画面などにメッセージが出ていないか確認してください。通知メールを送信するように設定してあると、イベントが発生した場合に素早く状態を把握できます。
- ネットワーク接続診断レポート
  ネットワークとプリンターの状況を診断して、結果がレポートされます。
  プリンター側から判別できるエラーを見つけることができます。
- 通信状態の確認
  サーバーやクライアントコンピューターの通信状態をpingやipconfigなどのコマンドを使って確認します。
- 接続テスト
  メールサーバーとの接続は、プリンターから接続テストをすることで確認できます。また、クライアントコンピューターからサーバーへの接続テストをして通信状態を確認します。
- 設定の初期化
  設定や通信状態に問題がない場合、プリンターのネットワーク設定を無効にしたり、初期状態に戻して設定をやり直したりすると、トラブルが解消する場合があります。

Web Configにアクセスできない

プリンターのIPアドレスが設定されていない

プリンターに有効なIPアドレスが設定されていない可能性があります。プリンターの操作パネルでIPアドレスを設定してください。現在の設定は、ネットワークステータスシートやプリンターの操作パネルで確認できます。

WebブラウザーがSSL/TLSの暗号強度に対応していない

SSL/TLSには暗号強度があります。Web Configは以下のメッセージ暗号化をサポートしているブラウザーで起動できます。使用しているブラウザーが対応しているか確認してください。

- 80bit：AES256/AES128/3DES
- 112bit：AES256/AES128/3DES
- 128bit：AES256/AES128
- 192bit：AES256
- 256bit：AES256

CA署名証明書の有効期限が切れた

証明書の有効期限に問題がある場合、Web ConfigにSSL/TLS通信（https）で接続したときに「有効期限が切れている」と表示されます。証明書の有効期限内に表示されるときは、プリンターの時刻が正しく設定されているか確認してください。

証明書とプリンターのコモンネームが一致していない

コモンネームの不一致が起こると、Web ConfigにSSL/TLS通信（https）で接続したときに「セキュリティー証明書の名前が一致しません...」と表示されます。これは以下のIPアドレスが一致していないために発生します。

- 自己署名証明書の作成や更新時、CSRの作成時にコモンネームで記述したIPアドレス
- Web Configの起動時にブラウザーに入力したIPアドレス

自己署名証明書の場合は証明書を更新してください。
CA署名証明書の場合は該当のプリンター用に証明書を取得し直してください。

ブラウザーにローカルアドレスのプロキシサーバー設定がされていない

プリンターでプロキシサーバーを使用する設定にしている場合、ブラウザーでローカルアドレスへの接続にプロキシサーバーを経由しないよう設定します。

- Windows：
  ［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット］－［インターネットオプション］－［接続］－［LANの設定］の［プロキシ サーバー］で、LAN（ローカルアドレス）にプロキシサーバーを使わない設定にします。
- Mac OS：
  ［システム環境設定］－［ネットワーク］－［詳細］－［プロキシ］で［プロキシ設定を使用しないホストとドメイン］にローカルアドレスを登録します。
  記入例：
  192.168.1.*：ローカルアドレス　192.168.1.XXX、サブネットマスク　255.255.255.0の場合
  192.168.*.*：ローカルアドレス　192.168.XXX.XXX、サブネットマスク　255.255.0.0の場合

プリンターの管理

本体のセキュリティー機能の紹介

エプソンデバイスのセキュリティー機能を紹介します。

機能名	どんな機能か	何を設定するのか	何を防止できるのか
管理者パスワードの設定	ネットワークやUSBの接続設定、ファクスの送受信や転送の詳細設定、ユーザーデフォルト設定など、システムに関わる設定をロックし、管理者以外は変更ができないようにします。	システム管理者がデバイスにパスワードを設定します。 Web Config、操作パネルのどちらからも設定や変更ができます。	デバイスに保持されているIDやパスワード、ネットワーク設定、アドレス帳等の情報が不正に参照または変更されるのを防ぎます。また、ネットワーク環境やセキュリティーポリシー、またはそれらに類する情報の漏えいなど、広範囲のセキュリティーリスクにつながる危険性を低減します。
利用者制限設定	利用者ごとに印刷、スキャン、コピー、ファクスなどデバイスで使用できる機能を制限します。あらかじめ登録したユーザーアカウントでログオンした場合に、特定の機能の使用を許可します。 また、操作パネルからのログオン後、一定時間操作がないと自動でログオフされます。	任意のユーザーアカウントを登録し、コピーやスキャンなど許可する機能を選択します。 ユーザーアカウントは10件まで登録できます。	利用者の業務内容や役割に応じた最小限の機能を許可することで、文書データの漏えいや不正閲覧のリスクが低減できます。
外部インターフェイス設定	USBポートなどデバイスへ接続するインターフェイスを制御できます。	USBメモリーなど外部機器を接続するUSBポートやコンピューターとのUSB接続の有効、無効を設定します。	• USBポート制御：機密文書の不正スキャンによるデータ持ち出しが低減できます。 • コンピューターのUSB接続：ネットワークを経由しない印刷やスキャンを禁止することで、デバイスの不正使用を防止できます。
保存データの処理設定	本体に内蔵のハードディスクに一時的に保存されているジョブデータを自動的に消去します。 また、ハードディスクに保存されている全てのデータを安全に消去できます。	ジョブが終了した時点で逐次自動消去するかどうか設定します。またデバイスを廃却するような場合に全消去を実行します。	特定パターンで上書きすることで、万一ハードディスクが取り出されたとしても、データを復元しての使用を防止できます。

関連情報

➡ 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」432ページ
➡ 「管理者パスワードの設定」510ページ
➡ 「利用できる機能を制限する」518ページ
➡ 「外部インターフェイスを無効にする」520ページ
➡ 「保存データの処理設定」521ページ

管理者設定

管理者パスワードの設定

管理者パスワードを設定すると、プリンターのユーザーがシステム管理に関する設定を変更することを防ぎます。管理者パスワードはWeb Config、操作パネル、Epson Device Adminのいずれからも設定、変更ができます。Epson Device Adminの操作方法については、Epson Device Adminのヘルプやマニュアルをご覧ください。

関連情報

➡ 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」432ページ
➡ 「ネットワーク上のデバイスを管理するソフトウェア（Epson Device Admin）」434ページ

操作パネルから管理者パスワードを設定する

プリンターの操作パネルから管理者パスワードを設定します。

1. プリンターの操作パネルで［設定］を選択します。
2. ［本体設定］ - ［管理者用設定］ - ［セキュリティー設定］ - ［管理者設定］の順に選択します。
3. ［管理者パスワード］ - ［新規設定］の順に選択します。
4. 管理者パスワードを入力します。
5. パスワードを再入力します。

参考 管理者パスワードは、［管理者パスワード］から［変更］または［初期設定に戻す］を選択して、管理者パスワードを入力すると変更や削除ができます。

コンピューターから管理者パスワードを設定する

Web Configを使って管理者パスワードを設定します。

1. Web Configで［本体セキュリティー］タブ - ［管理者パスワード変更］を選択します。
2. ［新しいパスワード］と［新しいパスワードの確認］にパスワードを入力します。必要に応じてユーザー名を入力します。
   パスワードを変更するには、現在のパスワードを入力します。
3. ［設定］を選択します。

参考
- ロックされている項目を設定、変更するには［管理者ログオン］をクリックして管理者パスワードを入力します。
- 管理者パスワードを削除するには、［本体セキュリティー］タブ - ［管理者パスワード削除］をクリックして管理者パスワードを入力します。

関連情報

➡ 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」432ページ

パネル操作を制限する

管理者パスワードを設定してパネルの管理者ロックを有効にすると、プリンターのシステム設定に関する項目をユーザーが変更できないようにロックできます。
ロックされた機能を操作するには管理者パスワードが必要です。

管理者ロックを有効にする

パスワード設定したプリンターの管理者ロック を有効にします。
先に管理者パスワードを設定してください。

操作パネルから管理者ロックを有効にする

1. プリンターの操作パネルで［設定］を選択します。
2. ［本体設定］ - ［管理者用設定］ - ［セキュリティー設定］ - ［管理者設定］の順に選択します。
3. ［管理者ロック］から［オン］を選択します。

ホーム画面に が表示されていることを確認してください。

コンピューターから管理者ロックを有効にする

1. Web Configで［管理者ログオン］をクリックします。
2. ユーザー名（設定している場合）とパスワードを入力して［確認］をクリックします。
3. ［デバイス管理］タブ - ［パネル］の順に選択します。
4. ［パネルロック］から［オン］を選択します。
5. ［設定］をクリックします。
6. プリンターの操作パネルのホーム画面で が表示されていることを確認してください。

関連情報

➡ 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」432ページ

本体設定メニューの管理者ロック項目

管理者ロックによって操作パネルの［設定］ - ［本体設定］メニュー内でパネルロックされる項目一覧です。
一部機能は個別に有効、無効を設定できます。

本体設定 メニュー		パネルロック
基本設定		×
	画面の明るさ設定	×
	音の設定	×
	予熱モード	○
	スリープ移行時間設定	○
	スリープ復帰方法	×
	日付/時刻設定	○
	言語選択/Language	○*1
	初期モード	○
	ホーム画面編集	○
	ホーム背景色設定	○
	無操作タイマー設定	○
	ジョブ/状態の初期画面	○

本体設定 メニュー		パネルロック
プリンター設定		×
	給紙装置設定	×
	印刷言語	○
	外部機器(PC)印刷設定	○
	PDL印刷設定	○
	自動エラー解除	○
	外部メモリー設定	○
	コンピューターのUSB接続	○
	USB I/Fタイムアウト時間設定	○
	カラーキャリブレーション	×

本体設定 メニュー	パネルロック
ネットワーク設定	○

本体設定 メニュー			パネルロック
	無線LAN接続設定		○
	有線LAN接続設定		○
	ネットワーク情報		○
		有線・無線接続状態	○*2
		Wi-Fi Direct接続状態	○*2
		メールサーバー設定情報	○*2
		ステータスシート印刷	○*2
	接続診断		○*3
	詳細設定		○
		デバイス名	○
		TCP/IP	○
		プロキシサーバー	○
		メールサーバー	○
		IPv6アドレス	○
		MS Network共有	○
		Link Speed & Duplex	○
		HTTPをHTTPSにリダイレクト	○
		IPsec/IPフィルタリングの無効化	○
		IEEE802.1Xの無効化	○
		iBeacon対応機器からの探索	○

本体設定 メニュー		パネルロック
Webサービス設定		○
	Epson Connect設定	○

本体設定 メニュー	パネルロック
ファクス設定	○

本体設定 メニュー		パネルロック
	クイック操作ボタン	○
	基本設定	○
	送信設定	○
	受信設定	○
	レポート設定	○
	セキュリティー設定	○
	ファクス診断	○
	ファクス設定ウィザード	○

本体設定 メニュー		パネルロック
スキャン設定		○
	読み取り前宛先確認	○
	Document Capture Pro設定	○
	メールサーバー	○

本体設定 menu	パネルロック
管理者用設定	○

本体設定 menu				パネルロック
	アドレス帳管理			○
		アドレス帳登録・変更		○*1*4
		常用管理		○*4
		アドレス帳印刷		○
		アドレス帳表示方法設定		○*4
		アドレス帳検索設定		○*4
	コピーカラー判定			○
	スキャナー清掃通知			○
	スリープスケジュール設定			○
	トナー消費本数のリセット			○
	内部メモリーデータ削除			○
	HDD消去設定			○
	セキュリティー設定			○
		機能制限		○
		利用者制限		○
		管理者設定		○
			管理者パスワード	○
			管理者ロック	○
		パスワード暗号化		○
		監査ログ		○
		起動時のプログラム検証		○
	本体寿命の警告			○
	お客様利用情報			○
	プリンター調整機能			○
	初期設定に戻す			○
	ファームウェアのアップデート			○
	プリンターモニタリングサービス設定			○

○＝ロックされます。

×＝ロックされません。

*1　：［本体設定］ - ［管理者用設定］ - ［セキュリティー設定］ - ［機能制限］でロックをオン/オフできます。

*2　：管理者ロックで上位階層がロックされますが、［設定］ - ［情報確認/印刷］ - ［ネットワーク］内の同名メニューから操作できます。

*3　：管理者ロックで上位階層がロックされますが、ホーム画面 - - ［接続方法の説明］ - ［ネットワークにつながらないときは］内の同名メニューから操作できます。

*4　：管理者ロックで上位階層がロックされますが、［設定］ - ［アドレス帳管理］内の同名メニューから操作できます。

関連情報

➡ 「その他の管理者ロック項目」516ページ
➡ 「個別に制御できる項目」516ページ

その他の管理者ロック項目

本体設定メニュー以外で管理者ロックが有効になるメニューは以下の通りです。

- お気に入り
  - 新規登録
  - 削除
  - 名称変更
  - ホーム画面へのショートカット登録/削除
  - お気に入りからのユーザー設定変更
- ［設定］ - ［ユーザー設定］

関連情報

➡ 「本体設定メニューの管理者ロック項目」512ページ
➡ 「個別に制御できる項目」516ページ

表示や機能を個別に制御する

管理者ロックの対象項目の一部は、個別に有効、無効が設定できます。
アドレス帳の登録や変更、ジョブ履歴の表示など、必要に応じてユーザーが情報を操作することができるようになります。

1. プリンターの操作パネルで［設定］を選択します。
2. ［本体設定］ - ［管理者用設定］ -［セキュリティー設定］ - ［機能制限］の順に選択します。
3. 設定を変更したい機能の項目を選択し、［オン］または［オフ］にします。

個別に制御できる項目

以下の項目は、個別に管理者が表示や設定変更を許可できます。

- ジョブ履歴表示：［ジョブ/状態］ - ［履歴］
  ステータスモニタのジョブ履歴の表示を制御します。［オン］にするとジョブ履歴表示を許可します。
- アドレス帳の登録・変更許可：［設定］ - ［アドレス帳管理］ - ［アドレス帳登録・変更］
  アドレス帳の登録、変更を制御します。［オン］にすると登録や変更ができるようになります。
- ファクスの宛先履歴表示：［ファクス］ - ［宛先］ - ［宛先履歴］
  ファクスの発信、着信の宛先の表示を制御します。［オン］にすると宛先を表示します。
- ファクスの通信履歴表示：［ファクス］ - ［メニュー］ - ［通信履歴表示］
  ファクスの通信履歴の表示を制御します。［オン］にすると通信履歴を表示します。
- ファクスのレポート印刷許可：［ファクス］ - ［メニュー］ - ［ファクスレポート印刷］
  ファクスのレポートの印刷を制限します。［オン］にすると印刷が許可されます。
- スキャン to ネットワークフォルダー機能 保存履歴の印刷許可：［スキャン］ - ［ネットワークフォルダー］ - ［メニュー］ - ［保存履歴の印刷］
  スキャン to フォルダー機能の保存履歴の印刷を制限します。［オン］にすると履歴の印刷が許可されます。
- スキャン to メール機能 宛先履歴表示：［スキャン］ - ［メール］ - ［宛先］ - ［履歴］
  スキャン to メール機能の履歴の表示を制御します。［オン］にすると履歴を表示します。
- スキャン to メール機能 送信履歴表示：［スキャン］ - ［メール］ - ［メニュー］ - ［送信履歴の表示］
  スキャン to メール機能のメール送信履歴の表示を制御します。［オン］にすると送信履歴を表示します。
- スキャン to メール機能 送信履歴の印刷許可：［スキャン］ - ［メール］ - ［メニュー］ - ［送信履歴の印刷］
  スキャン to メール機能のメール送信履歴の印刷を制限します。［オン］にすると履歴の印刷が許可されます。
- 言語選択の変更許可：［設定］ - ［言語選択/Language］
  操作パネルの表示言語の変更を制御します。［オン］にすると言語変更できるようになります。
- 宛先情報の保護：
  短縮ダイヤル登録にある宛先情報の表示を制御します。［オン］にすると宛先が伏字（***）で表示されます。

関連情報

➡ 「本体設定メニューの管理者ロック項目」512ページ
➡ 「その他の管理者ロック項目」516ページ

管理者としてプリンターにログオンする

プリンターに管理者パスワードを設定している場合、ロックされている項目を操作するには管理者としてプリンターにログオンする必要があります。

操作パネルからプリンターにログオンする

1. をタップします。

2. ［管理者］をタップします。

3. 管理者パスワードを入力して、［OK］をタップします。

   認証されると画面にが表示され、ロックされているメニュー項目が操作できるようになります。

   ログオフするにはをタップします。

参考 ［設定］ - ［本体設定］ - ［基本設定］ - ［無操作タイマー設定］を［オン］にすると、一定時間操作パネルを操作しない場合に自動でログオフします。

コンピューターからプリンターにログオンする

管理者としてWeb Configにログオンすると、管理者ロックされている項目を操作できます。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
2. ［管理者ログオン］をクリックします。
3. ［ユーザー名］と［現在のパスワード］にユーザー名と管理者パスワードを入力します。
4. ［確認］をクリックします。
   認証されるとロックされている項目が表示され、［管理者ログオフ］が表示されます。
   ログオフするには［管理者ログオフ］をクリックします。

参考 ［デバイス管理］タブ - ［パネル］ - ［無操作タイマー設定］を［オン］にすると、一定時間操作パネルを操作しない場合に自動でログオフします。

関連情報

➡ 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」432ページ

利用できる機能を制限する

プリンターにユーザーアカウントを登録して機能と紐付け、ユーザーが利用できる機能を制御できます。
利用制限を有効にした場合、ユーザーは操作パネルからパスワードを入力してログオンするとコピーやファクスなどプリンター上の機能が利用できるようになります。
ユーザーが利用できない機能は選択できなくなります。
コンピューターからは、プリンタードライバーやスキャナードライバーに認証情報を登録すると印刷やスキャンができるようになります。ドライバーの設定方法はドライバーのヘルプやマニュアルをご覧ください。

ユーザーアカウントを作成する

利用者制限のアカウントを作成します。

1. Web Configで［本体セキュリティー］タブ - ［利用者制限設定］ - ［ユーザー設定］を選択します。
2. 登録する番号の［登録］をクリックします。

> **重要** エプソン製や他社製の認証システムでプリンターを利用する場合、利用者制限設定のユーザー名は2番～10番に登録してください。
> 1番は認証システムなどアプリケーションソフトが使用するので、プリンターのパネルにユーザー名が表示されません。

3. 各項目を設定します。
   - ユーザー名 ：
     ユーザー名一覧への表示名を1～14文字以内の半角英数字を使って入力します。
   - パスワード ：
     ASCII (0x20-0x7E)の20文字以内で入力します。パスワードを初期化する場合は空白にします。
   - 以下の機能の使用を許可する。
     使用を許可する機能にチェックを付けます。

4. ［適用］をクリックします。
   一定時間経過するとユーザー設定の一覧へ戻ります。
   ［ユーザー名］に登録したユーザー名が表示されていて、［登録］が［編集］に変わったことを確認してください。

関連情報

➡「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」432ページ

ユーザーアカウントを編集する

登録した利用者制限のアカウントを編集します。

1. Web Configで［本体セキュリティー］タブ - ［利用者制限設定］ - ［ユーザー設定］を選択します。
2. 編集する番号の［編集］をクリックします。
3. 内容を変更します。
4. ［適用］をクリックします。
   一定時間経過するとユーザー設定の一覧へ戻ります。

関連情報

➡「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」432ページ

ユーザーアカウントを削除する

登録した利用者制限のアカウントを削除します。

1. Web Configで［本体セキュリティー］タブ - ［利用者制限設定］ - ［ユーザー設定］を選択します。
2. 削除する番号の［編集］をクリックします。
3. ［削除］をクリックします。

   ！重要 ［削除］をクリックすると、確認メッセージなしでユーザーアカウントが削除されます。削除は慎重に行ってください。

   一定時間経過するとユーザー設定の一覧へ戻ります。

関連情報

➡ 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」432ページ

利用者制限を有効にする

利用者制限を有効にすると設定したユーザーアカウント以外でプリンターを使用できなくなります。

1. Web Configで［本体セキュリティー］タブ - ［利用者制限設定］ - ［基本］を選択します。

2. ［利用者制限を有効にする］にチェックを付けます。

   ［コンピューターからの認証情報を持たない印刷/スキャンを許可する］にチェックを付けると、認証情報を設定できない、または設定していないドライバーからの印刷やスキャンができるようになります。パネルからの操作だけを制限して、コンピューターからの印刷やスキャンを許可するような場合に設定してください。

3. ［設定］をクリックします。

   一定時間経過すると設定終了のメッセージが表示されます。
   プリンターの操作パネルでコピーやスキャンなどのアイコンが選択できない状態になっていることを確認してください。

関連情報

➡ 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」432ページ

外部インターフェイスを無効にする

プリンターにデバイスを接続するインターフェイスを無効にできます。ネットワーク経由以外の印刷やスキャンを制限する場合に設定します。

参考 プリンターの操作パネルからも設定できます。

- 外部メモリー：［設定］ - ［本体設定］ - ［プリンター設定］ - ［外部メモリー設定］ - ［外部メモリー］
- コンピューターのUSB接続：［設定］ - ［本体設定］ - ［プリンター設定］ - ［コンピューターのUSB接続］

1. Web Configで［本体セキュリティー］タブ - ［外部インターフェイス］を選択します。

2. 制限したい機能で［無効］を選択します。

   制限を解除する場合は［有効］を選択してください。

   - 外部メモリー
     外部機器接続用USBポートを経由する外部メモリーへのデータ保存を禁止します。
   - コンピューターのUSB接続
     コンピューターからのUSB 接続を制限できます。制限する場合は［無効］に設定します。

3. ［設定］をクリックします。

4. 無効にしたポートが使用できなくなっているか確認します。
   - 外部メモリー
     USBメモリーなどストレージを外部機器接続用USBポートに接続し、反応がないことを確認します。
   - コンピューターのUSB接続
     確認するコンピューターにドライバーがインストールされている場合：
     プリンターとコンピューターをUSBケーブルで接続し、印刷やスキャンができないことを確認します。
     確認するコンピューターにドライバーがインストールされていない場合：
     Windows）
     デバイスマネージャーを表示したままプリンターをコンピューターにUSBケーブルで接続し、デバイスマネージャーの表示内容が変化しないことを確認します。
     Mac OS）
     プリンターをコンピューターにUSBケーブルで接続し、［プリンターとスキャナー］からプリンターを追加しようとしてもプリンターがリストに表示されないことを確認します。

関連情報

➡「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」432ページ

保存データの処理設定

内蔵ハードディスクに保存されているデータの処理を設定します。
本機は認証印刷や大量のコピー、スキャン、印刷などのデータを扱うために、一時的にハードディスクにこれらのジョブを保存しています。これらのデータを安全に消去する設定をします。

HDD逐次消去

有効にすると、印刷やスキャンが終了した場合など、対象のデータが不要になったときに逐次消去されます。
ハードディスクへのアクセスが必要なので省電力モードに入る時間が遅くなります。

メモリー全消去

ハードディスク内の全データを消去します。実行中は他の操作や、プリンターの電源を切ることができません。

- 高速：専用の消去コマンドによって全データを消去します。
- 上書き：専用の消去コマンドで全データを消去し、さらに全領域に別データを上書きして全データを消去します。
- 3回上書き：専用の消去コマンドで全データを消去し、さらに全領域に別データを3回上書きして全データを消去します。

ハードディスクの逐次消去を設定する

参考　デバイスの操作パネルからも設定できます。

1. Web Configで［デバイス管理］タブ - ［保存データの処理］を選択します。
2. ［HDD逐次消去］を［オン］にします。
3. ［設定］をクリックします。

関連情報

➡ 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」432ページ

内蔵ハードディスクをフォーマットする

1. プリンターの操作パネルのホーム画面から［設定］を選択します。
2. ［本体設定］ - ［管理者用設定］ - ［HDD消去設定］の順に選択します。
3. ［メモリー全消去］を選択します。
4. 目的に応じて［高速］、［上書き］、［3回上書き］を選択します。
5. 確認画面で［はい］を選択します。

遠隔地にあるプリンターを監視する

遠隔地にあるプリンターの情報を確認する

Web Configの［情報確認］から、以下の情報を確認できます。

- 製品情報
  ステータス、クラウドサービス、製造番号、MACアドレスなどが確認できます。
- ネットワーク情報
  ネットワーク接続状態、IPアドレス、DNSなどネットワークに関する情報が確認できます。
- 使用状況
  初回印刷日、印刷面数、言語別印刷数、スキャン回数などを確認できます。
- ハードウェア情報
  プリンターの各機能のステータスを確認できます。
- ジョブ履歴
  印刷ジョブ、送信ジョブなどの履歴を確認できます。
- パネルのスナップショット
  デバイスの操作パネルに表示されている画面イメージのスナップショットを表示します。

関連情報

➡ 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」432ページ

イベント発生時にメール通知を受け取る

メール通知の概要

印刷の停止やプリンターエラーなど、プリンターにイベントが発生したときに、指定したアドレスにメールで通知する機能です。
宛先は5つまで登録でき、それぞれに受け取りたい通知を設定できます。
この機能を使うには、設定前にメールサーバーの設定が必要です。

関連情報

➡ 「メールサーバーを設定する」447ページ

メール通知を設定する

Web Configを使ってメール通知の設定をします。

1. Web Configで［デバイス管理］タブ - ［メール通知］を選択します。

2. メール通知の件名を設定します。
   2つのプルダウンメニューで件名に表示する内容を選択します。
   - 選択された内容が［件名］の横に表示されます。
   - 左右に同じ内容は設定できません。
   - ［ロケーション］の文字数が多い場合は、32バイト以降の文字が省略されます。

3. 通知メールを送信するメールアドレスを入力します。
   A-Z a-z 0-9 ! # $ % & ' * + - . /= ? ^ _ { ¦ } ~ @,を使用し、255文字以内で入力します。

4. メール通知の言語を選択します。

5. 通知を受け取りたいイベントの行で、通知する宛先番号と重なるチェックボックスにチェックを付けます。
   ［通知設定］の番号は［宛先設定］の宛先の番号に対応しています。
   設定例：
   用紙がなくなった場合の通知を［宛先設定］の1に設定したアドレスに送信したいときは、［用紙なし］の行にある［1］の列のチェックボックスにチェックを付けます。

6. ［設定］をクリックします。
   何らかのイベントを作って、メール通知が送信されることを確認してください。
   例：用紙をセットしていない給紙方法を指定して印刷

関連情報

➡ 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」432ページ
➡ 「メールサーバーを設定する」447ページ

メール通知の設定項目

項目	設定値と説明
トナー残量限界値以下	トナー残量が限界値以下になった場合に通知します。
トナー残量少	トナー残量が限界値に近づいた場合に通知します。
廃トナーボックス空き容量なし	廃トナーボックスがいっぱいになった場合に通知します。
廃トナーボックス空き容量少	廃トナーボックスがいっぱいになる手前で通知します。
感光体ユニット印刷寿命	感光体ユニットの交換時期になった場合に通知します。
感光体ユニット印刷寿命間近	感光体ユニットの交換時期が近づいた場合に通知します。
転写ユニット印刷寿命	転写ユニットの交換時期になった場合に通知します。
転写ユニット印刷寿命間近	転写ユニットの交換時期が近づいた場合に通知します。
管理者パスワード変更	管理者パスワードが変更された場合に通知します。
用紙なし	印刷指定の給紙装置で用紙なしエラーが発生した場合に通知します。
印刷停止	紙詰まり、用紙カセットがセットされていない場合など、印刷が停止したときに通知します。
プリンターエラー	プリンターエラーが発生した場合に通知します。
スキャナーエラー	スキャナーエラーが発生した場合に通知します。
ファクスエラー	ファクスエラーが発生した場合に通知します。
無線LAN故障	無線LANインターフェイスにエラーが発生した場合に通知します。
TPM(セキュリティーチップ)故障	TPMチップにエラーが発生した場合に通知します。
HDDエラー	内蔵ハードディスクにエラーが発生した場合に通知します。
増設ネットワーク故障	増設ネットワークインターフェイスボードにエラーが発生した場合に通知します。この項目は増設ネットワークインターフェイスボードを装着しているときに表示されます。

関連情報

➡ 「メール通知を設定する」523ページ

設定のバックアップ

Web Configで設定した設定値をファイルにエクスポートできます。アドレス帳や設定値のバックアップ、プリンターの置き換え時などに利用できます。
バイナリーファイルでエクスポートされるので編集できません。

設定をエクスポートする

プリンターの設定値をエクスポートします。

1. Web Configで［デバイス管理］タブ - ［設定のエクスポート/インポート］ - ［エクスポート］を選択します。

2. エクスポートしたい設定を選択します。
   チェックが付いた項目の設定値がエクスポートされます。親のカテゴリーを選択すると、子のカテゴリーが同時に選択されます。ただし、IPアドレスなどネットワーク内に同じ設定値が複数あるとエラーになる項目は選択できないようになっています。

3. エクスポートファイルを暗号化するために任意のパスワードを入力します。
   ここで指定したパスワードはインポートするときに必要になります。パスワードを指定しない場合は空白にします。

4. ［エクスポート］をクリックします。

> **！重要** デバイス名やIPv6アドレスなどのネットワーク情報を含めてエクスポートしたいときは［本体ごとの個別設定を選択可能にする］にチェックを付けて、項目を選択してください。なお、この項目をチェックしてから選択した設定値は、プリンターの置き換え時のみにお使いください。

関連情報

➡「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」432ページ

設定をインポートする

Web Configの設定ファイルをプリンターにインポートします。

> **！重要** プリンター名やIPアドレスなどの個別情報を含む設定値をインポートするときは、同一のネットワーク内に同じIPアドレスを持つプリンターが存在しないことを確認してください。

1. Web Configで［デバイス管理］タブ - ［設定のエクスポート/インポート］ - ［インポート］を選択します。

2. エクスポートされたファイルを選択し、暗号化パスワードを入力します。

3. ［次へ］をクリックします。

4. インポートする設定を選択して［次へ］をクリックします。

5. ［設定］をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

関連情報

➡「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」432ページ

高度なセキュリティー設定

ここでは、高度なセキュリティー機能を説明しています。

セキュリティー設定と防止できる脅威

ネットワークにプリンターを接続すると、離れた場所からアクセスして使用できます。また、プリンターを共有して複数の人で使用でき、業務効率や利便性の向上に役立ちます。反面、不正アクセスや不正使用、データの改ざんなどのリスクも高くなります。インターネットにアクセスできる環境の場合はさらにリスクが高まります。
外部からのアクセスの保護を施していないプリンターは、本体に記憶しているアドレス帳などをインターネットから読み取ることができてしまいます。
リスクを回避するため、エプソン製プリンターにはさまざまなセキュリティー技術を搭載しています。
お客様の情報環境での条件に合わせて、必要なセキュリティー設定をしてください。

機能名	どんな機能か	何を設定するのか	何を防止できるのか
パスワードの暗号化	プリンターに記録されている機密情報（全てのパスワード、証明書の秘密鍵、ハードディスク認証鍵）を暗号化します。	パスワードの暗号化を設定して、暗号鍵をバックアップします。	暗号鍵はプリンター外部からアクセスできないため、暗号化した機密情報を守ることができます。
プロトコルの制御	プリンターやコンピューター間の通信で使用するプロトコルやサービスを制御して、機能を有効、無効にします。	機能に対応したプロトコルやサービスを個別に許可、禁止します。	不要な機能を使用できなくすることで、意図されない利用によるセキュリティーリスクを軽減できます。
SSL/TLS通信	ブラウザー経由でのコンピューターとの通信やEpson Connect、ファームウェアアップデートなどプリンターからインターネット上のエプソンサーバーにアクセスするような場合に通信内容がSSL/TLS通信で暗号化されます。	CA署名証明書をCA局から取得し、プリンターにインポートします。	CA署名証明書によってプリンターの身分が明確になることで、なりすましや不正アクセスを防げます。また、通信内容がSSL/TLSによって保護されるため、設定情報や印刷データ内容の漏えいが防げます。
IPsec/IPフィルタリング	特定のクライアントからのデータや、特定の種類のデータだけを通過、遮断する設定ができます。IPsecはIP パケット単位で保護(暗号化および認証) するため、セキュアでないプロトコルも安全に通信できます。	基本ポリシー、個別ポリシーを作成し、プリンターにアクセスできるクライアントやデータの種類を設定します。	プリンターへの不正アクセス、通信データの傍受や改ざんを防止できます。
IEEE802.1X	認証された利用者だけにネットワーク接続を許可します。許可された利用者だけがプリンターを使用できるようにします。	RADIUS サーバー（認証サーバー）への認証設定をします。	不正なプリンターへのアクセスや使用を防止できます。

機能名	どんな機能か	何を設定するのか	何を防止できるのか
S/MIME	プリンターが送信するメールを暗号化したり、メールに電子署名を添付したりします。この機能はスキャン to メール機能、ボックス to メール機能、ファクス to メール機能で利用できます。	CA署名証明書のインポートや自己署名証明書の設定、メールの送信先の電子証明書を設定します。また、S/MIMEの基本設定をします。	メールを暗号化することで、メールの盗み見による情報漏えいを防ぐことができます。また、メールに電子署名を添付することで、送信者のなりすましやメールの改ざんを検出できます。

関連情報

- 「パスワード暗号化の設定」527ページ
- 「利用するプロトコルを制御する」529ページ
- 「プリンターとのSSL/TLS通信」541ページ
- 「IPsec/IPフィルタリングで暗号化通信する」542ページ
- 「IEEE802.1X環境にプリンターを接続する」554ページ
- 「S/MIMEの設定」557ページ

セキュリティー機能の設定

IPsec/IPフィルタリングやIEEE802.1Xなどの設定は、改ざん、傍受などセキュリティーのリスク低減のために、SSL/TLS通信でWeb Configにアクセスして設定することをお勧めします。
必ず管理者パスワードを設定してから、IPsec/IPフィルタリングやIEEE802.1Xの設定をしてください。
また、設定に使うコンピューターは、プリンターとLANケーブルで直結し、ブラウザーでIPアドレスを入力してWeb Configを起動して設定できます。セキュリティー設定が完了してからプリンターをセキュアな環境へ接続できます。

パスワード暗号化の設定

パスワードの暗号化を設定すると、プリンターに記録されている機密情報（全てのパスワード、証明書の秘密鍵、ハードディスク認証鍵）を暗号化できます。暗号化した機密情報を復号するための暗号鍵がTPM（Trusted Platform Module）チップに保管されます。TPMチップにはプリンター外部からアクセスできないので、暗号鍵が漏えいすることがなく暗号化した機密情報を守ることができます。

！重要 TPMチップが故障して暗号鍵が使用できなくなると、プリンター内の機密情報を復元できず、プリンターが使用できなくなります。そのため、必ず暗号鍵をUSBメモリーにバックアップしてください。

パスワードを暗号化する

パスワードを暗号化する場合は、暗号鍵をバックアップする必要があります。あらかじめバックアップ用のUSBメモリーを用意してください。USBメモリーの空き容量は1MB以上必要です。

！重要 暗号鍵をバックアップしたUSBメモリーは、TPMチップを交換するときに必要になります。大切に保管してください。

1. ホーム画面で［設定］を選択します。

2. ［本体設定］ - ［管理者用設定］ - ［セキュリティー設定］ - ［パスワード暗号化］の順に選択します。

3. ［パスワード暗号化］を［オン］にします。
   メッセージが表示されたら確認して［OK］をタップします。

4. ［バックアップに進む］を選択します。
   暗号鍵のバックアップ画面が表示されます。

5. プリンターの外部機器接続用USBポートに、USBメモリーを挿入します。

6. ［バックアップを開始する］をタップします。
   USBメモリーへの書き込みを開始します。USBメモリーに暗号鍵がすでに保存されている場合は上書きされます。

7. バックアップ完了のメッセージが表示されたら［閉じる］をタップします。

8. ⏻ボタンを押してプリンターの電源を切ります。

9. ⏻ボタンを押してプリンターの電源を入れ直します。
   パスワードが暗号化されます。
   通常よりもプリンターの起動に時間がかかる場合があります。

パスワード暗号鍵をリストアする

TPMチップが故障した場合、暗号鍵のバックアップを使用して、交換したTPMチップに暗号鍵をリストアできます。パスワードを暗号化した状態でTPMチップを交換したときは、以下の手順で操作します。

1. ⏻ボタンを押してプリンターの電源を入れます。
   プリンターの操作パネルに、TPMが交換されましたというメッセージが表示されます。

2. ［バックアップから更新］を選択します。
   管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力して［OK］をタップします。

3. プリンターの外部機器接続用USBポートに、暗号鍵をバックアップしたUSBメモリーを挿入します。

4. ［バックアップから更新］をタップします。
   暗号鍵がTPMチップにリストアされます。

5. メッセージを確認して［OK］をタップします。
   プリンターが再起動します。

利用するプロトコルを制御する

プリンターに印刷する場合、いろいろな経路やプロトコルから印刷できます。
また、複合機であればネットワークスキャンやPC-FAXが不特定多数のコンピューターから利用可能になります。
使わない機能やプロトコル、サービスを無効にすることで意図しない経路からの不正なアクセスや印刷などのセキュリティーリスクを軽減できます。

プロトコルを制御する

プリンターが対応している制御可能なプロトコルの設定をします。

1. Web Configで［ネットワークセキュリティー］タブ - ［プロトコル］を選択します。
2. 各項目を設定します。
3. ［次へ］をクリックします。
4. ［設定］をクリックします。
   設定がプリンターに反映されます。

関連情報

- 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」432ページ
- 「有効・無効が設定可能なプロトコル」529ページ
- 「プロトコルの設定項目」530ページ

有効・無効が設定可能なプロトコル

プロトコル	説明
Bonjour設定	Bonjourを使用するかを指定できます。Bonjourは機器の検索や印刷などに使われます。
iBeacon設定	iBeacon対応機器からの探索の有効･無効が設定できます。有効にするとiBeacon対応機器からの探索ができるようになります。
SLP設定	SLP機能の有効・無効が設定できます。SLPはエプソンプリンターではプッシュスキャン機能やEpsonNet Configでのネットワーク探索に使われます。
WSD設定	WSD機能の有効・無効が設定できます。WSDデバイスの追加やWSDポートからの印刷ができるようになります。
LLTD設定	LLTDの有効･無効が設定できます。有効にするとWindowsのネットワークマップに表示されるようになります。
LLMNR設定	LLMNRの有効・無効が設定できます。有効にするとDNSが使えない状況でもNetBIOSを使用せずに名前解決ができるようになります。
LPR設定	LPR印刷を許可するかを指定できます。有効にするとLPRポートからの印刷ができるようになります。

プロトコル	説明
RAW（Port9100）設定	RAWポート（Port9100）からの印刷を許可するかを指定できます。有効にするとRAWポート（Port9100）からの印刷ができるようになります。
RAW(任意ポート)設定	RAWポート（任意ポート）からの印刷を許可するかを指定できます。有効にするとRAWポート（任意ポート）からの印刷ができるようになります。
IPP設定	IPPからの印刷を許可するかを指定できます。有効にするとインターネット経由の印刷ができるようになります。
FTP設定	FTP印刷を許可するかを指定できます。有効にするとFTPサーバーからの印刷ができるようになります。
SNMPv1/v2c設定	SNMPv1/v2cの有効・無効を指定できます。エプソンプリンターでは機器の設定や監視などに使われます。
SNMPv3設定	SNMPv3の有効・無効を指定できます。エプソンプリンターでは暗号化した機器の設定や監視などの通信で使われます。

関連情報

➡ 「プロトコルを制御する」529ページ
➡ 「プロトコルの設定項目」530ページ

プロトコルの設定項目

Bonjour設定

項目	設定値と説明
Bonjourを使用する	チェックを入れるとBonjourで機器を検索または使用することを許可します。
Bonjour名	Bonjour名が表示されます。
Bonjourサービス名	Bonjourサービス名が表示されます。
ロケーション	Bonjourのロケーションが表示されます。
最優先プロトコル	Bonjour印刷の最優先プロトコルを選択します。
Wide-Area Bonjour	Wide-Area Bonjourを使用するかどうか設定します。

iBeacon設定

項目	設定値と説明
iBeacon対応機器からの探索を有効にする	チェックを入れるとiBeacon対応機器からの探索が有効になります。

SLP設定

項目	設定値と説明
SLP機能を有効にする	チェックを入れるとSLP機能が有効になります。 EpsonNet Configでのネットワーク探索に使われます。

WSD設定

項目	設定値と説明
WSDを有効にする	チェックを入れるとWSDによるデバイス追加が有効になります。
印刷タイムアウト (秒)	WSD印刷の通信タイムアウト時間を3～3600秒の範囲で入力します。
スキャンタイムアウト (秒)	WSDスキャンの通信タイムアウト時間を3～3600秒の範囲で入力します。
デバイス名	WSDのデバイス名が表示されます。
ロケーション	WSDのロケーションが表示されます。

LLTD設定

項目	設定値と説明
LLTDを有効にする	チェックを入れるとLLTDが有効になります。有効にするとWindowsのネットワークマップに表示されるようになります。
デバイス名	LLTDのデバイス名が表示されます。

LLMNR設定

項目	設定値と説明
LLMNRを有効にする	チェックを入れるとLLMNRが有効になります。有効にするとDNSが使えない状況でもNetBIOSを使用せずに名前解決ができるようになります。

LPR設定

項目	設定値と説明
LPRポートからの印刷を許可する	チェックを入れるとLPRポートからの印刷を許可します。
印刷タイムアウト (秒)	LPR印刷の通信のタイムアウト時間を0～3600秒の範囲で入力します。「0」はタイムアウトなしを表します。

RAW（Port9100）設定

項目	設定値と説明
RAWポート(Port9100)からの印刷を許可する	チェックを入れるとRAWポート（Port9100）からの印刷を許可します。
印刷タイムアウト (秒)	RAW（Port9100）印刷の通信タイムアウト時間を0～3600秒の範囲で入力します。「0」はタイムアウトなしを表します。

RAW(任意ポート)設定

項目	設定値と説明
RAW(任意ポート)からの印刷を許可する	チェックを入れるとRAWポート（任意ポート）からの印刷を許可します。
ポート番号	RAW印刷のポート番号を1024～65535以内の数字（9100、1865、2968を除く）で入力します。
印刷タイムアウト (秒)	RAW（任意ポート）印刷の通信タイムアウト時間を0～3600秒の範囲で入力します。「0」はタイムアウトなしを表します。

IPP設定

項目	設定値と説明
IPPを有効にする	チェックを入れるとIPP通信が有効になります。IPPをサポートしているプリンターのみ表示されます。
非セキュア通信を許可する	［許可する］を選択すると非セキュア（IPP）で通信します。
通信タイムアウト（秒）	IPP印刷の通信のタイムアウト時間を0～3600秒の範囲で入力します。「0」はタイムアウトなしを表します。
IPP印刷時にPINコードを必須とする	IPP印刷時にPINコードの設定を必須にするかどうか設定します。［はい］を選択すると、PINコードが設定されていないIPP印刷ジョブはプリンターに保存されません。
URL（ネットワーク）	ネットワークに接続されている場合にIPPのURL（httpとhttps）が併記されます。URLはプリンターのIPアドレスとポート番号とIPPのプリンター名が組み合わされた値です。
URL（Wi-Fi Direct）	Wi-Fi Directで接続されている場合にIPPのURL（httpとhttps）が併記されます。URLはプリンターのIPアドレスとポート番号とIPPのプリンター名が組み合わされた値です。
プリンター名	IPPのプリンター名が表示されます。
ロケーション	IPPのロケーションが表示されます。

FTP設定

項目	設定値と説明
FTPサーバーを有効にする	チェックを入れるとFTP通信が有効になります。FTP印刷をサポートしているプリンターのみ表示されます。

項目	設定値と説明
通信タイムアウト（秒）	FTP印刷の通信のタイムアウト時間を0～3600秒の範囲で入力します。「0」はタイムアウトなしを表します。

SNMPv1/v2c設定

項目	設定値と説明
SNMPv1/v2cを有効にする	チェックを入れるとSNMPv1/v2cを有効にします。
アクセス権限	SNMPv1/v2cを有効にした場合にアクセス権限を設定します。［読み込み専用］または［読み書き可能］を選択します。
コミュニティ名 (読み込み専用)	ASCII（0x20～0x7E）で表せる32文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
コミュニティ名 (読み書き可能)	ASCII（0x20～0x7E）で表せる32文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。

SNMPv3設定

項目		設定値と説明
SNMPv3を有効にする		チェックを入れるとSNMPv3が有効になります。
ユーザー名		1バイト文字を使って1～32文字以内で入力します。
認証設定		
	アルゴリズム	SNMPv3の認証用のアルゴリズムを選択します。
	パスワード	SNMPv3の認証パスワードを入力します。 ASCII (0x20-0x7E)で表せる32文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
	パスワード確認入力	確認のため、入力したパスワードをもう一度入力します。
暗号化設定		
	アルゴリズム	暗号化アルゴリズムを選択します。
	パスワード	暗号化パスワードを入力します。 ASCII (0x20-0x7E)で表せる32文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
	パスワード確認入力	確認のため、入力したパスワードをもう一度入力します。
コンテキスト名		Unicode（UTF-8）で表せる32文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。言語によって扱える文字数は異なります。

関連情報

➡ 「プロトコルを制御する」529ページ
➡ 「有効・無効が設定可能なプロトコル」529ページ

電子証明書を使う

使用できる電子証明書

- CA署名証明書
  認証機関（CA局）によって署名された証明書です。CA局に申請して取得します。この証明書はプリンターの実在性を証明し、SSL/TLS通信に使用されるため、データ通信の安全が確保できます。
  SSL/TLS通信に使用する場合は、サーバー証明書として利用されます。
  IPsec/IPフィルタリング、IEEE802.1X、S/MIMEに設定する場合は、クライアント証明書として利用されます。
- CA証明書
  CA署名証明書のチェーン内の証明書で、中間CA証明書とも呼ばれます。相手サーバーまたはWeb Configにアクセスするブラウザーが、プリンターの証明書パスを検証するために使用されます。
  相手サーバー検証用のCA証明書は、プリンターからアクセスするサーバーの証明書パスを検証する場合に設定します。プリンターでは、SSL/TLS通信用のCA署名証明書の証明書パスを証明するために設定します。
  プリンターのCA証明書は、CA署名証明書を発行したCA局から入手できます。
  また、相手サーバー検証に使用するCA署名証明書は、相手サーバーのCA署名証明書を発行したCA局から入手できます。
- 自己署名証明書
  プリンター自らが署名し、発行した証明書です。ルート証明書とも呼ばれます。発行者が自分自身を証明しているので、証明書として信頼性がなく、なりすましは防げません。
  - SSL/TLS通信に使用する場合
    セキュリティー設定をする際にCA署名証明書なしで簡易的にSSL/TLS通信を行う場合に使用してください。
    ブラウザーに証明書の登録がないために、SSL/TLS通信でプリンターにアクセスするとセキュリティー警告が出ることがあります。
  - S/MIMEに設定する場合
    CA署名証明書の代わりに自己署名証明書も利用できます。企業内ネットワークのように外部接続（インターネット接続）しないネットワーク環境などで、CA署名証明書取得のコストをかけずにS/MIMEの機能を使用できます。ただし、安全性が低いため、外部接続する場合はCA署名証明書の利用をお勧めします。

関連情報

- 「CA署名証明書を設定する」534ページ
- 「自己署名証明書を更新する」538ページ
- 「相手サーバー検証用CA証明書を設定する」540ページ

CA署名証明書を設定する

CA署名証明書を取得する

CA署名証明書を取得するにはCSR（証明書発行要求）を生成し、CA局に申請します。CSRはWeb Configかコンピューターで生成してください。
ここではWeb Configから取得する方法を説明します。Web Configで生成したCSRの証明書はPEM/DER形式です。

1. Web Configで［ネットワークセキュリティー］タブを選択します。

2. 以下のいずれかを選択します。
   - ［SSL/TLS］ - ［証明書］
   - ［IPsec/IPフィルタリング］ - ［クライアント証明書］
   - ［IEEE802.1X］ - ［クライアント証明書］
   - ［S/MIME］ - ［クライアント証明書］

   どれを選択しても同じ証明書が取得でき、共通で使用できます。

3. ［CSR］の［生成］をクリックします。

   CSR生成画面が開きます。

4. 各項目を設定します。

   参考 対応している公開鍵長や省略の可否はCA局によって異なる場合があります。申請するCA局のルールに従って記載してください。

5. ［設定］をクリックします。

   生成されると完了メッセージが表示されます。

6. ［ネットワークセキュリティー］タブを選択します。

7. 以下のいずれかを選択します。
   - ［SSL/TLS］ - ［証明書］
   - ［IPsec/IPフィルタリング］ - ［クライアント証明書］
   - ［IEEE802.1X］ - ［クライアント証明書］
   - ［S/MIME］ - ［クライアント証明書］

8. CA局規定のファイル形式に従い［CSR］のダウンロードボタンをクリックして、CSRをコンピューターにダウンロードします。

   ！重要 再度CSRを生成しないでください。交付されたCA署名証明書がインポートできなくなります。

9. 保存したCSRをCA局に送付し、CA署名証明書を入手します。

   送付方法や送付形態は、CA局の規定に従ってください。

10. 入手したCA署名証明書を、プリンターに接続しているコンピューターに保存します。

    指定場所にCA署名証明書ファイルが保存されたら完了です。

関連情報

➡「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」432ページ

CSRの設定項目

項目	設定値と説明
公開鍵長	CSRに使用する公開鍵長を選択します。
コモンネーム	1～128文字以内で入力できます。IPアドレスを指定するときは、固定のIPアドレスを設定します。IPv4アドレス、IPv6アドレス、ホスト名、FQDNを「,」カンマで区切って1～5個入力できます。 先頭の要素がコモンネームに格納され、その他の要素は証明書のサブジェクトの別名フィールドに格納されます。 記入例： プリンターのIPアドレス：192.0.2.123、プリンター名：EPSONA1B2C3 コモンネーム：EPSONA1B2C3,EPSONA1B2C3.local,192.0.2.123
組織名/ 部署名/ 市町村名/ 都道府県名	ASCII (0x20-0x7E)で表せる0～64文字以内で入力できます。識別名（CN）はカンマで分割できます。
国コード	ISO-3166で規定している2文字の国コードを入力します。
送信元アドレス	メールサーバー設定の送信元アドレスを入力できます。［ネットワーク］タブ - ［メールサーバー］ - ［基本］の［送信元アドレス］と同じメールアドレスを入力してください。 ［ネットワークセキュリティー］タブ - ［S/MIME］ - ［クライアント証明書］でCSRを生成する場合は、メールサーバー設定の送信元アドレスが自動設定されるので入力不要です。事前にメールサーバー設定で送信元アドレスを設定しておいてください。

関連情報

➡ 「CA署名証明書を取得する」534ページ

CA署名証明書をインポートする

取得したCA署名証明書をプリンターにインポートします。

！重要

- プリンターの日付と時刻が正しく設定されていることを確認してください。証明書が無効になる場合があります。
- Web Configで生成したCSRで証明書を取得した場合、証明書をインポートできるのは一度だけです。
- ［ネットワークセキュリティー］タブ - ［S/MIME］ - ［クライアント証明書］でCA署名証明書をインポートすると、［ネットワーク］タブ - ［メールサーバー］ - ［基本］の［送信元アドレス］が変更できなくなります。［送信元アドレス］を変更したい場合は、［ネットワークセキュリティー］タブ - ［S/MIME］ - ［基本］の署名設定を全て［署名しない］に変更してから、インポートしたCA署名証明書を削除してください。

1. Web Configで［ネットワークセキュリティー］タブを選択します。

2. 以下のいずれかを選択します。
   - ［SSL/TLS］ - ［証明書］
   - ［IPsec/IPフィルタリング］ - ［クライアント証明書］
   - ［IEEE802.1X］ - ［クライアント証明書］
   - ［S/MIME］ - ［クライアント証明書］

3. ［インポート］をクリックします。

証明書インポート設定画面が開きます。

4. 各項目を設定します。［CA証明書1］、［CA証明書2］はプリンターにアクセスするブラウザーで証明書のパスを検証する場合に設定してください。

インポートの設定内容は、CSRの生成場所や証明書のファイル形式によって異なります。以下を参考にして入力が必要な項目を設定してください。

- Web Configから取得したPEM/DER形式の証明書
  - ［秘密鍵］：プリンターで保持しているため設定しない
  - ［パスワード］：設定しない
  - ［CA証明書1］/［CA証明書2］：任意
- コンピューターから取得したPEM/DER形式の証明書
  - ［秘密鍵］：設定する
  - ［パスワード］：設定しない
  - ［CA証明書1］/［CA証明書2］：任意
- コンピューターから取得したPKCS#12形式の証明書
  - ［秘密鍵］：設定しない
  - ［パスワード］：任意
  - ［CA証明書1］/［CA証明書2］：設定しない

5. ［設定］をクリックします。

インポートされると完了メッセージが表示されます。

参考　［表示］をクリックするとインポートした証明書の情報が確認できます。

関連情報

- 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」432ページ
- 「CA署名証明書を削除する」538ページ
- 「S/MIMEの基本設定をする」557ページ

CA署名証明書のインポート設定項目

項目	設定値と説明
サーバー証明書　または　クライアント証明書	取得したCA署名証明書のファイル形式を選択し、ファイルを指定します。 SSL/TLSの場合、サーバー証明書になります。 IPsec/IP フィルタリング、IEEE802.1X、S/MIMEの場合はクライアント証明書になります。
秘密鍵	コンピューターで生成したCSRでPEM/DER形式の証明書を取得した場合、証明書と対になった秘密鍵ファイルを指定します。
パスワード	ファイル形式が［秘密鍵付き証明書（PKCS#12）］の場合、証明書取得時に設定した秘密鍵暗号化のパスワードを入力します。

項目	設定値と説明
CA証明書1	ファイル形式が［証明書（PEM/DER）］の場合、サーバー証明書として使うCA署名証明書を発行したCA局の証明書をインポートします。必要に応じて設定してください。
CA証明書2	ファイル形式が［証明書（PEM/DER）］の場合、CA証明書1を発行した機関の証明書をインポートします。必要に応じて設定してください。

関連情報

➡ 「CA署名証明書をインポートする」536ページ

CA署名証明書を削除する

サービスが無効になった証明書や使用していない証明書は削除できます。

！重要 Web Configで生成したCSRで取得した証明書は、一度削除すると再インポートができません。必要な場合はCSRを再生成して取得し直してください。

1. Web Configで［ネットワークセキュリティー］タブを選択します。
2. 以下のいずれかを選択します。
   - ［SSL/TLS］ - ［証明書］
   - ［IPsec/IPフィルタリング］ - ［クライアント証明書］
   - ［IEEE802.1X］ - ［クライアント証明書］
   - ［S/MIME］ - ［クライアント証明書］
3. ［CA署名証明書］または［クライアント証明書］の［削除］をクリックします。
4. 確認のメッセージを確認して、削除します。

関連情報

➡ 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」432ページ

自己署名証明書を設定する

自己署名証明書を更新する

自己署名証明書はプリンターが発行しているので、有効期限が切れた場合や記載している内容に変更があった場合などに更新できます。
SSL/TLSの自己署名証明書とS/MIMEの自己署名証明書は別々に発行されています。必要に応じてそれぞれの自己署名証明書を更新してください。

!重要 ［ネットワークセキュリティー］タブ - ［S/MIME］ - ［クライアント証明書］で自己署名証明書を更新すると、［ネットワーク］タブ - ［メールサーバー］ - ［基本］の［送信元アドレス］が変更できなくなります。［送信元アドレス］を変更したい場合は、［ネットワークセキュリティー］タブ - ［S/MIME］ - ［基本］の署名設定を全て［署名しない］に変更してから、S/MIMEの自己署名証明書を削除してください。

1. Web Configで［ネットワークセキュリティー］タブを選択し、［SSL/TLS］ - ［証明書］または［S/MIME］ - ［クライアント証明書］を選択します。

2. ［更新］をクリックします。

3. ［コモンネーム］を入力します。

   IPv4アドレス、IPv6アドレス、ホスト名、FQDNを「,」カンマで区切って5個まで、1～128文字以内で入力できます。先頭の要素がコモンネームに格納され、その他の要素は証明書のサブジェクトの別名フィールドに格納されます。

   記入例：

   プリンターのIPアドレス：192.0.2.123、プリンター名：EPSONA1B2C3

   コモンネーム：EPSONA1B2C3,EPSONA1B2C3.local,192.0.2.123

4. 証明書の有効期間を選択します。

5. ［次へ］をクリックします。

   確認画面が表示されます。

6. ［設定］をクリックします。

   設定がプリンターに反映されます。

参考 ［ネットワークセキュリティー］タブを選択し、［SSL/TLS］ - ［証明書］ - ［自己署名証明書］または［S/MIME］ - ［クライアント証明書］ - ［自己署名証明書］にある［表示］をクリックすると証明書の情報が確認できます。

関連情報

- 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」432ページ
- 「S/MIMEの自己署名証明書を削除する」539ページ
- 「S/MIMEの基本設定をする」557ページ

S/MIMEの自己署名証明書を削除する

S/MIMEの署名機能を使用していないとき、S/MIMEの自己署名証明書は削除できます。
S/MIMEの自己署名証明書を削除しても、SSL/TLSの自己署名証明書は削除されません。

1. Web Configで［ネットワークセキュリティー］タブ - ［S/MIME］ - ［クライアント証明書］を選択します。

2. ［自己署名証明書］の［削除］をクリックします。

3. 確認のメッセージを確認して、削除します。

関連情報

➡ 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」432ページ

相手サーバー検証用CA証明書を設定する

相手サーバー検証用CA証明書を設定すると、プリンターがアクセスするサーバーのCA証明書のパスを検証できます。これによってなりすましを防止できます。
相手サーバー検証用CA証明書は相手サーバーのCA署名証明書を発行したCA局から入手できます。

相手サーバー検証用CA証明書をインポートする

相手サーバー検証用CA証明書をプリンターにインポートします。

1. Web Configで［ネットワークセキュリティー］タブ - ［相手サーバー検証用CA証明書］を選択します。
2. ［インポート］をクリックします。
3. インポートする相手サーバー検証用CA証明書ファイルを指定します。
4. ［設定］をクリックします。

インポートされると［相手サーバー検証用CA証明書］に戻り、インポートされた相手サーバー検証用CA証明書の情報が表示されます。

関連情報

➡ 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」432ページ

相手サーバー検証用CA証明書を削除する

インポート済みの相手サーバー検証用CA証明書を削除します。

1. Web Configで［ネットワークセキュリティー］タブ - ［相手サーバー検証用CA証明書］を選択します。
2. 削除したい相手サーバー検証用CA証明書の［削除］をクリックします。
3. 確認のメッセージを確認して、削除します。
4. ［ネットワーク再起動］をクリックし、更新された画面で削除したCA証明書が一覧にないことを確認してください。

関連情報

➡ 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」432ページ

プリンターとのSSL/TLS通信

SSL/TLS（Secure Sockets Layer/Transport Layer Security）通信でプリンターにサーバー証明書を設定して、コンピューターとの通信経路を暗号化できます。なりすましや不正アクセスを防ぎたいときに設定してください。

SSL/TLS通信の基本設定をする

HTTPSサーバーに対応しているプリンターはSSL/TLSで通信できます。Web Configを使ったプリンターの設定や管理のための通信を安全に行えます。
基本設定では暗号強度とリダイレクト機能を設定します。

1. Web Configで［ネットワークセキュリティー］タブ - ［SSL/TLS］ - ［基本］を選択します。

2. 各項目を設定します。
   - 暗号強度
     暗号の強度を選択できます。
   - HTTPをHTTPSにリダイレクト
     HTTPでのアクセス時に、HTTPSにリダイレクトをします。

3. ［次へ］をクリックします。
   確認画面が表示されます。

4. ［設定］をクリックします。
   設定がプリンターに反映されます。

関連情報

➡「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」432ページ

プリンターのサーバー証明書を設定する

1. Web Configで［ネットワークセキュリティー］タブ - ［SSL/TLS］ - ［証明書］を選択します。

2. ［使用するサーバー証明書］に使用する電子証明書を選択します。
   - 自己署名証明書
     プリンターに内蔵されている自己署名証明書です。CA署名証明書を取得していない場合は選択してください。
   - CA署名証明書
     プリンターにCA署名証明書をインポートすると選択できます。

3. ［次へ］をクリックします。
   確認画面が表示されます。

4. ［設定］をクリックします。
   設定がプリンターに反映されます。

関連情報

➡ 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」432ページ
➡ 「CA署名証明書を設定する」534ページ
➡ 「自己署名証明書を更新する」538ページ

IPsec/IPフィルタリングで暗号化通信する

IPsec/IPフィルタリングの概要

IPsec/IPフィルタリング機能を使用すると、IPアドレス、サービスの種類、受信や送信ポートなどをフィルタリングできます。これらを組み合わせることによって、特定のクライアントからのデータや特定の種類のデータを通過させたり、遮断したりできます。IPsecと組み合わせることによってさらに強固なセキュリティー通信ができます。

参考 Windows Vista以降またはWindows Server 2008以降のWindowsは、IPsecに対応しています。

基本ポリシーを設定する

フィルタリングのために基本ポリシーを設定します。基本ポリシーはプリンターにアクセスする全てのクライアントに影響します。より細かくアクセスを制御するには、個別ポリシーを設定します。

1. Web Configで［ネットワークセキュリティー］タブ - ［IPsec/IPフィルタリング］ - ［基本］を選択します。

2. 各項目を設定します。

3. ［次へ］をクリックします。

   確認画面が表示されます。

4. ［設定］をクリックします。

   設定がプリンターに反映されます。

関連情報

➡ 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」432ページ

基本ポリシーの設定項目

［基本ポリシー］

項目	設定値と説明
IPsec/IPフィルタリング	IPsec/IPフィルタリング機能を有効または無効にします。

- ［通信処理］
  IP通信の制御方法を設定します。

項目	設定値と説明
通信を通過	IPパケットの通過を許可するときに選択します。
通信を遮断	IPパケットを遮断したいときに選択します。
IPsecの使用	IPsecで送られたパケットの通過を許可するときに選択します。

- ［IKEバージョン］
  ［IKEバージョン］で［IKEv1］または［IKEv2］を選択します。プリンターを接続する機器に合わせて選択してください。
  - IKEv1
    ［IKEバージョン］で［IKEv1］を選択すると表示されます。

項目	設定値と説明
認証方式	CA署名証明書をインポートすると［証明書］が選択できるようになります。
事前共有キー	［認証方式］で［事前共有キー］を選択した場合、1～127文字以内で事前共有キーを設定します。
事前共有キー確認入力	確認のため、設定したキーをもう一度入力します。

  - IKEv2
    ［IKEバージョン］で［IKEv2］を選択すると表示されます。

項目		設定値と説明
ローカル認証	認証方式	CA署名証明書をインポートすると［証明書］が選択できるようになります。
	IDの種類	［認証方式］で［事前共有キー］を選択した場合、プリンターを何のIDで認証させるか選択します。
	ID	IDの種類に合わせてプリンターのIDを入力します。 いずれの場合も先頭に@#=は使用できません。 ［識別名］：ASCII（0x20～0x7E）で表せる1バイト文字で0～255文字以内で入力します。=を含めてください。 ［IPアドレス］：IPv4またはIPv6形式で入力します。 ［FQDN］：半角英数字、ドット、ハイフンを組み合わせて1～255文字以内で入力します。 ［メールアドレス］：ASCII（0x20～0x7E）で表せる1バイト文字で0～255文字以内で入力します。@を含めてください。 ［任意の文字列］：ASCII（0x20～0x7E）で表せる1バイト文字で0～255文字以内で入力します。
	事前共有キー	［認証方式］で［事前共有キー］を選択した場合、1～127文字以内で事前共有キーを設定します。
	事前共有キー確認入力	確認のため、設定したキーをもう一度入力します。

項目		設定値と説明
リモート認証	認証方式	CA署名証明書をインポートすると［証明書］が選択できるようになります。
	IDの種類	［認証方式］で［事前共有キー］を選択した場合、認証相手を表すIDの種類を選択します。
	ID	IDの種類に合わせてプリンターのIDを入力します。 いずれの場合も先頭に@#=は使用できません。 ［識別名］：ASCII（0x20～0x7E）で表せる1バイト文字で0～255文字以内で入力します。=を含めてください。 ［IPアドレス］：IPv4またはIPv6形式で入力します。 ［FQDN］：半角英数字、ドット、ハイフンを組み合わせて1～255文字以内で入力します。 ［メールアドレス］：ASCII（0x20～0x7E）で表せる1バイト文字で0～255文字以内で入力します。@を含めてください。 ［任意の文字列］：ASCII（0x20～0x7E）で表せる1バイト文字で0～255文字以内で入力します。
	事前共有キー	［認証方式］で［事前共有キー］を選択した場合、1～127文字以内で事前共有キーを設定します。
	事前共有キー確認入力	確認のため、設定したキーをもう一度入力します。

- ［カプセル化］
  ［通信処理］で［IPsecの使用］を選択した場合、IPsecの通信モードを設定します。

項目	設定値と説明
トランスポートモード	主に同じLAN内だけでプリンターとIPsec通信をする場合に選択します。IPパケットのレイヤー4以上のデータ部のみが暗号化されます。
トンネルモード	主にIPsec-VPNのようなインターネットが有効なネットワークでプリンターを接続するときに選択します。IPパケットのヘッダーとデータが暗号化されます。 ［リモートゲートウェイアドレス(トンネルモード)］：［カプセル化］で［トンネルモード］を選択した場合、1～39文字以内でゲートウェイアドレスを設定します。

- ［セキュリティープロトコル］
  ［通信処理］で［IPsecの使用］を選択した場合、IPsecのセキュリティープロトコルを選択します。

項目	設定値と説明
ESP	認証とデータの完全性の保証に加えてデータ全体を暗号化します。
AH	認証とデータの完全性の保証をします。データの暗号化が禁止されていてもIPsec通信ができます。

- ［アルゴリズム設定］
  全ての設定で［任意］を選択するか、全て個別に選択することをお勧めします。一部のアルゴリズム設定を［任意］にして一部を選択した場合、相手の設定によっては通信ができない場合があります。

項目		設定値と説明
IKE	暗号化アルゴリズム	IKEで利用する暗号化アルゴリズムを選択します。 IKEのバージョンで選択できる項目が異なります。
	認証アルゴリズム	IKEで利用する認証アルゴリズムを選択します。
	鍵交換アルゴリズム	IKEで利用する鍵交換アルゴリズムを選択します。 IKEのバージョンで選択できる項目が異なります。
ESP	暗号化アルゴリズム	ESPで利用する暗号化アルゴリズムを選択します。 ［セキュリティープロトコル］が［ESP］のときに選択できます。
	認証アルゴリズム	ESPで利用する認証アルゴリズムを選択します。 ［セキュリティープロトコル］が［ESP］のときに選択できます。
AH	認証アルゴリズム	AHで利用する認証アルゴリズムを選択します。 ［セキュリティープロトコル］が［AH］のときに選択できます。

関連情報

➡ 「基本ポリシーを設定する」542ページ

個別ポリシーを設定する

個別ポリシーは、プリンターへの各アクセスに適用されるルールです。IPパケットを受け取ったプリンターはポリシーを参照し、IPパケットを制御します。ポリシーは、個別ポリシー1、個別ポリシー2と順に適用され、最後に基本ポリシーが適用されます。

1. Web Configで［ネットワークセキュリティー］タブ - ［IPsec/IPフィルタリング］ - ［基本］を選択します。

2. 設定したい番号のタブをクリックします。

3. 各項目を設定します。

4. ［次へ］をクリックします。
   確認画面が表示されます。

5. ［設定］をクリックします。
   設定がプリンターに反映されます。

関連情報

➡ 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」432ページ

個別ポリシーの設定項目

項目	設定値と説明
この個別ポリシーを有効にする	選択している個別ポリシーを有効または無効にします。

［通信処理］
IP通信の制御方法を設定します。

項目	設定値と説明
通信を通過	IPパケットの通過を許可するときに選択します。
通信を遮断	IPパケットを遮断したいときに選択します。
IPsecの使用	IPsecで送られたパケットの通過を許可するときに選択します。

［ローカルアドレス（プリンター）］
お使いの環境に合ったIPv4アドレスまたはIPv6アドレスを選択します。IPアドレスの取得方法が自動の場合は、［自動取得したIPv4アドレスを使用する］が選択できます。

参考 IPv6アドレスが自動取得の場合、リースや有効期限切れで通信できなくなることがあります。固定のIPv6アドレスを設定してください。

［リモートアドレス（ホスト）］
通信を制御する機器のIPアドレスを入力します。IPアドレスは43文字以内で入力してください。何も入力しないと、全てのIPアドレスが制御の対象になります。

参考 IPアドレスがDHCPや自動取得（IPv6）の場合、リースや有効期限切れで通信できなくなることがあります。固定のIPアドレスを設定してください。

［ポート指定方法］
ポートの指定方法を設定します。

- サービス名
  ［ポート指定方法］で［サービス名］を選択した場合、IPsecのセキュリティープロトコルを選択します。
- トランスポートプロトコル
  ［ポート指定方法］で［ポート番号］を選択した場合、IPsecの通信モードを設定します。

項目	設定値と説明
全てのプロトコル	全てのプロトコルタイプを制御したい場合に選択します。
TCP	ユニキャストのデータを制御したい場合などに選択します。
UDP	ブロードキャストやマルチキャストのデータを制御したい場合などに選択します。
ICMPv4	pingコマンドを制御したい場合などに選択します。

- ローカルポート番号
  ［ポート指定方法］で［ポート番号］を選択し、かつ［トランスポートプロトコル］で［TCP］または［UDP］を選択した場合は、受信パケットを制御するポート番号をカンマで区切って記述します。最大10個指定できます。
  記入例：20,80,119,5220
  何も記述しないと、全てのポートが制御の対象になります。

- リモートポート番号
  ［ポート指定方法］で［ポート番号］を選択し、かつ［トランスポートプロトコル］で［TCP］または［UDP］を選択した場合は、送信パケットを制御するポート番号をカンマで区切って記述します。最大10個指定できます。
  記入例：25,80,143,5220
  何も記述しないと、全てのポートが制御の対象になります。

［IKEバージョン］
［IKEバージョン］で［IKEv1］または［IKEv2］を選択します。プリンターを接続する機器に合わせて選択してください。

- IKEv1
  ［IKEバージョン］で［IKEv1］を選択すると表示されます。

項目	設定値と説明
認証方式	［通信処理］で［IPsecの使用］を選択した場合、IPsecのセキュリティープロトコルを選択します。この証明書は基本ポリシーで設定したCA署名証明書と共通です。
事前共有キー	［認証方式］で［事前共有キー］を選択した場合、1～127文字以内で事前共有キーを設定します。
事前共有キー確認入力	確認のため、設定したキーをもう一度入力します。

- IKEv2
  ［IKEバージョン］で［IKEv2］を選択すると表示されます。

項目		設定値と説明
ローカル認証	認証方式	［通信処理］で［IPsecの使用］を選択した場合、IPsecのセキュリティープロトコルを選択します。この証明書は基本ポリシーで設定したCA署名証明書と共通です。
	IDの種類	［認証方式］で［事前共有キー］を選択した場合、プリンターを何のIDで認証させるか選択します。
	ID	IDの種類に合わせてプリンターのIDを入力します。 いずれの場合も先頭に@#=は使用できません。 ［識別名］：ASCII（0x20～0x7E）で表せる1バイト文字で0～255文字以内で入力します。=を含めてください。 ［IPアドレス］：IPv4またはIPv6形式で入力します。 ［FQDN］：半角英数字、ドット、ハイフンを組み合わせて1～255文字以内で入力します。 ［メールアドレス］：ASCII（0x20～0x7E）で表せる1バイト文字で0～255文字以内で入力します。@を含めてください。 ［任意の文字列］：ASCII（0x20～0x7E）で表せる1バイト文字で0～255文字以内で入力します。
	事前共有キー	［認証方式］で［事前共有キー］を選択した場合、1～127文字以内で事前共有キーを設定します。
	事前共有キー確認入力	確認のため、設定したキーをもう一度入力します。
リモート認証	認証方式	［通信処理］で［IPsecの使用］を選択した場合、IPsecのセキュリティープロトコルを選択します。この証明書は基本ポリシーで設定したCA署名証明書と共通です。
	IDの種類	［認証方式］で［事前共有キー］を選択した場合、認証相手を表すIDの種類を選択します。
	ID	IDの種類に合わせてプリンターのIDを入力します。 いずれの場合も先頭に@#=は使用できません。 ［識別名］：ASCII（0x20～0x7E）で表せる1バイト文字で0～255文字以内で入力します。=を含めてください。 ［IPアドレス］：IPv4またはIPv6形式で入力します。 ［FQDN］：半角英数字、ドット、ハイフンを組み合わせて1～255文字以内で入力します。 ［メールアドレス］：ASCII（0x20～0x7E）で表せる1バイト文字で0～255文字以内で入力します。@を含めてください。 ［任意の文字列］：ASCII（0x20～0x7E）で表せる1バイト文字で0～255文字以内で入力します。
	事前共有キー	［認証方式］で［事前共有キー］を選択した場合、1～127文字以内で事前共有キーを設定します。
	事前共有キー確認入力	確認のため、設定したキーをもう一度入力します。

［カプセル化］
［通信処理］で［IPsecの使用］を選択した場合、IPsecの通信モードを設定します。

項目	設定値と説明
トランスポートモード	主に同じLAN内だけでプリンターとIPsec通信をする場合に選択します。IPパケットのレイヤー4以上のデータ部のみが暗号化されます。
トンネルモード	主にIPsec-VPNのようなインターネットが有効なネットワークでプリンターを接続するときに選択します。IPパケットのヘッダーとデータが暗号化されます。 ［リモートゲートウェイアドレス(トンネルモード)］：［カプセル化］で［トンネルモード］を選択した場合、1～39文字以内でゲートウェイアドレスを設定します。

［セキュリティープロトコル］
［通信処理］で［IPsecの使用］を選択した場合、IPsecのセキュリティープロトコルを選択します。

項目	設定値と説明
ESP	認証とデータの完全性の保証に加えてデータ全体を暗号化します。
AH	認証とデータの完全性の保証をします。データの暗号化が禁止されていてもIPsec通信ができます。

［アルゴリズム設定］
全ての設定で［任意］を選択するか、全て個別に選択することをお勧めします。一部のアルゴリズム設定を［任意］にして一部を選択した場合、相手の設定によっては通信ができない場合があります。

項目		設定値と説明
IKE	暗号化アルゴリズム	IKEで利用する暗号化アルゴリズムを選択します。 IKEのバージョンで選択できる項目が異なります。
	認証アルゴリズム	IKEで利用する認証アルゴリズムを選択します。
	鍵交換アルゴリズム	IKEで利用する鍵交換アルゴリズムを選択します。 IKEのバージョンで選択できる項目が異なります。
ESP	暗号化アルゴリズム	ESPで利用する暗号化アルゴリズムを選択します。 ［セキュリティープロトコル］が［ESP］のときに選択できます。
	認証アルゴリズム	ESPで利用する認証アルゴリズムを選択します。 ［セキュリティープロトコル］が［ESP］のときに選択できます。
AH	認証アルゴリズム	AHで利用する認証アルゴリズムを選択します。 ［セキュリティープロトコル］が［AH］のときに選択できます。

関連情報

➡ 「個別ポリシーを設定する」546ページ
➡ 「ローカルアドレス（プリンター）とリモートアドレス（ホスト）の組み合わせ」551ページ
➡ 「個別ポリシーのサービス名一覧」551ページ

ローカルアドレス（プリンター）とリモートアドレス（ホスト）の組み合わせ

		ローカルアドレス（プリンター）の設定値		
		IPv4	IPv6*2	使用可能な全てのアドレス*3
リモートアドレス（ホスト）の設定値	IPv4*1	○	×	○
	IPv6*1*2	×	○	○
	空白	○	○	○

*1　：［通信処理］で［IPsecの使用］を選択した場合、範囲指定はできません。

*2　：［通信処理］で［IPsecの使用］を選択した場合リンクローカルアドレス（fe80::）は選択できますが、個別ポリシーは無効になります。

*3　：IPv6リンクローカルアドレスは除きます。

個別ポリシーのサービス名一覧

参考　非対応のサービスは表示されますが、選択できません。

サービス名	プロトコルタイプ	ローカルポート番号	リモートポート番号	制御できる機能
全て	-	-	-	全てのサービス
ENPC	UDP	3289	任意	Epson Device Adminなどのアプリケーションソフト、プリンタードライバー、スキャナードライバーからのプリンター探索
SNMP	UDP	161	任意	Epson Device Adminなどのアプリケーションソフト、エプソンのプリンタードライバー、スキャナードライバーからのプリンターMIB情報の取得と設定
LPR	TCP	515	任意	LPRデータの転送
RAW (Port9100)	TCP	9100	任意	RAWデータの転送
IPP/IPPS	TCP	631	任意	IPP/IPPS印刷のデータ転送
WSD	TCP	任意	5357	WSDの制御
WS-Discovery	UDP	3702	任意	WSDのプリンター探索
Network Scan	TCP	1865	任意	スキャンソフトウェアからのスキャンデータの転送
Network Push Scan	TCP	任意	2968	スキャンソフトウェアからのプッシュスキャン時のジョブ情報取得

サービス名	プロトコルタイプ	ローカルポート番号	リモートポート番号	制御できる機能
Network Push Scan Discovery	UDP	2968	任意	スキャンソフトウェアからのプッシュスキャン時のコンピューター探索
FTP データ (ローカル)	TCP	20	任意	FTPサーバー（FTP印刷のデータ転送）
FTP 制御 (ローカル)	TCP	21	任意	FTPサーバー（FTP印刷の制御）
FTP データ (リモート)	TCP	任意	20	FTPクライアント（スキャンデータまたは受信ファクスのFTP転送） ただし、制御できるのは20番のリモートポート番号を使用するFTPサーバーのみ
FTP 制御 (リモート)	TCP	任意	21	FTPクライアント（スキャンデータや受信ファクスのFTP転送の制御）
CIFS (ローカル)	TCP	445	任意	CIFSサーバー（ネットワークフォルダー共有）
CIFS (リモート)	TCP	任意	445	CIFSクライアント（スキャンデータや受信ファクスのフォルダー転送）
NetBIOS Name Service (ローカル)	UDP	137	任意	CIFSサーバー（ネットワークフォルダー共有）
NetBIOS Datagram Service (ローカル)	UDP	138	任意	
NetBIOS Session Service (ローカル)	TCP	139	任意	
NetBIOS Name Service (リモート)	UDP	任意	137	CIFSクライアント（スキャンデータや受信ファクスのフォルダー転送）
NetBIOS Datagram Service (リモート)	UDP	任意	138	
NetBIOS Session Service (リモート)	TCP	任意	139	
HTTP (ローカル)	TCP	80	任意	HTTP(S)サーバー（Web ConfigやWSDのデータ転送）
HTTPS (ローカル)	TCP	443	任意	

サービス名	プロトコルタイプ	ローカルポート番号	リモートポート番号	制御できる機能
HTTP (リモート)	TCP	任意	80	HTTP(S)クライアント（Epson Connectの通信、ファームウェアアップデートやルート証明書の更新）
HTTPS (リモート)	TCP	任意	443	

IPsec/IPフィルタリングの設定例

IPsecで保護されたパケットだけを受け付ける

個別ポリシーを設定しない場合は、基本ポリシーのみ使われます。

［基本ポリシー］：

- ［IPsec/IPフィルタリング］：［有効］
- ［通信処理］：［IPsecの使用］
- ［認証方式］：［事前共有キー］
- ［事前共有キー］：1～127文字以内の任意文字

［個別ポリシー］：設定しない

印刷データとプリンター設定を受け付ける

指定したサービスからの印刷データとプリンター設定の通信を受け付ける場合の例です。

［基本ポリシー］：

- ［IPsec/IPフィルタリング］：［有効］
- ［通信処理］：［通信を遮断］

［個別ポリシー］：

- ［この個別ポリシーを有効にする］：チェックを入れる
- ［通信処理］：［通信を通過］
- ［リモートアドレス（ホスト）］：印刷クライアントのIPアドレス
- ［ポート指定方法］：［サービス名］
- ［サービス名］：［ENPC］、［SNMP］、［HTTP（ローカル）］、［HTTPS（ローカル）］、［RAW (Port9100)］にチェックを入れる

参考 HTTP (ローカル)、HTTPS (ローカル)を受け付けないためには、［個別ポリシー］でチェックを外します。その場合、プリンター設定を変更するには、プリンターの操作パネルで一時的にIPsec/IPフィルタリングを無効にしてください。

特定のIPアドレスからの通信のみ受け付ける

管理者など特定のコンピューターからの通信のみを受け付ける場合の例です。

［基本ポリシー］：

- ［IPsec/IPフィルタリング］：［有効］
- ［通信処理］：［通信を遮断］

［個別ポリシー］：

- ［この個別ポリシーを有効にする］：チェックを入れる
- ［通信処理］：［通信を通過］
- ［リモートアドレス（ホスト）］：管理者用クライアントのIPアドレス

参考 ポリシーの設定に関わらず、プリンターの検索や設定を行うためのプロトコルは使用できます。

IPsec/IPフィルタリングで使用する証明書を設定する

IPsec/IPフィルタリングで使用するクライアント証明書を設定します。設定すると、IPsec/IPフィルタリングの認証方式で証明書を使用できるようになります。なお、相手サーバー検証用の証明書を設定する場合は、［相手サーバー検証用CA証明書］で行います。

1. Web Configで［ネットワークセキュリティー］タブ - ［IPsec/IPフィルタリング］ - ［クライアント証明書］を選択します。

2. ［クライアント証明書］画面で証明書をインポートします。

   CA局が発行した証明書をインポートしている場合は、証明書をコピーしてIPsec/IPフィルタリングで使用できます。コピーする場合は、［コピー元］からどの証明書を使うか選択して［コピー］をクリックしてください。

関連情報

- 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」432ページ
- 「CA署名証明書を設定する」534ページ
- 「相手サーバー検証用CA証明書を設定する」540ページ

IEEE802.1X環境にプリンターを接続する

IEEE802.1Xを設定する

プリンターにIEEE802.1Xを設定すると、RADIUSサーバーと認証機能を持ったLANスイッチやアクセスポイントに接続されたネットワークで使用できます。

1. Web Configで［ネットワークセキュリティー］タブ - ［IEEE802.1X］ - ［基本］を選択します。

2. 各項目を設定します。

   無線LANで使う場合は［無線LAN設定］をクリックしてSSIDを選択するか、入力してください。

   参考 ここでの設定値は有線LANと無線LANで共通に使えます。

3. ［次へ］をクリックします。

   確認画面が表示されます。

4. ［設定］をクリックします。

   設定がプリンターに反映されます。

関連情報

➡ 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」432ページ

IEEE802.1Xの設定項目

項目	設定値と説明	
IEEE802.1X (有線LAN)	［IEEE802.1X］ - ［基本］画面で設定した値をIEEE802.1X（有線LAN）に対して有効または無効にするかを選択します。	
IEEE802.1X (無線LAN)	IEEE802.1X（無線LAN）の接続状態が表示されます。	
接続方法	現在のネットワーク接続方法が表示されます。	
認証方式	プリンターとRADIUSサーバーとの認証方式を設定します。	
	EAP-TLS	CA署名証明書を取得してインポートする必要があります。
	PEAP-TLS	
	EAP-TTLS	パスワードを設定する必要があります。
	PEAP/MSCHAPv2	
ユーザーID	RADIUSサーバーの認証に使うIDを設定します。 ASCII（0x20～0x7E）で表せる1バイト文字で0～128文字以内で入力します。	
パスワード	プリンターを認証するためのパスワードを設定します。 ASCII（0x20～0x7E）で表せる1バイト文字で0～128文字以内で入力します。Windowsサーバーをを RADIUSサーバーとして使用する場合は、最大127文字になります。	
パスワード確認入力	確認のため、入力したパスワードをもう一度入力します。	
サーバーID	特定のRADIUSサーバーで認証したいときに使用します。設定した文字列が、RADIUSサーバーから送信されるサーバー証明書のsubjectフィールドまたはsubjectAltNameフィールドに含まれているかを検証します。 ASCII（0x20～0x7E）で表せる1バイト文字で0～128文字以内で入力します。	
証明書の検証	相手サーバー証明書の検証を設定します。認証方式に関わらず設定ができます。［相手サーバー検証用CA証明書］画面で証明書をインポートします。	
Anonymous名	［認証方式］が［PEAP-TLS］、［EAP-TTLS］、［PEAP/MSCHAPv2］の場合、PEAP認証のフェーズ1において、ユーザーIDの代わりに匿名を使用したいときに設定します。 ASCII（0x20～0x7E）で表せる1バイト文字で0～128文字以内で入力します。	
暗号強度	以下のいずれかを選択します。	
	高い	AES256/3DES
	標準	AES256/3DES/AES128/RC4

関連情報

➡ 「IEEE802.1Xを設定する」554ページ

IEEE802.1Xで使用する証明書を設定する

IEEE802.1Xで使用するクライアント証明書を設定します。設定すると、IEEE802.1Xの認証方式で［EAP-TLS］と［PEAP-TLS］が使用できるようになります。なお、相手サーバー検証用の証明書を設定する場合は、［相手サーバー検証用CA証明書］で行います。

1. Web Configで［ネットワークセキュリティー］タブ - ［IEEE802.1X］ - ［クライアント証明書］を選択します。

2. ［クライアント証明書］に使用する電子証明書を設定します。

   CA局が発行した証明書をインポートしている場合は、証明書をコピーしてIEEE802.1Xで使用できます。コピーする場合は、［コピー元］からどの証明書を使うか選択して［コピー］をクリックしてください。

関連情報

- 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」432ページ
- 「CA署名証明書を設定する」534ページ
- 「相手サーバー検証用CA証明書を設定する」540ページ

プリンターのIEEE802.1X状態表示

IEEE802.1Xの動作状態はネットワークステータスシートを印刷し、「IEEE802.1X」の項目で確認できます。

ステータス表示	IEEE802.1Xの動作状態
Disable	IEEE802.1X機能が無効になっています。
EAP Success	IEEE802.1X認証が成功し、ネットワークに接続されています。
Authenticating	IEEE802.1Xの認証中です。
Config Error	ユーザーIDが設定されていないため、認証に失敗しました。
Client Certificate Error	クライアント証明書の有効期限が切れているため、認証に失敗しました。
Timeout Error	RADIUSサーバーや認証ハブからの応答がないため、認証に失敗しました。
User ID Error	プリンターのユーザーIDまたは認証プロトコルに不備があるため、認証に失敗しました。
Server ID Error	サーバーの証明書に記載されているサーバーIDと通信しているサーバーIDが一致しないため、認証に失敗しました。
Server Certificate Error	サーバーの証明書に以下の不備があるため、認証に失敗しました。 • 証明書の有効期限切れ • 証明書のチェーンの異常
CA Certificate Error	CA証明書に以下の不備があるため、認証に失敗しました。 • CA証明書の指定が間違っている • 正しいCA証明書がインポートされていない • CA証明書の有効期限切れ

ステータス表示	IEEE802.1Xの動作状態
EAP Failure	プリンターの設定に以下の不備があるため、認証に失敗しました。 • クライアント証明書に何らかの不備がある（［認証方式］が［EAP-TLS］または［PEAP-TLS］の場合） • ユーザーIDまたはパスワードの間違い（［認証方式］が［EAP-TTLS］または［PEAP/MSCHAPv2］の場合）

関連情報

➡「ネットワークステータスシートを印刷する」313ページ

S/MIMEの設定

S/MIMEの基本設定をする

使用する機能ごとに、メールの暗号化とメールへのデジタル署名添付を設定します。

1. Web Configで［ネットワークセキュリティー］タブ - ［S/MIME］ - ［基本］を選択します。
2. 各項目を設定します。
3. ［次へ］をクリックします。
   確認画面が表示されます。
4. ［設定］をクリックします。
   設定がプリンターに反映されます。

関連情報

➡「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」432ページ

S/MIMEの設定項目

メールの暗号化

- メールの暗号化を使用するには、アドレス帳に登録されている宛先ごとに暗号化証明書のインポートが必要です。
  「メール宛先に暗号化証明書をインポートする」559ページ
- 暗号化証明書がインポートされていない宛先には、暗号化しない平文メールを送信します。

項目		設定値と説明
スキャン to メール機能	スキャン to メール機能を使用するときのメールの暗号化を設定します。 ［実行時に選択する］を選択すると、メールを送信するときに暗号化の選択ができます。	
	実行時の初期値	メールを送信するときの暗号化の初期値を選択します。 ［スキャン to メール 機能］が［実行時に選択する］のときに選択できます。
ボックス to メール機能*	ボックス to メール機能を使用するときのメールの暗号化を設定します。 ［実行時に選択する］を選択すると、メールを送信するときに暗号化の選択ができます。	
	実行時の初期値	メールを送信するときの暗号化の初期値を選択します。 ［ボックス to メール 機能］が［実行時に選択する］のときに選択できます。
ファクス to メール 機能*		ファクス to メール機能を使用するときのメールの暗号化を設定します。
アルゴリズム		メールの暗号化アルゴリズムを選択します。

*：ファクス対応機のみ利用可能です。

デジタル署名

S/MIMEの署名機能を使用するには、［ネットワークセキュリティー］タブ - ［S/MIME］ - ［クライアント証明書］で［使用するクライアント証明書］を設定する必要があります。

「S/MIMEで使用する証明書を設定する」558ページ

項目		設定値と説明
スキャン to メール機能	スキャン to メール機能を使用するときのメールへのデジタル署名添付を設定します。 ［実行時に選択する］を選択すると、メールを送信するときにデジタル署名添付の選択ができます。	
	実行時の初期値	メールを送信するときのデジタル署名添付の初期値を選択します。 ［スキャン to メール 機能］が［実行時に選択する］のときに選択できます。
ボックス to メール機能*	ボックス to メール機能を使用するときのメールへのデジタル署名添付を設定します。 ［実行時に選択する］を選択すると、メールを送信するときにデジタル署名添付の選択ができます。	
	実行時の初期値	メールを送信するときのデジタル署名添付の初期値を選択します。 ［ボックス to メール 機能］が［実行時に選択する］のときに選択できます。
ファクス to メール 機能*		ファクス to メール機能を使用するときのメールへのデジタル署名添付を設定します。
アルゴリズム		デジタル署名のアルゴリズムを選択します。

*：ファクス対応機のみ利用可能です。

関連情報

➡ 「S/MIMEの基本設定をする」557ページ

S/MIMEで使用する証明書を設定する

S/MIMEの署名機能を使用するために、クライアント証明書を設定します。

1. Web Configで［ネットワークセキュリティー］タブ - ［S/MIME］ - ［クライアント証明書］を選択します。

2. ［使用するクライアント証明書］で使用する電子証明書を選択します。
   - 自己署名証明書
     プリンターで自己署名証明書を生成すると選択できます。
   - CA署名証明書
     プリンターにCA署名証明書をインポートすると選択できます。

3. ［次へ］をクリックします。
   確認画面が表示されます。

4. ［設定］をクリックします。
   設定がプリンターに反映されます。

関連情報

➡「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」432ページ
➡「CA署名証明書を設定する」534ページ
➡「自己署名証明書を更新する」538ページ

メール宛先に暗号化証明書をインポートする

メールの暗号化を使用するには、アドレス帳に登録されている宛先ごとに暗号化証明書のインポートが必要です。
ここではすでにアドレス帳に登録されているメール宛先に、宛先の暗号化証明書をインポートする手順を説明します。

1. Web Configの［スキャン/コピー］タブ、または［ファクス］ タブから［アドレス帳］を選択します。

2. 暗号化証明書をインポートしたい宛先の番号を選択して［編集］をクリックします。

3. ［暗号化証明書］または［暗号化証明書の変更］で、宛先の暗号化証明書をインポートします。

4. ［適用］をクリックします。
   暗号化証明書がインポートされると、宛先に鍵アイコンが表示されます。

参考 暗号化証明書をインポートした宛先の番号を選択して［編集］をクリックすると、［暗号化証明書の状態］で証明書の情報が確認できます。

関連情報

➡「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」432ページ

トラブルを解決する

セキュリティー設定の初期化

IPsec/IPフィルタリングやIEEE802.1Xなど高度なセキュア環境を構築している場合、設定ミスや機器、サーバーのトラブルなどでデバイスと通信できなくなる可能性があります。この場合、セキュリティー機能を初期化してデバイスの設定をやり直したり、一時的に使用できるようにしたりします。

操作パネルからセキュリティー機能を無効にする

操作パネルを使ってIPsec/IPフィルタリングやIEEE802.1Xを無効に設定します。

1. ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］の順に選択します。
2. ［詳細設定］を選択します。
3. 無効にしたい機能を選択します。
   - ［IPsec/IPフィルタリングの無効化］
   - ［IEEE802.1Xの無効化］
4. 確認画面で［設定を開始する］を選択します。

セキュア環境への接続時のトラブル

事前共有キーを忘れてしまった

事前共有キーを再設定する

Web Configの［ネットワークセキュリティー］タブ - ［IPsec/IPフィルタリング］ - ［基本］ - ［基本ポリシー］または［個別ポリシー］の画面でキーを変更します。
事前共有キーを変更したら、相手先コンピューターの事前共有キーの設定もやり直してください。

関連情報

➡ 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」432ページ
➡ 「IPsec/IPフィルタリングで暗号化通信する」542ページ

IPsec通信ができない

プリンターまたはコンピューターがサポートしていないアルゴリズムを指定している

プリンターがサポートするアルゴリズムは以下の通りです。コンピューターの設定を確認してください。

セキュリティーメソッド	アルゴリズム
IKE暗号化アルゴリズム	AES-CBC-128、AES-CBC-192、AES-CBC-256、AES-GCM-128*、AES-GCM-192*、AES-GCM-256*、3DES
IKE認証アルゴリズム	SHA-1、SHA-256、SHA-384、SHA-512、MD5
IKE鍵交換アルゴリズム	DH Group1、DH Group2、DH Group5、DH Group14、DH Group15、DH Group16、DH Group17、DH Group18、DH Group19、DH Group20、DH Group21、DH Group22、DH Group23、DH Group24、DH Group25、DH Group26、DH Group27*、DH Group28*、DH Group29*、DH Group30*
ESP暗号化アルゴリズム	AES-CBC-128、AES-CBC-192、AES-CBC-256、AES-GCM-128、AES-GCM-192、AES-GCM-256、3DES
ESP認証アルゴリズム	SHA-1、SHA-256、SHA-384、SHA-512、MD5
AH認証アルゴリズム	SHA-1、SHA-256、SHA-384、SHA-512、MD5

*：IKEv2のみ対応

関連情報

➡ 「IPsec/IPフィルタリングで暗号化通信する」542ページ

突然通信ができなくなった

プリンターのIPアドレスが変更された、または使用できなくなった

個別ポリシーのローカルアドレスに登録されているIPアドレスが変更や使用できなくなった場合、IPsecでは通信できなくなります。プリンターの操作パネルでIPsecを無効にしてください。
Web Configの［ネットワークセキュリティー］タブー［IPsec/IPフィルタリング］－［基本］－［個別ポリシー］－［ローカルアドレス（プリンター）］に設定したIPアドレスが、DHCPのリース切れや再起動、IPv6アドレスの有効期限切れや再取得失敗によって見つからない可能性があります。
IPアドレスは、固定のIPアドレスを使用してください。

コンピューターのIPアドレスが変更された、または使用できなくなった

個別ポリシーのリモートアドレスに登録されているIPアドレスが変更や使用できなくなった場合、IPsecでは通信できなくなります。
プリンターの操作パネルでIPsecを無効にしてください。
Web Configの［ネットワークセキュリティー］タブー［IPsec/IPフィルタリング］－［基本］－［個別ポリシー］－［リモートアドレス（ホスト）］に設定したIPアドレスが、DHCPのリース切れや再起動、IPv6アドレスの有効期限切れや再取得失敗によって見つからない可能性があります。
IPアドレスは、固定のIPアドレスを使用してください。

関連情報

➡ 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」432ページ
➡ 「IPsec/IPフィルタリングで暗号化通信する」542ページ

セキュアIPP印刷のポートが作成できない

SSL/TLS通信のサーバー証明書に正しい証明書が指定されていない

正しい証明書が指定されていないとポート作成に失敗する場合があります。証明書が正しいか確認してください。

プリンターを使用するコンピューターにCA証明書がインポートされていない

コンピューターにCA証明書がインポートされていないと、ポート作成に失敗する場合があります。CA証明書がインポートされているか確認してください。

関連情報

➡ 「プリンターのサーバー証明書を設定する」541ページ

IPsec/IPフィルタリング設定したのにつながらない

IPsec/IPフィルタリングの設定が間違っている

プリンターの操作パネルからIPsec/IPフィルタリングを無効にしてください。プリンターとコンピューターを接続して、IPsec/IPフィルタリングの設定をやり直してください。

関連情報

➡ 「IPsec/IPフィルタリングで暗号化通信する」542ページ

IEEE802.1Xを設定したのにつながらない

IEEE802.1Xの設定が間違っている

プリンターの操作パネルから無線LANとIEEE802.1Xを無効にしてください。プリンターとコンピューターを接続して、IEEE802.1Xの設定をやり直してください。

関連情報

➡ 「IEEE802.1Xを設定する」554ページ

電子証明書使用時のトラブル

CA署名証明書のインポートができない

入手したCA署名証明書と作成したCSRの情報が一致していない

CA署名証明書とCSRは、同一の情報である必要があります。以下の点を確認してください。

- 同時に複数の機器でCSRを作成した場合、一致しない機器に証明書をインポートしようとしたか
  情報を確認して、一致する機器にインポートしてください
- CA局にCSRを送付した後、プリンターに保存されているCSRを再生成したか
  再生成したCSRでCA署名証明書を取得し直してください。

入手したCA署名証明書のファイル容量が5KBを超えている

5KBを超えるCA署名証明書は、インポートできません。

証明書をインポートする際のパスワードが正しくない

正しいパスワードを入力してください。パスワードを忘れた場合、証明書をインポートできません。CA署名証明書を取得し直してください。

関連情報

➡ 「CA署名証明書をインポートする」536ページ

自己署名証明書が更新できない

コモンネームが入力されていない

［コモンネーム］は必ず入力してください。

コモンネームに不正な文字が使用されている

IPv4、IPv6、ホスト名、FQDNのいずれかの形式をASCII (0x20-0x7E)で表せる1～128文字以内で指定します。

［コモンネーム］にカンマやスペースが使われている

カンマが入力されると［コモンネーム］はそこで分割されます。また、カンマの前後にスペースを入れるとエラーになります。

関連情報

➡ 「自己署名証明書を更新する」538ページ

CSRが作成できない

コモンネームが入力されていない

［コモンネーム］は必ず入力してください。

コモンネーム、組織名、部署名、市町村名、都道府県名に不正な文字が使用されている

IPv4、IPv6、ホスト名、FQDNのいずれかの形式をASCII (0x20-0x7E)で表せる文字で指定します。

コモンネームにカンマやスペースが使われている

カンマが入力されると［コモンネーム］はそこで分割されます。また、カンマの前後にスペースを入れるとエラーになります。

関連情報

➡ 「CA署名証明書を取得する」534ページ

証明書に関する警告が表示された

メッセージ	原因と対処
サーバー証明書を指定してください。	**原因：** インポートするファイルが指定されていません。 **対処：** ファイルを選択してから［インポート］をクリックしてください。
CA証明書1の参照先を入力してください。	**原因：** CA証明書1が未入力で、CA証明書2が入力されています。 **対処：** 先にCA証明書1をインポートしてください。
以下の入力値が正しくありません。	**原因：** ファイルパスやパスワードに不正な文字が含まれています。 **対処：** 表示された項目に入力した文字が正しいか確認してください。
日付/時刻が設定されていません。	**原因：** プリンターに日付や時刻が設定されていません。 **対処：** Web ConfigやEpsonNet Configまたはプリンターの操作パネルから日付や時刻を設定してください。
パスワードが正しくありません。	**原因：** CA証明書に設定されているパスワードと入力したパスワードが一致しません。 **対処：** 正しいパスワードを入力してください。
不正なファイルです。	**原因：** インポートしようとしたファイルがX509形式の証明書ではありません。 **対処：** 信頼されたCA局から送付された証明書ファイルを選択しているか確認してください。
	原因： インポートできるファイルサイズを超えています。インポートできるファイルサイズは5KBです。 **対処：** ファイルが正しい場合、証明書が破損していたり改ざんされていたりする可能性があります。
	原因： 証明書に含まれるチェーンが不正です。 **対処：** 証明書の詳細はCA局のWebサイトをご覧ください。
3つ以上のCA証明書が含まれたサーバー証明書は使用できません。	**原因：** PKCS#12形式の証明書ファイルに3つ以上のCA証明書が含まれています。 **対処：** PKCS#12形式から複数のPEM形式に変換して個別にインポートするか、2つ以下のCA証明書でPKCS#12形式ファイルを再作成してインポートしてください。

メッセージ	原因と対処
有効期間外の証明書です。証明書の有効期間、またはプリンターの日付/時刻設定を確認してください。	**原因：** 証明書の有効期限が切れています。 **対処：** • 証明書の有効期限が切れている場合、新しい証明書をCA局から取得してインポートしてください。 • 証明書の有効期限が切れていない場合、プリンターの日付や時刻の設定が正しいか確認してください。
秘密鍵が必要な証明書ファイルです。	**原因：** 証明書と対になった秘密鍵がありません。 **対処：** • コンピューターで生成したCSRで取得したPEM/DER形式の証明書の場合、秘密鍵ファイルを指定してください。 • コンピューターで生成したCSRで取得したPKCS#12形式の証明書の場合、秘密鍵を含めたファイルを作成してください。
	原因： Web Configで生成したCSRで取得したPEM/DER形式の証明書を再度インポートしようとしました。 **対処：** Web Configで生成したCSRで取得したPEM/DER形式の証明書は、一度しかインポートできません。
設定に失敗しました。	**原因：** プリンターとコンピューターの通信が遮断された、何らかの原因でファイルが読み取りできない、などの原因で正しく設定できませんでした。 **対処：** 指定しているファイルや通信状況を確認して、再度インポートしてください。

関連情報

➡ 「使用できる電子証明書」534ページ

CA署名証明書を誤って削除した

CA署名証明書をバックアップ保存したファイルがない

CA署名証明書をバックアップ保存したファイルがあれば、それを使って再度インポートしてください。
Web Configで生成したCSRで取得した証明書は、一度削除してしまうと再インポートができません。CSRを再生成して証明書を取得し直してください。

関連情報

➡ 「CA署名証明書をインポートする」536ページ
➡ 「CA署名証明書を削除する」538ページ

Epson Open Platformを利用する

Epson Open Platformの概要

認証システムのサーバーが提供する機能を、エプソン製プリンターで利用するためのプラットフォームです。
サーバーと連携してデバイスや利用者別の履歴の取得、利用者や所属ごとに使用できるデバイス、機能の制限を設定できます。Epson Print Admin（エプソン製認証システム）や他社製の認証システムで利用できます。
認証装置を接続するとIDカードを利用したユーザー認証もできます。

Epson Open Platformを設定する

Epson Open Platformを有効にして認証システムからデバイスを使用できるようにします。

1. Web Configで［Epson Open Platform］タブ - ［プロダクトキー/ライセンスキー］を選択します。

2. 各項目を設定します。
   - 製造番号
     デバイスの製造番号が表示されます。
   - Epson Open Platformバージョン
     Epson Open Platformのバージョンを選択します。認証システムによって対応するバージョンが異なります。
   - プロダクトキー/ライセンスキー
     専用のWebサイトから取得したプロダクトキーを入力します。プロダクトキーの取得方法などの詳細はEpson Open Platformのマニュアルをご覧ください。

3. ［次へ］をクリックします。
   確認画面が表示されます。

4. ［設定］をクリックします。
   設定がプリンターに反映されます。

関連情報

➡「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」432ページ

認証装置を設定する

［デバイス管理］タブ - ［認証装置］から認証システムで使用する認証装置の設定ができます。
詳細は認証システムのマニュアルをご覧ください。

関連情報

➡「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」432ページ

サービスとサポートのご案内

エプソンサービスパック 568

保守サービスのご案内 568

保守サービスの種類 569

アフターサポート・サービスのご案内 570

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。
エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3年、4年、5年）、 出張修理いたします。また、修理のご依頼や故障かどうかわからない場合のご相談等の受付窓口として、専用のヘルプデスクをご用意いたします。

- スピーディーな対応　－　スポット出張修理依頼に比べて優先的にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心　－　万一トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣して修理いたします。
- 手続きが簡単　－　ウェブサイトで必要事項を登録、またはエプソンサービスパック登録書をファクスするだけで、契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化　－　エプソンサービスパック規約内・期間内であれば都度修理費用がかからず、維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、まず本書の「困ったときは」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことをご確認の上、保守サービスの受付窓口にお問い合わせください。

関連情報

➡ 「困ったときは」195ページ

保証書について

保証期間中に故障した場合には、保証書の記載内容に基づき修理いたします。保証期間や保証事項については、保証書をご覧ください。
保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。 これらの記載がない場合は、保証期間内であっても保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。
保証書は大切に保管してください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後6年間です。
改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの受付窓口

エプソン製品を快適にご使用いただくために、年間保守契約をお勧めします。保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- 修理のお申し込み窓口

関連情報

➡ 「アフターサポート・サービスのご案内」570ページ

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細は、お買い求めの販売店またはエプソン修理のお申し込み窓口までお問い合わせください。

- 定期交換部品の寿命による交換は、保証内外を問わず、出張基本料・技術料・部品代が有償となります。
- 年間保守契約をされている場合は、定期交換部品代のみ有償（お客様交換可能な定期交換部品の場合は、出張基本料・技術料も有償）です。
- 本機は、専門業者による輸送対象製品のため、持込保守および持込修理はご遠慮ください。

種類		概要	修理代金と支払方法	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張修理	• 優先的にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。 • 修理の都度発生する修理代・部品代*が無償のため、予算化ができて便利です。 • 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。	無償	年間一定の保守料金
スポット出張修理		お客様からご連絡いただいて数日以内にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。	無償	有償 （出張料＋技術料＋部品代） 修理完了後、その都度お支払いください

*：　消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は保守対象外です。

！重要

- エプソン純正品以外あるいはエプソン品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。
- 本製品の故障や修理の内容によっては、製品本体に保存されているデータや設定情報が消失または破損することがあります。また、お使いの環境によっては、ネットワーク接続などの設定をお客様に設定し直していただくことになります。これに関して弊社は保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。データや設定情報は、必要に応じてバックアップするかメモを取るなどして保存することをお勧めします。

アフターサポート・サービスのご案内

●お問い合わせの前に

- サポート情報サイト
  最新ソフトウェア、製品マニュアルなど、製品のサポート情報満載のサイトです。
  epson.jp/support/
- FAQ（よくあるご質問）
  困ったときの対処方法を分かり易く説明しています。
  epson.jp/faq/

●製品に関するご質問・ご相談/運用支援

営業日、営業時間の詳細はサポート情報サイトでご確認ください。

- メールで相談する
  epson.jp/mail/
- 電話で相談する（エプソンインフォメーションセンター）
  050-3155-8055

●修理のお申し込み

豊富な修理メニューをご用意しております。詳細（対象製品など）はウェブサイトでご確認ください。
epson.jp/shuri/

- 出張修理サービス
  ご指定の場所へサービスエンジニアを派遣し、その場で修理するサービスです。
  - Webで申し込む
    epson.jp/119/
  - 電話で申し込む
    050-3155-8600
- 引取修理サービス
  ご指定の日時・場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです（有償）。
  - Webで申し込む
    epson.jp/door/
  - 電話で申し込む
    050-3155-7150

●消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店またはエプソンダイレクトでお買い求めください。

- エプソンダイレクトショップ
  epson.jp/shop/
- ご購入相談・ご注文窓口
  0120-956-285

●会員制情報提供サイト（MyEPSON）

ユーザー登録していただくと、お客様に商品の最新情報や活用のためのヒントをお届けいたします。

myepson.jp/

●ショールーム

最新のエプソン商品を実際にお試しいただけます。
epson.jp/showall/

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスKDDI光ダイレクトを利用しています。
本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

エプソン販売株式会社

〒160-8801　東京都新宿区新宿四丁目1番6号　JR新宿ミライナタワー 29階

セイコーエプソン株式会社

〒392-8502　長野県諏訪市大和三丁目3番5号

ビジネス（LP）　2021.05